（案）

平成３０年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査
（令和元年度調査）

# （２）介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究事業
# 報　告　書
# 第１分冊

# ＜第１分冊＞

# 目　　次


第１章　事業の概要 ..... 1

１．事業の背景と目的 ..... 1
（１）　事業の背景 ..... 1
（２）　事業の目的 ..... 1

２．事業の実施方法 ..... 2
（１）　調査検討委員会の設置と開催状況 ..... 2
（２）　アンケート調査 ..... 3
（３）　介護保険総合データベース任意集計調査 ..... 6
（４）　ヒアリング調査 ..... 6

第２章　アンケート調査結果 ..... 9

１．事業所・施設に対する調査結果 ..... 9
（１）　通所介護 ..... 9
（２）　認知症対応型通所介護 ..... 42
（３）　短期入所生活介護 ..... 72
（４）　特定施設入居者生活介護 ..... 102
（５）　認知症対応型共同生活介護 ..... 134
（６）　介護老人福祉施設 ..... 161
（７）　訪問介護 ..... 192
（８）　小規模多機能型居宅介護 ..... 227
（９）　定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ..... 261

２．ケアマネジャーに対するアンケート調査結果 ..... 294
（１）　通所介護 ..... 294
（２）　認知症対応型通所介護 ..... 301
（３）　短期入所生活介護 ..... 308
（４）　特定施設入居者生活介護 ..... 315
（５）　認知症対応型共同生活介護 ..... 322
（６）　介護老人福祉施設 ..... 329
（７）　訪問介護 ..... 336
（８）　小規模多機能型居宅介護 ..... 343
（９）　定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ..... 350

３．リハビリテーション事業所・医療提供施設に対するアンケート調査結果 ..... 357

（１） 通所介護 ..... 357
（２） 認知症対応型通所介護 ..... 368
（３） 短期入所生活介護 ..... 378
（４） 特定施設入居者生活介護 ..... 387
（５） 認知症対応型共同生活介護 ..... 396
（６） 介護老人福祉施設 ..... 407
（７） 訪問介護 ..... 416
（８） 小規模多機能型居宅介護 ..... 428
（９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ..... 442

# （参考）目　次


第１章　事業の概要 1

１．事業の背景と目的 1
（１） 事業の背景 1
（２） 事業の目的 1

２．事業の実施方法 2
（１） 調査検討委員会の設置と開催状況 2
（２） アンケート調査 3
（３） 介護保険総合データベース任意集計調査 6
（４） ヒアリング調査 6

第２章　アンケート調査結果 9

１．事業所・施設に対する調査結果 9
（１） 通所介護 9
（２） 認知症対応型通所介護 42
（３） 短期入所生活介護 72
（４） 特定施設入居者生活介護 102
（５） 認知症対応型共同生活介護 134
（６） 介護老人福祉施設 161
（７） 訪問介護 192
（８） 小規模多機能型居宅介護 227
（９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 261

２．ケアマネジャーに対するアンケート調査結果 294
（１） 通所介護 294
（２） 認知症対応型通所介護 301
（３） 短期入所生活介護 308
（４） 特定施設入居者生活介護 315
（５） 認知症対応型共同生活介護 322
（６） 介護老人福祉施設 329
（７） 訪問介護 336
（８） 小規模多機能型居宅介護 343
（９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 350

３．リハビリテーション事業所・医療提供施設に対するアンケート調査結果 357
（１） 通所介護 357
（２） 認知症対応型通所介護 368
（３） 短期入所生活介護 378

（４） 特定施設入居者生活介護 ..... 387
（５） 認知症対応型共同生活介護 ..... 396
（６） 介護老人福祉施設 ..... 407
（７） 訪問介護 ..... 416
（８） 小規模多機能型居宅介護 ..... 428
（９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ..... 442
４．利用者に関するアンケート調査結果 ..... 455
（１） 通所介護 ..... 455
（２） 認知症対応型通所介護 ..... 501
（３） 短期入所生活介護 ..... 544
（４） 特定施設入居者生活介護 ..... 584
（５） 認知症対応型共同生活介護 ..... 627
（６） 介護老人福祉施設 ..... 673
（７） 訪問介護 ..... 715
（８） 小規模多機能型居宅介護 ..... 759
（９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ..... 803

第３章　機能訓練指導員の確保に関するアンケート調査の結果 ..... 841

１．通所介護 ..... 841
２．認知症対応型通所介護 ..... 864
３．短期入所生活介護 ..... 881
４．特定施設入居者生活介護 ..... 900
５．介護老人福祉施設 ..... 923

第４章　介護保険総合データベース任意集計調査の調査結果 ..... 941

１．全体の状況 ..... 941
２．都道府県別の状況 ..... 943
３．法人種別の状況 ..... 952

第５章　ヒアリング調査結果 ..... 959

１．調査対象 ..... 959
２．加算算定事業所への調査結果 ..... 960
３．加算非算定事業所への調査結果 ..... 969

調査票

# 「介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究一式」
# 調査検討委員会 設置要綱

## １．設置目的

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所は介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究一式の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究一式の調査検討委員会（以下「調査検討委員会」という。）を設置する。

## ２．実施体制

（1）本調査検討委員会は、委員長１名、副委員長１名、委員７名で構成する。

（2）委員長が必要と認めるときは、本調査検討委員会において、関係者から意見を聴くことができる。

## ３．調査検討委員会の運営

（1）調査検討委員会の運営は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所が行う。

（2）前号に定めるもののほか、本調査検討委員会の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討委員会が定める。

# 「介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究一式」
# 調査検討委員会　委員名簿

| | | |
|---|---|---|
| | 稲垣（いながき）　実（みのる） | 全国視覚障害者雇用促進連絡会　幹事 |
| | 太田（おおた）　睦美（むつみ） | 日本作業療法士協会　監事 |
| ◎ | 川越（かわごえ）　雅弘（まさひろ） | 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科<br>兼研究開発センター　教授 |
| | 近藤（こんどう）　国嗣（くにつぐ） | 日本リハビリテーション病院・施設協会　副会長 |
| ○ | 藤野（ふじの）　善久（よしひさ） | 産業医科大学産業生態科学研究所　教授 |
| | 樋口（ひぐち）　丈明（たけあき） | 民間介護事業推進委員会　代表委員 |
| | 松井（まつい）　一人（かずひと） | 日本理学療法士協会　理事 |
| | 松浦（まつうら）　正人（まさと） | 日本鍼灸師会　副会長 |
| | 武藤（むとう）　岳人（たけひと） | 全国老人福祉施設協議会<br>介護保険事業等経営委員会　デイサービスセンター部会　部会長 |

◎委員長　○副委員長

（計９名，敬称略、氏名五十音順）

【オブザーバー】

厚生労働省　老健局　振興課　課長補佐　平井　智章
厚生労働省　老健局　振興課　基準第二係長　羽染　敬規
厚生労働省　老健局　振興課　基準第二係　小俣　直貴
厚生労働省　老健局　総務課　認知症施策推進室　室長補佐　加藤　英樹
厚生労働省　老健局　総務課　認知症施策推進室　認知症施策推進係長　坪井　由紀子
厚生労働省　老健局　総務課　認知症施策推進室　認知症施策推進係　佐藤　寛大
厚生労働省　老健局　高齢者支援課　企画法令係長　和田　直之
厚生労働省　老健局　高齢者支援課　企画法令係　岩下　郁

（敬称略）

介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究一式

１．調査目的

平成 30 年度介護報酬改定においては、以下のような見直しを行った。

- 自立支援・重度化防止に資する介護を推進する観点から、外部の通所リハ事業所等のリハビリテーション専門職や医師等と連携して作成した計画に基づく介護を評価する生活機能向上連携加算の見直し・拡充。
- 機能訓練指導員の確保を推進し、利用者の心身の機能の維持を促進する観点から、機能訓練指導員の対象資格に一定の実務経験を有するはり師、きゅう師を追加。

本事業では、これらの見直しにより、機能訓練の実施方法や利用者への効果等にどのような影響を与えたかを調査するとともに、次期介護報酬改定に向け、事業所の経営面の状況にも留意しつつ、利用者の自立支援・重度化防止に向けて、調査を行う（アンケート調査を実施し、必要に応じてヒアリング調査を行う）。

２．調査客体

（１）施設（事業所）票

①通所介護事業所　約 2,800 事業所程度
②認知症対応型通所介護事業所　約 310 事業所程度
③短期入所生活介護事業所　約 420 事業所程度
④特定施設入居者生活介護事業所　約 660 事業所程度
⑤認知症対応型共同生活介護事業所　約 2,030 事業所程度
⑥介護老人福祉施設　約 1,140 施設程度
⑦訪問介護事業所　約 300 事業所程度
⑧小規模多機能型居宅介護事業所　約 440 事業所程度

【悉皆及び無作為抽出（※１）】

⑨定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所　935 事業所【悉皆】

（２）機能訓練指導員の確保に関する調査票

①はり師・きゅう師を機能訓練指導員として配置する事業所　【悉皆（※１、２）】
②①と同一地域に所在するはり師・きゅう師を機能訓練指導員として配置しない事業所【無作為抽出（※１）】
（①②それぞれ約 1,500 事業所程度）

（※１）現時点において、生活機能向上連携加算を算定している事業所・施設は少なく、またはり師・きゅう師が機能訓練指導員として配置されている事業所・施設も同様に少ないことが見込まれる。よって、生活機能向上連携加算を算定している事業所やはり師・きゅう師を機能訓練指導員として配置している事業所については、悉皆により調査を行い、生活機能向上連携加算を算定していない事業所やはり師・きゅう師を機能訓練指導員として配置していない事業所については、調査客体として相応の件数分、確保できる調査客体の無作為抽出を行う。

（※２）対象事業所は、介護サービス情報公表システムにおいて、「従業者である機能訓練指導員が有している資格」に、はり師・きゅう師が含まれている事業所とする。

（３）利用者票【多段階抽出】

①（１）のうち生活機能向上連携加算算定事業所の利用者（※３）

②（１）のうち生活機能向上連携加算非算定事業所の利用者（※３）

（※３）対象サービス毎の利用者票の対象者のサービスごとの抽出率については以下のとおりとし、令和元年９月中の利用者のうち、誕生日により指定した条件に基づき特定される利用者を調査対象とする（１事業所・施設あたり２人程度を想定）。これによって１人も抽出されなかった場合には、別に誕生日により指定した条件に基づき特定される利用者を調査対象として１人抽出する。

| サービス名 | 生活機能向上連携加算の**算定**事業所・施設 | 生活機能向上連携加算の**非算定**事業所・施設 |
|---|---|---|
| ①通所介護事業所（地域密着型含む） | １５：１ | １５：１ |
| ②認知症対応型通所介護事業所 | １０：１ | ５：１ |
| ③短期入所生活介護事業所 | １０：１ | １０：１ |
| ④特定施設入居者生活介護事業所（地域密着型含む） | １５：１ | １０：１ |
| ⑤認知症対応型共同生活介護事業所 | ５：１ | ５：１ |
| ⑥介護老人福祉施設 | ３０：１ | ３０：１ |
| ⑦訪問介護事業所 | ２：１ | １５：１ |
| ⑧小規模多機能型居宅介護事業所 | ２：１ | ５：１ |
| ⑨定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | ５：１ | １０：１ |

※　利用者に関する変化のうち、要介護度や日常生活自立度については、介護ＤＢを活用して把握予定。

（４）ケアマネジャー票【多段階抽出】

（１）のうち、生活機能向上連携加算の算定事業所に対し、当該事業所をケアプランに位置づけた介護支援専門員（1 名）　約 4,000 人程度

（５）リハビリテーション事業所・医療提供施設票【多段階抽出】

（１）のうち、生活機能向上連携加算の算定事業所に対し、当該事業所の生活機能向上連携加算の算定に最も多く関与した医師又はリハビリテーション専門職　約 4,000 人程度

３．主な調査項目

（１）施設（事業所）票

基本情報、生活機能向上連携加算及び個別機能訓練加算の状況（算定状況、算定によるメリット、非算定の理由等）、外部との連携状況、機能訓練の実施状況　等

（２）機能訓練指導員の確保に関する調査票

基本情報、個別機能訓練計画を作成した機能訓練指導員と当該計画を作成された利用者の課題、機能訓練指導員の対象資格別募集・雇用状況、機能訓

練指導員の資格にはり師・きゅう師を追加した影響　等

（３）ー①　利用者票（生活機能向上連携加算の算定事業所）

基本情報、ＡＤＬ及びＩＡＤＬの状況変化（生活機能向上連携加算の算定に伴う連携開始時点と令和元年 10 月１日時点）、ケアプランの目標の変化（生活機能向上連携加算の算定に伴う連携開始時点と令和元年 10 月１日時点）、生活機能向上連携加算の算定状況、外部の医師又はリハビリテーション専門職の助言による個別機能訓練計画への影響、生活機能向上連携加算の算定前後の利用サービスの変化　等

（３）―②　利用者票（生活機能向上連携加算の非算定事業所）

基本情報、ＡＤＬ及びＩＡＤＬの状況変化（平成 30 年４月１日時点と令和元年 10 月１日時点）、ケアプランの目標の変化（平成 30 年４月１日時点と令和元年 10 月１日時点）

（４）ケアマネジャー票

基本情報、外部機関との連携・調整の状況、施設（事業所）とリハ職が連携することの効果・影響　等

（５）リハビリテーション事業所・医療提供施設票

基本情報、施設（事業所）と連携する動機となった事項や連携による効果（個別機能訓練計画や職員の専門性等）　等

# 第１章　事業の概要

## １．事業の背景と目的

### （１）事業の背景

平成 30 年度介護報酬改定において、自立支援・重度化防止に資する介護を推進する観点から、外部の通所リハビリテーション事業所等のリハビリテーション専門職や医師等と連携して作成した計画に基づく介護を評価する生活機能向上連携加算の見直し・拡充が行われた。また、機能訓練指導員の確保を推進し、利用者の心身機能の維持を促進する観点から、機能訓練指導員の対象資格に一定の実務経験を有するはり師、きゅう師が追加されたところである。

### （２）事業の目的

本事業では、これらの見直しにより、機能訓練の実施方法や利用者への効果等にどのような影響を与えたかを下記①～⑤の調査を通じて明らかにすることを目的とするとともに、次期介護報酬改定に向けてこれまで以上に利用者の自立支援・重度化防止に資するサービス提供を推進する観点を踏まえ、また事業所の経営面の状況にも留意しつつ、実態調査を行う。

① 生活機能向上連携加算を算定している事業所及び利用者の特性、外部機関との連携やリハビリテーション専門職又は医師の助言内容や個別機能訓練計画への反映状況等の実態を明らかにする。
② 生活機能向上連携加算の算定における促進要因及び阻害要因を明らかにする。
③ 生活機能向上連携加算に関わる職種（注）及び利用者における加算導入による影響や効果を確認する。
④ ICT を活用した動画等の活用による利用者の状態把握の評価による効果を確認する。
⑤ 機能訓練指導員へのはり師、きゅう師の追加による影響や効果等を確認する。

（注）：機能訓練実施者、リハビリテーション専門職又は医師、ケアマネジャー等

## ２．事業の実施方法

### （１）調査検討委員会の設置と開催状況

介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究一式の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、介護サービスにおける機能訓練の状況等に係る調査研究一式の調査検討委員会（計９名）を設置した。

**調査検討委員会の委員一覧**

| | | |
|---|---|---|
| | 稲垣　実 | 全国視覚障害者雇用促進連絡会　幹事 |
| | 太田　睦美 | 日本作業療法士協会　監事 |
| ◎ | 川越　雅弘 | 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科<br>兼研究開発センター　教授 |
| | 近藤　国嗣 | 日本リハビリテーション病院・施設協会　副会長 |
| ○ | 藤野　善久 | 産業医科大学産業生態科学研究所　教授 |
| | 樋口　丈明 | 民間介護事業推進委員会　代表委員 |
| | 松井　一人 | 日本理学療法士協会　理事 |
| | 松浦　正人 | 日本鍼灸師会　副会長 |
| | 武藤　岳人 | 全国老人福祉施設協議会<br>介護保険事業等経営委員会　デイサービスセンター部会<br>部会長 |

（◎は委員長、○は副委員長、敬称略、氏名五十音順）

調査検討委員会の開催日程、検討内容は下記の通り。

○第１回調査検討委員会
・開催日程　2019 年７月２日（火）
・検討内容　事業の概要、アンケート調査について

○第２回調査検討委員会
・開催日程　2020 年２月 20 日（木）
・検討内容　報告書について

## （２） アンケート調査

### １）調査対象

#### ①生活機能向上連携加算を算定している事業所・施設

2019 年３月時点で生活機能向上連携加算を算定している介護サービス事業所・施設。具体的な事業所・施設と調査対象数は以下の通り。

・通所介護事業所（地域密着型を含む）　1,142 事業所
・認知症対応型通所介護事業所　133 事業所
・短期入所生活介護事業所　167 事業所
・特定施設入居者生活介護事業所（地域密着型を含む）　265 事業所
・認知症対応型共同生活介護事業所　809 事業所
・介護老人福祉施設（地域密着型を含む）　462 施設提供
・訪問介護事業所　125 事業所
・小規模多機能型居宅介護事業所　183 事業所
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所　15 事業所

#### ②生活機能向上連携加算を算定している事業所・施設に関与したケアマネジャー、リハビリテーション事業所・医療提供施設

また上記の各事業所・施設が 2019 年９月１か月間に生活機能向上連携加算を算定した利用者について、最も多くの利用者のケアプランを作成したケアマネジャーおよび最も多くの利用者の算定に関与したリハビリテーション事業所・医療提供施設の管理者もしくは当該管理者から委任された者も調査対象とした。

#### ③生活機能向上連携加算を算定していない事業所・施設

2019 年３月時点で生活機能向上連携加算を算定していない介護サービス事業所・施設。具体的な事業所・施設と調査対象数は以下の通り。

・通所介護事業所（地域密着型を含む）　1,142 事業所
・認知症対応型通所介護事業所　133 事業所
・短期入所生活介護事業所　167 事業所
・特定施設入居者生活介護事業所（地域密着型を含む）　265 事業所
・認知症対応型共同生活介護事業所　809 事業所
・介護老人福祉施設（地域密着型を含む）　462 施設
・訪問介護事業所　125 事業所
・小規模多機能型居宅介護事業所　183 事業所
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所　698 事業所

### ④機能訓練指導員としてはり師・きゅう師を雇用している事業所・施設と雇用していない事業所・施設

2019 年 7 月時点で介護サービス情報公表システムで公表されている機能訓練指導員としてはり師・きゅう師を配置している介護サービス事業所・施設と配置していない介護サービス事業所・施設。具体的な事業所・施設と調査対象数は以下の通り。

・通所介護事業所（地域密着型を含む）　1,814 事業所
・認知症対応型通所介護事業所　40 事業所
・短期入所生活介護事業所　154 事業所
・特定施設入居者生活介護事業所（地域密着型を含む）　86 事業所
・介護老人福祉施設（地域密着型を含む）　174 施設

## 2）調査方法

1）の調査対象に自記式の紙の調査票を郵送で配布し、回答後に事務局に返送する。

調査時期は令和元年 11 月 6 日～令和 2 年 1 月 23 日（定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の加算算定事業所のみ 3 月 6 日まで）であった。

なお、生活機能向上連携加算を算定している事業所・施設と算定していない事業所・施設に対しては、事業所・施設に関する調査票とともに利用者票への回答を求めた。

各事業所・施設が利用者票の回答対象とすべき利用者を選定する方法については、令和元年 9 月における全ての利用者の中から誕生日の末尾の日にち等について、一定の条件※に該当する利用者を対象とすることとした。なお、この一定の条件に該当する利用者が 1 人以上存在した場合は利用者票の問 0 で調査対象区分 1 を選択してもらい、1 人も存在しない場合は調査対象区分 2 を選択してもらうこととし、両場合を区別できるようにした。

※一定の条件を作成する際の考え方：まず介護保険総合データベースに収録されている情報に基づき、通所介護から定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所までの 9 つのサービスにおける生活機能向上連携加算を算定している利用者数、算定していない利用者数に基づき、各事業所・施設で平均 2 人程度の利用者が選定されるようにするための利用者数全体に対する抽出率をサービス種別・算定有無別に設定した。次に、設定した抽出率（例えば、15:1）に基づき、該当する利用者を抽出する一定の条件（例えば、誕生日の末尾が「15 日」、「20 日」に該当する利用者）を設定した。

## 3）回収状況

回収状況は以下の通りである。

**図表 1　回収状況**

| | 調査対象 | | 母集団 | 抽出方法 ※1 | 発出数 | 回収数 | 回収率 | 有効回収率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生活機能向上連携加算に関する調査 | 通所介護事業所 | 算定 | 1142 | 悉皆 | 1142 | 427 | 37.4% | 37.2% |
| | | 非算定 | 40117 | 無作為抽出 | 1142 | 463 | 40.5% | 40.0% |
| | 認知症対応型通所介護事業所 | 算定 | 133 | 悉皆 | 133 | 58 | 43.6% | 42.9% |
| | | 非算定 | 3235 | 無作為抽出 | 133 | 57 | 42.9% | 39.8% |
| | 短期入所生活介護事業所 | 算定 | 167 | 悉皆 | 167 | 57 | 34.1% | 34.1% |
| | | 非算定 | 10209 | 無作為抽出 | 167 | 48 | 28.7% | 28.7% |
| | 特定施設入居者生活介護事業所 | 算定 | 265 | 悉皆 | 265 | 95 | 35.8% | 35.8% |
| | | 非算定 | 5287 | 無作為抽出 | 265 | 74 | 27.9% | 27.9% |
| | 認知症対応型共同生活介護事業所 | 算定 | 809 | 悉皆 | 809 | 351 | 43.4% | 43.3% |
| | | 非算定 | 12386 | 無作為抽出 | 809 | 315 | 38.9% | 38.8% |
| | 介護老人福祉施設 | 算定 | 462 | 悉皆 | 462 | 145 | 31.4% | 31.4% |
| | | 非算定 | 9611 | 無作為抽出 | 462 | 157 | 34.0% | 33.8% |
| | 訪問介護事業所 | 算定 | 125 | 悉皆 | 125 | 51 | 40.8% | 40.8% |
| | | 非算定 | 32624 | 無作為抽出 | 125 | 55 | 44.0% | 43.2% |
| | 小規模多機能型居宅介護事業所 | 算定 | 183 | 悉皆 | 183 | 55 | 30.1% | 29.0% |
| | | 非算定 | 5375 | 無作為抽出 | 183 | 65 | 35.5% | 34.4% |
| | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 | 算定 | 15 | 悉皆 | 15 | 7 | 46.7% | 46.7% |
| | | 非算定 | 698 | 悉皆 | 698 | 278 | 39.8% | 39.1% |
| | 利用者票 | 算定 | ※2 | ※2 | ※2 | 3141 | ※2 | ※2 |
| | | 非算定 | ※2 | ※2 | ※2 | 3369 | ※2 | ※2 |
| | ケアマネジャー票 | | ※3 | ※3 | 3301 | 1079 | 32.7% | 31.9% |
| | リハビリテーション事業所・医療提供施設票 | | ※3 | ※3 | 3301 | 1013 | 30.7% | 29.6% |
| 機能訓練指導員に関する調査 | 通所介護事業所、認知症対応型通所介護事業所、短期入所生活介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所、介護老人福祉施設 | | 60381 | ※4 | 2268 | 1051 | 46.3% | 46.1% |

（令和 2 年 1 月 23 日時点　但し定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の算定のみ 3 月 6 日時点）

※1　災害救助法の適用地域を除き抽出

※2　一定のロジックを使って介護サービス事業所に利用者を選定、回答してもらっているため、母集団、発出数は不明であり、これに伴い回収率、有効回収率も不明である。

※3　介護サービス事業所にケアマネジャー、リハビリテーション事業所・医療提供施設を選定、依頼してもらっているため、母集団は不明である。

※4　サービス種別ごとに、機能訓練指導員としてはり師・きゅう師を配置している事業所・施設を悉皆で抽出し、またこれと同数となるよう配置していない事業所・施設を無作為抽出により抽出した。

## （３） 介護保険総合データベース任意集計調査

### １）集計対象

介護保険総合データベースに審査年月が令和元年 11 月かつ令和元年 10 月にサービス提供があり、請求実績のある事業所・施設

集計対象サービスは、生活機能向上連携加算の算定対象である以下とした。

・通所介護事業所（地域密着型を含む）
・認知症対応型通所介護事業所
・短期入所生活介護事業所
・特定施設入居者生活介護事業所（地域密着型を含む）
・認知症対応型共同生活介護事業所
・介護老人福祉施設（地域密着型を含む）
・訪問介護事業所
・小規模多機能型居宅介護事業所
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所

### ２）集計項目

・サービス種別の事業所・施設数全体
・算定・非算定事業所数およびそれらの事業所・施設数に対する構成割合
・都道府県別の算定・非算定事業所数およびそれらの事業所・施設数に対する構成割合
・法人種別の算定・非算定事業所数およびそれらの事業所・施設数に対する構成割合

## （４） ヒアリング調査

平成 30 年度に行われた生活機能向上連携加算の見直しの効果として、加算を算定している事業所・施設において個別援助計画・ケアプランにどのような変化が現れたのか等、アンケート調査及び介護データベースからは把握できない変化を把握するとともに、加算算定による連携に携わっていないリハビリテーション事業所から加算算定のための課題や阻害要因等について把握することを目的として行った。

### １）調査対象

生活機能向上連携加算を算定している通所介護事業所２事業所、訪問介護事業所２事業所及び加算算定にあたり関与、連携したケアマネジャー、連携先となるリハビリテーション事業所・医療提供施設の３者※に対してヒアリング調査を実施した。

※但し、調査対象先の都合により３者に調査を行っていない場合もある

また、加算算定による連携に携わっていないリハビリテーション事業所、２事業所に対してヒアリング調査を実施した。

## ２）調査方法

調査事務局の調査員 1～2 人が調査対象を訪問する実地調査により行うことを基本としたが、場合により電話によるヒアリングも行った。

調査時期は令和２年２月５日～令和２年２月 25 日であった。

## ３）主な調査項目

### ①介護サービス事業所

・調査対象の基本属性
・リハビリテーション事業所・施設（以下、連携先）と連携を行うこととなったきっかけ、連携先への依頼方法・手続き
・連携先との関係性
・リハビリテーション職や医師の助言による個別援助計画、ケアプラン、サービス計画の内容の変化
・利用者への効果や機能訓練の実施方法への影響
・事業所・施設の経営面への影響
・ICT 活用の有無、効果　※訪問介護事業所のみ
・連携先と連携する際に課題となった点、連携をより促進するために検討すべき事項

### ②ケアマネジャー

・調査対象の基本属性
・介護サービス事業所との関係性
・リハビリテーション職や医師の助言による個別援助計画、ケアプラン、サービス計画の内容の変化
・利用者への効果や機能訓練の実施方法への影響
・ICT 活用の有無、効果
・連携先と連携する際に課題となった点、連携をより促進するために検討すべき事項

### ③連携先（リハビリテーション専門職や医師）

・調査対象の基本属性
・リハビリテーション事業所・施設（以下、連携先）と連携を行うこととなったきっかけ、連携先への依頼方法・手続き
・事業所、ケアマネジャーとの関係性
・専門職として助言した事による個別援助計画、ケアプラン、サービス計画の内容の変化
・利用者への効果や機能訓練の実施方法への影響
・所属組織の経営面への影響
・ICT 活用の有無、効果
・連携する際に課題となった点、より連携を促進するために検討できること

# 第２章　アンケート調査結果

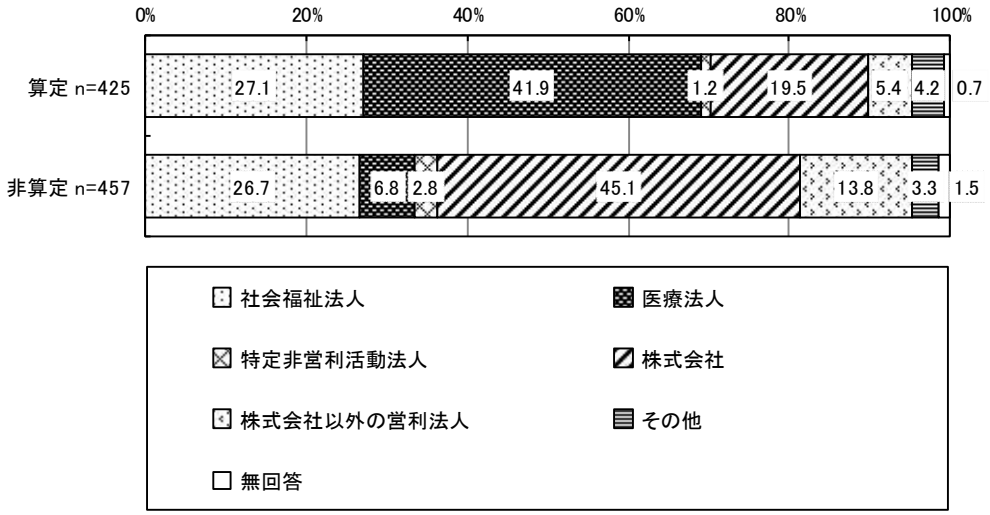
## １．事業所・施設に対する調査結果

### （１） 通所介護

### Ⅰ．事業所・施設の基本属性

#### ア） 法人種別（問 1-1）

図表 2　法人種別

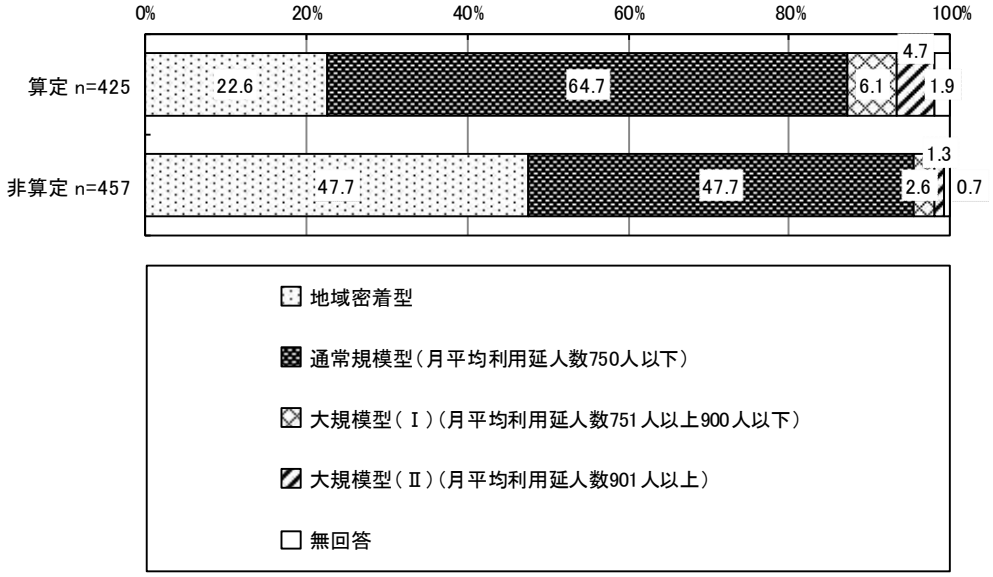



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）一般社団法人
・（算定）生活協同組合
・（非算定）生活協同組合

## イ） 種類・施設区分（問 1-2）

**図表 3　種類・施設区分**




## ウ） 定員数（問 1-3）

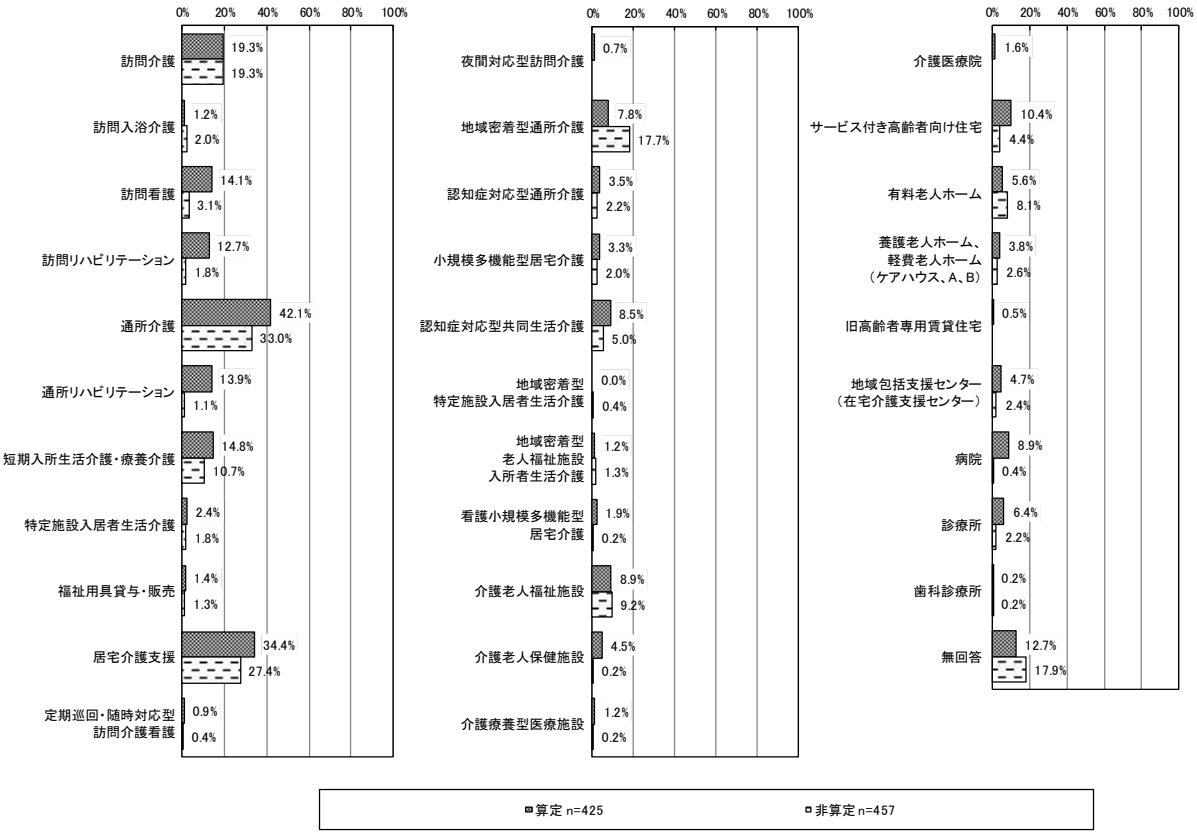
**図表 4　定員数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=190 | 29.4 | 13.4 | 27.5 | 85 | 10 |
| 非算定 n=218 | 20.7 | 9.6 | 18.0 | 50 | 8 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 5　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 6　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=418 | 63.9 | 75.6 | 50 | 748 | 5 |
| | 非算定 n=451 | 48.8 | 74.9 | 32 | 620 | 2 |
| 要介護1 | 算定 n=418 | 23.0 | 22.4 | 18 | 220 | 0 |
| | 非算定 n=451 | 18.8 | 34.4 | 12 | 350 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=418 | 20.4 | 26.5 | 15 | 290 | 0 |
| | 非算定 n=451 | 15.2 | 26.7 | 10 | 287 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=418 | 11.1 | 18.3 | 8 | 180 | 0 |
| | 非算定 n=451 | 8.1 | 13.6 | 5 | 171 | 0 |
| 要介護4 | 算定 n=418 | 6.0 | 10.6 | 4 | 170 | 0 |
| | 非算定 n=451 | 4.5 | 10.0 | 2 | 143 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=418 | 3.3 | 7.2 | 2 | 94 | 0 |
| | 非算定 n=451 | 2.1 | 3.5 | 1 | 26 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=418 | 0.2 | 0.6 | 0 | 5 | 0 |
| | 非算定 n=451 | 0.1 | 0.8 | 0 | 15 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 7　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=257 | 50.5 | 32.8 | 44 | 1 | 292 |
| | 非算定 n=266 | 36.9 | 38.3 | 30 | 1 | 466 |
| 自立 | 算定 n=257 | 9.8 | 15.2 | 5 | 0 | 140 |
| | 非算定 n=266 | 5.6 | 9.0 | 2 | 0 | 64 |
| Ⅰ | 算定 n=257 | 11.5 | 12.0 | 9 | 0 | 130 |
| | 非算定 n=266 | 8.2 | 11.3 | 5 | 0 | 109 |
| Ⅱa | 算定 n=257 | 8.7 | 7.1 | 7 | 0 | 54 |
| | 非算定 n=266 | 6.6 | 7.7 | 5 | 0 | 90 |
| Ⅱb | 算定 n=257 | 9.9 | 7.7 | 8 | 0 | 48 |
| | 非算定 n=266 | 7.8 | 12.6 | 6 | 0 | 180 |
| Ⅲa | 算定 n=257 | 6.4 | 5.5 | 5 | 0 | 32 |
| | 非算定 n=266 | 5.4 | 14.1 | 3 | 0 | 211 |
| Ⅲb | 算定 n=257 | 1.8 | 2.4 | 1 | 0 | 15 |
| | 非算定 n=266 | 1.7 | 5.0 | 1 | 0 | 75 |
| Ⅳ | 算定 n=257 | 1.8 | 2.6 | 1 | 0 | 22 |
| | 非算定 n=266 | 1.4 | 2.8 | 0 | 0 | 25 |
| M | 算定 n=257 | 0.6 | 1.8 | 0 | 0 | 16 |
| | 非算定 n=266 | 0.3 | 1.0 | 0 | 0 | 8 |

## キ） 職員数（問 1-7）

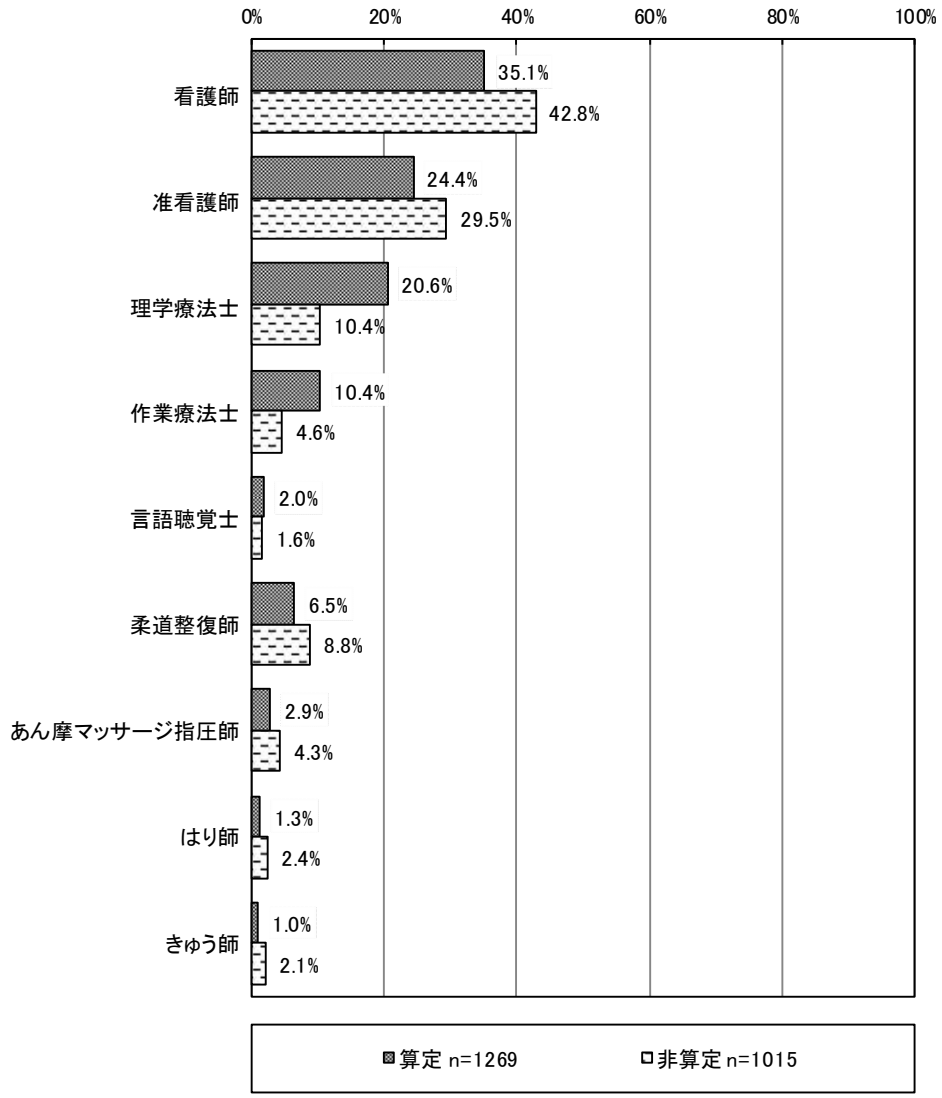
**図表 8　職員数**

（単位:人）

| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=424 | 1.0 | 0.2 | 1 | 1 | 0 |
| | | 非算定 n=453 | 1.0 | 0.2 | 1 | 2 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=393 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=436 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 生活相談員 | 常勤職員 | 算定 n=424 | 1.9 | 1.0 | 2 | 5 | 0 |
| | | 非算定 n=453 | 1.6 | 1.0 | 1 | 6 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=393 | 0.3 | 0.7 | 0.0 | 8.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=436 | 0.4 | 1.0 | 0.0 | 15.0 | 0.0 |
| 看護職員 | 常勤職員 | 算定 n=424 | 0.8 | 1.0 | 1 | 6 | 0 |
| | | 非算定 n=453 | 0.6 | 0.8 | 0 | 4 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=393 | 1.0 | 1.1 | 0.8 | 6.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=436 | 0.9 | 1.0 | 0.7 | 6.0 | 0.0 |
| 介護職員 | 常勤職員 | 算定 n=424 | 4.6 | 3.6 | 4 | 38 | 0 |
| | | 非算定 n=453 | 2.8 | 2.5 | 2 | 14 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=393 | 2.4 | 2.5 | 1.8 | 16.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=436 | 2.5 | 2.7 | 1.9 | 27.0 | 0.0 |
| 機能訓練指導員 | 常勤職員 | 算定 n=424 | 1.3 | 1.5 | 1 | 20 | 0 |
| | | 非算定 n=453 | 0.7 | 0.9 | 0 | 4 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=393 | 0.8 | 1.0 | 0.5 | 6.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=436 | 0.8 | 1.6 | 0.4 | 27.0 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=424 | 0.3 | 1.2 | 0 | 20 | 0 |
| | | 非算定 n=453 | 0.2 | 0.7 | 0 | 7 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=393 | 0.7 | 1.2 | 0.0 | 9.2 | 0.0 |
| | | 非算定 n=436 | 0.6 | 1.4 | 0.0 | 15.0 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=424 | 9.8 | 5.6 | 9 | 52 | 1 |
| | | 非算定 n=453 | 6.9 | 4.2 | 6 | 24 | 1 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=393 | 5.3 | 4.4 | 4.0 | 30.0 | 0.1 |
| | | 非算定 n=436 | 5.2 | 5.4 | 3.8 | 66.0 | 0.2 |

## ク） 機能訓練指導員の保有する資格（問 1-8）

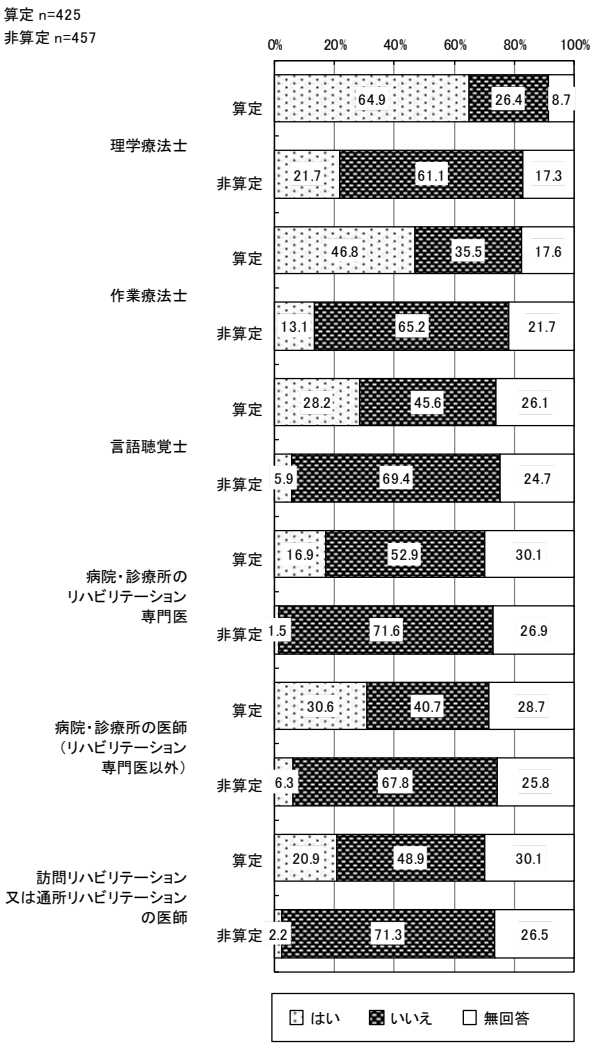
**図表 9　機能訓練指導員の保有する資格（機能訓練指導員の存在する事業所のみの集計結果）**



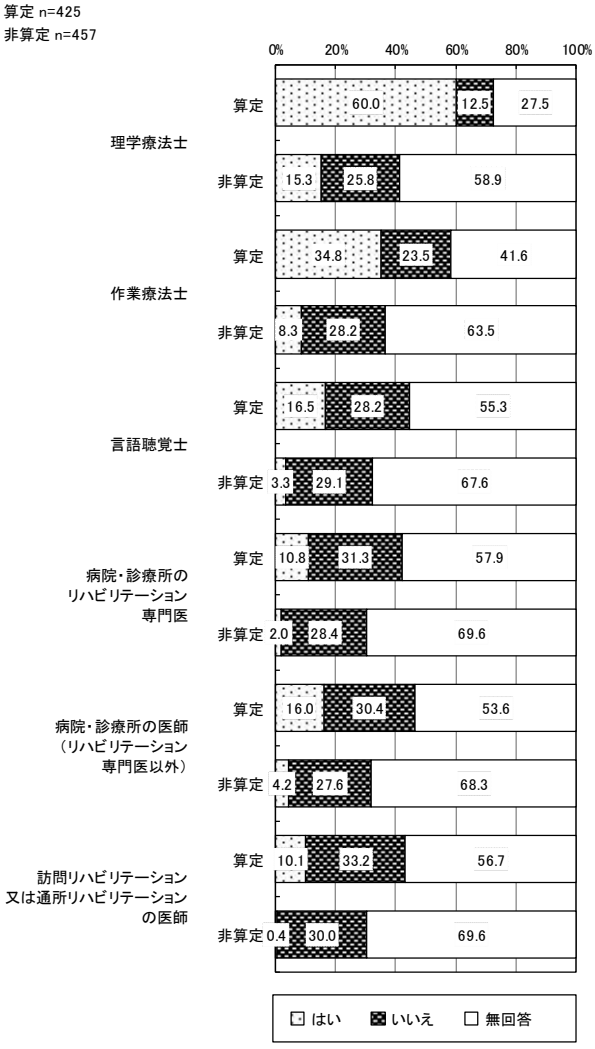

注：分母を機能訓練指導員が存在する事業所数、分子を各資格について回答のあった事業所数とし、算出した。

## ケ） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-9）

**図表 10　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか**

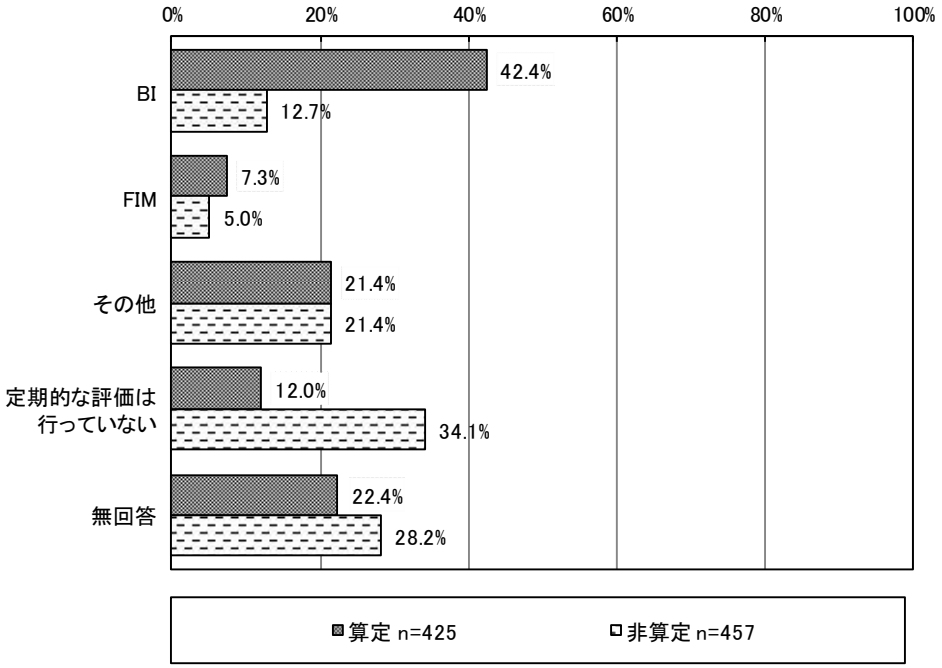



**図表 11　助言を行っているか**



## コ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-10）

**図表 12　利用者の ADL・IADL の評価の指標**



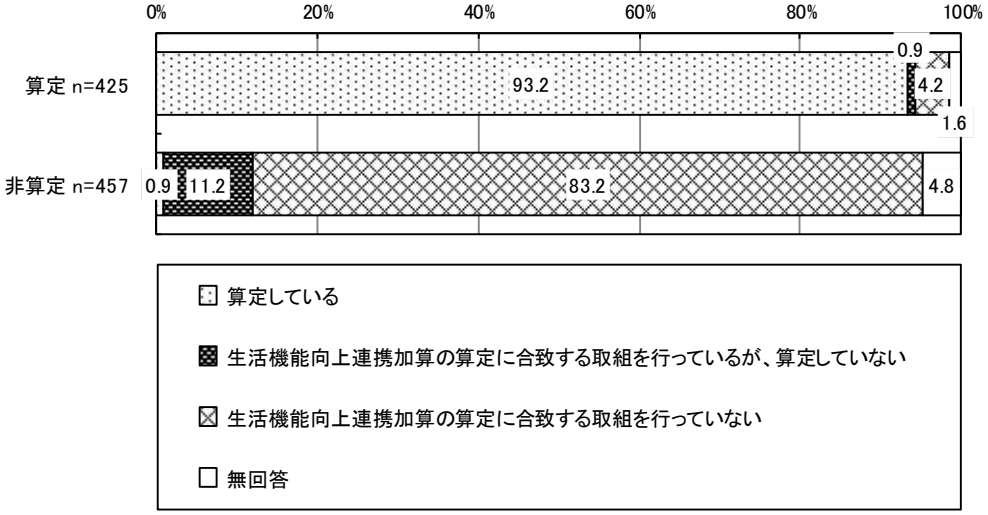

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

- （算定）体力測定の結果
- （算定）機能訓練評価の結果
- （非算定）体力測定の結果
- （非算定）機能測定の結果

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1）

**図表 13　生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組**




**図表 14　利用者の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=351 | 46.8 | 45.0 | 39.0 | 451 | 1 |
| 非算定 n=2 | 27.5 | 11.5 | 27.5 | 39 | 16 |

**図表 15　連携したリハ専門職等の実人数**

（単位：人）

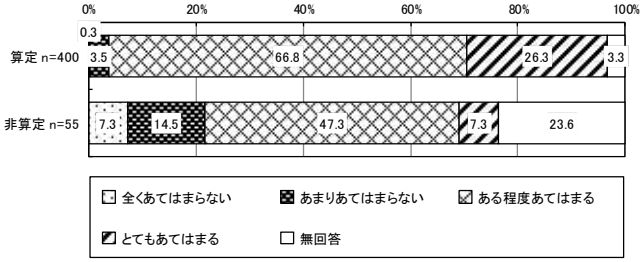
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=346 | 2.5 | 5.3 | 1.0 | 73 | 0 |
| 非算定 n=3 | 2.0 | 0.8 | 2.0 | 3 | 1 |

## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

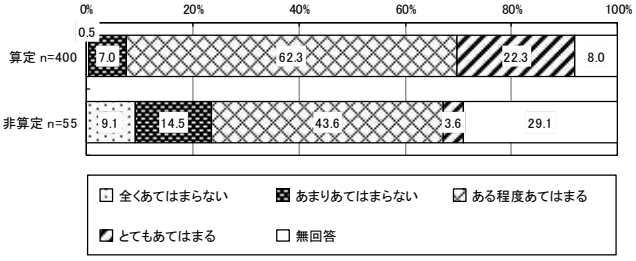
**図表 16　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット**

**１）専門的な視点を踏まえ質の高い個別機能訓練計画を作成できた**

**①要介護 1、2 の利用者**

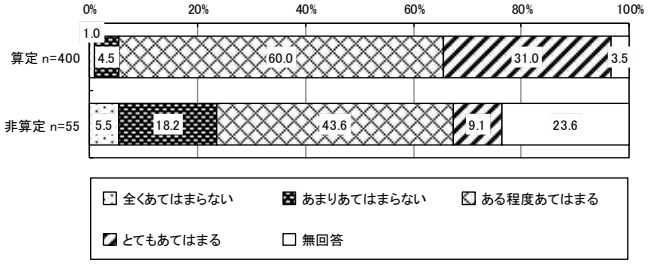



**②要介護 3～5 の利用者**

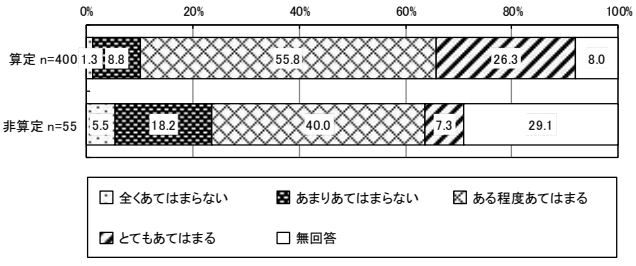



**２）専門的な視点を踏まえた計画であるため、利用者に対し何故機能訓練を行うのかを自信を持って説明できるようになった**

**①要介護 1、2 の利用者**

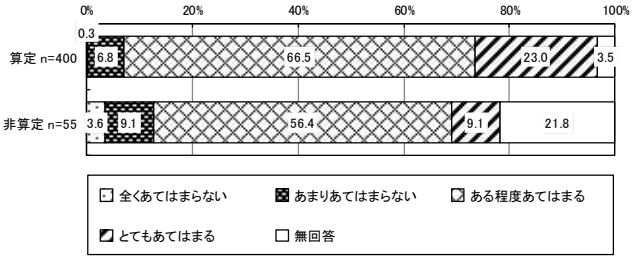



**②要介護 3～5 の利用者**

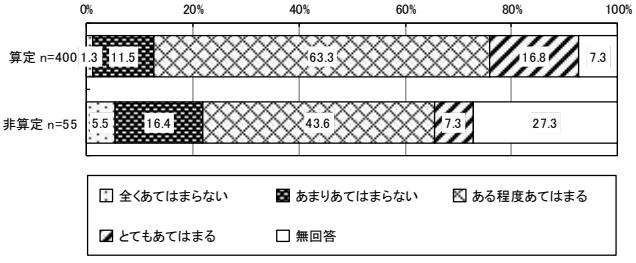



**３）利用者の身体機能の維持・向上につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

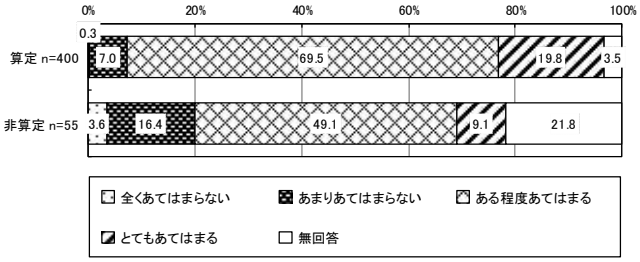



**②要介護 3～5 の利用者**

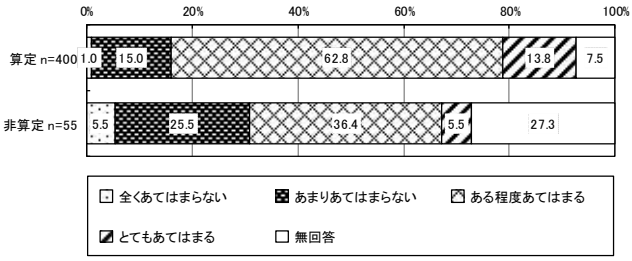


### 4）利用者の ADL や IADL の維持・向上につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

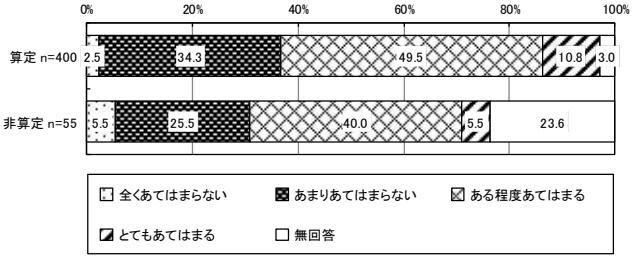



#### ②要介護 3～5 の利用者

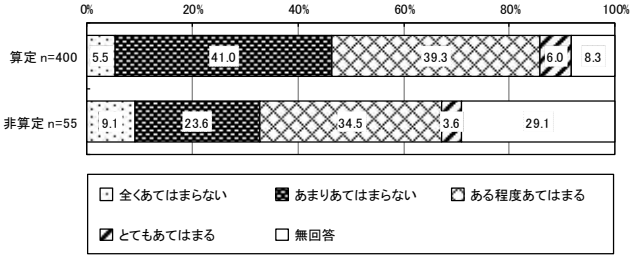



### 5）利用者本人の役割の再獲得や社会参加につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

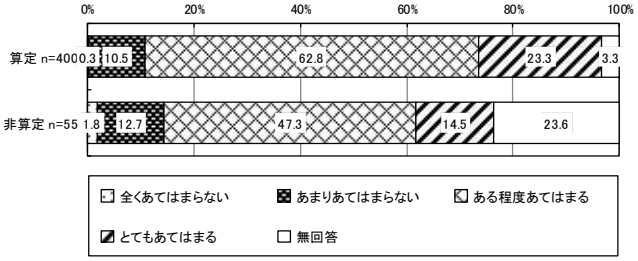



#### ②要介護 3～5 の利用者

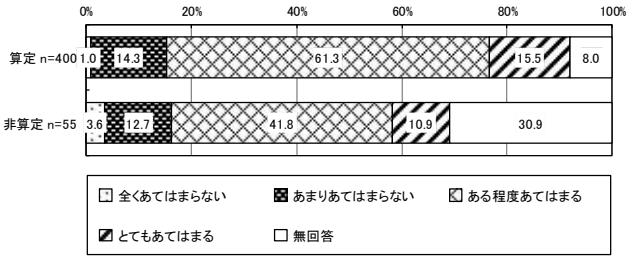



### 6）利用者の重度化防止につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

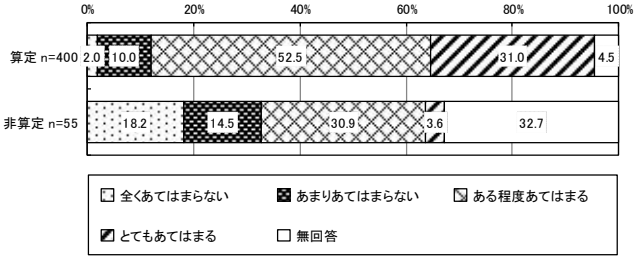



#### ②要介護 3～5 の利用者

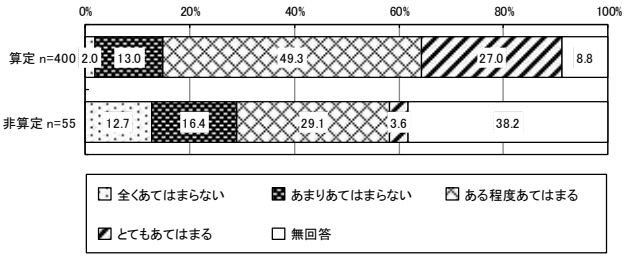



### 7）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで利用者の安心につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

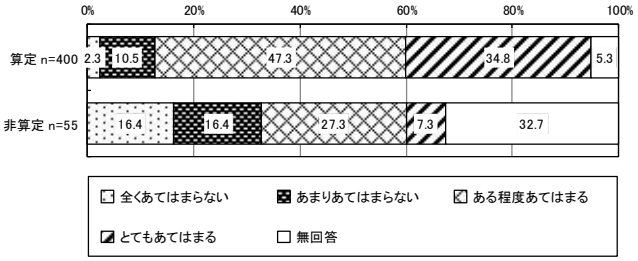



#### ②要介護 3～5 の利用者

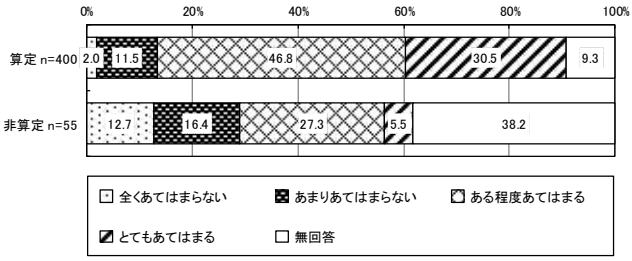


**８）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで介護職員等の安心につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

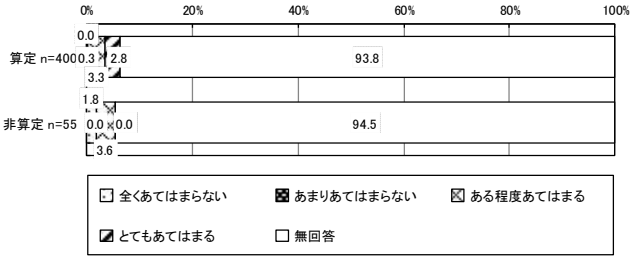



**②要介護 3～5 の利用者**

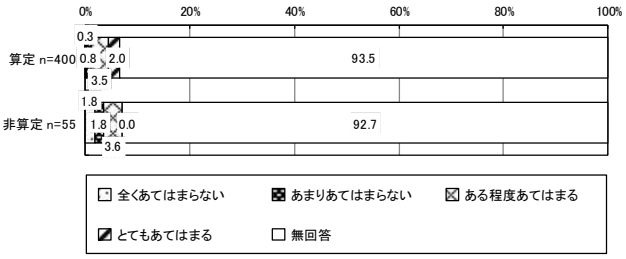



**９）その他**

**①要介護 1、2 の利用者**




**②要介護 3～5 の利用者**




①要介護 1、2 の利用者

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）法人の連携強化に繋がっている

・（算定）リハビリをする意義の認識ができた

②要介護 3～5 の利用者

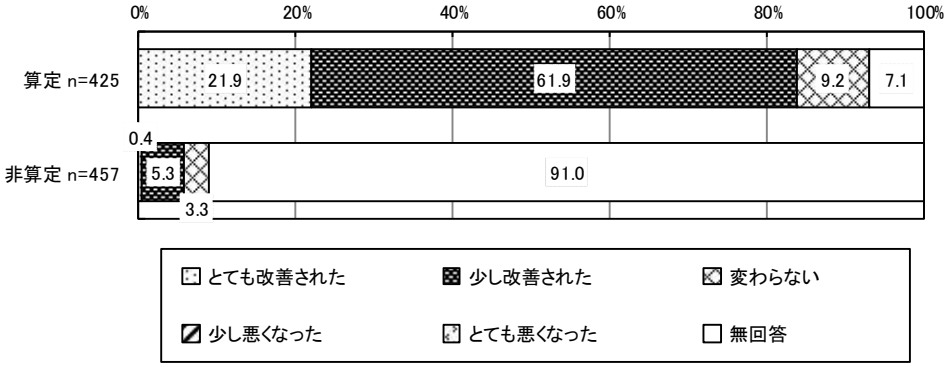
※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）法人の連携強化に繋がっている

・（算定）リハビリをする意義の認識ができた

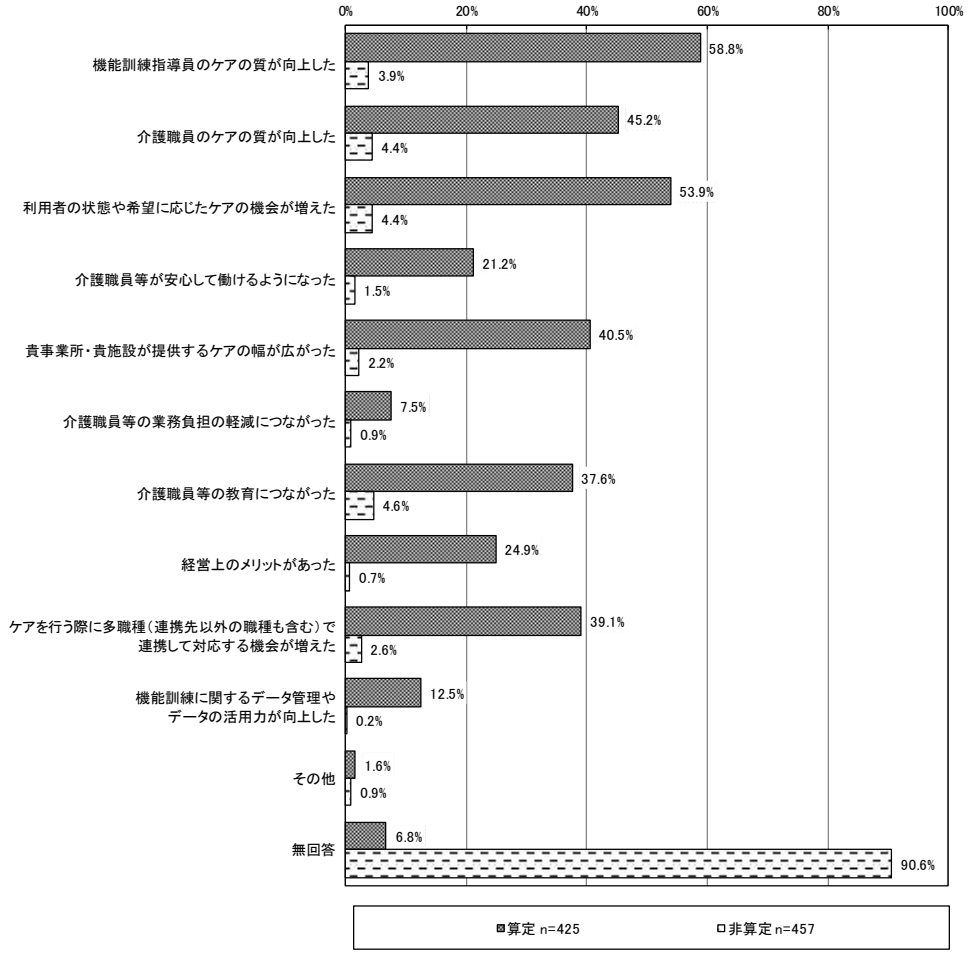
## ウ） 個別機能訓練計画の改善状況（問 2-3）

**図表 17　個別機能訓練計画の改善状況**




## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 18　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

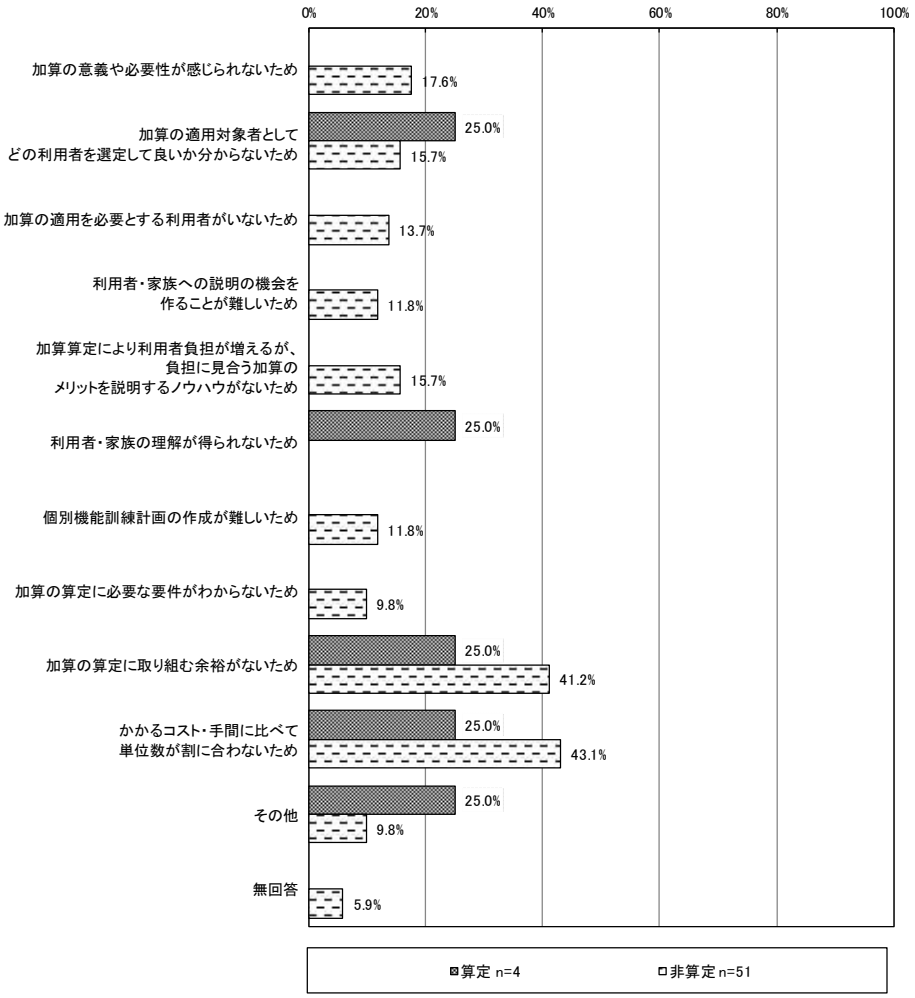
**図表 19　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額**

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=296 | 20317.0 | 50456.6 | 4528 | 450000 | 0 |
| 非算定 n=3 | 7800.0 | 11030.9 | 0 | 23400 | 0 |

## カ） 取組を行っているが､生活機能向上連携加算を算定しない理由(問 2-6)

**図表 20　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**

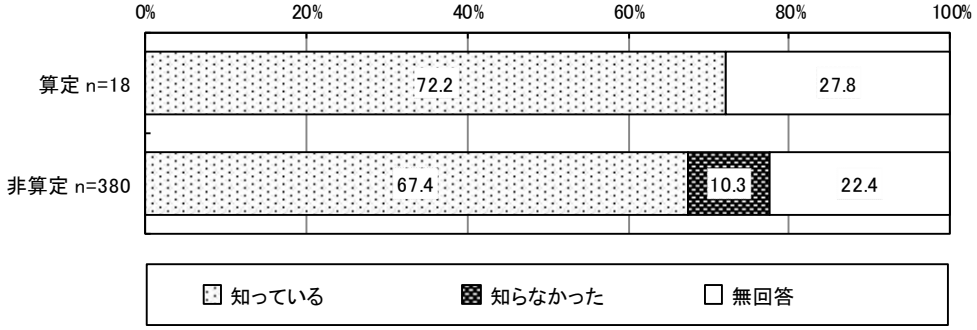



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・(非算定）加算を取ることで、利用限度単位数をオーバーしてしまう利用者がいるため

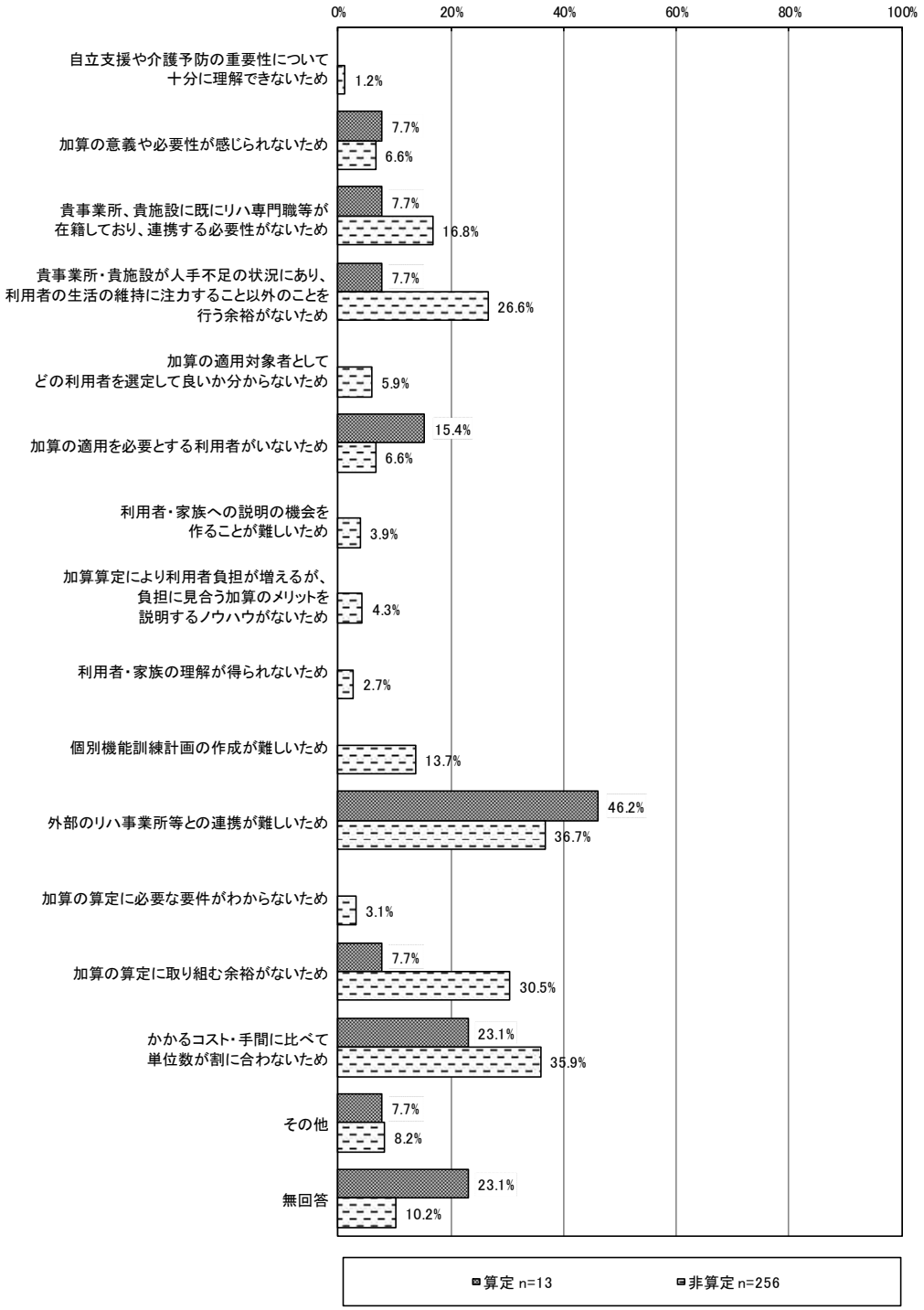
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

**図表 21　生活機能向上連携加算を知っているか**



## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

**図表 22　加算を算定していない理由**



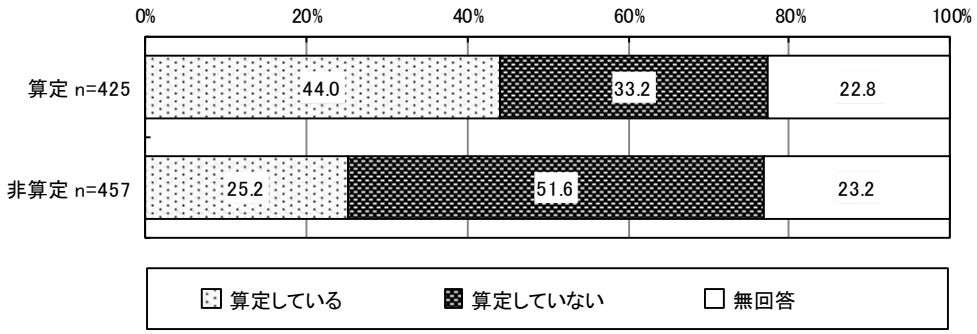

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（非算定）本社の決定に従っているため

・（非算定）訪問リハビリ、通所リハビリの事業所とは別の理学療法士と連携しているため

## ケ） 個別機能訓練加算の算定有無及び算定回数、利用者実人数（問 2-9）

**図表 23　算定有無 個別機能訓練加算(Ⅰ)**




**図表 24　算定回数 個別機能訓練加算(Ⅰ)**

（単位:回）

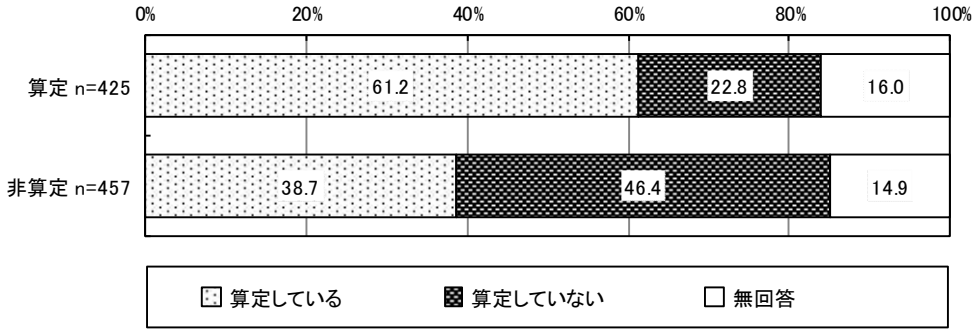
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=152 | 439.2 | 843.1 | 351.0 | 10160 | 0 |
| 非算定 n=86 | 298.6 | 250.8 | 251.5 | 920 | 6 |

**図表 25　利用者の実人数 個別機能訓練加算(Ⅰ)**

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=170 | 83.1 | 130.3 | 52.0 | 1095 | 0 |
| 非算定 n=97 | 83.8 | 147.1 | 41.0 | 950 | 5 |

## 図表 26　算定有無 個別機能訓練加算(Ⅱ)




## 図表 27　算定回数 個別機能訓練加算(Ⅱ)

（単位:回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=217 | 359.3 | 395.1 | 306.0 | 4920 | 1 |
| 非算定 n=131 | 241.8 | 194.1 | 192.0 | 898 | 1 |

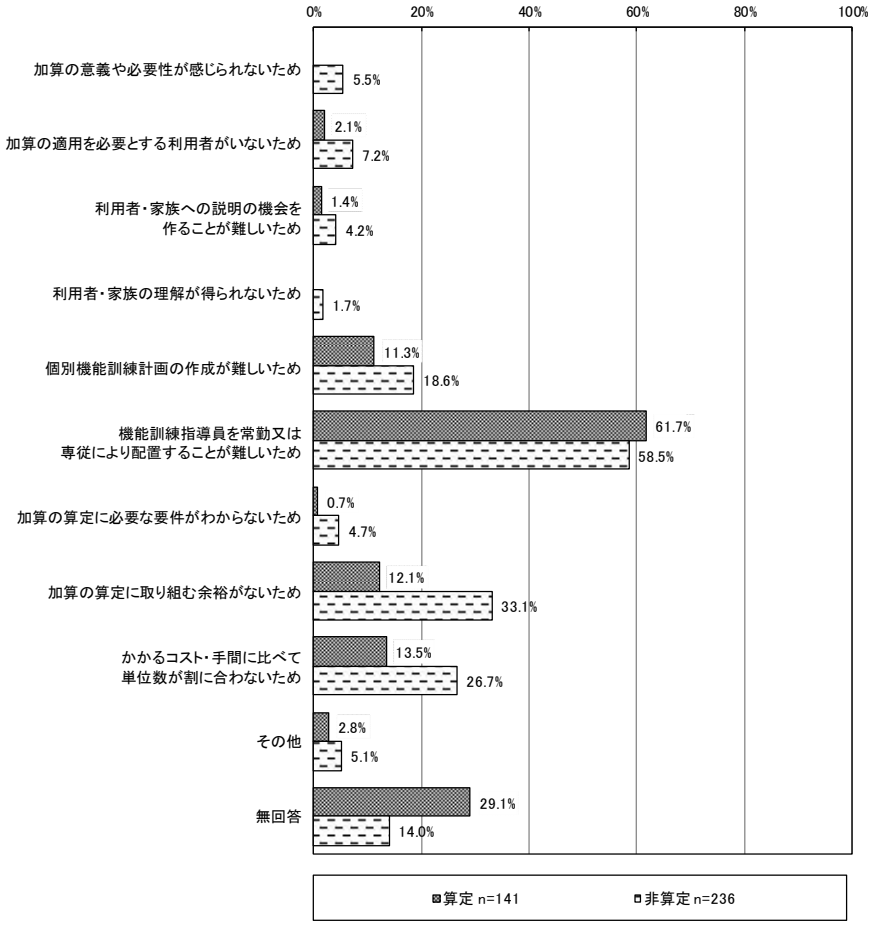
## 図表 28　利用者の実人数 個別機能訓練加算(Ⅱ)

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=236 | 63.8 | 107.8 | 45.0 | 1095 | 1 |
| 非算定 n=149 | 52.6 | 105.9 | 32.0 | 950 | 1 |

## コ） 個別機能訓練加算を算定しない理由（問 2-10）

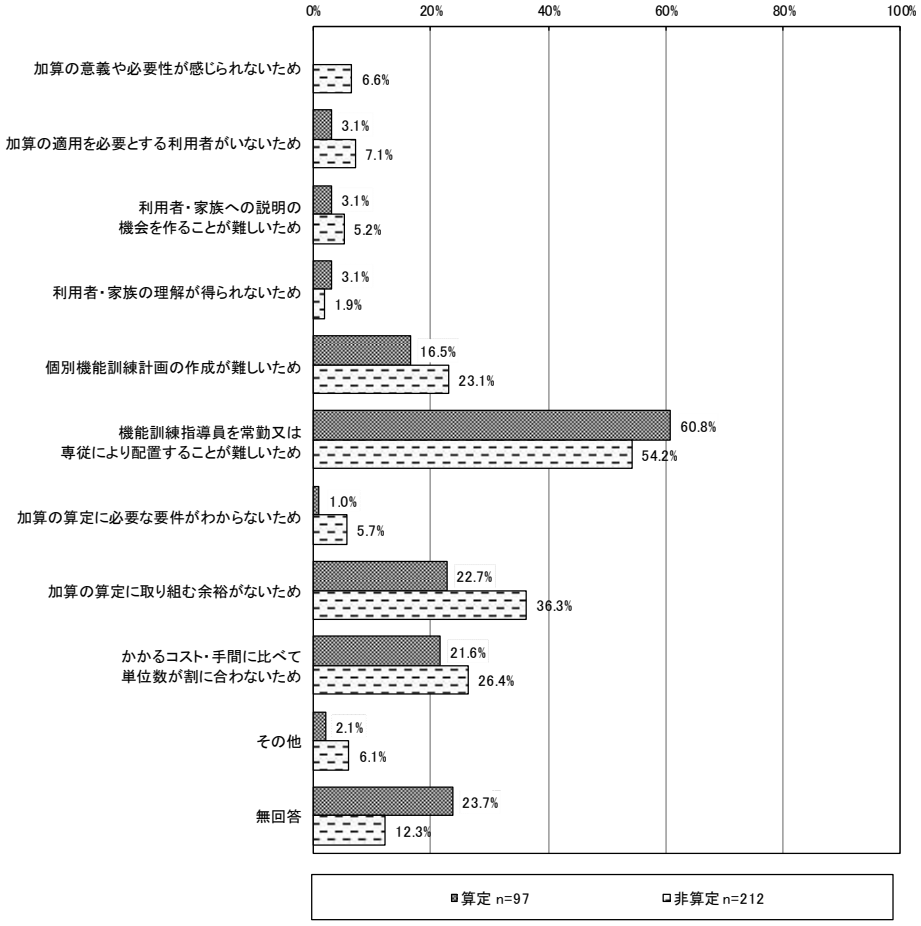
**図表 29　個別機能訓練加算（Ⅰ）を算定しない理由**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）法人全体の決定に従うため

**図表 30　個別機能訓練加算(Ⅱ)を算定しない理由**



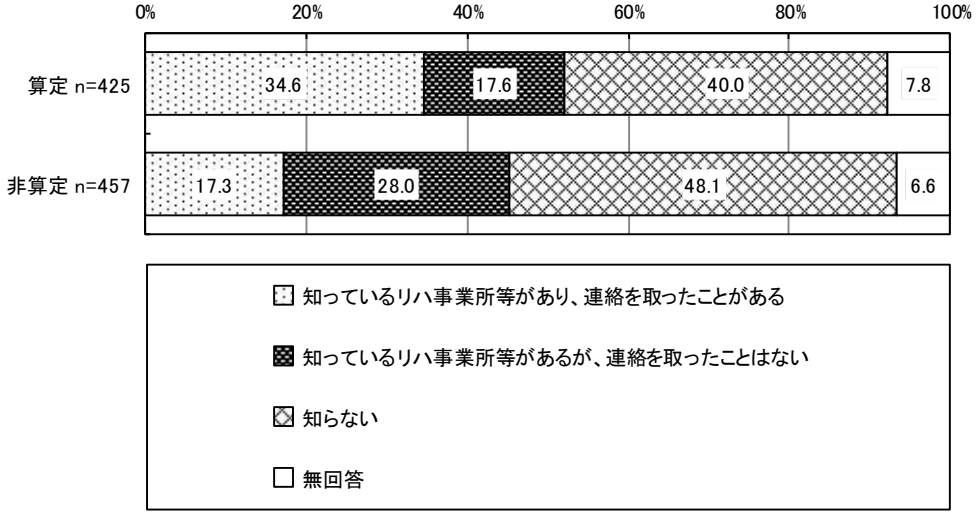

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。(算定は有効な回答無し)

・(非算定) 法人全体の決定に従うため

## Ⅲ．外部との連携状況

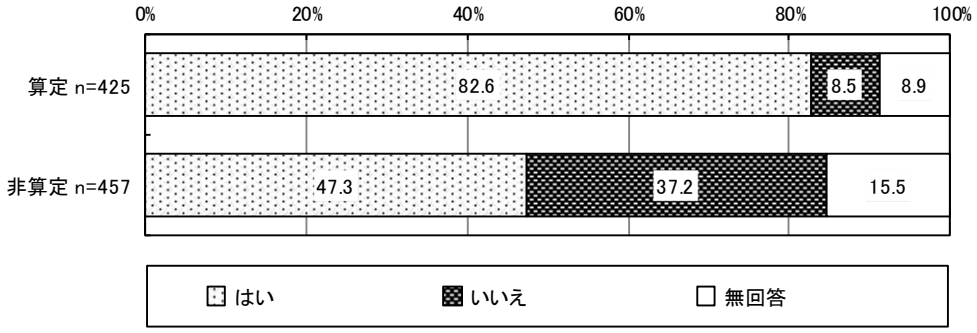
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 31　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



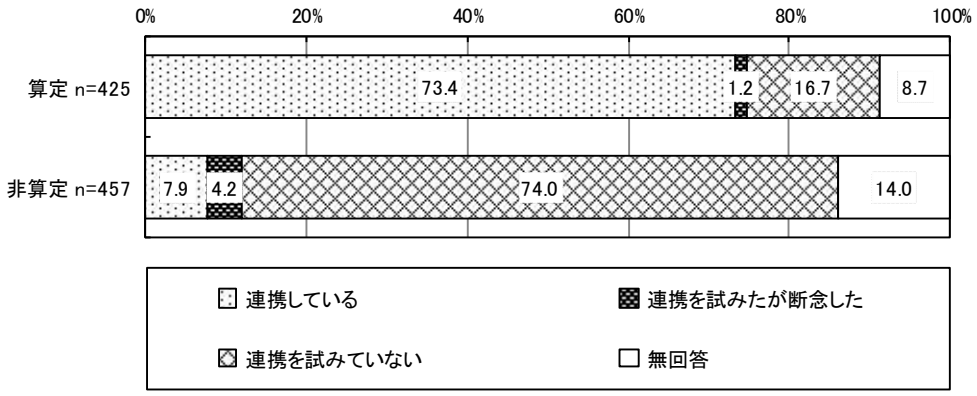

### イ） 個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 32　個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価を行っているか**



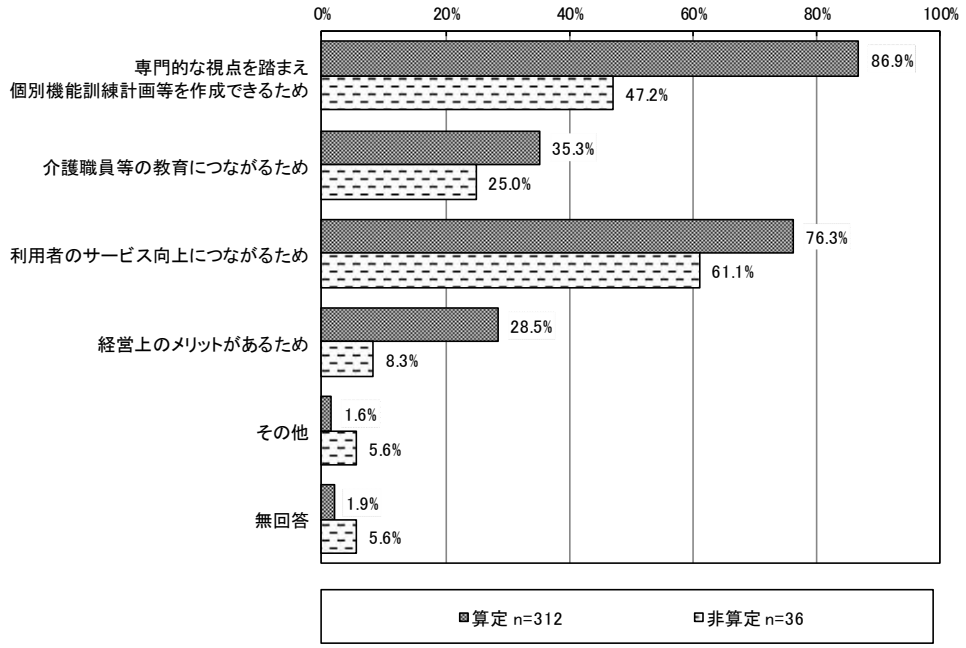
## ウ） 個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 33　個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 34　連携している理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

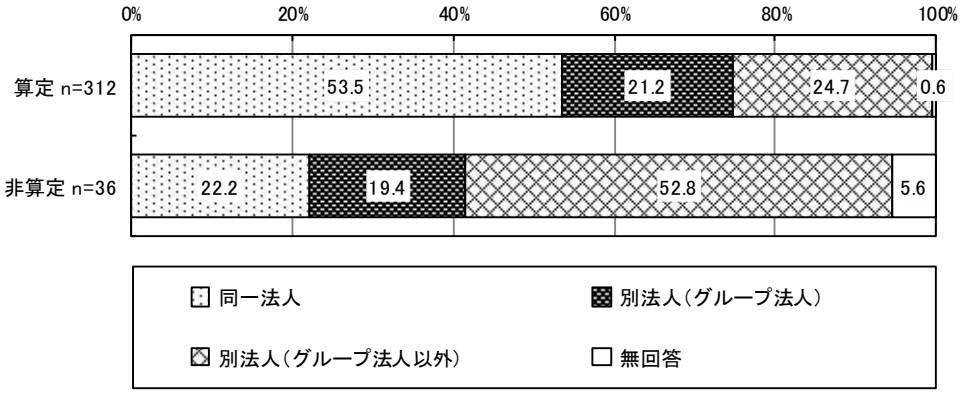
**図表 35　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位：件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=266 | 2.1 | 6.4 | 1 | 64 | 0 |
| 非算定 n=25 | 1.8 | 2.3 | 1 | 12 | 1 |

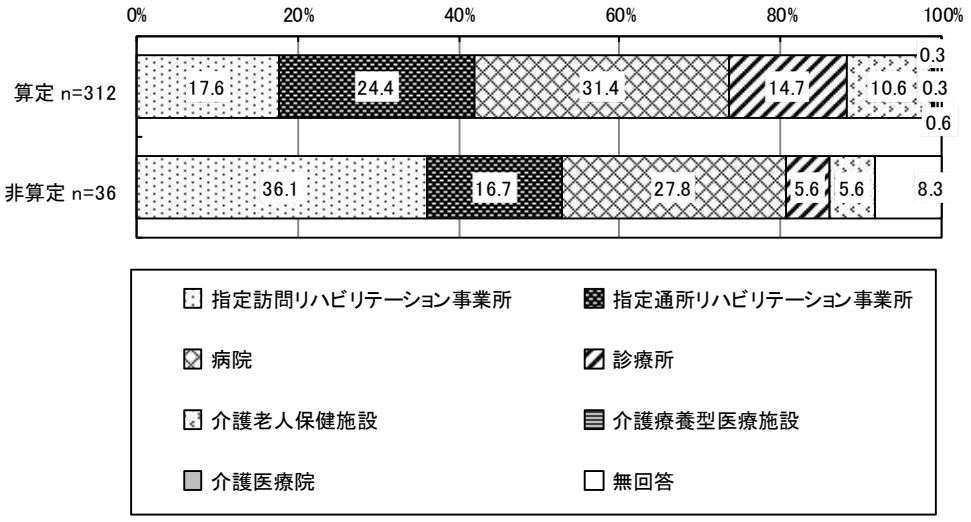
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 36　連携先は同一法人内か否か**



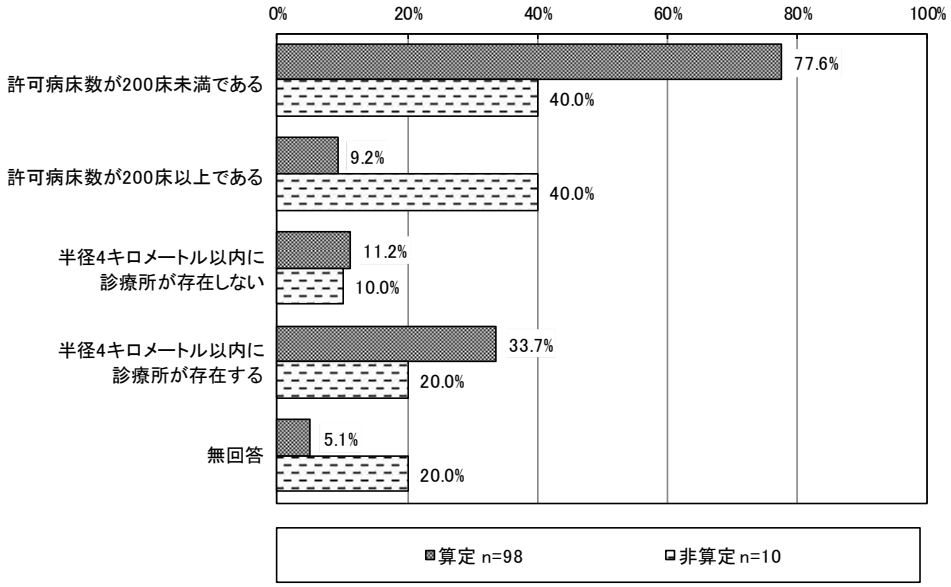

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 37　連携先となる事業所・施設**



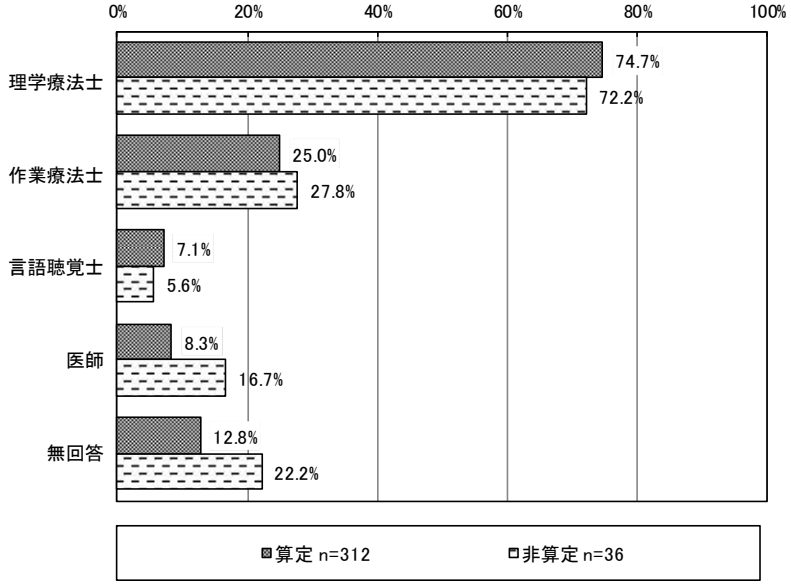
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 38　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



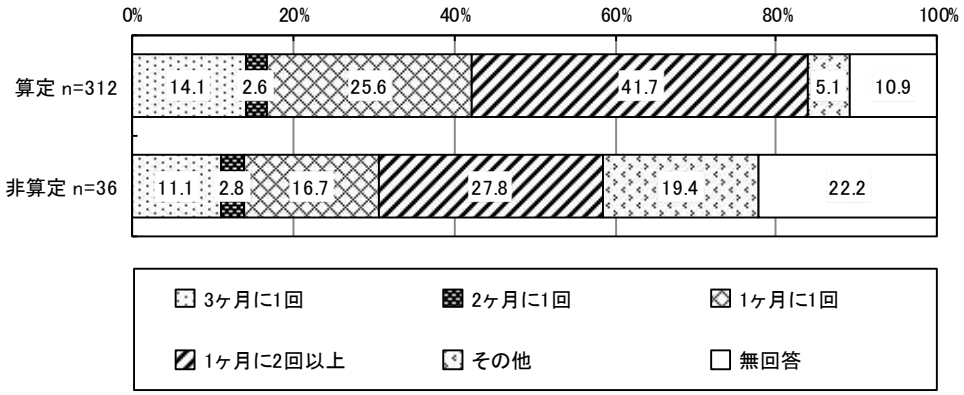

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 39　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

**図表 40　連携先による訪問頻度**



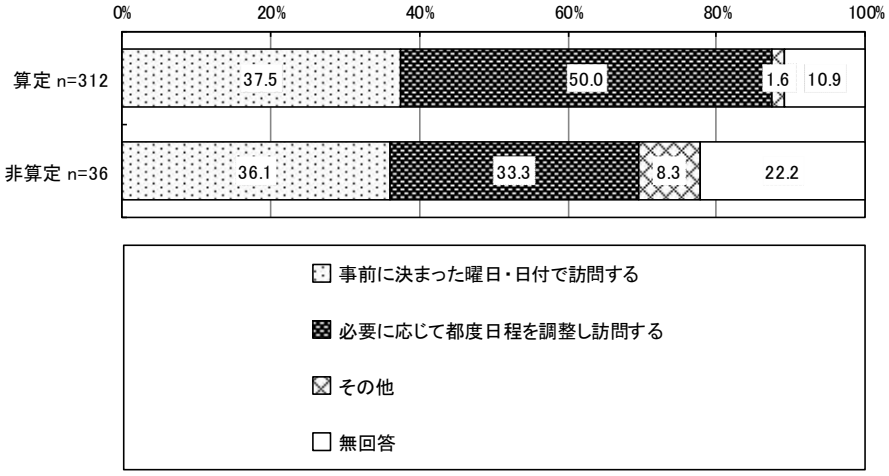

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）利用者の評価毎に訪問

・（非算定）決まっていない。

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

**図表 41　訪問日時は決められているか**



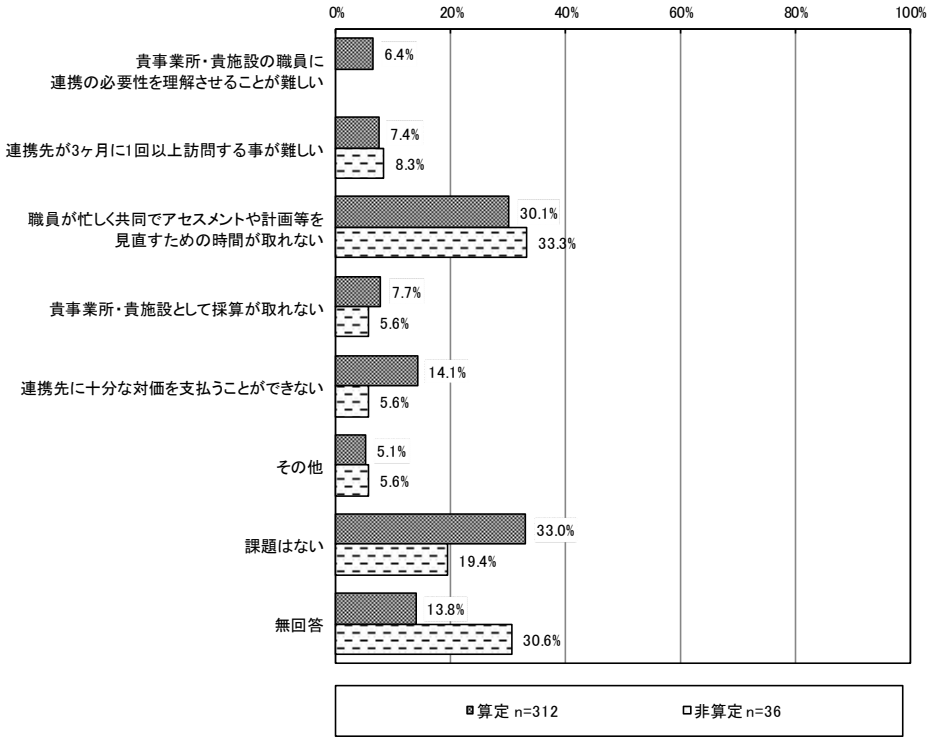

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）時間のみ決まっている。

・（非算定）決まっていない。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

**図表 42　連携先と連携を継続する上での課題**



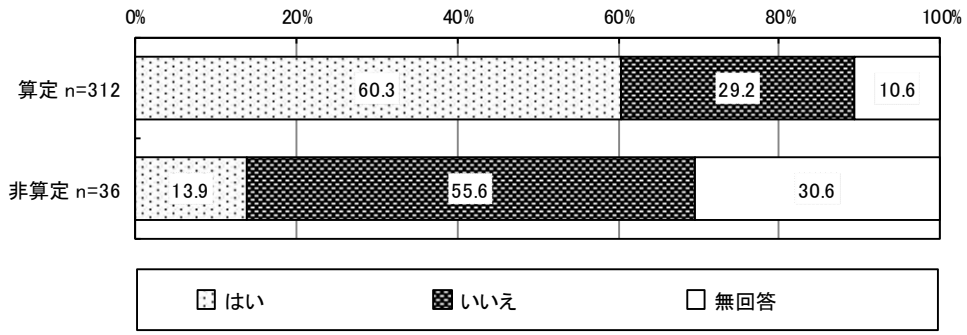

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）連携先との日程調整。

・（算定）効果が実感し辛い。

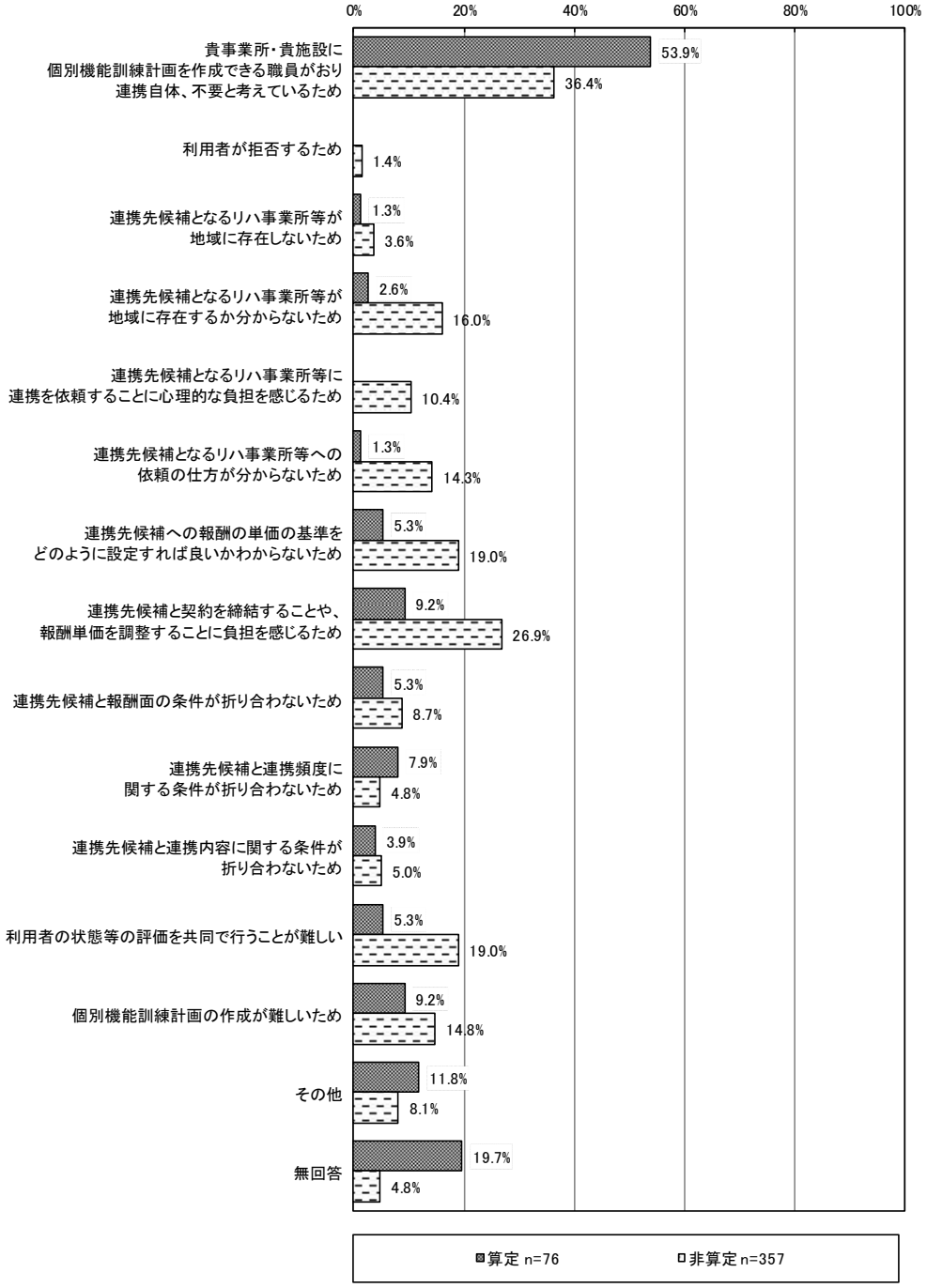
## ス） 連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 43　連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

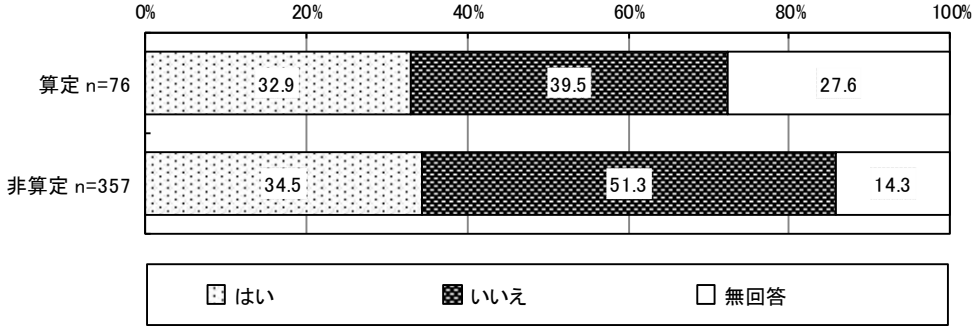
**図表 44　連携していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

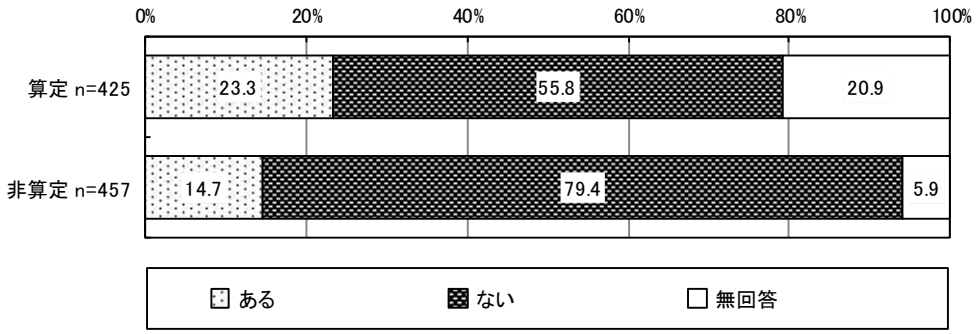
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 45　連携の必要性を感じているか**



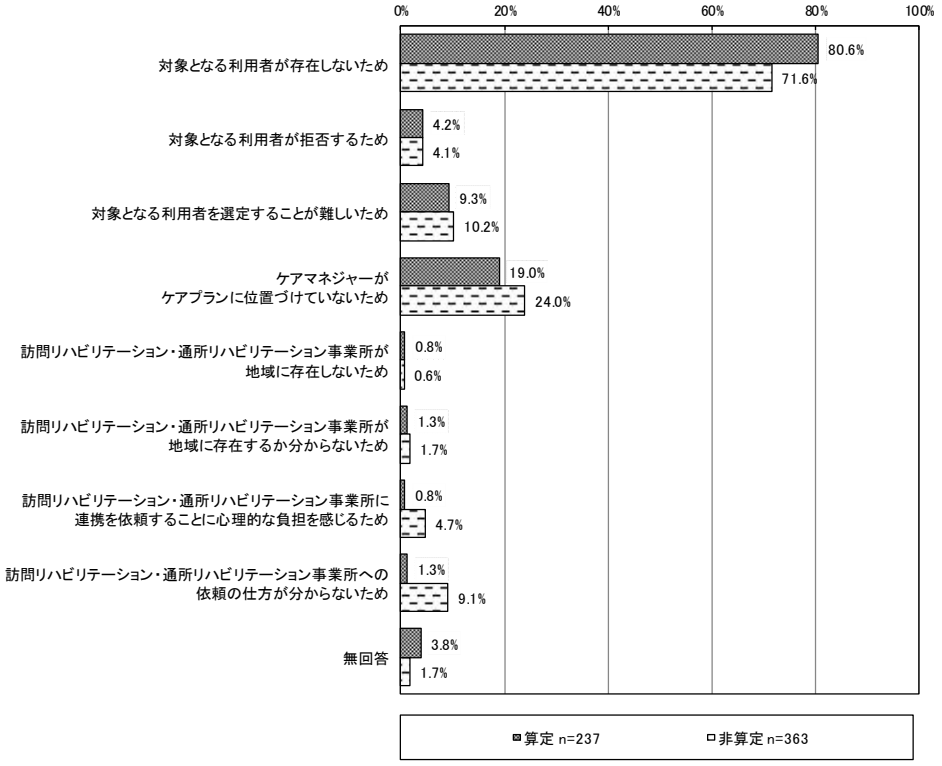

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 46　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

### 図表 47　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 48 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=367 | 24.8 | 41.1 | 40.1 | 33.5 | 16.6 | 60.2 | 79.8 | 57.8 | 65.7 | 9.8 |
| | 非算定 n=2 | 50.0 | 100.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 100.0 | 100.0 | 50.0 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=367 | 13.1 | 15.0 | 15.3 | 16.1 | 9.8 | 18.3 | 24.5 | 17.7 | 20.4 | 7.1 |
| | 非算定 n=2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=367 | 8.2 | 1.1 | 1.4 | 1.1 | 1.4 | 0.8 | 1.9 | 0.5 | 1.4 | 0.8 |
| | 非算定 n=2 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=367 | 15.8 | 12.8 | 56.1 | 56.4 | 72.5 | 67.6 | 44.7 | 27.2 | 13.4 |
| | 非算定 n=2 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 100.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=367 | 7.9 | 6.5 | 19.3 | 19.3 | 22.9 | 21.5 | 16.3 | 12.8 | 67.3 |
| | 非算定 n=2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=367 | 0.8 | 1.1 | 0.8 | 1.1 | 1.1 | 1.4 | 1.6 | 2.7 | 91.0 |
| | 非算定 n=2 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 49 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院・診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=98 | 9.2 | 10.2 | 13.3 | 37.8 | 24.5 | 42.9 |
| | 非算定 n=1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 病院・診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | 算定 n=98 | 5.1 | 7.1 | 19.4 | 21.4 | 16.3 | 60.2 |
| | 非算定 n=1 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | 算定 n=98 | 1.0 | 2.0 | 10.2 | 12.2 | 13.3 | 76.5 |
| | 非算定 n=1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

**図表 50　連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・寝たきり要介護 5 の利用者のストレッチ方法。
・利用者の運動に対しての注意点や処置。

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容（問 4-4）

**図表 51　効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

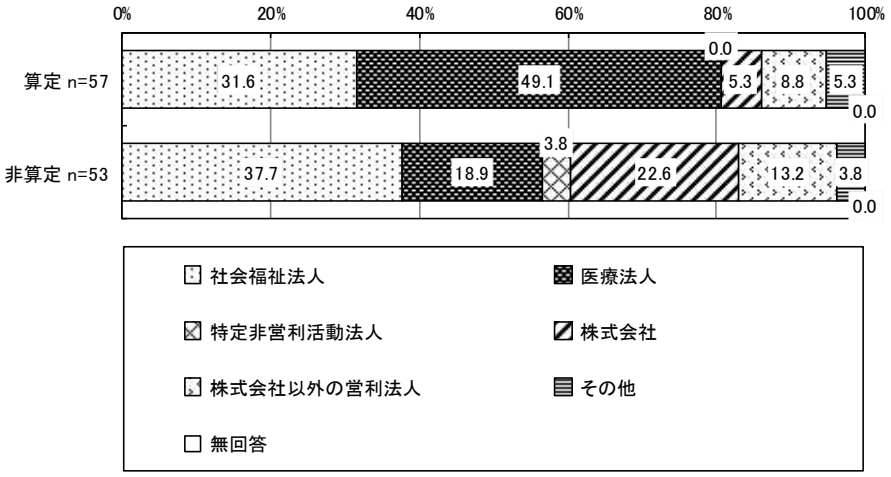
・医師：寝たきりのストレッチ（関節可動域訓練）の方法と注意点。股関節のストレッチが大事であること。
・医師：膝関節の動きを伴う運動の中止の指示と回復状況に合わせた運動許可や行ってよい運動について。
・理学療法士：自宅で踵上げなど自主トレを行うことを徹底し、むくみ防止に努めていく必要がある。
・理学療法士：運動前後のストレッチのセルフケアを充実したほうが良い。
・理学療法士：マット上で四つ這いになった状態で“右手を前に伸ばす”と“左足を伸ばす”を交互に入れ替えて行うことで、上下肢の交互性を引き出し、歩容の改善に繋げられる。

## （２） 認知症対応型通所介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1-1）

**図表 52　法人種別**

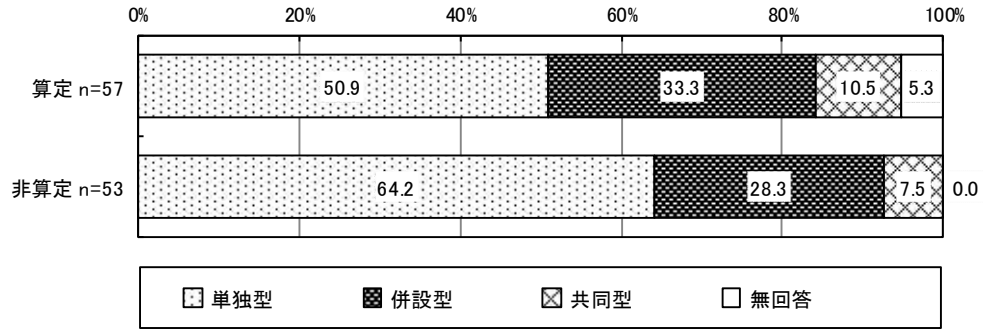



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）生活協同組合

### イ） 種類・施設区分（問 1-2）

**図表 53　種類・施設区分**



## ウ） 定員数（問 1-3）

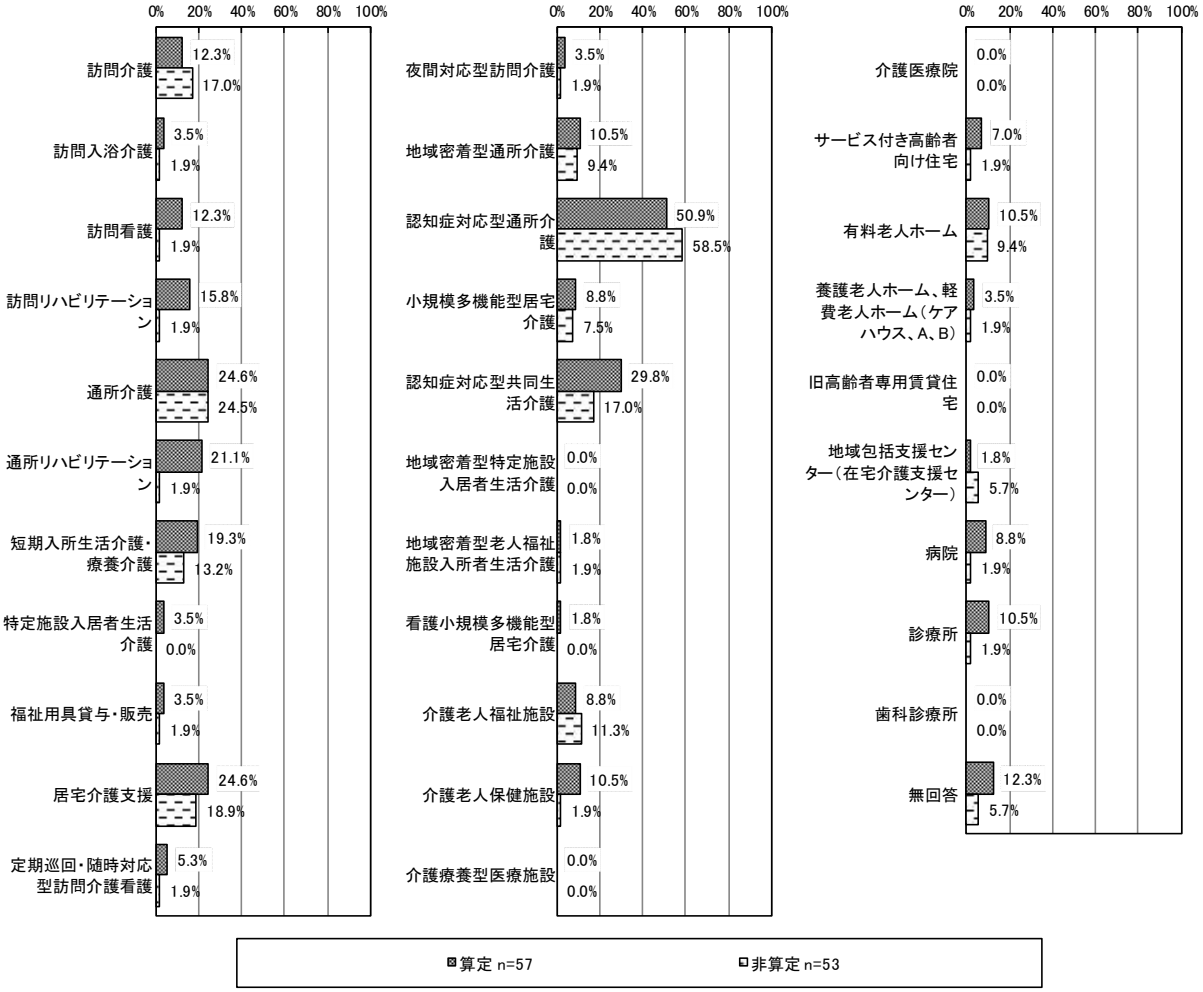
**図表 54　定員数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=18 | 12.6 | 4.6 | 12.0 | 24 | 3 |
| 非算定 n=27 | 12.0 | 2.9 | 12.0 | 24 | 3 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 55　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 56　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=54 | 24.6 | 25.4 | 20.5 | 184 | 4 |
| | 非算定 n=52 | 28.0 | 50.2 | 18 | 277 | 1 |
| 要介護1 | 算定 n=54 | 8.8 | 11.2 | 6 | 78 | 0 |
| | 非算定 n=52 | 9.3 | 19.6 | 5 | 139 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=54 | 6.2 | 5.1 | 6 | 29 | 1 |
| | 非算定 n=52 | 7.1 | 11.0 | 4.5 | 64 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=54 | 4.8 | 5.1 | 4 | 28 | 0 |
| | 非算定 n=52 | 6.6 | 12.4 | 4 | 74 | 1 |
| 要介護4 | 算定 n=54 | 3.0 | 5.3 | 2 | 32 | 0 |
| | 非算定 n=52 | 2.8 | 4.9 | 2 | 30 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=54 | 1.6 | 2.6 | 1 | 17 | 0 |
| | 非算定 n=52 | 2.2 | 8.2 | 0 | 60 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=54 | 0.2 | 0.6 | 0 | 3 | 0 |
| | 非算定 n=52 | 0.1 | 0.3 | 0 | 2 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 57　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=47 | 23.5 | 25.6 | 20 | 184 | 4 |
| | 非算定 n=40 | 25.7 | 41.1 | 19 | 277 | 1 |
| 自立 | 算定 n=47 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 0.1 | 0.4 | 0 | 2 | 0 |
| Ⅰ | 算定 n=47 | 1.3 | 4.3 | 0 | 29 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 1.6 | 3.6 | 0 | 22 | 0 |
| Ⅱa | 算定 n=47 | 3.5 | 3.6 | 2 | 12 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 6.9 | 23.0 | 3 | 149 | 0 |
| Ⅱb | 算定 n=47 | 6.9 | 6.7 | 5 | 43 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 7.6 | 8.7 | 6 | 56 | 0 |
| Ⅲa | 算定 n=47 | 5.4 | 4.6 | 4 | 27 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 5.4 | 5.0 | 4 | 27 | 0 |
| Ⅲb | 算定 n=47 | 2.1 | 3.1 | 1 | 18 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 2.4 | 4.7 | 2 | 30 | 0 |
| Ⅳ | 算定 n=47 | 2.5 | 4.3 | 2 | 28 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 1.5 | 1.6 | 1 | 6 | 0 |
| M | 算定 n=47 | 1.8 | 8.7 | 0 | 60 | 0 |
| | 非算定 n=40 | 0.3 | 0.7 | 0 | 3 | 0 |

## キ） 職員数（問 1-7）

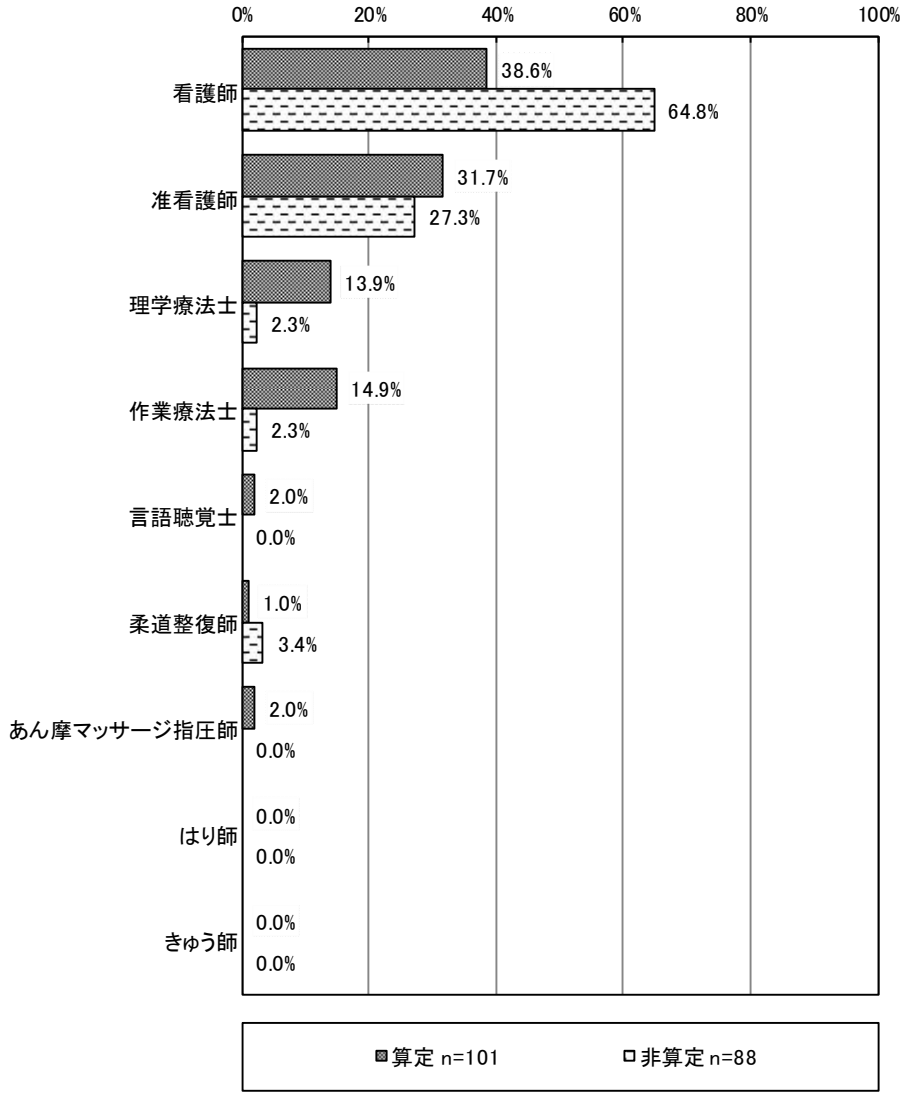
**図表 58　職員数**

（単位:人）

| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=56 | 1.1 | 0.6 | 1 | 5 | 0 |
| | | 非算定 n=53 | 1.0 | 0.2 | 1 | 1 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=54 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=49 | 0.2 | 0.7 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |
| 生活相談員 | 常勤職員 | 算定 n=56 | 1.5 | 0.9 | 1 | 5 | 0 |
| | | 非算定 n=53 | 1.8 | 1.2 | 2 | 6 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=54 | 0.5 | 0.8 | 0.0 | 4.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=49 | 0.4 | 0.9 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |
| 看護職員 | 常勤職員 | 算定 n=56 | 0.8 | 1.6 | 0 | 11 | 0 |
| | | 非算定 n=53 | 0.5 | 0.9 | 0 | 5 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=54 | 0.4 | 0.8 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=49 | 0.7 | 1.1 | 0.2 | 5.0 | 0.0 |
| 介護職員 | 常勤職員 | 算定 n=56 | 4.7 | 9.4 | 3 | 68 | 0 |
| | | 非算定 n=53 | 3.4 | 3.1 | 3 | 16 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=54 | 1.9 | 1.8 | 1.6 | 8.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=49 | 2.0 | 2.2 | 1.5 | 12.0 | 0.0 |
| 機能訓練指導員 | 常勤職員 | 算定 n=56 | 0.8 | 1.1 | 0 | 6 | 0 |
| | | 非算定 n=53 | 0.6 | 1.1 | 0 | 5 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=54 | 0.6 | 1.0 | 0.2 | 5.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=49 | 0.6 | 1.1 | 0.2 | 5.0 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=56 | 0.3 | 1.6 | 0 | 12 | 0 |
| | | 非算定 n=53 | 0.1 | 0.2 | 0 | 1 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=54 | 0.2 | 0.7 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=49 | 0.5 | 1.2 | 0.0 | 6.0 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=56 | 9.1 | 13.8 | 6.5 | 106 | 2 |
| | | 非算定 n=53 | 7.3 | 4.2 | 6 | 20 | 1 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=54 | 3.7 | 3.8 | 2.2 | 19.0 | 0.1 |
| | | 非算定 n=49 | 4.4 | 3.9 | 3.4 | 17.0 | 0.2 |

## ク） 機能訓練指導員の保有する資格（問 1-8）

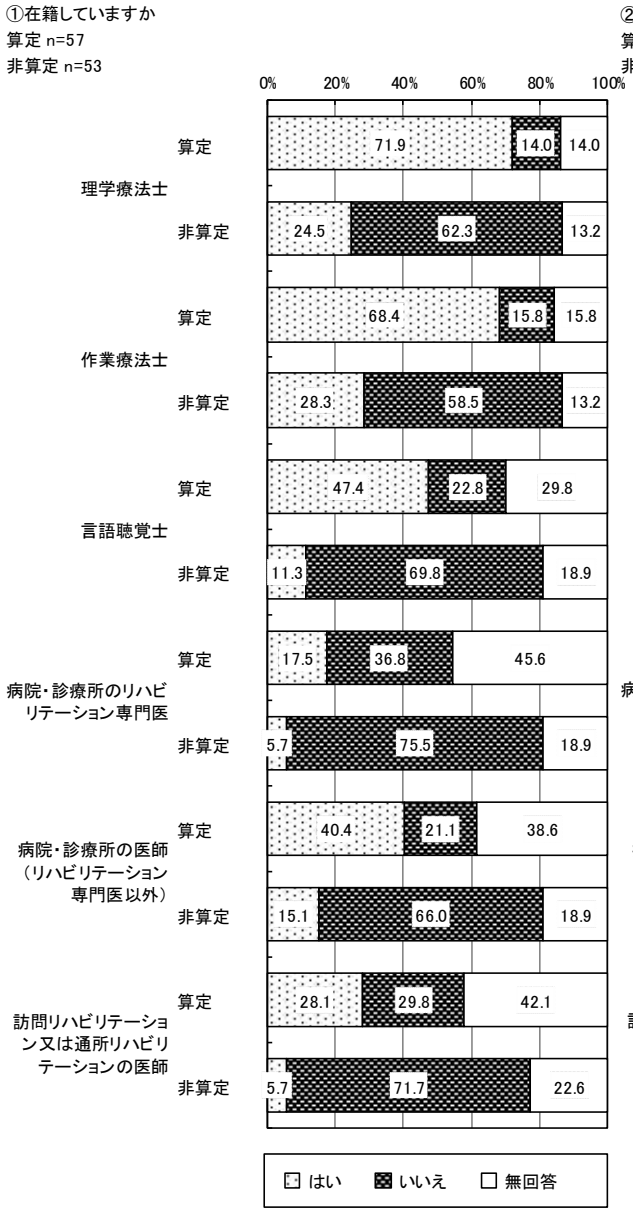
**図表 59　機能訓練指導員の保有する資格（機能訓練指導員の存在する事業所のみの集計結果）**



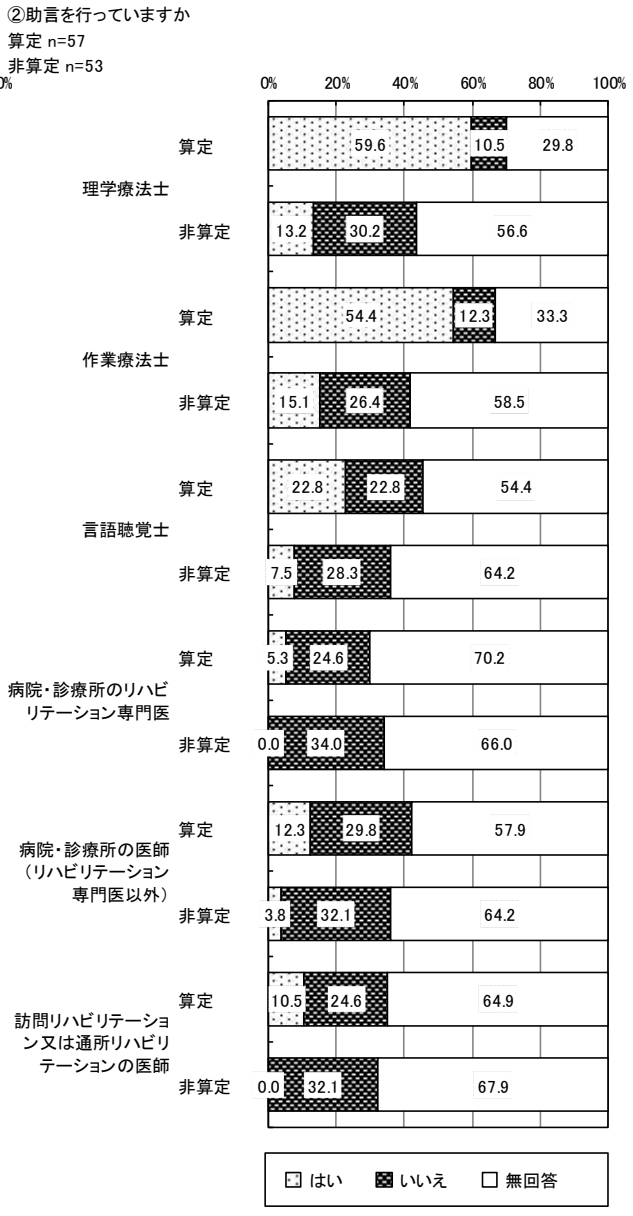

注：分母を機能訓練指導員が存在する事業所数、分子を各資格について回答のあった事業所数とし、算出した。

## ケ） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-9）

図表 60　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか

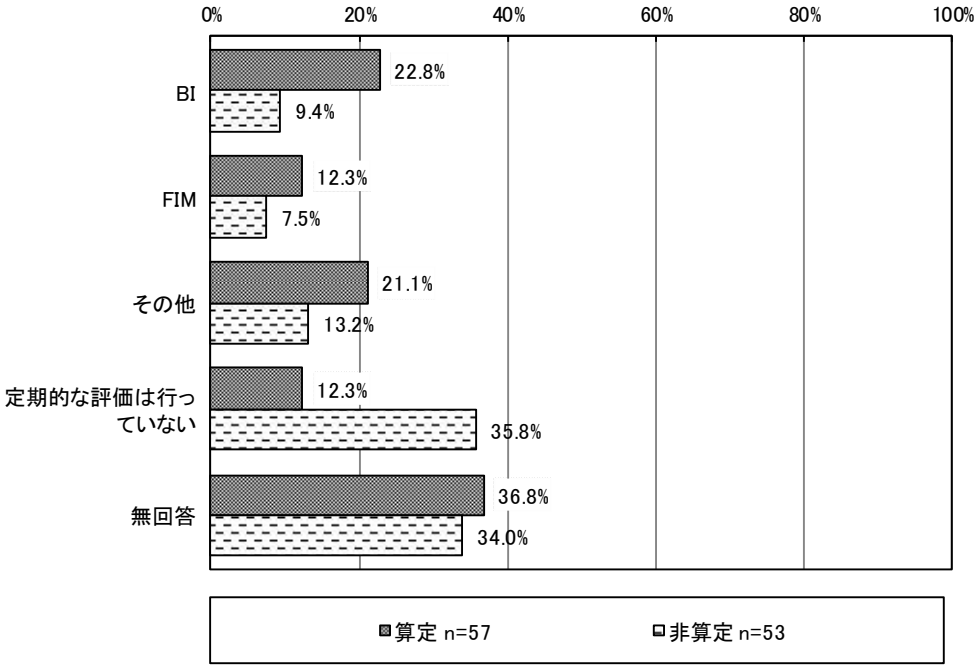



図表 61　助言を行っているか



## コ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-10）

図表 62　利用者の ADL・IADL の評価の指標



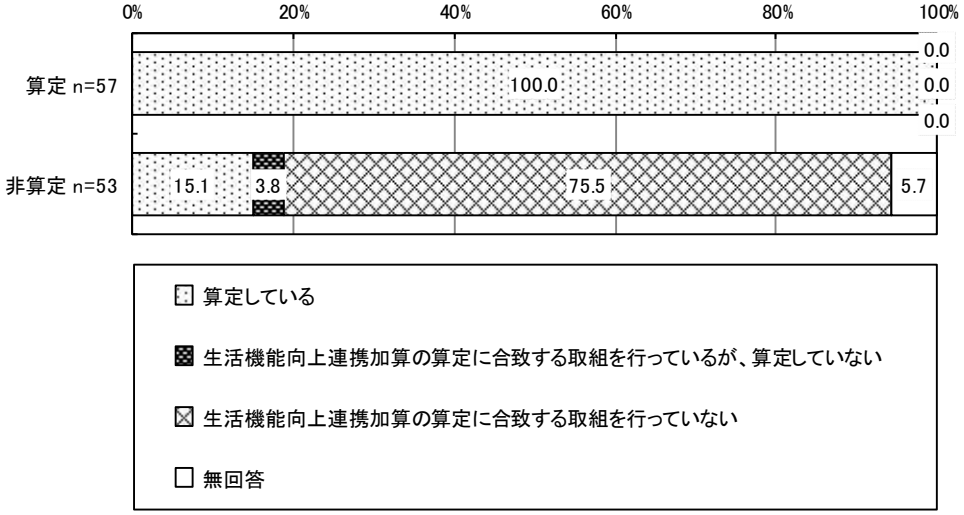

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）インボディ測定の結果

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1）

**図表 63　生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組**




**図表 64　利用者の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=52 | 16.2 | 9.9 | 15 | 42 | 1 |
| 非算定 n=8 | 16.6 | 10.4 | 19 | 30 | 2 |

**図表 65　連携したリハ専門職等の実人数**

（単位：人）

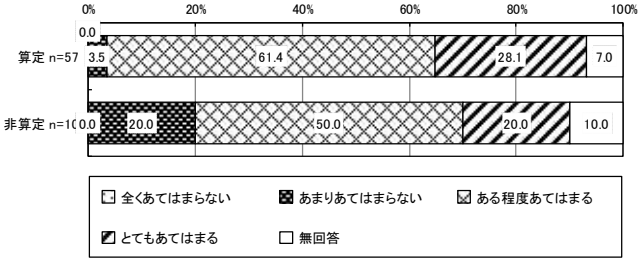
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=48 | 2.6 | 3.8 | 1.5 | 23 | 0 |
| 非算定 n=7 | 4.4 | 7.6 | 1.0 | 23 | 1 |

## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

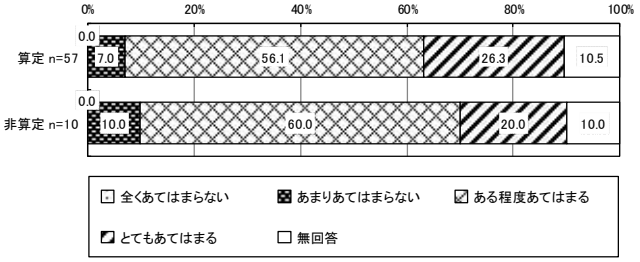
### 図表 66　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

**１）専門的な視点を踏まえ質の高い個別機能訓練計画を作成できた**

**①要介護 1、2 の利用者**

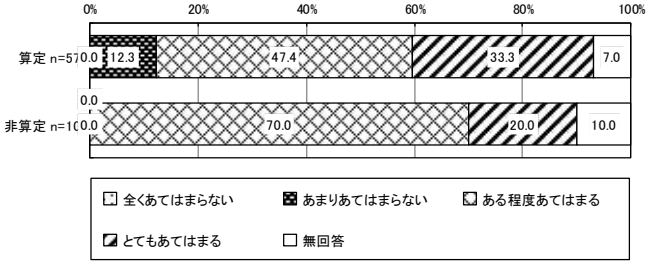



**②要介護 3～5 の利用者**

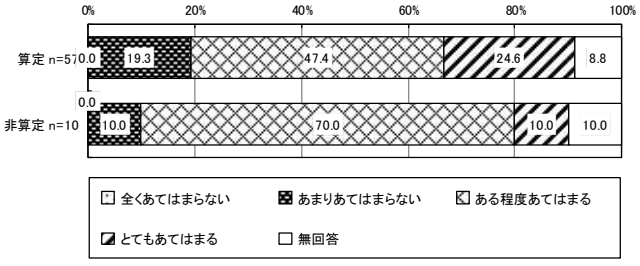



**２）専門的な視点を踏まえた計画であるため、利用者に対し何故機能訓練を行うのかを自信を持って説明できるようになった**

**①要介護 1、2 の利用者**

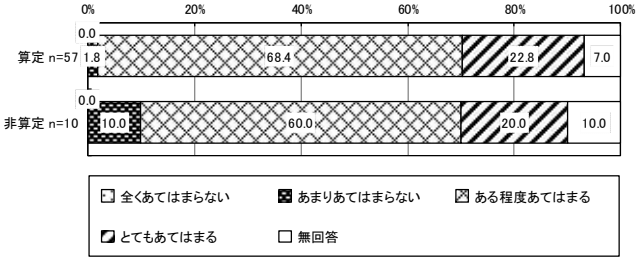



**②要介護 3～5 の利用者**

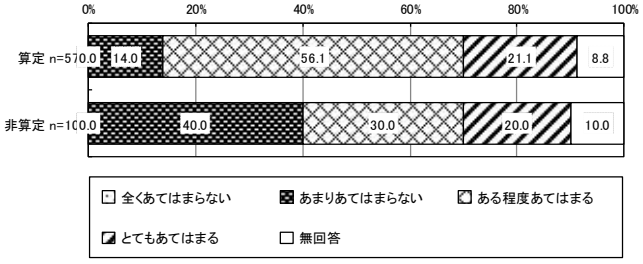



**３）利用者の身体機能の維持・向上につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

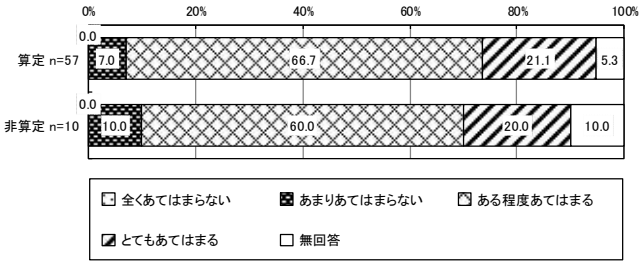



**②要介護 3～5 の利用者**

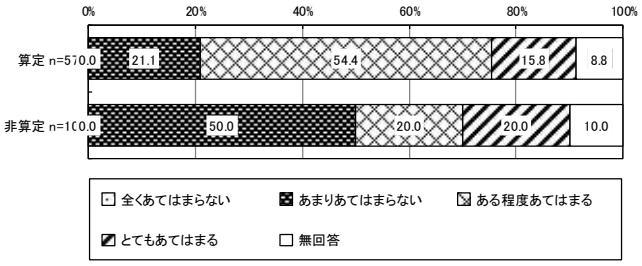


### 4）利用者の ADL や IADL の維持・向上につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

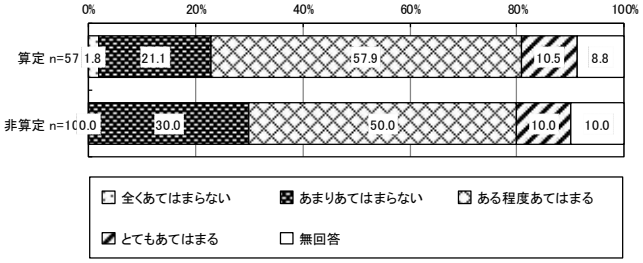



#### ②要介護 3～5 の利用者

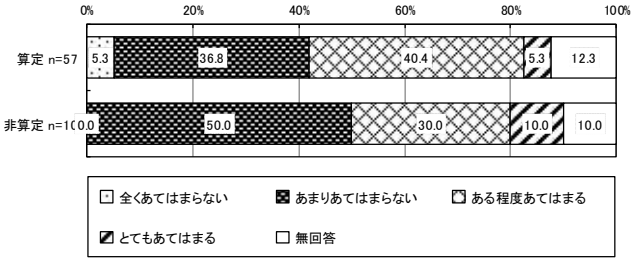



### 5）利用者本人の役割の再獲得や社会参加につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

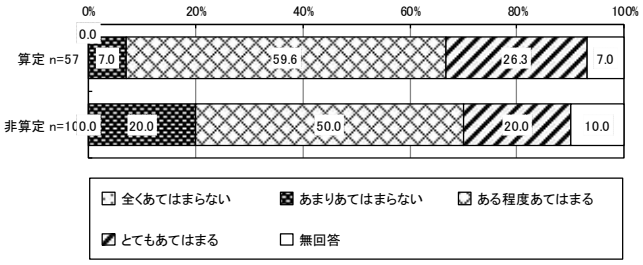



#### ②要介護 3～5 の利用者

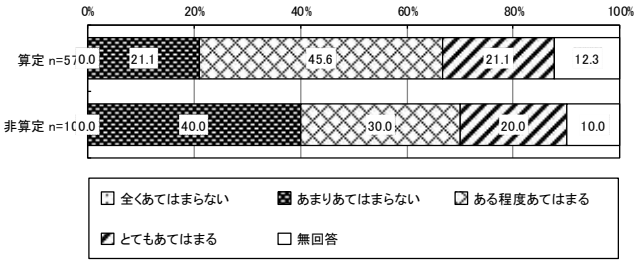



### 6）利用者の重度化防止につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

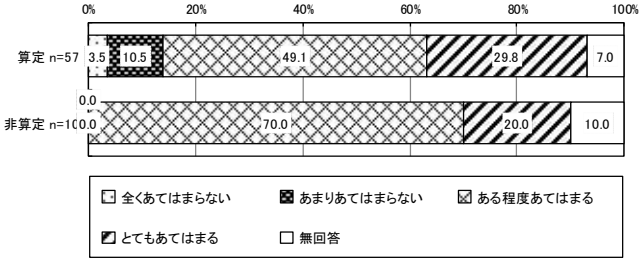



#### ②要介護 3～5 の利用者

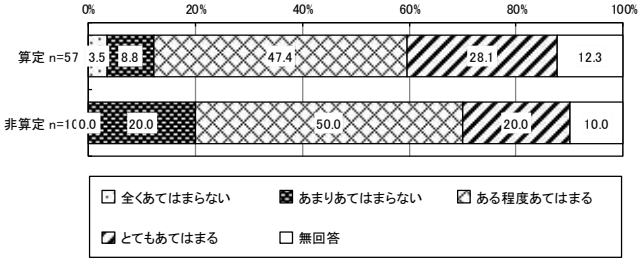



### 7）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで利用者の安心につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

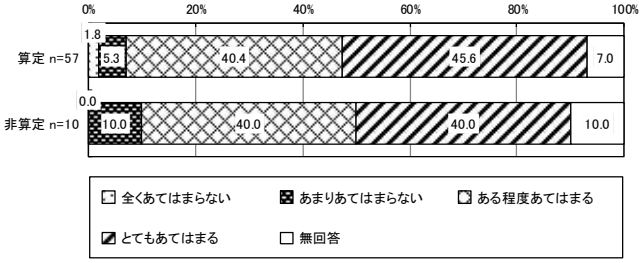



#### ②要介護 3～5 の利用者

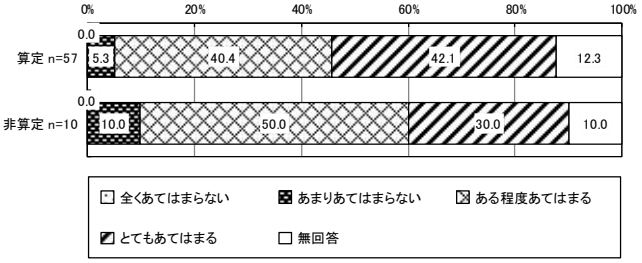


**8）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで介護職員等の安心につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

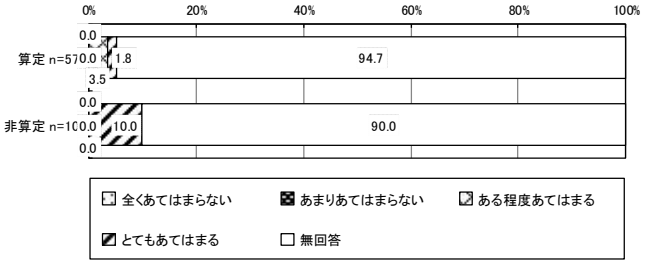



**②要介護 3～5 の利用者**

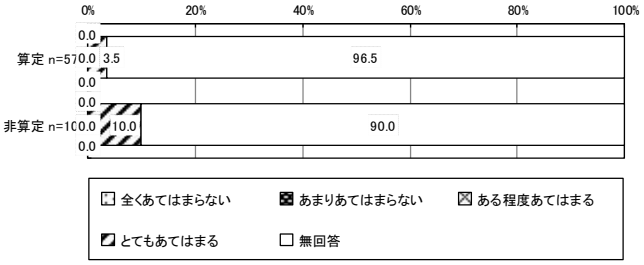



**9）その他**

**①要介護 1、2 の利用者**



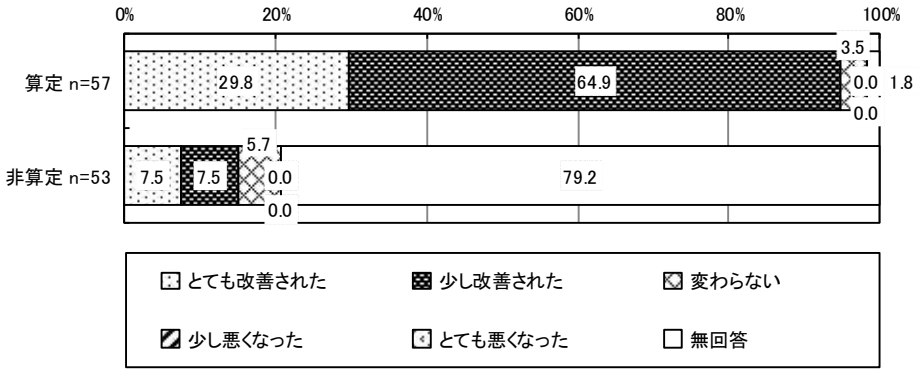

**②要介護 3～5 の利用者**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

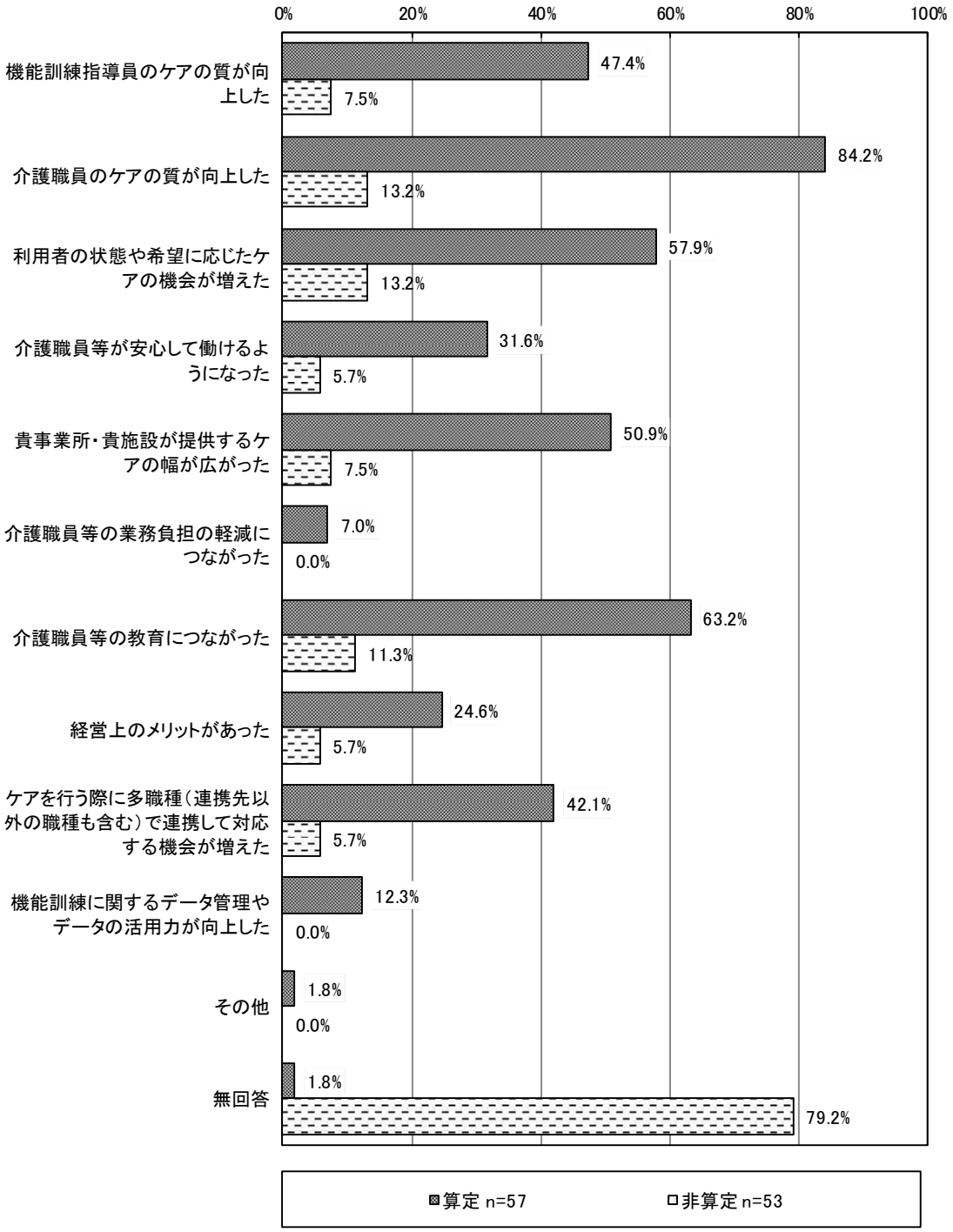
## ウ） 個別機能訓練計画の改善状況（問 2-3）

**図表 67　個別機能訓練計画の改善状況**



## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 68　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）一定の基準で利用者の評価を行いやすくなった。

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

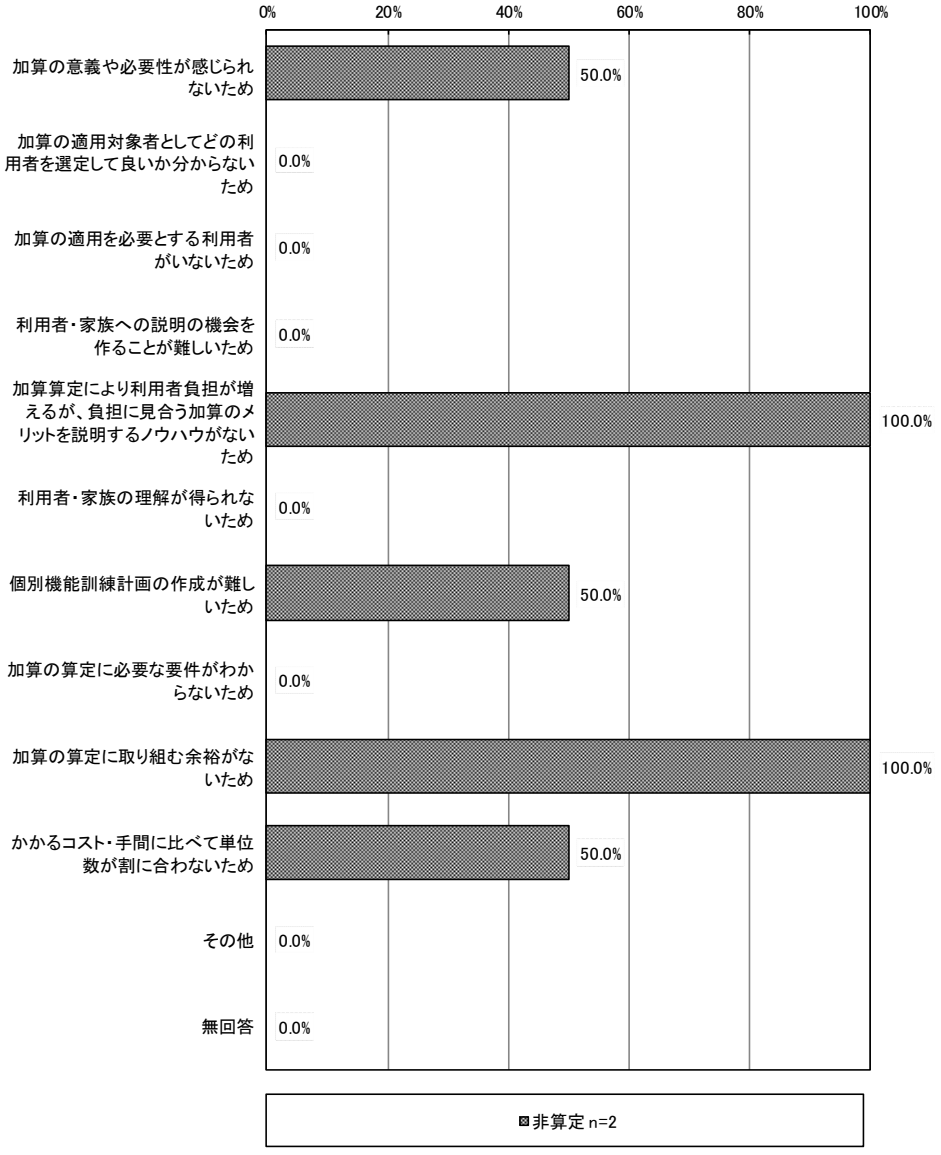
**図表 69　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額**

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=36 | 6887.0 | 10661.3 | 0.0 | 50000 | 0 |
| 非算定 n=6 | 8166.7 | 6542.6 | 8500.0 | 16000 | 0 |

## カ） 取組を行っているが､生活機能向上連携加算を算定しない理由(問 2-6)

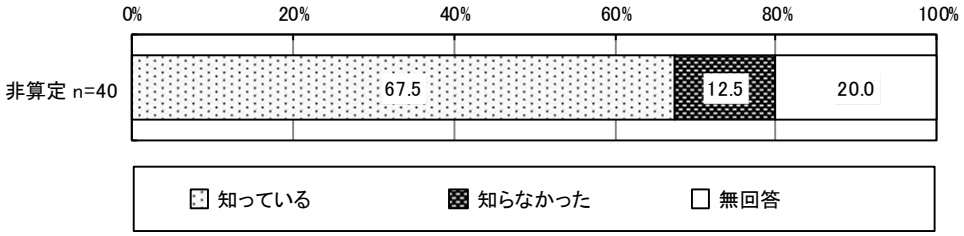
**図表 70　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

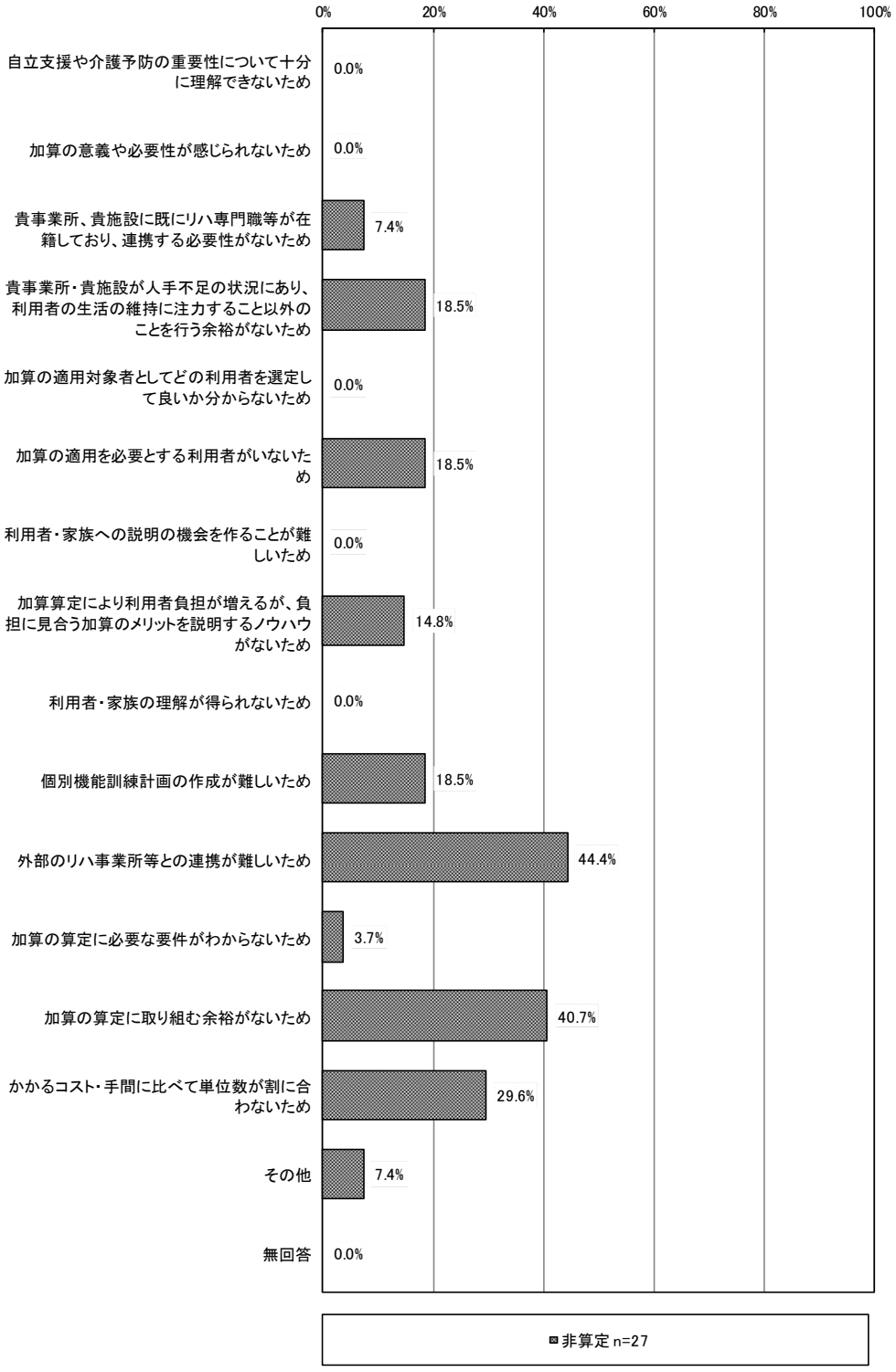
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

**図表 71　生活機能向上連携加算を知っているか**



## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

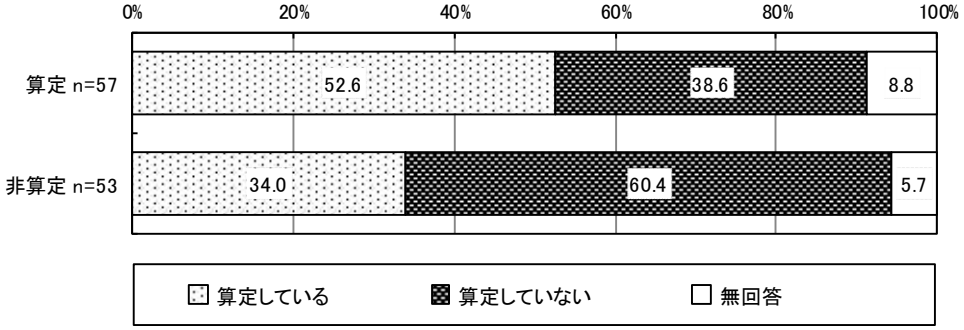
**図表 72　加算を算定していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 個別機能訓練加算の算定有無及び算定回数、利用者実人数（問 2-9）

**図表 73　算定有無**




**図表 74　算定回数**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=23 | 153.7 | 76.7 | 157.0 | 289 | 24 |
| 非算定 n=14 | 129.4 | 91.3 | 154.0 | 277 | 1 |

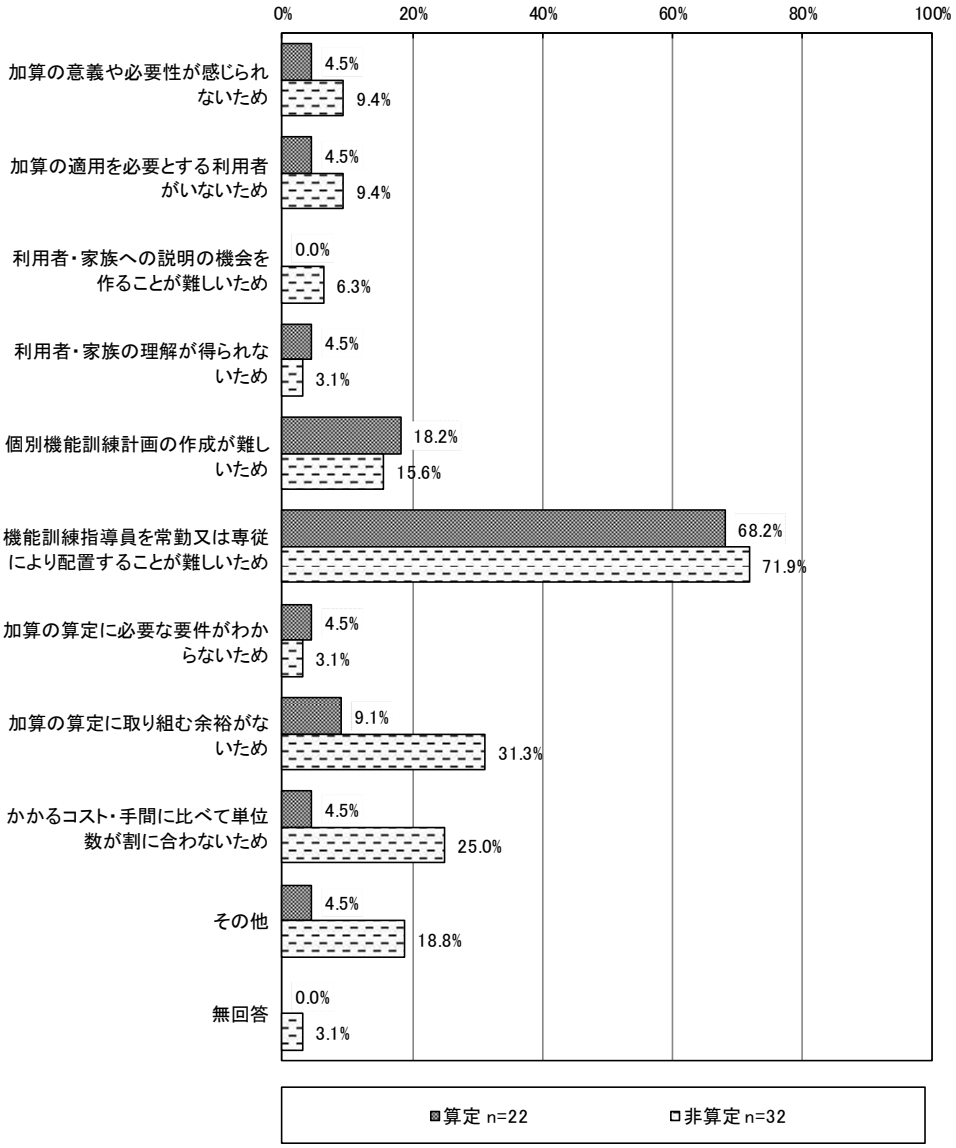
**図表 75　利用者実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=26 | 20.1 | 10.4 | 20.5 | 48 | 4 |
| 非算定 n=16 | 25.9 | 43.0 | 16.0 | 189 | 0 |

## コ） 個別機能訓練加算を算定しない理由（問 2-10）

**図表 76　個別機能訓練加算を算定しない理由**

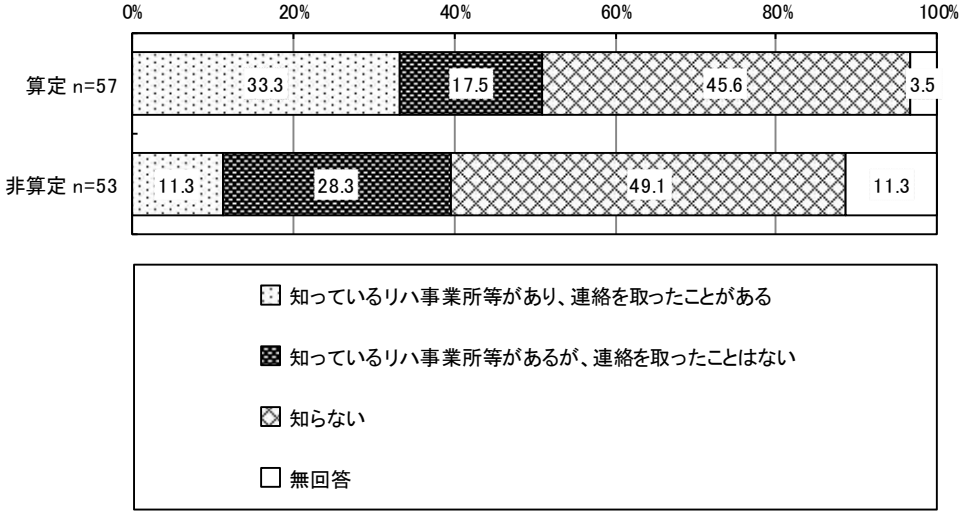



※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## Ⅲ．外部との連携状況

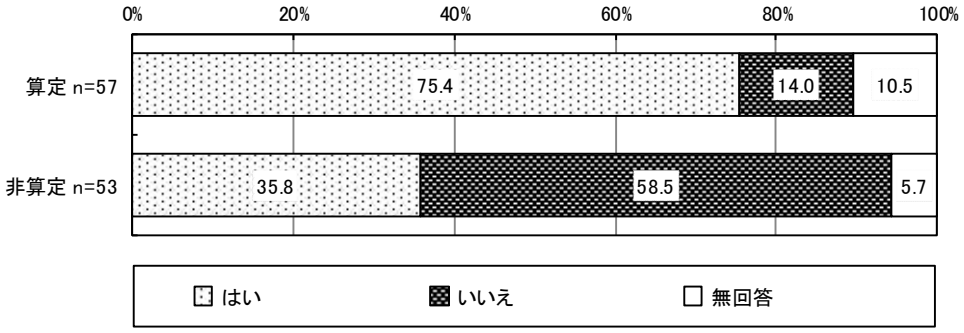
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 77　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



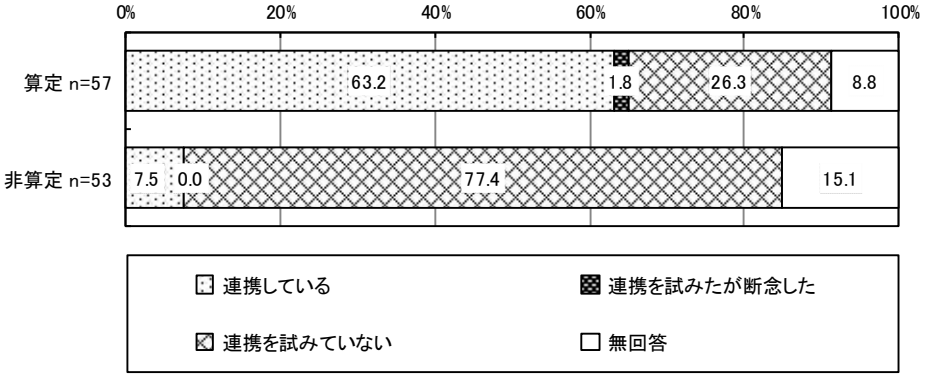

### イ） 個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 78　個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価を行っているか**



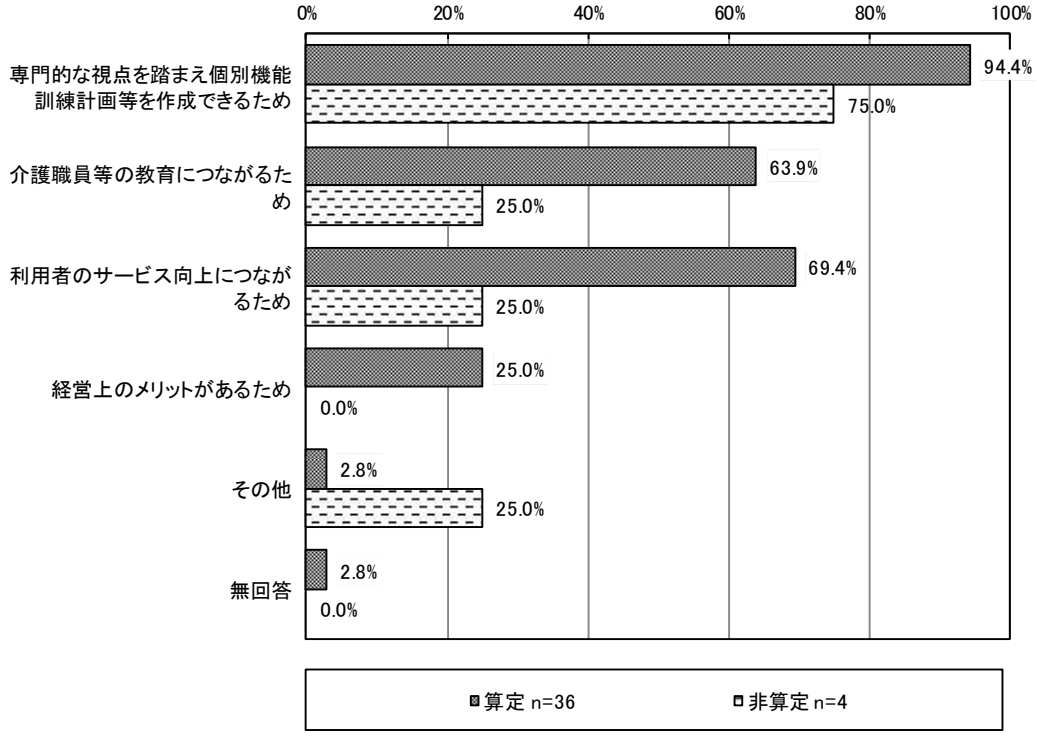
## ウ） 個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 79　個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 80　連携している理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

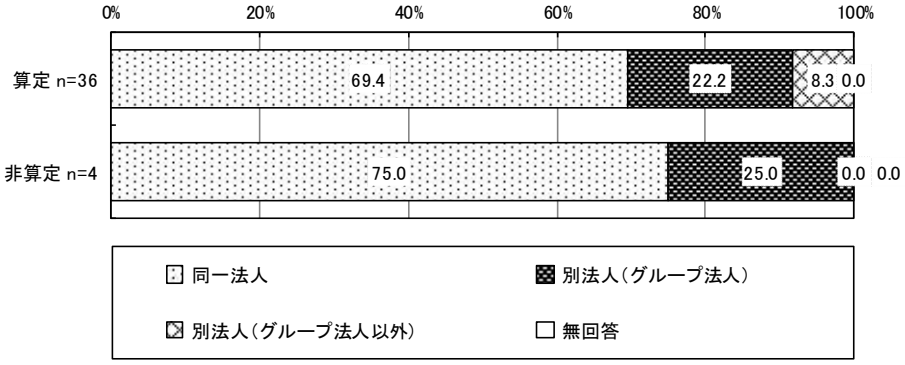
**図表 81　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位：件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=30 | 1.0 | 0.3 | 1 | 2 | 0 |
| 非算定 n=3 | 1.0 | 0.0 | 1 | 1 | 1 |

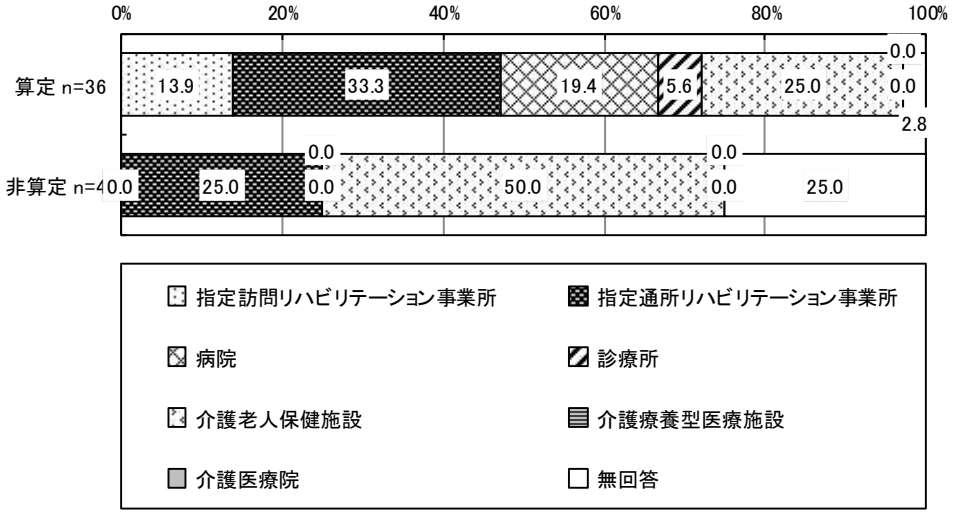
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 82　連携先は同一法人内か否か**



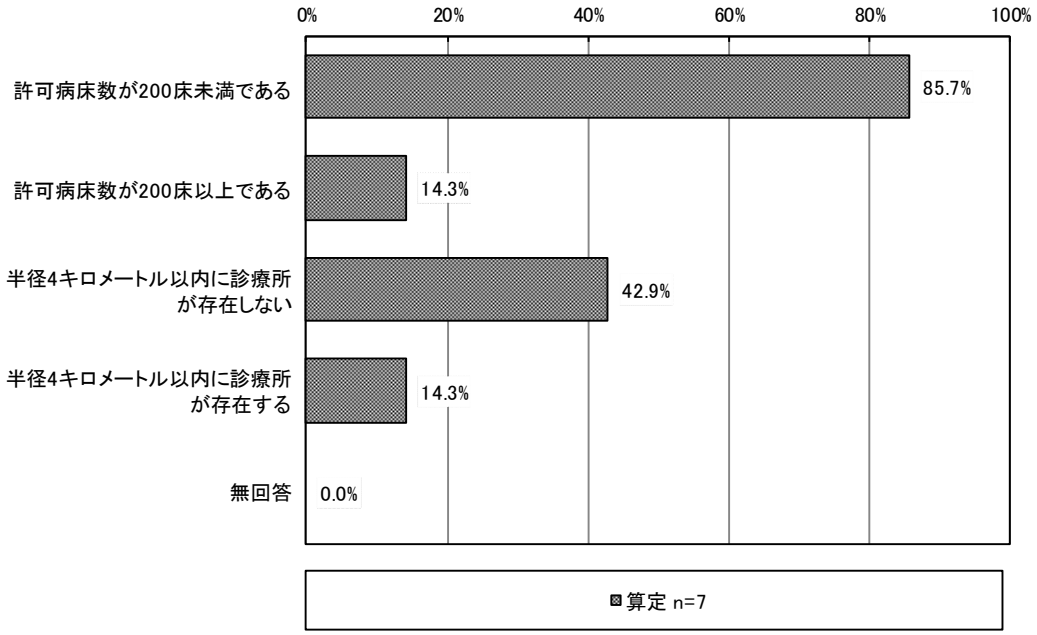

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 83　連携先となる事業所・施設**



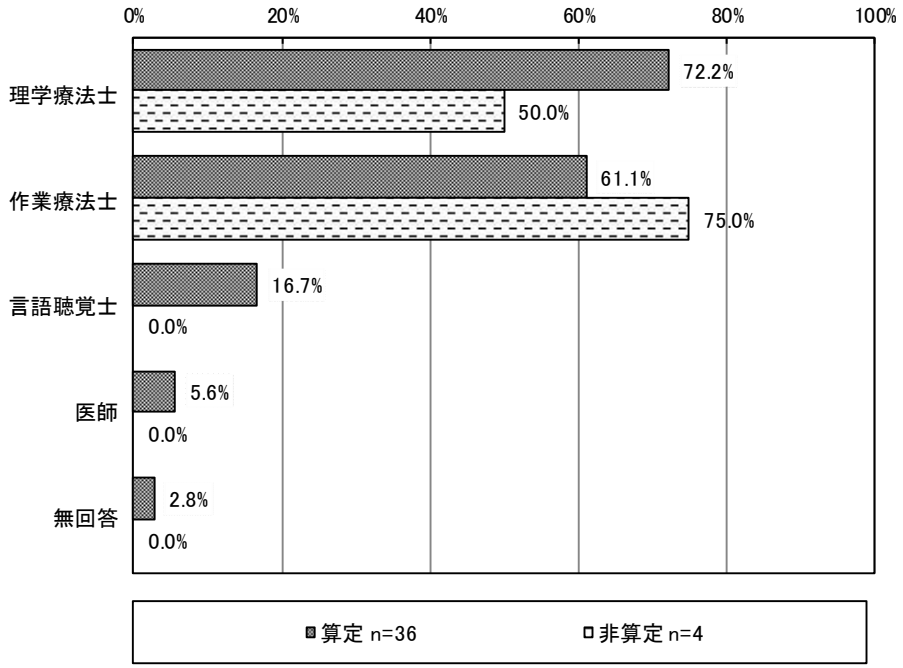
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 84　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



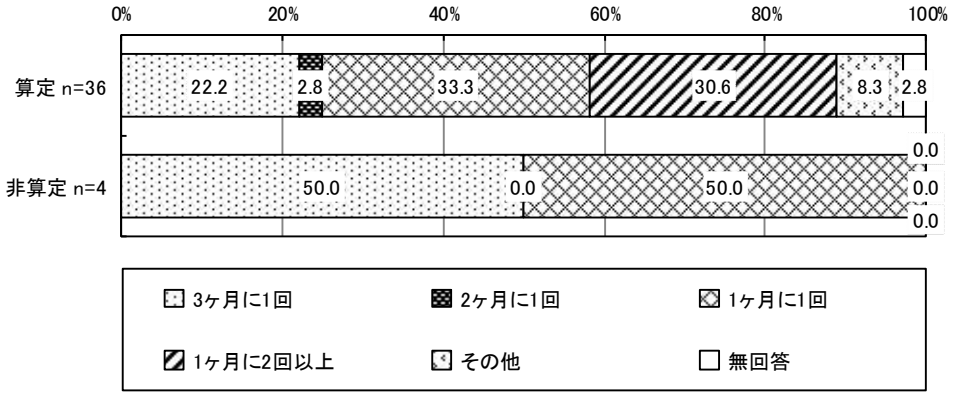

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 85　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

**図表 86　連携先による訪問頻度**

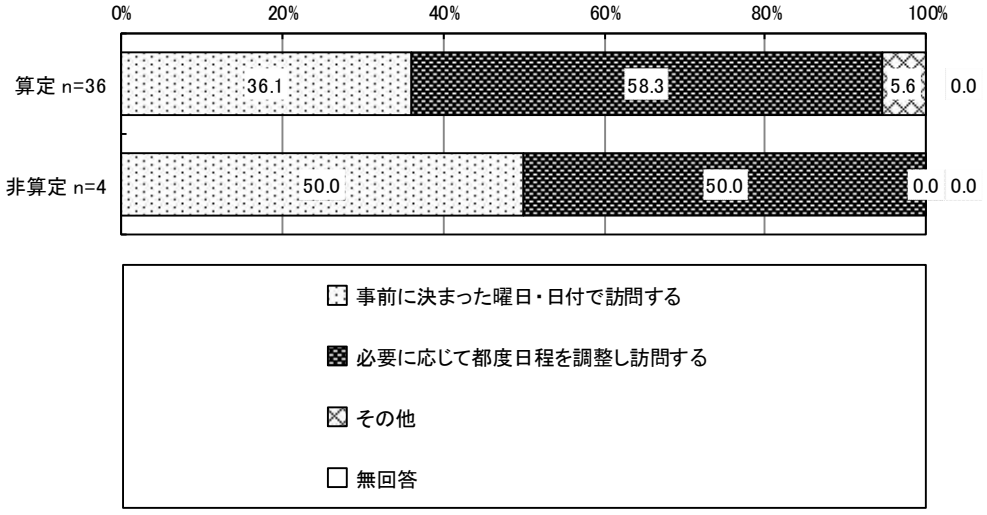



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）週 1 回

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

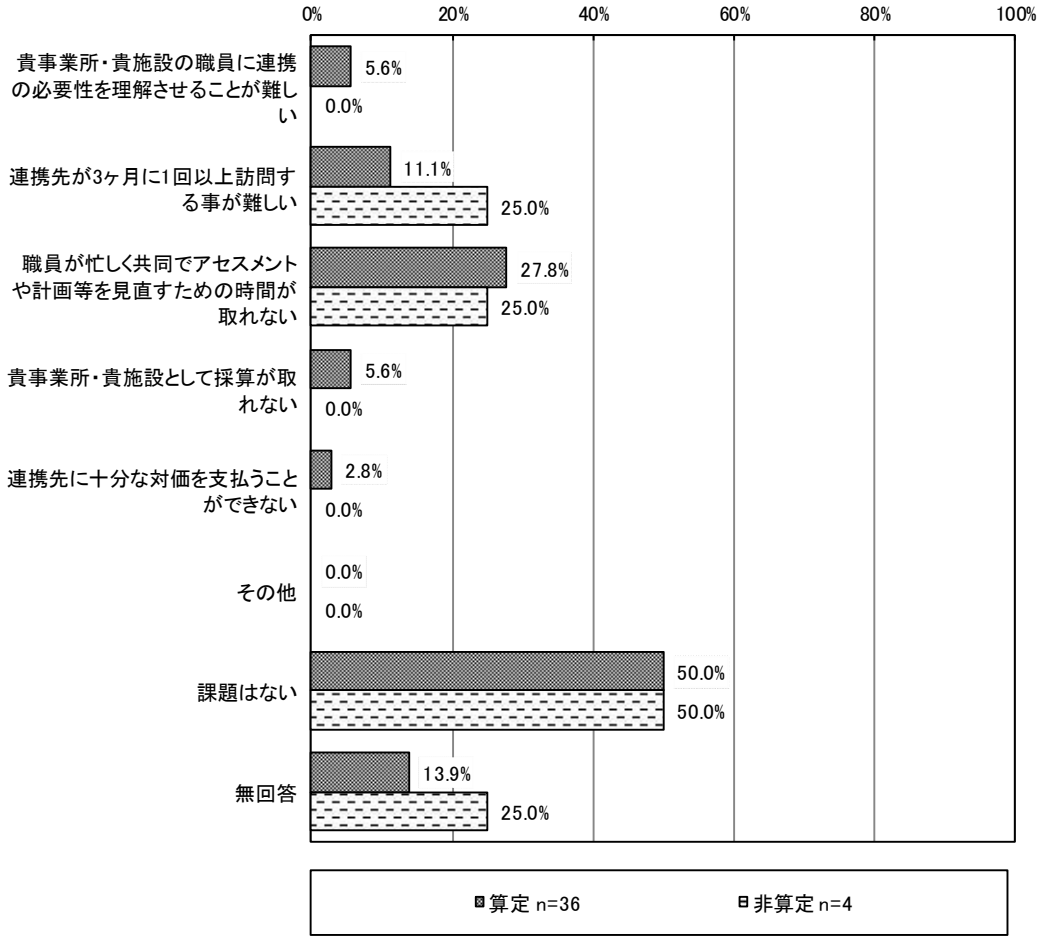
**図表 87　訪問日時は決められているか**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

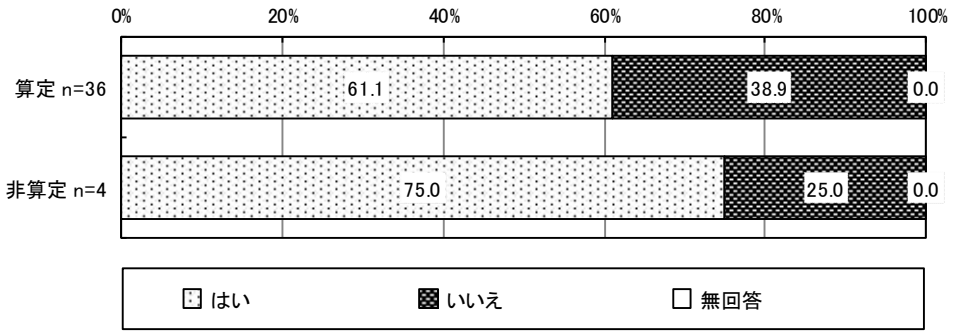
**図表 88　連携先と連携を継続する上での課題**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

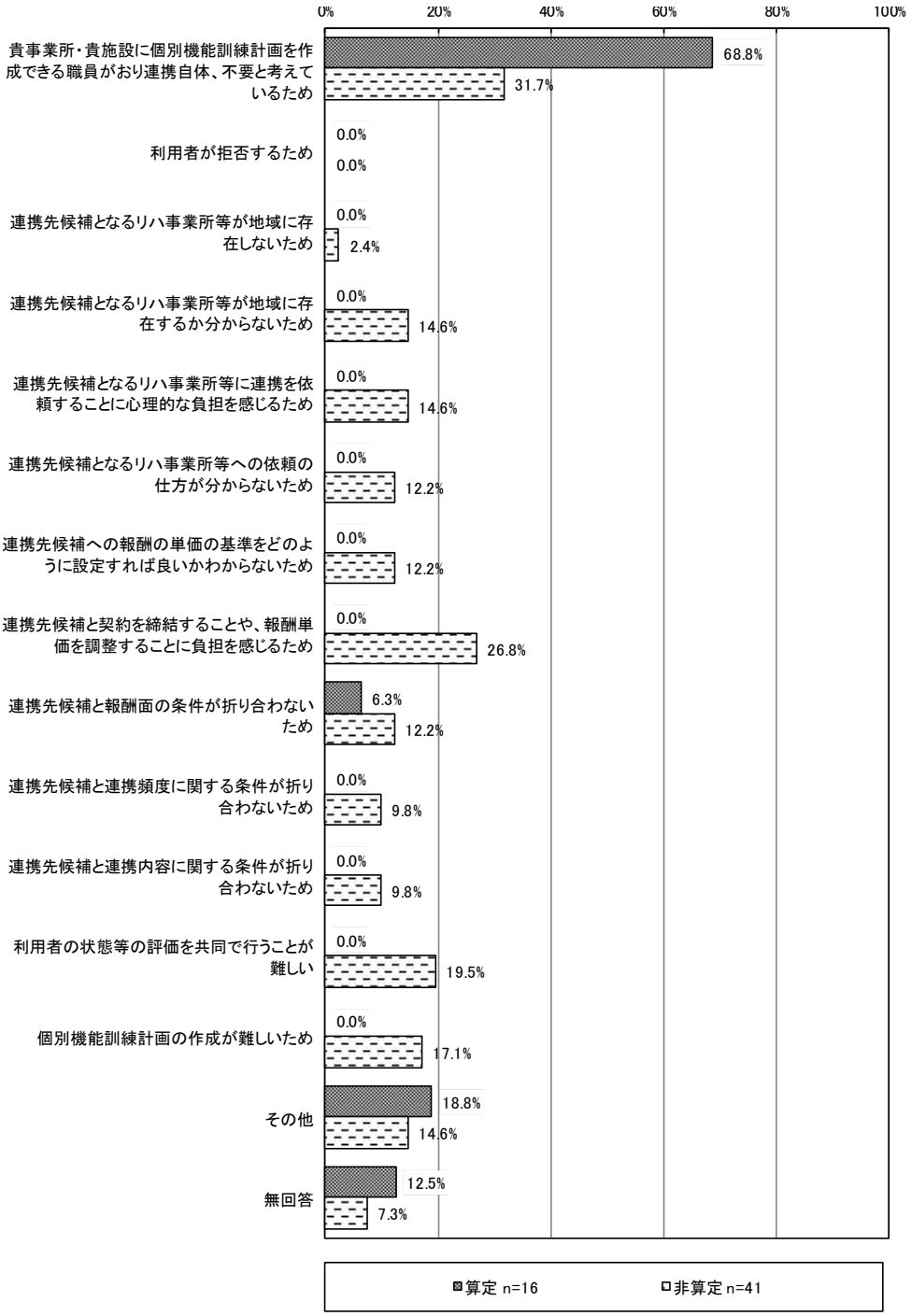
## ス） 連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 89　連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

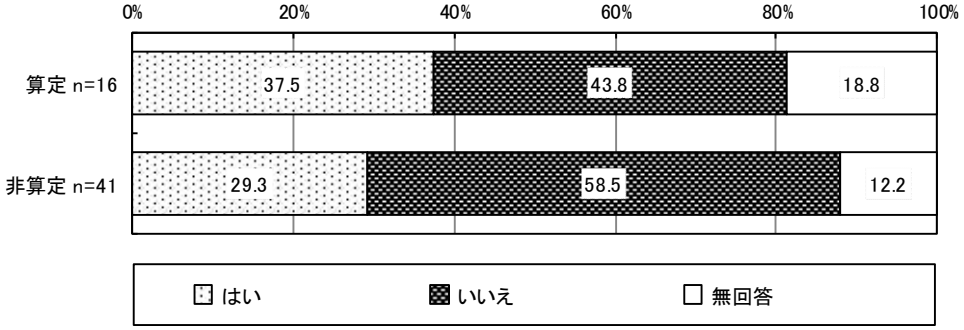
**図表 90　連携していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

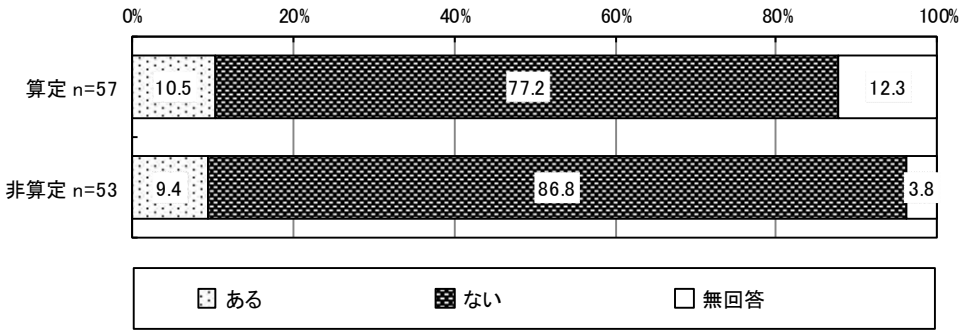
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 91　連携の必要性を感じているか**



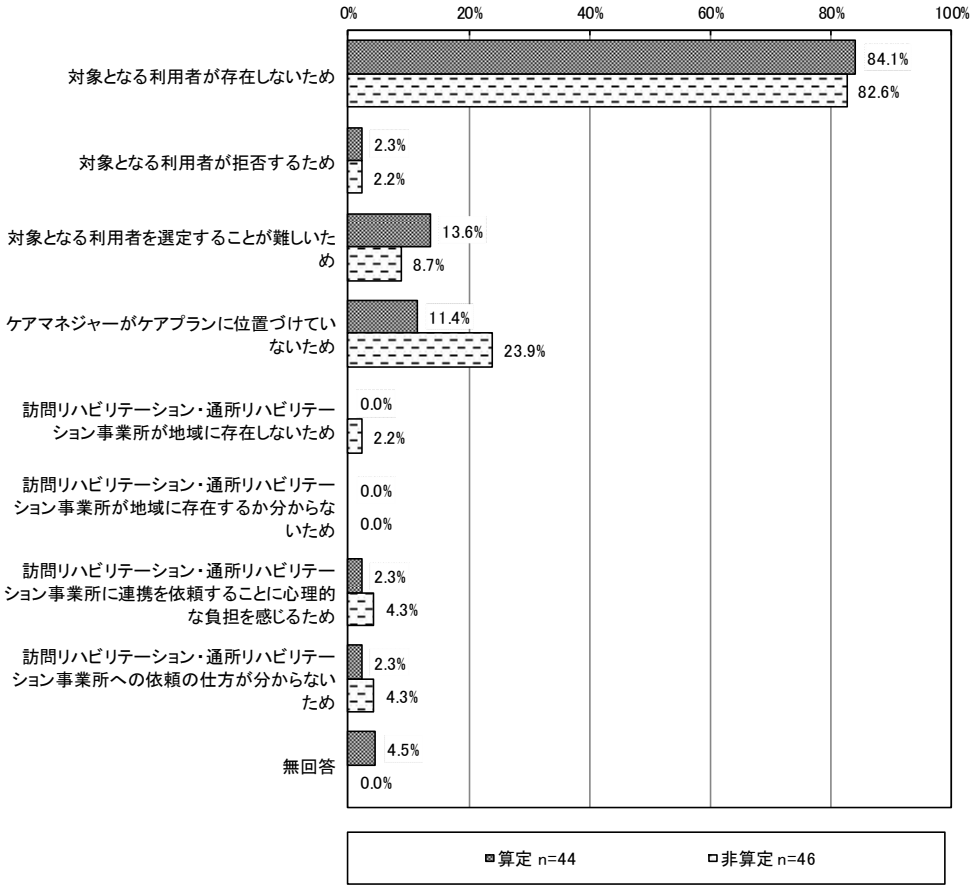

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 92　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

**図表 93　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由**



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 94 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=56 | 14.3 | 19.6 | 25.0 | 16.1 | 8.9 | 44.6 | 60.7 | 28.6 | 46.4 | 1.8 |
| | 非算定 n=8 | 25.0 | 25.0 | 37.5 | 25.0 | 0.0 | 50.0 | 62.5 | 0.0 | 50.0 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=56 | 25.0 | 23.2 | 21.4 | 23.2 | 10.7 | 35.7 | 46.4 | 25.0 | 32.1 | 16.1 |
| | 非算定 n=8 | 25.0 | 12.5 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 37.5 | 12.5 | 37.5 | 25.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=56 | 16.1 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 0.0 |
| | 非算定 n=8 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=56 | 5.4 | 5.4 | 35.7 | 39.3 | 51.8 | 51.8 | 25.0 | 21.4 | 32.1 |
| | 非算定 n=8 | 12.5 | 0.0 | 25.0 | 37.5 | 50.0 | 50.0 | 25.0 | 25.0 | 37.5 |
| 作業療法士 | 算定 n=56 | 16.1 | 16.1 | 21.4 | 35.7 | 41.1 | 41.1 | 17.9 | 19.6 | 39.3 |
| | 非算定 n=8 | 37.5 | 0.0 | 37.5 | 50.0 | 62.5 | 37.5 | 37.5 | 12.5 | 25.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=56 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 5.4 | 83.9 |
| | 非算定 n=8 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 87.5 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 95 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院･診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=16 | 18.8 | 6.3 | 0.0 | 31.3 | 25.0 | 68.8 |
| | 非算定 n=0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 病院･診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | 算定 n=16 | 31.3 | 18.8 | 18.8 | 18.8 | 25.0 | 43.8 |
| | 非算定 n=0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | 算定 n=16 | 12.5 | 12.5 | 12.5 | 6.3 | 12.5 | 75.0 |
| | 非算定 n=0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

**図表 96　連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・認知症の症状の悪化
・筋力低下

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容（問 4-4）

**図表 97　効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

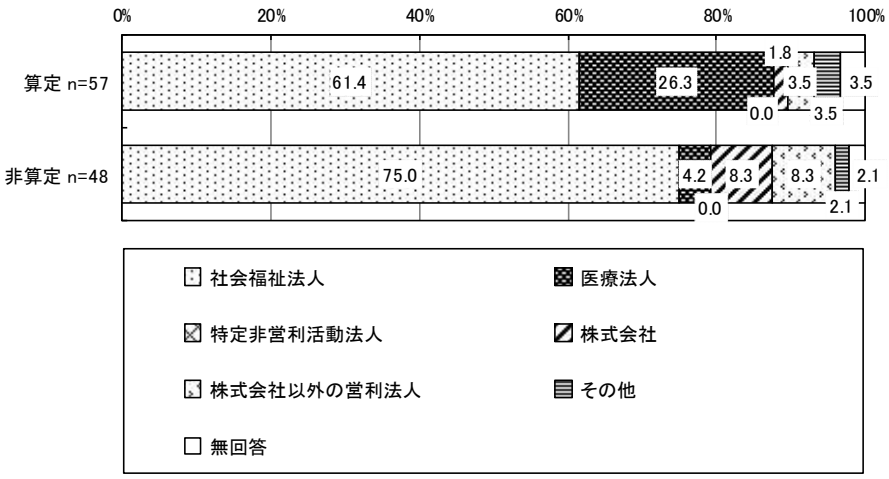
・医師：心臓に負担をかけない運動内容と体重増加防止指導。
・理学療法士：四点杖の使い方、杖の高さ、杖と足の運び方など。
・理学療法士：立位や座位時に両下肢に不随運動がみられるため、高さ約 20cm の障害物をまたぐ練習。円背があるので、背筋を伸ばす運動。
・作業療法士：足のあがりや立位が難しくなってきている利用者の浴槽の出入りについての介助方法や適した福祉用具の利用。
・作業療法士：動作・立位保持に疼痛のある利用者に対して、動作姿勢の助言と、室内での自主トレーニングメニューの考案。
・作業療法士：利用者の個別機能訓練計画書の内容について、目標設定（短期、長期）の明確化。

## （３） 短期入所生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア）法人種別（問 1-1）

**図表 98　法人種別**



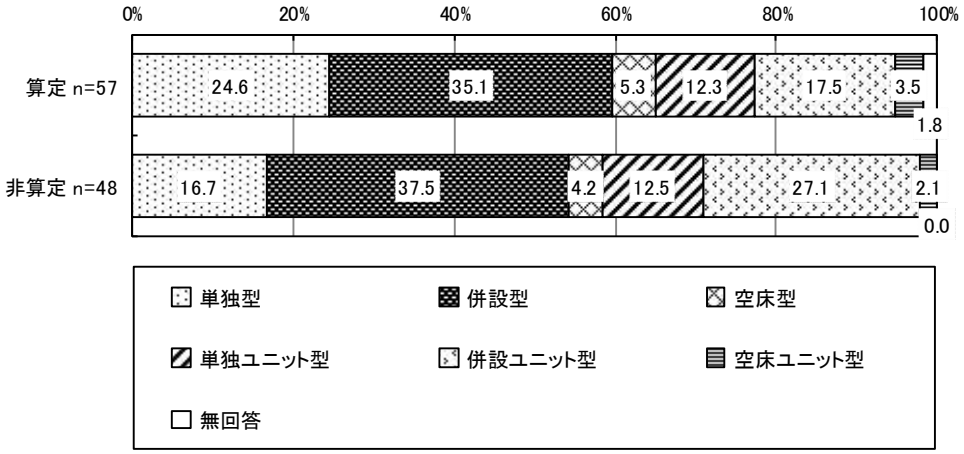

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）生協法人

・（非算定）一般社団法人

### イ） 種類・施設区分（問 1-2）

**図表 99　種類・施設区分**



## ウ） 定員数（問 1-3）

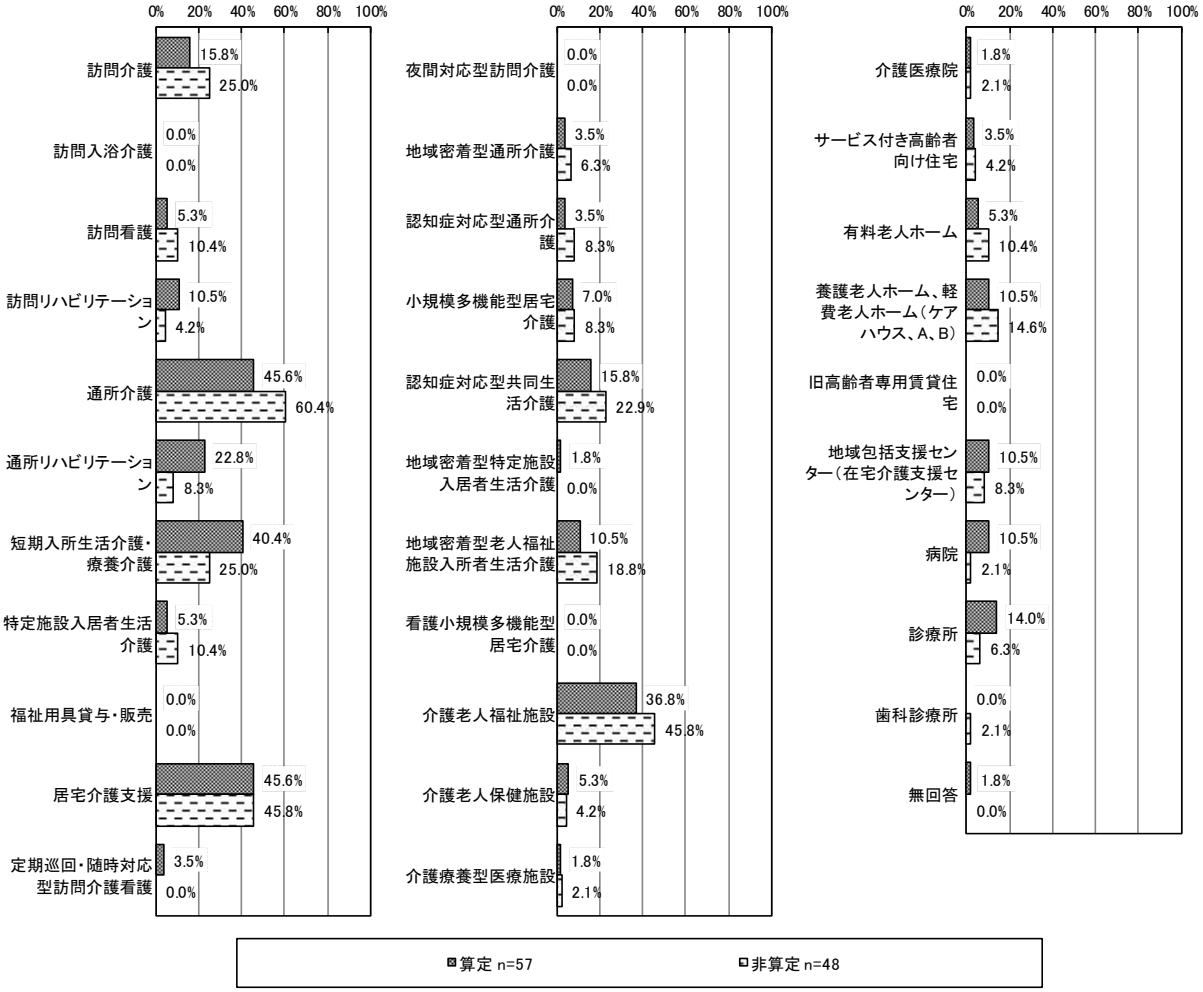
**図表 100　定員数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=40 | 23.9 | 22.8 | 20.0 | 140 | 4 |
| 非算定 n=35 | 26.2 | 22.6 | 20.0 | 100 | 10 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 101　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 102　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=54 | 41.6 | 38.3 | 34.5 | 266 | 1 |
| | 非算定 n=46 | 36.9 | 21.5 | 33 | 108 | 2 |
| 要介護1 | 算定 n=54 | 5.6 | 4.9 | 4.5 | 19 | 0 |
| | 非算定 n=46 | 6.4 | 5.2 | 5 | 19 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=54 | 8.9 | 8.2 | 7.5 | 48 | 0 |
| | 非算定 n=46 | 8.9 | 6.5 | 8 | 24 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=54 | 10.5 | 6.8 | 9 | 34 | 0 |
| | 非算定 n=46 | 9.4 | 5.3 | 9 | 21 | 0 |
| 要介護4 | 算定 n=54 | 10.7 | 17.9 | 7.5 | 131 | 0 |
| | 非算定 n=46 | 7.8 | 7.4 | 6 | 40 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=54 | 5.7 | 7.7 | 3 | 34 | 0 |
| | 非算定 n=46 | 4.1 | 5.3 | 3 | 29 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=54 | 0.2 | 0.4 | 0 | 2 | 0 |
| | 非算定 n=46 | 0.3 | 0.8 | 0 | 3 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 103　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=44 | 42.6 | 42.1 | 34.5 | 271 | 1 |
| | 非算定 n=35 | 34.1 | 23.3 | 33 | 108 | 2 |
| 自立 | 算定 n=44 | 3.4 | 6.1 | 1 | 27 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 1.8 | 2.0 | 1 | 7 | 0 |
| Ⅰ | 算定 n=44 | 5.6 | 8.2 | 3 | 50 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 3.7 | 3.9 | 2 | 15 | 0 |
| Ⅱa | 算定 n=44 | 8.0 | 14.2 | 5 | 94 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 5.1 | 4.9 | 4 | 22 | 0 |
| Ⅱb | 算定 n=44 | 9.3 | 7.8 | 8 | 38 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 9.4 | 7.3 | 9 | 33 | 0 |
| Ⅲa | 算定 n=44 | 9.9 | 9.9 | 8.5 | 55 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 7.6 | 8.2 | 6 | 38 | 0 |
| Ⅲb | 算定 n=44 | 2.6 | 2.6 | 2 | 10 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 3.1 | 3.4 | 2 | 14 | 0 |
| Ⅳ | 算定 n=44 | 2.9 | 3.2 | 2 | 12 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 2.2 | 2.6 | 1 | 11 | 0 |
| M | 算定 n=44 | 1.1 | 4.3 | 0 | 29 | 0 |
| | 非算定 n=35 | 1.3 | 3.7 | 0 | 21 | 0 |

## キ） 令和元年 9 月 1 か月間の利用者数（問 1-7）

**図表 104　令和元年 9 月 1 か月間の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=51 | 98.2 | 182.2 | 35 | 787 | 0 |
| 非算定 n=42 | 126.6 | 190.5 | 47 | 722 | 0 |

## ク） 職員数（問 1-8）

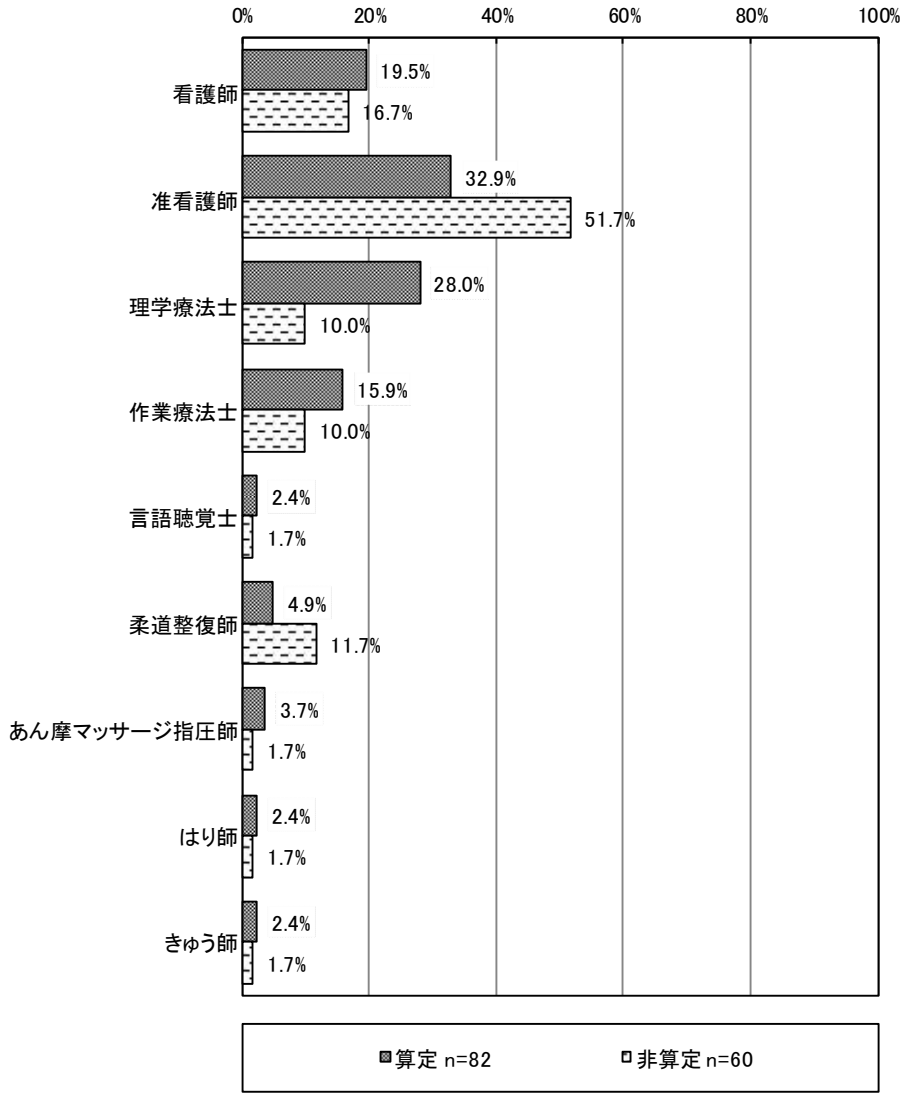
### 図表 105　職員数

（単位：人）

| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 0.9 | 0.4 | 1 | 2 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 1.0 | 0.3 | 1 | 2 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 医師 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 0.1 | 0.4 | 0 | 2 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.0 | 0.2 | 0 | 1 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.2 | 0.4 | 0.1 | 1.5 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 1.0 | 0.0 |
| 生活相談員 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 1.3 | 0.8 | 1 | 5 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 1.3 | 0.7 | 1 | 3 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 1.7 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.7 | 0.0 |
| 看護職員 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 2.1 | 2.0 | 1 | 11 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 2.1 | 1.4 | 2 | 6 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.6 | 0.9 | 0.0 | 4.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.7 | 0.9 | 0.4 | 3.5 | 0.0 |
| 介護職員 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 14.4 | 10.9 | 13 | 45 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 16.9 | 12.8 | 13 | 62 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 3.2 | 3.4 | 1.9 | 15.8 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 4.0 | 7.0 | 2.0 | 43.0 | 0.0 |
| 栄養士 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 0.7 | 0.6 | 1 | 2 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 1.0 | 1.0 | 1 | 5 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.5 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 機能訓練指導員 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 1.0 | 0.7 | 1 | 3 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.8 | 0.7 | 1 | 3 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.8 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 2.1 | 0.0 |
| 調理員 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 0.7 | 1.4 | 0 | 5 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 1.2 | 1.9 | 0 | 7 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.6 | 1.4 | 0.0 | 8.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 0.4 | 0.7 | 0.0 | 2.9 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 2.0 | 4.8 | 0 | 33 | 0 |
| | | 非算定 n=45 | 1.4 | 2.7 | 0 | 13 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 0.6 | 0.9 | 0.0 | 3.8 | 0.0 |
| | | 非算定 n=45 | 1.0 | 1.7 | 0.0 | 7.3 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=57 | 23.1 | 14.6 | 20 | 60 | 3 |
| | | 非算定 n=45 | 25.8 | 17.3 | 20 | 79 | 1 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=56 | 5.5 | 4.7 | 4.4 | 22.5 | 0.1 |
| | | 非算定 n=45 | 6.6 | 8.2 | 3.9 | 48.7 | 0.1 |

## ケ） 機能訓練指導員の保有する資格（問 1-9）

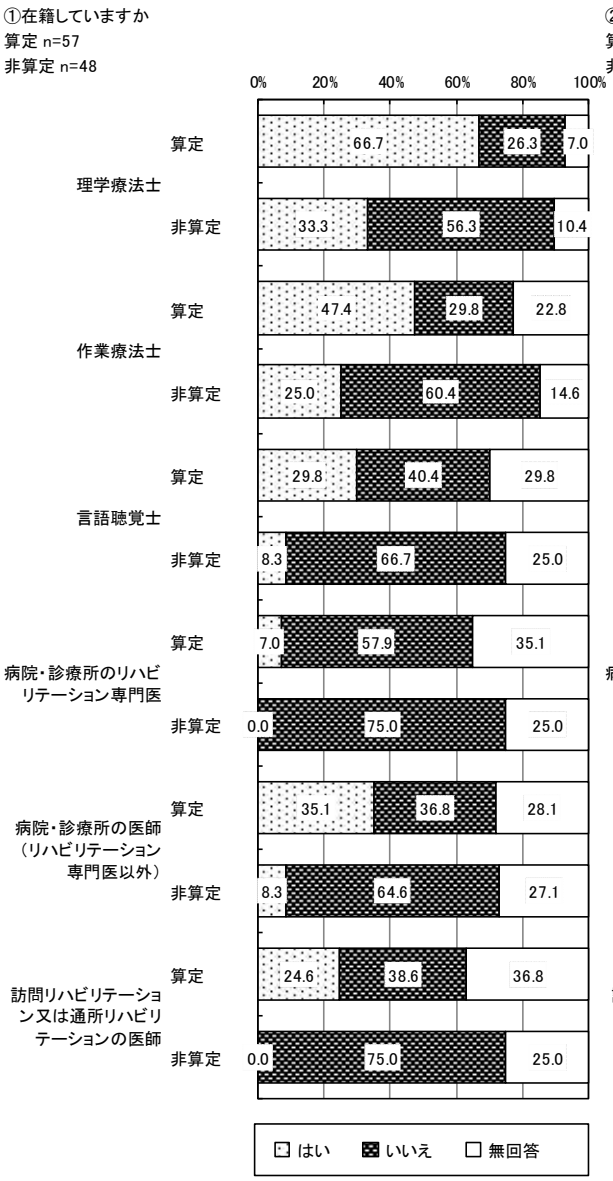
**図表 106　機能訓練指導員の保有する資格（機能訓練指導員の存在する事業所のみの集計結果）**



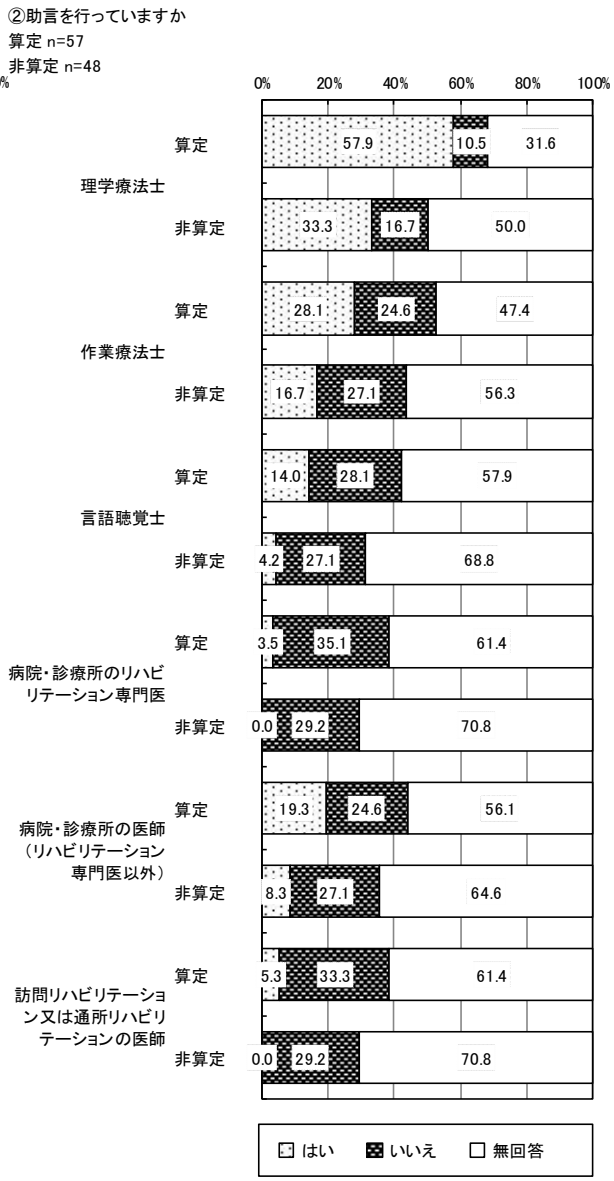

注：分母を機能訓練指導員が存在する事業所数、分子を各資格について回答のあった事業所数とし、算出した。

## コ） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-10）

### 図表 107　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか

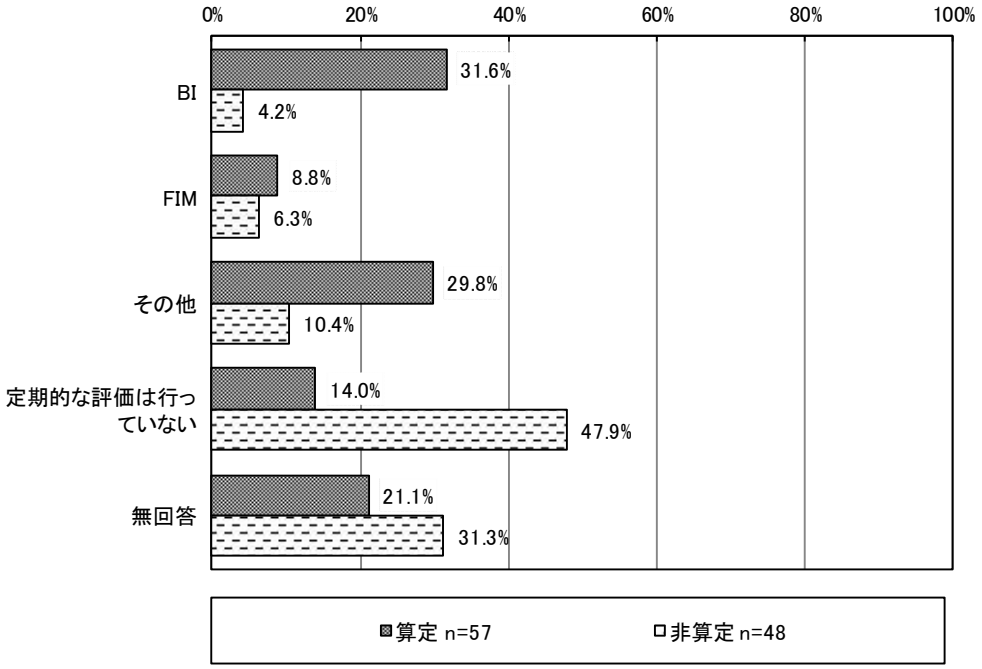



### 図表 108　助言を行っているか



## サ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-11）

図表 109　利用者の ADL・IADL の評価の指標




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

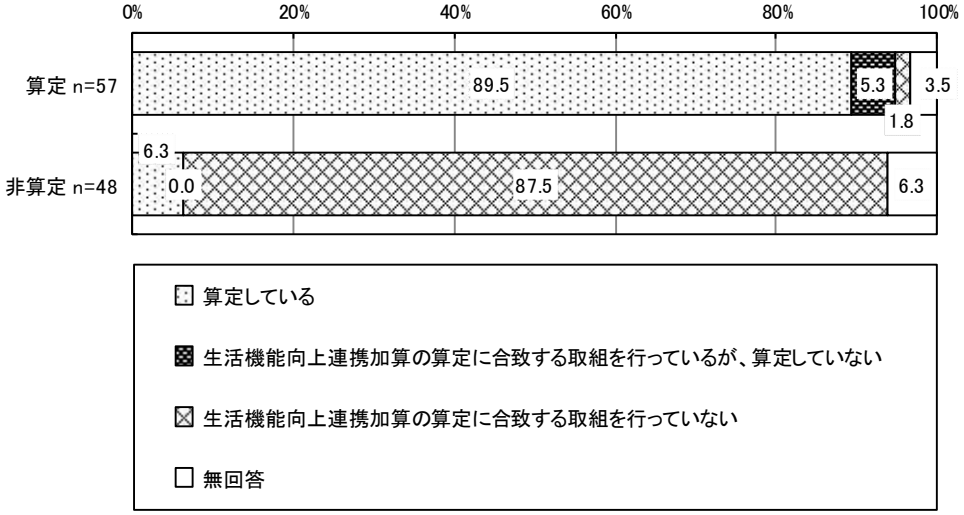
・（算定）ICF

・（非算定）体力測定の結果

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1）

**図表 110　生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組**




**図表 111　利用者の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=47 | 20.2 | 18.5 | 13.0 | 68 | 1 |
| 非算定 n=2 | 35.5 | 32.5 | 35.5 | 68 | 3 |

**図表 112　連携したリハ専門職等の実人数**

（単位：人）

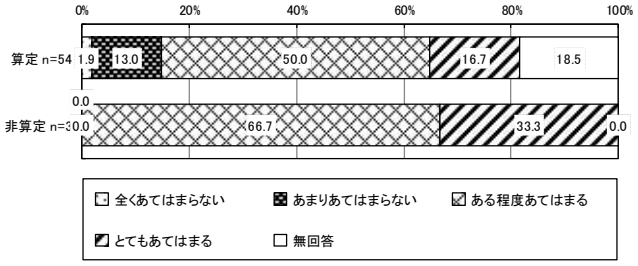
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=43 | 1.4 | 0.9 | 1.0 | 5 | 1 |
| 非算定 n=2 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1 | 1 |

## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

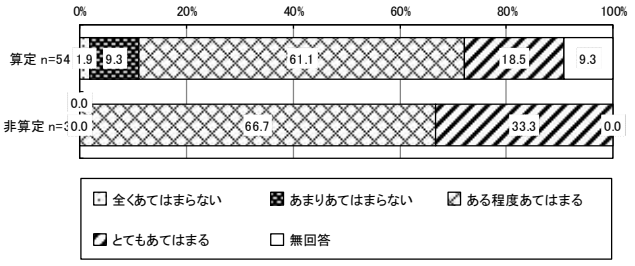
図表 113　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

### １）専門的な視点を踏まえ質の高い個別機能訓練計画を作成できた

①要介護 1、2 の利用者

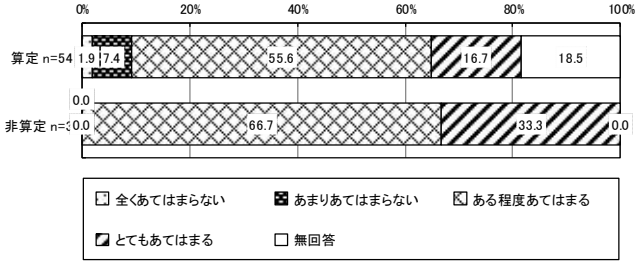



②要介護 3～5 の利用者

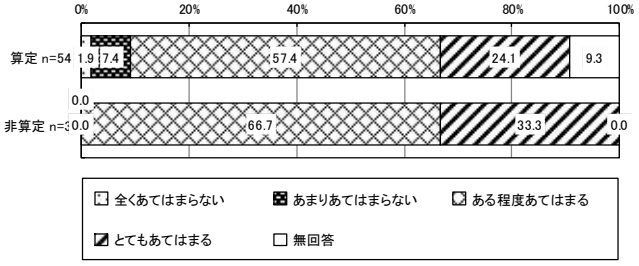



### ２）専門的な視点を踏まえた計画であるため、利用者に対し何故機能訓練を行うのかを自信を持って説明できるようになった

①要介護 1、2 の利用者

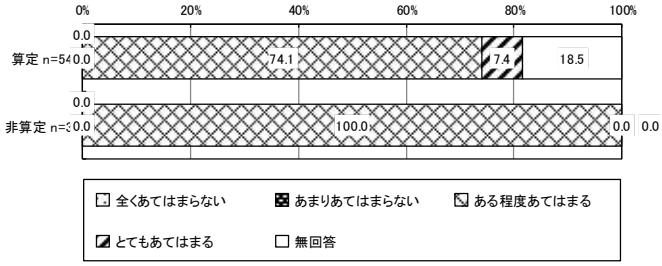



②要介護 3～5 の利用者

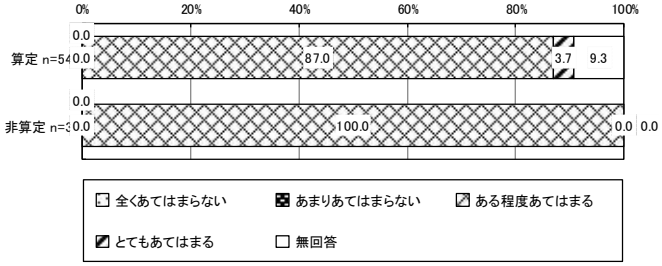



### ３）利用者の身体機能の維持・向上につながった

①要介護 1、2 の利用者

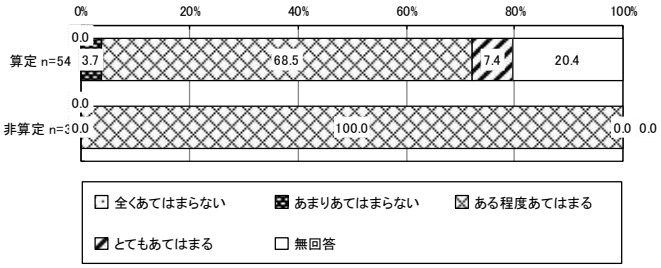



②要介護 3～5 の利用者

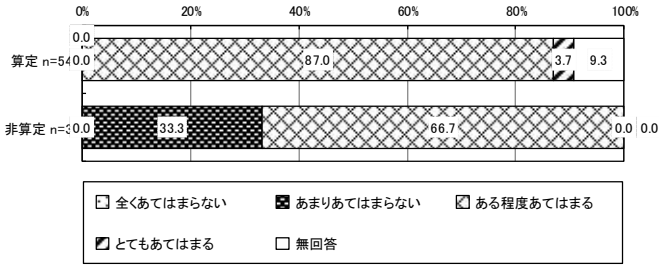


### 4）利用者の ADL や IADL の維持・向上につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

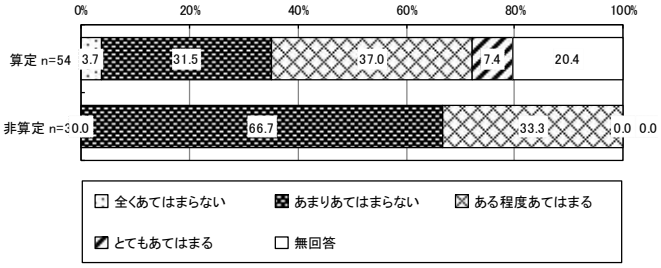



#### ②要介護 3～5 の利用者

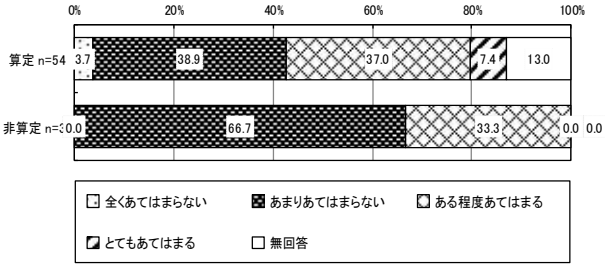



### 5）利用者本人の役割の再獲得や社会参加につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

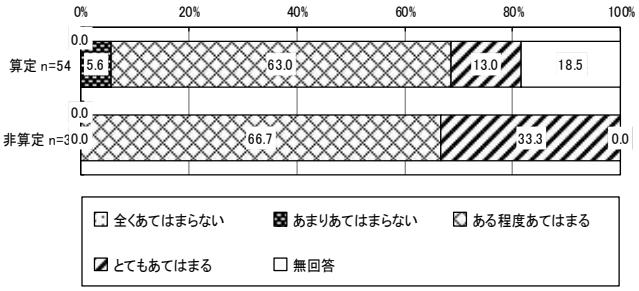



#### ②要介護 3～5 の利用者

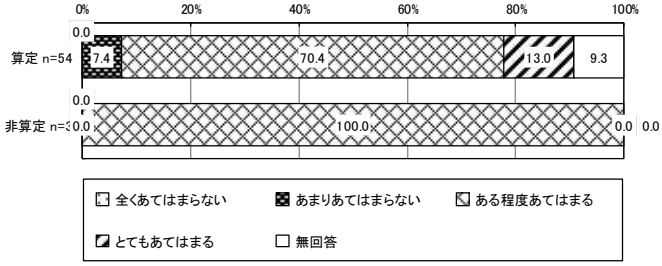



### 6）利用者の重度化防止につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

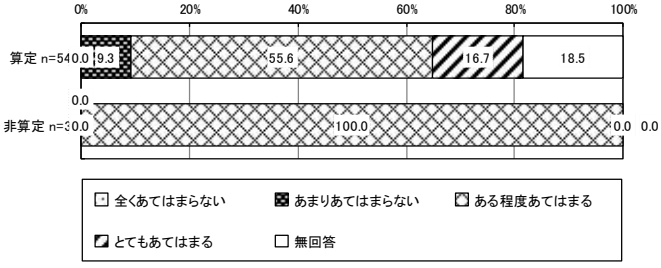



#### ②要介護 3～5 の利用者

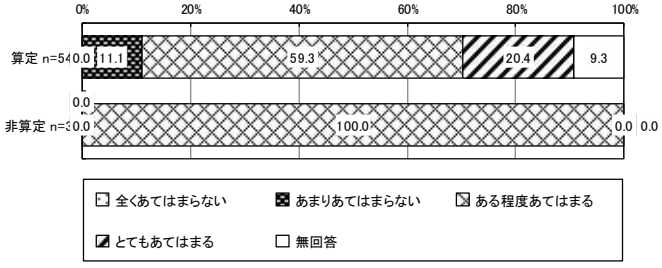



### 7）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで利用者の安心につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

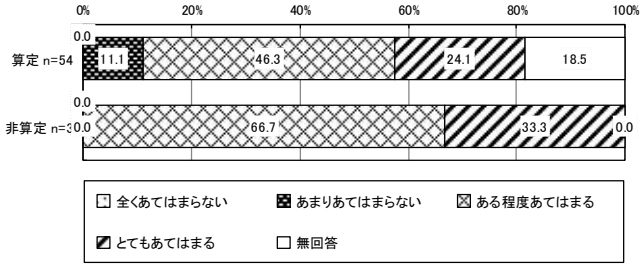



#### ②要介護 3～5 の利用者

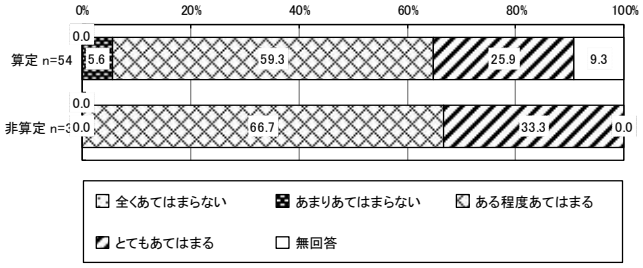


**８）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで介護職員等の安心につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

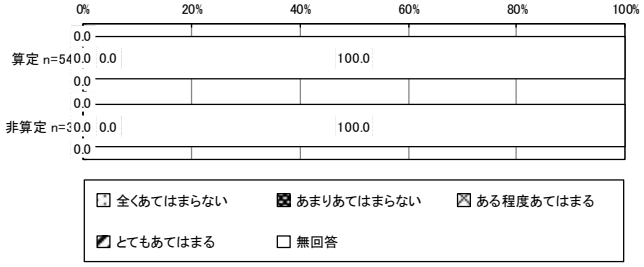



**②要介護 3～5 の利用者**

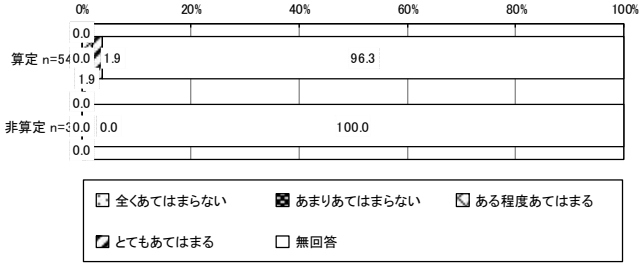



**９）その他**

**①要介護 1、2 の利用者**



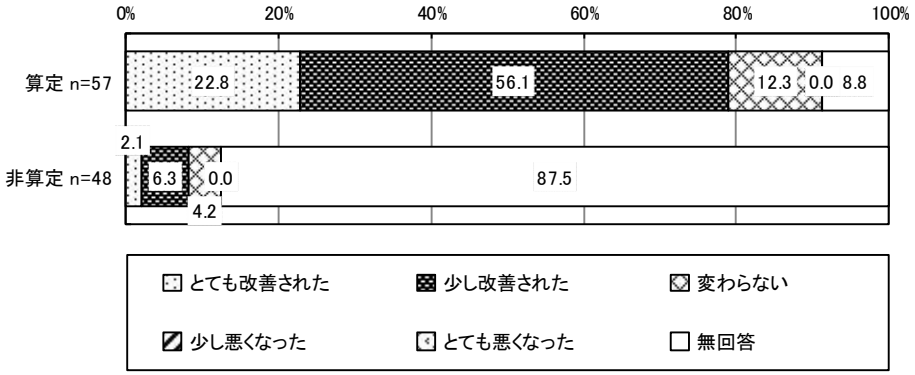

**②要介護 3～5 の利用者**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

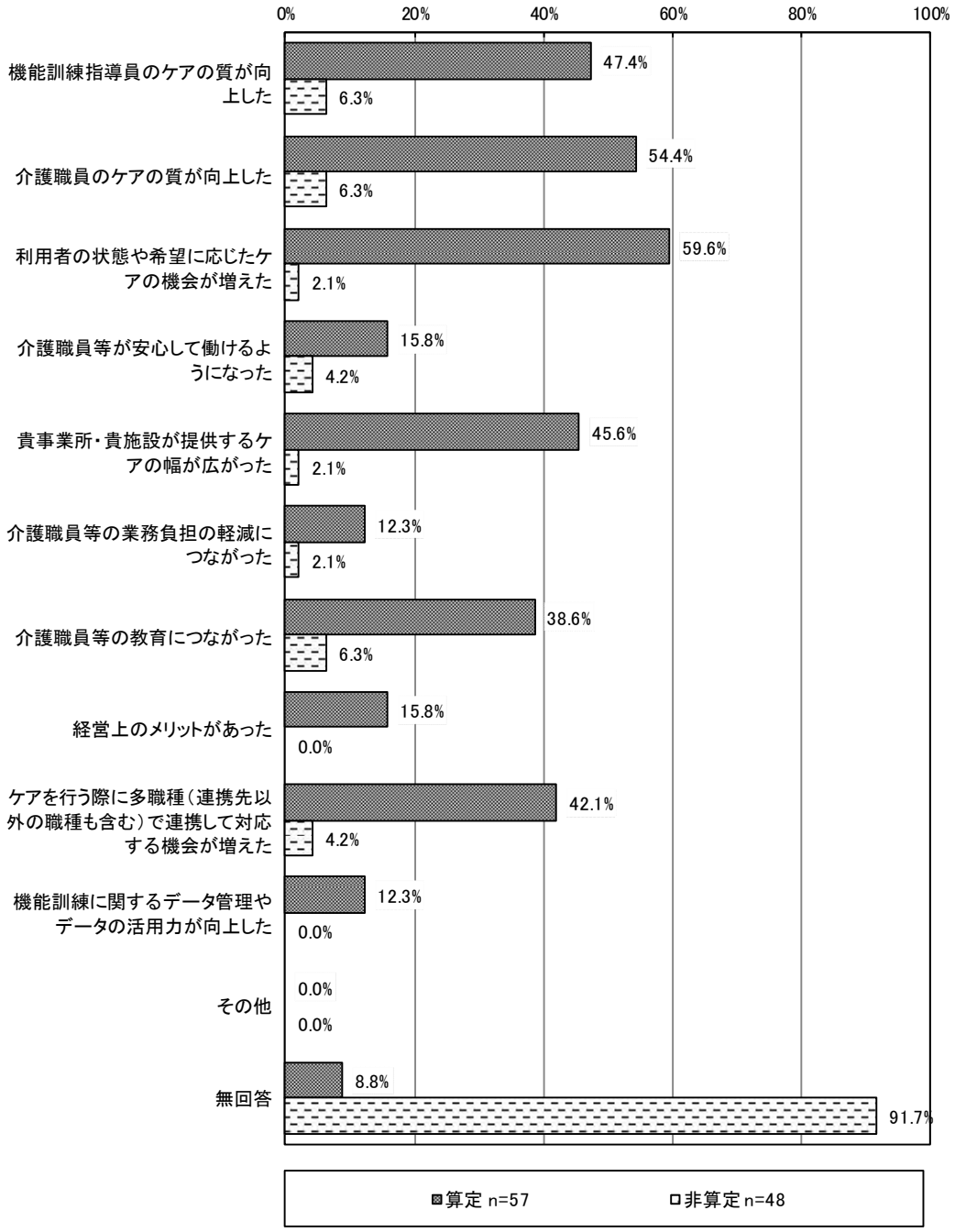
## ウ） 個別機能訓練計画の改善状況（問 2-3）

**図表 114　個別機能訓練計画の改善状況**



## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 115　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

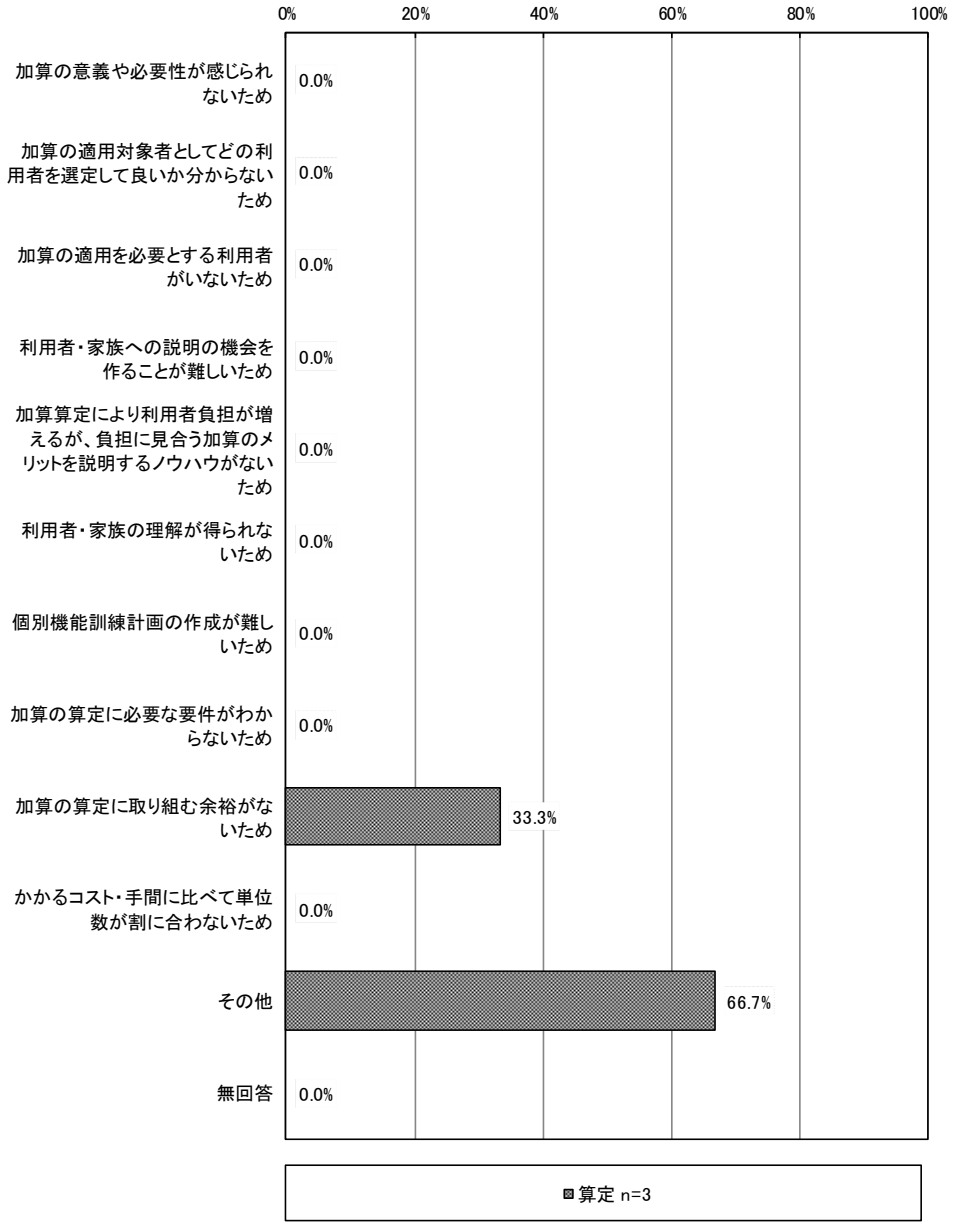
**図表 116　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額**

（単位：円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=36 | 17101.4 | 26780.2 | 3150 | 126000 | 0 |
| 非算定 n=1 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 |

## カ） 取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由（問 2-6）

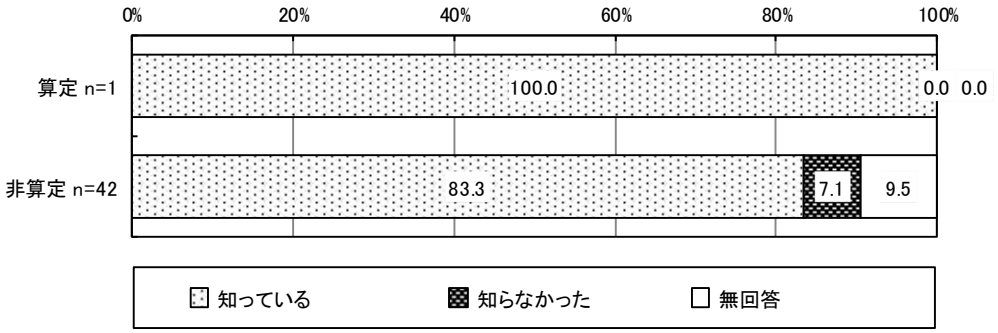
**図表 117　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

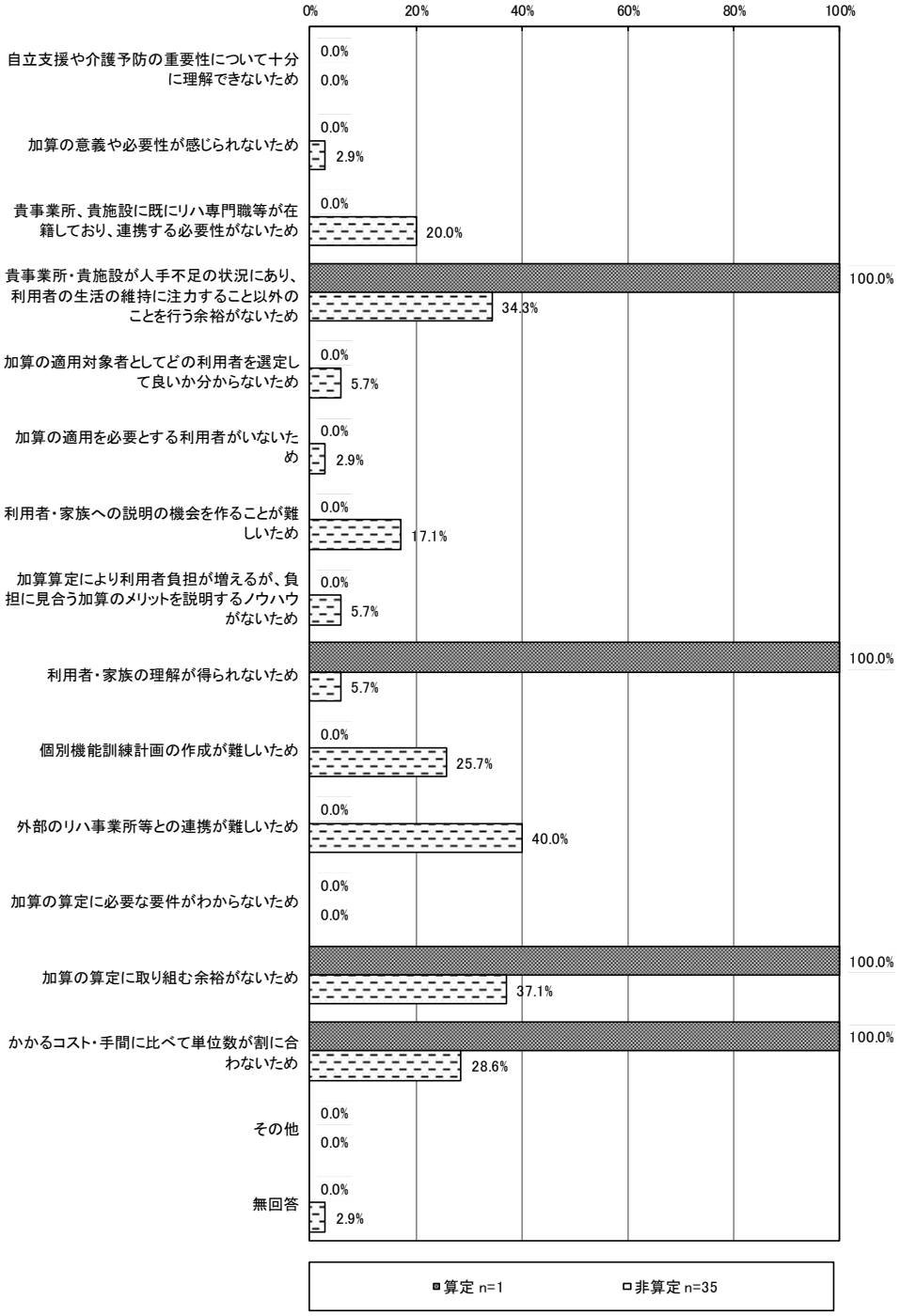
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

**図表 118　生活機能向上連携加算を知っているか**



## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

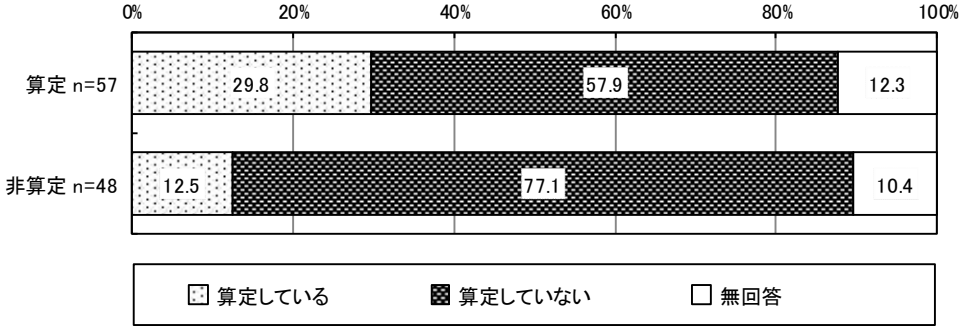
**図表 119　加算を算定していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 個別機能訓練加算の算定有無及び算定回数、利用者実人数（問 2-9）

**図表 120　算定有無**




**図表 121　算定回数**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=12 | 243.8 | 277.9 | 93.5 | 720 | 13 |
| 非算定 n=5 | 32.8 | 29.5 | 30.0 | 74 | 1 |

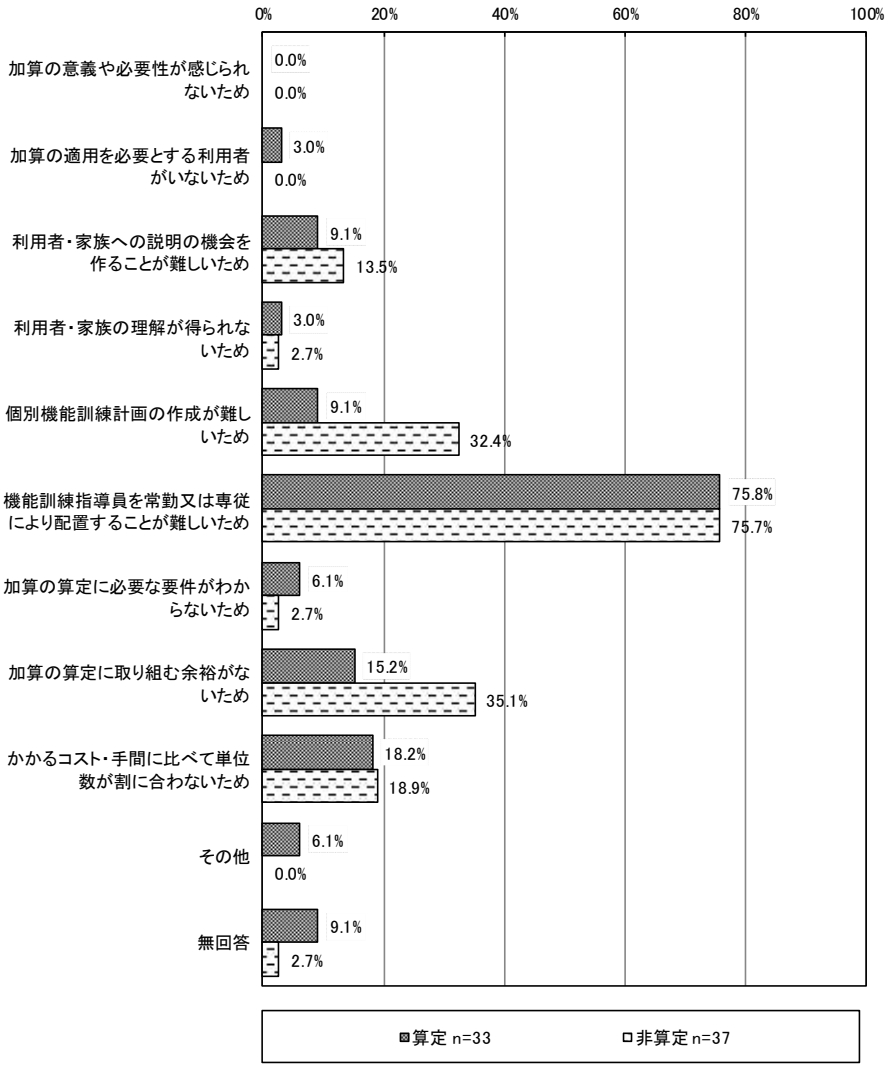
**図表 122　利用者実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=15 | 24.9 | 20.0 | 22.0 | 67 | 1 |
| 非算定 n=5 | 39.4 | 29.8 | 60.0 | 67 | 2 |

## コ） 個別機能訓練加算を算定しない理由（問 2-10）

**図表 123　個別機能訓練加算を算定しない理由**

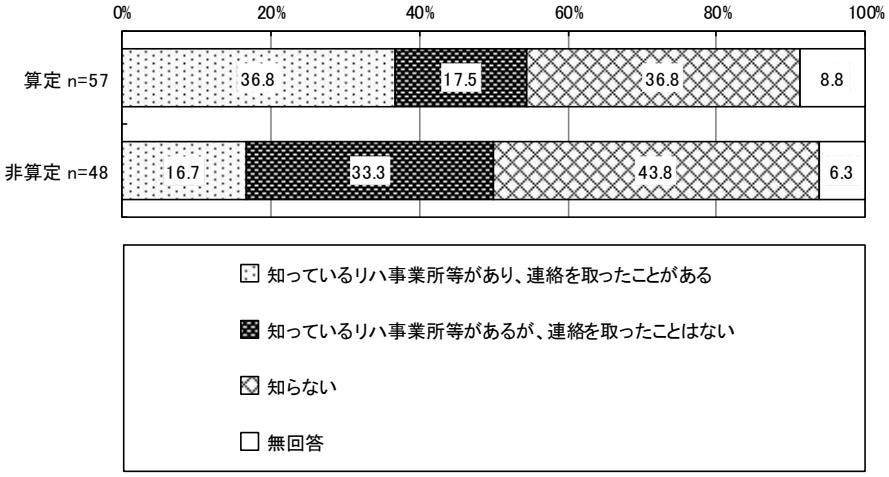



※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## Ⅲ．外部との連携状況

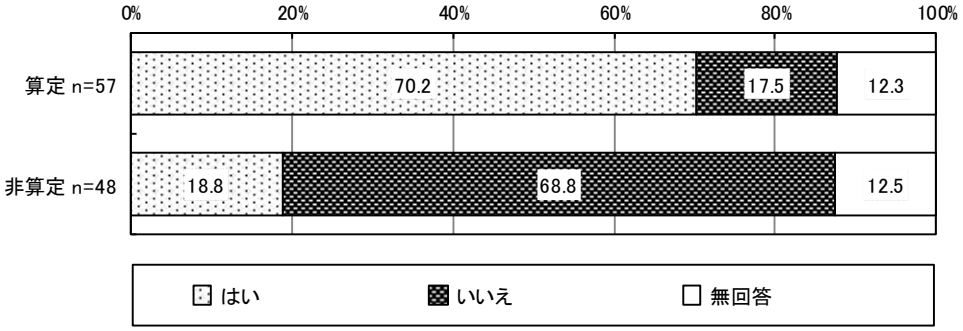
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 124　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



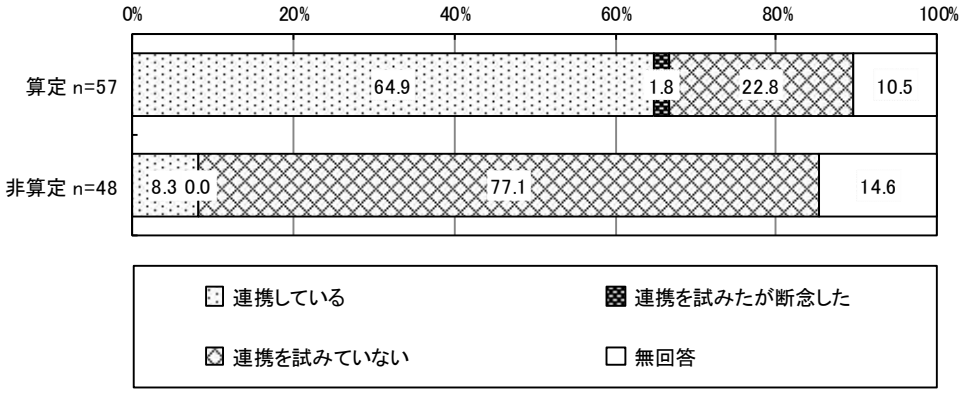

### イ） 個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 125　個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価を行っているか**



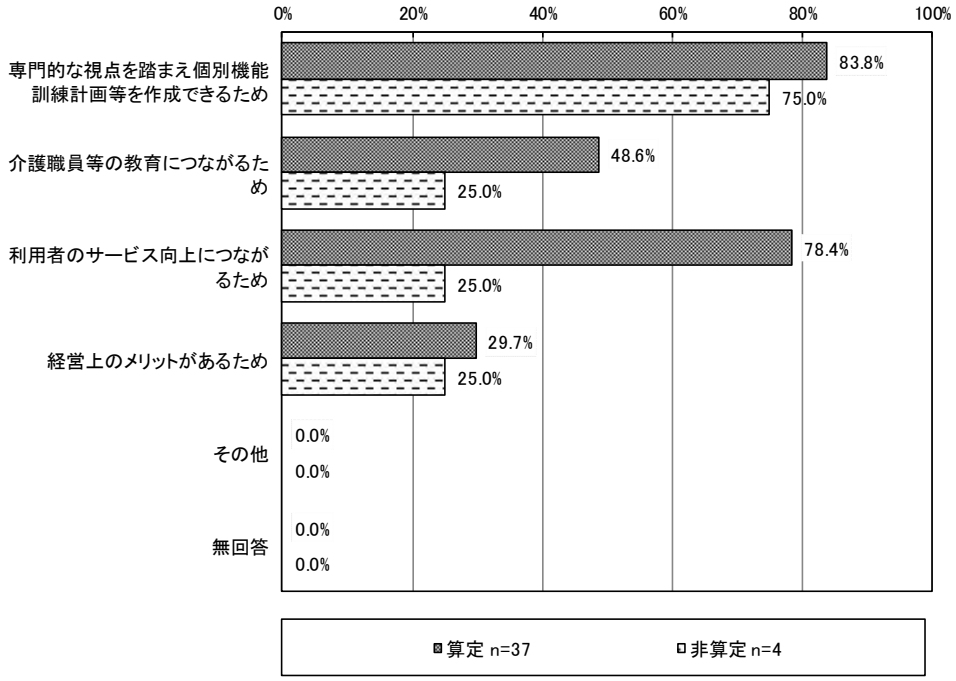
## ウ） 個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 126　個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 127　連携している理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

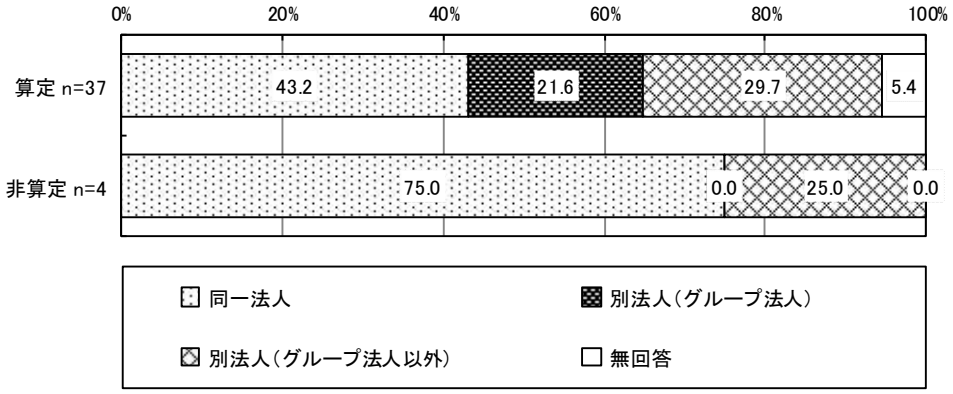
**図表 128　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位:件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=26 | 3.0 | 10.2 | 1 | 54 | 1 |
| 非算定 n=4 | 1.0 | 0.0 | 1 | 1 | 1 |

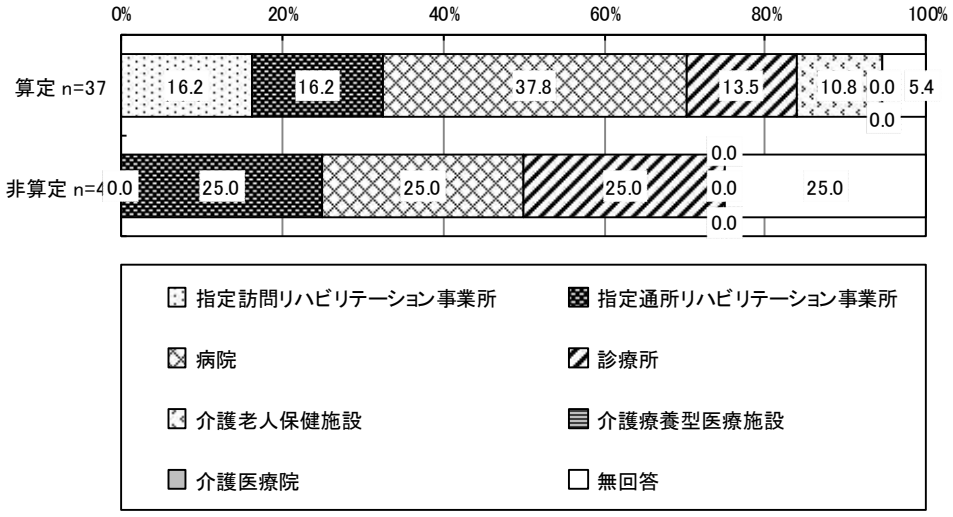
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 129　連携先は同一法人内か否か**



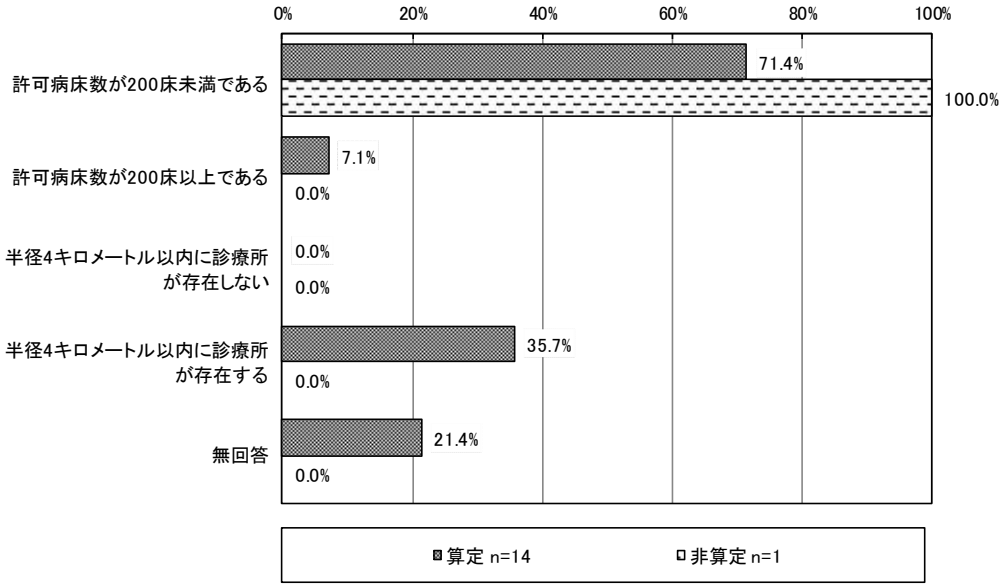

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 130　連携先となる事業所・施設**



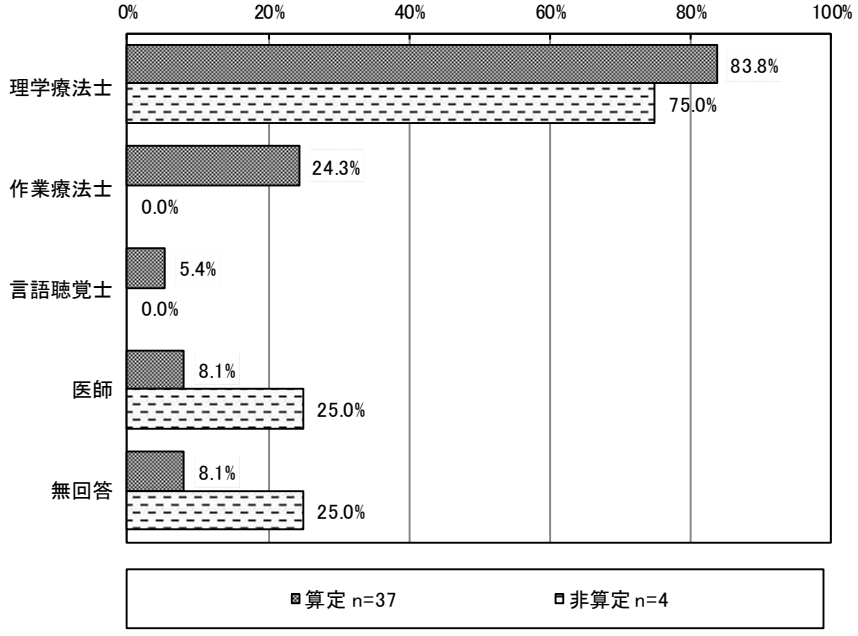
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 131　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



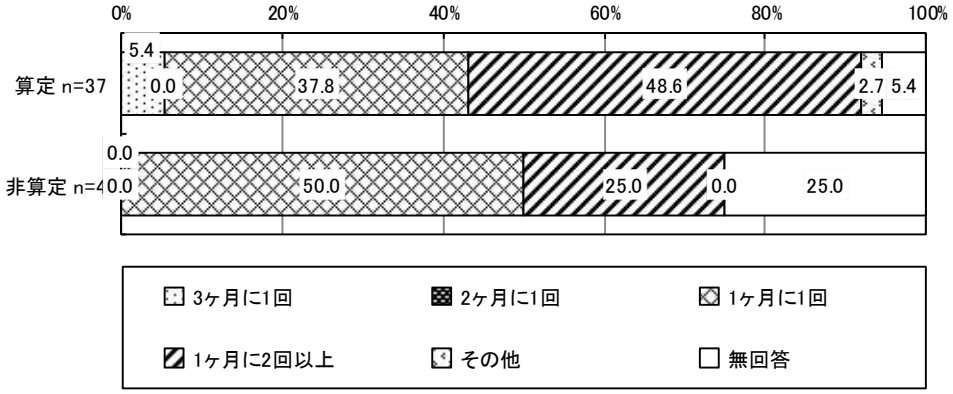

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 132　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

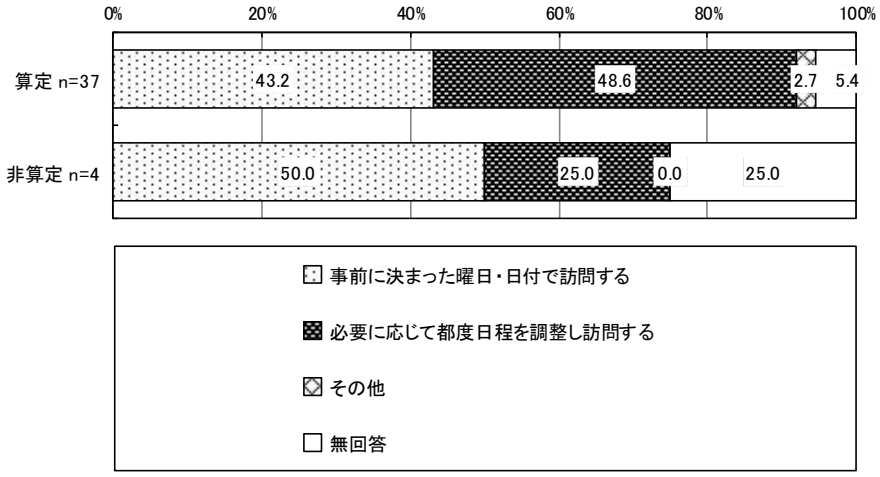
**図表 133　連携先による訪問頻度**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

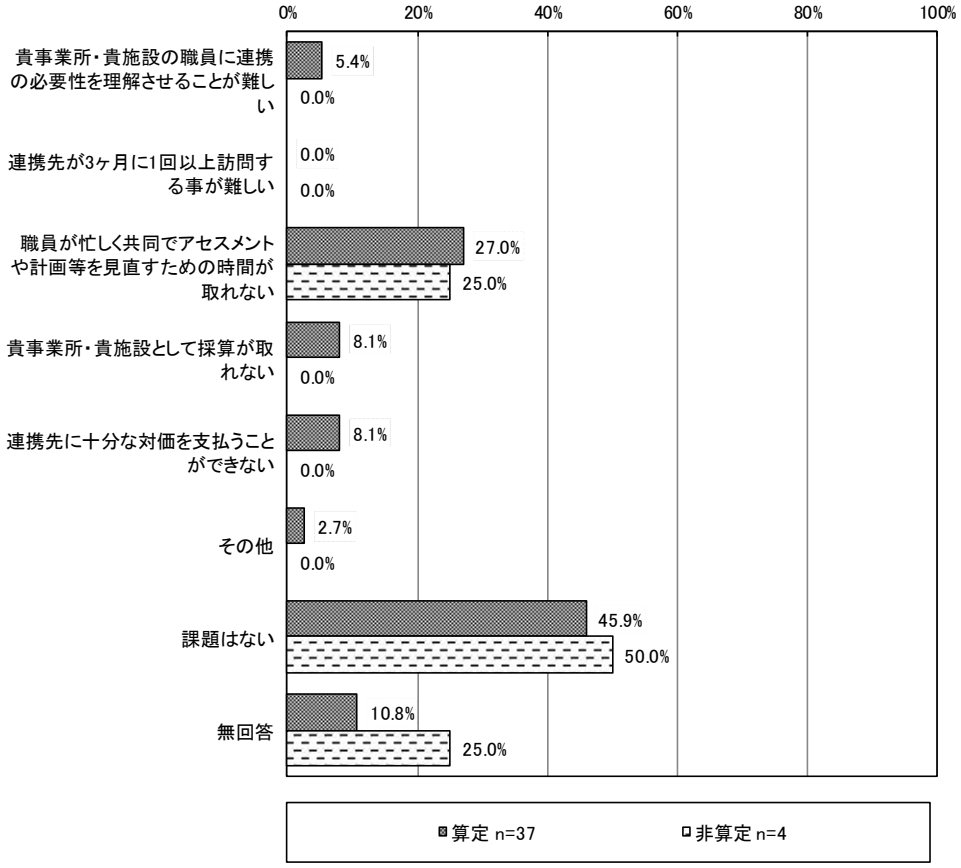
**図表 134　訪問日時は決められているか**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

**図表 135　連携先と連携を継続する上での課題**

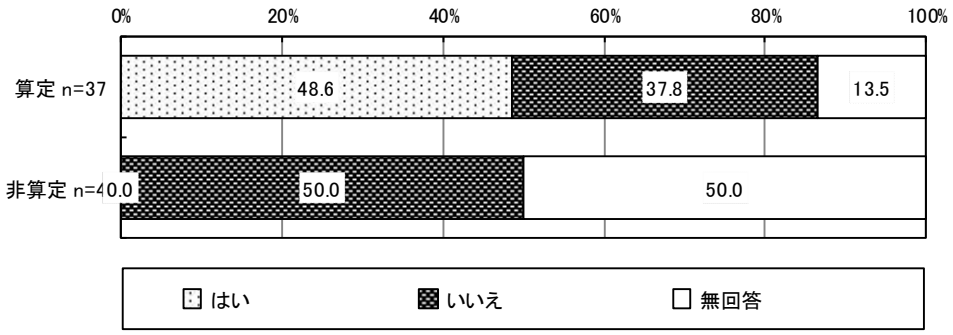



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）効率よく情報共有を行えていない

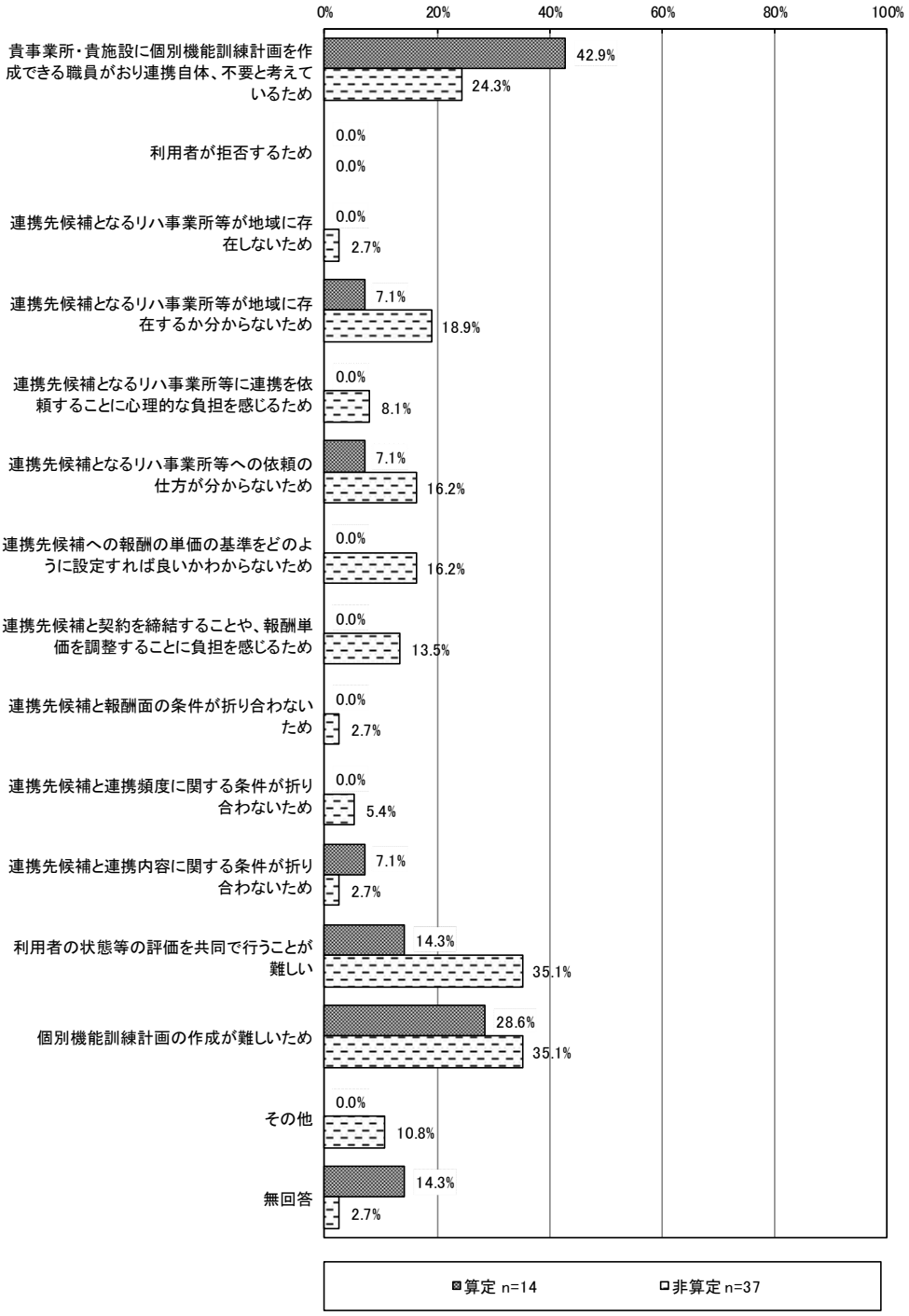
## ス） 連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 136　連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

**図表 137　連携していない理由**

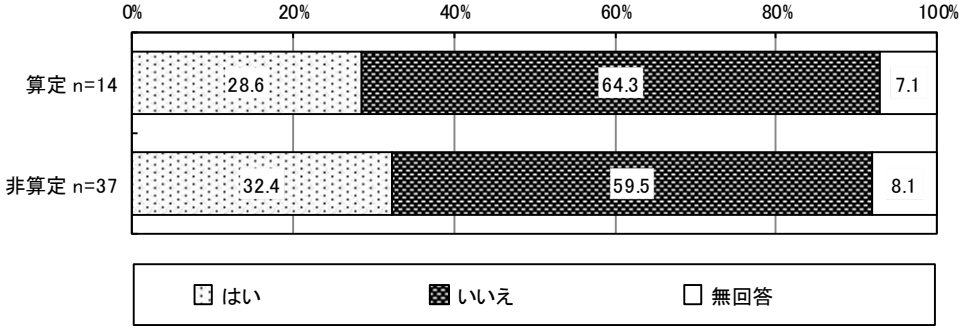



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）居宅サービス計画書に計画がないため

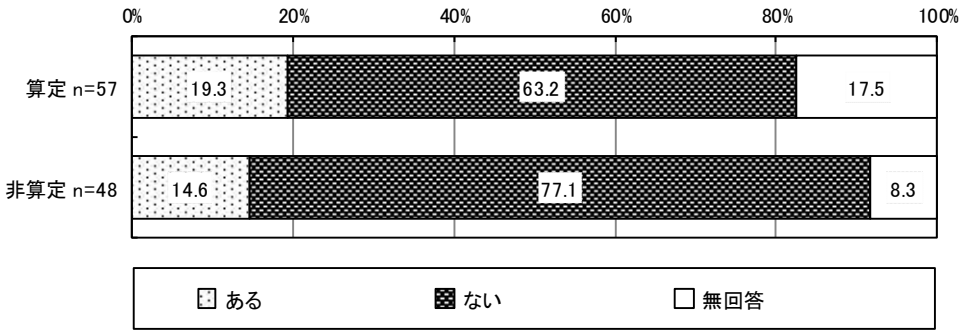
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 138　連携の必要性を感じているか**



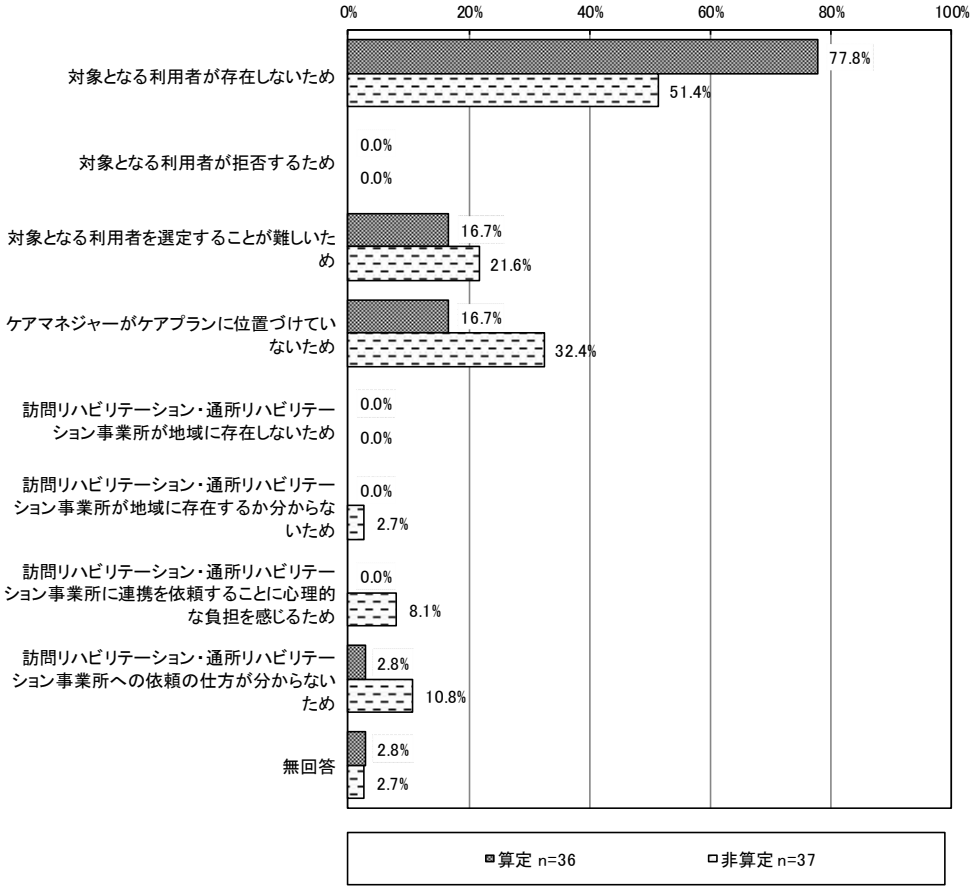

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 139　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

**図表 140　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由**



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 141 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=48 | 43.8 | 54.2 | 29.2 | 35.4 | 18.8 | 75.0 | 72.9 | 25.0 | 29.2 | 2.1 |
| | 非算定 n=3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 66.7 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=48 | 18.8 | 14.6 | 14.6 | 14.6 | 6.3 | 18.8 | 16.7 | 6.3 | 6.3 | 2.1 |
| | 非算定 n=3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=48 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 非算定 n=3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=48 | 4.2 | 4.2 | 66.7 | 68.8 | 77.1 | 77.1 | 43.8 | 18.8 | 14.6 |
| | 非算定 n=3 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 66.7 | 100.0 | 66.7 | 33.3 | 33.3 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=48 | 2.1 | 4.2 | 18.8 | 18.8 | 18.8 | 16.7 | 8.3 | 4.2 | 75.0 |
| | 非算定 n=3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 66.7 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=48 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 93.8 |
| | 非算定 n=3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 142 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院・診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=15 | 26.7 | 6.7 | 0.0 | 46.7 | 20.0 | 46.7 |
| 病院・診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | | 20.0 | 26.7 | 20.0 | 13.3 | 6.7 | 60.0 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 6.7 | 0.0 | 93.3 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

**図表 143　連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・意欲の低下
・身体機能低下

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容（問 4-4）

**図表 144　効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

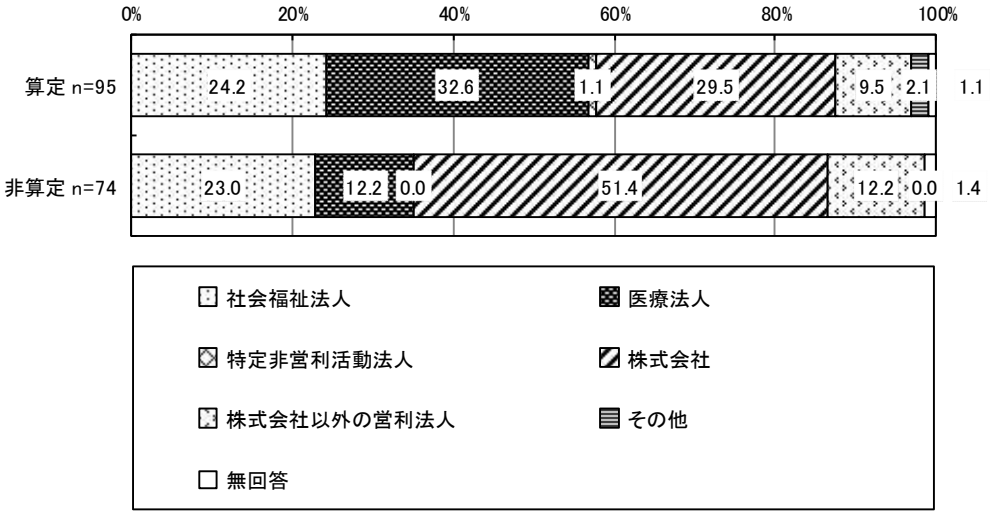
・言語聴覚士：嚥下機能向上と誤嚥防止のため、飲み込み時のむせ込みの有無、トロミなどの調整指導、姿勢の指導。
・理学療法士：車椅子の自走について目標設定を行い、支援してはどうか。体の傾きもあるため、座り直しを行ってみたり、生活上の不用意な介助を減らしたり、安全な方法の口頭指示などを工夫してみてはどうか。
・理学療法士：関節の拘縮予防訓練、離着床時のポジショニング、移乗方法、手の巧緻機能向上訓練、歩行器歩行の状態。
・医師：日常生活で施設療法士と連携して歩行状態を確認した上で、歩行する場面を設けることで身体機能、動作維持が図れる。

## （４） 特定施設入居者生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1-1）

図表 145　法人種別



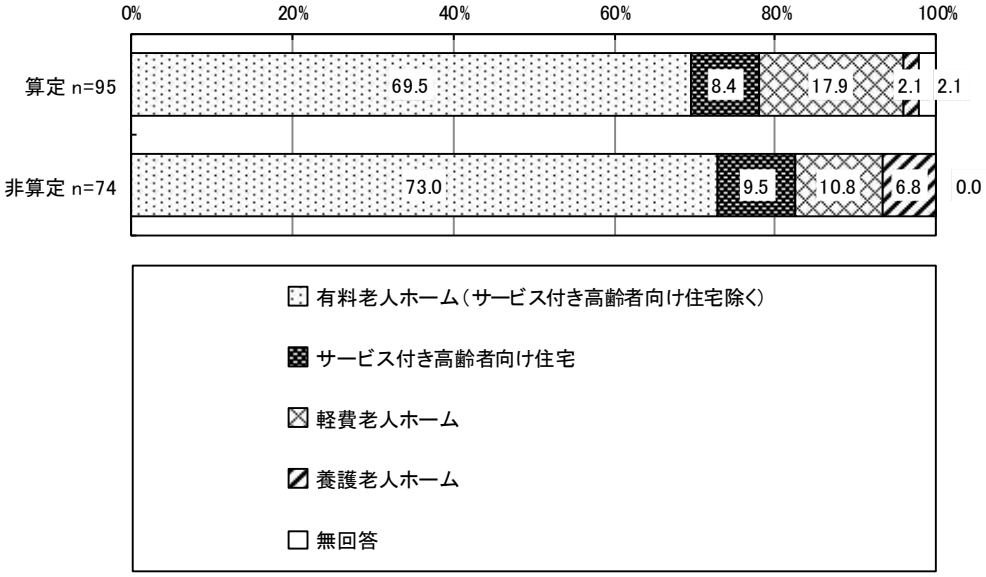

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）社会医療法人

・（算定）公益財団法人

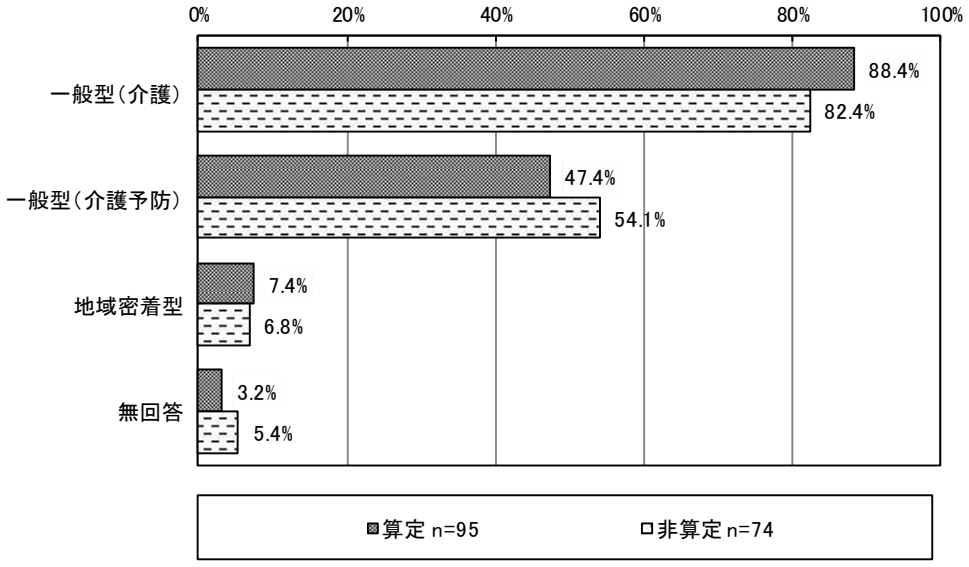
## イ） 種類・施設区分（問 1-2）

**図表 146　種類・施設区分**



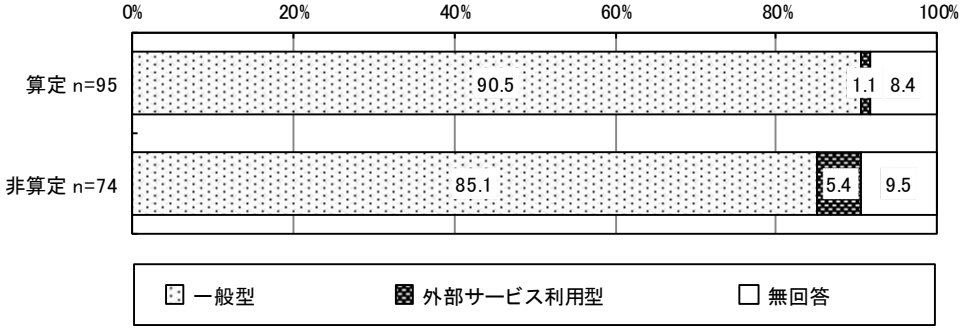

## ウ） 特定施設入居者生活介護の指定（問 1-3）

**図表 147　特定施設入居者生活介護の指定**



## エ） サービスの提供形態（問 1-4）

**図表 148　サービスの提供形態**




## オ） 定員数（問 1-5）

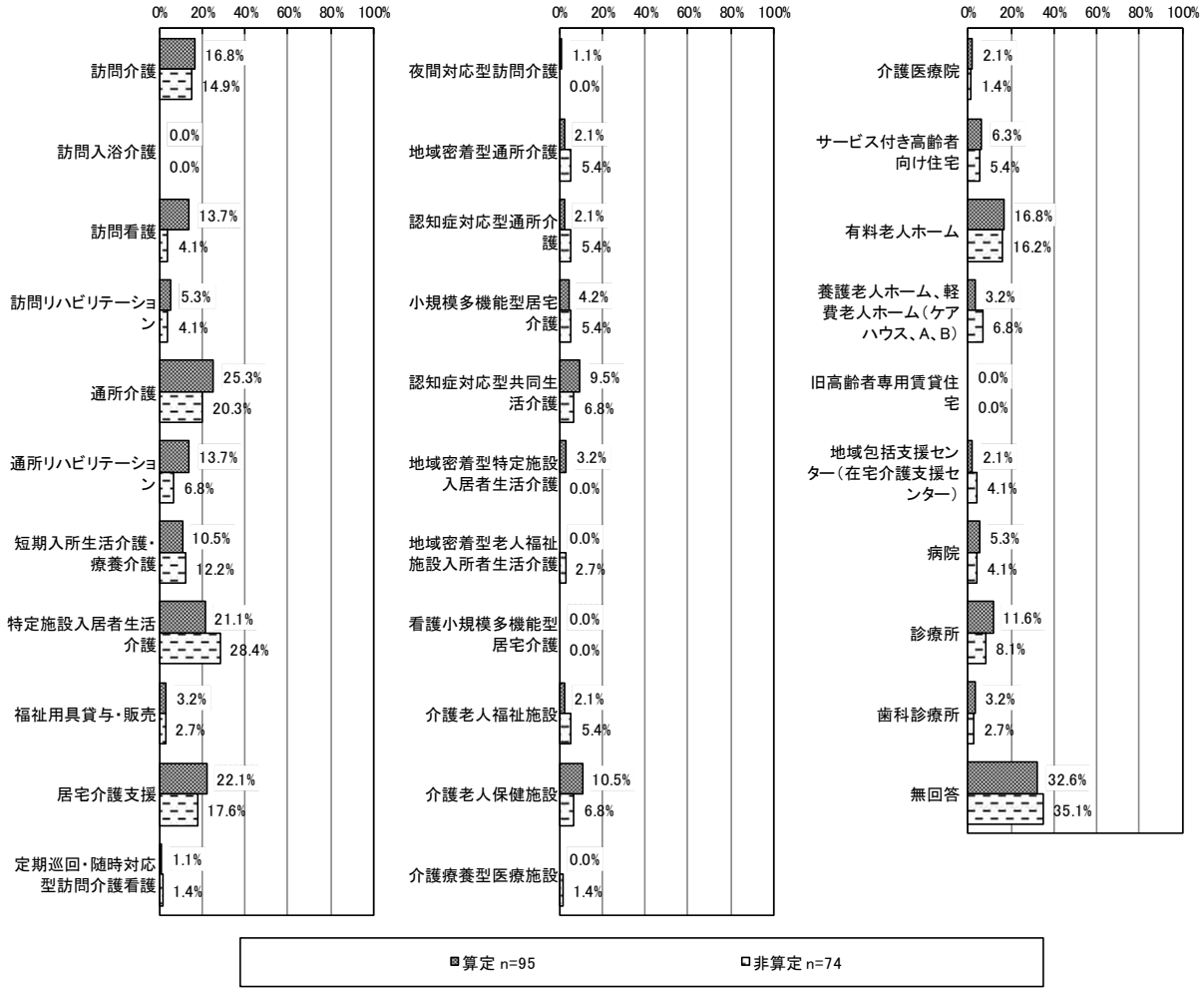
**図表 149　定員数**

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=52 | 69.6 | 85.6 | 50.0 | 598 | 12 |
| 非算定 n=45 | 69.7 | 126.2 | 44.0 | 882 | 14 |

## カ） 併設施設サービス（問 1-6）

**図表 150　併設施設サービス**



## キ） 要介護度別の利用者数（問 1-7）

**図表 151　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=95 | 48.7 | 70.3 | 36 | 689 | 9 |
| | 非算定 n=74 | 35.2 | 18.6 | 32 | 109 | 8 |
| 要介護1 | 算定 n=95 | 14.2 | 34.1 | 9 | 333 | 0 |
| | 非算定 n=74 | 10.0 | 6.6 | 9 | 36 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=95 | 11.1 | 12.9 | 9 | 120 | 1 |
| | 非算定 n=74 | 8.3 | 5.5 | 7 | 27 | 1 |
| 要介護3 | 算定 n=95 | 9.6 | 18.5 | 6 | 180 | 0 |
| | 非算定 n=74 | 6.2 | 3.5 | 6 | 15 | 0 |
| 要介護4 | 算定 n=95 | 8.5 | 7.1 | 7 | 56 | 0 |
| | 非算定 n=74 | 6.5 | 5.0 | 5 | 21 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=95 | 5.1 | 4.2 | 4 | 20 | 0 |
| | 非算定 n=74 | 4.0 | 3.5 | 3 | 19 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=95 | 0.2 | 0.9 | 0 | 8 | 0 |
| | 非算定 n=74 | 0.2 | 0.7 | 0 | 4 | 0 |

## ク） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-8）

**図表 152　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=78 | 45.4 | 29.8 | 37 | 3 | 186 |
| | 非算定 n=61 | 39.8 | 21.3 | 37 | 9 | 103 |
| 自立 | 算定 n=78 | 3.5 | 5.8 | 2 | 0 | 35 |
| | 非算定 n=61 | 4.8 | 9.2 | 2 | 0 | 67 |
| Ⅰ | 算定 n=78 | 6.0 | 6.2 | 4 | 0 | 28 |
| | 非算定 n=61 | 6.2 | 6.1 | 5 | 0 | 35 |
| Ⅱa | 算定 n=78 | 6.5 | 8.3 | 4.5 | 0 | 48 |
| | 非算定 n=61 | 5.3 | 4.5 | 4 | 0 | 21 |
| Ⅱb | 算定 n=78 | 12.3 | 16.7 | 8.5 | 0 | 138 |
| | 非算定 n=61 | 9.4 | 7.1 | 8 | 0 | 36 |
| Ⅲa | 算定 n=78 | 7.5 | 6.1 | 6 | 0 | 28 |
| | 非算定 n=61 | 7.4 | 6.1 | 6 | 0 | 26 |
| Ⅲb | 算定 n=78 | 3.9 | 5.0 | 3 | 0 | 34 |
| | 非算定 n=61 | 3.0 | 4.1 | 2 | 0 | 23 |
| Ⅳ | 算定 n=78 | 4.4 | 4.9 | 3 | 0 | 20 |
| | 非算定 n=61 | 2.7 | 3.2 | 2 | 0 | 15 |
| M | 算定 n=78 | 1.2 | 2.4 | 0 | 0 | 15 |
| | 非算定 n=61 | 1.1 | 2.5 | 0 | 0 | 13 |

## ケ） 令和元年 9 月 1 か月間の利用者数（問 1-9）

**図表 153　令和元年 9 月 1 か月間の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=83 | 221.9 | 511.4 | 48.0 | 2839 | 12 |
| 非算定 n=67 | 143.0 | 315.4 | 42.0 | 1466 | 8 |

## コ） 職員数（問 1-10）

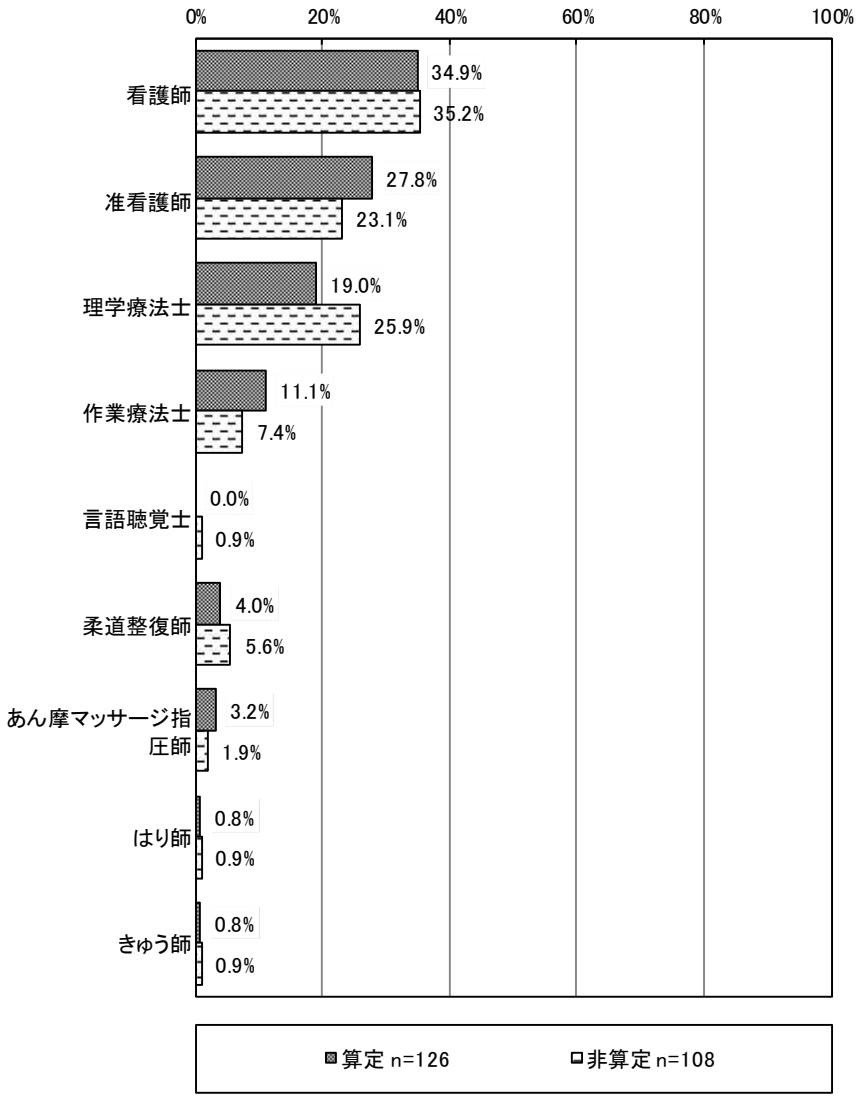
### 図表 154　職員数

（単位:人）

| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 1.0 | 0.2 | 1 | 1 | 0 |
| | | 非算定 n=71 | 1.0 | 0.2 | 1 | 1 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=62 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 生活相談員 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 1.3 | 0.7 | 1 | 4 | 0 |
| | | 非算定 n=71 | 1.7 | 3.0 | 1 | 26 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.5 | 0.0 |
| | | 非算定 n=62 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 看護職員 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 2.9 | 2.4 | 2 | 16 | 0 |
| | | 非算定 n=71 | 2.2 | 1.9 | 2 | 12 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 1.0 | 1.4 | 0.8 | 9.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=62 | 1.3 | 1.8 | 0.8 | 12.0 | 0.0 |
| 介護職員 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 15.4 | 10.6 | 13 | 75 | 0 |
| | | 非算定 n=71 | 12.0 | 7.3 | 11 | 39 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 5.0 | 6.2 | 3.4 | 46.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=62 | 6.4 | 8.5 | 3.2 | 46.0 | 0.0 |
| 機能訓練指導員 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 0.9 | 0.7 | 1 | 3 | 0 |
| | | 非算定 n=71 | 0.9 | 1.0 | 1 | 6 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 0.3 | 0.4 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=62 | 0.3 | 0.6 | 0.0 | 3.0 | 0.0 |
| 計画作成担当者 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 1.2 | 0.8 | 1 | 5 | 0 |
| | | 非算定 n=71 | 1.0 | 0.6 | 1 | 3 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 1.6 | 0.0 |
| | | 非算定 n=62 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.5 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 2.4 | 4.4 | 1 | 25 | 0 |
| | | 非算定 n=71 | 1.9 | 4.1 | 0 | 27 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 1.7 | 3.3 | 0.4 | 19.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=62 | 2.3 | 6.4 | 0.1 | 48.2 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=93 | 24.9 | 16.0 | 22 | 106 | 2 |
| | | 非算定 n=71 | 20.7 | 12.9 | 17 | 77 | 3 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=85 | 8.3 | 9.3 | 5.4 | 52.0 | 0.1 |
| | | 非算定 n=62 | 10.6 | 13.7 | 6.1 | 71.4 | 0.1 |

## サ） 機能訓練指導員の保有する資格（問 1-11）

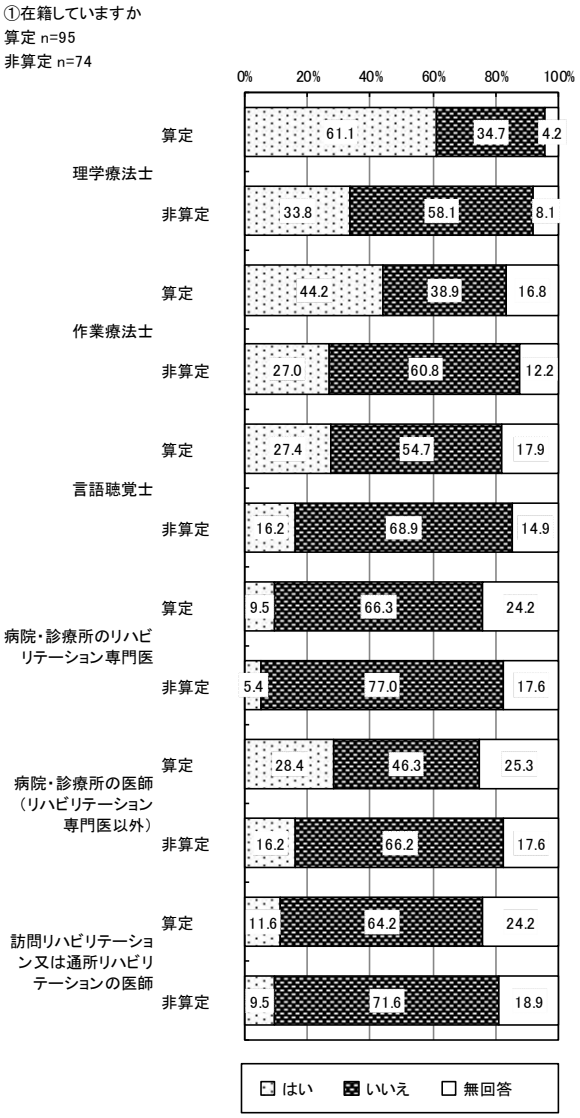
**図表 155　機能訓練指導員の保有する資格（機能訓練指導員の存在する事業所のみの集計結果）**



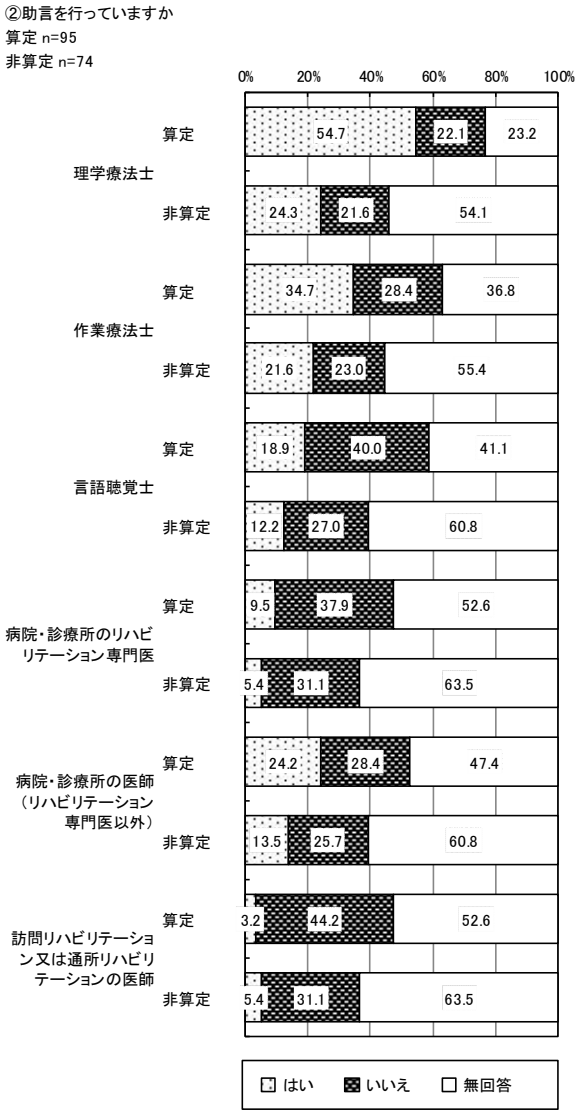

注：分母を機能訓練指導員が存在する事業所数、分子を各資格について回答のあった事業所数とし、算出した。

## シ） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-12）

### 図表 156　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか

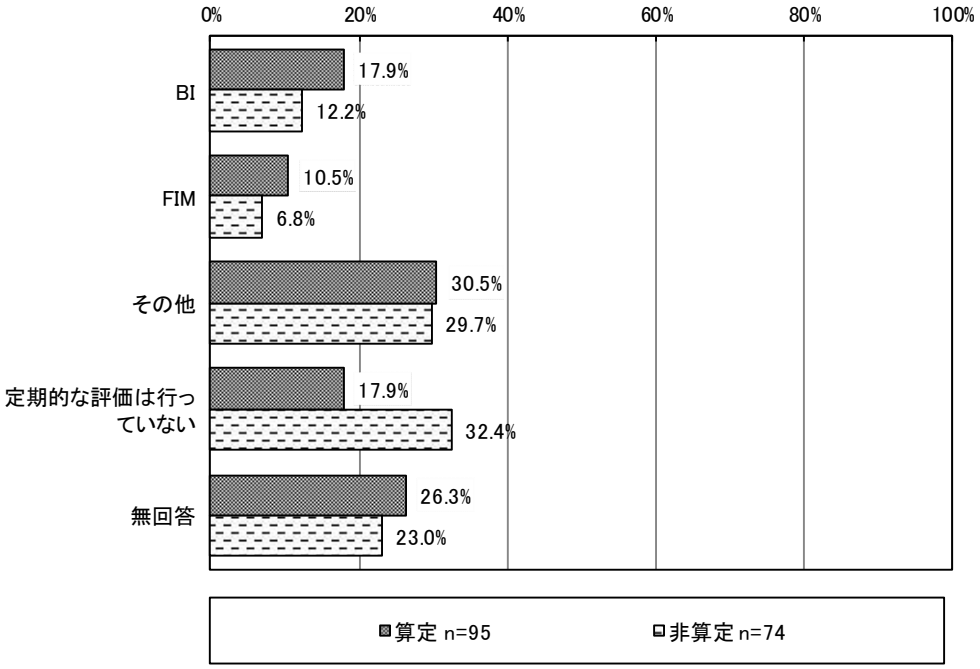



### 図表 157　助言を行っているか



## ス） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-13）

図表 158　利用者の ADL・IADL の評価の指標




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

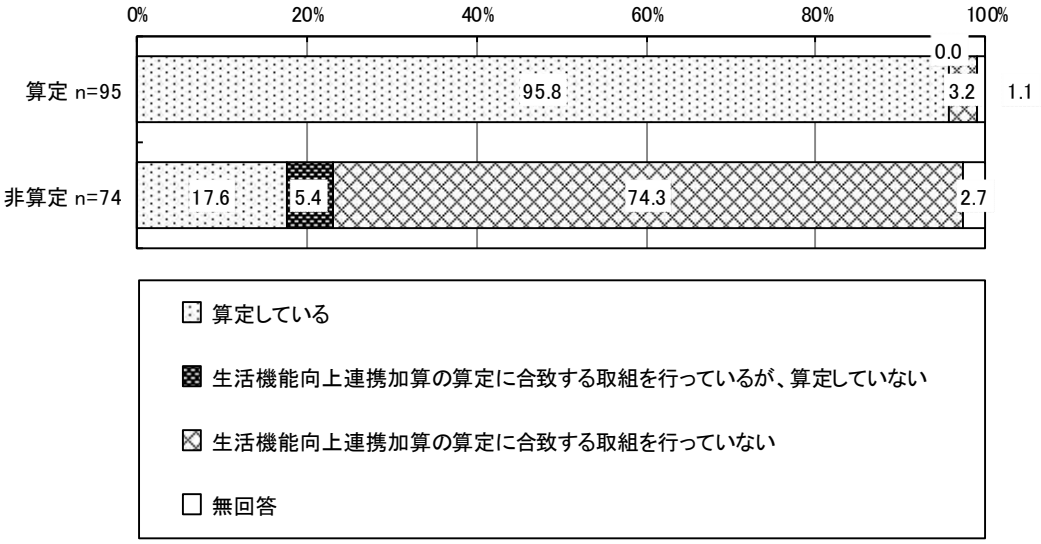
・（算定）体力測定の結果

・（非算定）体力測定の結果

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1） 令和元年 9 月

**図表 159 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組**




**図表 160 利用者の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=86 | 40.0 | 21.6 | 35.5 | 120 | 3 |
| 非算定 n=11 | 29.3 | 18.2 | 29.0 | 73 | 3 |

**図表 161 連携したリハ専門職等の実人数**

（単位：人）

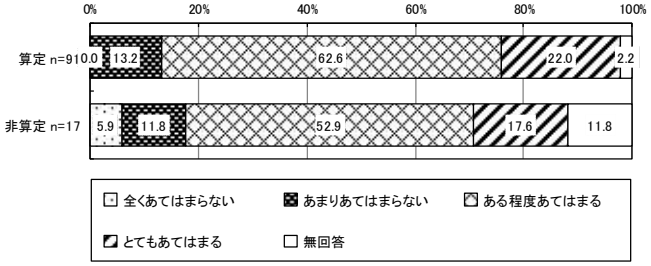
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=79 | 1.6 | 1.3 | 1.0 | 9 | 0 |
| 非算定 n=11 | 1.6 | 1.4 | 1.0 | 6 | 1 |

## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

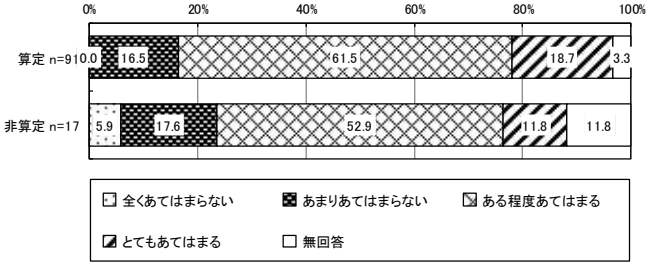
### 図表 162　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

**１）専門的な視点を踏まえ質の高い個別機能訓練計画を作成できた**

**①要介護 1、2 の利用者**

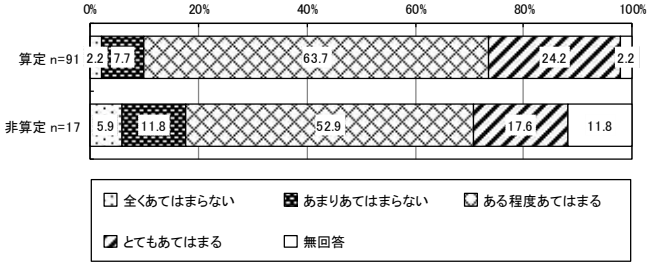



**②要介護 3～5 の利用者**

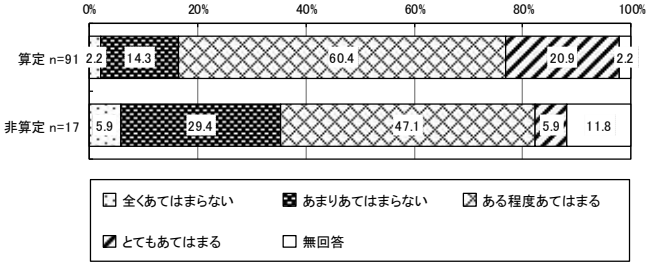



**２）専門的な視点を踏まえた計画であるため、利用者に対し何故機能訓練を行うのかを自信を持って説明できるようになった**

**①要介護 1、2 の利用者**

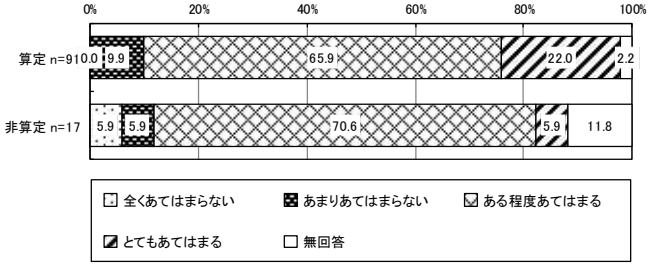



**②要介護 3～5 の利用者**

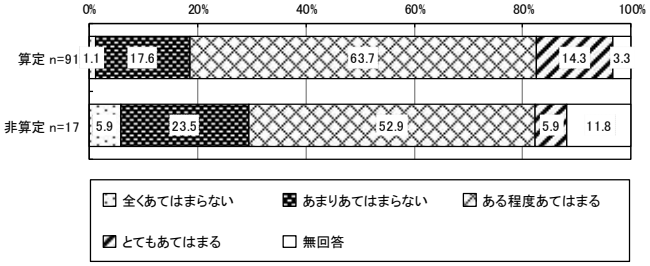



**３）利用者の身体機能の維持・向上につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

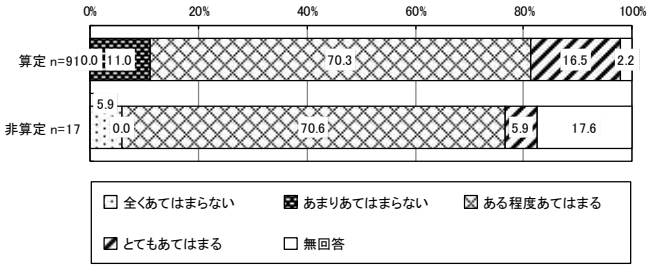



**②要介護 3～5 の利用者**

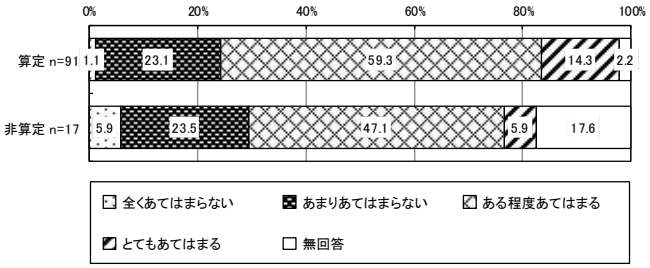


### 4）利用者の ADL や IADL の維持・向上につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

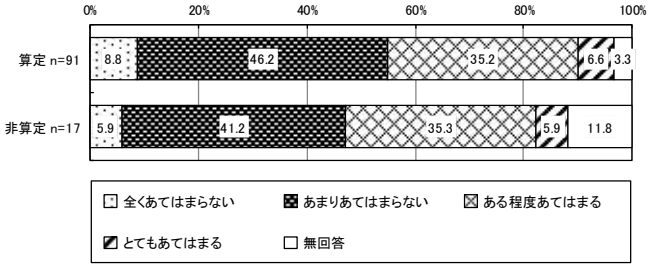



#### ②要介護 3～5 の利用者

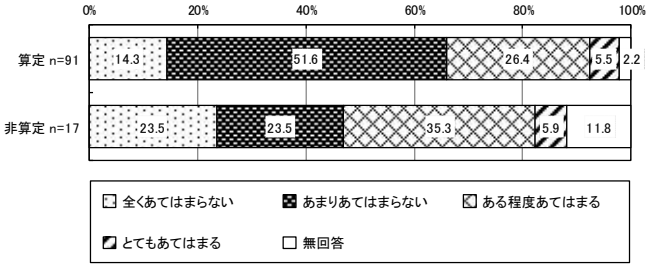



### 5）利用者本人の役割の再獲得や社会参加につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

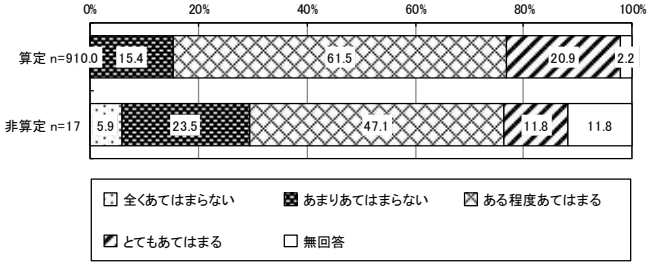



#### ②要介護 3～5 の利用者

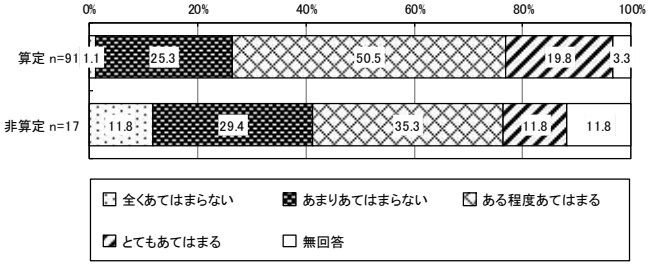



### 6）利用者の重度化防止につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

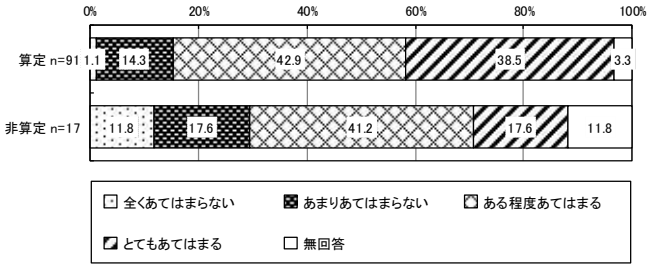



#### ②要介護 3～5 の利用者

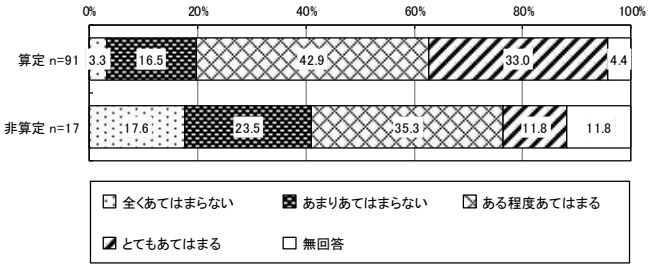



### 7）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで利用者の安心につながった

#### ①要介護 1、2 の利用者

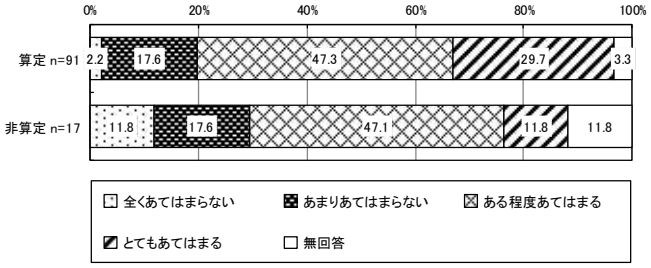



#### ②要介護 3～5 の利用者

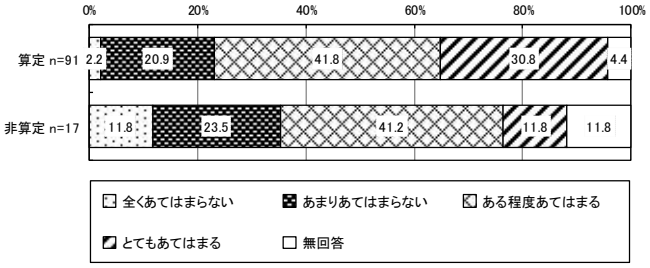


**8）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで介護職員等の安心につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

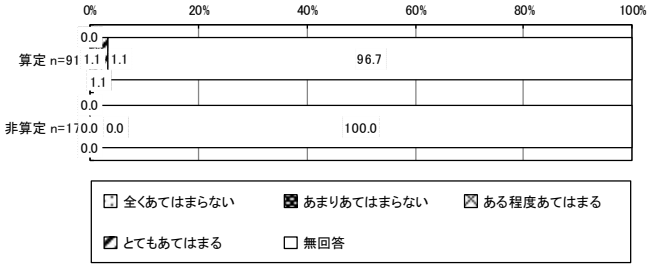



**②要介護 3～5 の利用者**

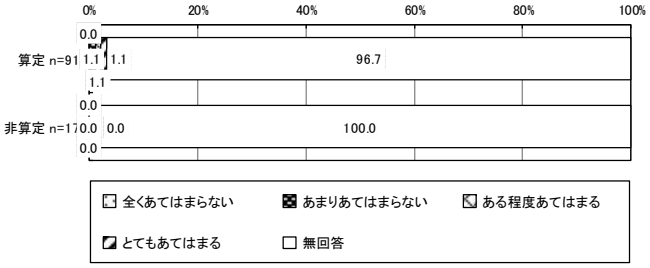



**9）その他**

**①要介護 1、2 の利用者**



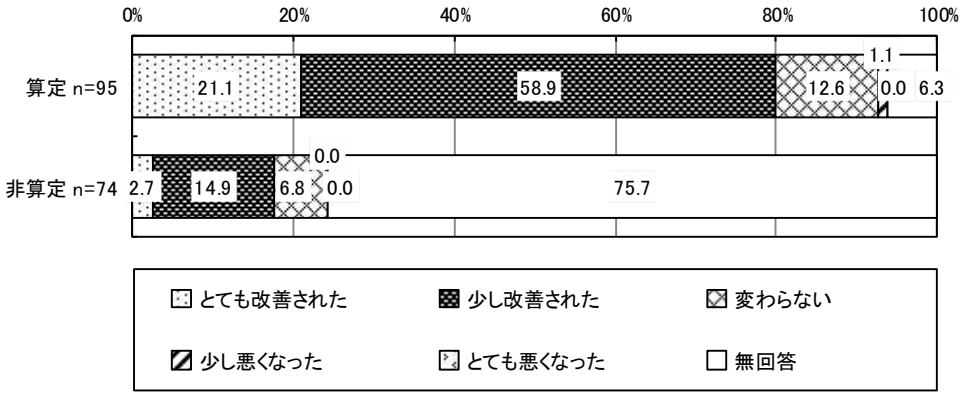

**②要介護 3～5 の利用者**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

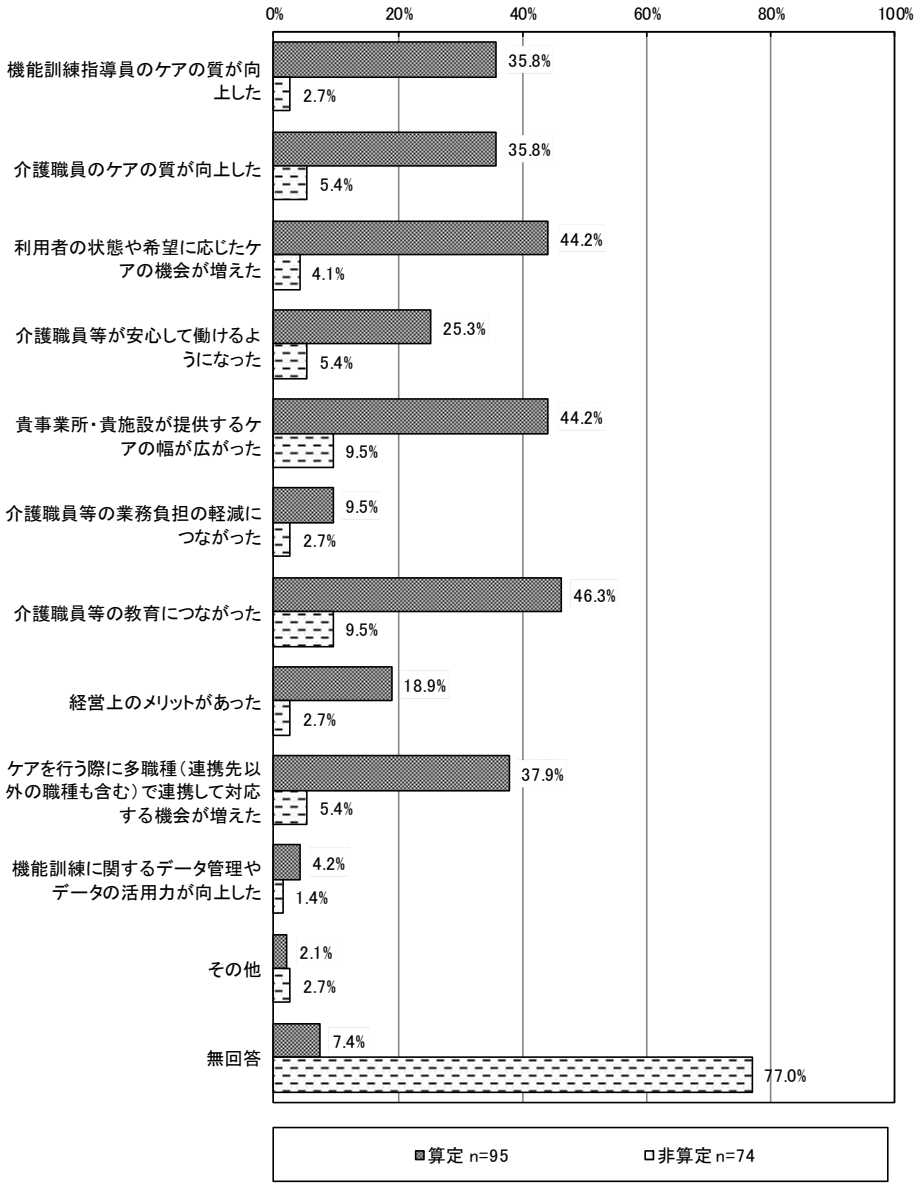
## ウ） 個別機能訓練計画の改善状況（問 2-3）

**図表 163　個別機能訓練計画の改善状況**



## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 164　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

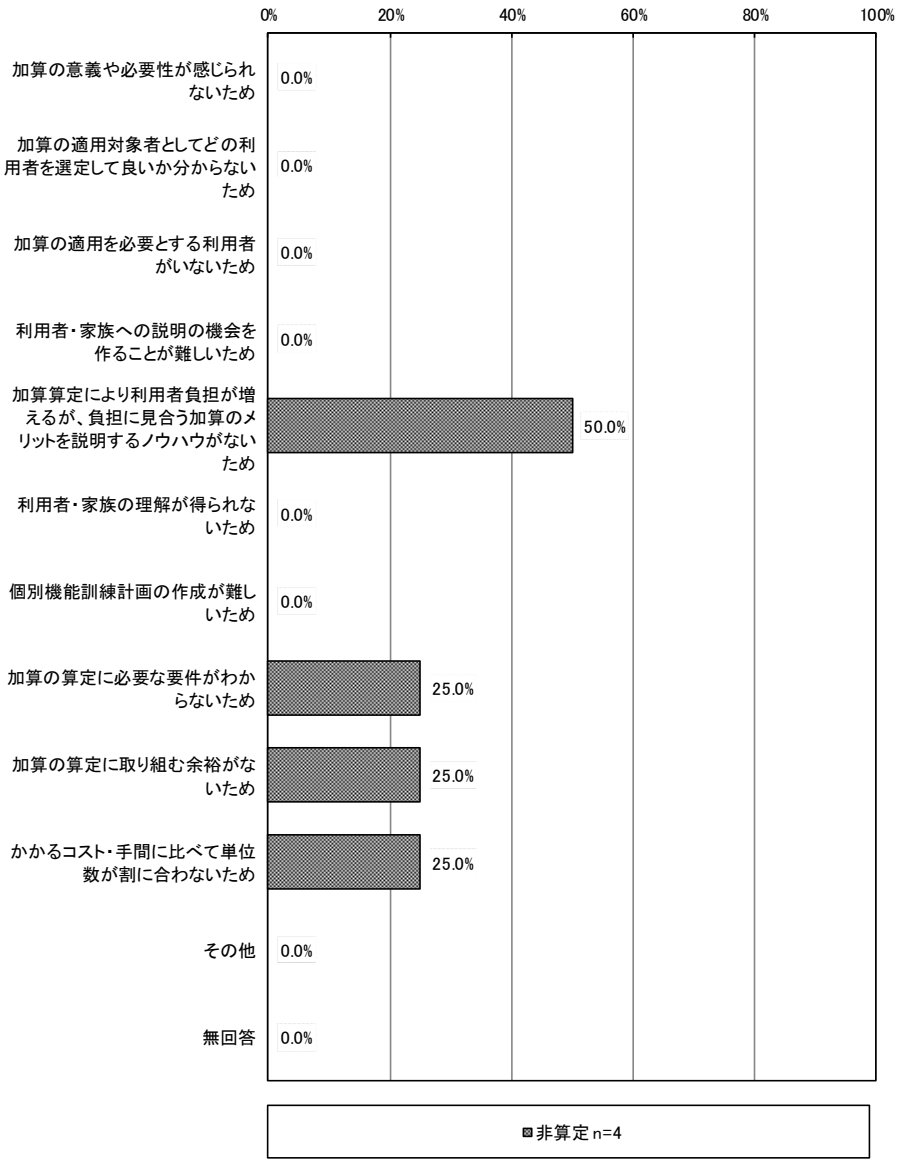
**図表 165　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額**

（単位：円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=66 | 18494.7 | 41377.5 | 1000 | 310000 | 0 |
| 非算定 n=8 | 4910.5 | 6591.3 | 1000 | 18000 | 0 |

## カ） 取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由（問 2-6）

**図表 166　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**

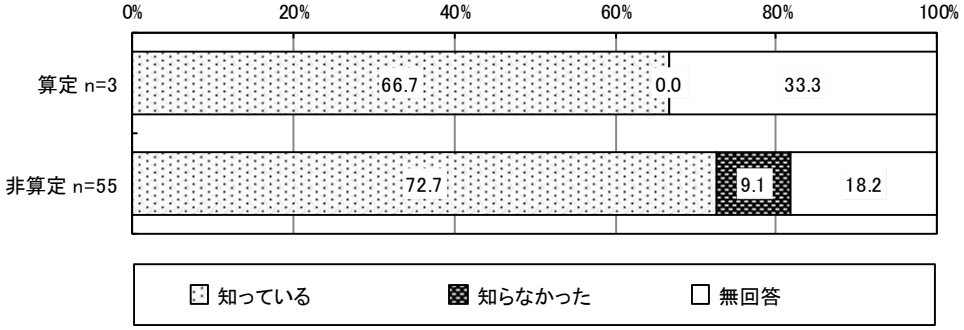



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）法人の方針に従う必要があるため

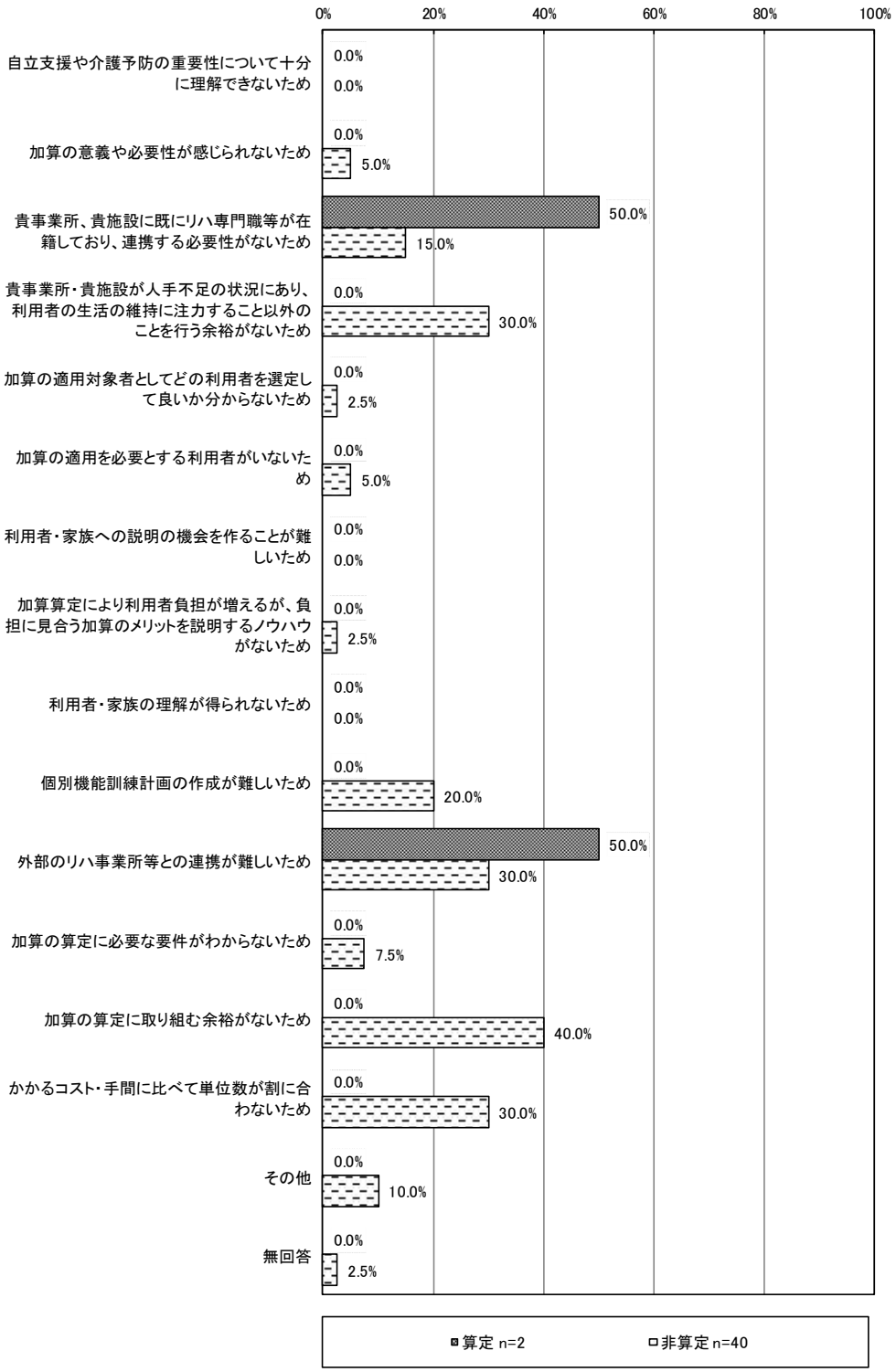
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

**図表 167　生活機能向上連携加算を知っているか**



## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

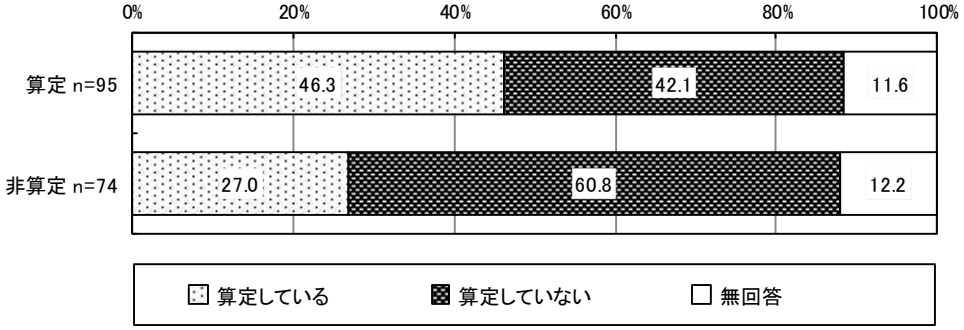
**図表 168　加算を算定していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 個別機能訓練加算の算定有無及び算定回数、利用者実人数（問 2-9）

**図表 169　算定有無**




**図表 170　算定回数**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=29 | 1423.6 | 3661.1 | 186.0 | 20000 | 1 |
| 非算定 n=16 | 608.0 | 751.6 | 178.5 | 2411 | 1 |

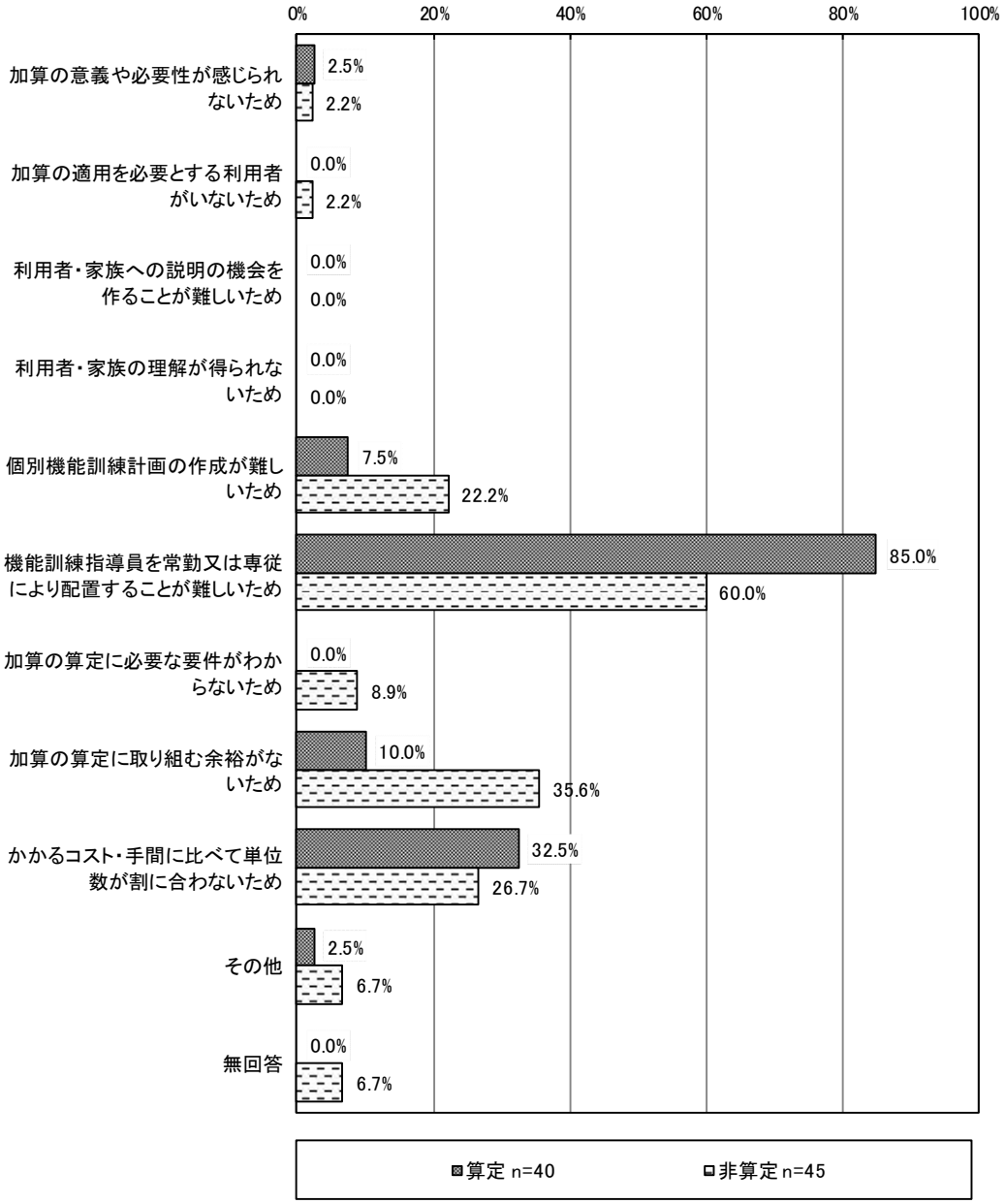
**図表 171　利用者実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=42 | 52.6 | 33.3 | 43.5 | 190 | 8 |
| 非算定 n=19 | 42.7 | 21.2 | 33.0 | 82 | 19 |

## コ） 個別機能訓練加算を算定しない理由（問 2-10）

**図表 172　個別機能訓練加算を算定しない理由**

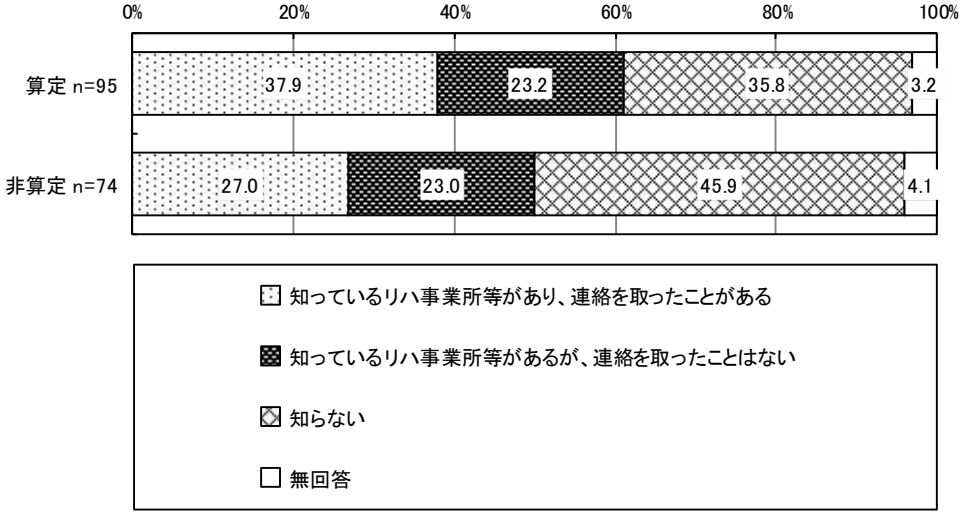



※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## Ⅲ．外部との連携状況

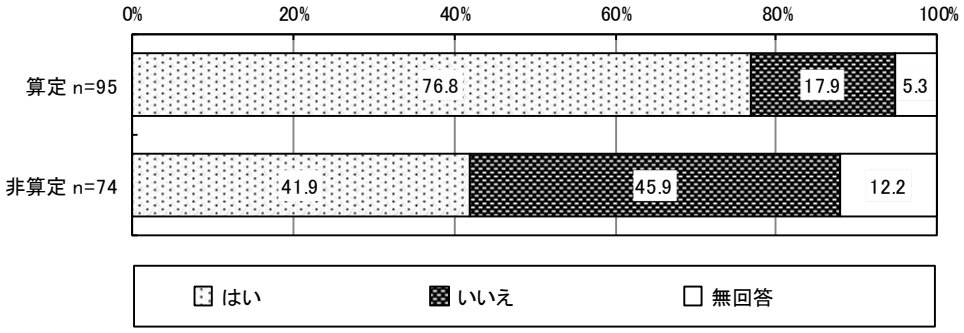
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 173　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



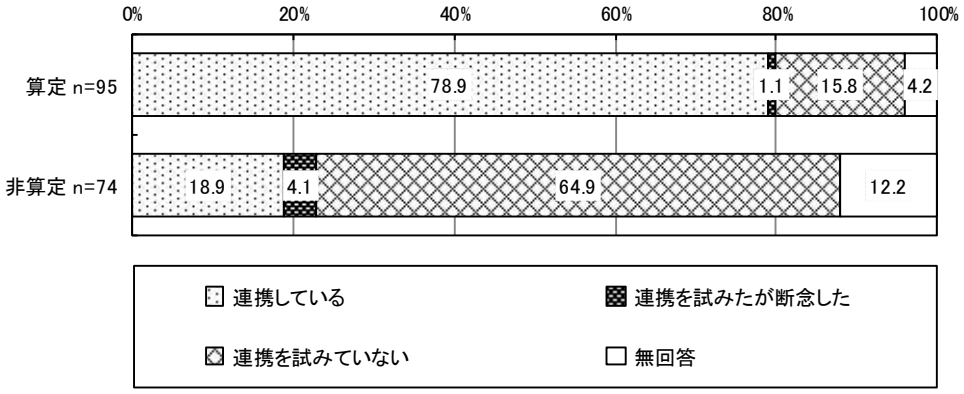

### イ） 個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 174　個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価を行っているか**



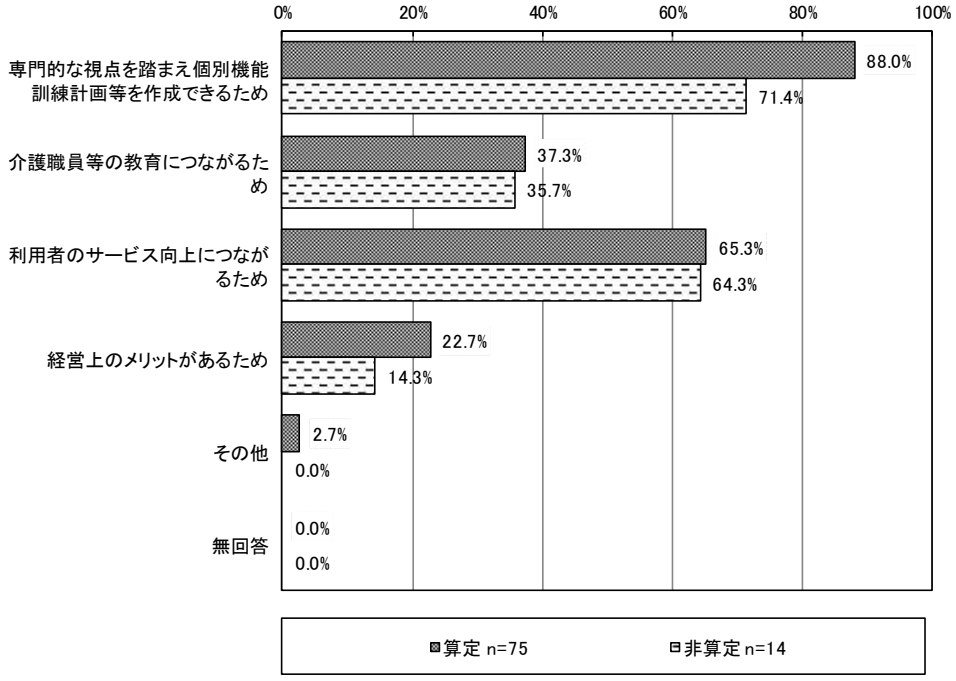
## ウ） 個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 175　個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 176　連携している理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

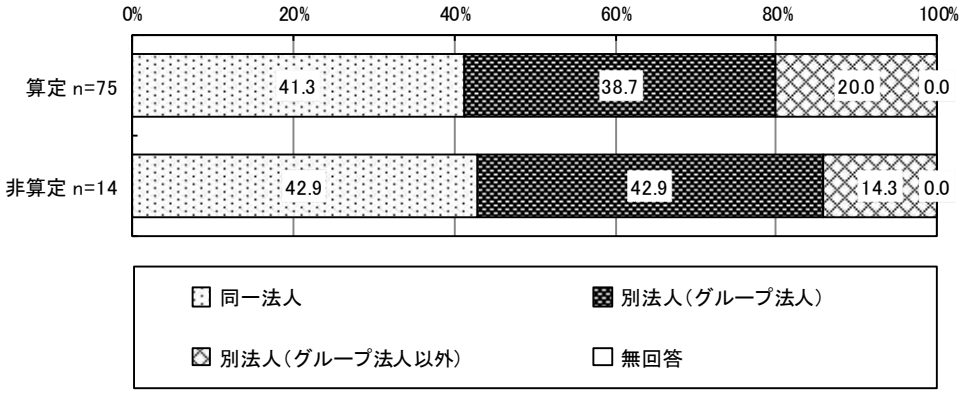
**図表 177　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位：件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=65 | 2.2 | 5.4 | 1 | 40 | 0 |
| 非算定 n=12 | 1.2 | 0.4 | 1 | 2 | 1 |

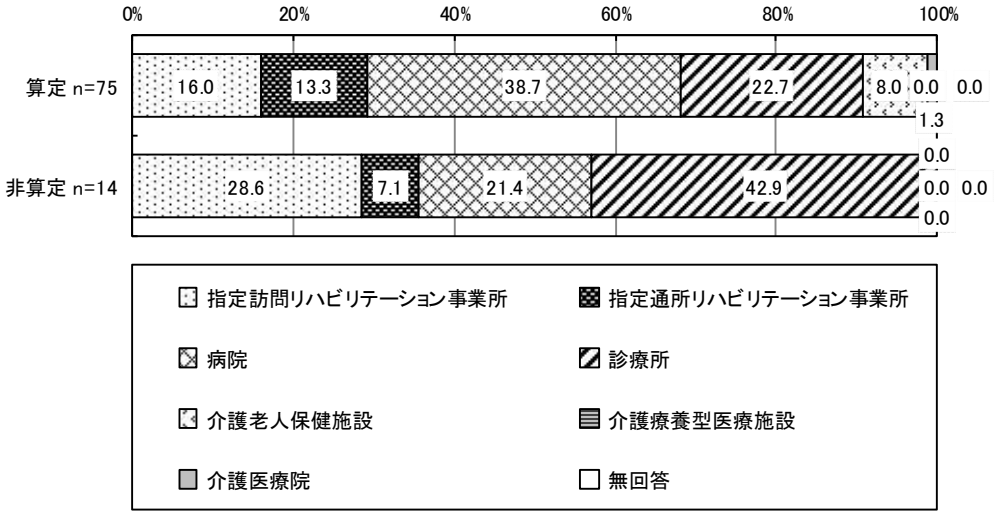
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 178　連携先は同一法人内か否か**



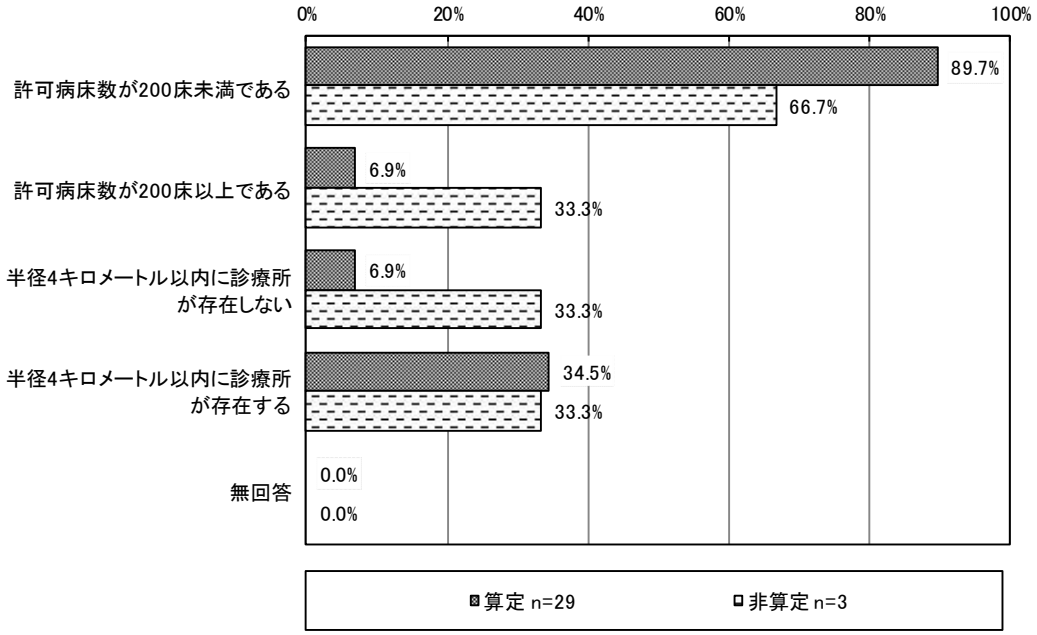

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 179　連携先となる事業所・施設**



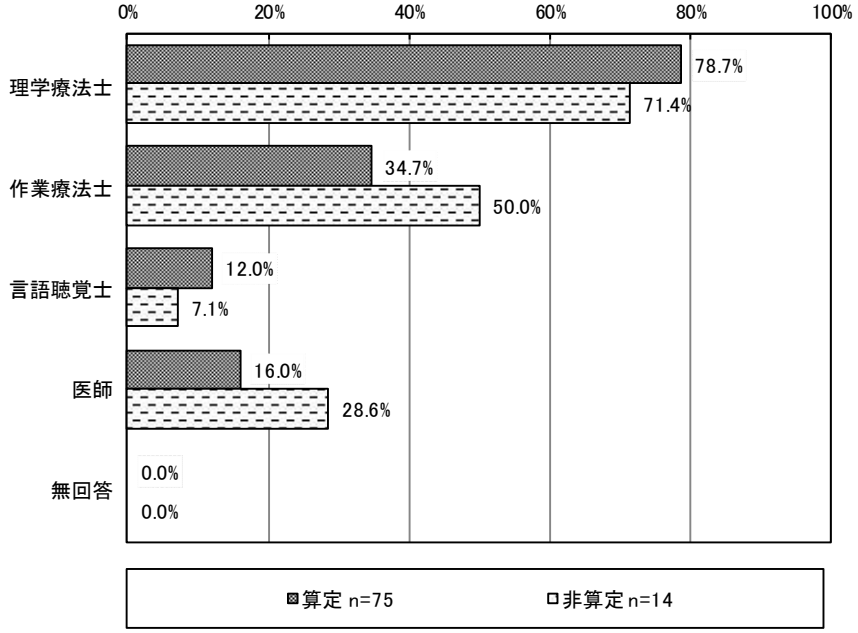
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 180　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



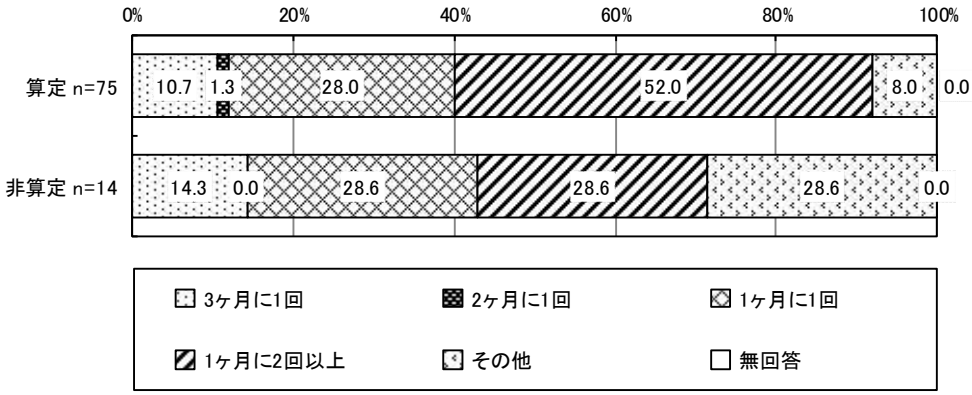

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 181　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

**図表 182　連携先による訪問頻度**

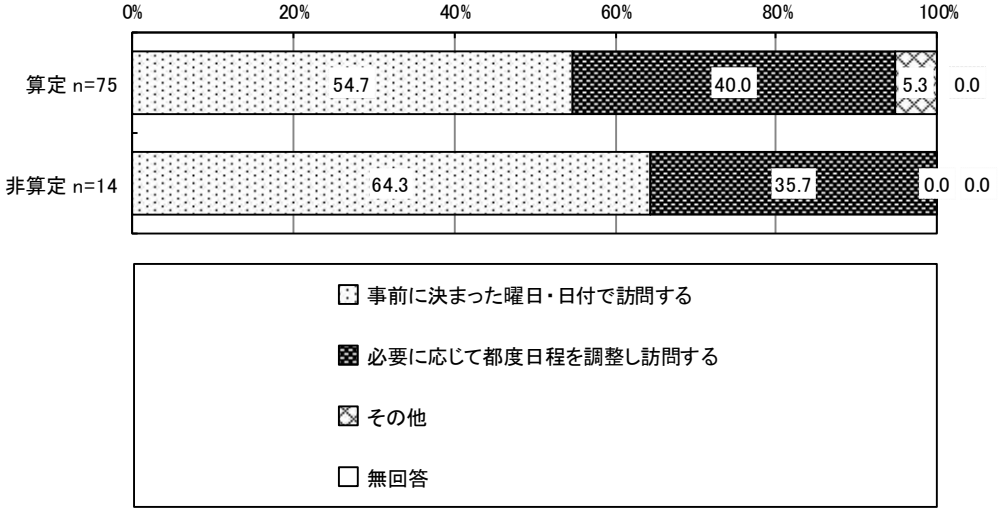



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）毎日
・（算定）週 1 回
・（非算定）週 1 回

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

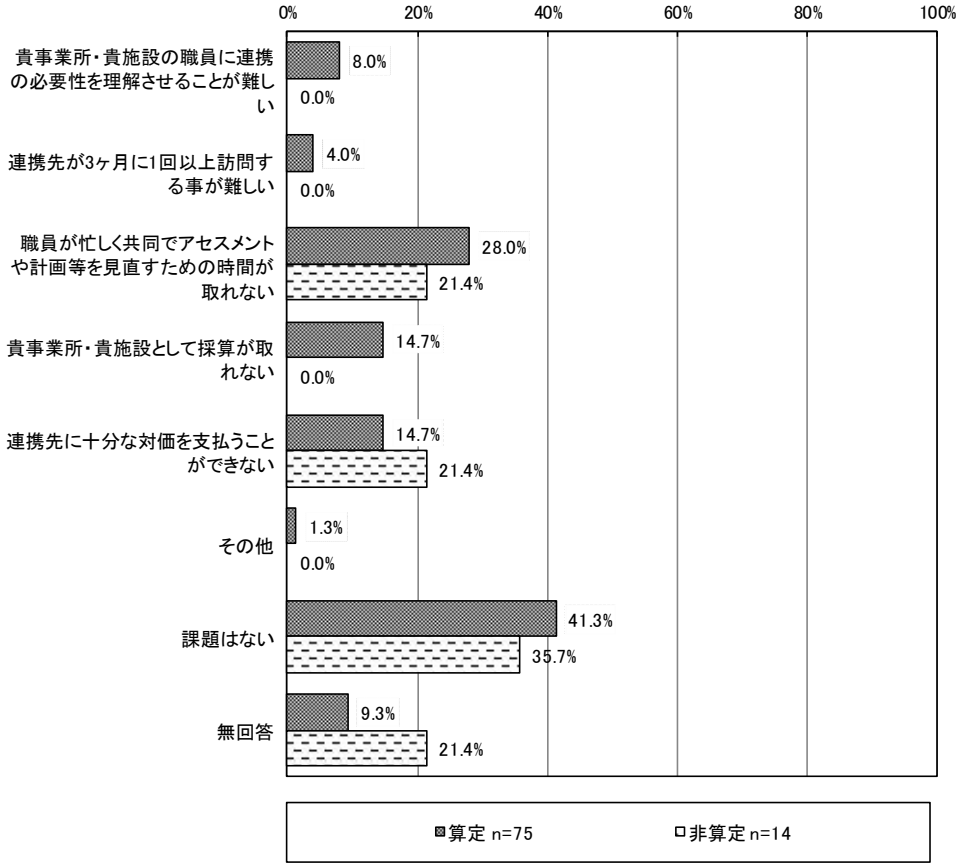
**図表 183　訪問日時は決められているか**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

**図表 184　連携先と連携を継続する上での課題**

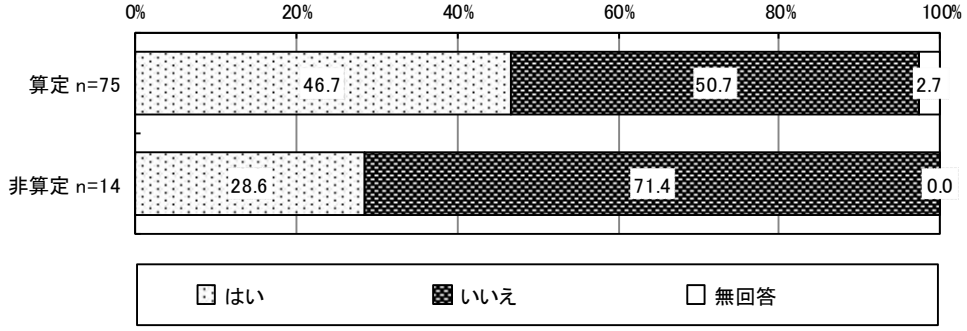



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）多忙なため訪問の時間がとれない

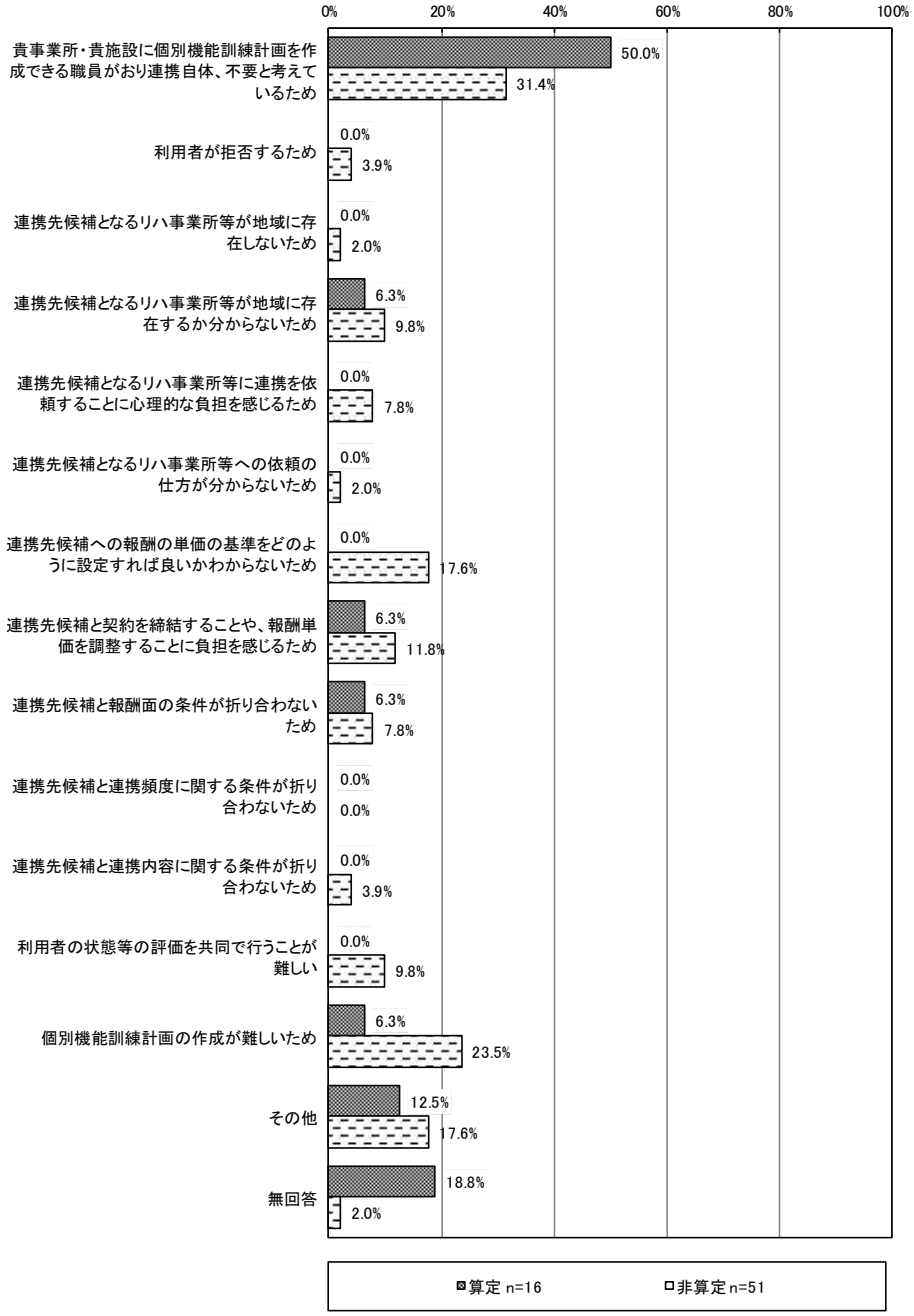
## ス） 連携先リハ事業所との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 185　連携先リハ事業所との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

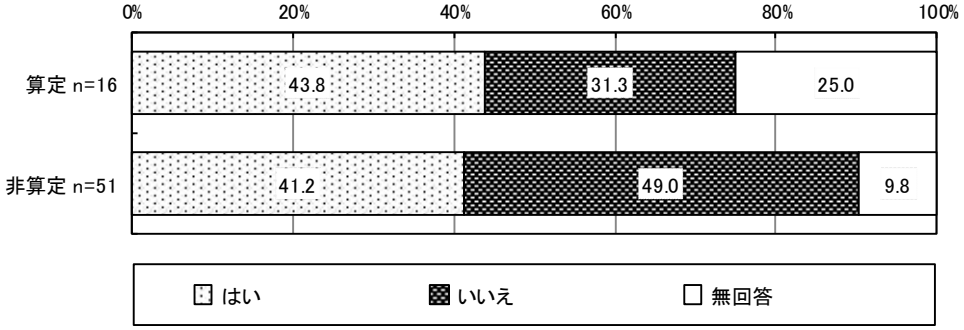
**図表 186　連携していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

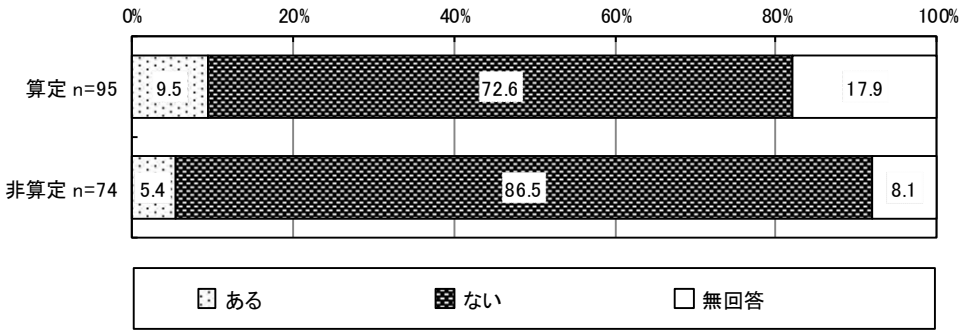
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 187　連携の必要性を感じているか**



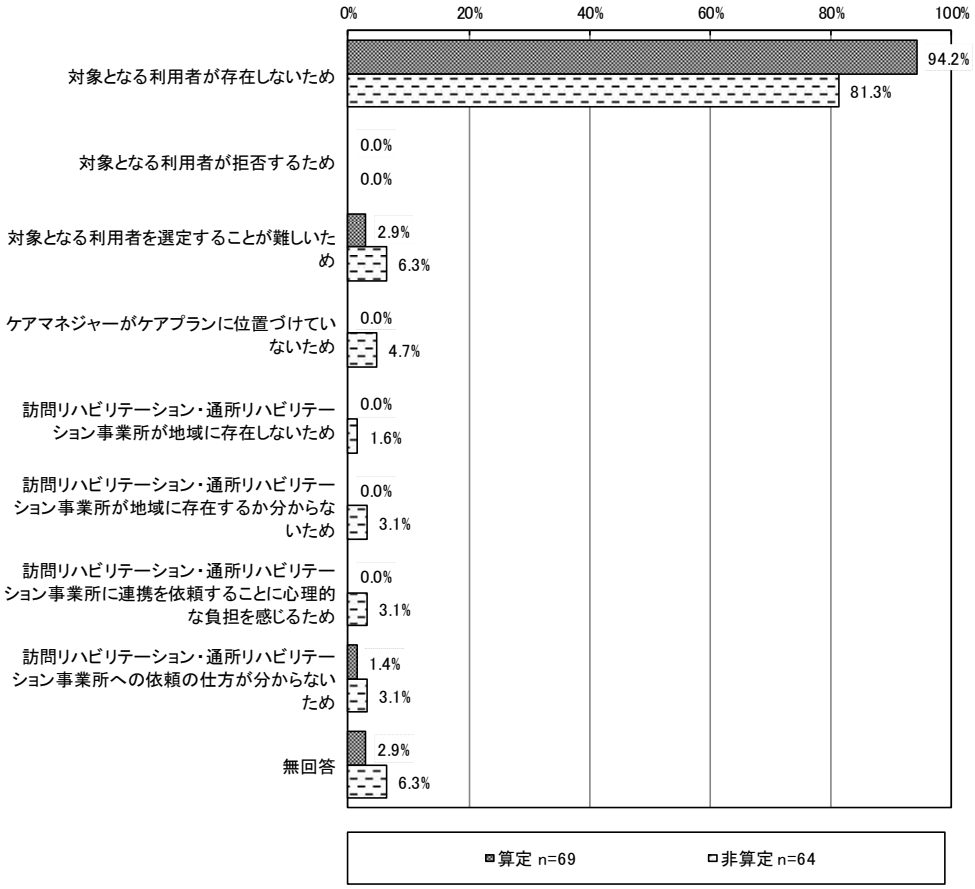

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 188　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

**図表 189　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由**



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 190　令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=83 | 33.7 | 39.8 | 33.7 | 25.3 | 14.5 | 65.1 | 72.3 | 18.1 | 25.3 | 1.2 |
| | 非算定 n=13 | 23.1 | 38.5 | 30.8 | 30.8 | 23.1 | 46.2 | 46.2 | 7.7 | 15.4 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=83 | 15.7 | 15.7 | 14.5 | 13.3 | 9.6 | 26.5 | 28.9 | 8.4 | 12.0 | 3.6 |
| | 非算定 n=13 | 38.5 | 38.5 | 30.8 | 23.1 | 23.1 | 53.8 | 46.2 | 7.7 | 15.4 | 7.7 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=83 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 1.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 非算定 n=13 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=83 | 6.0 | 4.8 | 66.3 | 67.5 | 78.3 | 74.7 | 54.2 | 9.6 | 15.7 |
| | 非算定 n=13 | 0.0 | 0.0 | 53.8 | 53.8 | 53.8 | 53.8 | 46.2 | 7.7 | 38.5 |
| 作業療法士 | 算定 n=83 | 6.0 | 4.8 | 25.3 | 25.3 | 28.9 | 25.3 | 22.9 | 4.8 | 67.5 |
| | 非算定 n=13 | 0.0 | 0.0 | 38.5 | 46.2 | 46.2 | 46.2 | 46.2 | 7.7 | 46.2 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=83 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.6 | 0.0 | 85.5 |
| | 非算定 n=13 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 191 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院・診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=31 | 22.6 | 6.5 | 12.9 | 38.7 | 12.9 | 45.2 |
| | 非算定 n=7 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 28.6 | 57.1 |
| 病院・診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | 算定 n=31 | 32.3 | 19.4 | 22.6 | 29.0 | 12.9 | 48.4 |
| | 非算定 n=7 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 42.9 | 14.3 | 57.1 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | 算定 n=31 | 3.2 | 0.0 | 0.0 | 3.2 | 0.0 | 96.8 |
| | 非算定 n=7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 85.7 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

**図表 192　連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・下肢筋力低下により転倒の可能性や転倒を繰り返している。
・両膝の変形、左下肢の筋力低下による歩行困難。
・心身機能維持

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容（問 4-4）

**図表 193　効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

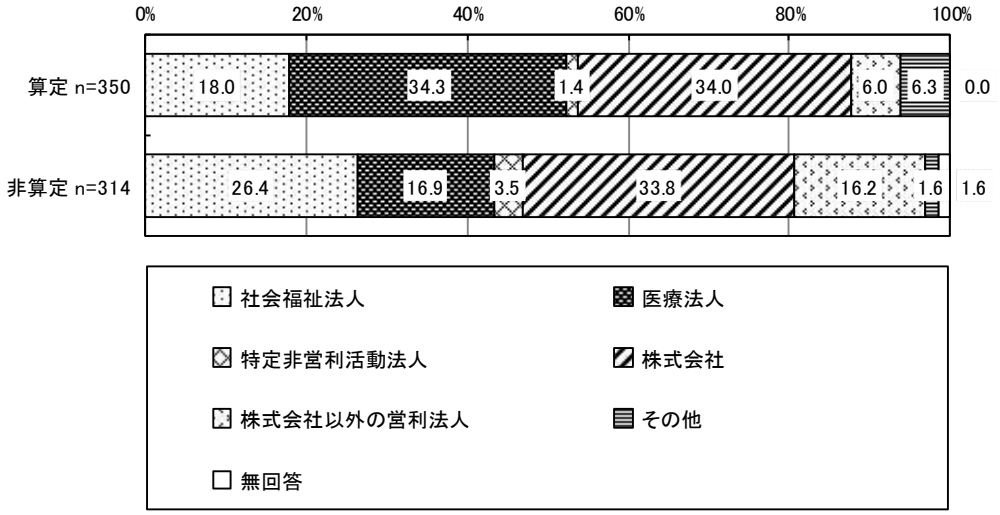
・医師：骨折、外傷の予防、軽減のためにベッドサイドなどにヨガマットを敷くこと。
・作業療法士：食事中のムセや咳が見られるため、姿勢を整えてゆっくりと食べる。発声練習や音読を個別リハで行うこと。
・作業療法士：バランス力向上のため、平行棒内の横歩き。片麻痺の方に対して座位保持のためのシーティング指導や、ピックアップ歩行器による歩行訓練指導を行うこと。

## （５） 認知症対応型共同生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1-1）

**図表 194　法人種別**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

- （算定）医療生協
- （算定）生協
- （算定）公益財団法人
- （算定）社会医療法人

### イ） 定員数（問 1-2）

**図表 195　定員数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=343 | 17.2 | 5.2 | 18.0 | 36 | 5 |
| 非算定 n=304 | 16.2 | 5.1 | 18.0 | 36 | 6 |

## ウ） ユニット数（問 1-3）

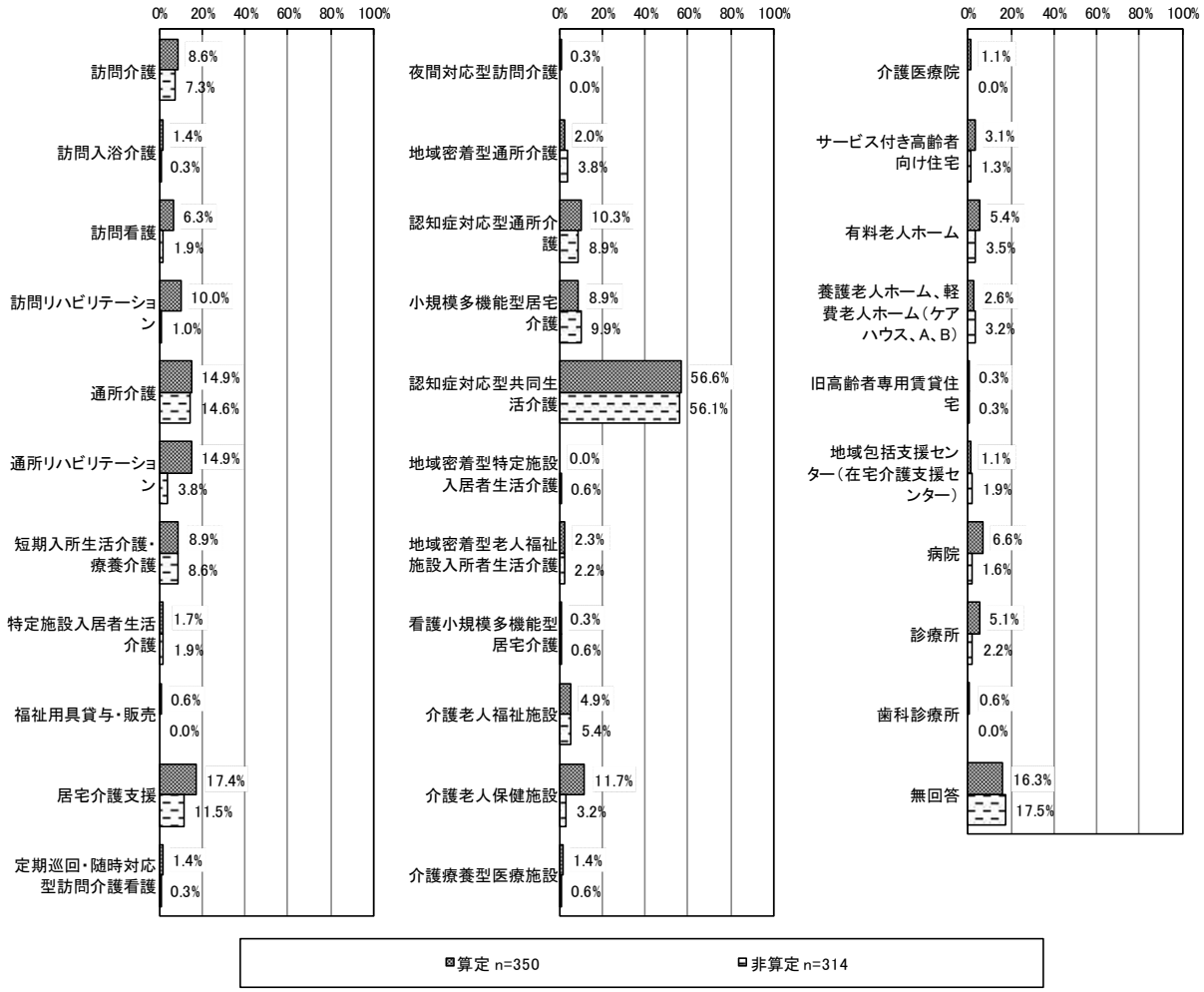
**図表 196　ユニット数**

（単位：ユニット）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=0.57 | 1.9 | 0.6 | 2 | 4 | 1 |
| 非算定 n=0.55 | 1.8 | 0.6 | 2 | 4 | 1 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 197　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 198　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=346 | 17.2 | 5.1 | 18 | 37 | 5 |
| | 非算定 n=313 | 15.8 | 5.1 | 18 | 36 | 6 |
| 要介護1 | 算定 n=346 | 3.6 | 2.6 | 3 | 14 | 0 |
| | 非算定 n=313 | 3.2 | 2.4 | 3 | 13 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=346 | 4.4 | 2.4 | 4 | 12 | 0 |
| | 非算定 n=313 | 4.1 | 2.4 | 4 | 14 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=346 | 4.4 | 2.5 | 4 | 16 | 0 |
| | 非算定 n=313 | 3.9 | 2.4 | 3 | 12 | 0 |
| 要介護4 | 算定 n=346 | 2.9 | 1.9 | 3 | 11 | 0 |
| | 非算定 n=313 | 2.6 | 1.8 | 2 | 10 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=346 | 1.9 | 1.7 | 2 | 8 | 0 |
| | 非算定 n=313 | 1.8 | 1.7 | 1 | 8 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=346 | 0.0 | 0.2 | 0 | 2 | 0 |
| | 非算定 n=313 | 0.2 | 1.5 | 0 | 18 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 199　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=326 | 17.2 | 5.2 | 18 | 6 | 36 |
| | 非算定 n=284 | 15.7 | 5.1 | 18 | 1 | 35 |
| 自立 | 算定 n=326 | 0.2 | 1.2 | 0 | 0 | 18 |
| | 非算定 n=284 | 0.1 | 0.6 | 0 | 0 | 8 |
| Ⅰ | 算定 n=326 | 0.3 | 0.9 | 0 | 0 | 8 |
| | 非算定 n=284 | 0.4 | 0.7 | 0 | 0 | 4 |
| Ⅱa | 算定 n=326 | 1.6 | 1.9 | 1 | 0 | 13 |
| | 非算定 n=284 | 1.6 | 2.0 | 1 | 0 | 10 |
| Ⅱb | 算定 n=326 | 3.9 | 3.0 | 3.5 | 0 | 17 |
| | 非算定 n=284 | 3.9 | 3.4 | 3 | 0 | 21 |
| Ⅲa | 算定 n=326 | 6.0 | 3.7 | 6 | 0 | 20 |
| | 非算定 n=284 | 5.1 | 3.4 | 5 | 0 | 22 |
| Ⅲb | 算定 n=326 | 2.3 | 2.3 | 2 | 0 | 18 |
| | 非算定 n=284 | 1.8 | 2.1 | 1 | 0 | 14 |
| Ⅳ | 算定 n=326 | 2.4 | 2.2 | 2 | 0 | 11 |
| | 非算定 n=284 | 2.3 | 2.2 | 2 | 0 | 12 |
| M | 算定 n=326 | 0.5 | 0.9 | 0 | 0 | 5 |
| | 非算定 n=284 | 0.5 | 1.2 | 0 | 0 | 7 |

## キ） 職員数（問 1-7）

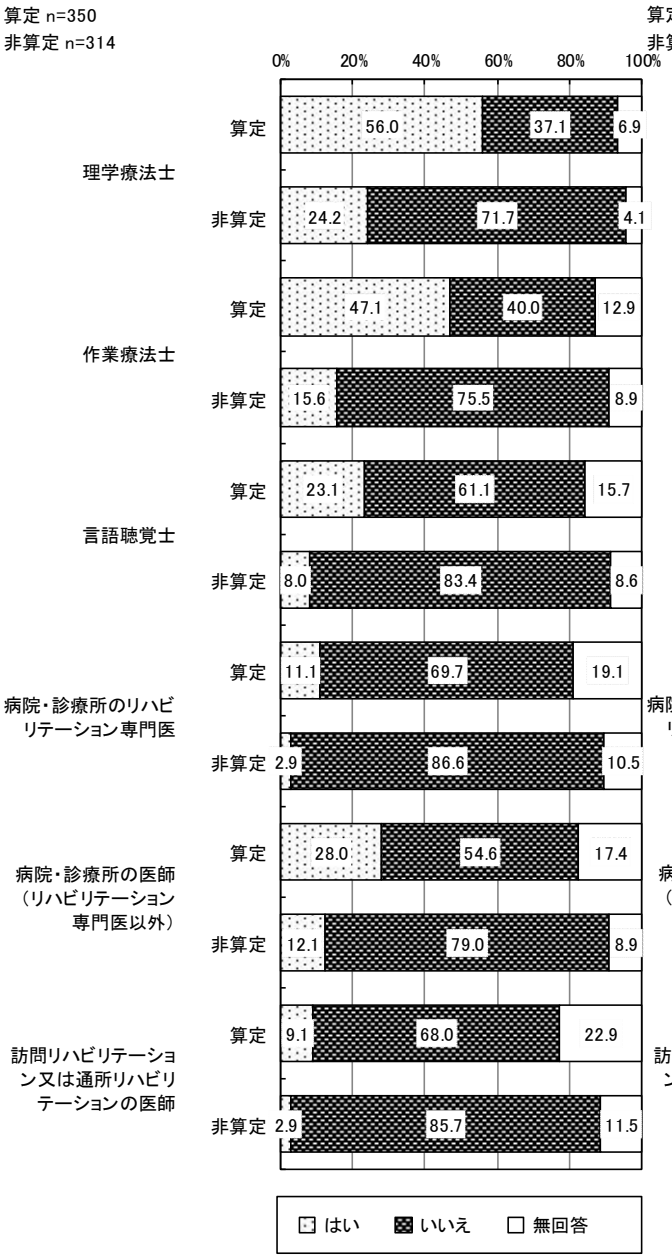
**図表 200　職員数**

（単位:人）

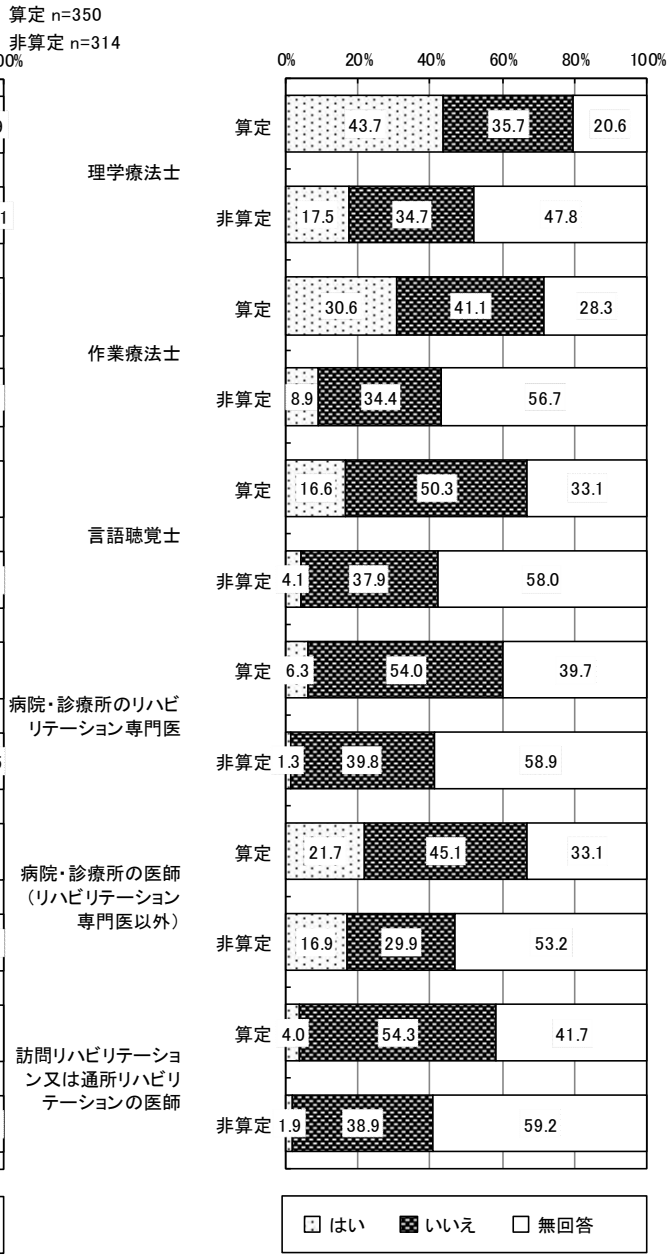
| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=349 | 1.1 | 0.5 | 1 | 4 | 0 |
| | | 非算定 n=314 | 1.2 | 0.8 | 1 | 13 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=302 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 4.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=285 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |
| 介護従業者 | 常勤職員 | 算定 n=349 | 10.9 | 4.6 | 11 | 29 | 0 |
| | | 非算定 n=314 | 9.3 | 4.9 | 9 | 31 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=302 | 3.5 | 3.5 | 2.4 | 19.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=285 | 4.3 | 4.2 | 3.0 | 30.0 | 0.0 |
| 計画作成担当者 | 常勤職員 | 算定 n=349 | 1.7 | 0.9 | 2 | 6 | 0 |
| | | 非算定 n=314 | 1.4 | 0.8 | 1 | 4 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=302 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 3.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=285 | 0.3 | 0.5 | 0.0 | 3.0 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=349 | 0.4 | 0.8 | 0 | 4 | 0 |
| | | 非算定 n=314 | 0.3 | 0.9 | 0 | 13 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=302 | 0.6 | 1.0 | 0.0 | 8.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=285 | 0.5 | 1.0 | 0.0 | 11.0 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=349 | 14.1 | 5.3 | 14 | 34 | 2 |
| | | 非算定 n=314 | 12.2 | 5.8 | 12 | 46 | 1 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=302 | 4.5 | 4.0 | 3.5 | 24.0 | 0.1 |
| | | 非算定 n=285 | 5.1 | 4.6 | 3.8 | 30.0 | 0.1 |

## ク） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-8）

**図表 201　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか**

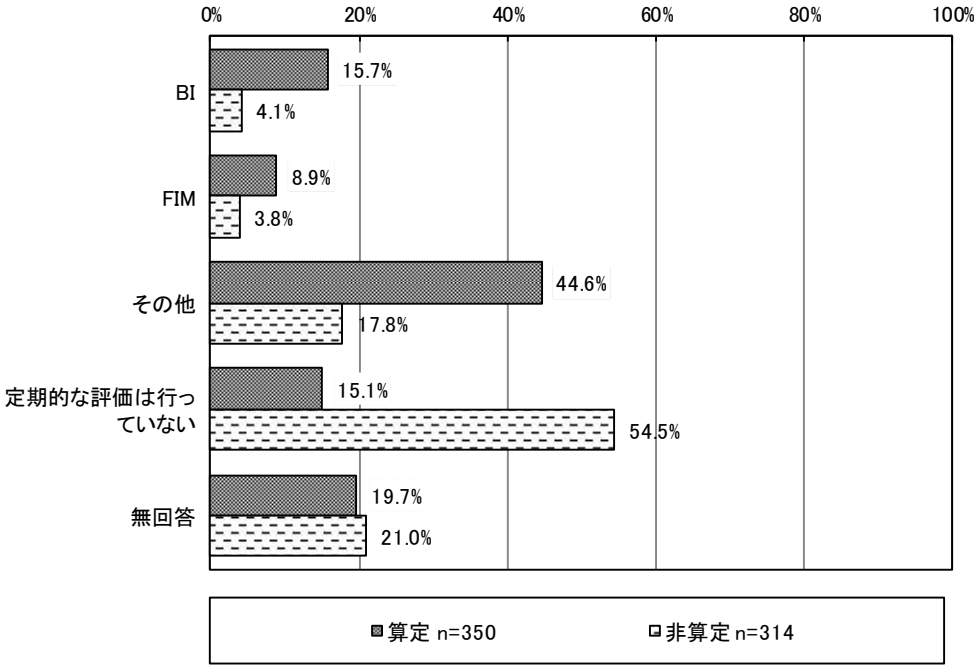



**図表 202　助言を行っているか**



## ケ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-9）

図表 203　利用者の ADL・IADL の評価の指標



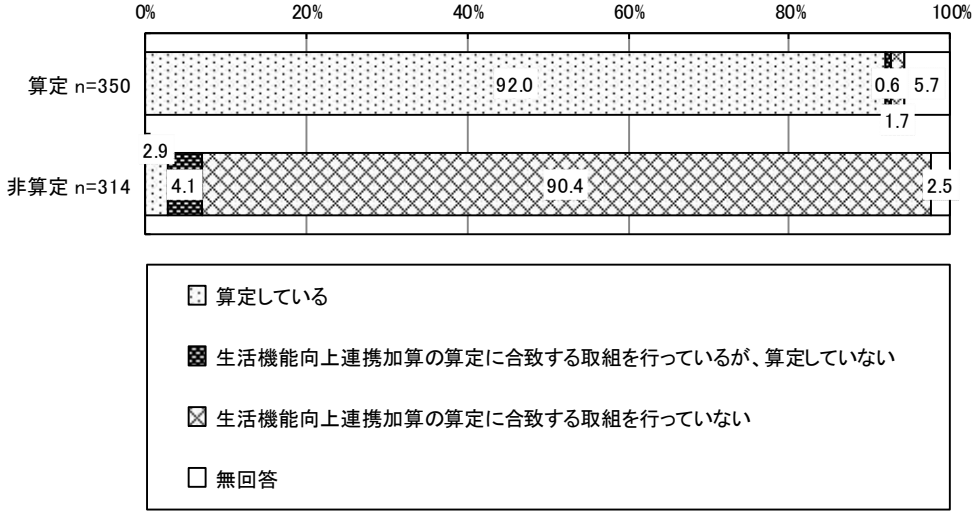

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）BMI

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1）

**図表 204　生活機能向上連携加算の算定有無と算定に合致する取組**




**図表 205　利用者の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=310 | 15.4 | 6.3 | 18 | 36 | 0 |
| 非算定 n=8 | 16.1 | 8.1 | 18 | 27 | 3 |

**図表 206　連携したリハ専門職等の実人数**

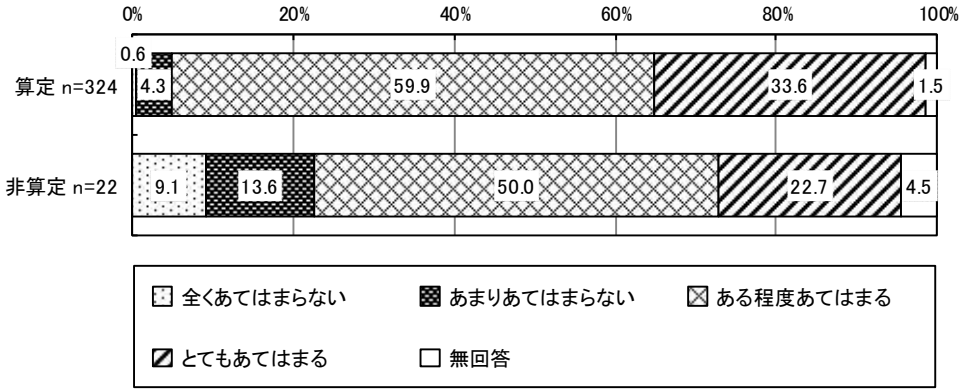
（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=273 | 1.9 | 3.2 | 1 | 31 | 0 |
| 非算定 n=7 | 1.0 | 0.0 | 1 | 1 | 1 |

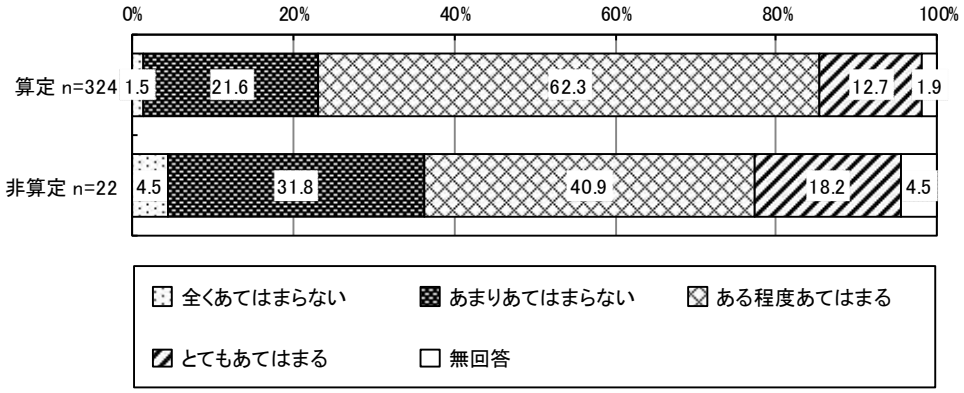
## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

図表 207　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

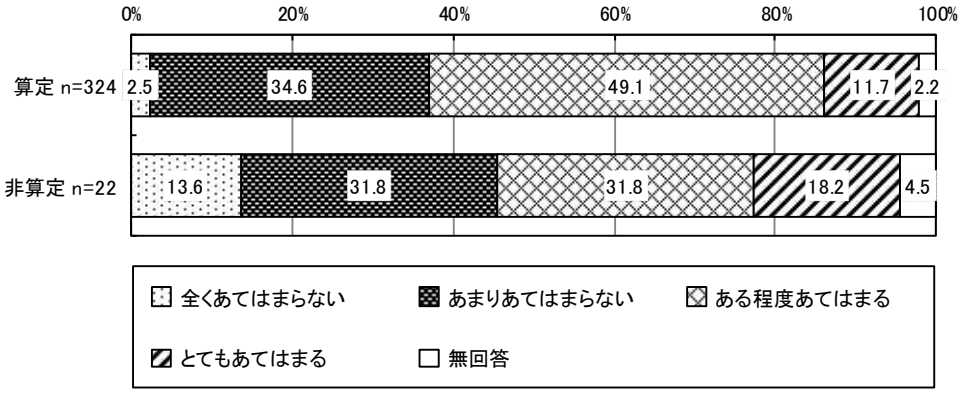
**1）専門的な視点を踏まえ認知症対応型共同生活介護計画を作成できた**



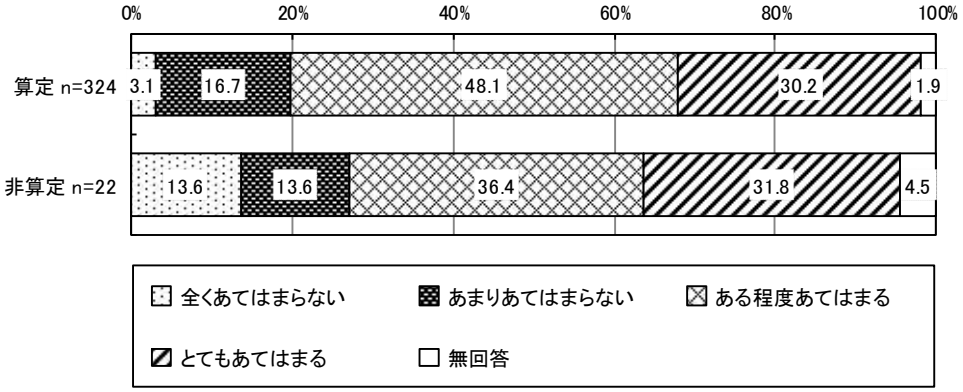

**2）一定時間座位の保持ができるようになり、座って食事ができるようになるなど、利用者にとって良い効果につながった**



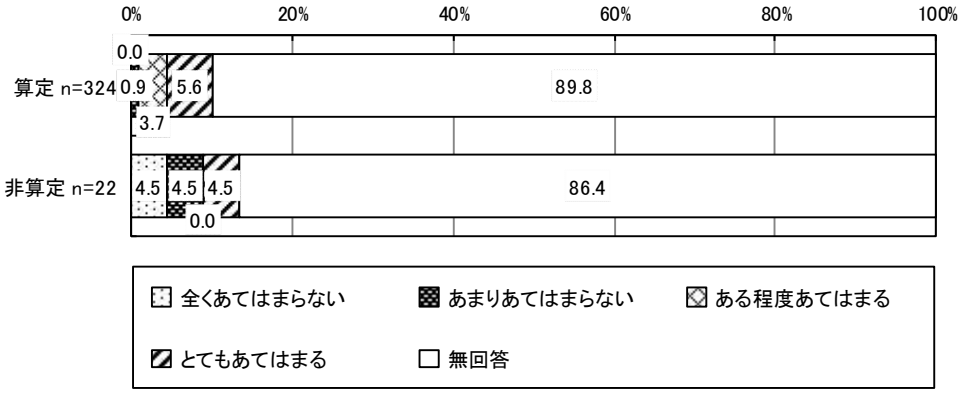
### 3）食事や清掃、洗濯、買物など利用者のできることが増えた




### 4）椅子やテーブルの高さ、配置など、生活環境面での助言を受けることができた



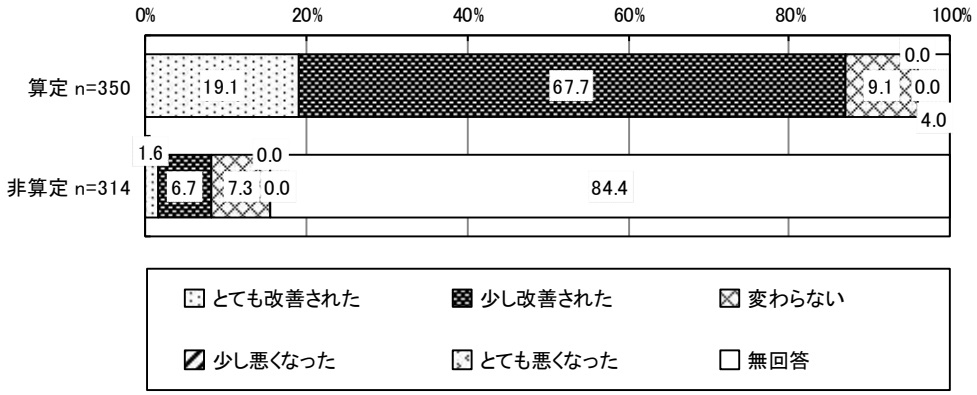

### 5）その他




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

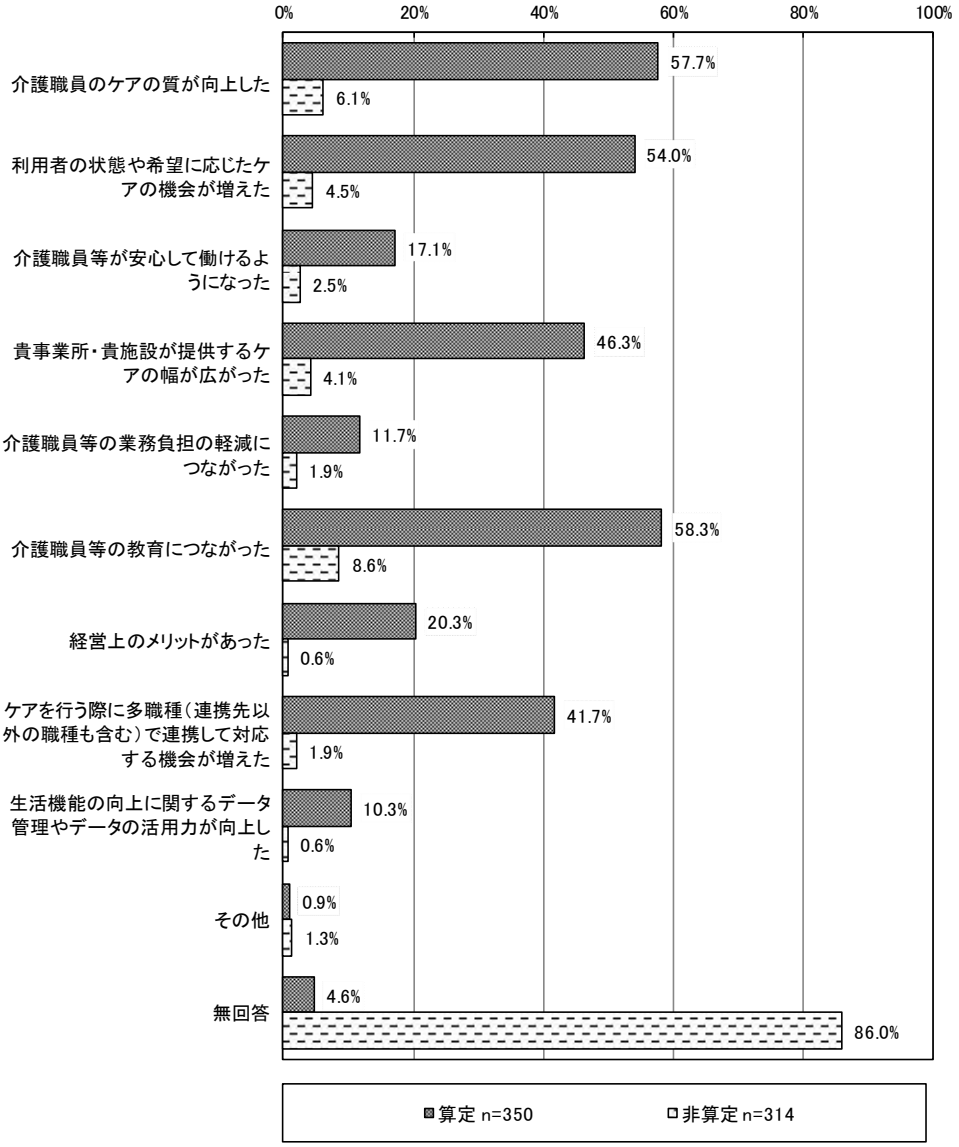
## ウ） 認知症対応型共同生活介護計画の改善状況（問 2-3）

**図表 208　認知症対応型共同生活介護計画の改善状況**



## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 209　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

- （算定）介護職員の意欲が向上した
- （算定）介助方法を知る事で介護職員の自信につながった

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

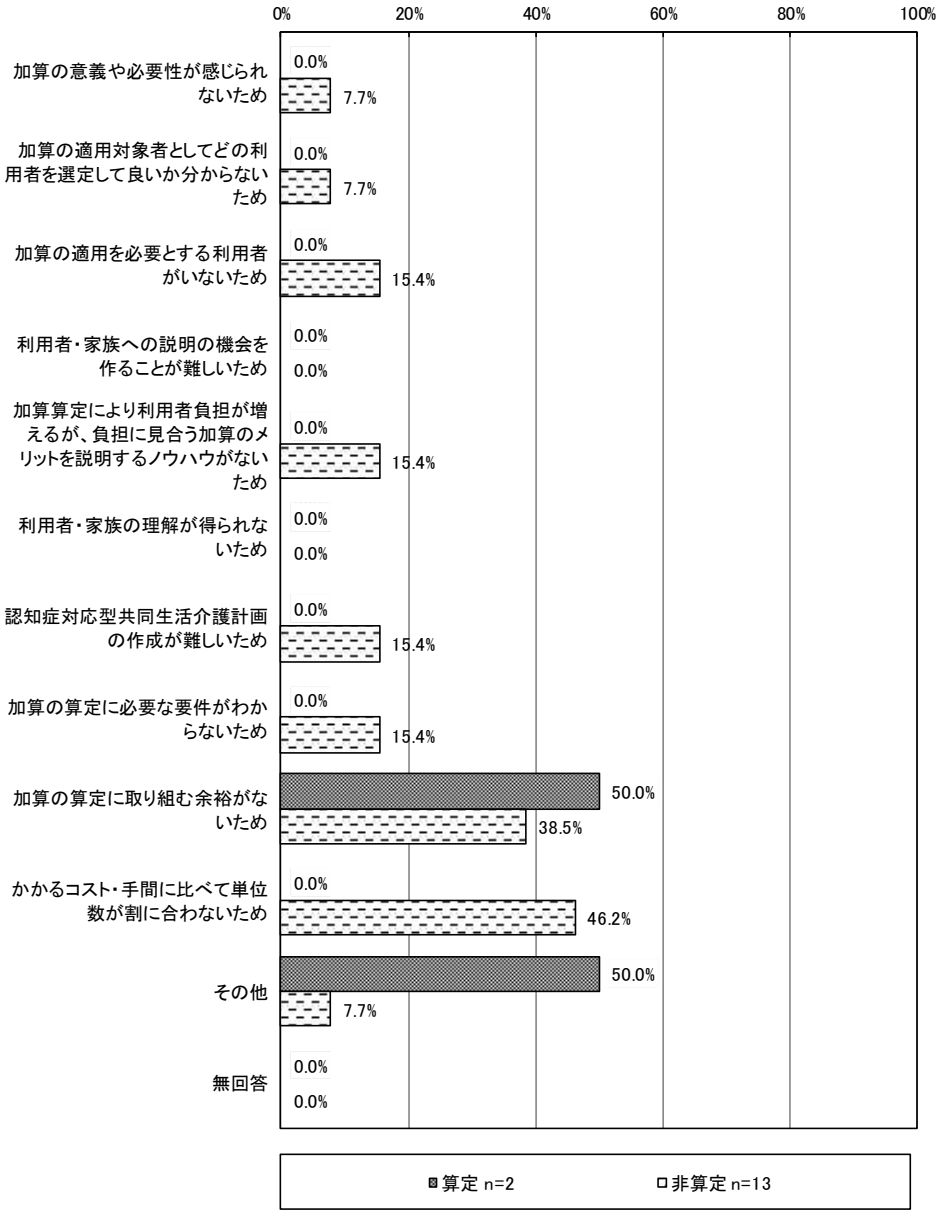
**図表 210　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額**

（単位：円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=240 | 10816.7 | 15322.7 | 10000 | 134000 | 0 |
| 非算定 n=7 | 8457.1 | 7135.2 | 10200 | 18000 | 0 |

## カ） 取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由（問 2-6）

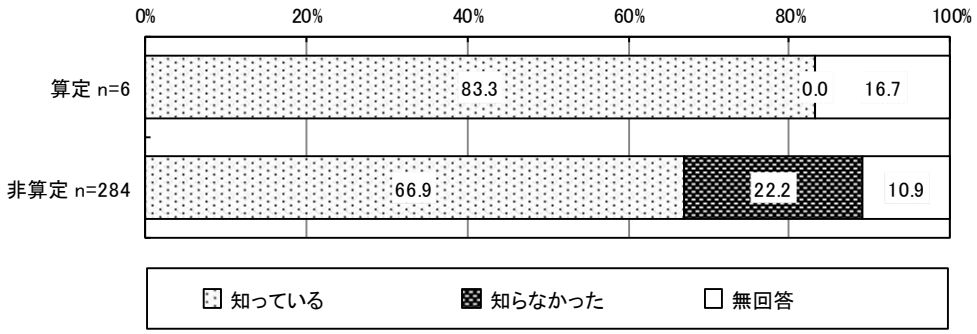
**図表 211　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し

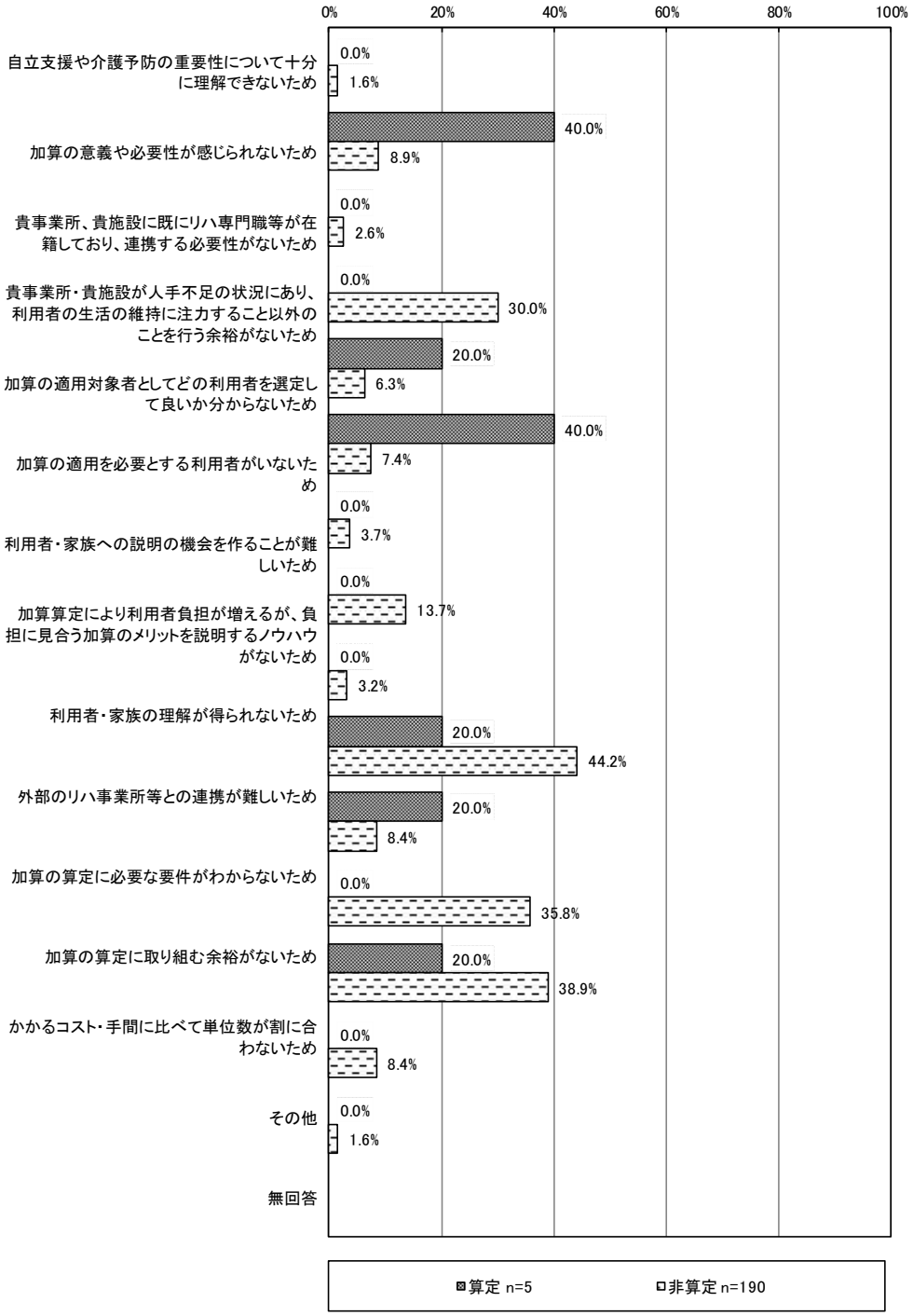
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

**図表 212　生活機能向上連携加算を知っているか**



## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

**図表 213　加算を算定していない理由**



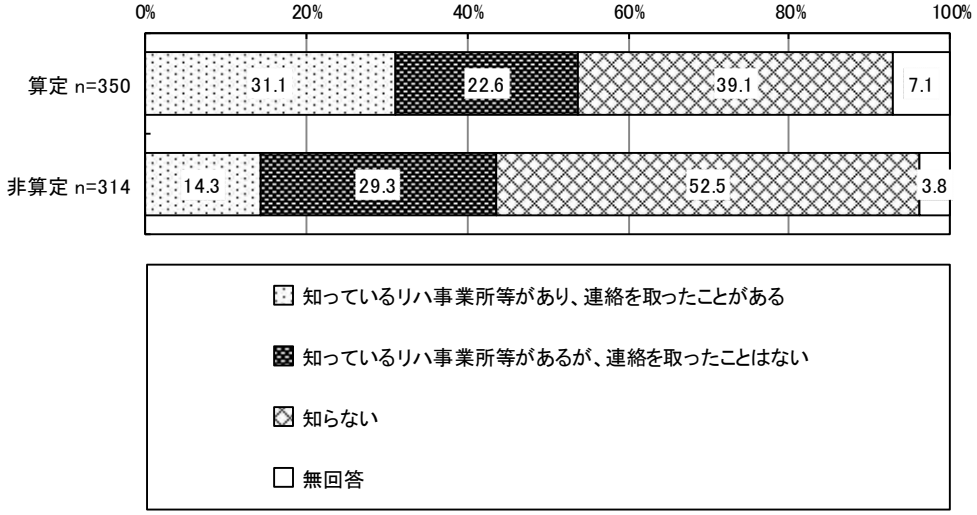

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（非算定）外部にリハ専門職がいないため

## Ⅲ．外部との連携状況

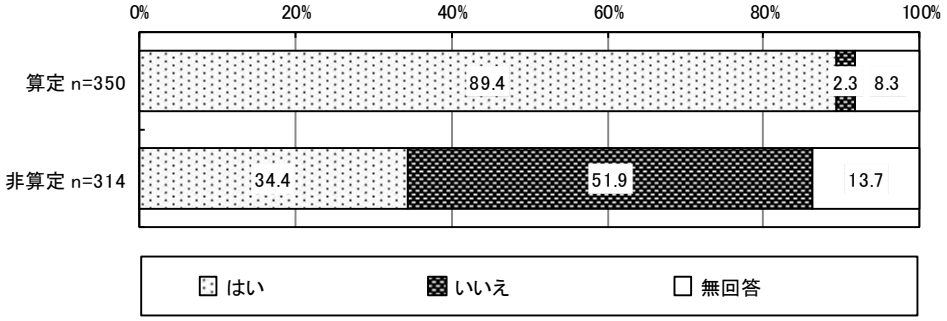
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 214　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



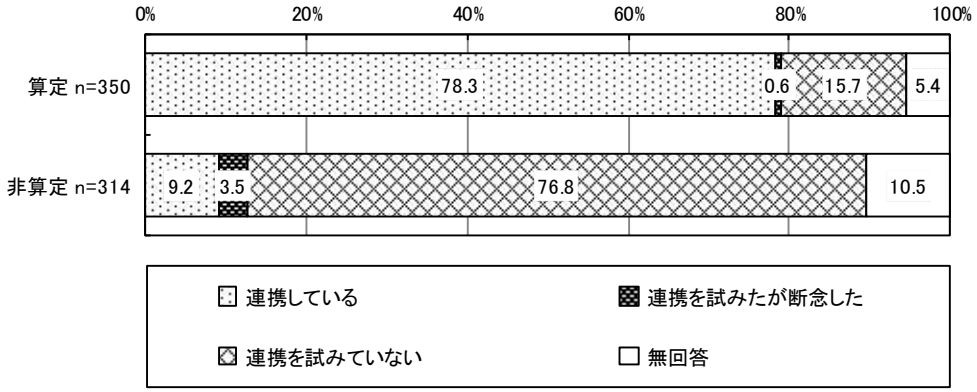

### イ） 生活機能の向上を目指した利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 215　生活機能の向上を目指して利用者の定期評価を行っているか**



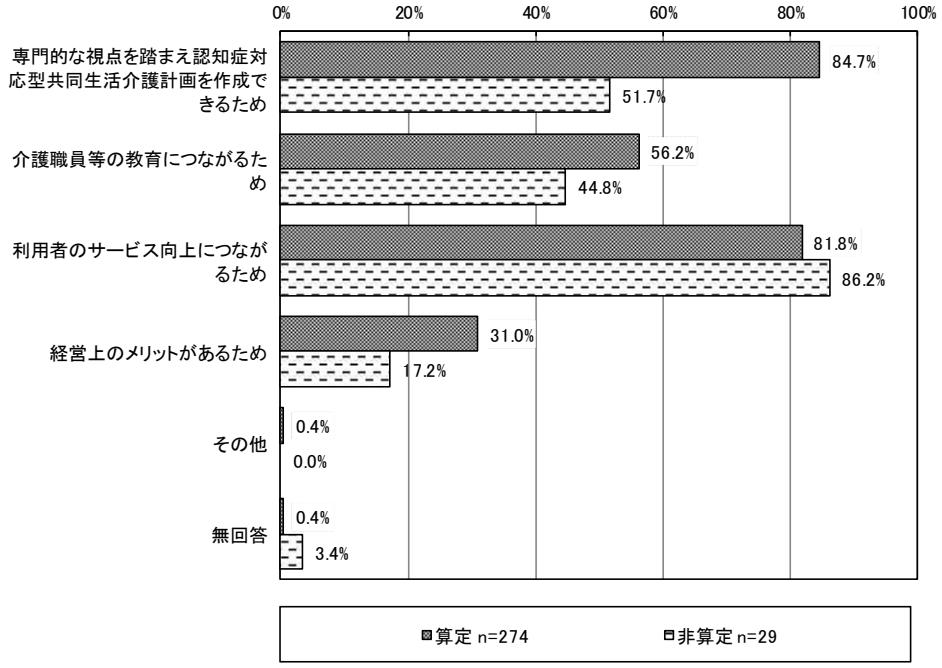
## ウ） 認知症対応型共同生活介護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 216　認知症対応型共同生活介護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 217　連携している理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

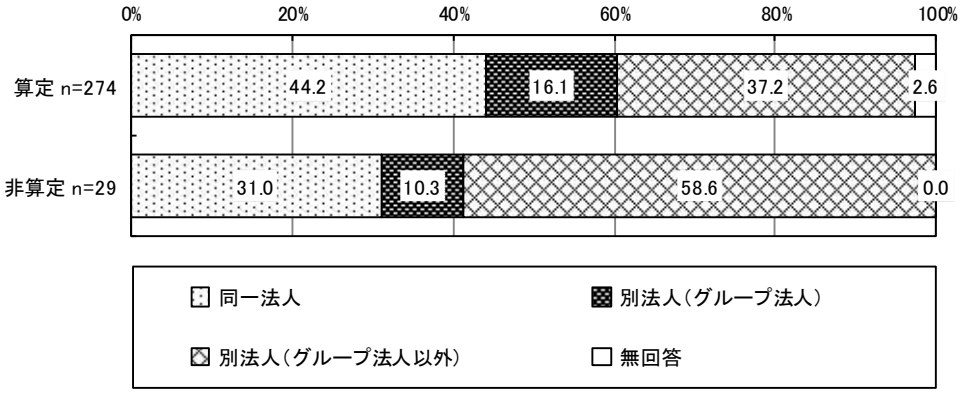
**図表 218　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位:件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=237 | 1.9 | 4.3 | 1 | 36 | 0 |
| 非算定 n=20 | 1.8 | 2.2 | 1 | 11 | 1 |

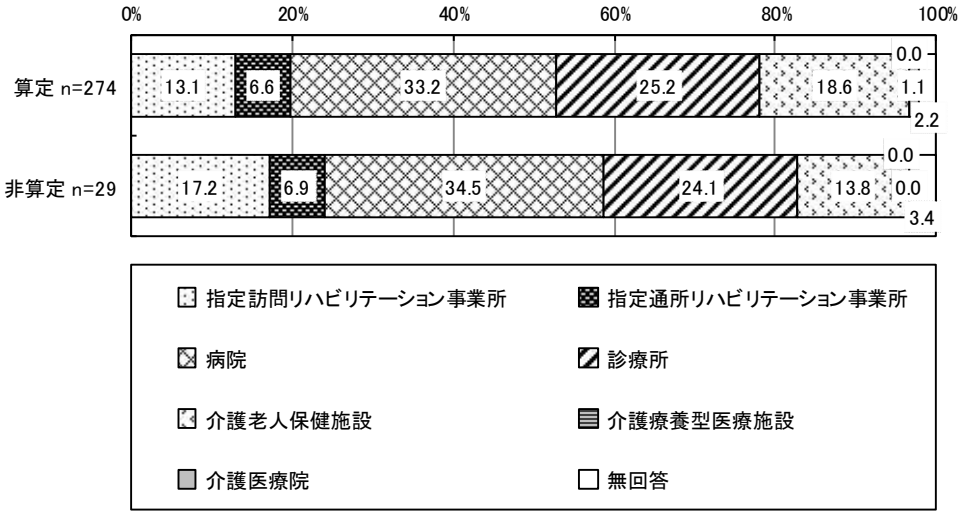
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 219　連携先は同一法人内か否か**



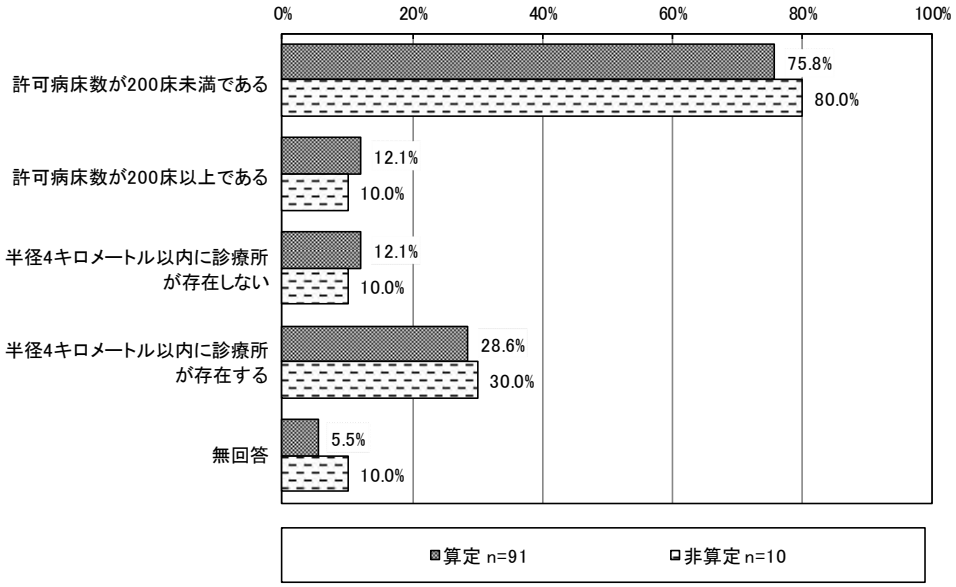

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 220　連携先となる事業所・施設**



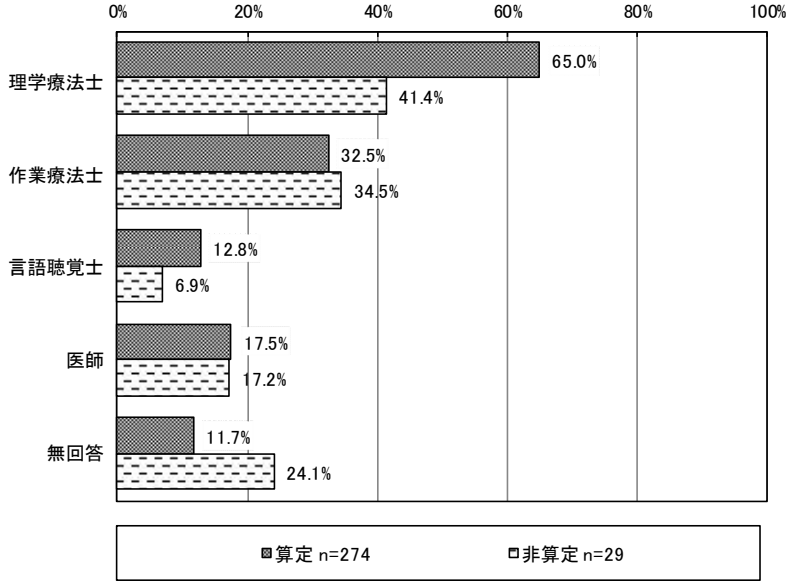
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 221　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



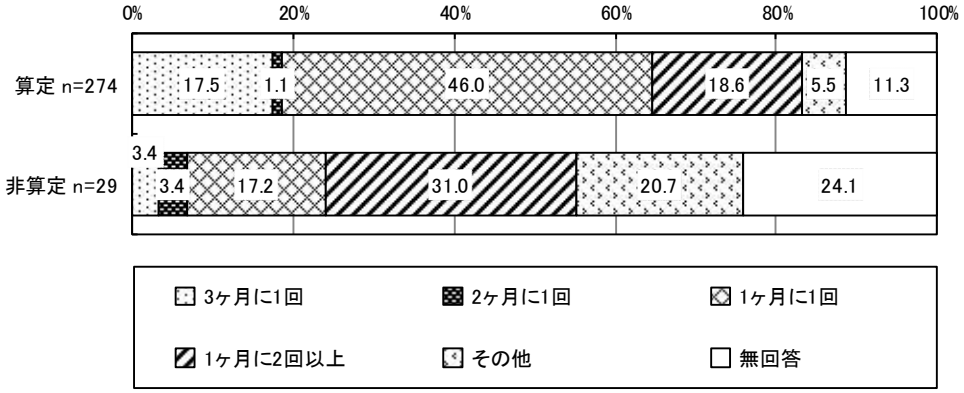

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 222　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

**図表 223　連携先による訪問頻度**

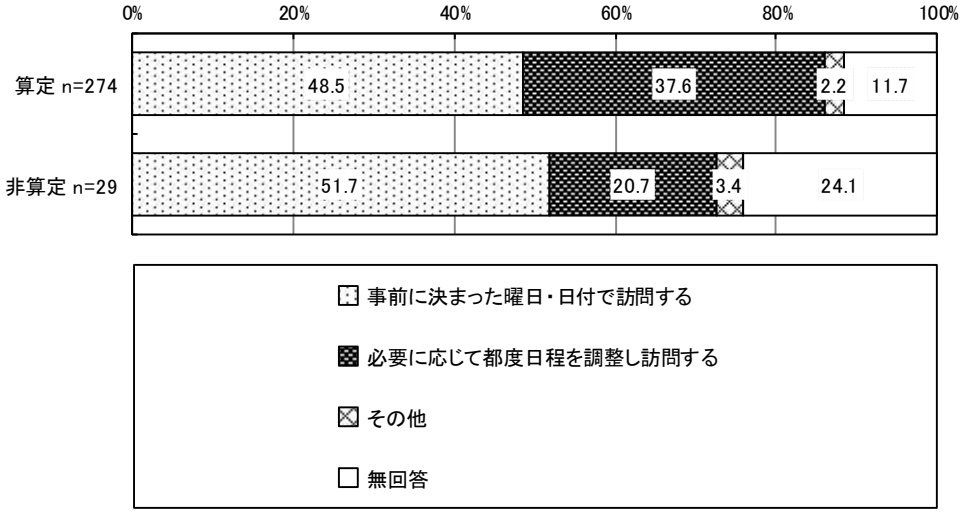



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）必要に応じて

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

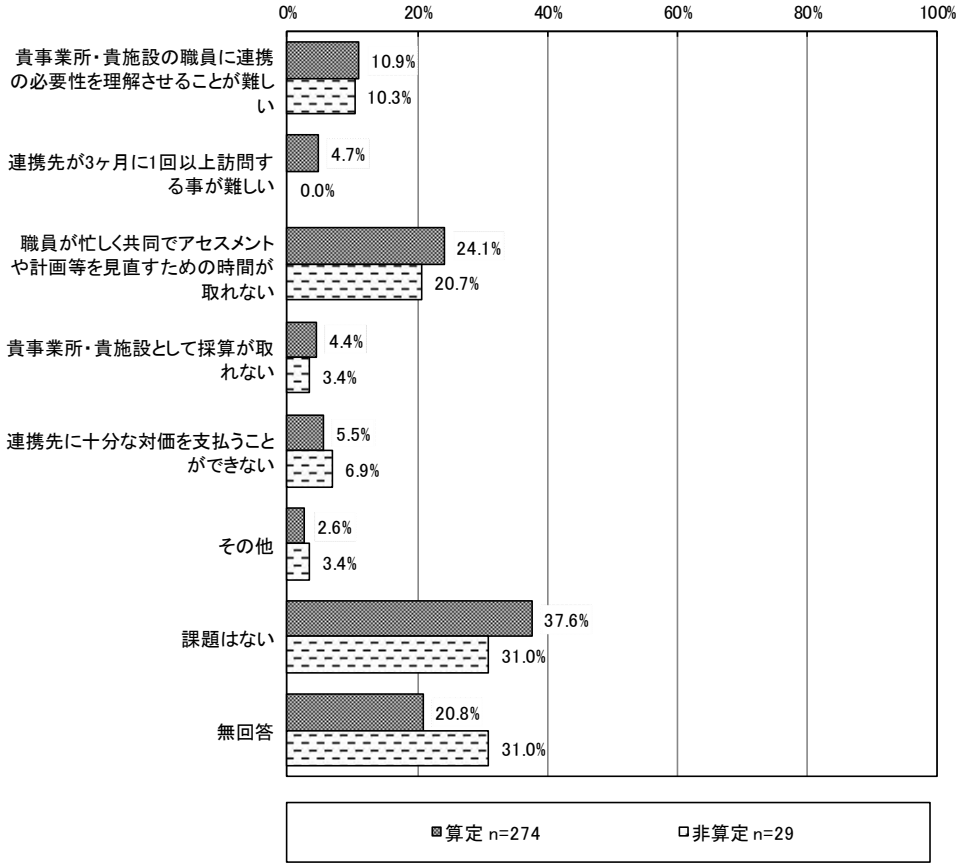
**図表 224　訪問日時は決められているか**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

**図表 225　連携先と連携を継続する上での課題**

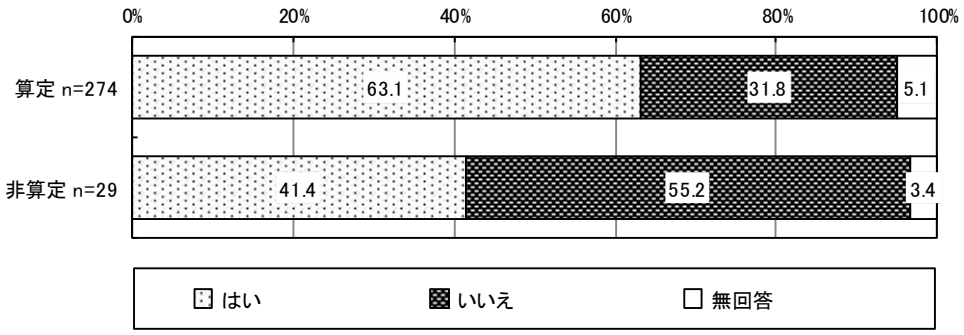



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）訪問日程の調整が困難であること

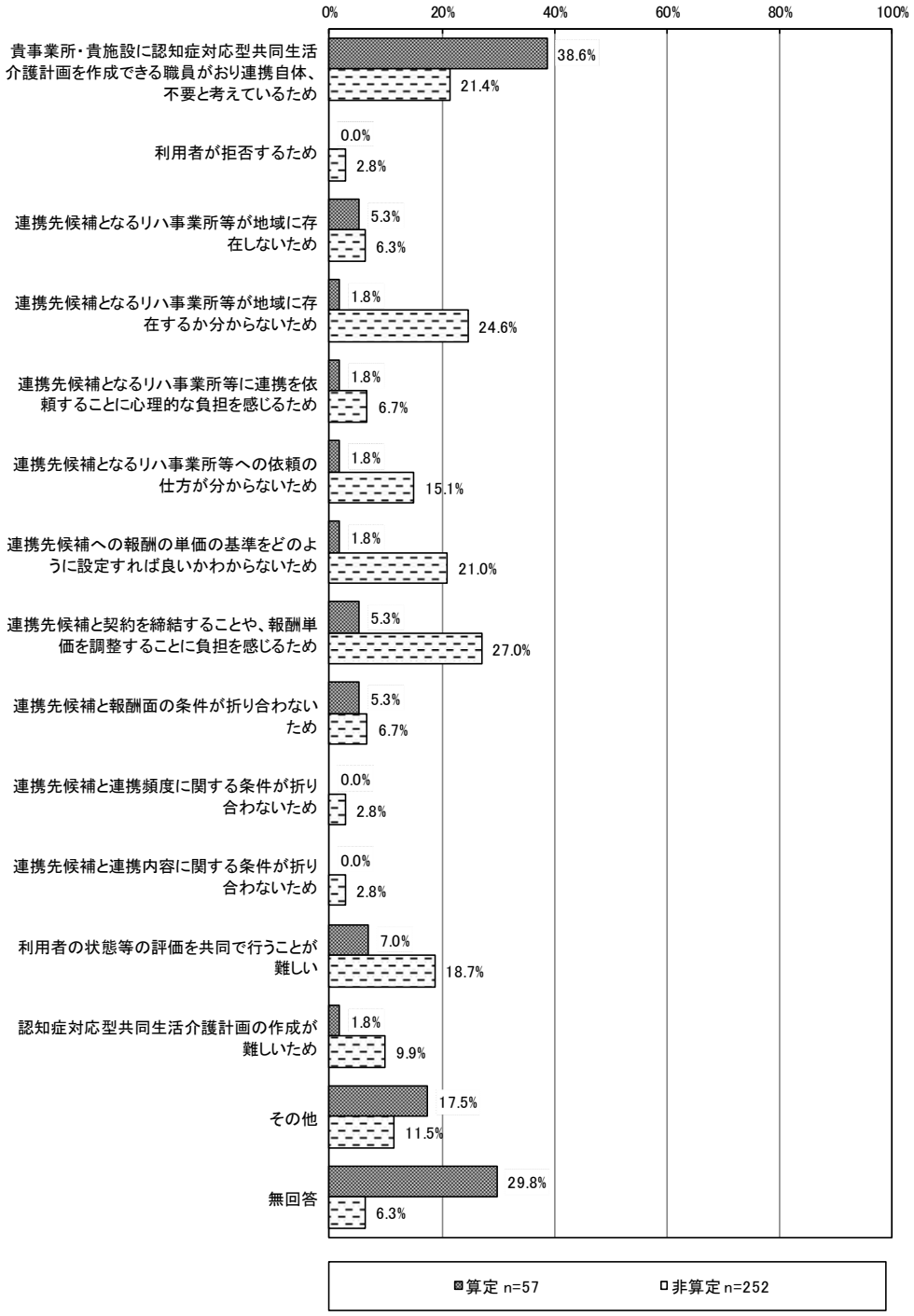
## ス） 連携先リハ事業所との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 226　連携先リハ事業所との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

**図表 227　連携していない理由**

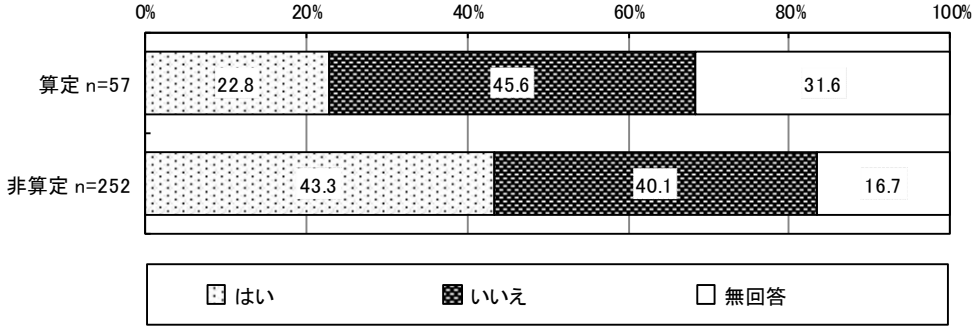



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

- （非算定）利用者の家族の理解を得られなかったため
- （非算定）整骨院やマッサージ業者等、医療との連携で足りているため

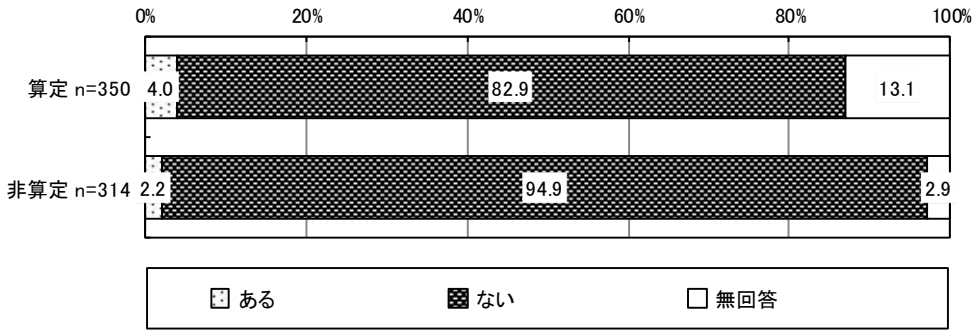
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 228　連携の必要性を感じているか**



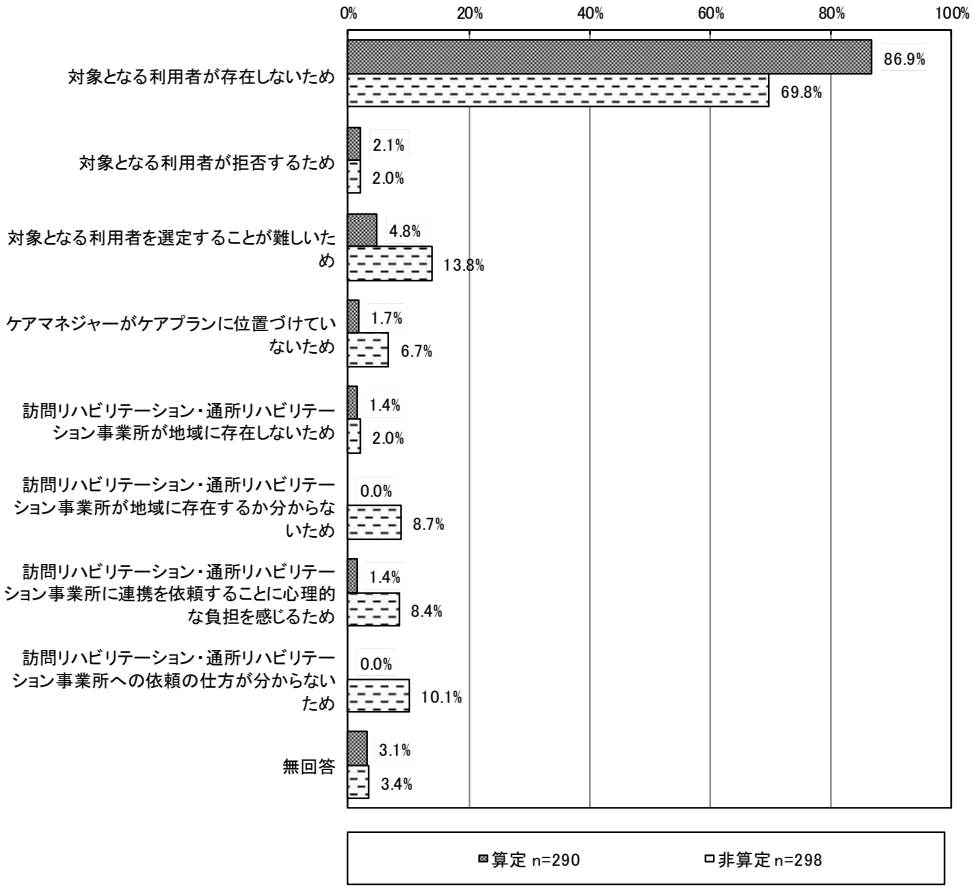

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 229　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

**図表 230　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由**



# Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

## ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 231 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=322 | 27.0 | 25.2 | 20.2 | 17.7 | 7.5 | 51.6 | 58.1 | 17.1 | 29.2 | 10.6 |
| | 非算定 n=9 | 22.2 | 22.2 | 22.2 | 11.1 | 11.1 | 33.3 | 33.3 | 11.1 | 11.1 | 11.1 |
| 作業療法士 | 算定 n=322 | 17.4 | 12.7 | 9.9 | 9.6 | 6.8 | 19.9 | 22.4 | 6.2 | 10.6 | 5.3 |
| | 非算定 n=9 | 22.2 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 33.3 | 11.1 | 0.0 | 22.2 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=322 | 12.1 | 1.2 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 1.2 | 1.6 | 0.6 | 0.9 | 0.6 |
| | 非算定 n=9 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | 11.1 | 0.0 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=322 | 11.8 | 14.9 | 41.3 | 51.9 | 56.8 | 52.2 | 32.6 | 3.1 | 30.4 |
| | 非算定 n=9 | 11.1 | 0.0 | 22.2 | 22.2 | 33.3 | 22.2 | 11.1 | 0.0 | 55.6 |
| 作業療法士 | 算定 n=322 | 6.5 | 7.8 | 16.5 | 22.4 | 23.3 | 21.4 | 15.8 | 0.9 | 68.9 |
| | 非算定 n=9 | 33.3 | 22.2 | 22.2 | 33.3 | 22.2 | 22.2 | 11.1 | 0.0 | 55.6 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=322 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 1.9 | 1.2 | 0.9 | 1.9 | 0.3 | 87.9 |
| | 非算定 n=9 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 88.9 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 232 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院・診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=322 | 6.8 | 4.3 | 3.7 | 12.1 | 1.2 | 82.0 |
| | 非算定 n=9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 病院・診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | 算定 n=322 | 10.6 | 13.4 | 17.1 | 7.5 | 1.6 | 73.6 |
| | 非算定 n=9 | 11.1 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 88.9 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | 算定 n=322 | 3.4 | 2.2 | 0.3 | 2.5 | 0.3 | 95.0 |
| | 非算定 n=9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

**図表 233　連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・（算定）握力低下、転倒予防、誤嚥予防、記憶力維持、筋力維持向上、不安定な歩行、拘縮予防
・（算定）筋力低下防止へのアドバイス
・（算定）起位動作

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容（問 4-4）

**図表 234　効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

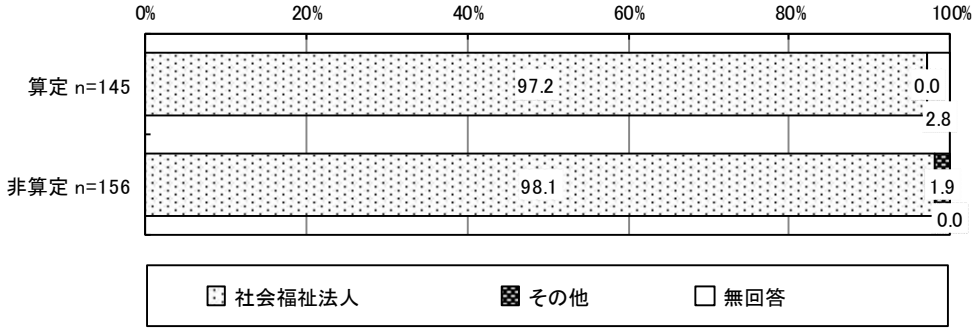
・（算定）食事形態の指導、その方の医療面と介護の問題を結び付けて注意点を伝えてもらう。車椅子の使用から独歩での歩行試み、尿バルーンも入っており、対応の仕方を伝えてもらう。
・（算定）食事の前の口腔体操で、体操が困難な方に対し、唾液腺マッサージの方法を学ぶ。
・（算定）ボール握り、立位保持、ヒールレイズ、嚥下体操、回想法、脳トレ塗り絵、足上げ胴上げ、歩行訓練、可動域訓練、上肢下肢屈伸開閉
・（算定）筋力低下防止のために、筋力向上のための運動や日常生活への助言など。

## （６） 介護老人福祉施設

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1-1）

図表 235　法人種別

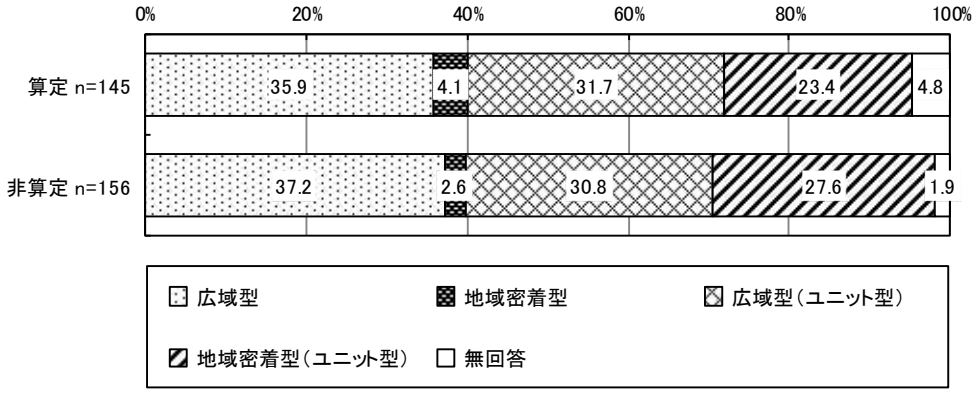



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）一部事務組合

### イ） 種類・施設区分（問 1-2）

図表 236　種類・施設区分



## ウ） 定員数（問 1-3）

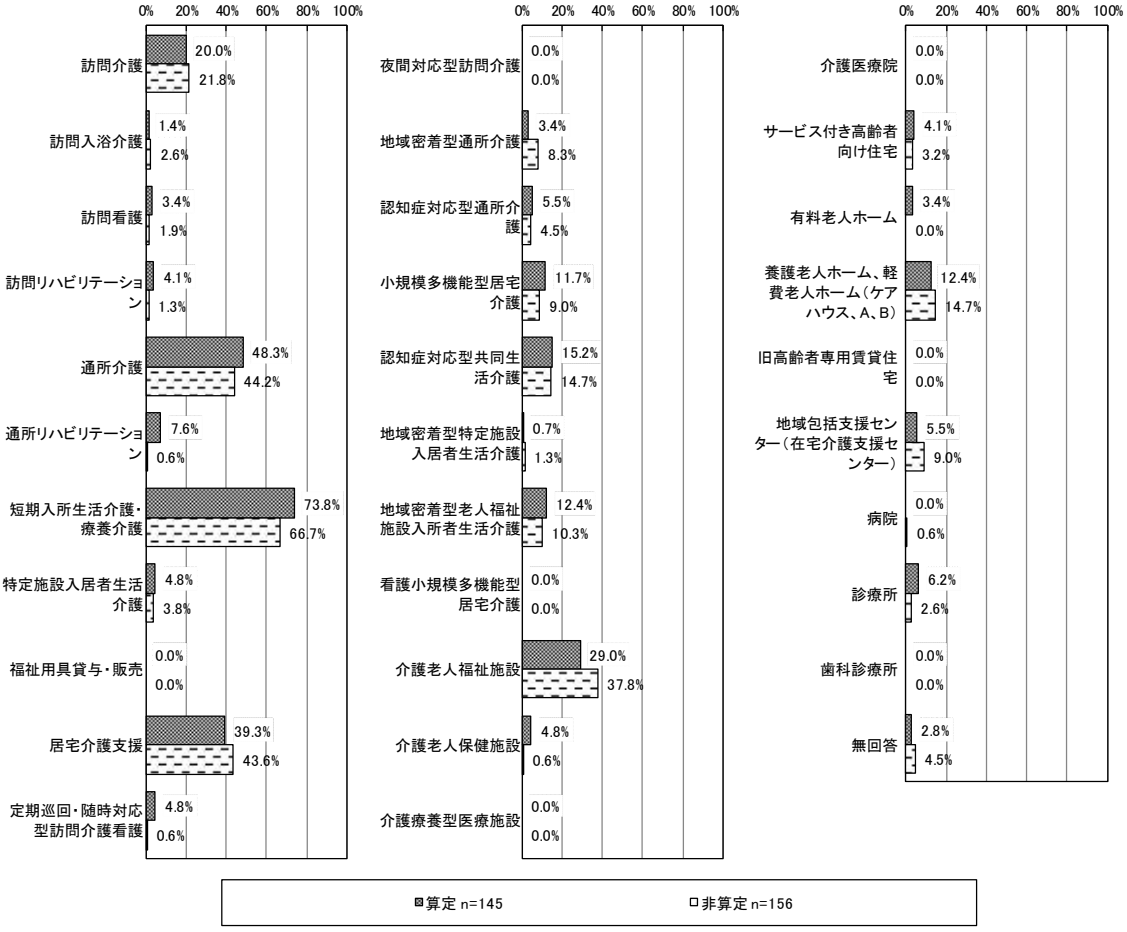
**図表 237　定員数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=56 | 68.1 | 34.0 | 65.0 | 170 | 20 |
| 非算定 n=60 | 63.5 | 33.1 | 60.0 | 207 | 15 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 238　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 239　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=144 | 60.9 | 31.5 | 51 | 172 | 10 |
| | 非算定 n=150 | 70.8 | 137.2 | 56.5 | 1688 | 10 |
| 要介護1 | 算定 n=144 | 0.6 | 1.5 | 0 | 11 | 0 |
| | 非算定 n=150 | 0.7 | 1.6 | 0 | 8 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=144 | 2.1 | 3.4 | 1 | 30 | 0 |
| | 非算定 n=150 | 2.5 | 4.4 | 1 | 30 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=144 | 13.2 | 9.1 | 12 | 52 | 0 |
| | 非算定 n=150 | 19.5 | 59.3 | 13 | 733 | 1 |
| 要介護4 | 算定 n=144 | 22.9 | 12.5 | 22 | 68 | 3 |
| | 非算定 n=150 | 27.9 | 60.8 | 22 | 747 | 4 |
| 要介護5 | 算定 n=144 | 21.3 | 13.0 | 19 | 79 | 2 |
| | 非算定 n=150 | 20.3 | 18.1 | 17 | 178 | 2 |
| 申請中 | 算定 n=144 | 0.9 | 9.2 | 0 | 111 | 0 |
| | 非算定 n=150 | 0.0 | 0.1 | 0 | 1 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 240　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=131 | 59.9 | 30.4 | 50 | 10 | 172 |
| | 非算定 n=135 | 71.0 | 144.1 | 55 | 10 | 1688 |
| 自立 | 算定 n=131 | 0.7 | 1.5 | 0 | 0 | 10 |
| | 非算定 n=135 | 1.0 | 4.1 | 0 | 0 | 45 |
| Ⅰ | 算定 n=131 | 1.9 | 2.1 | 1 | 0 | 10 |
| | 非算定 n=135 | 3.2 | 10.6 | 1 | 0 | 119 |
| Ⅱa | 算定 n=131 | 3.6 | 3.6 | 3 | 0 | 20 |
| | 非算定 n=135 | 4.7 | 9.8 | 2 | 0 | 90 |
| Ⅱb | 算定 n=131 | 7.7 | 6.2 | 6 | 0 | 34 |
| | 非算定 n=135 | 10.1 | 24.6 | 7 | 0 | 276 |
| Ⅲa | 算定 n=131 | 21.1 | 14.3 | 18 | 0 | 93 |
| | 非算定 n=135 | 25.5 | 58.8 | 16 | 0 | 684 |
| Ⅲb | 算定 n=131 | 9.7 | 9.3 | 7 | 0 | 61 |
| | 非算定 n=135 | 10.1 | 20.7 | 7 | 0 | 234 |
| Ⅳ | 算定 n=131 | 13.3 | 11.0 | 10 | 1 | 77 |
| | 非算定 n=135 | 14.2 | 22.6 | 10 | 0 | 240 |
| M | 算定 n=131 | 2.1 | 3.0 | 1 | 0 | 23 |
| | 非算定 n=135 | 2.2 | 3.3 | 1 | 0 | 20 |

## キ） 令和元年 9 月 1 か月間の利用者数（問 1-7）

**図表 241　令和元年 9 月 1 か月間の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=88 | 332.3 | 702.9 | 70.5 | 3445 | 10 |
| 非算定 n=105 | 334.7 | 706.6 | 64.0 | 2884 | 10 |

## ク） 職員数（問 1-8）

**図表 242　職員数**

（単位:人）

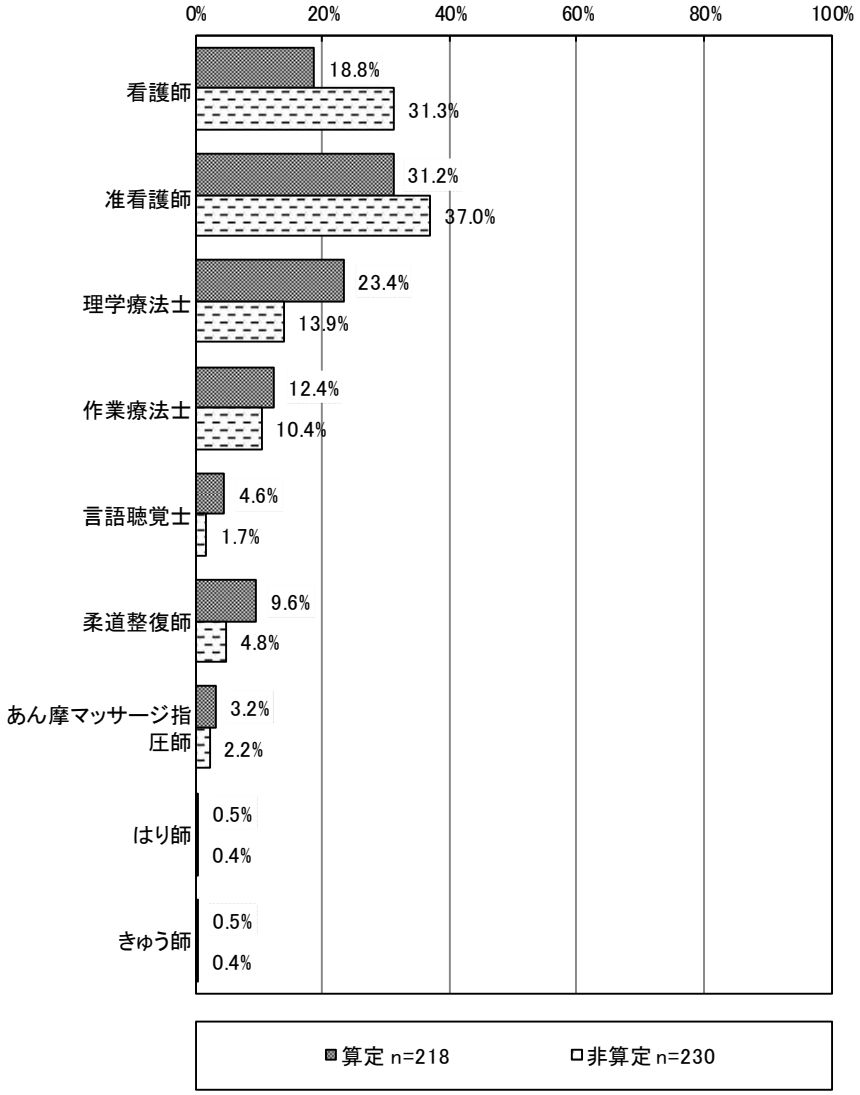
| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 1.0 | 0.2 | 1 | 2 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 1.0 | 0.2 | 1 | 2 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.9 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 0.0 | 0.2 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 医師 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 0.1 | 0.2 | 0 | 1 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 0.1 | 0.3 | 0 | 2 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 3.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 0.3 | 0.6 | 0.1 | 4.0 | 0.0 |
| 生活相談員 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 1.5 | 0.8 | 1 | 4 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 1.5 | 0.8 | 1 | 6 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 1.4 | 0.0 |
| 看護職員 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 3.4 | 1.7 | 3 | 11 | 1 |
| | | 非算定 n=153 | 3.4 | 1.9 | 3 | 12 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 1.0 | 1.2 | 0.6 | 5.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 0.9 | 1.3 | 0.5 | 7.0 | 0.0 |
| 介護職員 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 26.0 | 14.0 | 22 | 68 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 24.4 | 12.2 | 23 | 72 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 5.1 | 6.8 | 3.1 | 50.1 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 5.3 | 5.4 | 3.8 | 35.0 | 0.0 |

（単位:人）

| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 栄養士 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 1.1 | 0.5 | 1 | 3 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 1.2 | 0.6 | 1 | 3 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 1.5 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 機能訓練指導員 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 1.0 | 0.6 | 1 | 4 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 0.8 | 0.8 | 1 | 6 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 2.4 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 0.2 | 0.3 | 0.0 | 2.8 | 0.0 |
| 調理員 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 1.5 | 1.0 | 1 | 6 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 1.4 | 0.9 | 1 | 7 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 3.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 3.8 | 4.3 | 3 | 27 | 0 |
| | | 非算定 n=153 | 4.1 | 5.5 | 2 | 44 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 2.7 | 5.1 | 1.2 | 38.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=152 | 2.4 | 3.4 | 1.4 | 24.1 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=145 | 39.4 | 18.0 | 35 | 113 | 5 |
| | | 非算定 n=153 | 37.8 | 17.0 | 38 | 87 | 7 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=145 | 9.4 | 11.2 | 6.1 | 85.0 | 0.2 |
| | | 非算定 n=152 | 9.3 | 8.4 | 7.1 | 54.8 | 0.1 |

## ケ） 機能訓練指導員の保有する資格（問 1-9）

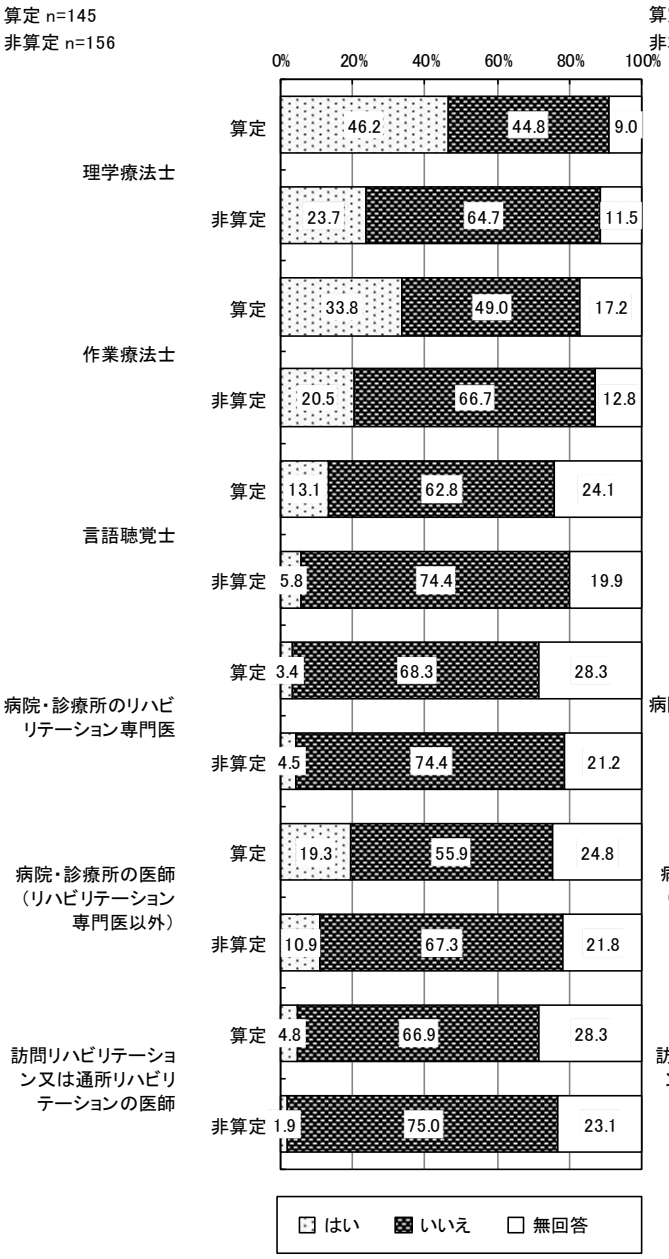
**図表 243　機能訓練指導員の保有する資格（機能訓練指導員の存在する事業所のみの集計結果）**



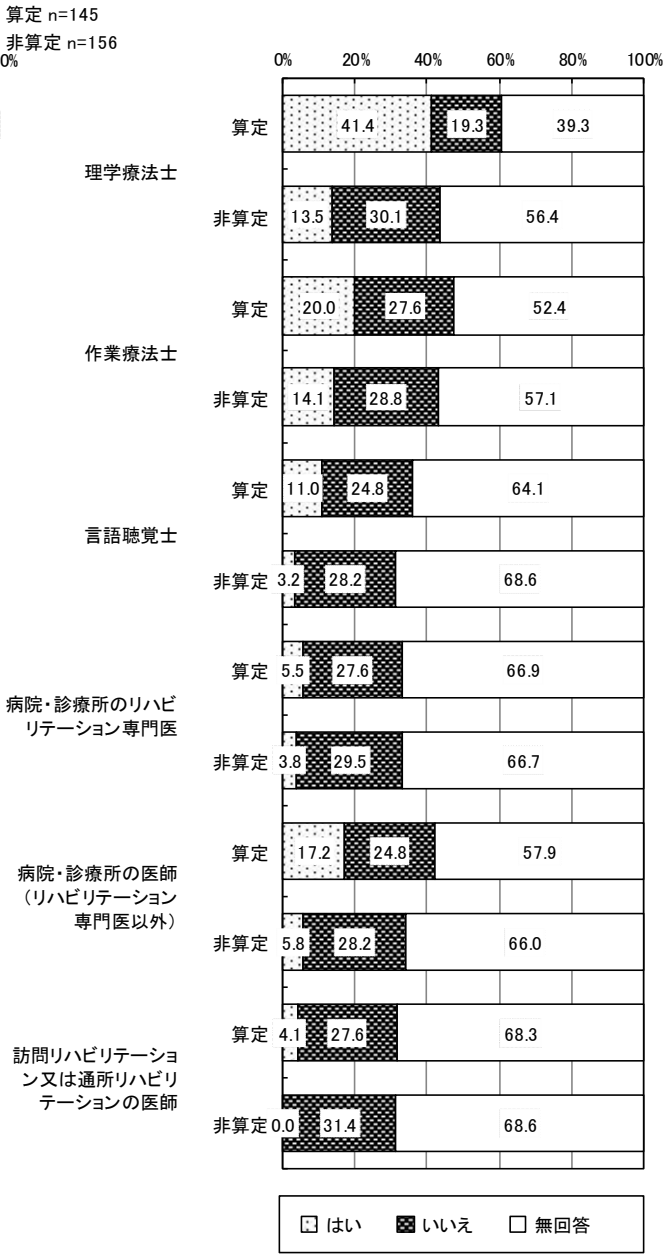

注：分母を機能訓練指導員が存在する事業所数、分子を各資格について回答のあった事業所数とし、算出した。

## コ） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-10）

### 図表 244　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか

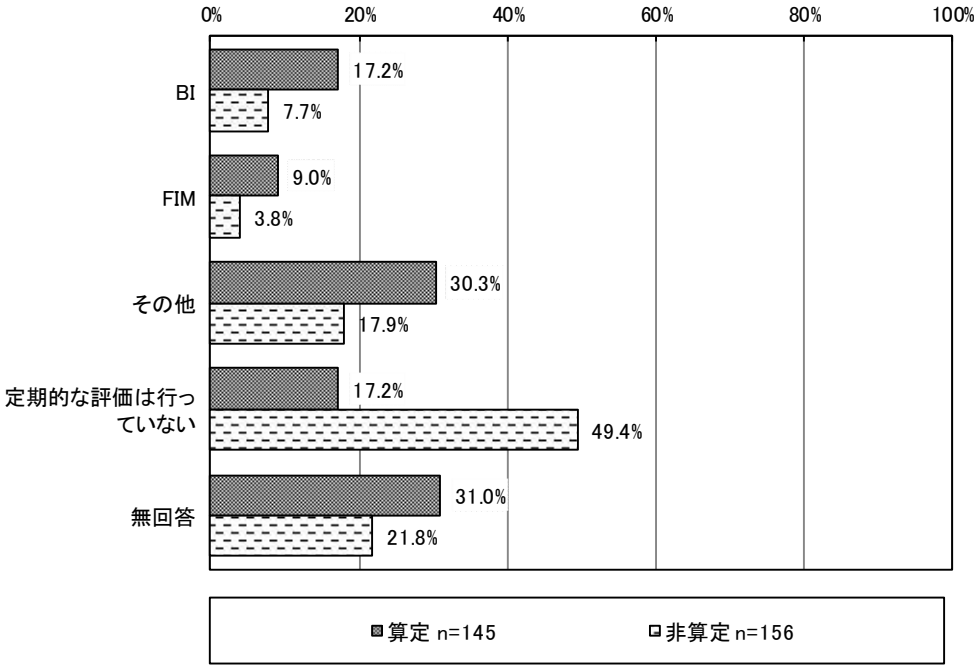



### 図表 245　助言を行っているか



## サ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-11）

図表 246　利用者の ADL・IADL の評価の指標



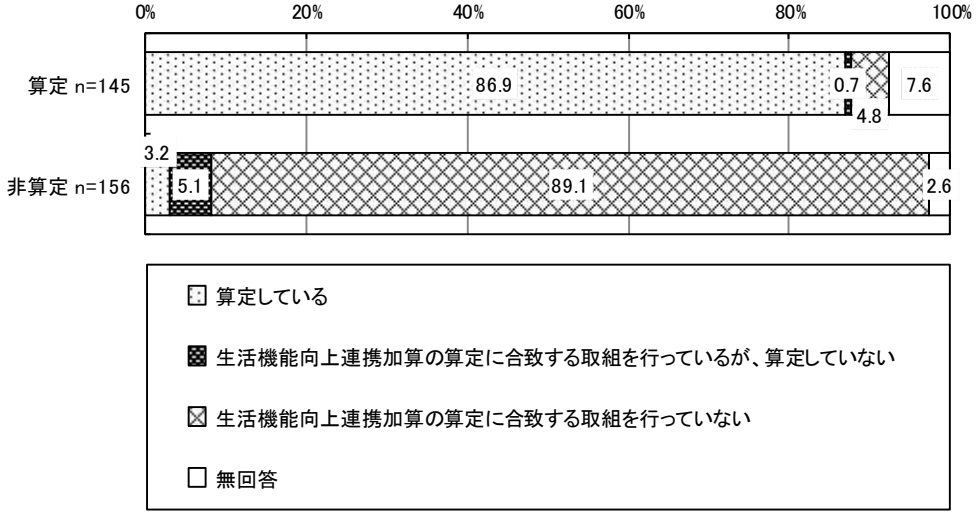

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

- （算定）Frenchay Activities Index
- （算定）施設独自の評価指標
- （非算定）施設独自の評価指標

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1）

**図表 247　生活機能向上連携加算の算定有無と算定に合致する取組**




**図表 248　利用者の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=115 | 56.2 | 31.9 | 50 | 171 | 1 |
| 非算定 n=5 | 63.8 | 21.3 | 66 | 90 | 29 |

**図表 249　連携したリハ専門職等の実人数**

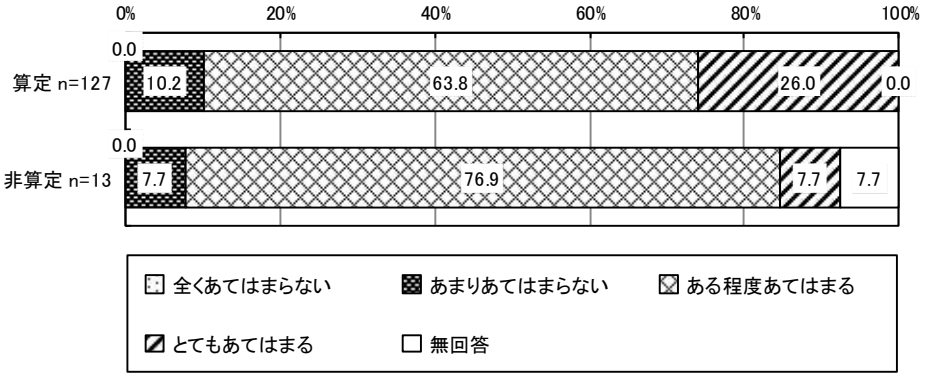
（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=111 | 1.7 | 1.5 | 1 | 13 | 1 |
| 非算定 n=5 | 1.0 | 0.6 | 1 | 2 | 0 |

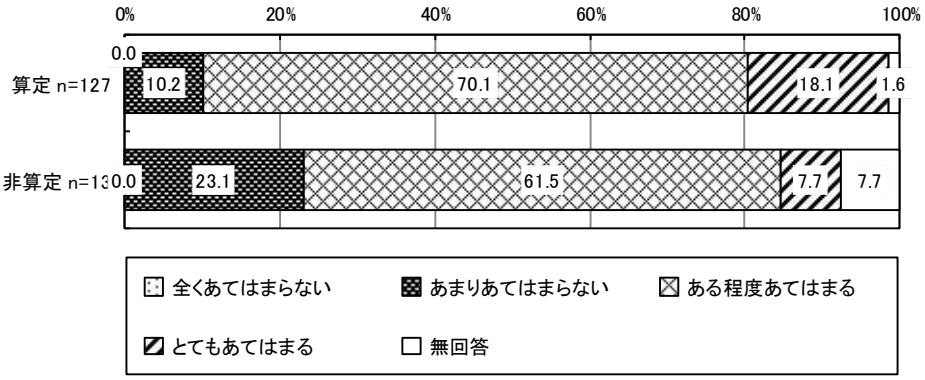
## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

図表 250　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

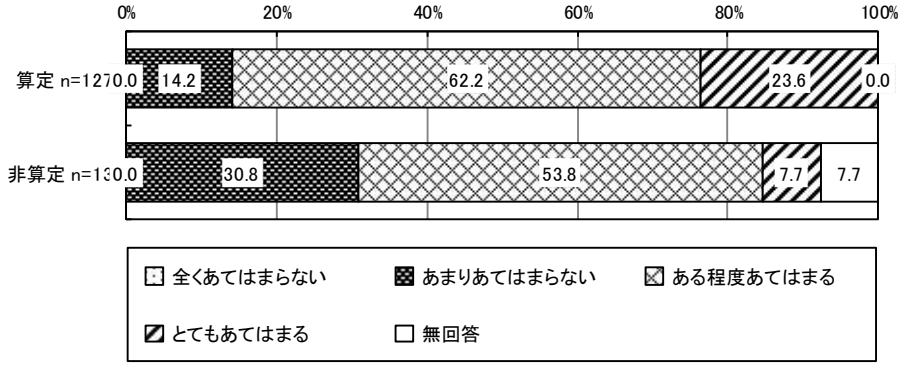
### 1）専門的な視点を踏まえ質の高い個別機能訓練計画を作成できた



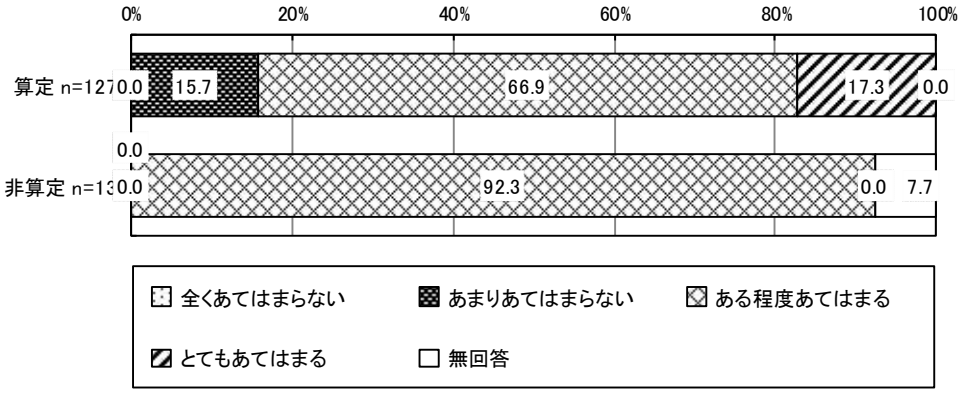

### 2）これまでの個別機能訓練計画が改善された



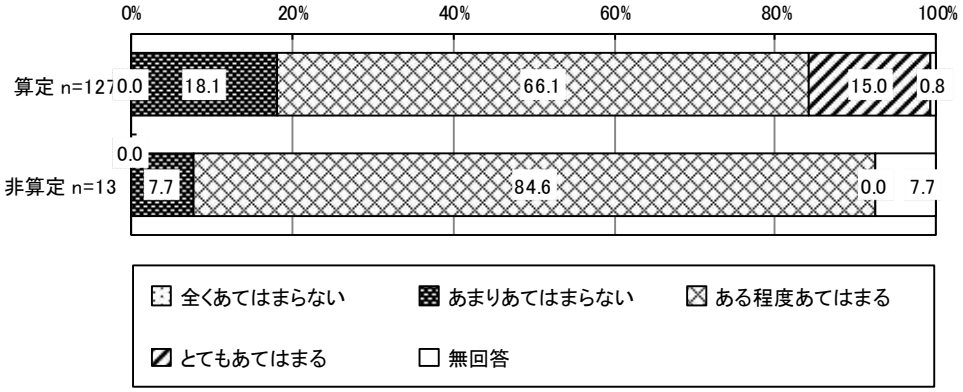

### 3）専門的な視点を踏まえた計画であるため、利用者に対し何故機能訓練を行うのかを自信を持って説明できるようになった



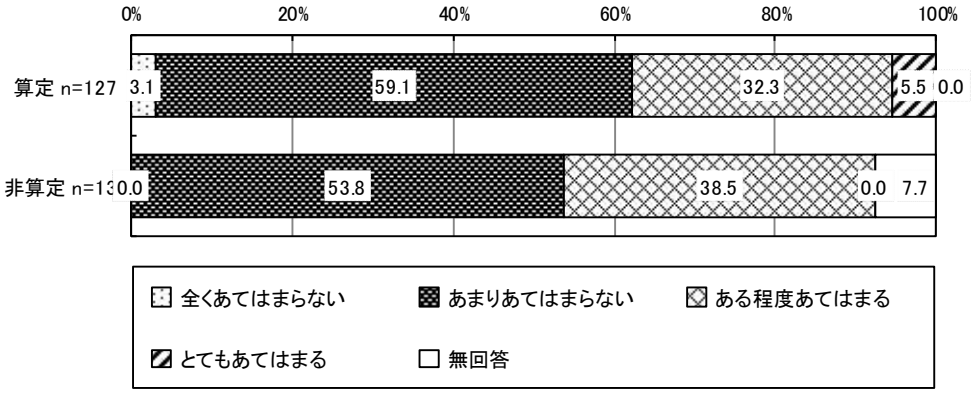
### ４）利用者の身体機能の維持・向上につながった



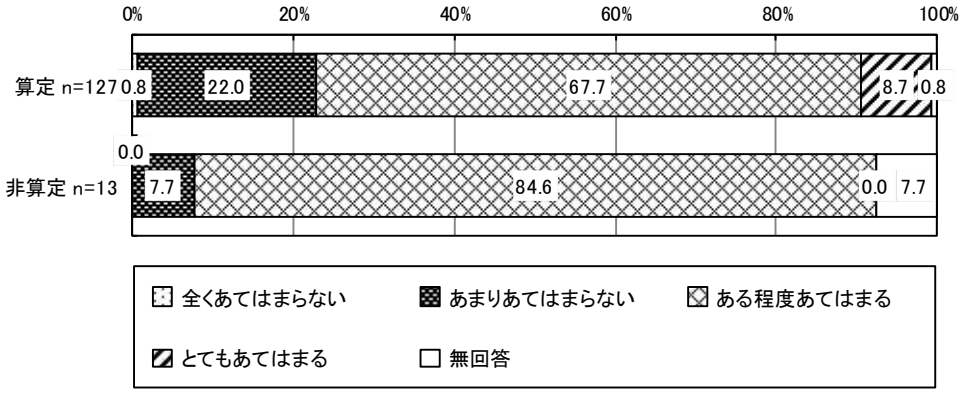

### ５）利用者の ADL や IADL の維持・向上につながった



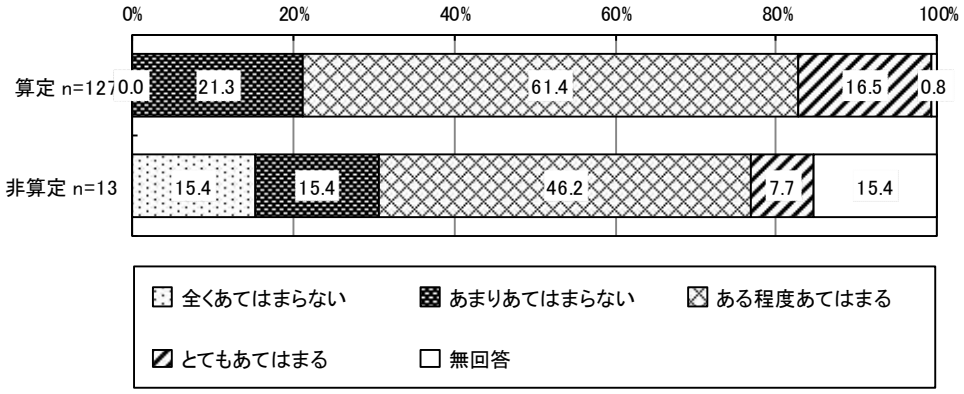

### ６）利用者本人の役割の再獲得や社会参加につながった



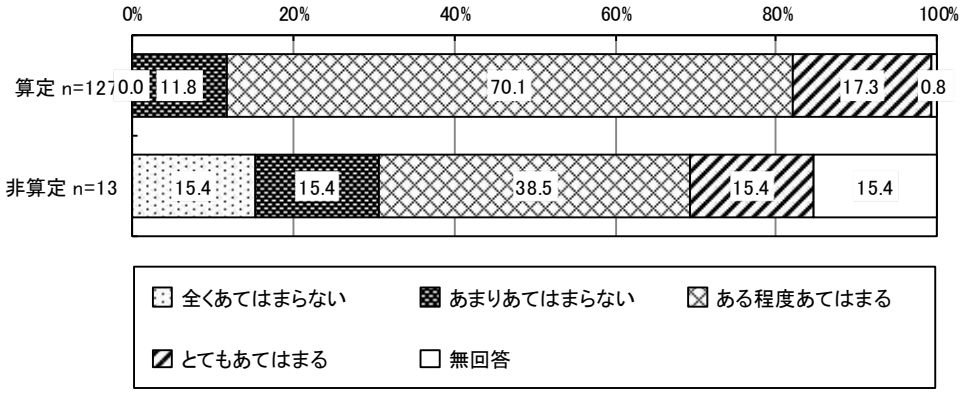
**７）利用者の重度化防止につながった**



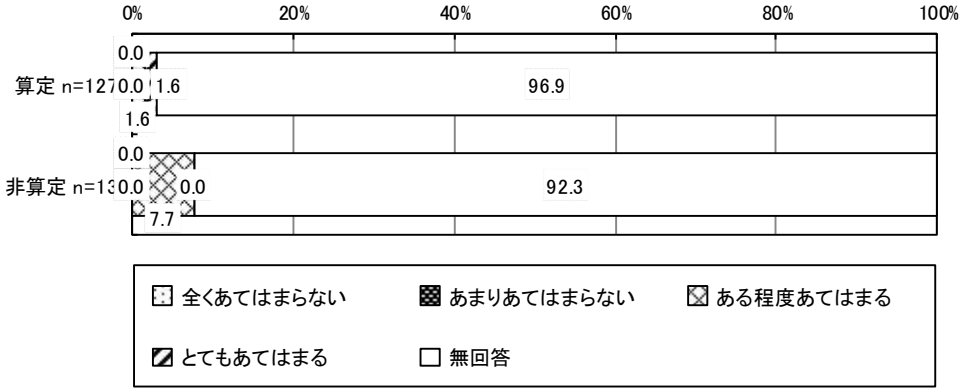

**８）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで利用者の安心につながった**




**９）外部のリハ専門職等が助言して作成した計画に基づき機能訓練を行うことで介護職員等の安心につながった**



10）その他

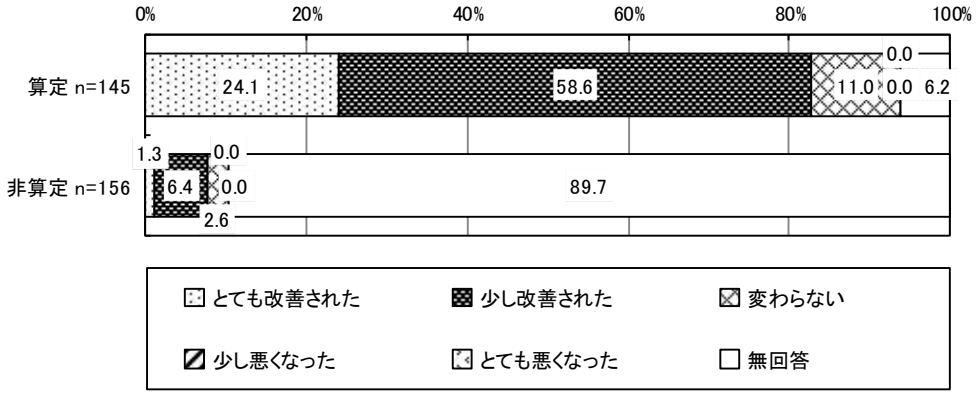



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）事業所内外の PT の意見を得ることができる

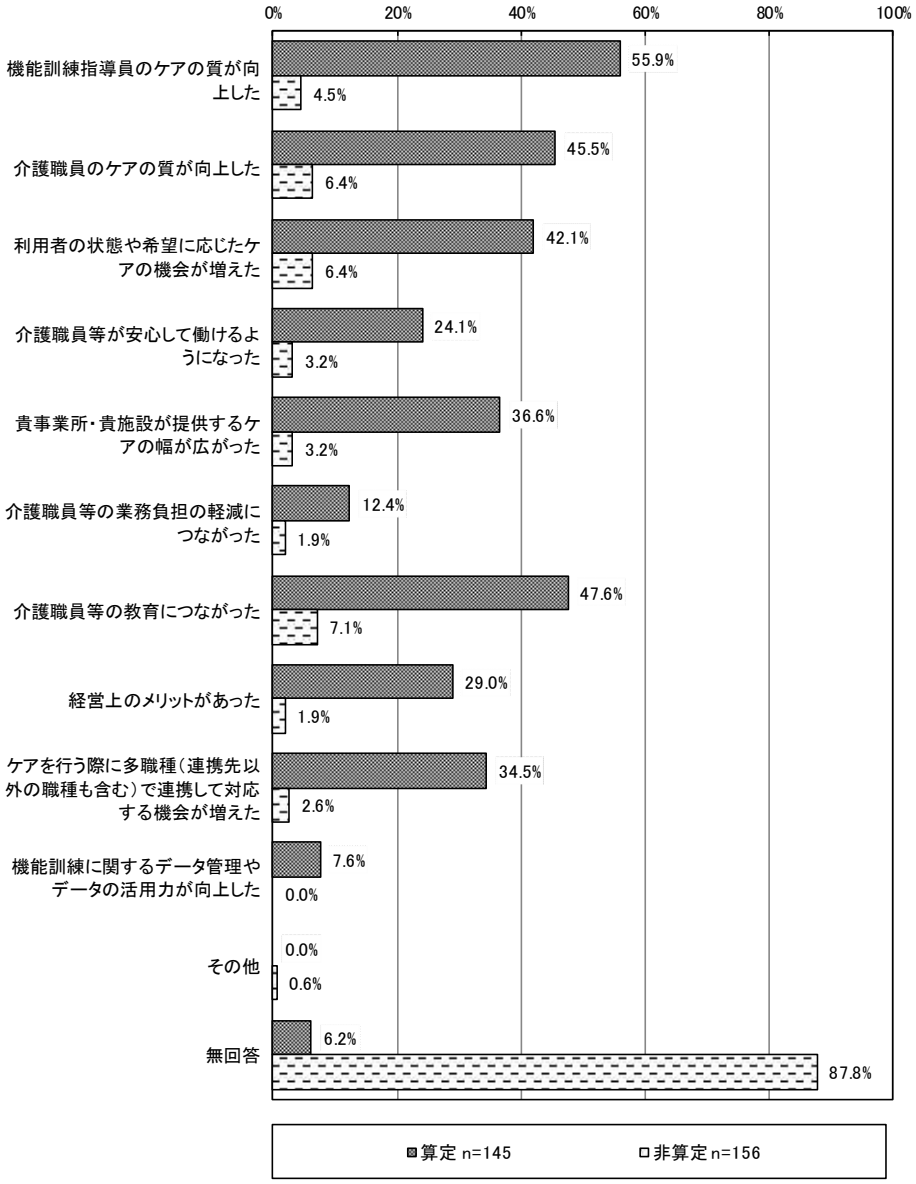
## ウ） 個別機能訓練計画の改善状況（問 2-3）

**図表 251　個別機能訓練計画の改善状況**



## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 252　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

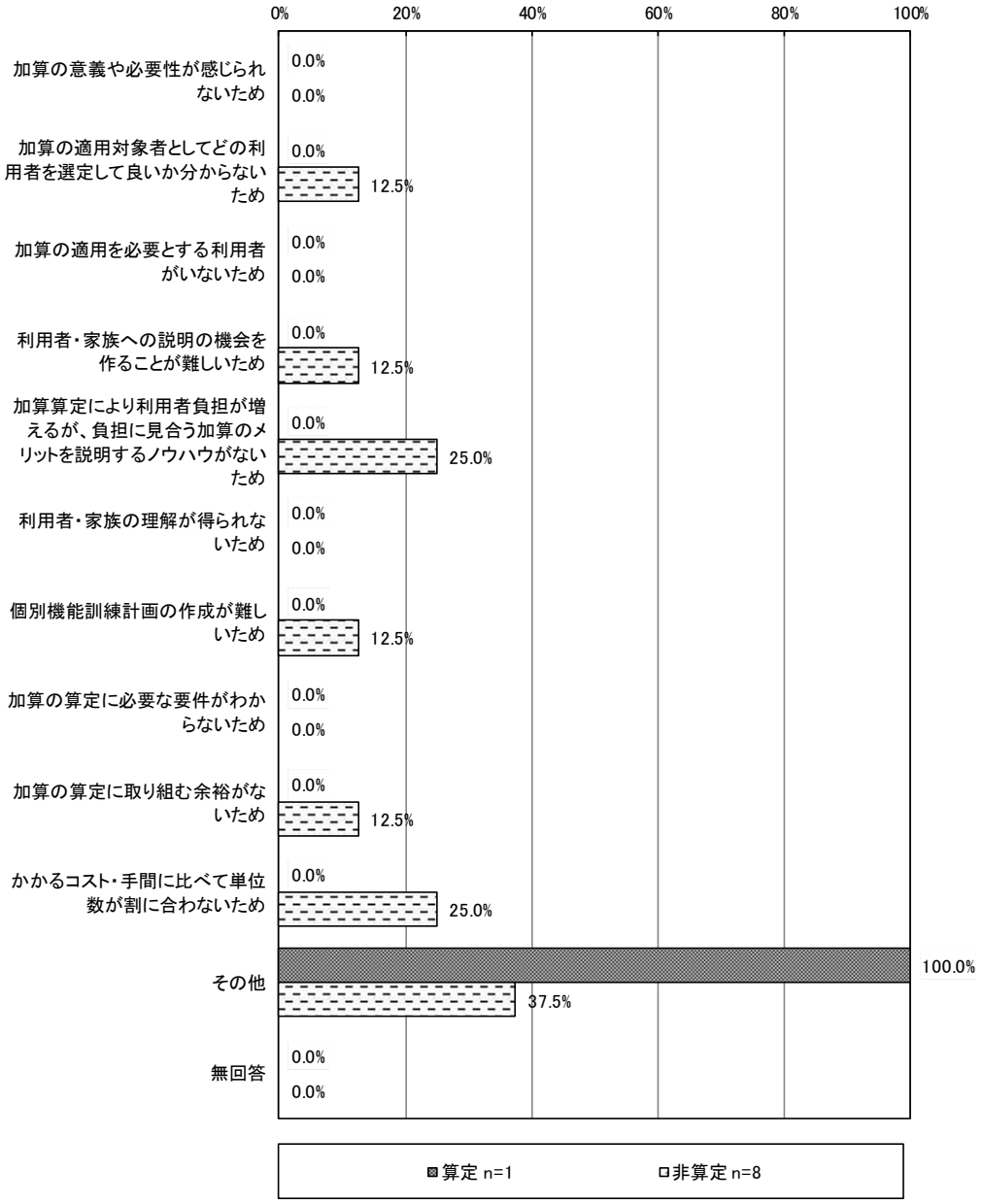
**図表 253　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額**

（単位：円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=102 | 27903.9 | 44769.0 | 15330 | 270000 | 0 |
| 非算定 n=4 | 21000.0 | 7648.5 | 21000 | 30000 | 12000 |

## カ） 取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由（問 2-6）

**図表 254　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**

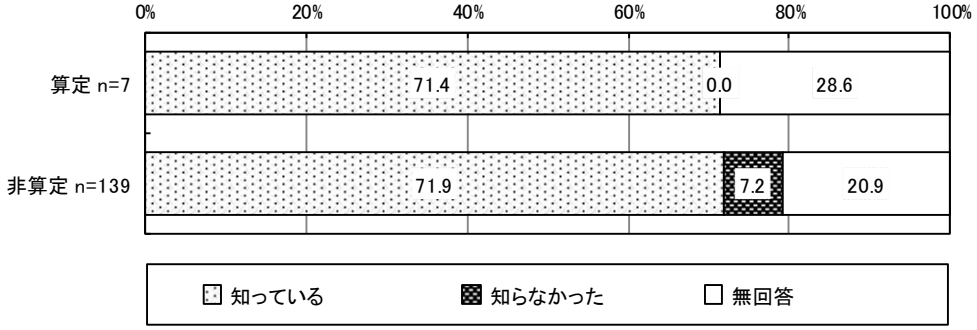



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（非算定）人員体制がいつ変動するかわからないため。

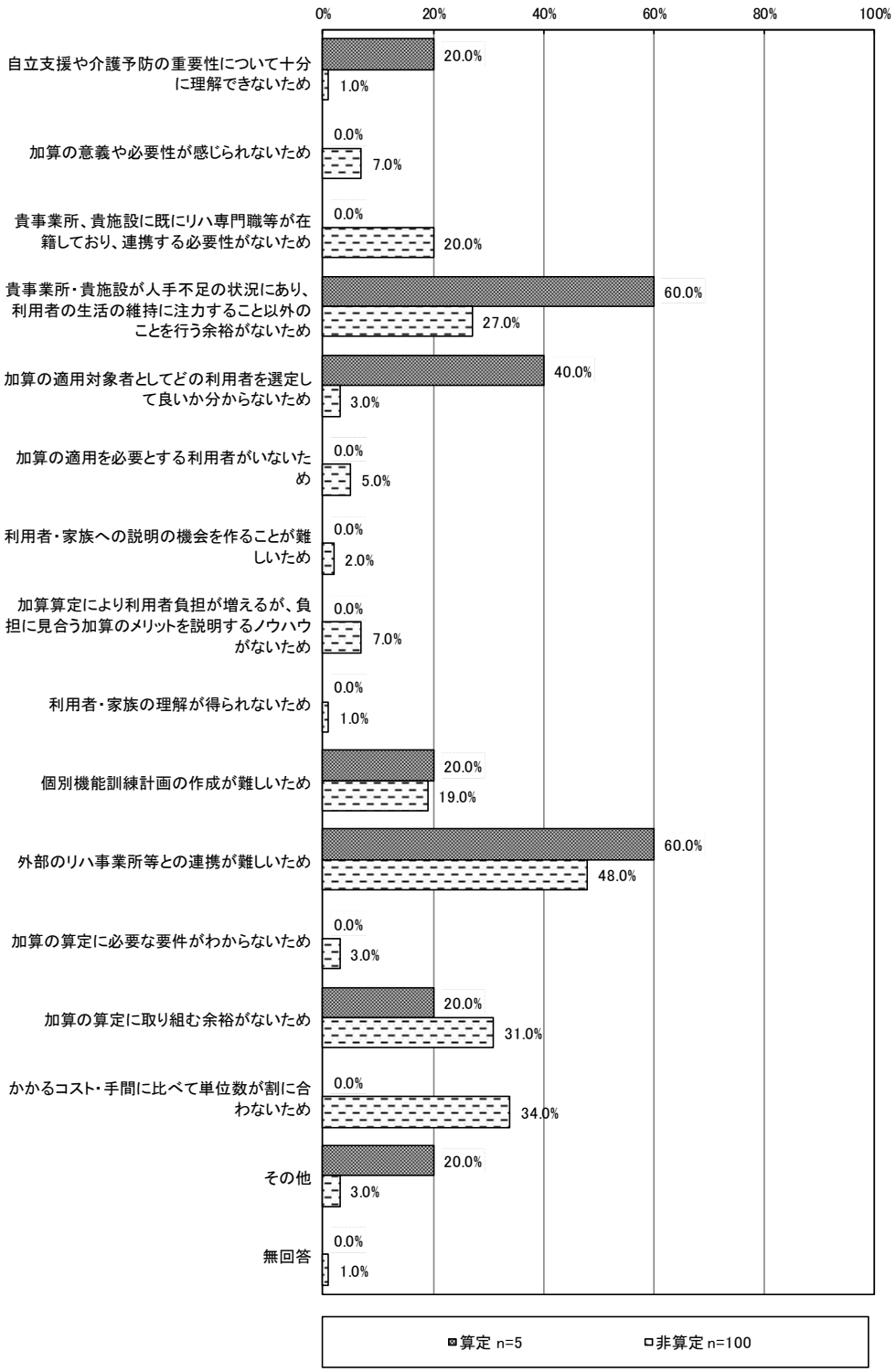
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

**図表 255　生活機能向上連携加算を知っているか**



## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

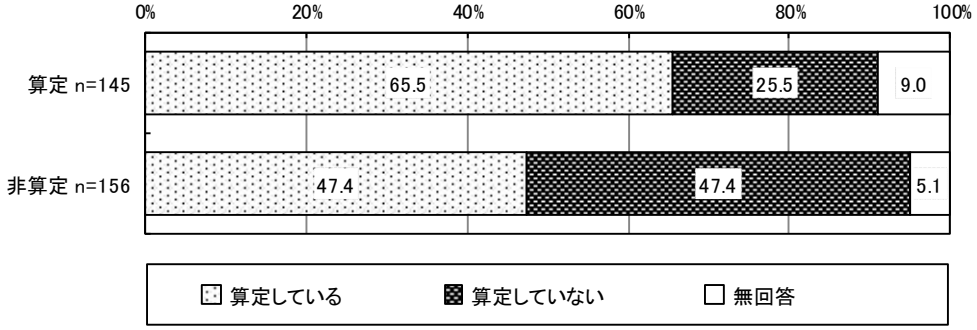
**図表 256　加算を算定していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 個別機能訓練加算の算定有無及び算定回数、利用者実人数（問 2-9）

**図表 257　算定有無**




**図表 258　算定有無**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=72 | 878.6 | 1118.9 | 115.5 | 5043 | 1 |
| 非算定 n=45 | 1284.8 | 1367.6 | 1373.0 | 7554 | 1 |

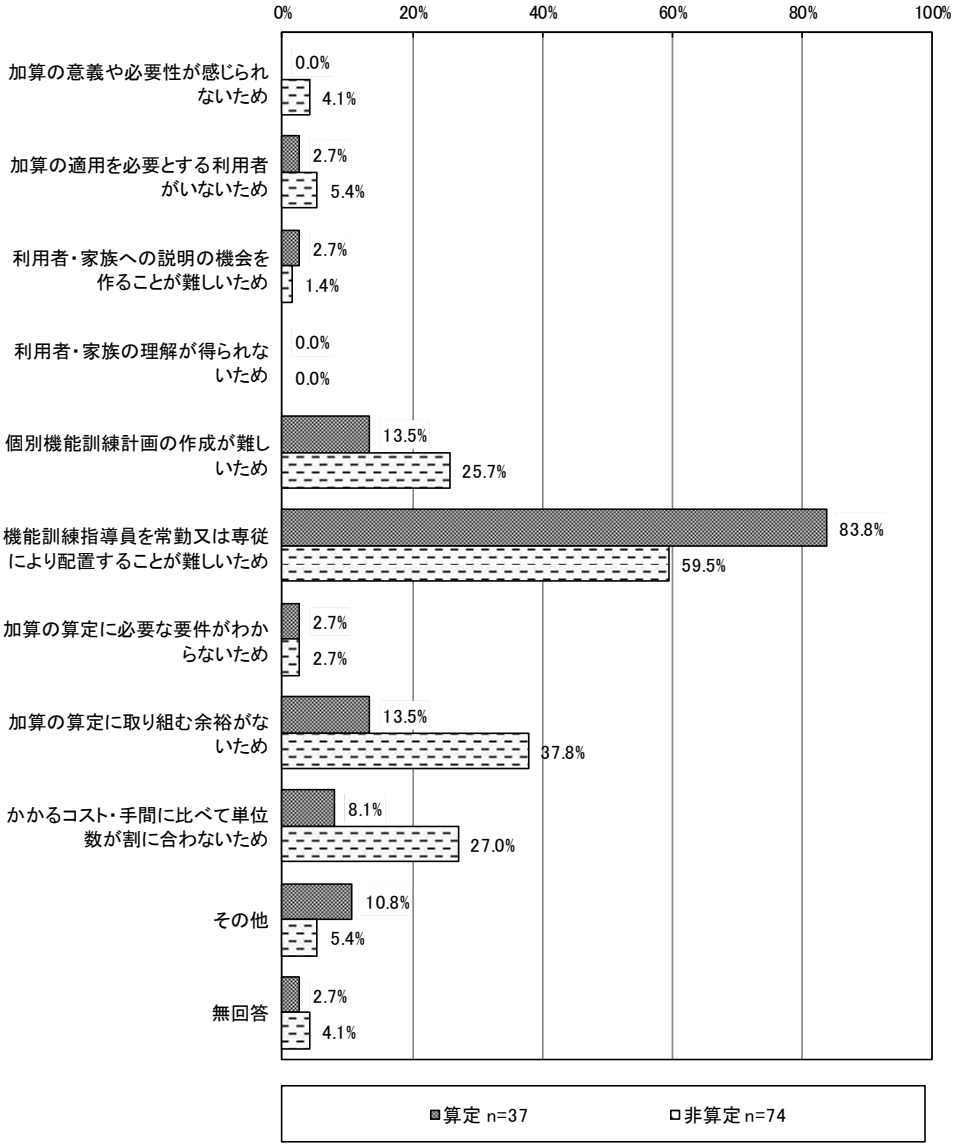
**図表 259　利用者実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=90 | 62.4 | 32.4 | 55.5 | 172 | 10 |
| 非算定 n=63 | 82.5 | 112.7 | 68.0 | 918 | 14 |

## コ） 個別機能訓練加算を算定しない理由（問 2-10）

**図表 260　個別機能訓練加算を算定しない理由**



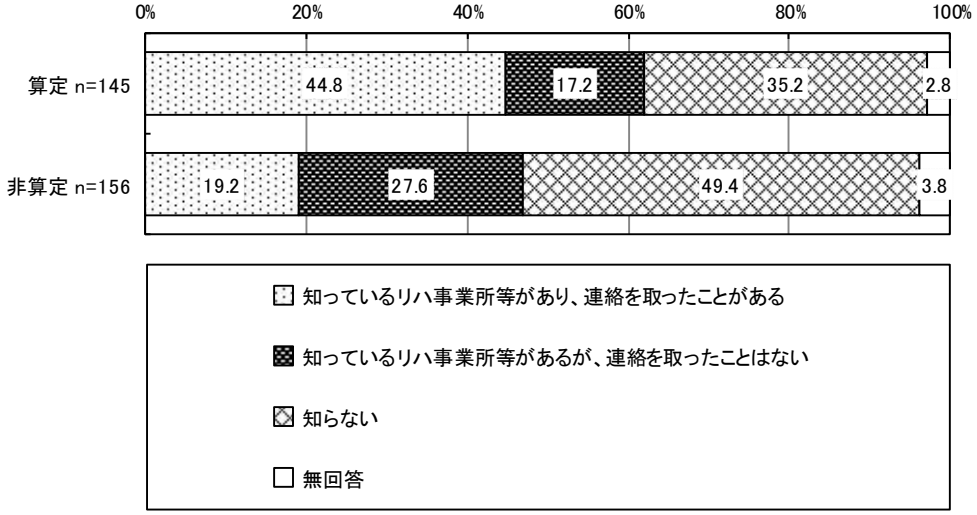

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

- （算定）既に生活機能向上連携加算を算定しているため。
- （非算定）体制に変化があった場合に対応できないため。
- （非算定）算定要件を満たしていないため。

## Ⅲ．外部との連携状況

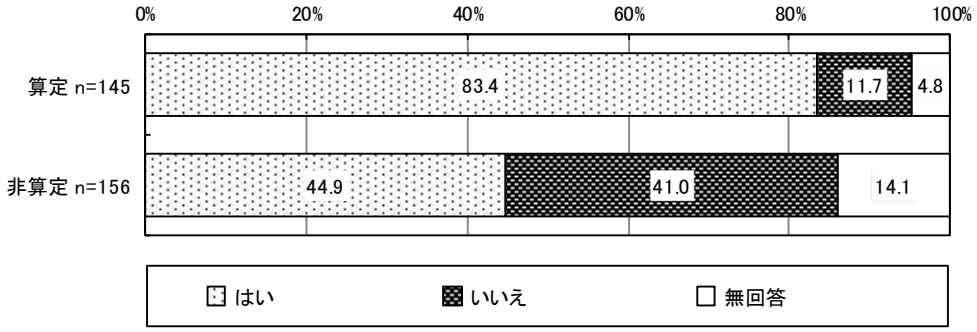
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 261　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



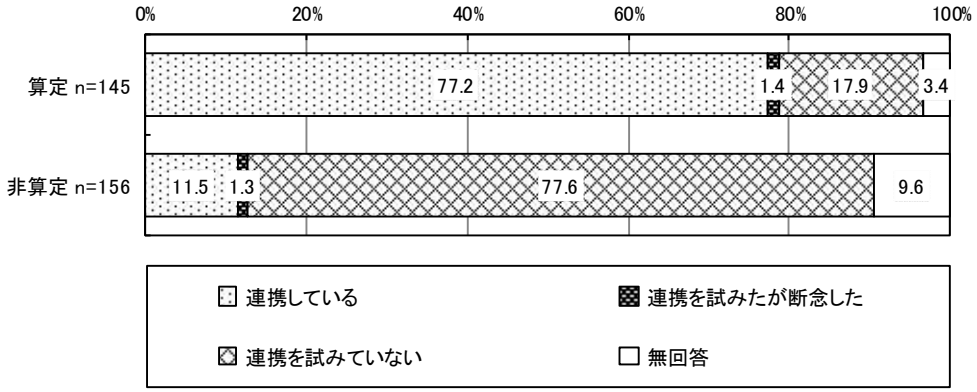

### イ） 個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 262　個別機能訓練の要否に関する利用者の定期評価を行っているか**



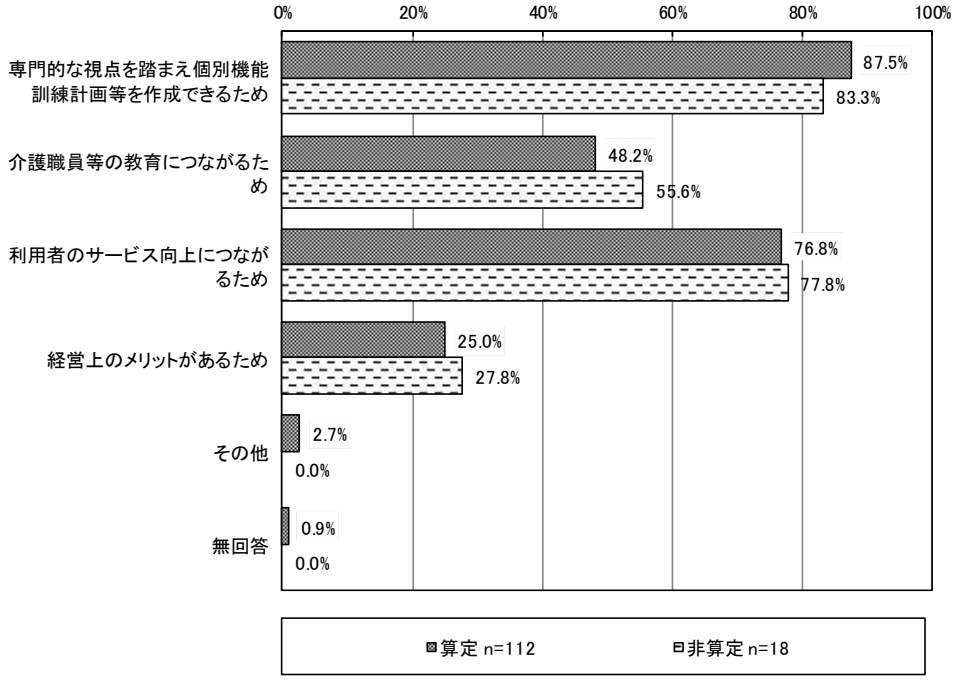
## ウ） 個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 263　個別機能訓練計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 264　連携している理由**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）国の方向性と考え、取り組んでいる。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

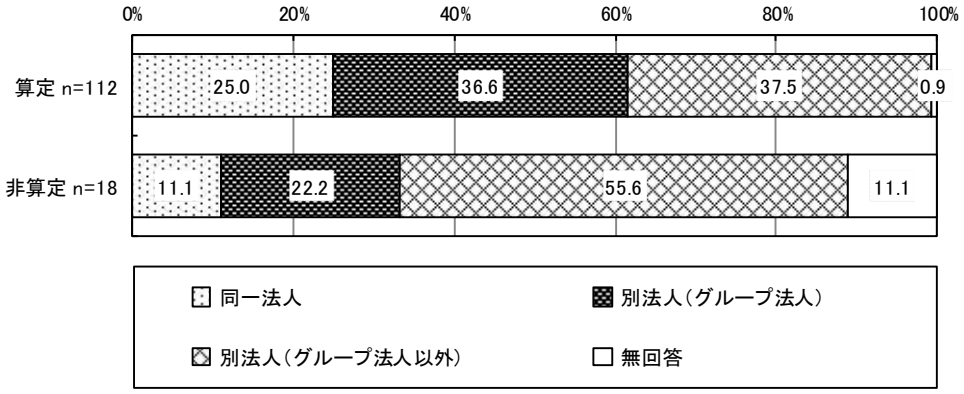
**図表 265　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位:件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=101 | 6.2 | 21.7 | 1 | 171 | 1 |
| 非算定 n=17 | 1.2 | 0.6 | 1 | 3 | 1 |

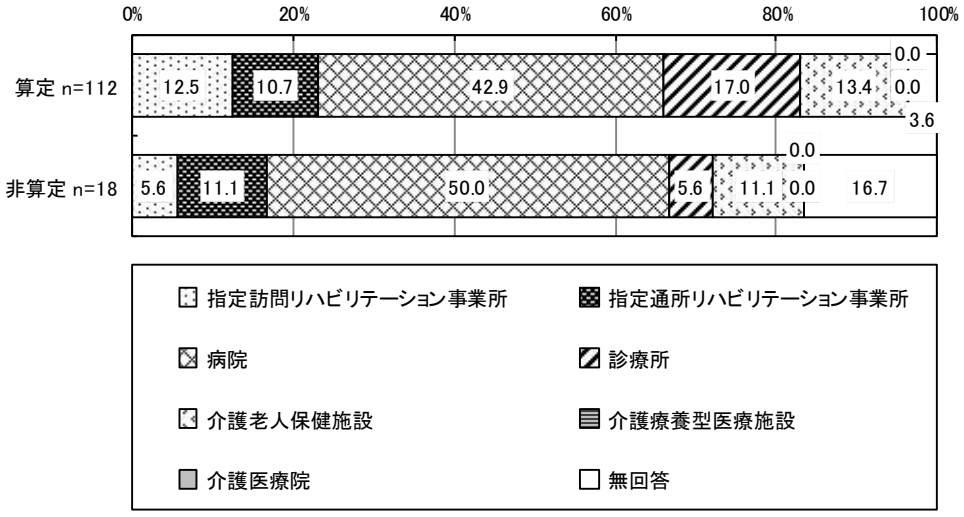
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 266　連携先は同一法人内か否か**



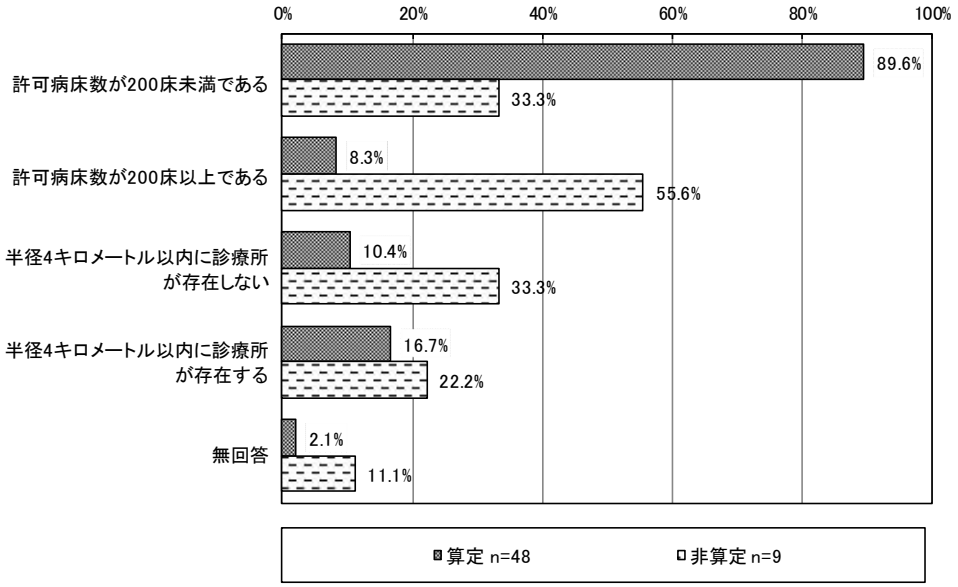

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 267　連携先となる事業所・施設**



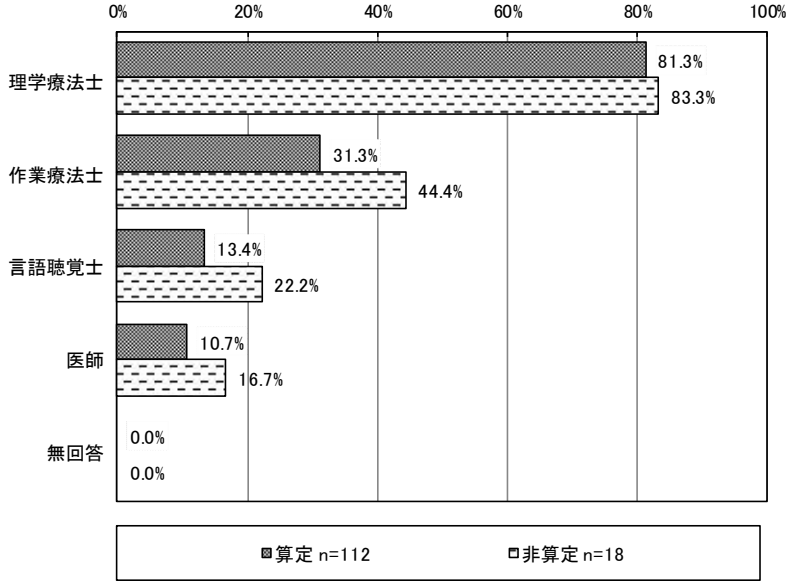
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 268　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



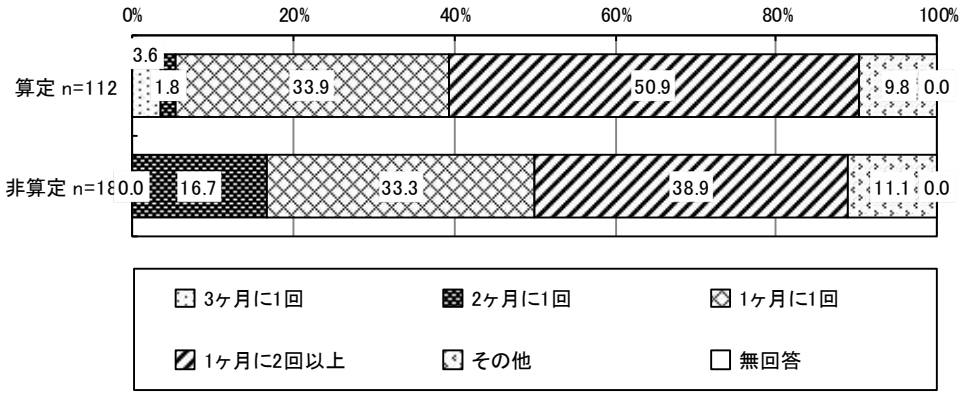

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 269　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

**図表 270　連携先による訪問頻度**



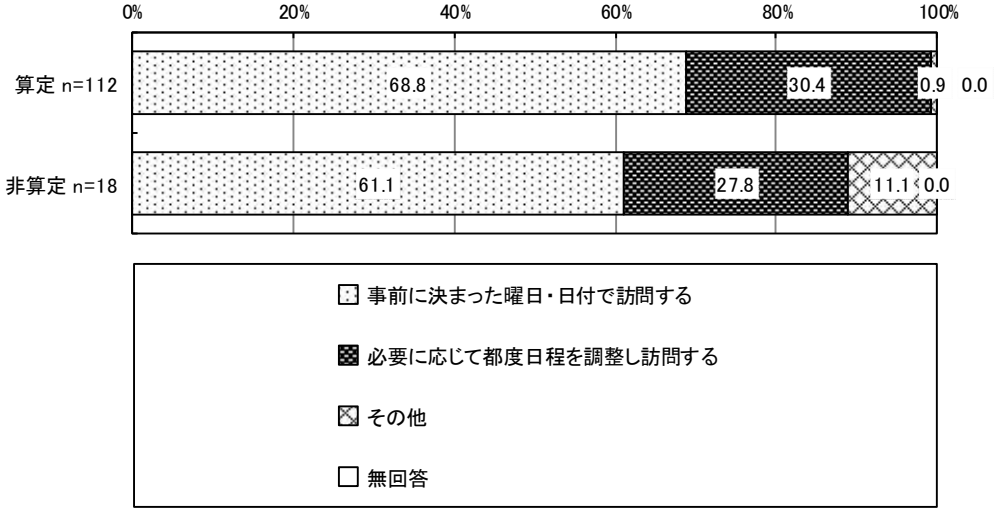

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）週 1 回

・（非算定）週 1 回

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

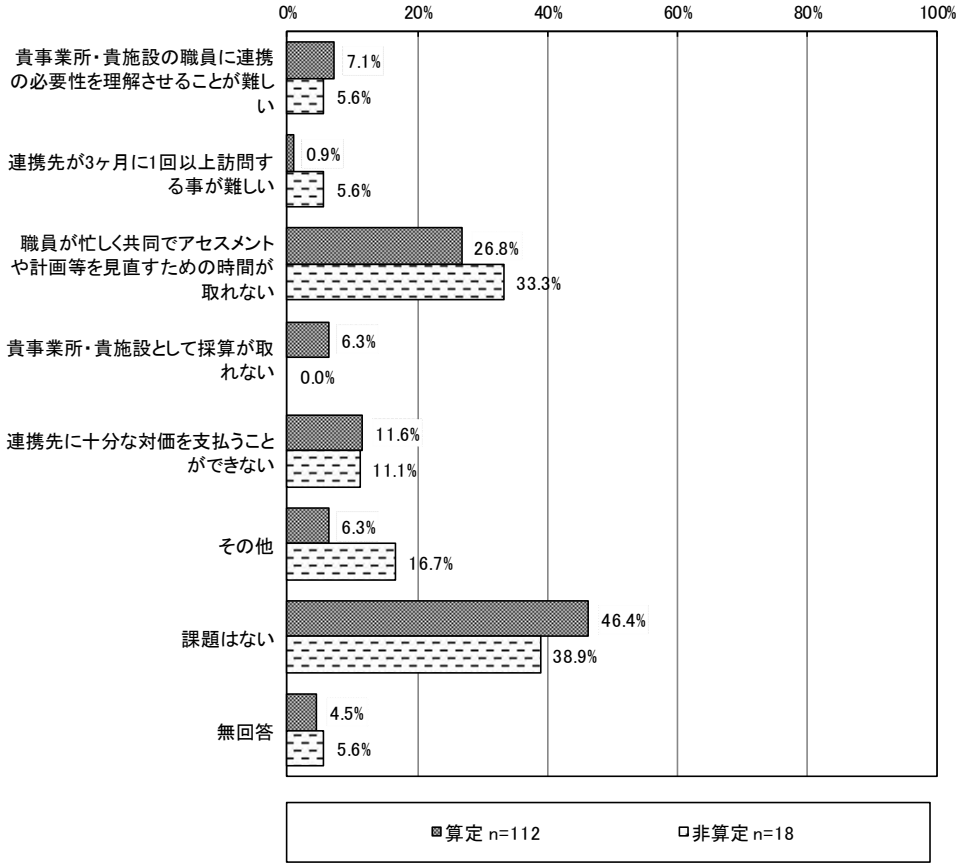
**図表 271　訪問日時は決められているか**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

**図表 272　連携先と連携を継続する上での課題**

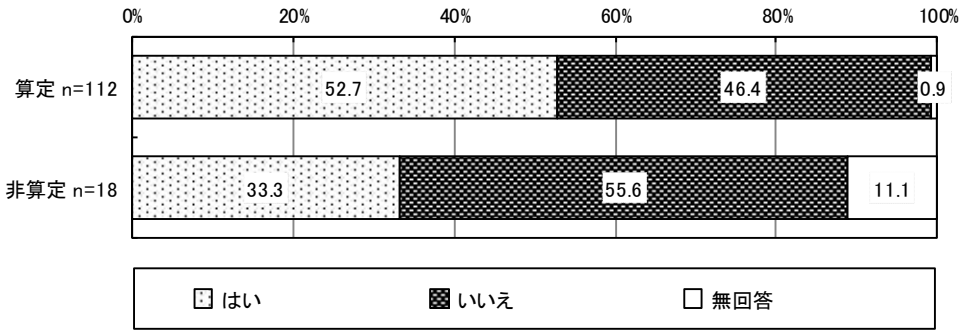



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）対価に見合った指導が得られない。

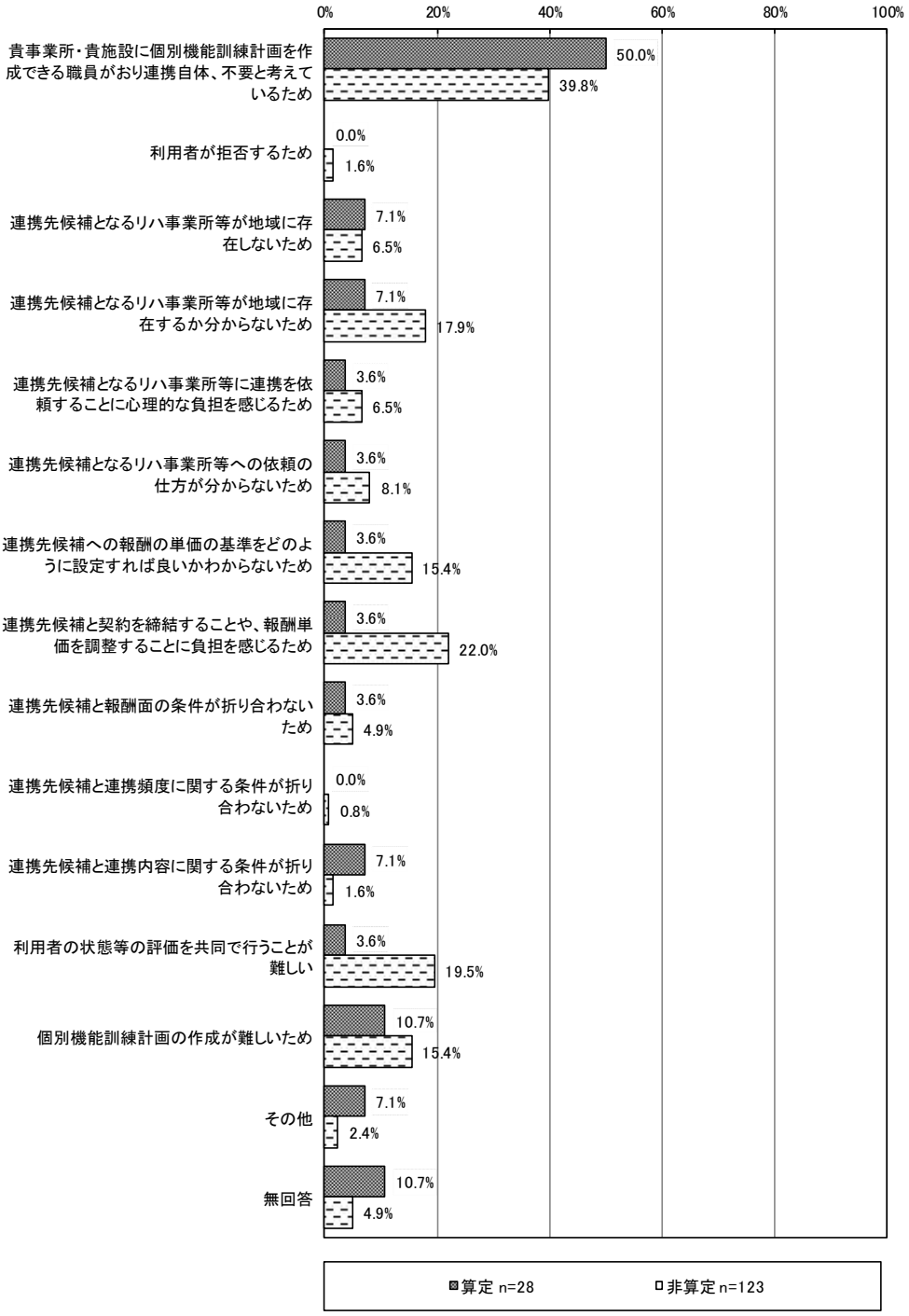
## ス） 連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 273　連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

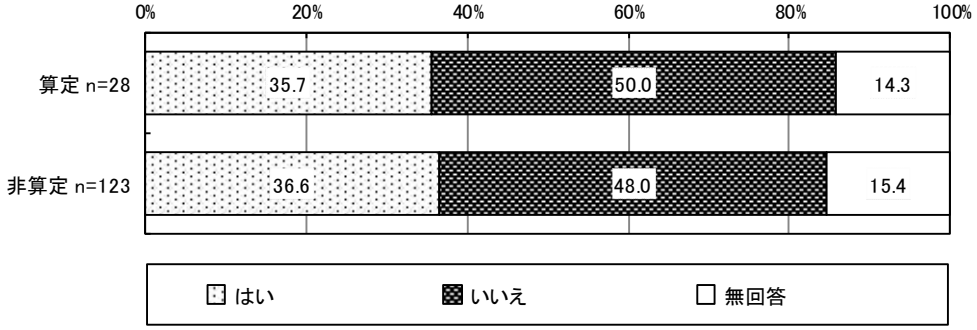
**図表 274　連携していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

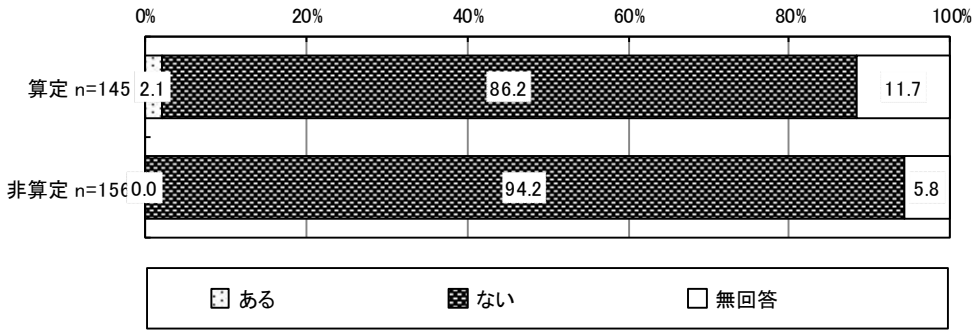
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 275　連携の必要性を感じているか**



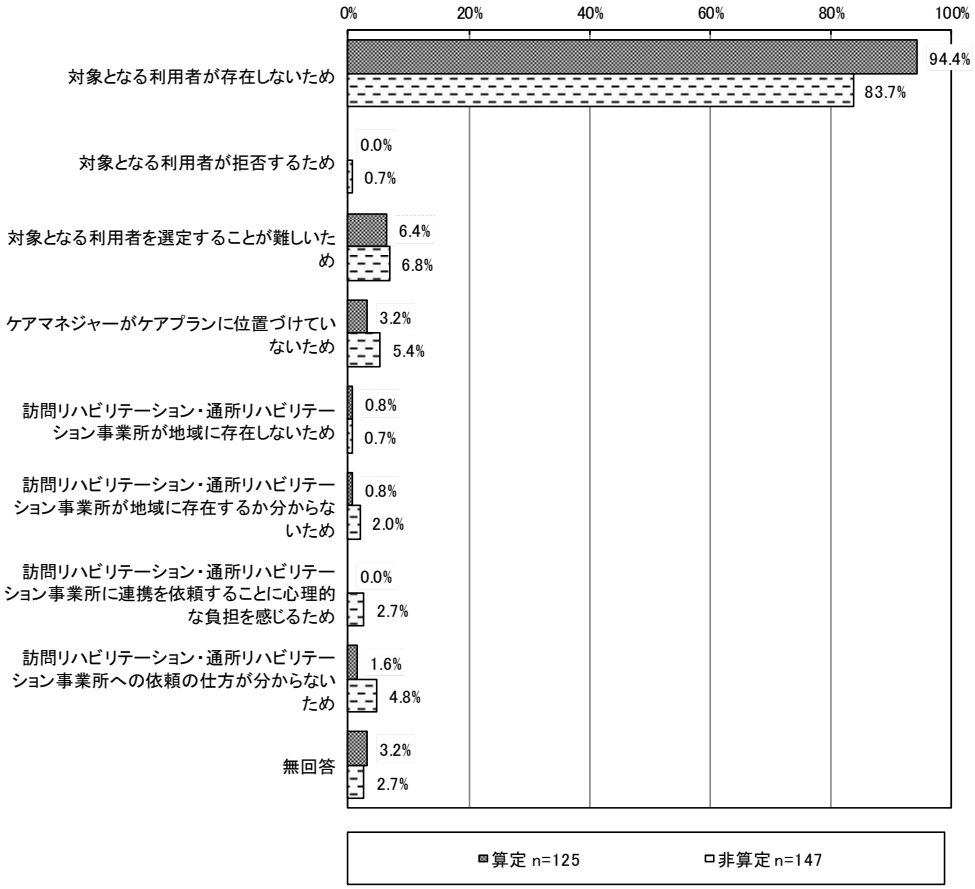

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 276　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

**図表 277　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由**



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 278 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=115 | 47.8 | 49.6 | 29.6 | 35.7 | 21.7 | 75.7 | 67.0 | 12.2 | 15.7 | 2.6 |
| | 非算定 n=4 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=115 | 15.7 | 11.3 | 10.4 | 14.8 | 6.1 | 27.0 | 20.0 | 3.5 | 4.3 | 0.9 |
| | 非算定 n=4 | 25.0 | 50.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 75.0 | 75.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=115 | 14.8 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 1.7 | 2.6 | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 非算定 n=4 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=115 | 4.3 | 5.2 | 60.0 | 70.4 | 70.4 | 69.6 | 45.2 | 11.3 | 17.4 |
| | 非算定 n=4 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 75.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=115 | 0.9 | 0.9 | 17.4 | 26.1 | 20.0 | 18.3 | 13.0 | 2.6 | 70.4 |
| | 非算定 n=4 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 75.0 | 75.0 | 75.0 | 50.0 | 0.0 | 25.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=115 | 0.0 | 0.0 | 2.6 | 4.3 | 2.6 | 2.6 | 2.6 | 1.7 | 85.2 |
| | 非算定 n=4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 75.0 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 279 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院･診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=49 | 22.4 | 14.3 | 4.1 | 36.7 | 8.2 | 55.1 |
| | 非算定 n=2 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |
| 病院･診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | 算定 n=49 | 30.6 | 26.5 | 30.6 | 12.2 | 6.1 | 51.0 |
| | 非算定 n=2 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | 算定 n=49 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 6.1 | 0.0 | 89.8 |
| | 非算定 n=2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

**図表 280 連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・（算定）褥瘡

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容(問 4-4)

**図表 281 効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

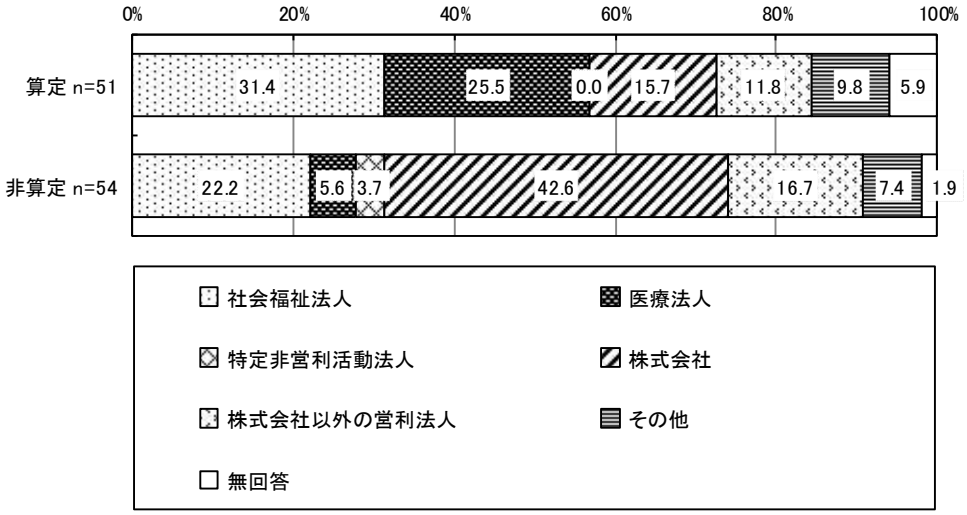
・（算定）理学療法士：骨折・受傷後の利用者に対する禁忌肢位、運動方法や負荷量に関する内容。
・（算定）理学療法士：歩行不安定な認知症の利用者について、シルバーカーを利用した自立歩行のための習慣づけ指導。
・（算定）理学療法士：歩行時の転倒リスクを下げるための靴の履き方。

## （７） 訪問介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1-1）

**図表 282　法人種別**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

- （算定）社会医療法人
- （算定）生協
- （算定）農協
- （非算定）生協
- （非算定）一般財団法人
- （非算定）農協

### イ） 訪問介護の実施日数（問 1-2）

**図表 283　訪問介護の実施日数**

（単位：日）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=41 | 28.0 | 3.7 | 30 | 30 | 13 |
| 非算定 n=48 | 28.8 | 3.6 | 30 | 30 | 11 |

## ウ） 登録者数（問 1-3）

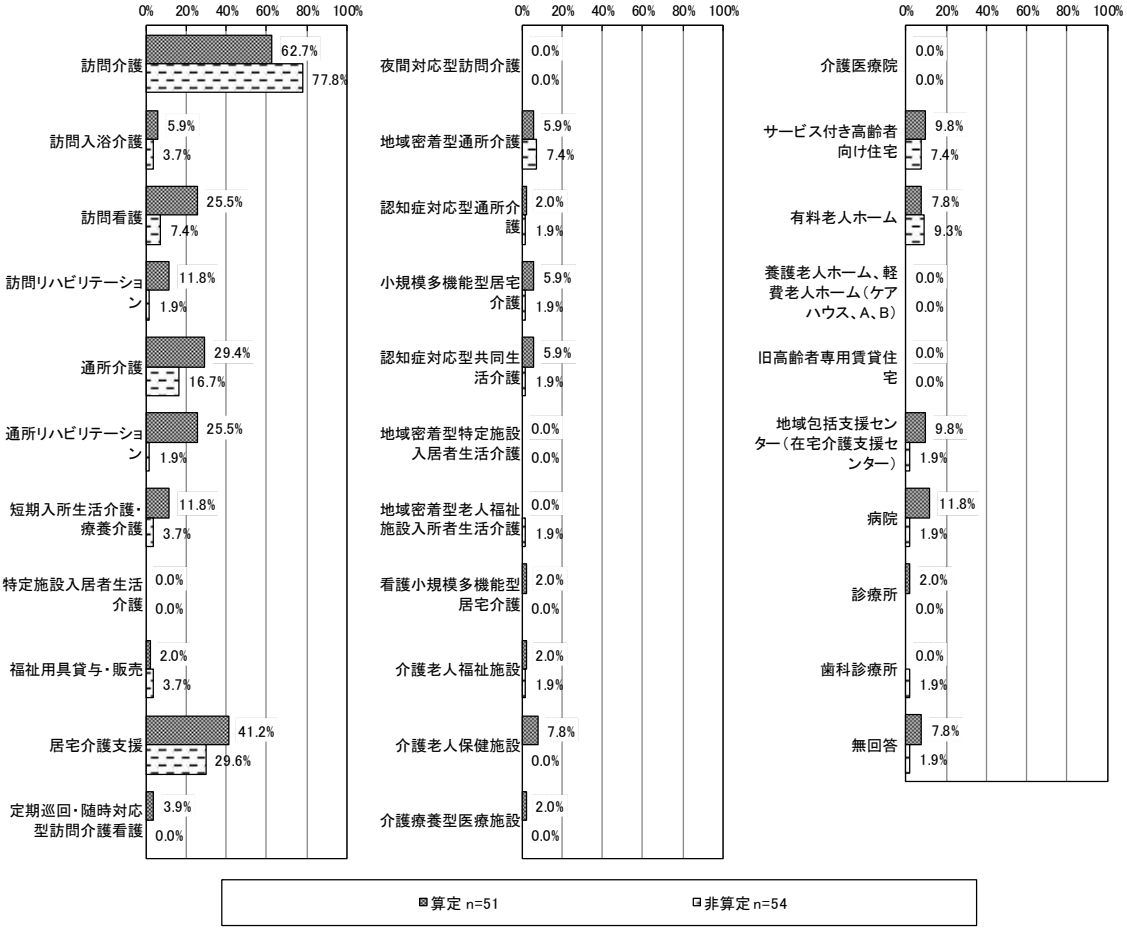
**図表 284　登録者数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=36 | 50.2 | 39.2 | 43.5 | 158 | 0 |
| 非算定 n=39 | 36.2 | 28.8 | 30.0 | 107 | 3 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 285　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 286　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=50 | 40.6 | 27.0 | 35.5 | 154 | 5 |
| | 非算定 n=53 | 31.7 | 22.2 | 29 | 107 | 3 |
| 要介護1 | 算定 n=50 | 13.9 | 8.4 | 12 | 40 | 1 |
| | 非算定 n=53 | 10.2 | 8.7 | 9 | 44 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=50 | 11.7 | 9.5 | 10 | 55 | 2 |
| | 非算定 n=53 | 10.0 | 7.9 | 9 | 42 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=50 | 6.8 | 6.6 | 5 | 39 | 0 |
| | 非算定 n=53 | 5.3 | 3.8 | 5 | 16 | 0 |
| 要介護4 | 算定 n=50 | 4.8 | 5.0 | 3.5 | 25 | 0 |
| | 非算定 n=53 | 3.5 | 3.2 | 3 | 14 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=50 | 3.1 | 3.8 | 2 | 19 | 0 |
| | 非算定 n=53 | 2.6 | 2.8 | 2 | 11 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=50 | 0.3 | 0.7 | 0 | 3 | 0 |
| | 非算定 n=53 | 0.2 | 0.5 | 0 | 2 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 287　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=28 | 33.2 | 22.2 | 31.5 | 4 | 107 |
| | 非算定 n=29 | 28.0 | 23.7 | 17 | 3 | 107 |
| 自立 | 算定 n=28 | 5.1 | 6.1 | 3.5 | 0 | 25 |
| | 非算定 n=29 | 4.3 | 8.1 | 0 | 0 | 32 |
| Ⅰ | 算定 n=28 | 8.0 | 8.5 | 5 | 0 | 36 |
| | 非算定 n=29 | 6.2 | 7.0 | 5 | 0 | 32 |
| Ⅱa | 算定 n=28 | 6.8 | 8.0 | 5 | 1 | 43 |
| | 非算定 n=29 | 6.0 | 6.7 | 4 | 0 | 23 |
| Ⅱb | 算定 n=28 | 6.1 | 6.3 | 4 | 0 | 25 |
| | 非算定 n=29 | 5.6 | 4.7 | 5 | 0 | 15 |
| Ⅲa | 算定 n=28 | 4.5 | 3.9 | 4 | 0 | 14 |
| | 非算定 n=29 | 3.3 | 3.2 | 2 | 0 | 12 |
| Ⅲb | 算定 n=28 | 1.2 | 2.3 | 0 | 0 | 11 |
| | 非算定 n=29 | 1.6 | 2.7 | 0 | 0 | 10 |
| Ⅳ | 算定 n=28 | 1.4 | 2.2 | 0.5 | 0 | 10 |
| | 非算定 n=29 | 0.8 | 1.4 | 0 | 0 | 6 |
| M | 算定 n=28 | 0.2 | 0.6 | 0 | 0 | 3 |
| | 非算定 n=29 | 0.1 | 0.4 | 0 | 0 | 2 |

## キ） 令和元年 9 月 1 か月間の利用者数（問 1-7）

**図表 288　令和元年 9 月 1 か月間の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=40 | 49.5 | 29.2 | 42.5 | 141 | 15 |
| 非算定 n=42 | 36.3 | 25.2 | 31.5 | 107 | 3 |

## ク） 職員数（問 1-8）

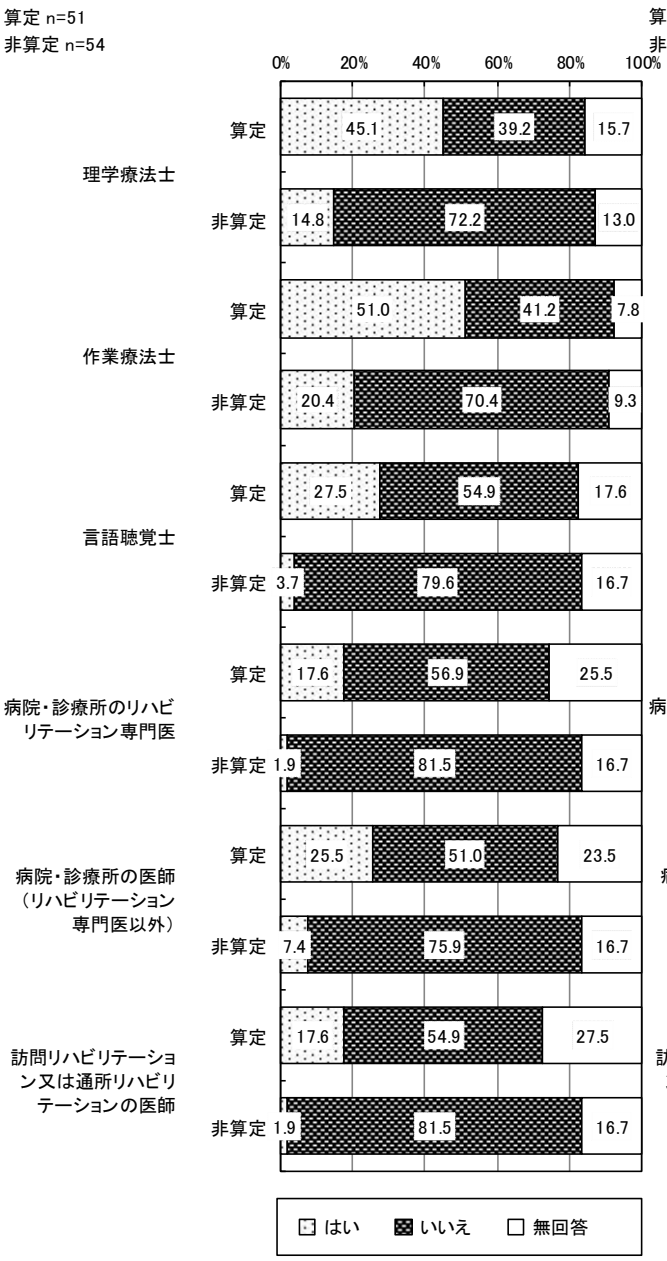
**図表 289　職員数**

（単位:人）

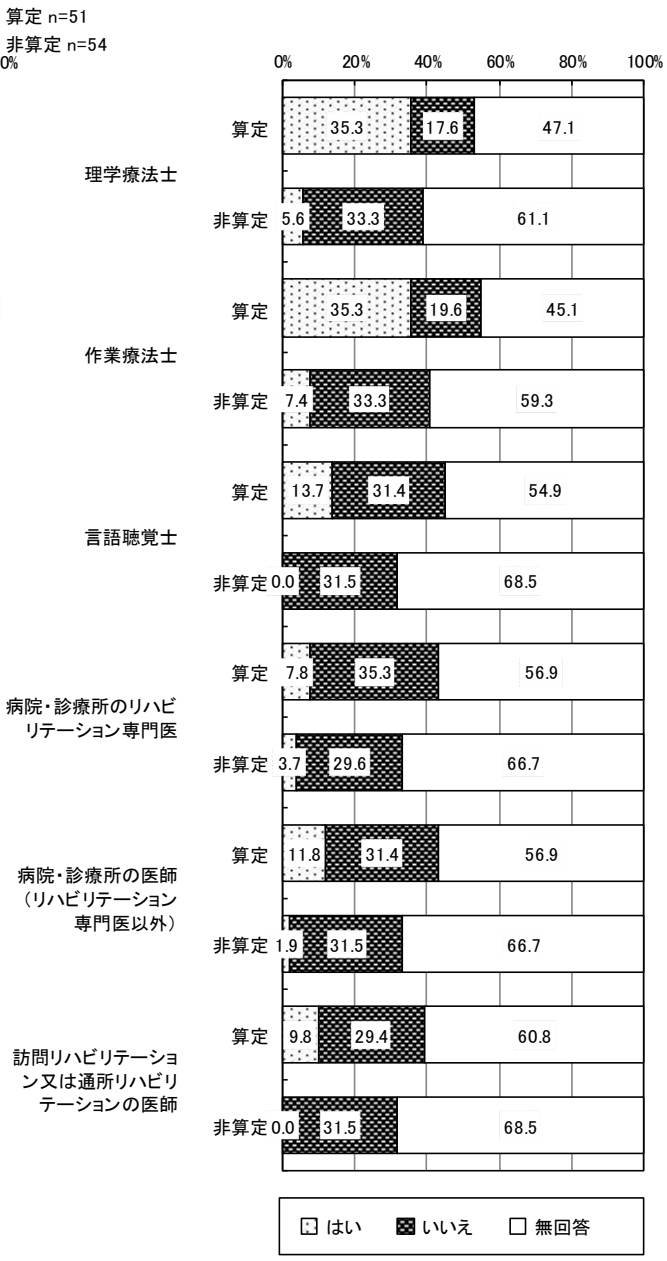
| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=50 | 1.0 | 0.1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 非算定 n=52 | 1.0 | 0.2 | 1 | 1 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=40 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 2.7 | 0.0 |
| | | 非算定 n=50 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 訪問介護員等 | 常勤職員 | 算定 n=50 | 4.3 | 6.6 | 2.5 | 41 | 0 |
| | | 非算定 n=52 | 2.9 | 3.2 | 2 | 12 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=40 | 5.0 | 7.5 | 3.0 | 46.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=50 | 7.0 | 14.1 | 3.8 | 97.0 | 0.0 |
| サービス提供責任者 | 常勤職員 | 算定 n=50 | 2.5 | 1.8 | 2 | 12 | 0 |
| | | 非算定 n=52 | 2.1 | 1.5 | 2 | 9 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=40 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=50 | 0.2 | 0.5 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=50 | 0.3 | 0.8 | 0 | 5 | 0 |
| | | 非算定 n=52 | 0.5 | 1.4 | 0 | 9 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=40 | 0.7 | 2.3 | 0.0 | 13.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=50 | 0.8 | 2.1 | 0.0 | 12.0 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=50 | 8.1 | 7.1 | 6 | 47 | 1 |
| | | 非算定 n=52 | 6.4 | 4.0 | 5.5 | 17 | 1 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=40 | 5.8 | 7.5 | 3.5 | 46.0 | 0.6 |
| | | 非算定 n=50 | 8.2 | 14.4 | 4.3 | 98.0 | 0.1 |

## ケ） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-9）

**図表 290　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか**

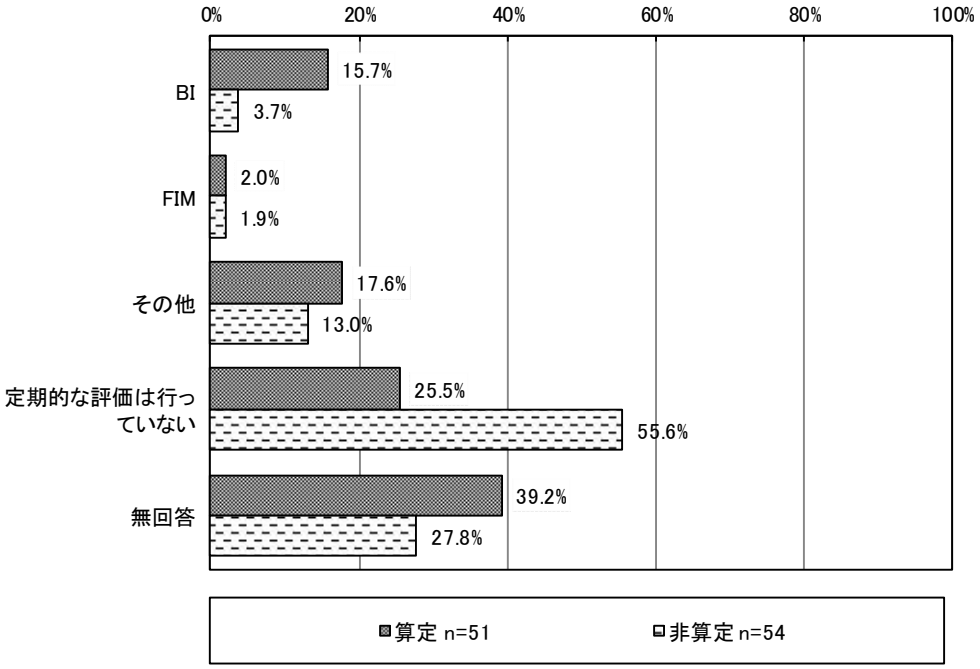



**図表 291　助言を行っているか**



## コ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-10）

図表 292　利用者の ADL・IADL の評価の指標




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

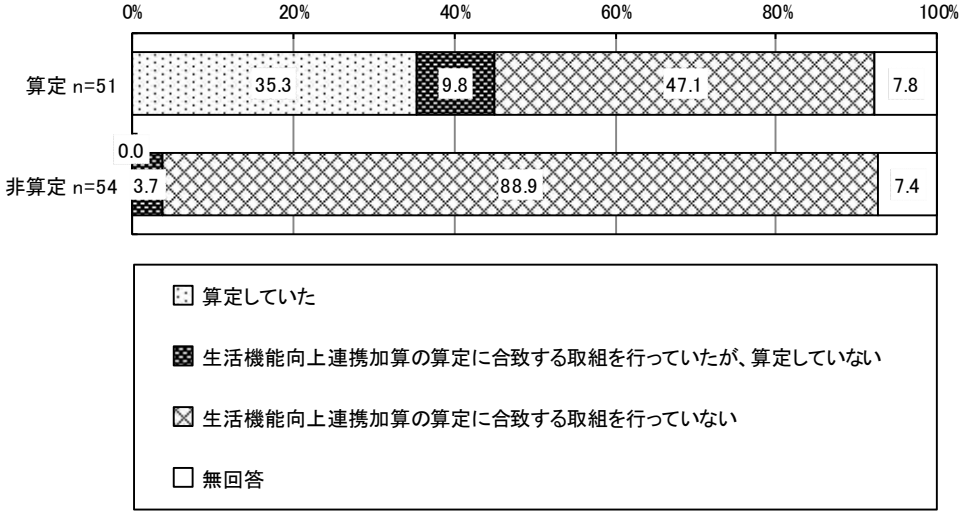
・（算定）事業所独自の指標

・（非算定）事業所独自の指標

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 平成 29 年 9 月における生活機能向上連携加算の算定有無および利用者の実人数（問 2-1）

**図表 293　平成 29 年 9 月の生活機能向上連携加算の算定有無**




**図表 294　平成 29 年 9 月の利用者の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=16 | 4.6 | 6.2 | 2.0 | 22 | 1 |

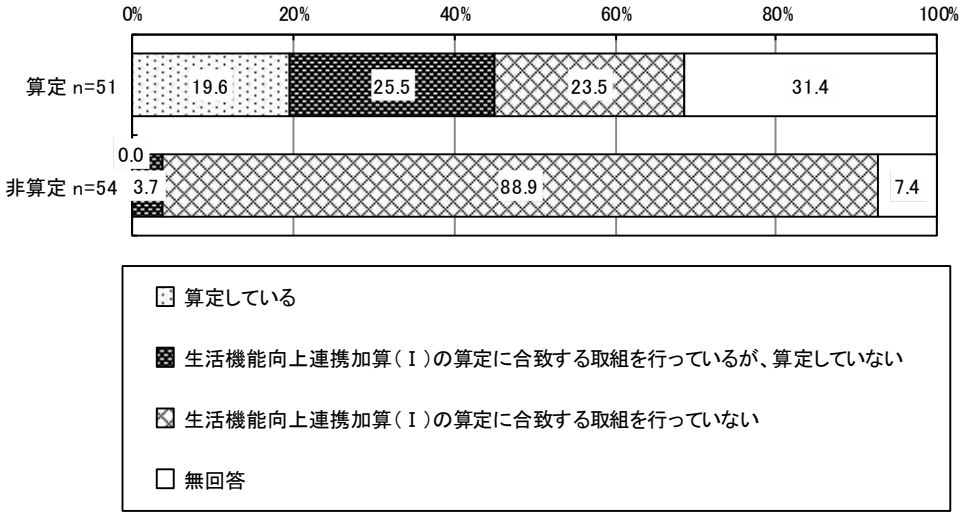
**図表 295　平成 29 年 9 月に連携したリハ専門職等の実人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=6 | 2.0 | 2.1 | 1.5 | 6 | 0 |

## イ） 令和元年 9 月における生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-2）

**図表 296　令和元年 9 月の生活機能向上連携加算の算定有無と算定に合致する取組　加算（Ⅰ）**




**図表 297　令和元年 9 月の利用者の実人数　加算（Ⅰ）**

（単位：人）

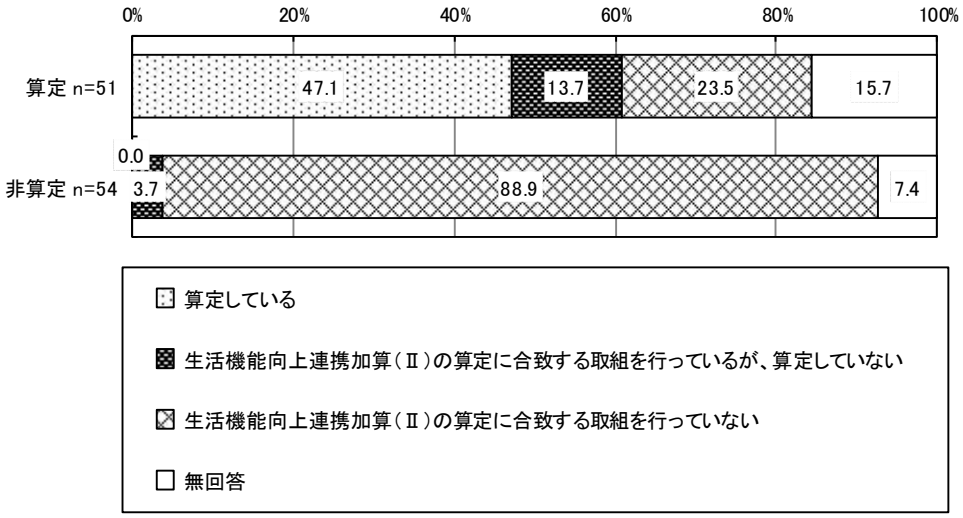
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=10 | 2.9 | 2.9 | 2.0 | 11 | 1 |

**図表 298　令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の実人数　加算（Ⅰ）**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=5 | 3.6 | 3.0 | 3.0 | 8 | 0 |

図表 299　令和元年 9 月の生活機能向上連携加算の算定有無と算定に合致する取組　加算（Ⅱ）




図表 300　令和元年 9 月の利用者の実人数　加算（Ⅱ）

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=23 | 5.0 | 6.2 | 2.0 | 23 | 1 |

図表 301　令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の実人数　加算（Ⅱ）

（単位：人）

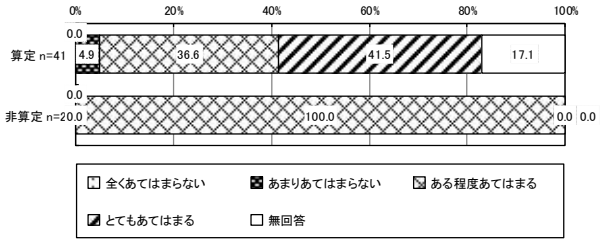
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=14 | 2.3 | 2.2 | 1.0 | 8 | 0 |

## ウ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-3）

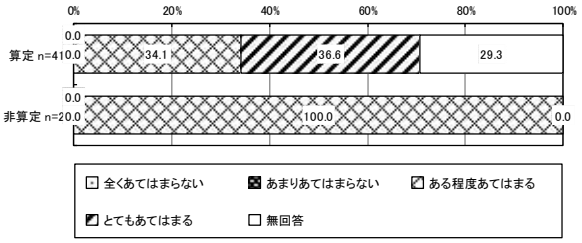
図表 302　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

### １）専門的な視点を踏まえ小規模多機能型居宅介護計画を作成できた

①要介護 1、2 の利用者

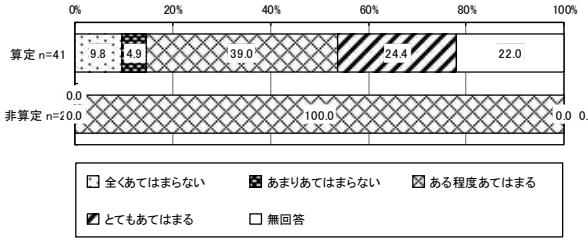



②要介護 3～5 の利用者

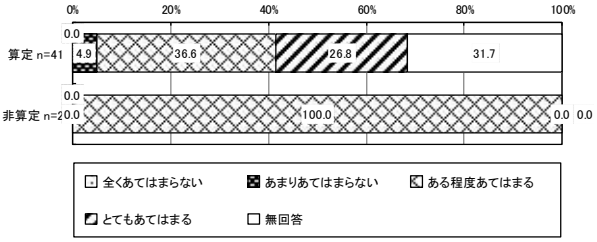


**２）一定時間座位の保持ができるようになり、座って食事ができるようになるなど、利用者にとって良い効果につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

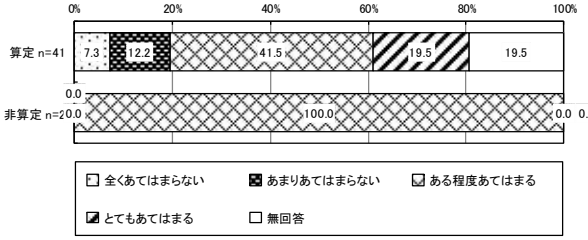



**②要介護 3～5 の利用者**

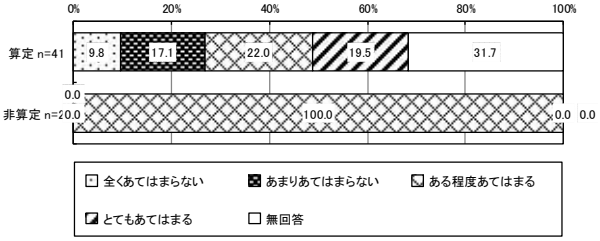



**３）食事や清掃、洗濯、買物など利用者のできることが増えた**

**①要介護 1、2 の利用者**

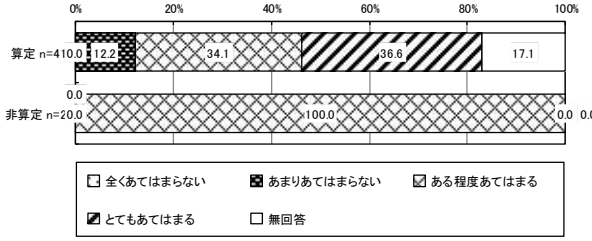



**②要介護 3～5 の利用者**

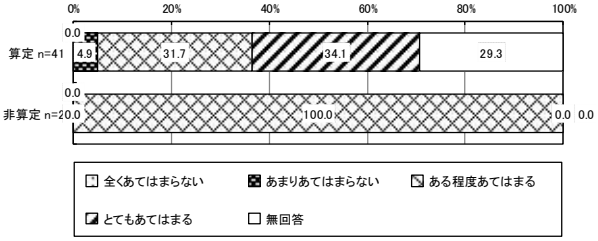



**４）椅子やテーブルの高さ、配置など、生活環境面での助言を受けることができた**

**①要介護 1、2 の利用者**

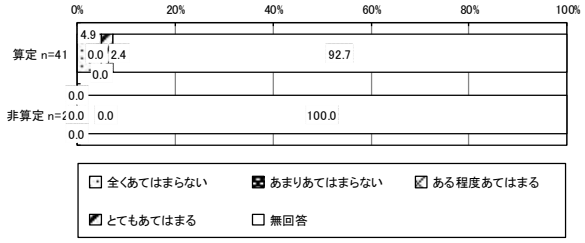



**②要介護 3～5 の利用者**

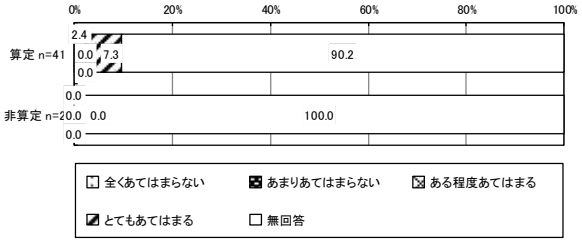



**５）その他**

**①要介護 1、2 の利用者**




**②要介護 3～5 の利用者**




①要介護 1、2 の利用者

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）ベッドから車椅子への移乗時に注意するようになった

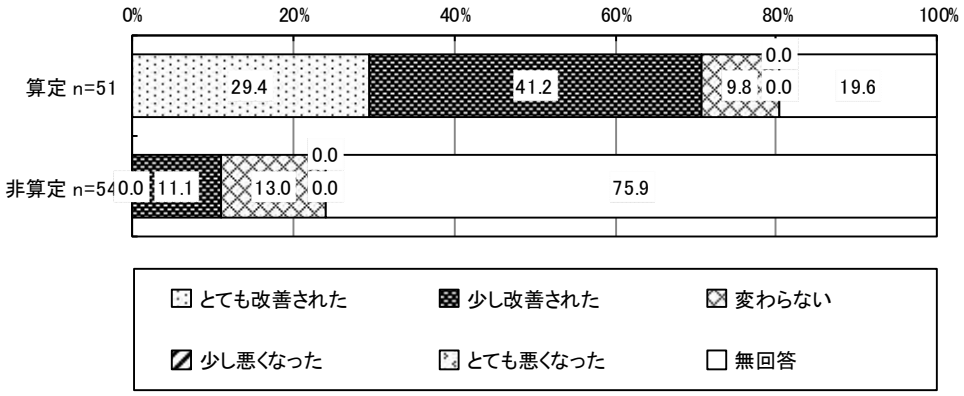
②要介護 3～5 の利用者

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）ベッドから車椅子への移乗時に注意するようになった

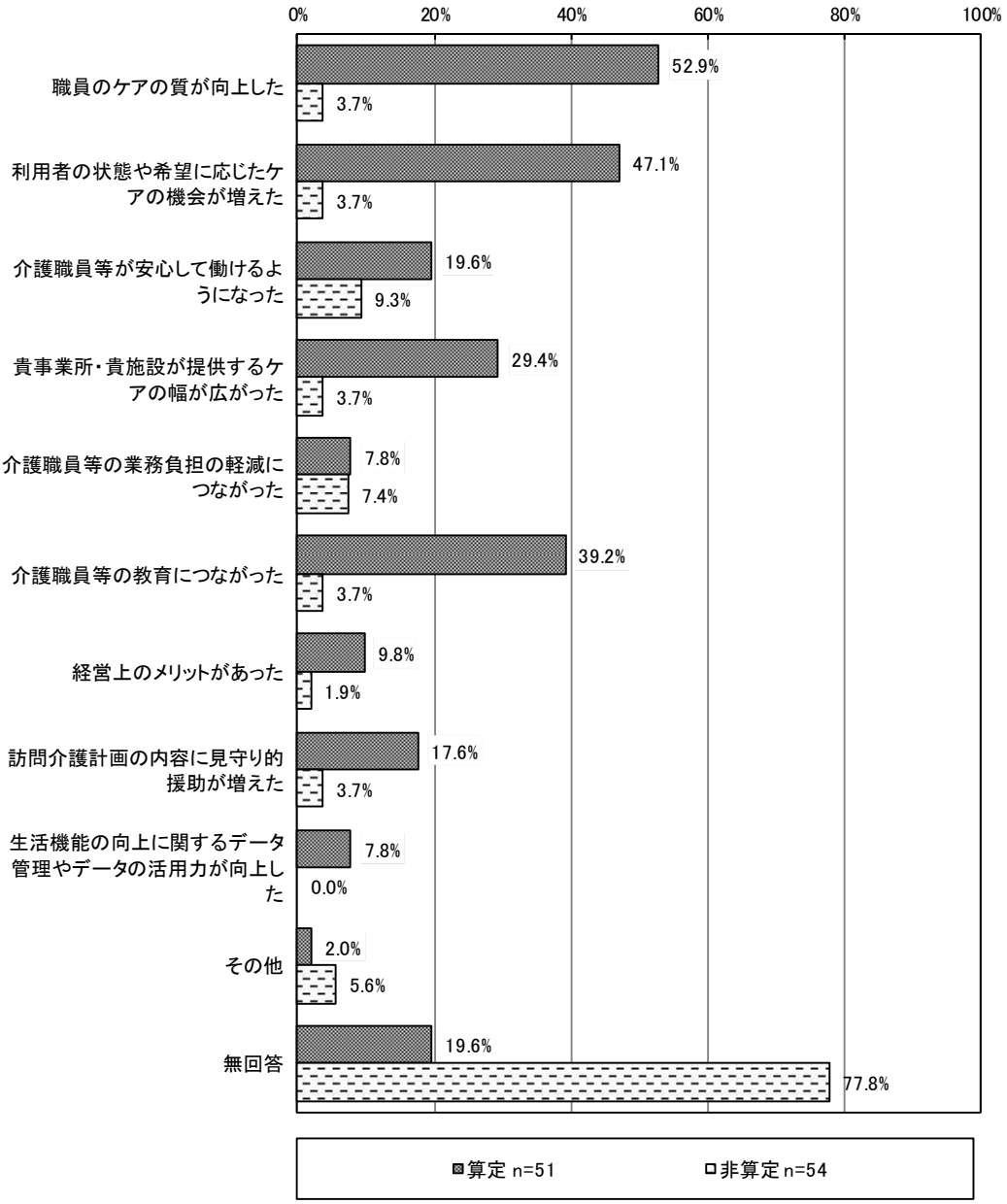
## エ） 訪問介護計画の改善状況（問 2-4）

**図表 303　訪問介護計画の改善状況**



## オ） 連携による施設側のメリット（問 2-5）

**図表 304　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## カ） 平成 29 年 9 月にリハ事業所に支払った報酬の総額（問 2-6-1）

**図表 305　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額**

（単位：円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=14 | 3657.1 | 12310.8 | 0 | 48000 | 0 |

## キ） 令和元年 9 月にリハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-6-2）

**図表 306　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額　生活機能向上連携加算（Ⅰ）**

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=16 | 31.3 | 121.0 | 0 | 500 | 0 |

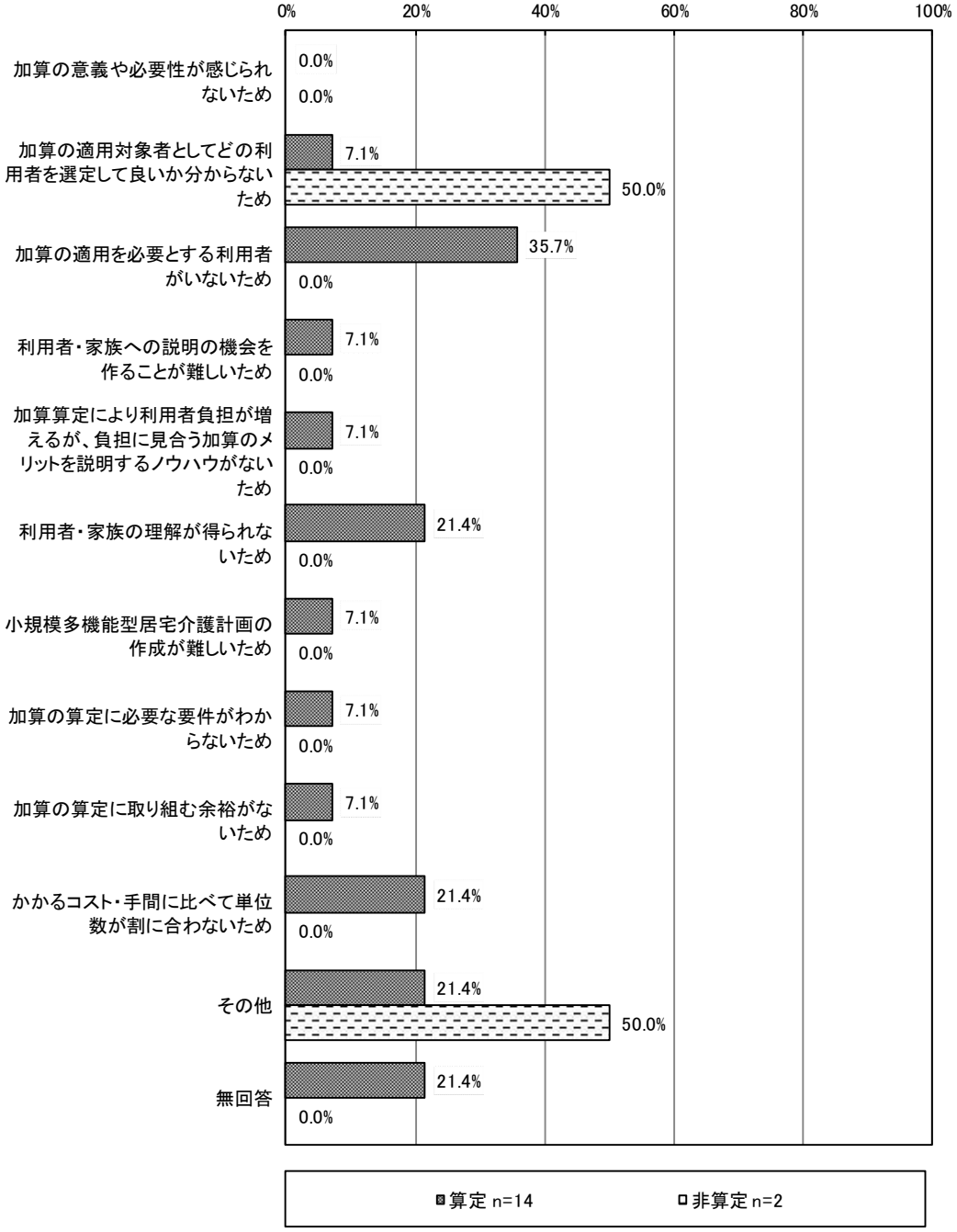
**図表 307　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額　生活機能向上連携加算（Ⅱ）**

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=20 | 1710.0 | 6962.6 | 0 | 32000 | 0 |

## ク） 取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由（問 2-7）

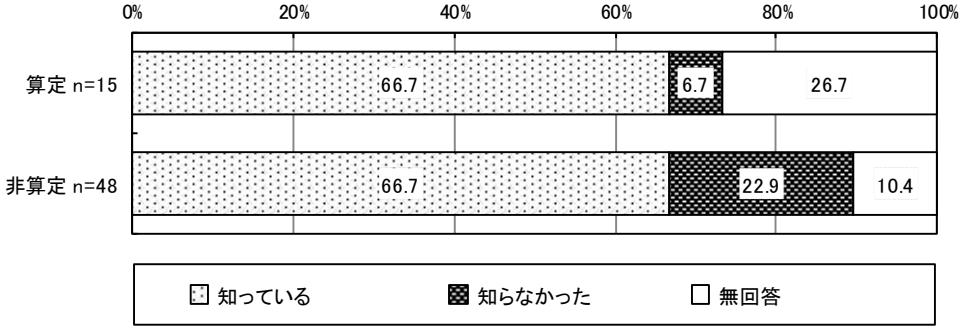
**図表 308　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

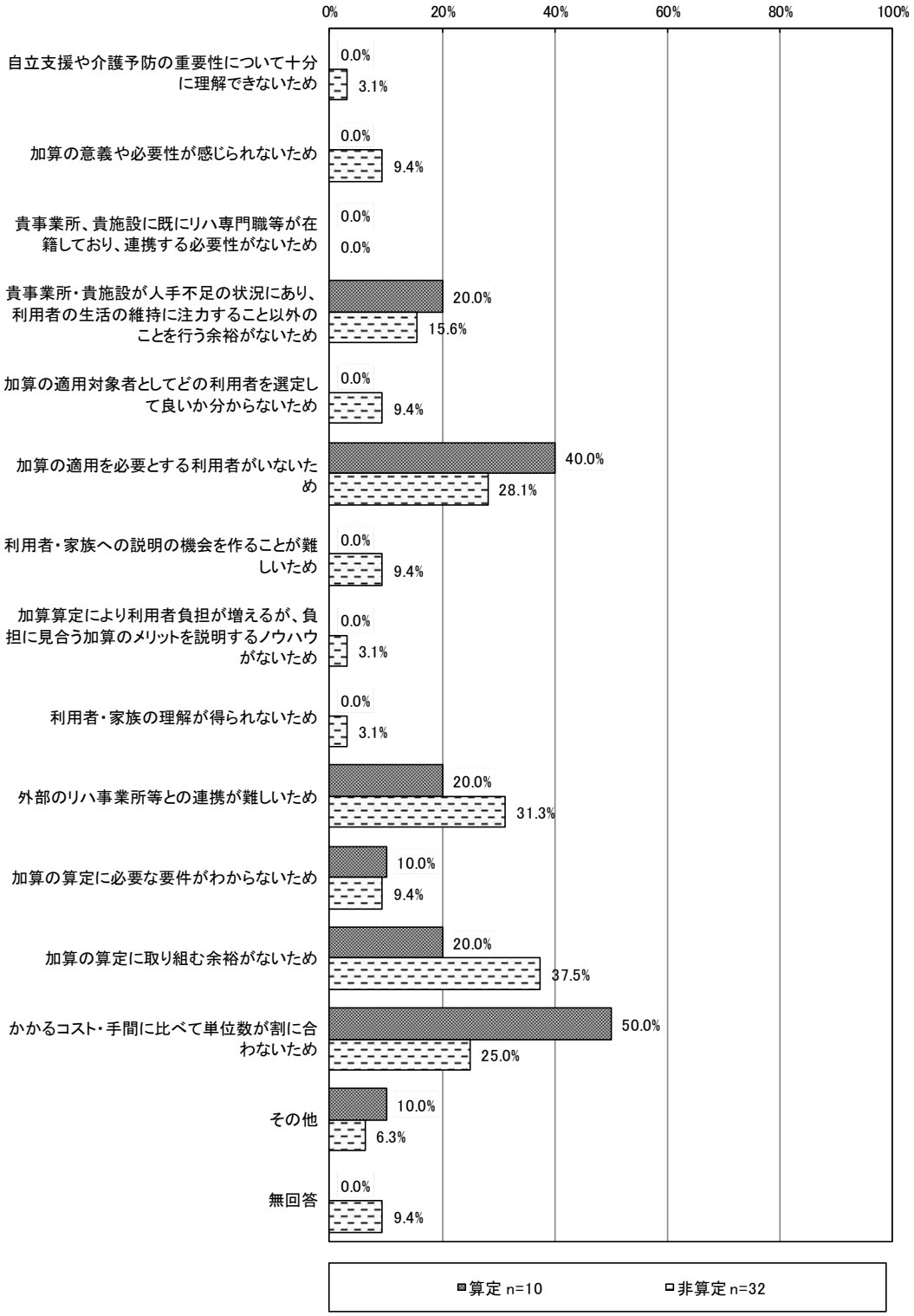
## ケ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-8）

**図表 309　生活機能向上連携加算を知っているか**



## コ） 加算を算定していない理由（問 2-9）

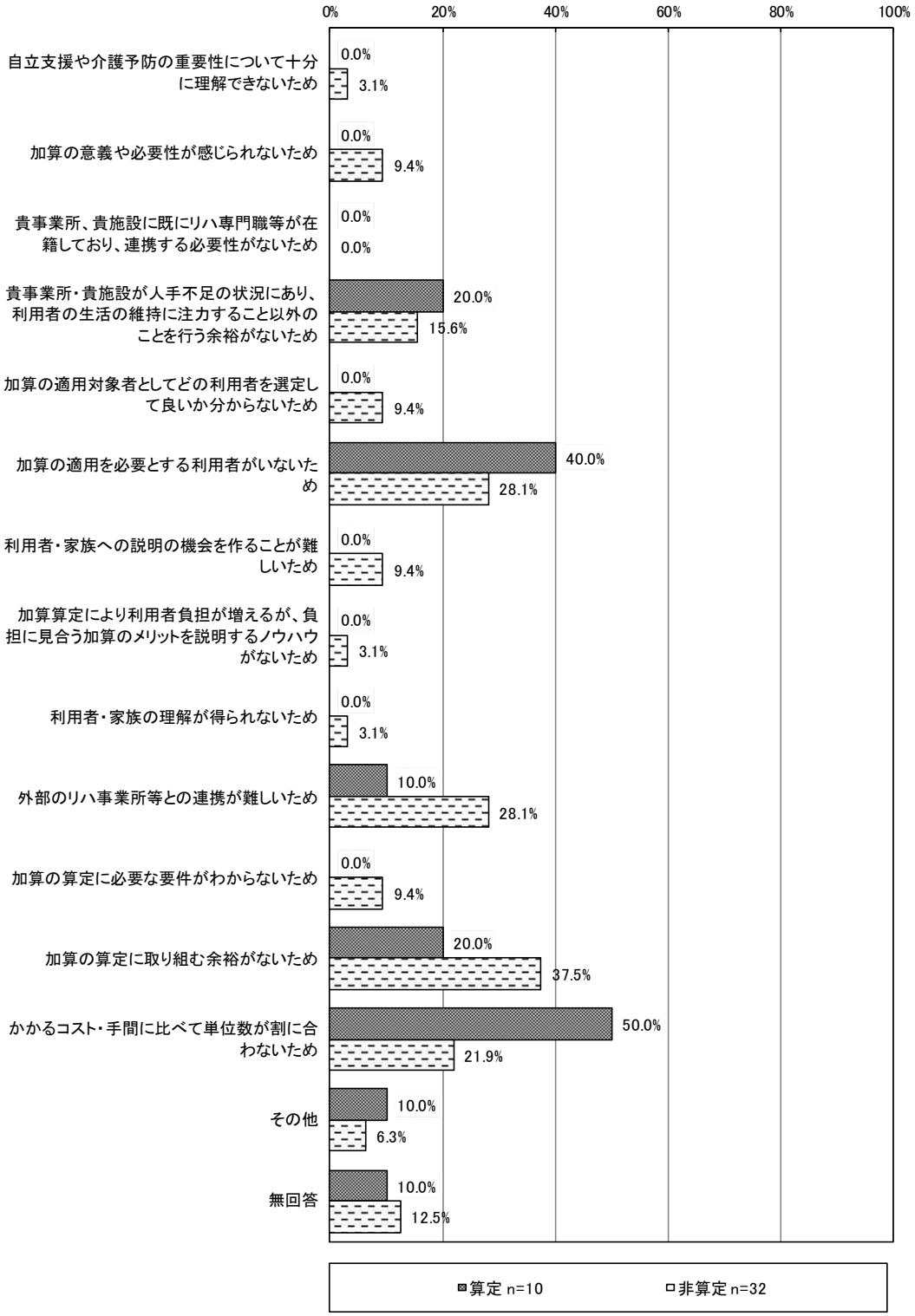
**図表 310　加算（Ⅰ）を算定していない理由**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）自法人内の他のサービスを利用しているため

**図表 311　加算（Ⅱ）を算定していない理由**

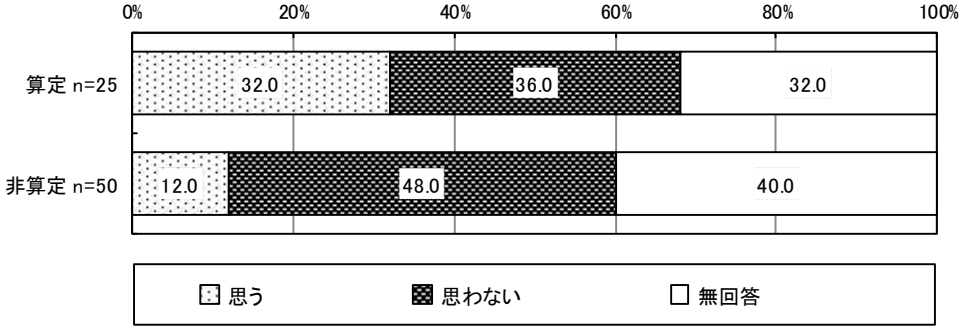



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）自法人内の他のサービスを利用しているため

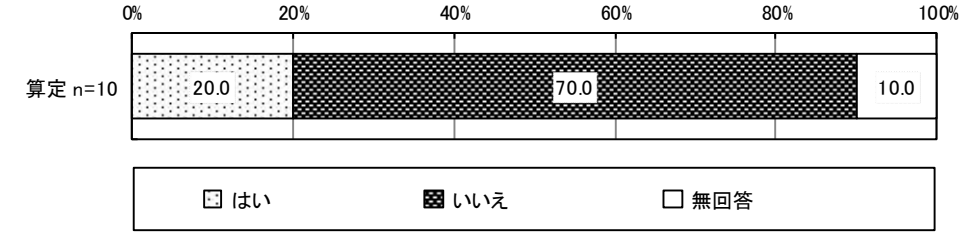
## サ） ICT が活用できた場合、加算が算定できると思うか（問 2-10）

**図表 312　ICT が活用できた場合、加算が算定できると思うか**




## シ） ICT 活用の有無と人数（問 2-11）

**図表 313　ICT 活用の有無**



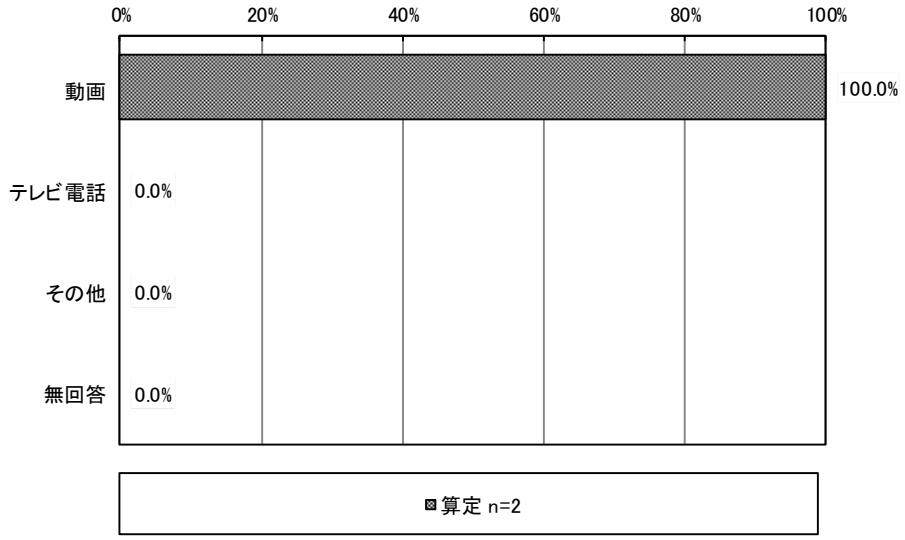

**図表 314　ICT 活用人数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=2 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1 | 1 |

## ス） ICT による利用者の状態把握方法（問 2-12）

**図表 315　ICT による利用者の状態把握方法**

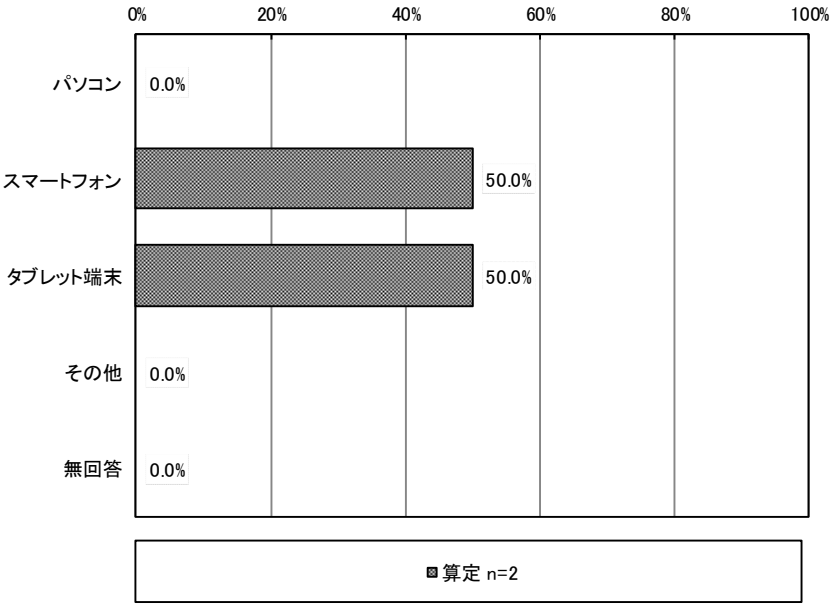



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）メール

## セ） 活用している ICT 機器（問 2-13）

**図表 316　活用している ICT 機器**

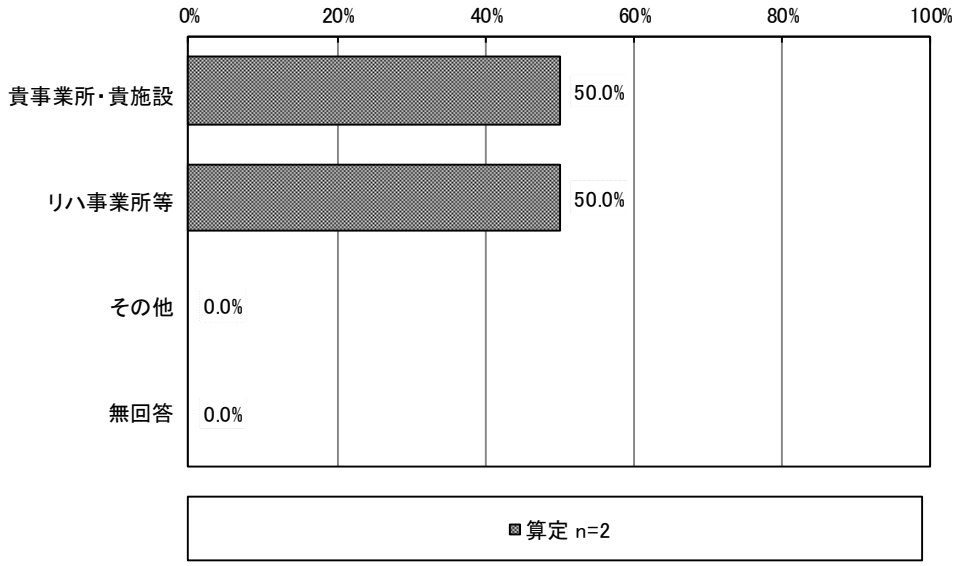



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）デジタルカメラ

## ソ） ICT 機器購入者（問 2-14）

**図表 317　ICT 機器購入者**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## タ） 利用者 1 人に対する ICT 利用回数（問 2-15）

**図表 318　利用者 1 人に対する ICT 利用回数　計画作成時**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=2 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1 | 1 |

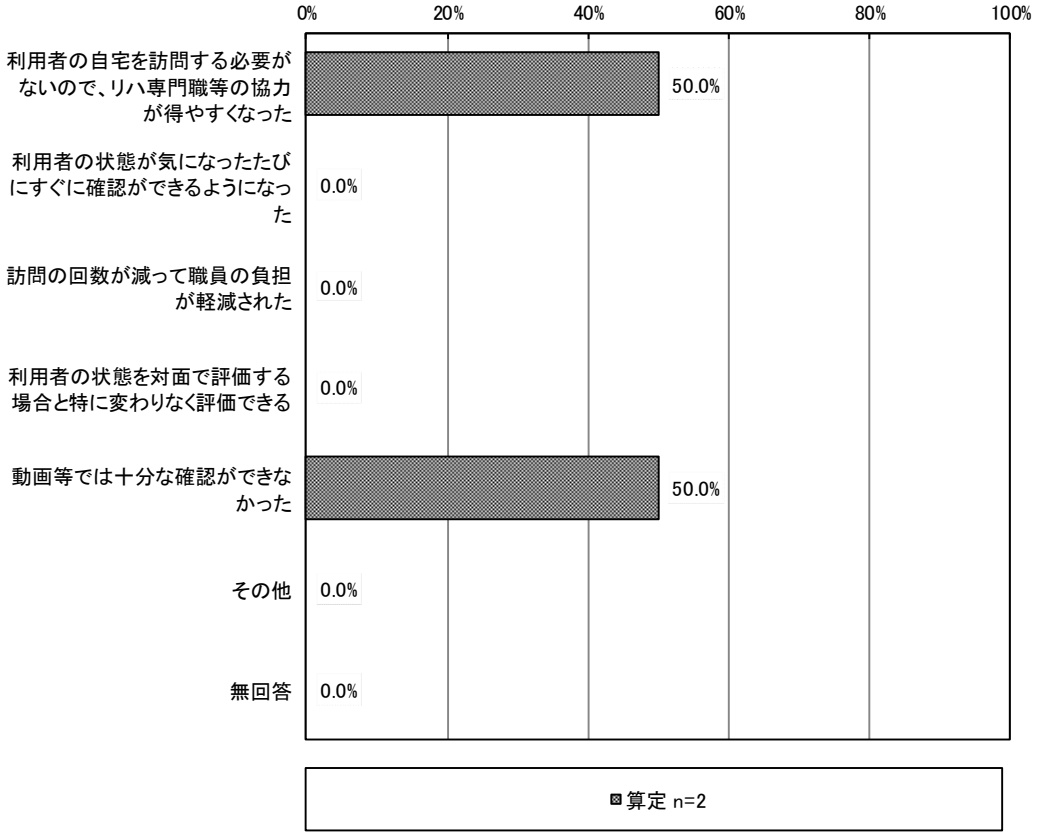
**図表 319　利用者 1 人に対する ICT 利用回数　計画作成時から 3 ヶ月後まで**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=2 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1 | 1 |

## チ） ICT 活用の影響（問 2-16）

図表 320　ICT 活用の影響



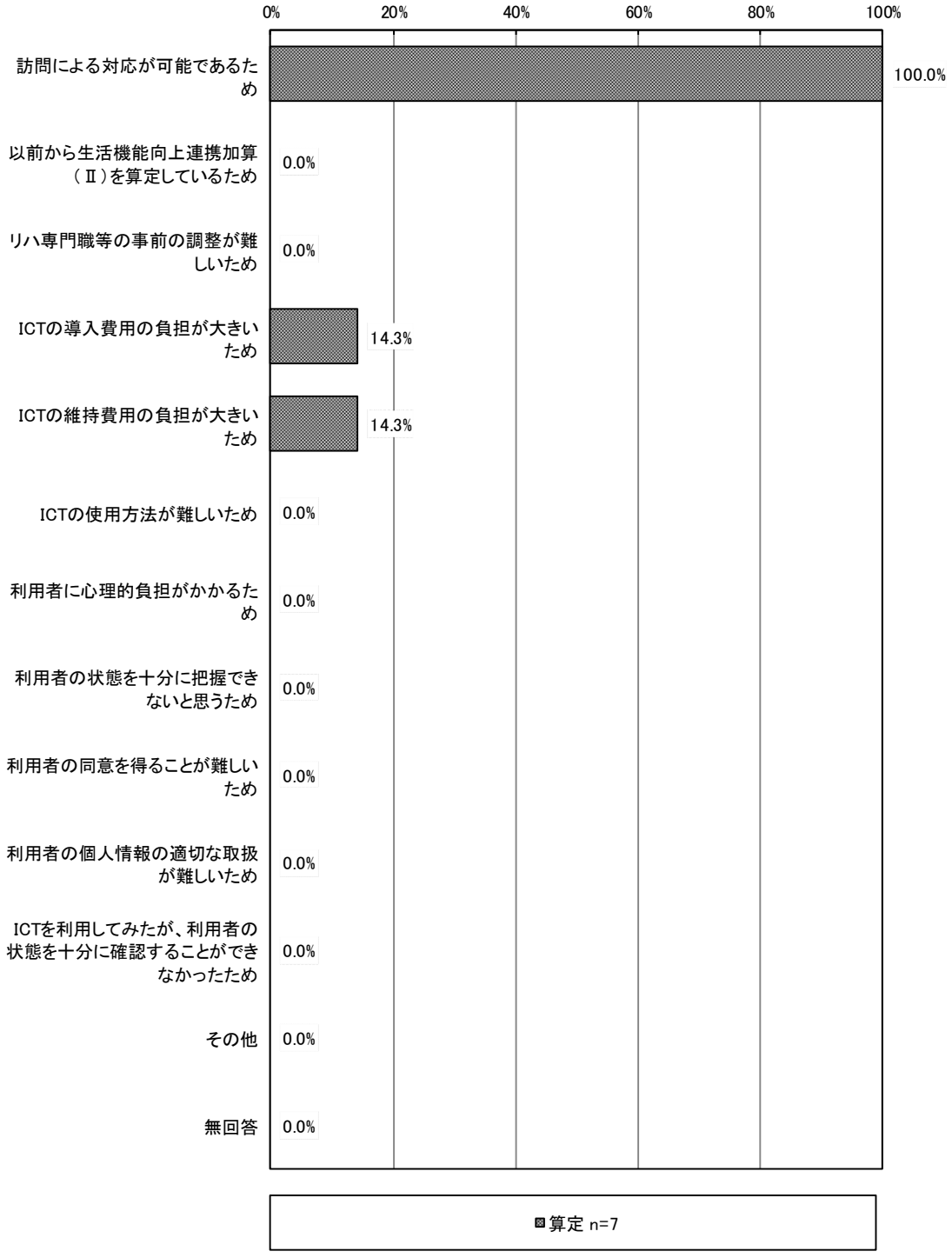

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）リハ会議で医師やリハ職との意見交換ができるようになった。

・（算定）介護職員の介助法が統一できるようになった。

## ツ） ICT を利用しない理由（問 2-17）

**図表 321　ICT を利用しない理由**

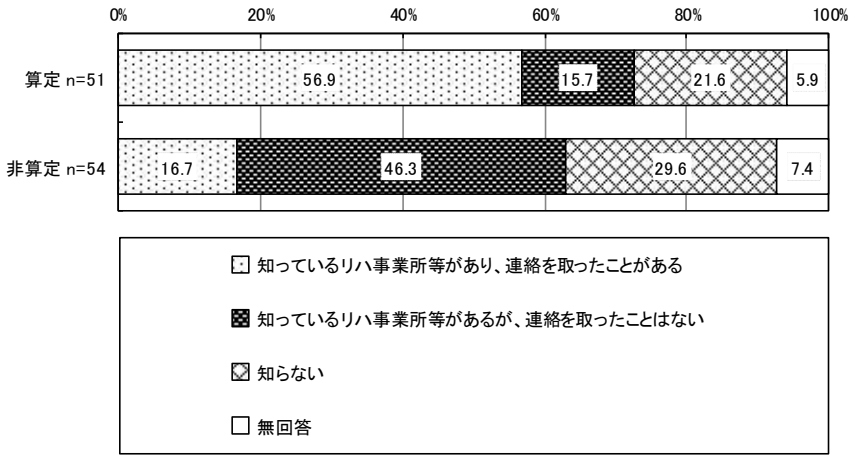



※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## Ⅲ．外部との連携状況

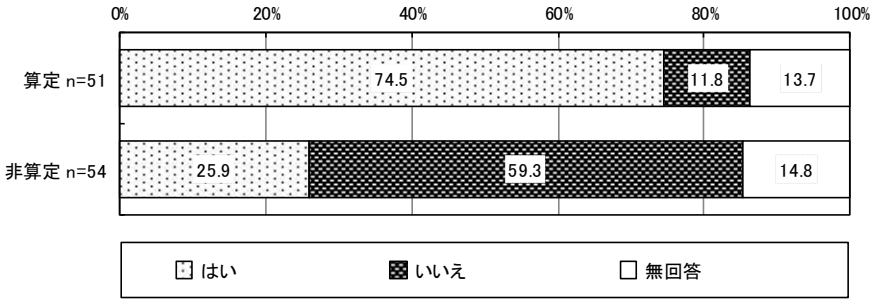
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 322　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



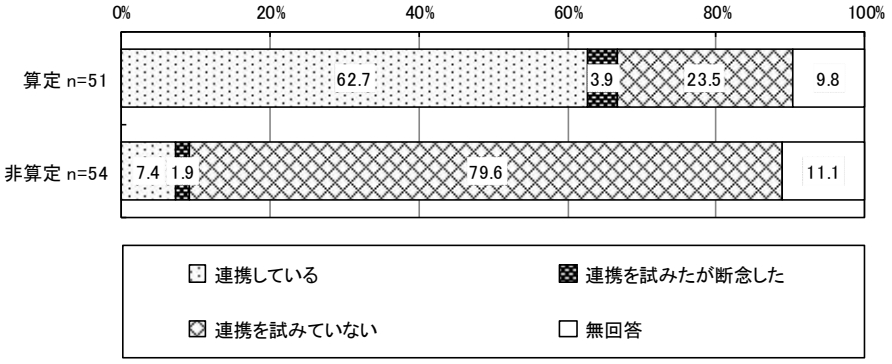

### イ） 生活機能の向上を目指した利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 323　生活機能の向上を目指して利用者の定期評価を行っているか**



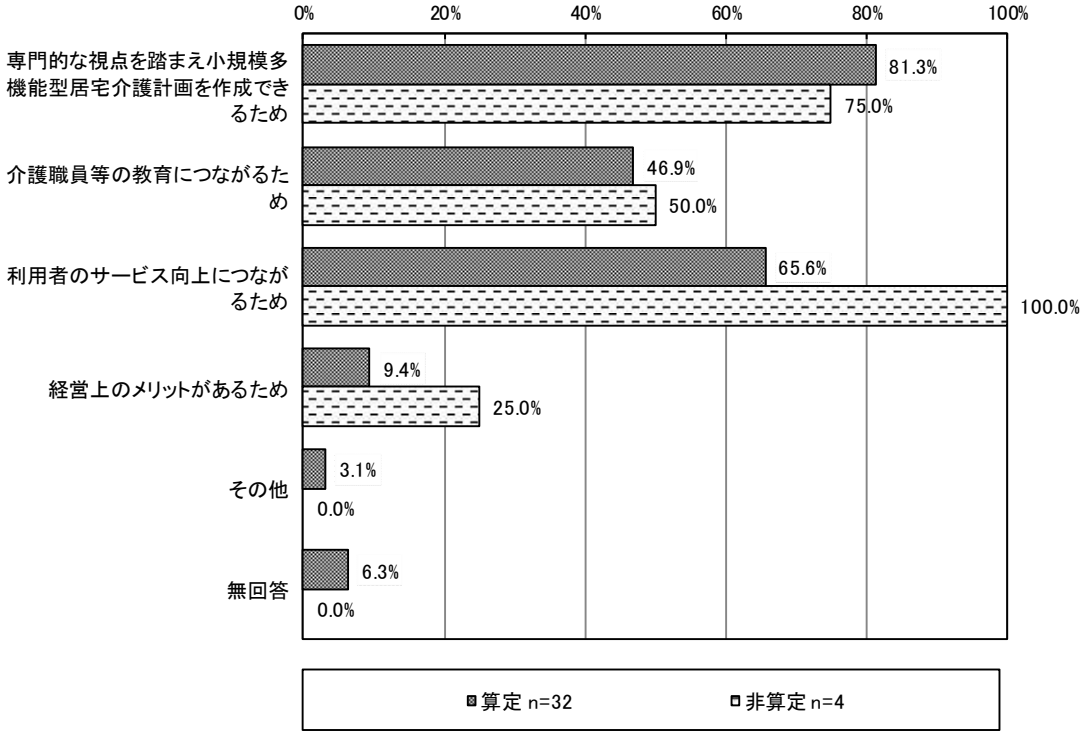
## ウ） 訪問介護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

図表 324　訪問介護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況




## エ） 連携している理由（問 3-4）

図表 325　連携している理由




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

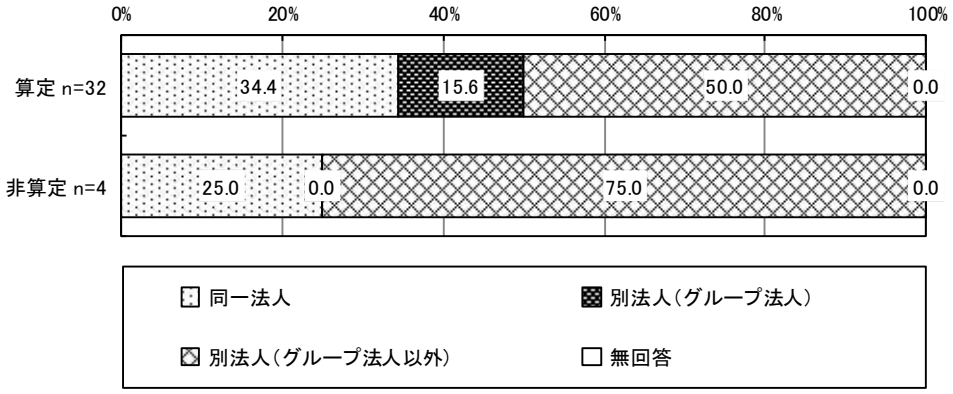
**図表 326　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位：件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=26 | 2.0 | 3.5 | 1 | 19 | 1 |
| 非算定 n=2 | 1.5 | 0.5 | 1.5 | 2 | 1 |

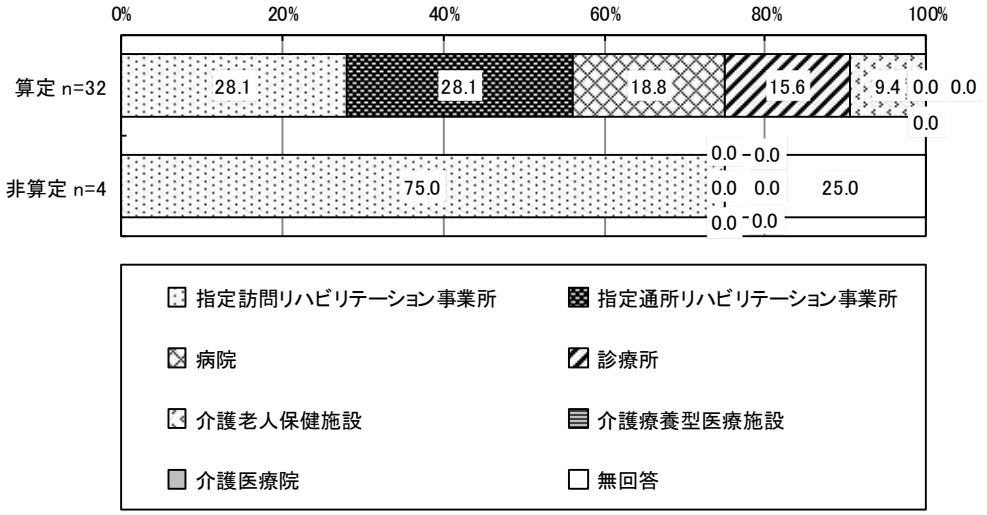
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 327　連携先は同一法人内か否か**



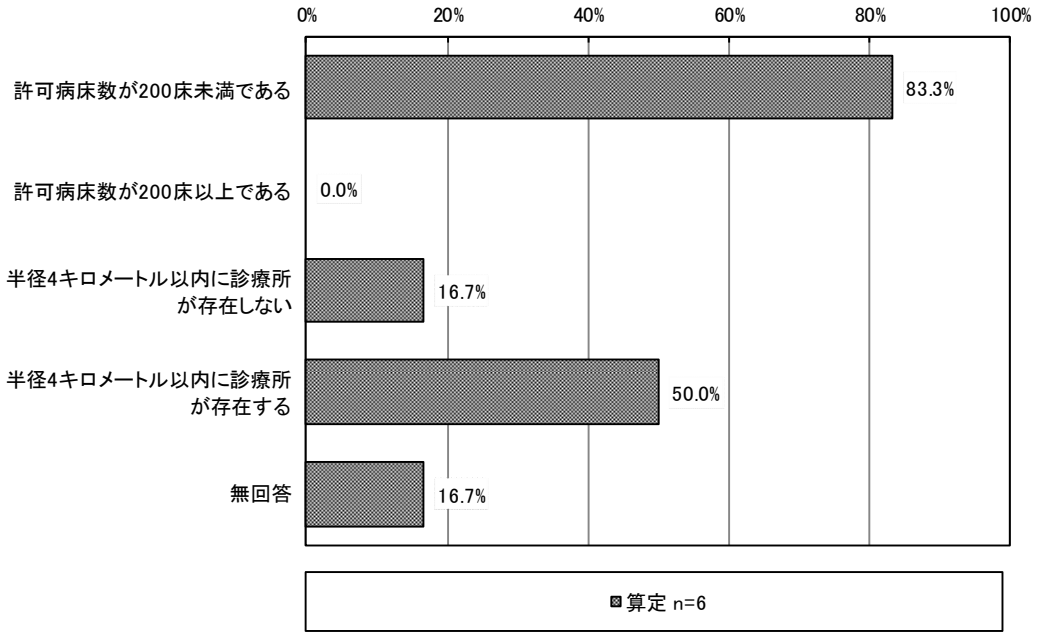

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 328　連携先となる事業所・施設**



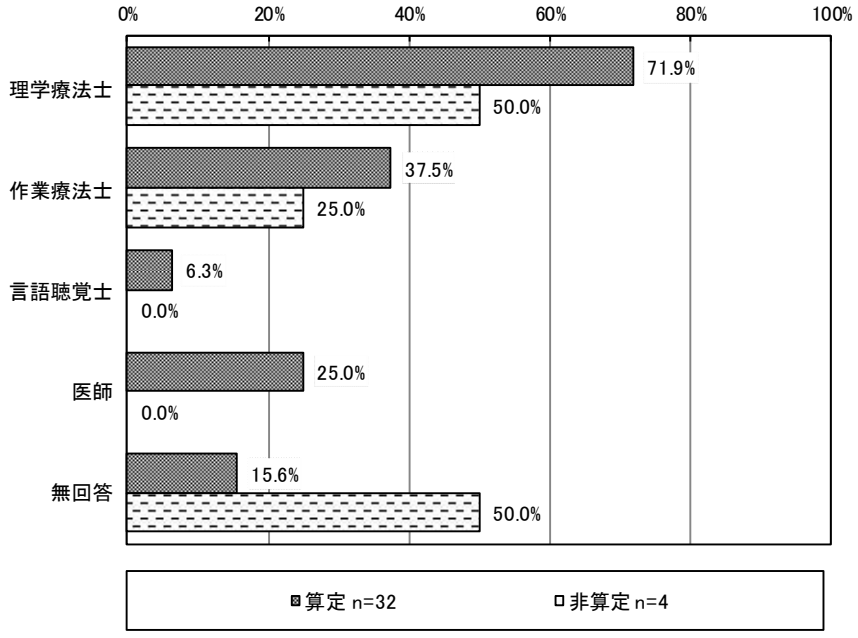
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 329　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



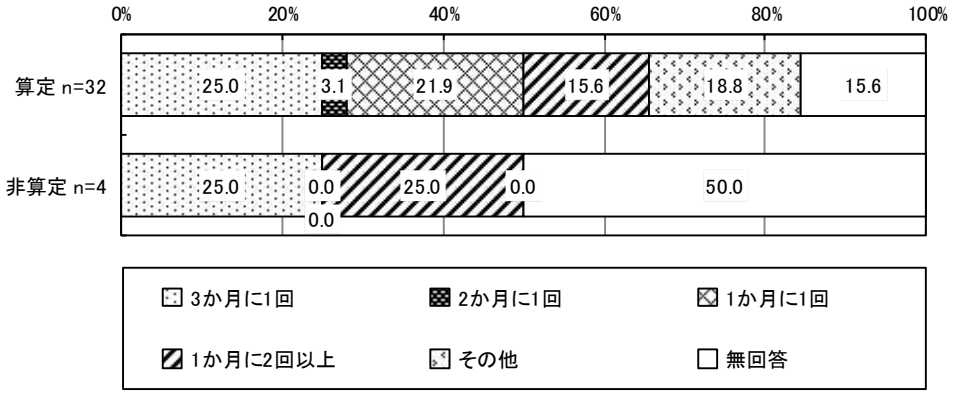

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 330　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

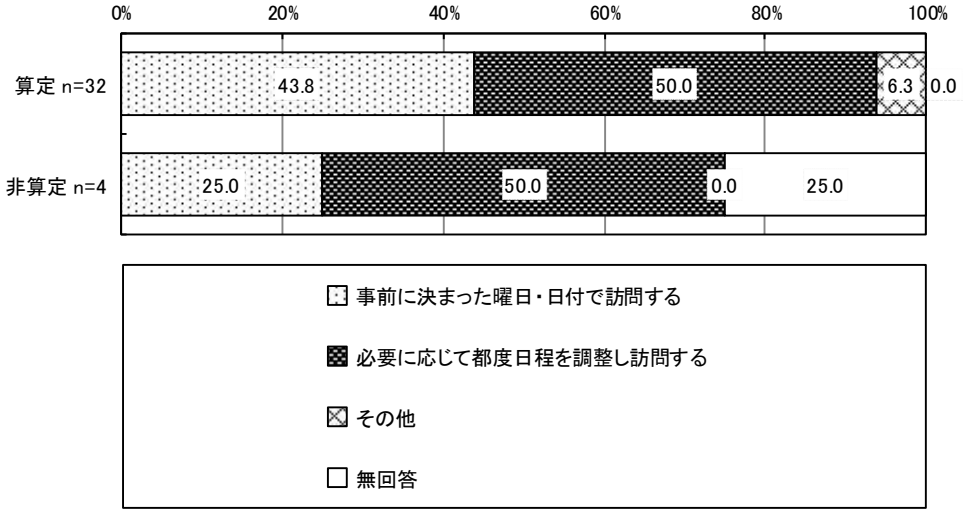
**図表 331　連携先による訪問頻度**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

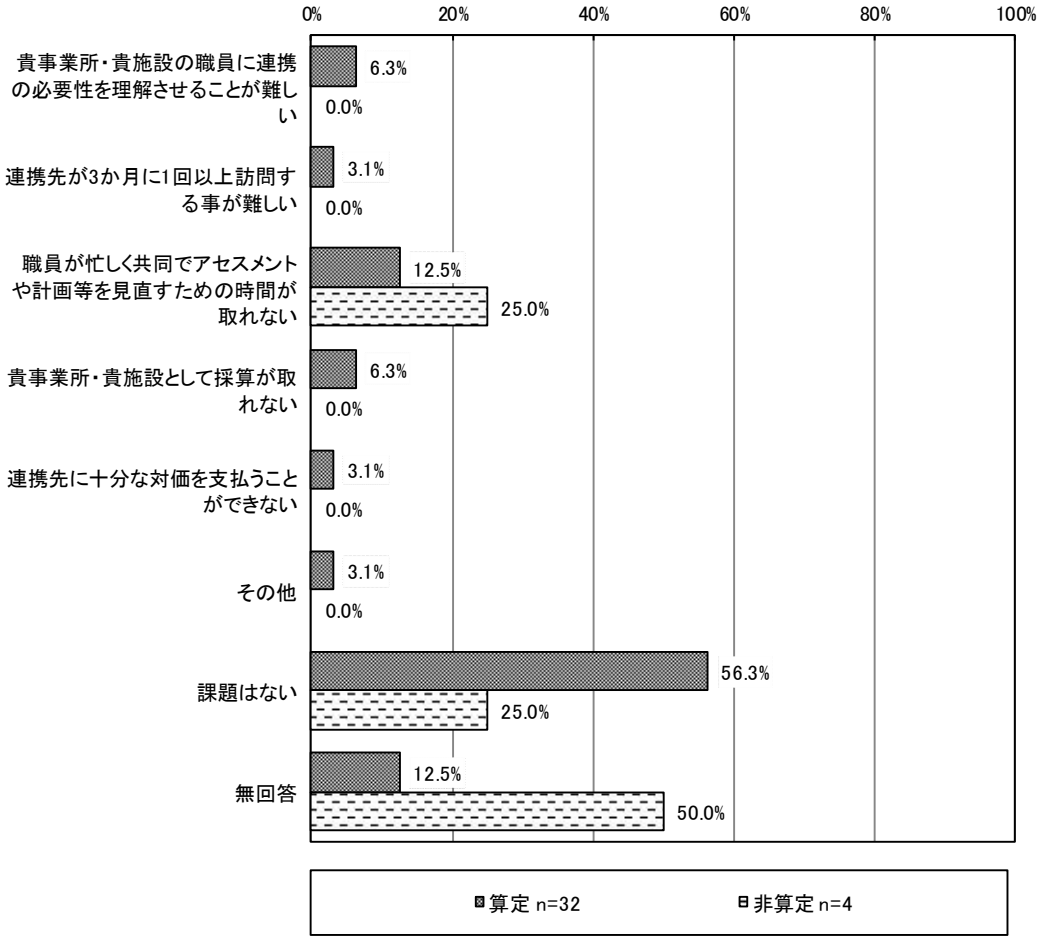
**図表 332　訪問日時は決められているか**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

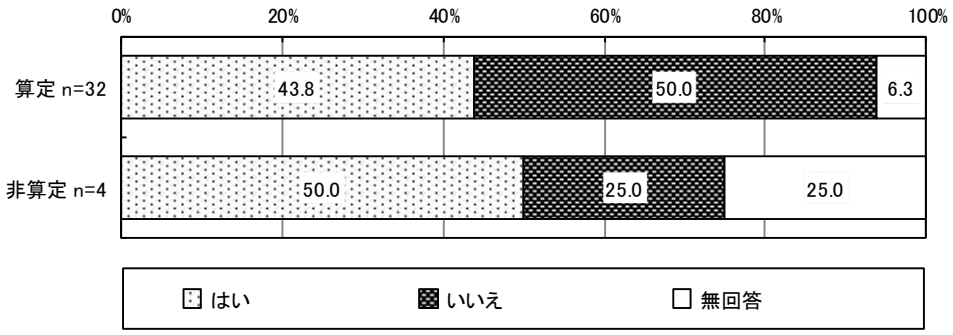
**図表 333　連携先と連携を継続する上での課題**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

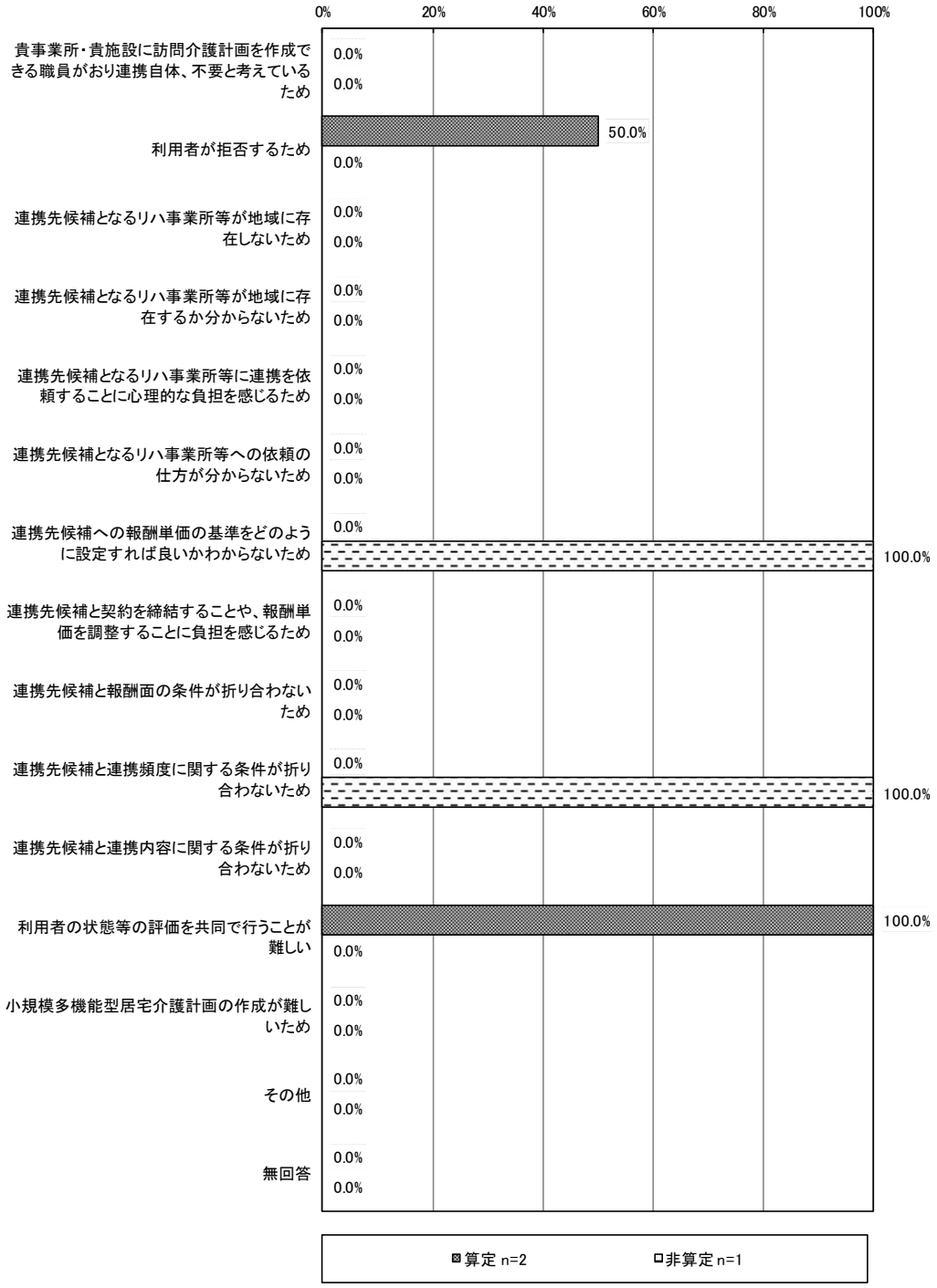
## ス） 連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 334　連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

**図表 335　連携していない理由**

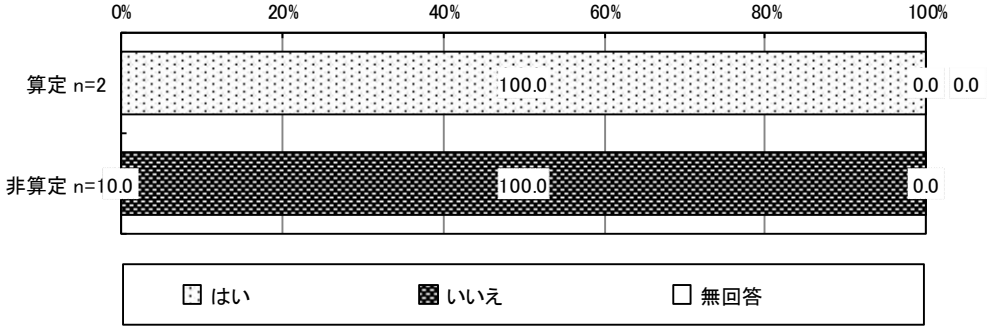



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

- （算定）該当する利用者がいないため。
- （非算定）該当する利用者がいないため。
- （非算定）ケアプランにないため。

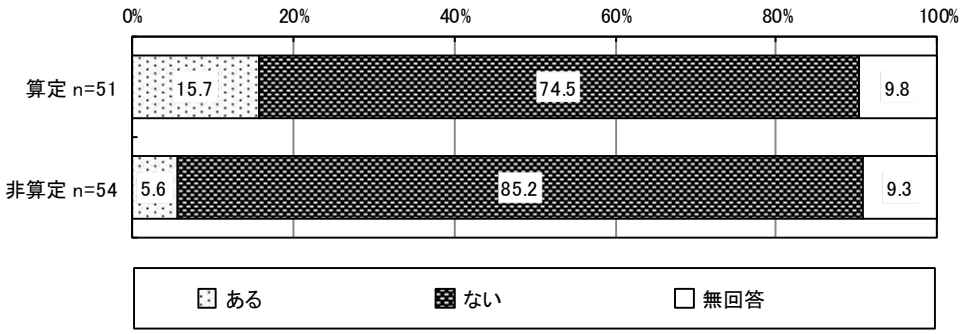
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 336　連携の必要性を感じているか**



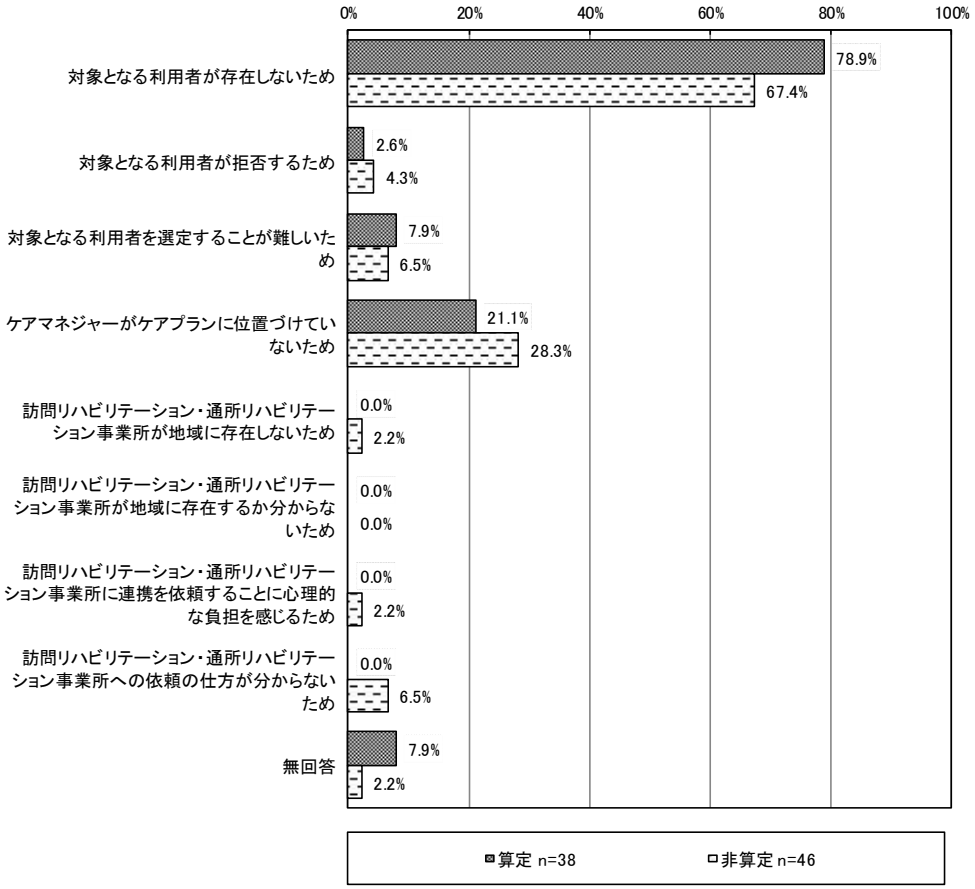

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 337　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

### 図表 338　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 339 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=30 | 6.7 | 16.7 | 33.3 | 16.7 | 0.0 | 26.7 | 50.0 | 6.7 | 26.7 | 6.7 |
| 作業療法士 | | 6.7 | 16.7 | 6.7 | 13.3 | 6.7 | 13.3 | 26.7 | 6.7 | 10.0 | 6.7 |
| 言語聴覚士 | | 0.0 | 0.0 | 3.3 | 3.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.3 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=30 | 20.0 | 13.3 | 30.0 | 26.7 | 56.7 | 40.0 | 26.7 | 20.0 | 23.3 |
| 作業療法士 | | 13.3 | 10.0 | 20.0 | 23.3 | 26.7 | 30.0 | 20.0 | 13.3 | 56.7 |
| 言語聴覚士 | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 93.3 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 340 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院・診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=13 | 23.1 | 7.7 | 15.4 | 46.2 | 23.1 | 30.8 |
| 病院・診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | | 15.4 | 15.4 | 7.7 | 0.0 | 7.7 | 84.6 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | | 0.0 | 7.7 | 0.0 | 30.8 | 15.4 | 69.2 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

問 4-2 の内容の他に、令和元年 9 月の 1 か月間に連携先医師が対応した利用者の課題については下記の通り。

**図表 341 連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・下肢筋力の低下
・安定した歩行の維持

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容（問 4-4）

問 4-1、問 4-2 で得た効果的な助言について、助言者の職種と助言内容に関する回答は下記の通り。

**図表 342　効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

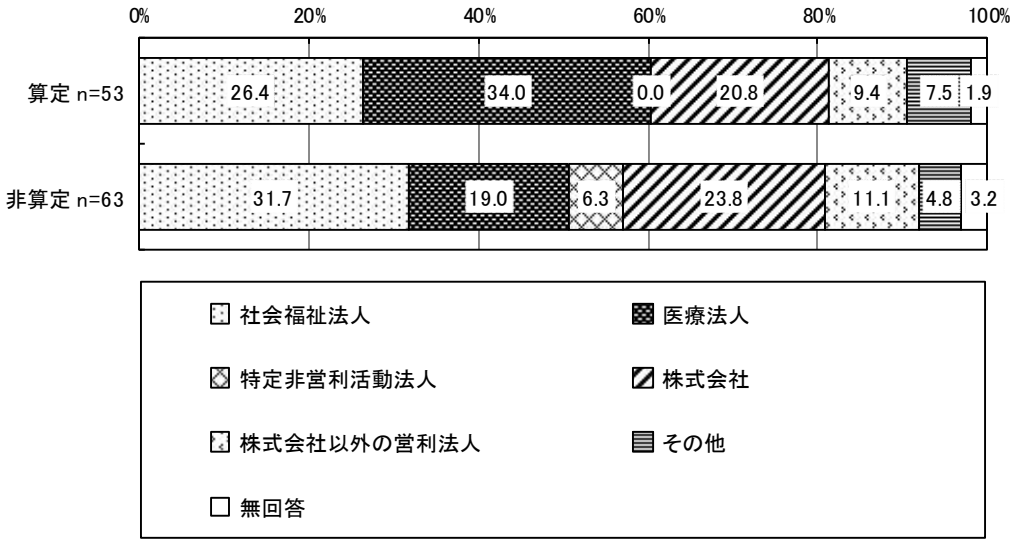
・（算定）作業療法士：自宅で行う歩行介助時の注意点や本人の動作傾向を含め、安全な移動介助法についての助言
・（算定）作業療法士：食事は、しっかりと口を動かし、口腔内の物が無くなるように飲み込みを行うことを促す。
・（算定）言語聴覚士：失語症のある利用者について、本人が考えを言葉で表すことは困難であるため、2 つのことのうち 1 つを選んでもらうような話し方をする。

## （８） 小規模多機能型居宅介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1-1）

**図表 343　法人種別**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

- （算定）一般社団法人
- （算定）生協
- （非算定）生協
- （非算定）一般社団法人
- （非算定）社会医療法人

### イ） 小規模多機能型居宅介護の実施日数（問 1-2）

**図表 344　小規模多機能型居宅介護の実施日数**

（単位：日）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=44 | 29.9 | 0.8 | 30 | 30 | 25 |
| 非算定 n=46 | 29.8 | 1.0 | 30 | 30 | 25 |

## ウ） 登録者数（問 1-3）

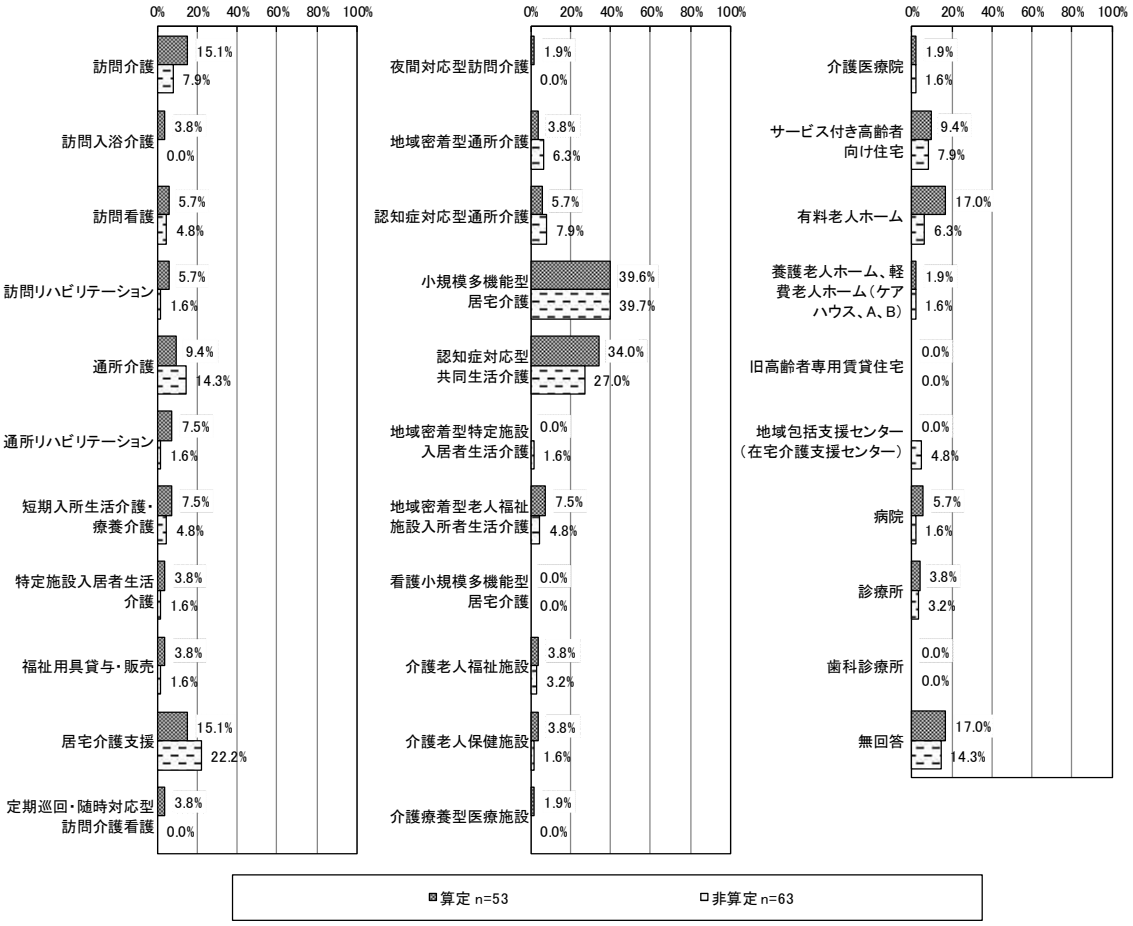
**図表 345　登録者数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=44 | 21.8 | 4.9 | 22.0 | 29 | 9 |
| 非算定 n=52 | 20.3 | 5.1 | 20.0 | 29 | 7 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 346　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 347　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=53 | 19.6 | 5.0 | 19 | 28 | 8 |
| | 非算定 n=61 | 17.8 | 5.1 | 17 | 29 | 7 |
| 要介護1 | 算定 n=53 | 5.9 | 2.7 | 6 | 12 | 0 |
| | 非算定 n=61 | 5.4 | 3.2 | 5 | 12 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=53 | 5.4 | 2.8 | 6 | 11 | 0 |
| | 非算定 n=61 | 5.1 | 3.7 | 5 | 25 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=53 | 3.6 | 2.1 | 3 | 9 | 1 |
| | 非算定 n=61 | 3.8 | 2.3 | 4 | 9 | 0 |
| 要介護4 | 算定 n=53 | 3.0 | 2.2 | 3 | 9 | 0 |
| | 非算定 n=61 | 2.3 | 1.7 | 2 | 7 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=53 | 1.7 | 1.9 | 1 | 9 | 0 |
| | 非算定 n=61 | 1.2 | 1.3 | 1 | 6 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=53 | 0.1 | 0.3 | 0 | 1 | 0 |
| | 非算定 n=61 | 0.1 | 0.2 | 0 | 1 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 348　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=47 | 20.8 | 5.3 | 21 | 8 | 30 |
| | 非算定 n=55 | 19.4 | 5.6 | 19 | 4 | 29 |
| 自立 | 算定 n=47 | 1.5 | 2.2 | 1 | 0 | 11 |
| | 非算定 n=55 | 1.7 | 2.4 | 1 | 0 | 12 |
| Ⅰ | 算定 n=47 | 2.5 | 2.2 | 2 | 0 | 8 |
| | 非算定 n=55 | 2.5 | 2.1 | 2 | 0 | 8 |
| Ⅱa | 算定 n=47 | 2.7 | 2.1 | 3 | 0 | 9 |
| | 非算定 n=55 | 2.9 | 2.5 | 2 | 0 | 13 |
| Ⅱb | 算定 n=47 | 5.4 | 3.5 | 5 | 1 | 17 |
| | 非算定 n=55 | 4.8 | 3.2 | 5 | 0 | 17 |
| Ⅲa | 算定 n=47 | 4.8 | 2.3 | 5 | 0 | 10 |
| | 非算定 n=55 | 4.6 | 2.6 | 5 | 0 | 10 |
| Ⅲb | 算定 n=47 | 1.5 | 1.4 | 1 | 0 | 5 |
| | 非算定 n=55 | 0.8 | 1.0 | 1 | 0 | 4 |
| Ⅳ | 算定 n=47 | 2.2 | 2.3 | 2 | 0 | 11 |
| | 非算定 n=55 | 1.8 | 2.5 | 1 | 0 | 14 |
| M | 算定 n=47 | 0.3 | 0.5 | 0 | 0 | 2 |
| | 非算定 n=55 | 0.2 | 0.5 | 0 | 0 | 2 |

## キ） 職員数（問 1-7）

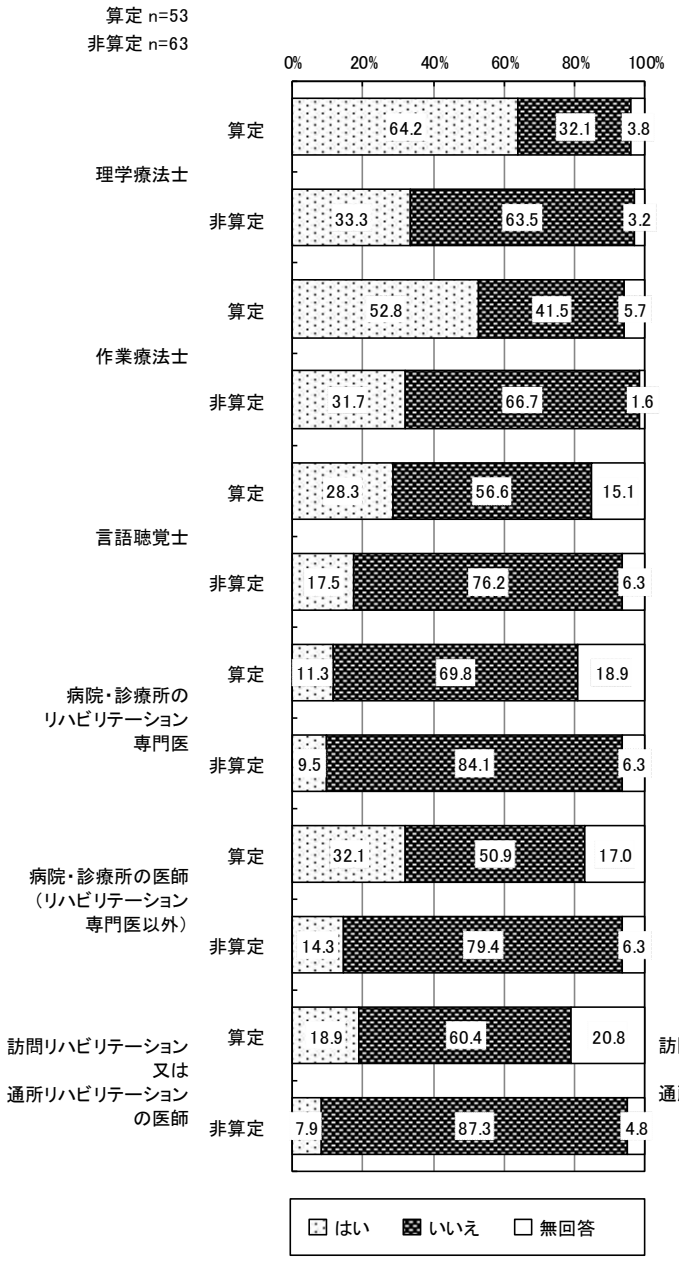
**図表 349　職員数**

（単位:人）

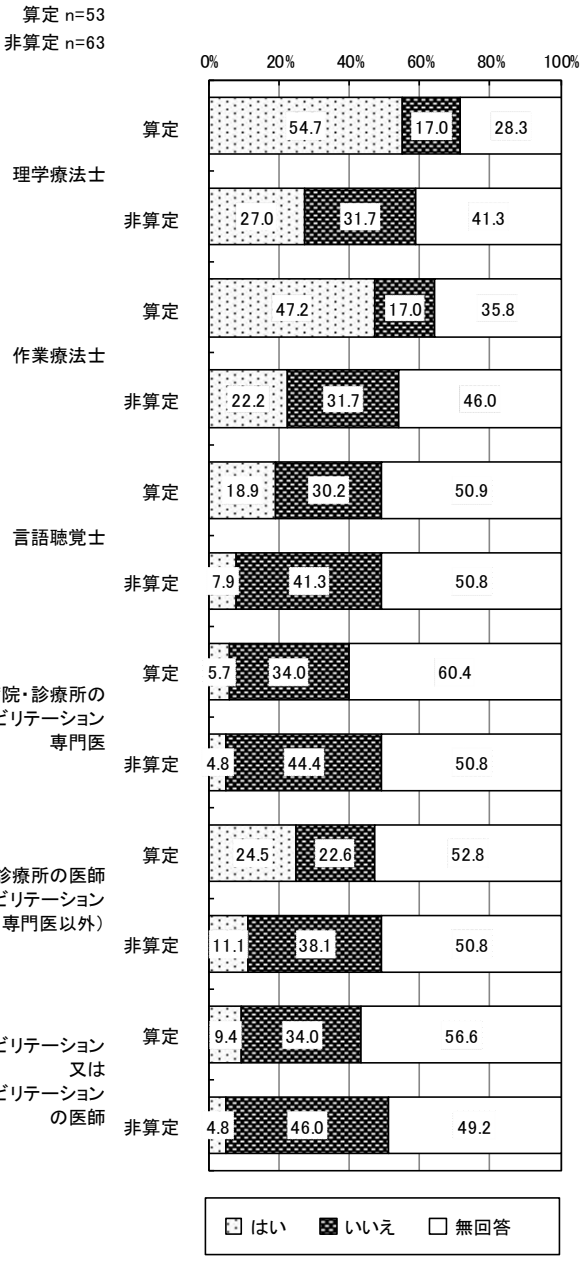
| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=53 | 1.0 | 0.1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 非算定 n=63 | 1.0 | 0.2 | 1 | 1 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=45 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.6 | 0.0 |
| | | 非算定 n=60 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.5 | 0.0 |
| 小規模多機能型居宅介護従事者 | 常勤職員 | 算定 n=53 | 7.6 | 3.4 | 7 | 15 | 0 |
| | | 非算定 n=63 | 7.3 | 3.4 | 8 | 16 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=45 | 3.9 | 2.9 | 3.2 | 11.6 | 0.0 |
| | | 非算定 n=60 | 3.6 | 3.7 | 2.6 | 21.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員 | 常勤職員 | 算定 n=53 | 1.0 | 0.5 | 1 | 3 | 0 |
| | | 非算定 n=63 | 1.0 | 0.5 | 1 | 3 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=45 | 0.2 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=60 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=53 | 0.6 | 1.5 | 0 | 10 | 0 |
| | | 非算定 n=63 | 0.5 | 0.8 | 0 | 4 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=45 | 0.7 | 1.0 | 0.4 | 3.6 | 0.0 |
| | | 非算定 n=60 | 0.9 | 1.6 | 0.4 | 8.0 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=53 | 10.1 | 3.5 | 10 | 17 | 1 |
| | | 非算定 n=63 | 9.8 | 3.8 | 10 | 22 | 1 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=45 | 4.8 | 3.2 | 4.0 | 12.6 | 0.4 |
| | | 非算定 n=60 | 4.6 | 4.3 | 3.1 | 21.0 | 0.5 |

## ク） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-8）

図表 350　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか

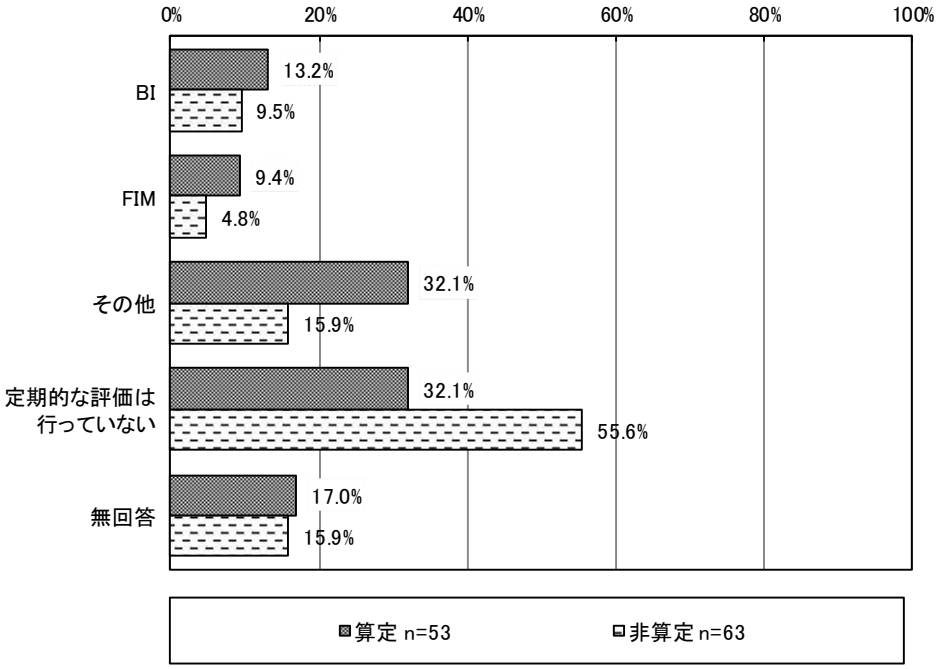



図表 351　助言を行っているか



## ケ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-9）

図表 352　利用者の ADL・IADL の評価の指標



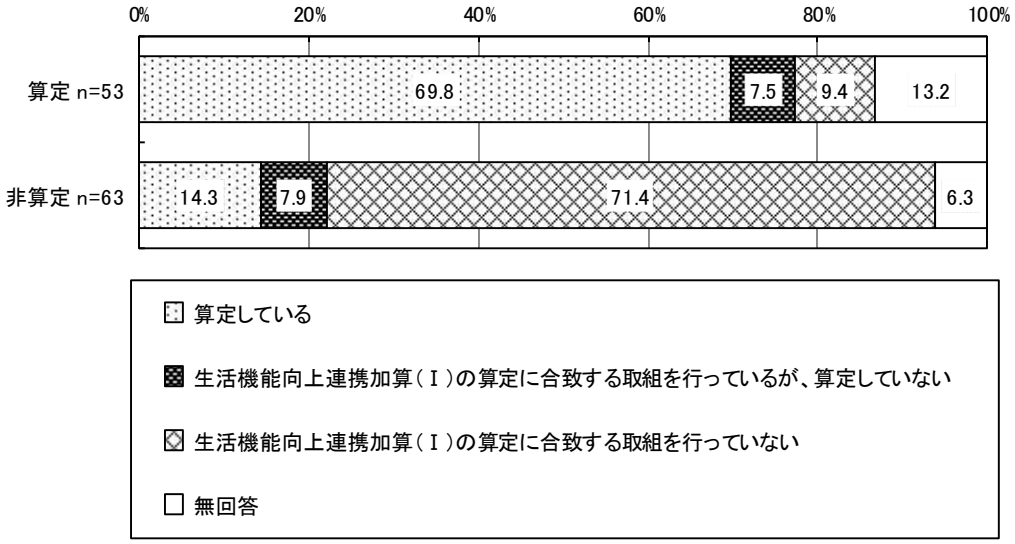

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

- （算定）HDS-R
- （算定）運動測定の結果
- （算定）ICF
- （算定）事業所独自の指標
- （非算定）事業所独自の指標

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1）

**図表 353　生活機能向上連携加算の算定有無　加算（Ⅰ）**




**図表 354　利用者の実人数　加算（Ⅰ）**

（単位：人）

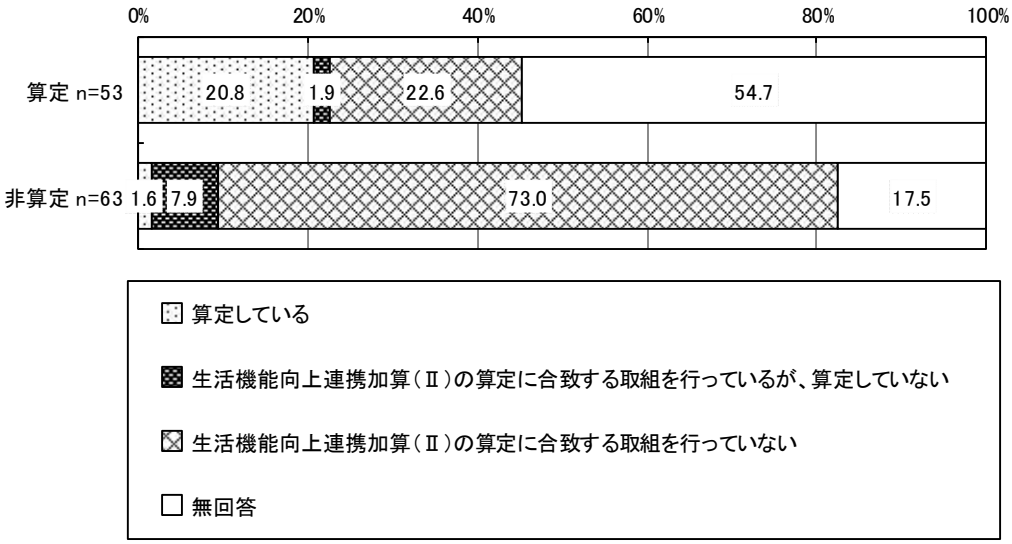
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=35 | 10.7 | 7.9 | 7.0 | 27 | 1 |
| 非算定 n=9 | 11.1 | 8.4 | 7.0 | 24 | 3 |

**図表 355　リハ専門職等の実人数　加算（Ⅰ）**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=34 | 1.4 | 0.7 | 1.0 | 4 | 1 |
| 非算定 n=7 | 1.1 | 0.6 | 1.0 | 2 | 0 |

図表 356　生活機能向上連携加算の算定有無　加算（Ⅱ）




図表 357　利用者の実人数　加算（Ⅱ）

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=10 | 6.0 | 5.7 | 3.5 | 18 | 1 |
| 非算定 n=1 | 3.0 | 0.0 | 3.0 | 3 | 3 |

図表 358　リハ専門職等の実人数　加算（Ⅱ）

（単位：人）

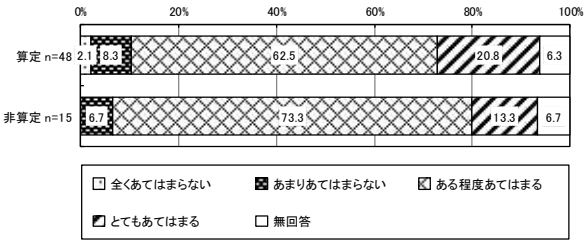
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=8 | 4.0 | 5.1 | 1.0 | 15 | 1 |
| 非算定 n=1 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1 | 1 |

## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

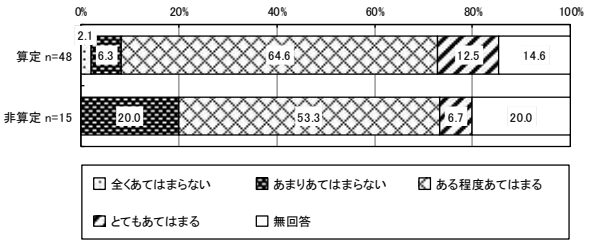
図表 359　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

### 1）専門的な視点を踏まえ小規模多機能型居宅介護計画を作成できた

①要介護 1、2 の利用者

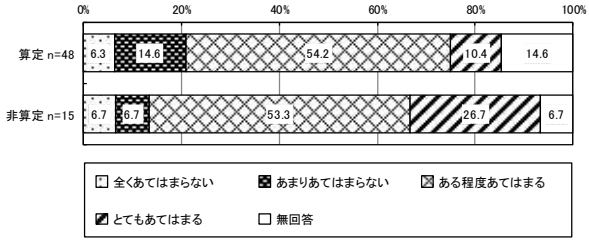



②要介護 3～5 の利用者

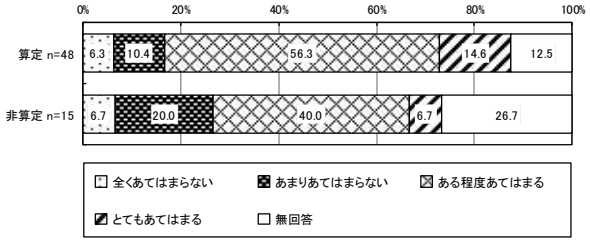


**２）一定時間座位の保持ができるようになり、座って食事ができるようになるなど、利用者にとって良い効果につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

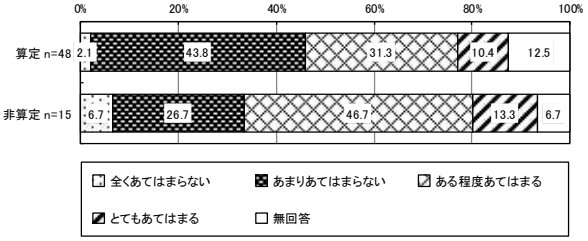



**②要介護 3～5 の利用者**

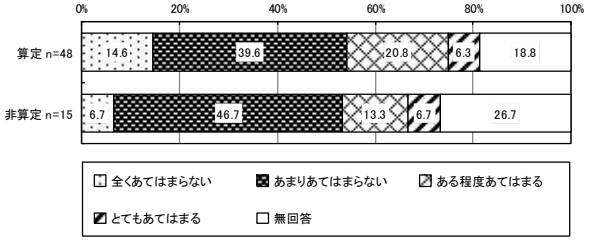



**３）食事や清掃、洗濯、買物など利用者のできることが増えた**

**①要介護 1、2 の利用者**

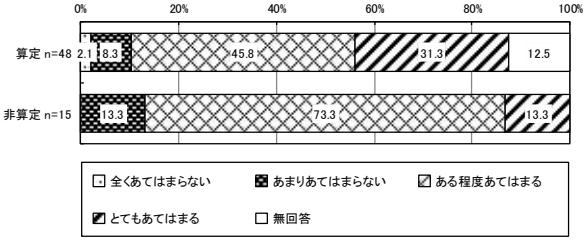



**②要介護 3～5 の利用者**

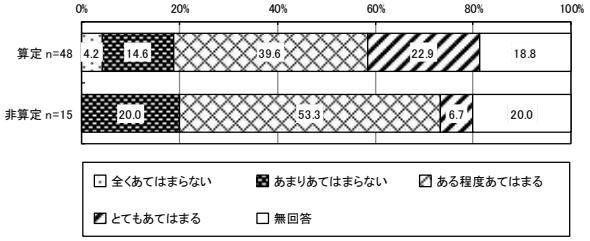



**４）椅子やテーブルの高さ、配置など、生活環境面での助言を受けることができた**

**①要介護 1、2 の利用者**

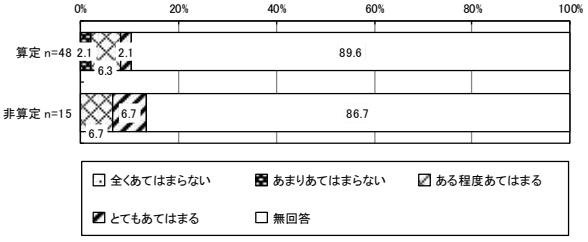



**②要介護 3～5 の利用者**

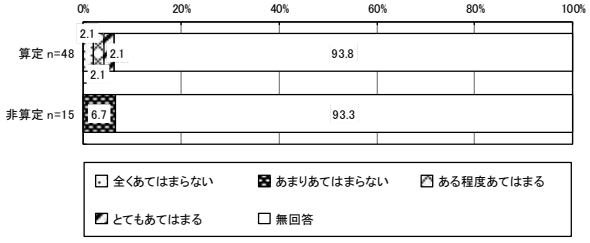



**５）その他**

**①要介護 1、2 の利用者**




**②要介護 3～5 の利用者**




①要介護 1、2 の利用者

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

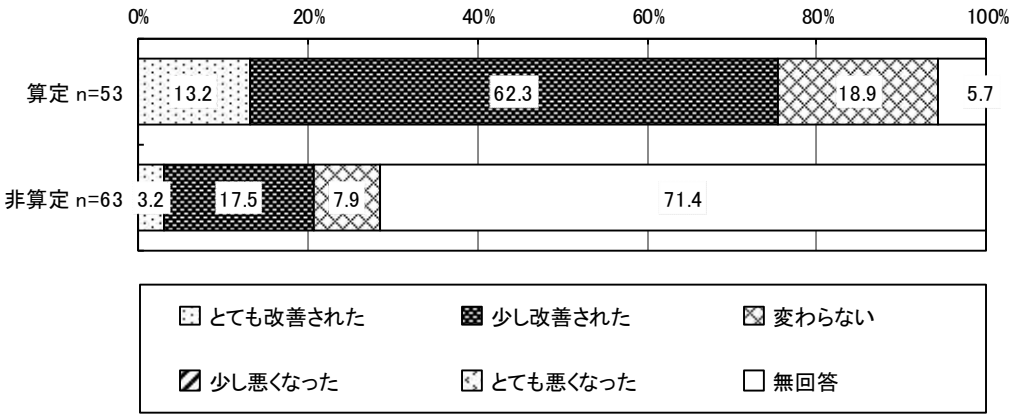
・（算定）短時間であるが、立位の保持が継続できるようになったこと。

②要介護 3～5 の利用者

※その他として挙げられた有効な回答は無し。

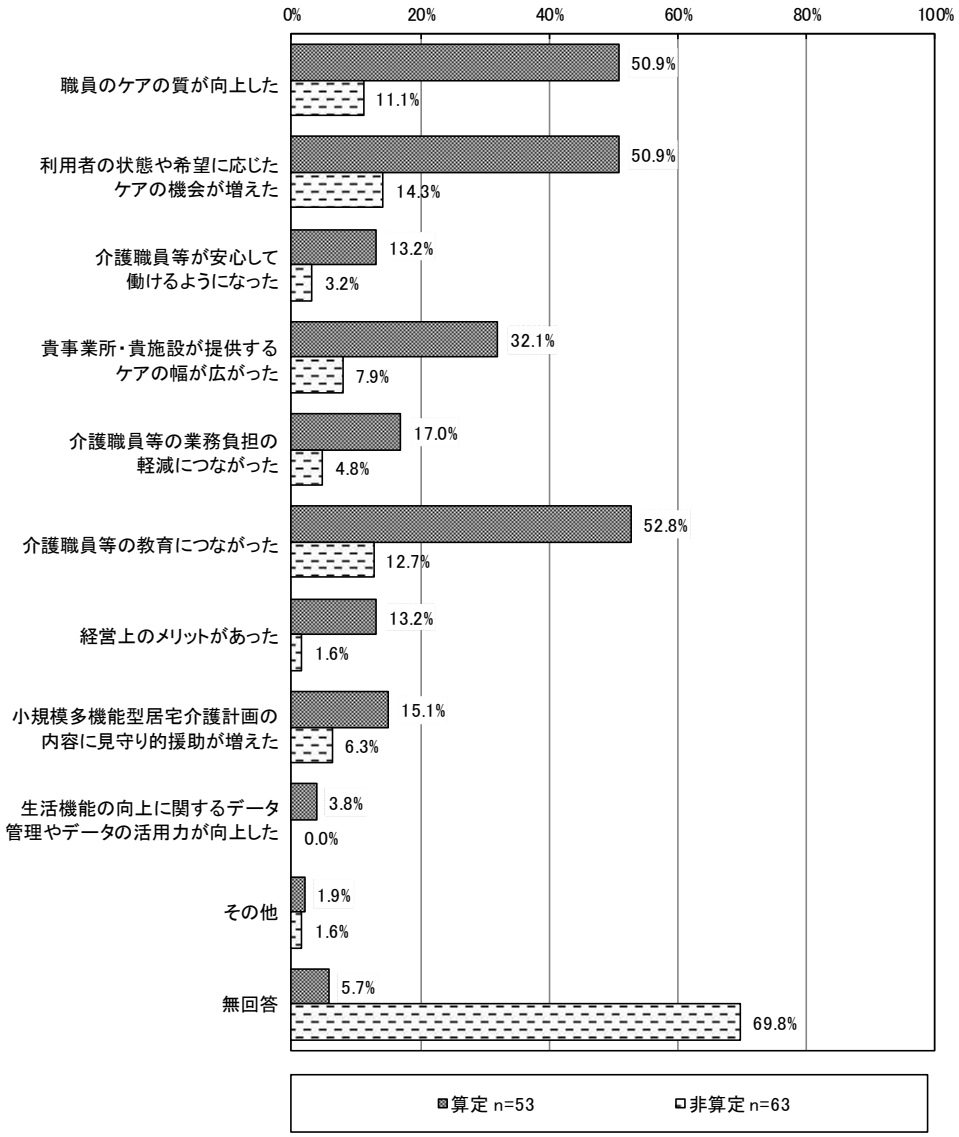
## ウ） 小規模多機能型居宅介護計画の改善状況（問 2-3）

**図表 360　小規模多機能型居宅介護計画の改善状況**



## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 361　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

**図表 362　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額　加算（Ⅰ）**

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=29 | 8482.8 | 29935.9 | 0 | 164500 | 0 |
| 非算定 n=6 | 3218.3 | 5019.6 | 300 | 13710 | 0 |

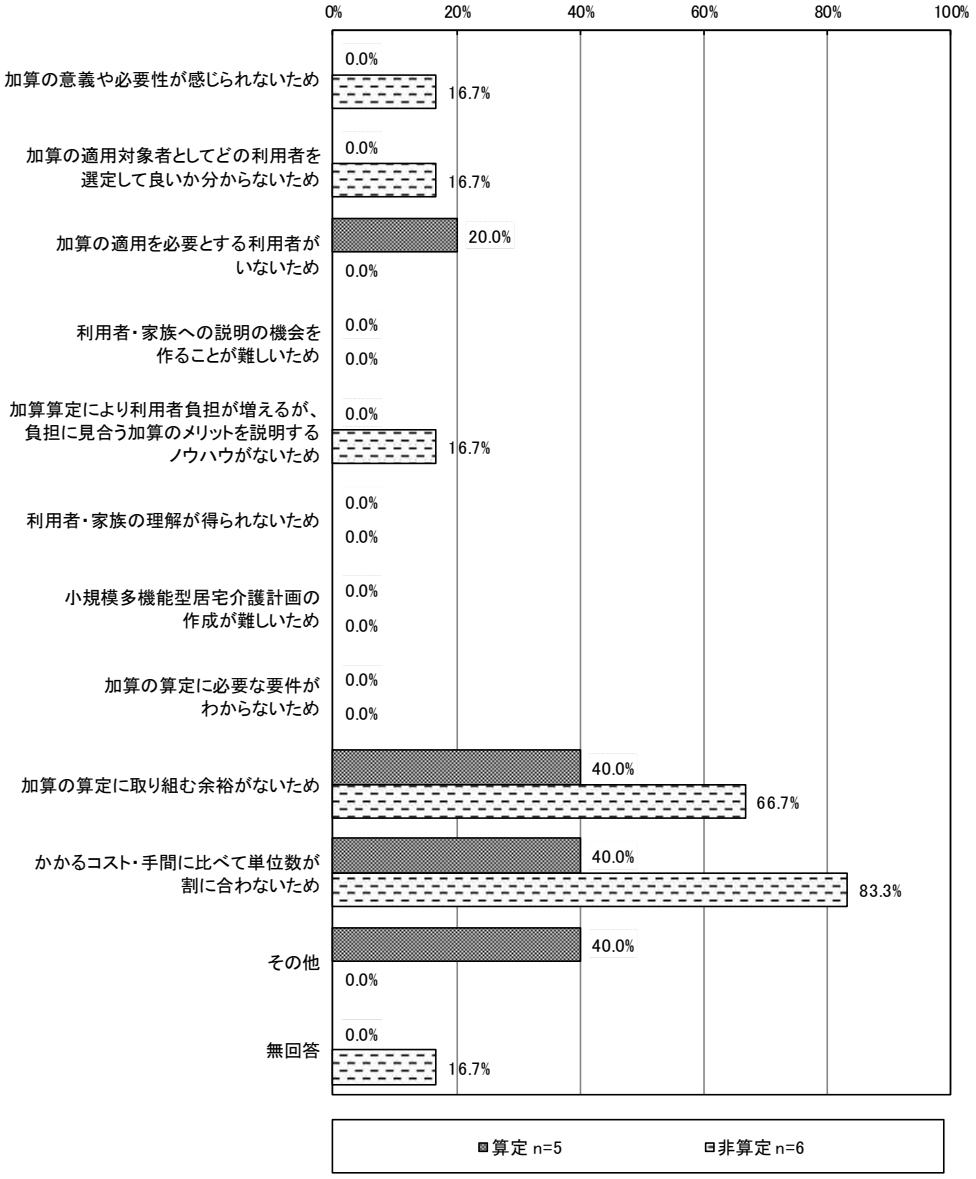
**図表 363　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額　加算（Ⅱ）**

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=15 | 2225.3 | 3834.3 | 0 | 10780 | 0 |
| 非算定 n=2 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 |

## カ） 取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由（問 2-6）

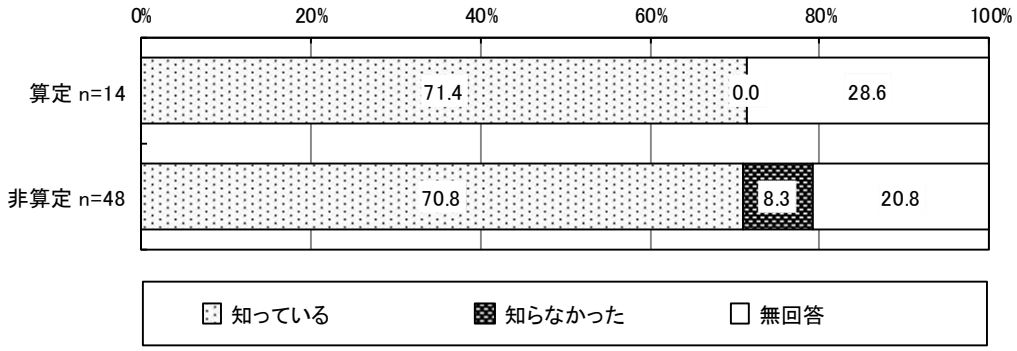
**図表 364　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

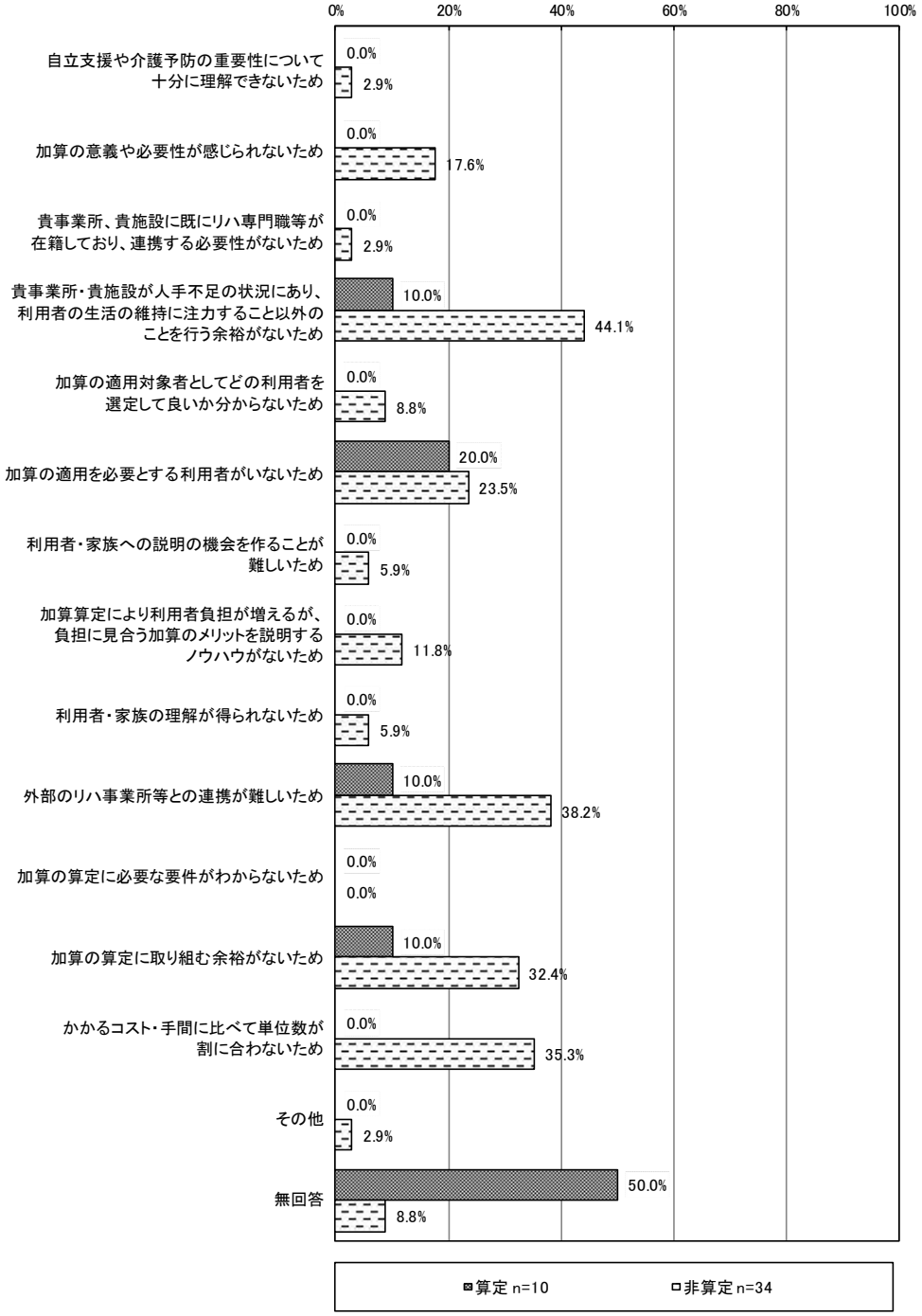
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

**図表 365　生活機能向上連携加算を知っているか**



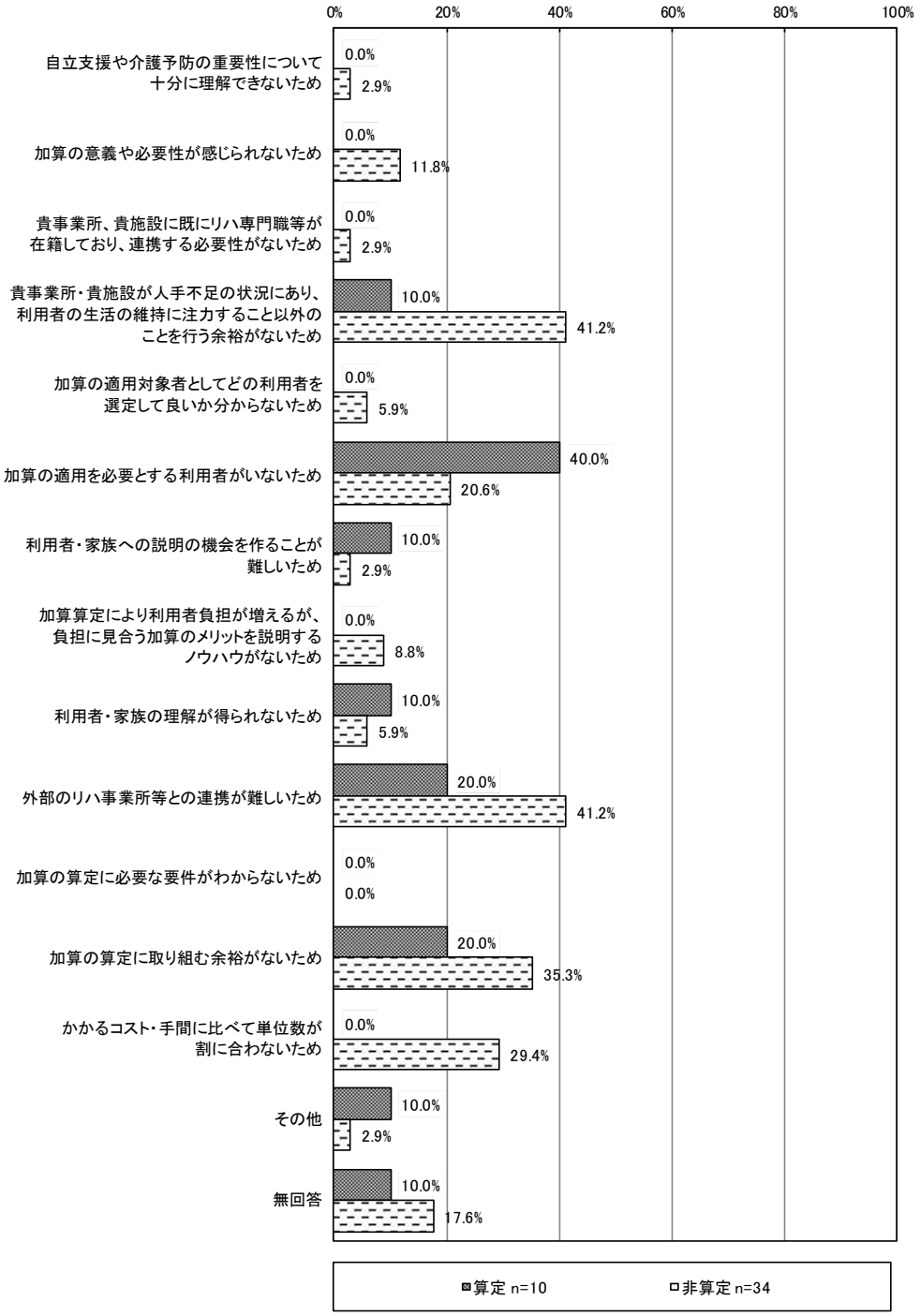
## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

**図表 366　加算（Ⅰ）を算定していない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

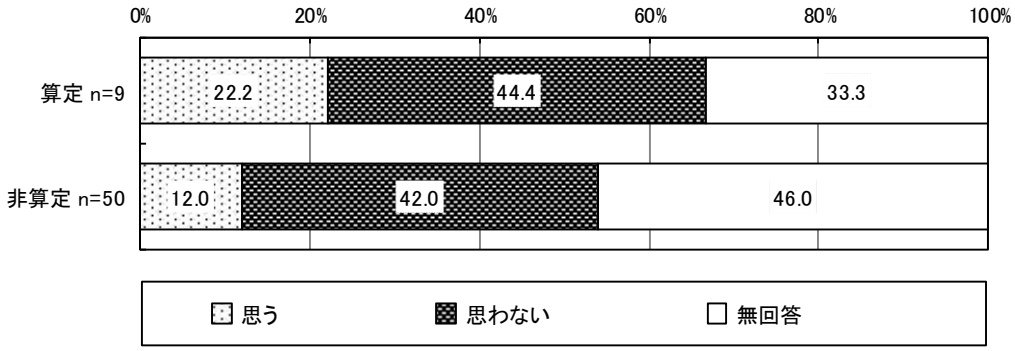
## 図表 367　加算（Ⅱ）を算定していない理由




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

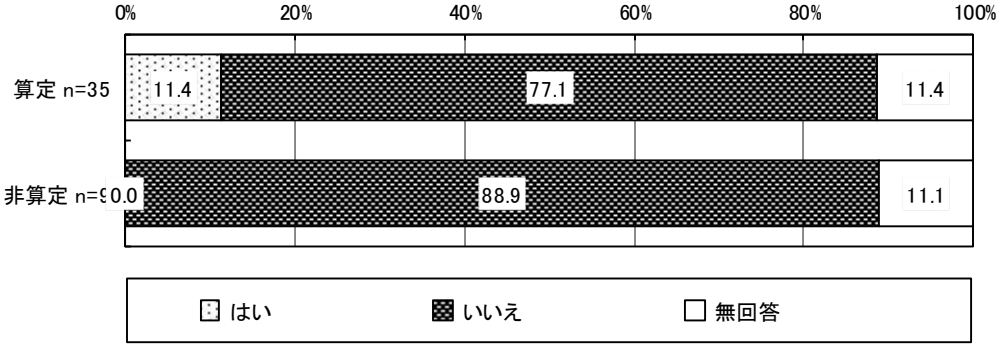
## ケ） ICT が活用できた場合、加算が算定できると思うか（問 2-9）

図表 368　ICT が活用できた場合、加算が算定できると思うか




## コ） ICT 活用の有無と人数（問 2-10）

図表 369　ICT を活用したか



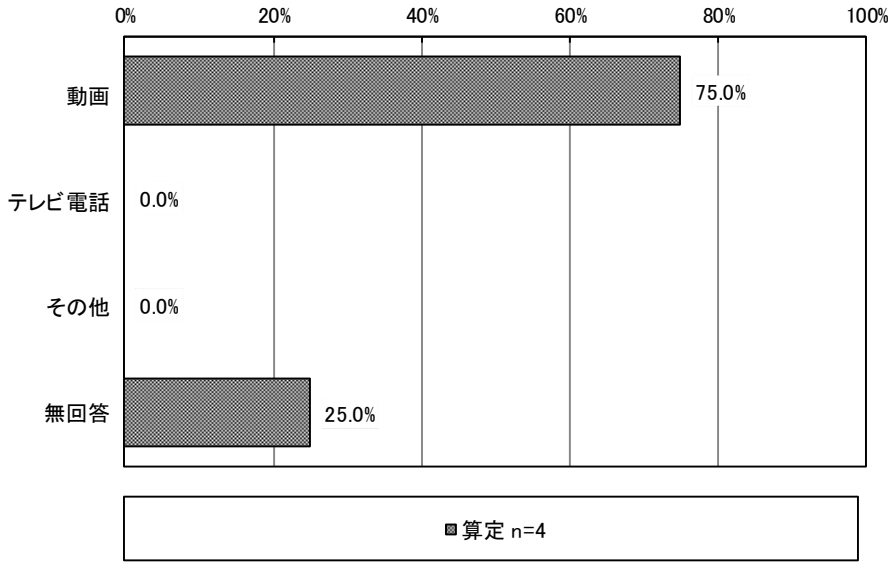

図表 370　ICT 活用人数

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=4 | 2.0 | 1.7 | 1.0 | 5 | 1 |

## サ） ICT による利用者の状態把握方法（問 2-11）

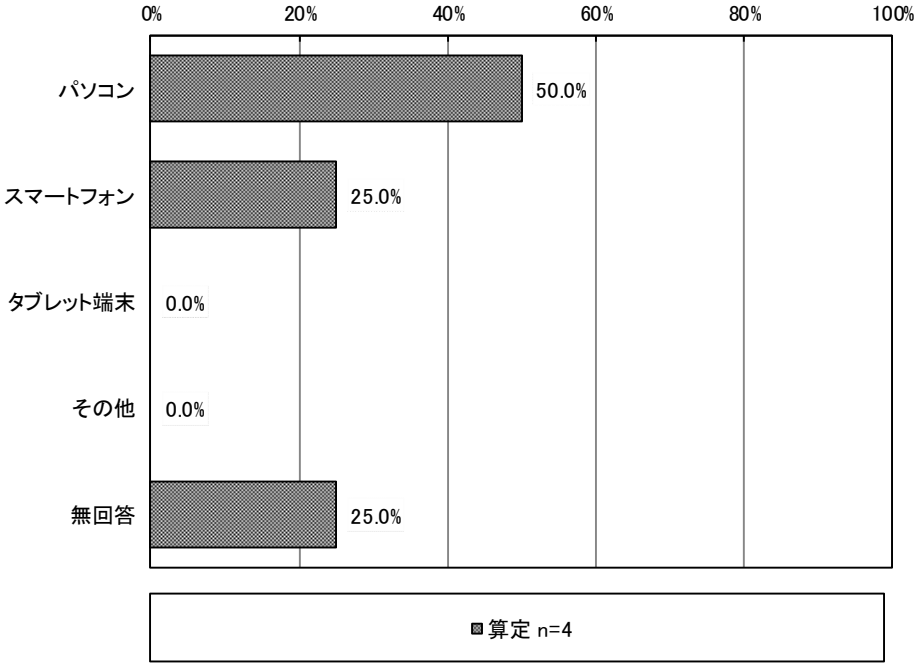
図表 371　ICT による利用者の状態把握方法




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 活用している ICT 機器（問 2-12）

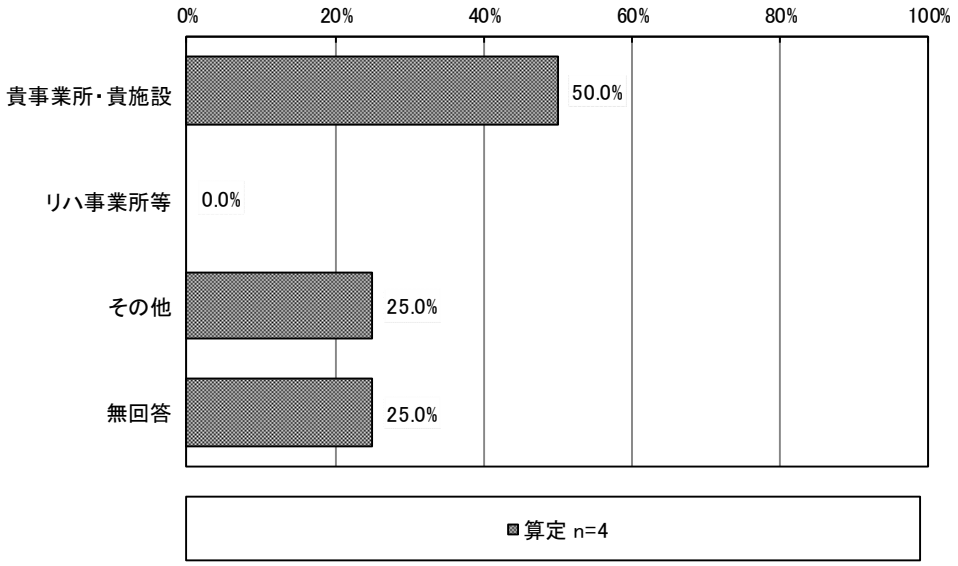
図表 372　活用している ICT 機器




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ス） ICT 機器購入者（問 2-13）

**図表 373　ICT 機器購入者**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）個人

## セ） 利用者 1 人に対する ICT 利用回数（問 2-14）

**図表 374　利用者 1 人に対する ICT 利用回数　計画作成時**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=3 | 2.7 | 1.7 | 2.0 | 5 | 1 |

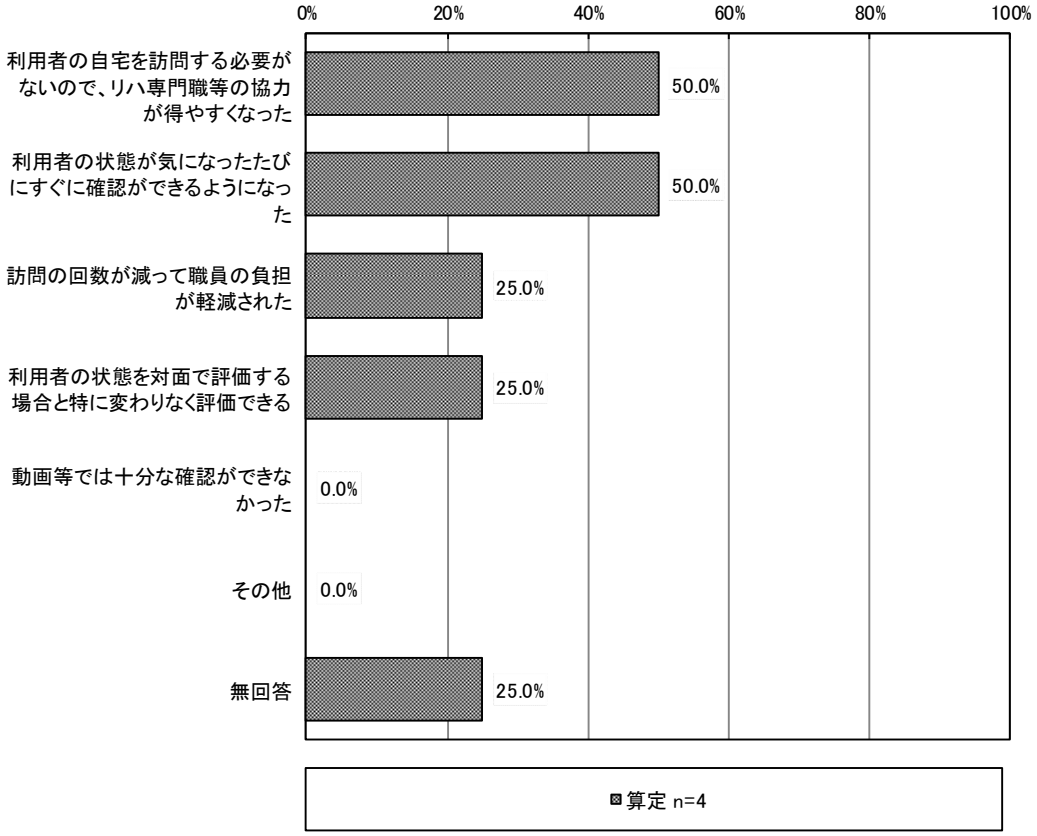
**図表 375　利用者 1 人に対する ICT 利用回数　計画作成時から 3 ヶ月後まで**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=3 | 2.7 | 1.7 | 2.0 | 5 | 1 |

## ソ） ICT 活用の影響（問 2-15）

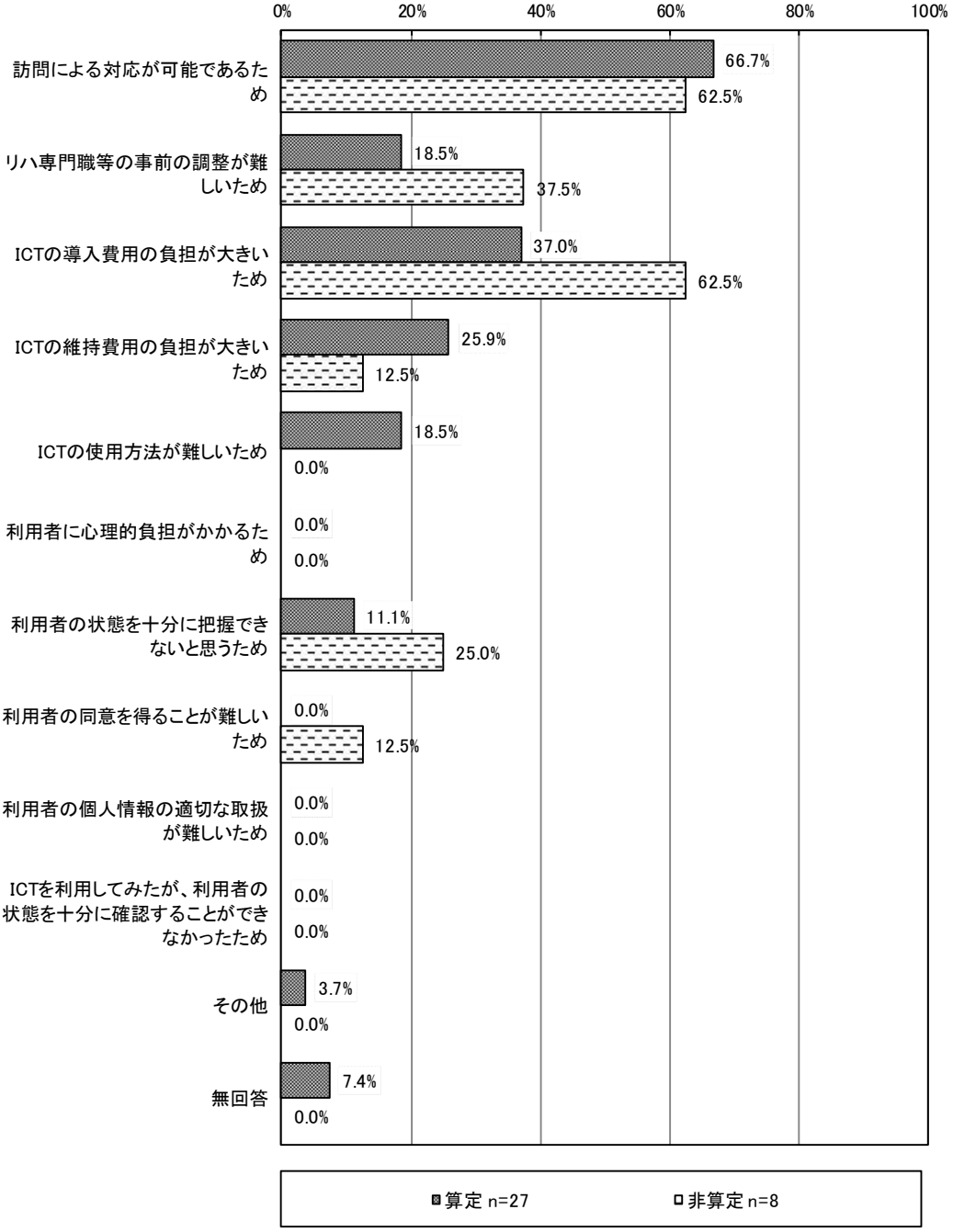
図表 376　ICT 活用の影響




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## タ） ICT を使用しない理由（問 2-16）

図表 377　ICT を使用しない理由



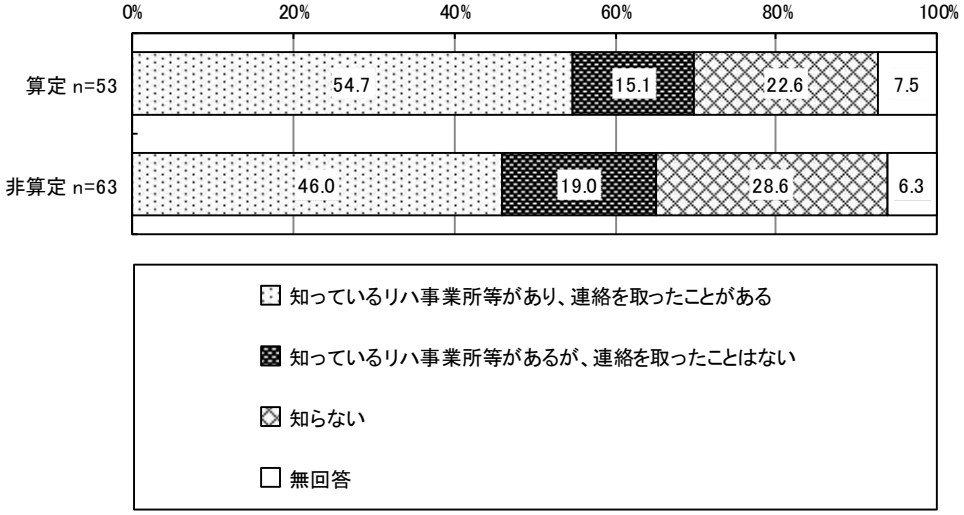

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）会社が統一したシステムを使用する必要があるため。

## Ⅲ．外部との連携状況

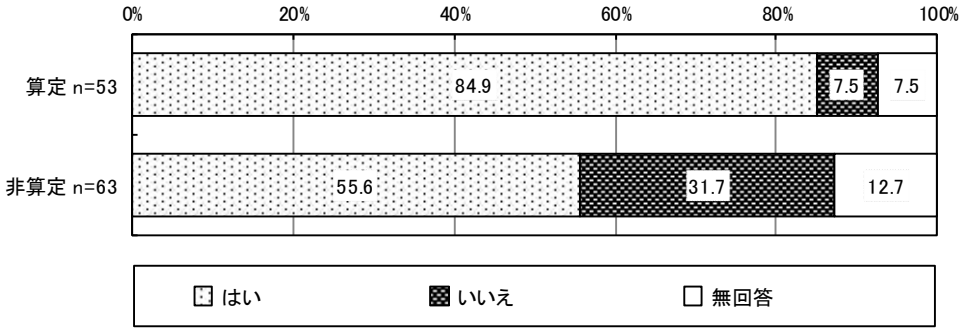
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 378　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



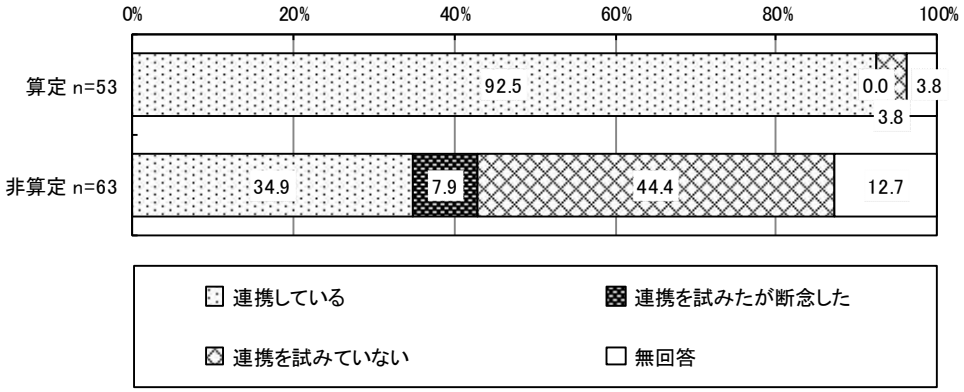

### イ） 生活機能の向上を目指した利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 379　生活機能の向上を目指して利用者の定期評価を行っているか**



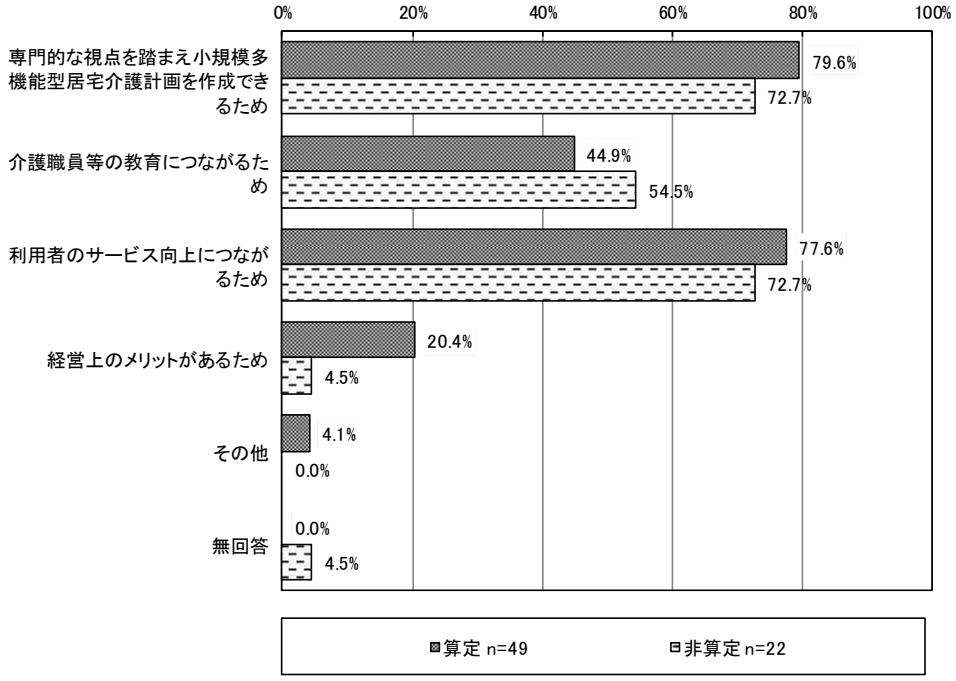
## ウ） 小規模多機能型居宅介護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 380　小規模多機能型居宅介護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 381　連携している理由**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）利用者にとって満足感や安心感が得られるため

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

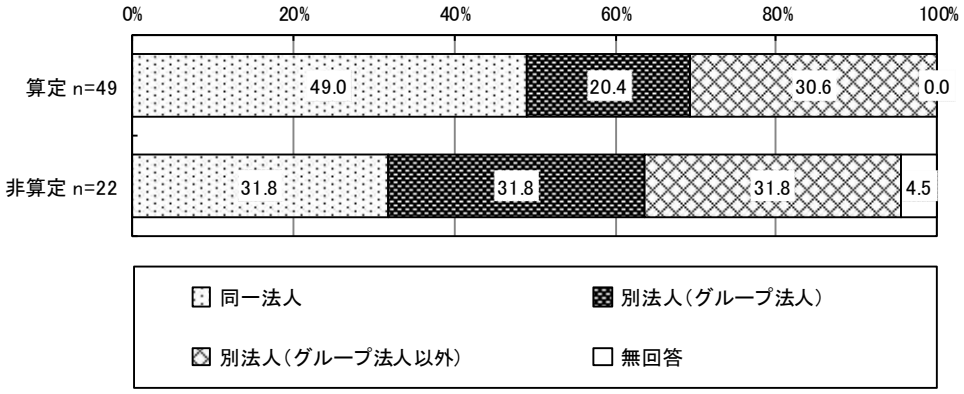
**図表 382　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位：件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=40 | 1.3 | 1.0 | 1 | 7 | 0 |
| 非算定 n=18 | 1.6 | 2.1 | 1 | 10 | 0 |

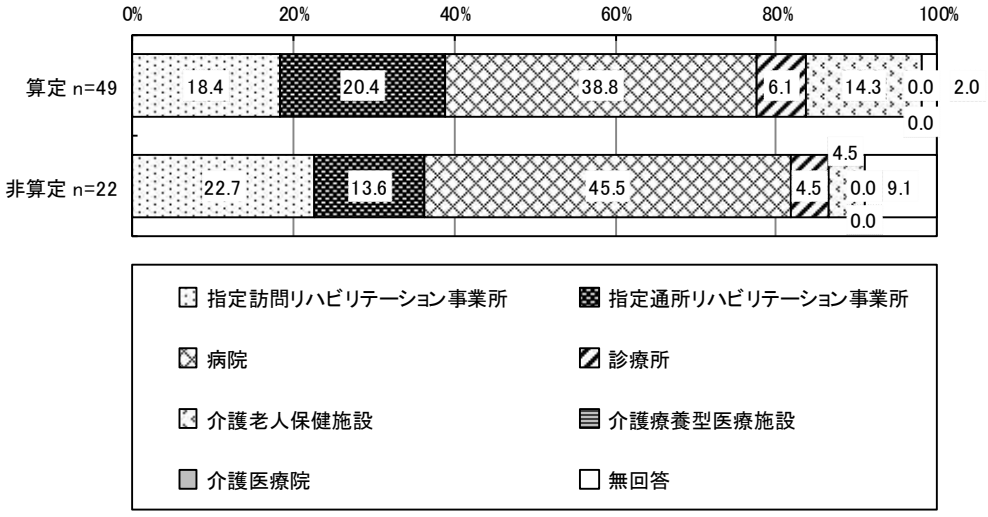
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 383　連携先は同一法人内か否か**



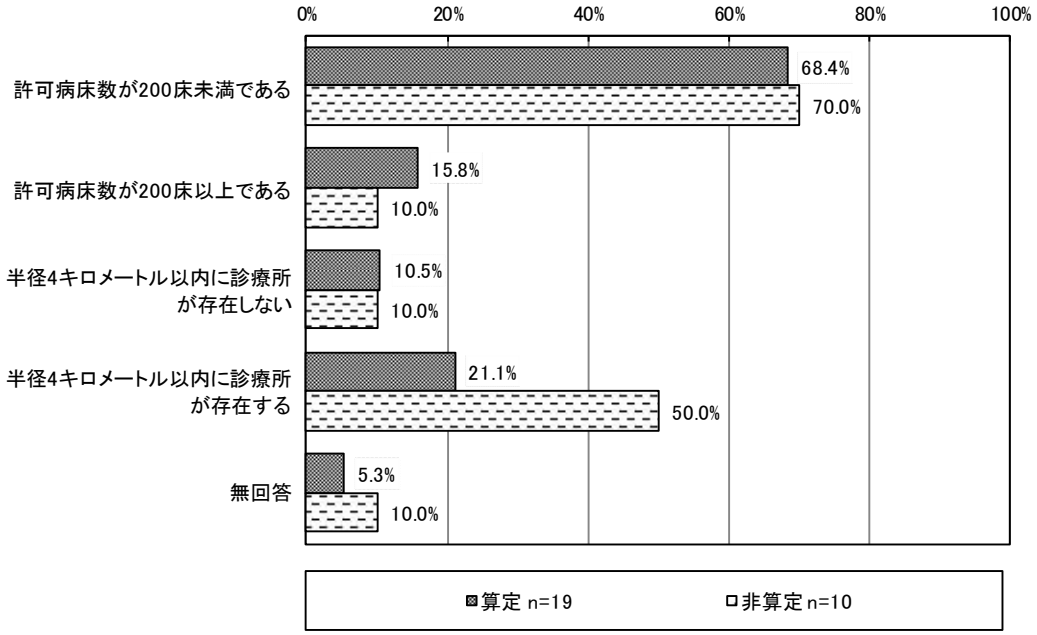

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 384　連携先となる事業所・施設**



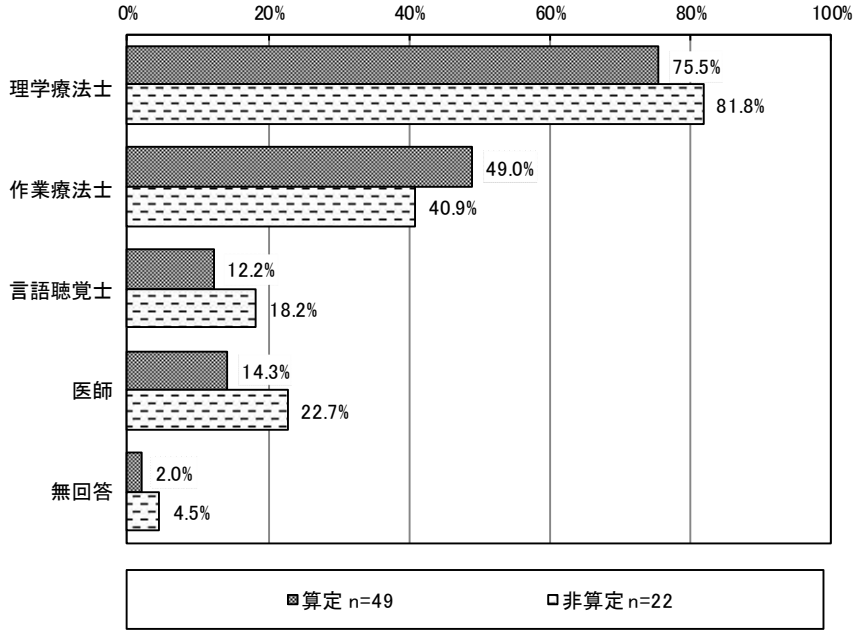
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

**図表 385　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況**



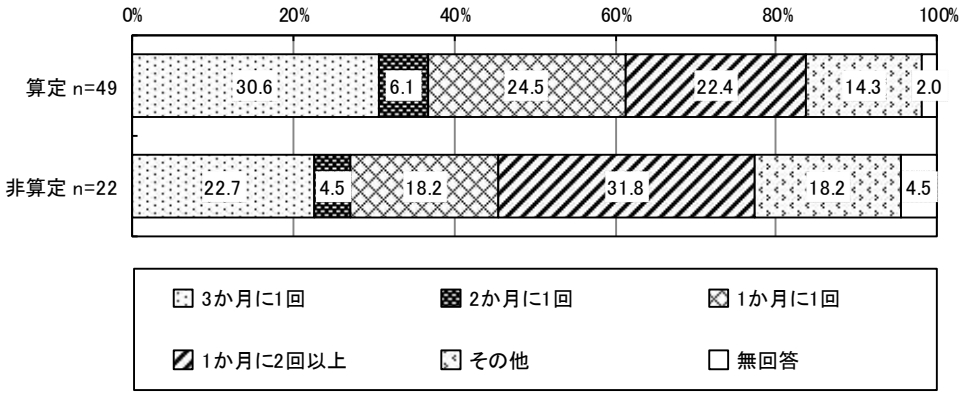

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

**図表 386　連携している職種**



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

**図表 387　連携先による訪問頻度**

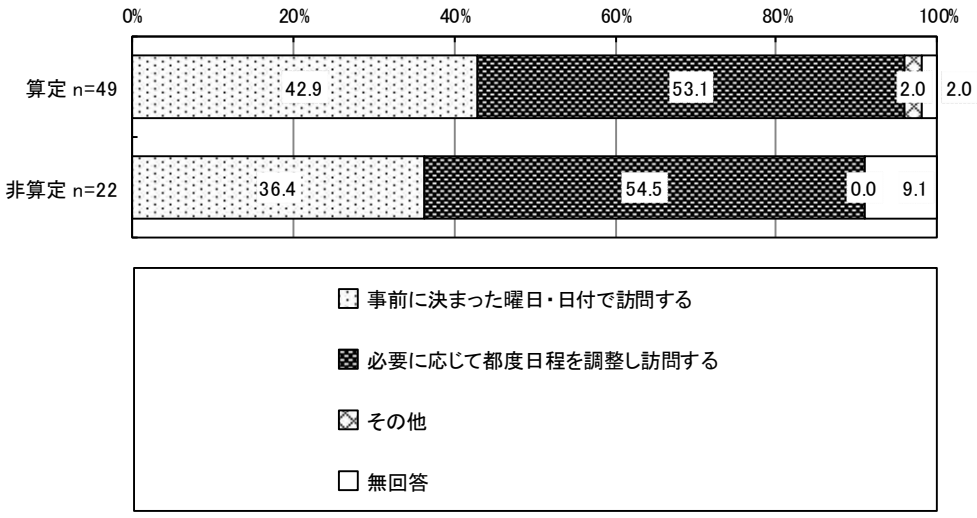



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）1 週間に 1 回
・（算定）希望時
・（非算定）1 週間に 1 回
・（非算定）退院時

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

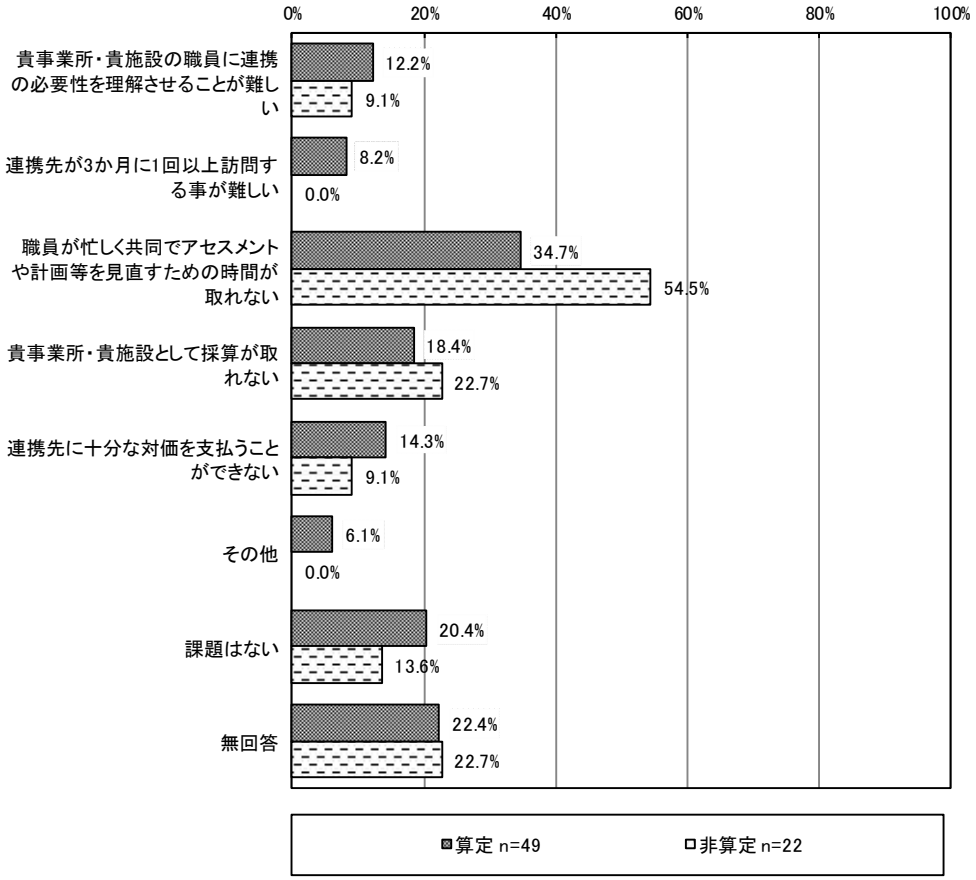
**図表 388　訪問日時は決められているか**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

**図表 389　連携先と連携を継続する上での課題**

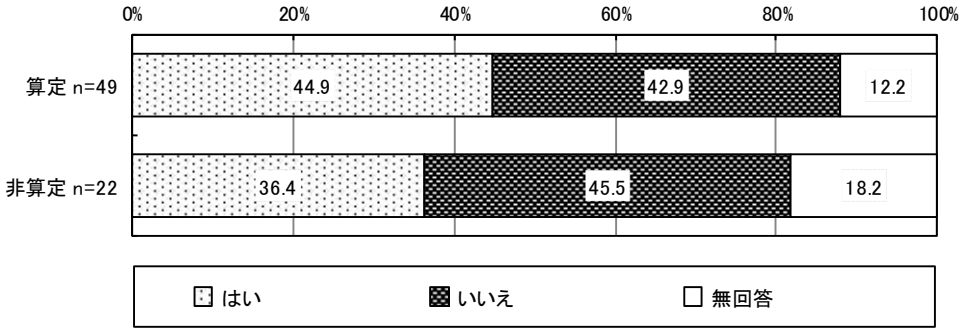



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（非算定は有効な回答無し）

・（算定）計画の見直し、毎月の評価など業務が増えて負担が大きい

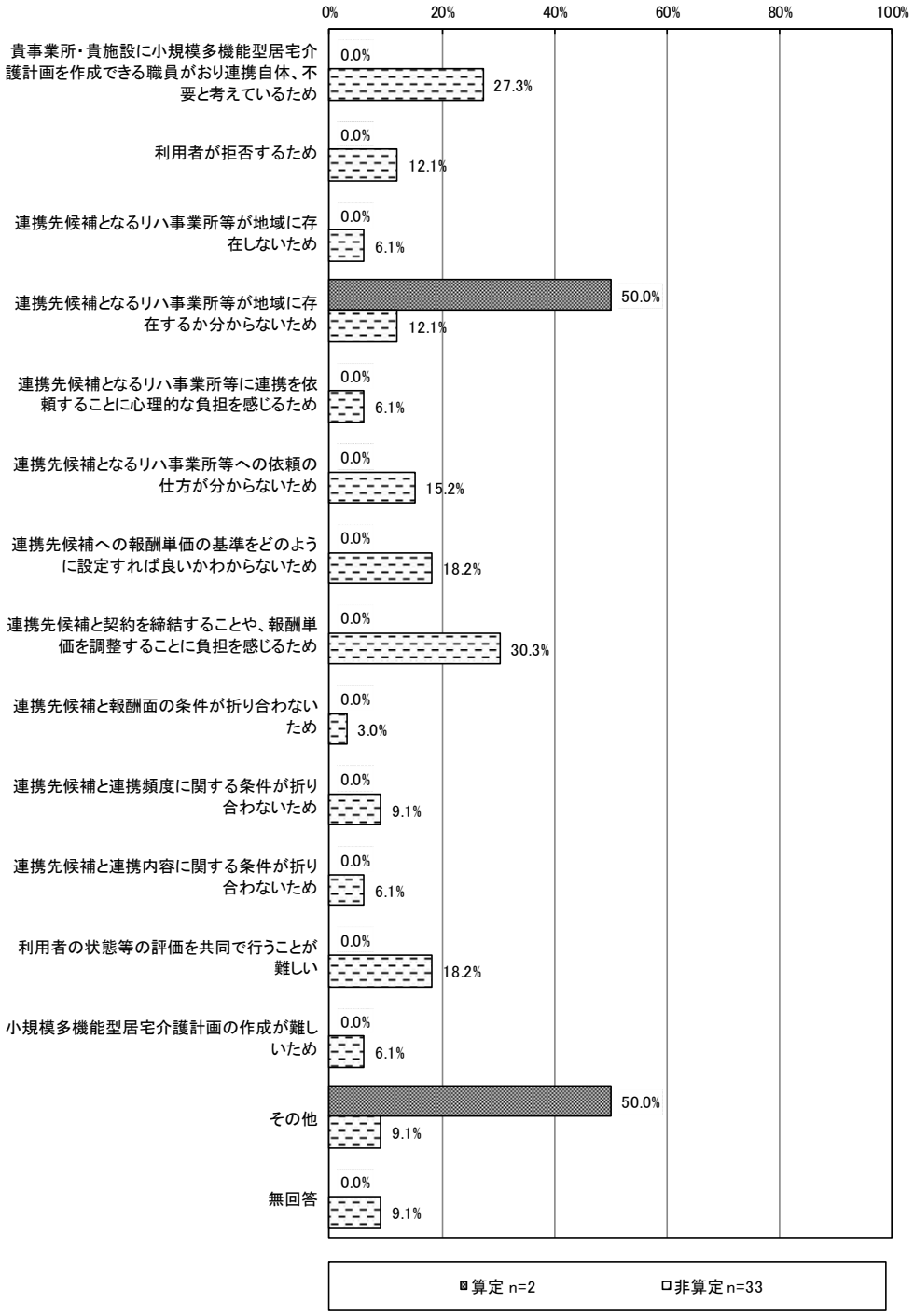
## ス） 連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 390　連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

**図表 391　連携していない理由**

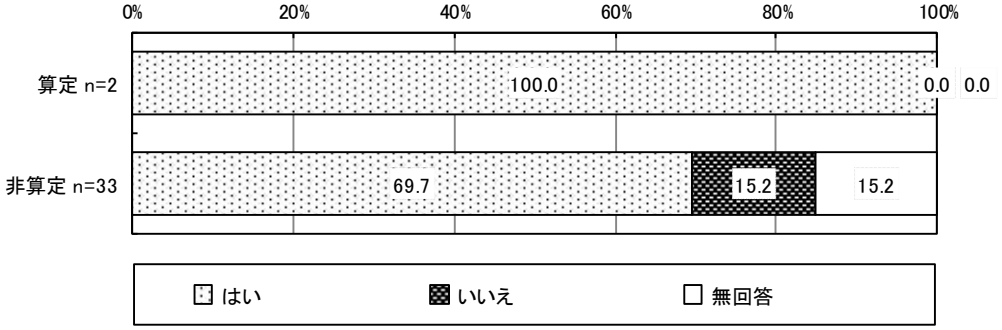



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）必要性を感じないため。

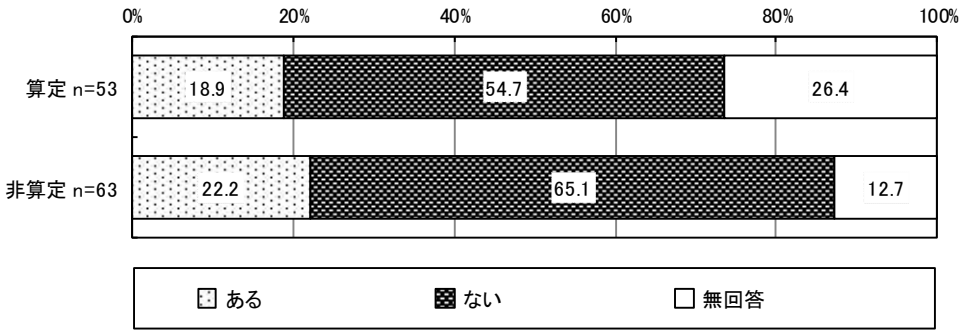
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

**図表 392　連携の必要性を感じているか**



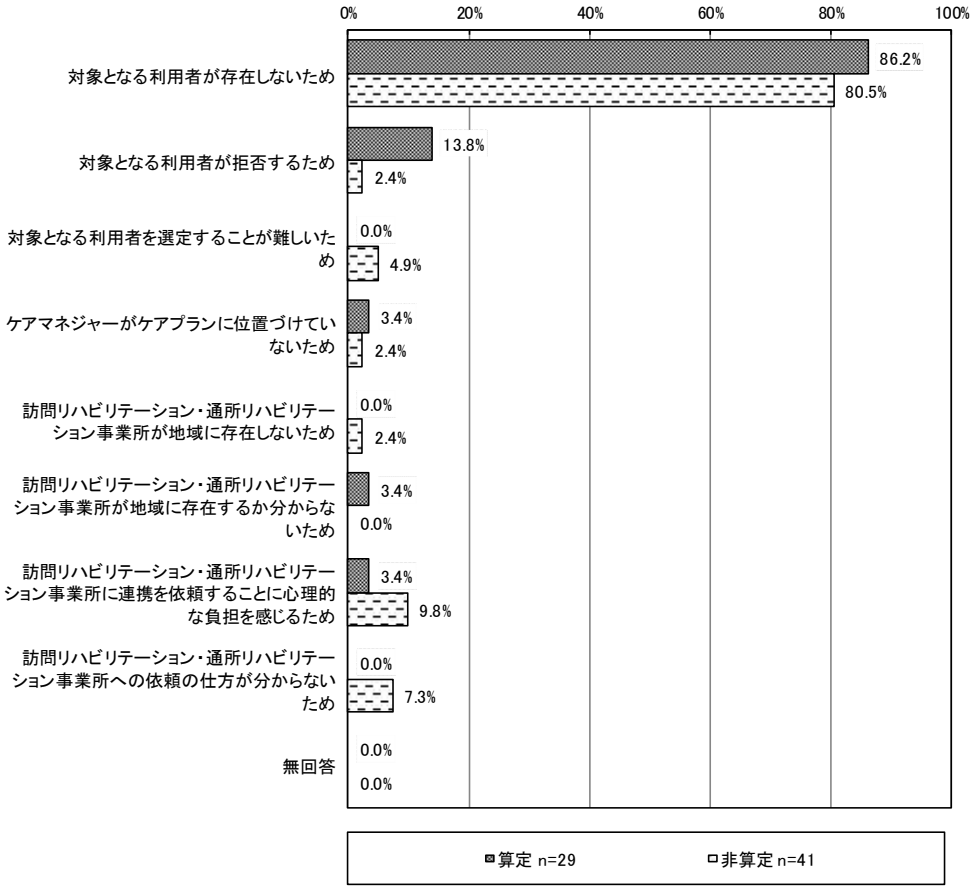

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

**図表 393　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績**



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

### 図表 394　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 395 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=42 | 23.8 | 19.0 | 14.3 | 14.3 | 2.4 | 57.1 | 59.5 | 23.8 | 35.7 | 0.0 |
| | 非算定 n=9 | 11.1 | 22.2 | 22.2 | 22.2 | 11.1 | 33.3 | 66.7 | 33.3 | 55.6 | 0.0 |
| 作業療法士 | 算定 n=42 | 23.8 | 26.2 | 7.1 | 14.3 | 0.0 | 31.0 | 33.3 | 19.0 | 23.8 | 4.8 |
| | 非算定 n=9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=42 | 9.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 非算定 n=9 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=42 | 2.4 | 9.5 | 54.8 | 57.1 | 54.8 | 50.0 | 45.2 | 19.0 | 28.6 |
| | 非算定 n=9 | 0.0 | 11.1 | 55.6 | 33.3 | 66.7 | 44.4 | 66.7 | 22.2 | 22.2 |
| 作業療法士 | 算定 n=42 | 2.4 | 2.4 | 21.4 | 26.2 | 28.6 | 31.0 | 26.2 | 16.7 | 57.1 |
| | 非算定 n=9 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 33.3 | 33.3 | 11.1 | 11.1 | 11.1 | 66.7 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=42 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 90.5 |
| | 非算定 n=9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 88.9 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 396 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院･診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=16 | 31.3 | 12.5 | 12.5 | 43.8 | 18.8 | 50.0 |
| | 非算定 n=3 | 33.3 | 33.3 | 33.3 | 66.7 | 0.0 | 33.3 |
| 病院･診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | 算定 n=16 | 12.5 | 18.8 | 56.3 | 12.5 | 18.8 | 37.5 |
| | 非算定 n=3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 66.7 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | 算定 n=16 | 6.3 | 0.0 | 12.5 | 6.3 | 6.3 | 81.3 |
| | 非算定 n=3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

**図表 397 連携先医師が対応した利用者のその他課題**

**〇算定**

・認知症の症状が重い。

・大腿骨頚部骨折後の ADL の低下。

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容（問 4-4）

**図表 398　効果的な助言の助言者と内容**

**○算定**

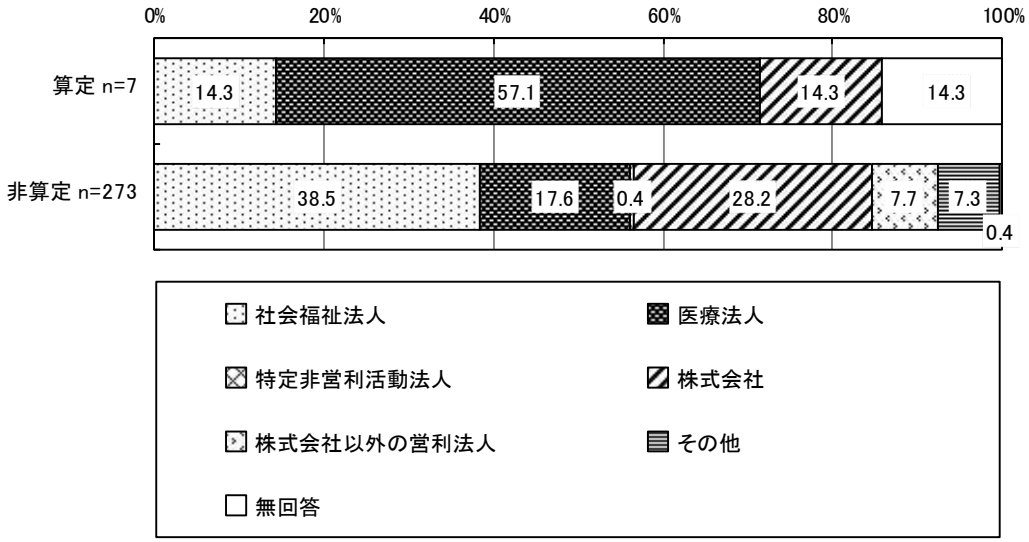
・（算定）作業療法士：難聴の利用者とコミュニケーションツールを使って対話するといった助言。ホワイトボードを使用し、できるだけ短めの文章で相手に伝え、コミュニケーションが取りやすくなった。
・（算定）作業療法士：半側空間無視のある利用者と、一緒に散歩に行き、できるだけ声をかけずにしっかり付いて、段差箇所があれば本人が注意して歩けるか観察するようにとのアドバイスを受けた。
・（算定）理学療法士：転倒後、歩行状態が悪くなった利用者がいたが、肩の筋肉の緊張をほぐすことにより、また以前の歩行に戻った。
・（算定）理学療法士：座位時に姿勢が崩れ、食べづらさを抱えていた片麻痺のある利用者について、車椅子を選び直しについて助言をもらった。

## （９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1-1）

**図表 399　法人種別**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）一般財団法人

### イ） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実施日数（問 1-2）

**図表 400　定期巡回・随時対応型訪問介護看護の実施日数**

（単位：日）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n= 5 | 30.0 | 0.0 | 30 | 30 | 30 |
| 非算定 n=197 | 29.8 | 2.1 | 30 | 30 | 0 |

### ウ） 登録者数（問 1-3）

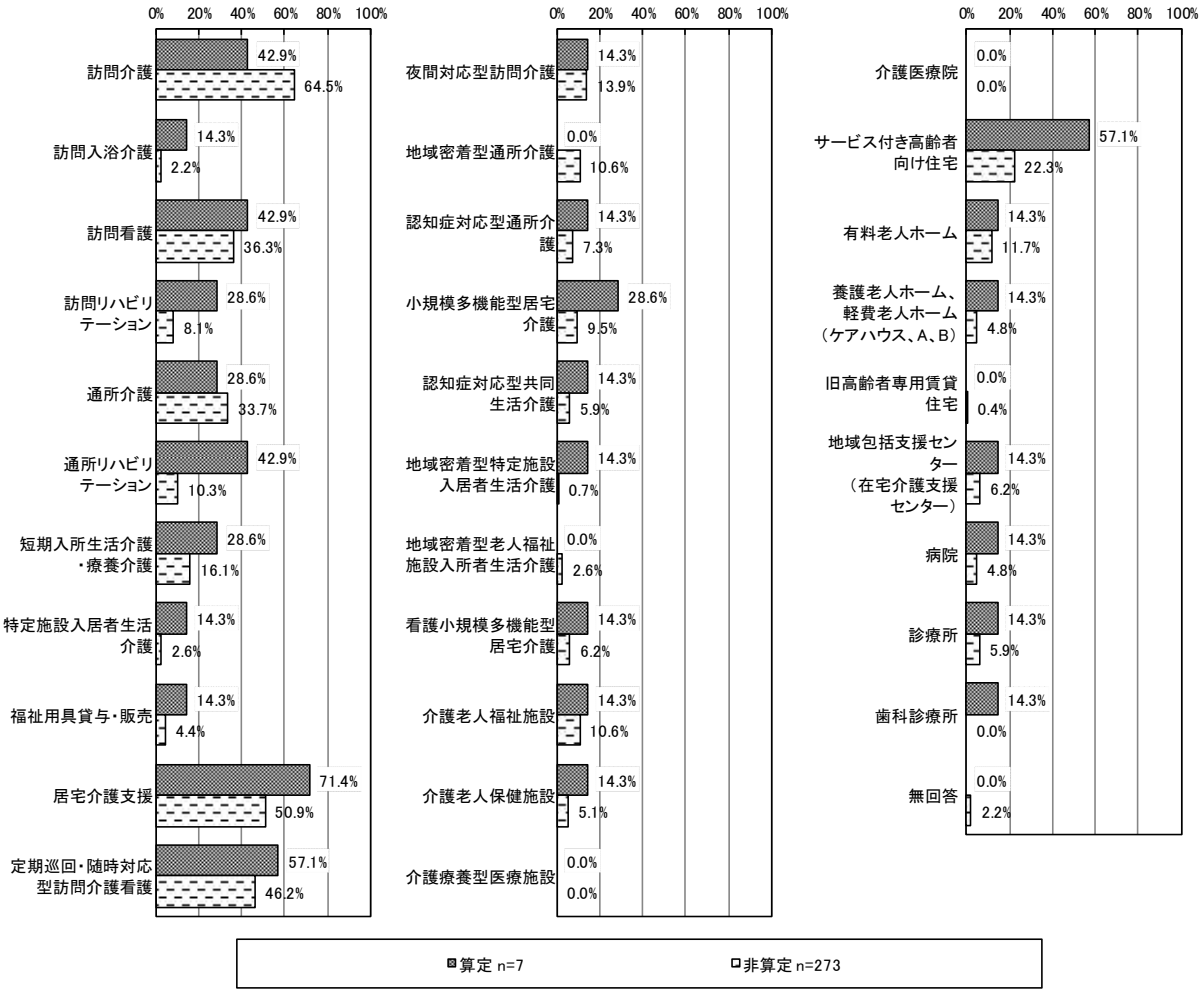
**図表 401　登録者数**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=5 | 35.6 | 19.3 | 33.0 | 60 | 11 |
| 非算定 n=195 | 25.9 | 27.0 | 20.0 | 195 | 1 |

## エ） 併設施設サービス（問 1-4）

**図表 402　併設施設サービス**



## オ） 要介護度別の利用者数（問 1-5）

**図表 403　要介護度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=7 | 28.4 | 17.5 | 19 | 60 | 11 |
| | 非算定 n=265 | 26.4 | 26.6 | 20 | 199 | 1 |
| 要介護1 | 算定 n=7 | 7.6 | 5.0 | 7 | 19 | 2 |
| | 非算定 n=265 | 7.5 | 9.1 | 5 | 96 | 0 |
| 要介護2 | 算定 n=7 | 7.0 | 6.0 | 4 | 19 | 2 |
| | 非算定 n=265 | 7.1 | 7.9 | 5 | 63 | 0 |
| 要介護3 | 算定 n=7 | 4.3 | 2.7 | 4 | 9 | 1 |
| | 非算定 n=265 | 4.8 | 5.3 | 3 | 41 | 0 |
| 要介護4 | 算定 n=7 | 5.7 | 5.7 | 5 | 19 | 1 |
| | 非算定 n=265 | 4.0 | 5.2 | 2 | 47 | 0 |
| 要介護5 | 算定 n=7 | 3.9 | 2.8 | 3 | 9 | 1 |
| | 非算定 n=265 | 2.8 | 4.5 | 1 | 49 | 0 |
| 申請中 | 算定 n=7 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 |
| | 非算定 n=265 | 0.1 | 0.5 | 0 | 4 | 0 |

## カ） 認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数（問 1-6）

**図表 404　認知症高齢者の日常生活自立度別の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | 算定 n=5 | 34.0 | 17.9 | 33 | 11 | 60 |
| | 非算定 n=192 | 22.5 | 20.7 | 17.5 | 1 | 130 |
| 自立 | 算定 n=5 | 0.6 | 1.2 | 0 | 0 | 3 |
| | 非算定 n=192 | 2.1 | 4.3 | 0 | 0 | 40 |
| Ⅰ | 算定 n=5 | 4.8 | 3.8 | 6 | 0 | 10 |
| | 非算定 n=192 | 3.6 | 5.3 | 2 | 0 | 36 |
| Ⅱa | 算定 n=5 | 9.0 | 8.1 | 5 | 3 | 25 |
| | 非算定 n=192 | 4.9 | 5.8 | 3 | 0 | 31 |
| Ⅱb | 算定 n=5 | 8.2 | 6.1 | 11 | 0 | 15 |
| | 非算定 n=192 | 5.3 | 6.7 | 3 | 0 | 34 |
| Ⅲa | 算定 n=5 | 4.4 | 2.4 | 4 | 1 | 8 |
| | 非算定 n=192 | 3.5 | 4.3 | 2 | 0 | 26 |
| Ⅲb | 算定 n=5 | 4.4 | 5.4 | 1 | 1 | 15 |
| | 非算定 n=192 | 1.5 | 2.7 | 0 | 0 | 16 |
| Ⅳ | 算定 n=5 | 1.2 | 1.0 | 2 | 0 | 2 |
| | 非算定 n=192 | 1.3 | 2.8 | 0 | 0 | 22 |
| M | 算定 n=5 | 1.4 | 2.3 | 0 | 0 | 6 |
| | 非算定 n=192 | 0.5 | 2.0 | 0 | 0 | 20 |

## キ） 令和元年 9 月 1 か月間の利用者数（問 1-7）

**図表 405　令和元年 9 月 1 か月間の利用者数**

（単位:人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=4 | 26.5 | 14.2 | 24.0 | 47 | 11 |
| 非算定 n=199 | 39.3 | 101.5 | 20.0 | 1055 | 1 |

## ク） 職員数（問 1-8）

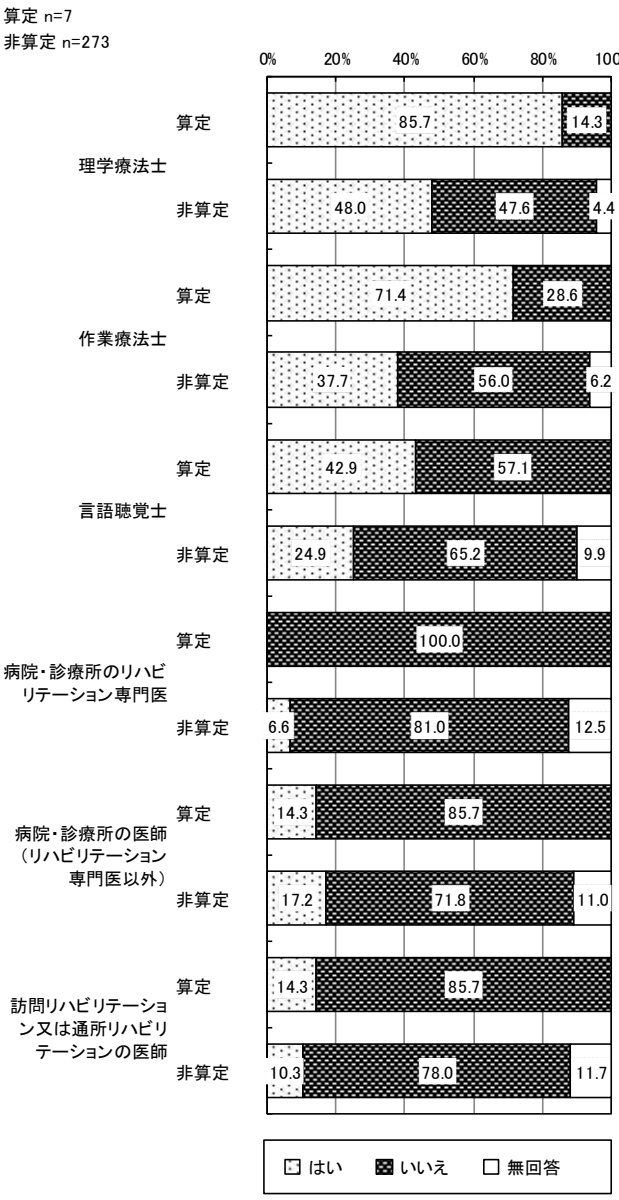
**図表 406　職員数**

（単位:人）

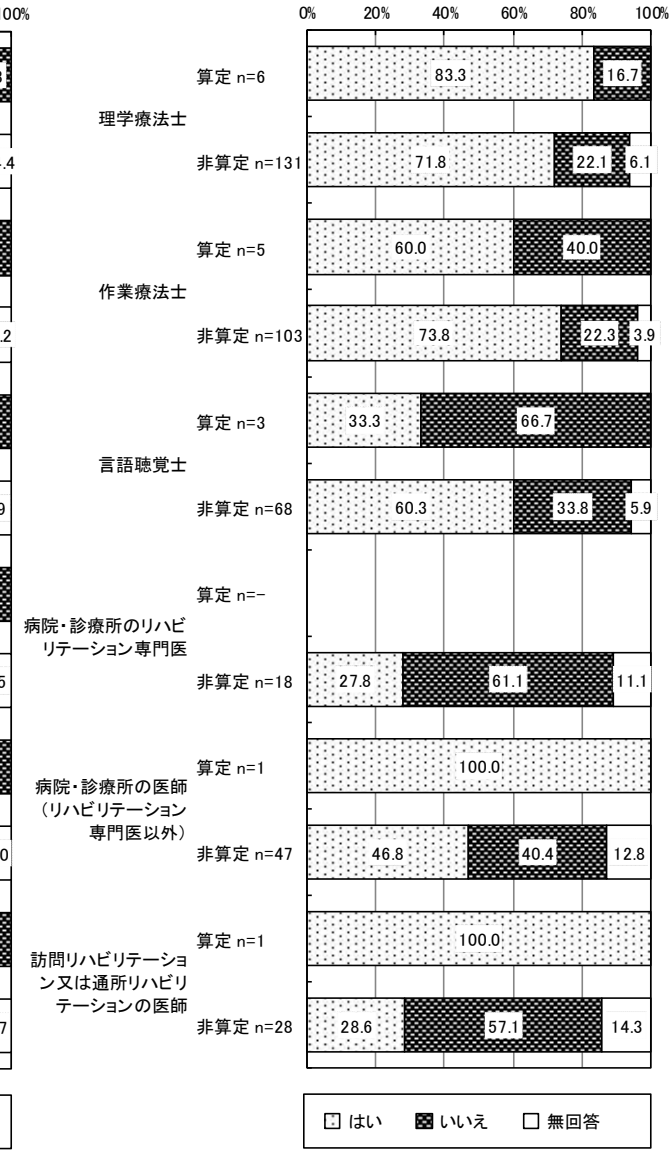
| 件数 | | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 管理者 | 常勤職員 | 算定 n=7 | 0.7 | 0.5 | 1 | 1 | 0 |
| | | 非算定 n=268 | 1.0 | 0.2 | 1 | 4 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=7 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=225 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.2 | 0.0 |
| オペレーター | 常勤職員 | 算定 n=7 | 8.7 | 6.0 | 9 | 16 | 1 |
| | | 非算定 n=268 | 6.9 | 5.9 | 6 | 52 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=7 | 4.2 | 4.3 | 1.3 | 10.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=225 | 2.3 | 3.7 | 0.7 | 21.0 | 0.0 |
| 訪問介護員等 | 常勤職員 | 算定 n=7 | 9.1 | 6.8 | 8 | 18 | 0 |
| | | 非算定 n=268 | 8.9 | 10.4 | 6 | 105 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=7 | 4.9 | 4.6 | 3.2 | 13.0 | 0.0 |
| | | 非算定 n=225 | 6.2 | 10.0 | 3.0 | 87.0 | 0.0 |
| 看護職員 | 常勤職員 | 算定 n=7 | 2.3 | 3.7 | 0 | 11 | 0 |
| | | 非算定 n=268 | 1.5 | 2.6 | 0 | 17 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=7 | 1.7 | 1.6 | 2.3 | 3.5 | 0.0 |
| | | 非算定 n=225 | 0.9 | 1.6 | 0.0 | 10.8 | 0.0 |
| その他職員 | 常勤職員 | 算定 n=7 | 0.6 | 0.9 | 0 | 2 | 0 |
| | | 非算定 n=268 | 0.4 | 1.1 | 0 | 8 | 0 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=7 | 0.3 | 0.5 | 0.0 | 1.5 | 0.0 |
| | | 非算定 n=225 | 0.2 | 0.7 | 0.0 | 7.0 | 0.0 |
| 全職員数 | 常勤職員 | 算定 n=7 | 21.4 | 15.1 | 24 | 39 | 1 |
| | | 非算定 n=268 | 18.7 | 15.5 | 15 | 127 | 1 |
| | 非常勤職員 | 算定 n=7 | 11.3 | 9.3 | 9.0 | 27.5 | 1.0 |
| | | 非算定 n=225 | 9.6 | 12.2 | 5.5 | 92.0 | 0.1 |

## ケ） 同一法人内の他事業所におけるリハ専門職等の存否および助言の有無（問 1-9）

**図表 407　同一法人内の他事業所にリハ専門職等は在籍しているか**

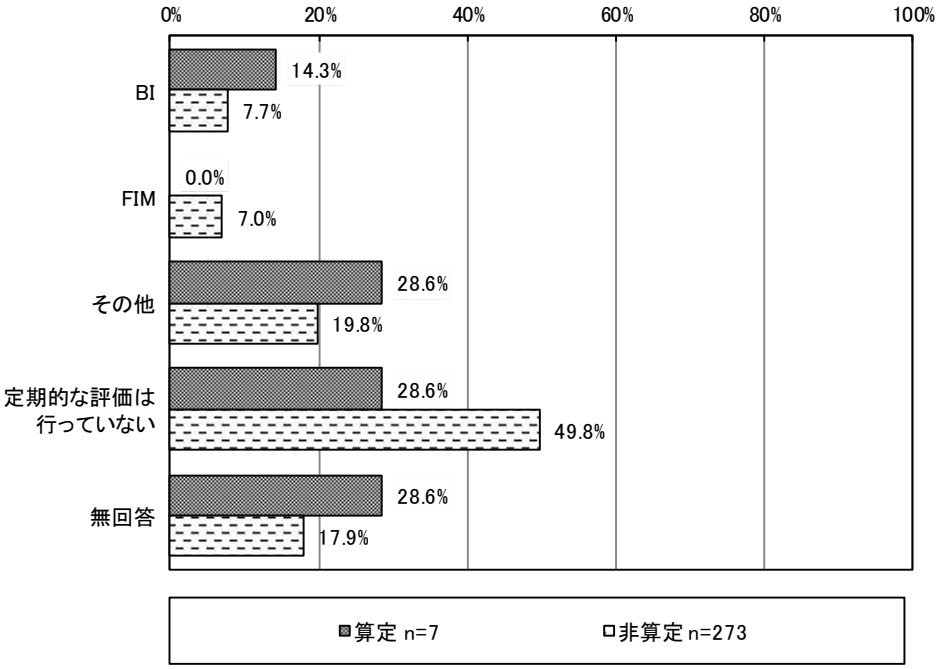



**図表 408　助言を行っているか**



## コ） 利用者の ADL・IADL の評価の指標（問 1-10）

図表 409　利用者の ADL・IADL の評価の指標



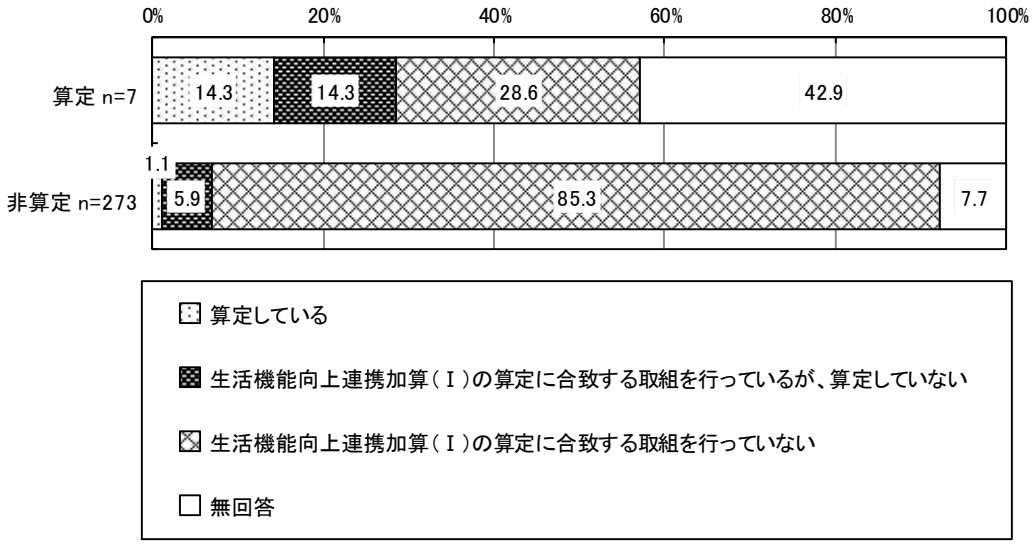

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）事業所独自の指標

## Ⅱ．加算の算定状況

### ア） 令和元年 9 月における生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組、利用者の実人数、連携したリハ専門職等の実人数（問 2-1）

**図表 410　令和元年 9 月の生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組　加算（Ⅰ）**




**図表 411　利用者の実人数　加算（Ⅰ）**

（単位：人）

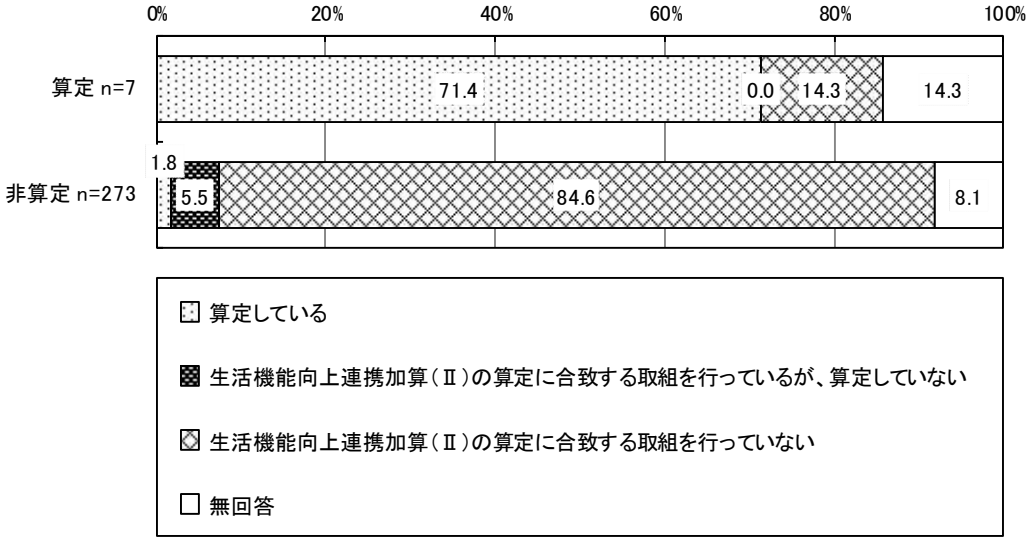
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 非算定 n=3 | 4.3 | 5.4 | 1.0 | 12 | 0 |

**図表 412　連携したリハ専門職等の実人数　加算（Ⅰ）**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 非算定 n=1 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 2 | 2 |

**図表 413　令和元年 9 月の生活機能向上連携加算の算定有無、算定に合致する取組　加算（Ⅱ）**




**図表 414　利用者の実人数　加算（Ⅱ）**

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=5 | 26.4 | 21.7 | 16.0 | 57 | 1 |
| 非算定 n=5 | 0.8 | 0.4 | 1.0 | 1 | 0 |

**図表 415　連携したリハ専門職等の実人数　加算（Ⅱ）**

（単位：人）

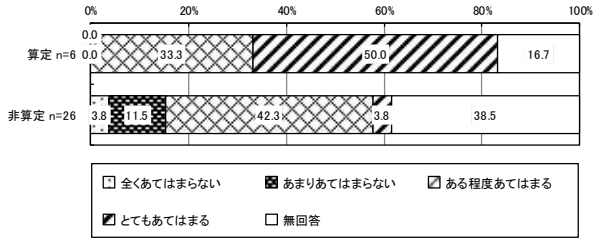
| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=4 | 3.5 | 1.5 | 4.0 | 5 | 1 |
| 非算定 n=4 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1 | 1 |

## イ） 生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット（問 2-2）

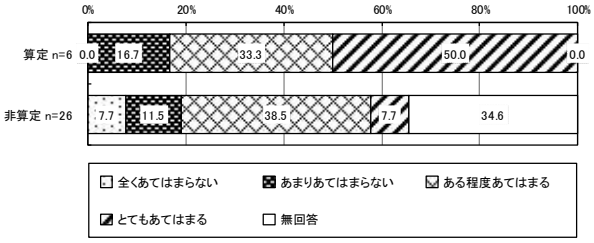
### 図表 416　生活機能向上連携加算の算定による利用者のメリット

**１）専門的な視点を踏まえ定期巡回・随時対応型訪問介護看護計画を作成できた**

**①要介護 1、2 の利用者**

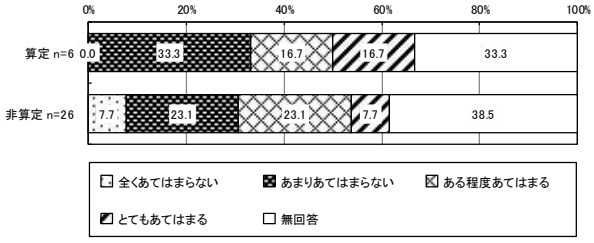



**②要介護 3～5 の利用者**

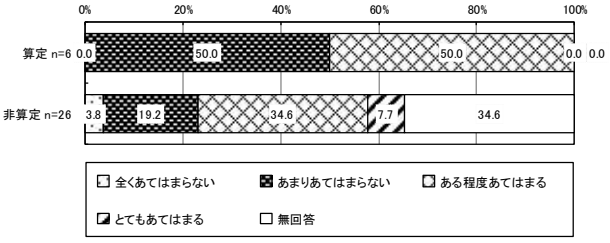



**２）一定時間座位の保持ができるようになり、座って食事ができるようになるなど、利用者にとって良い効果につながった**

**①要介護 1、2 の利用者**

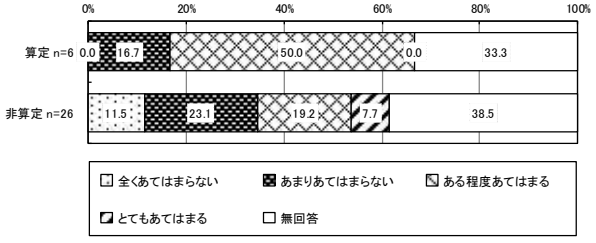



**②要介護 3～5 の利用者**

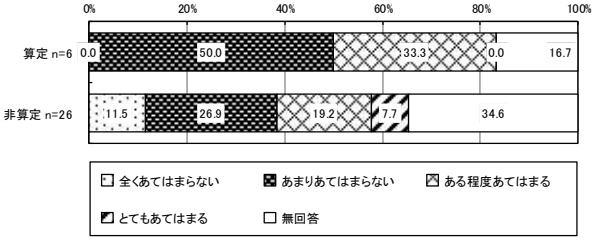



**３）食事や清掃、洗濯、買物など利用者のできることが増えた**

**①要介護 1、2 の利用者**

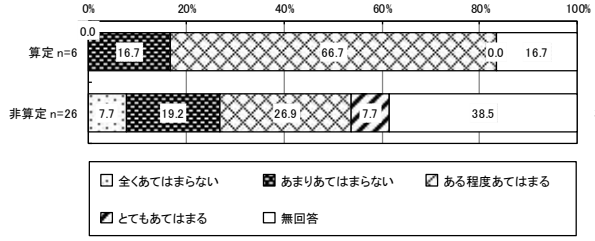



**②要介護 3～5 の利用者**

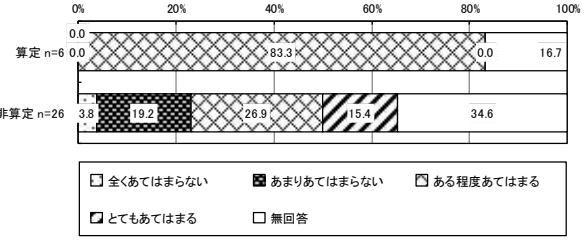


**4）椅子やテーブルの高さ、配置など、生活環境面での助言を受けることができた**

**①要介護 1、2 の利用者**

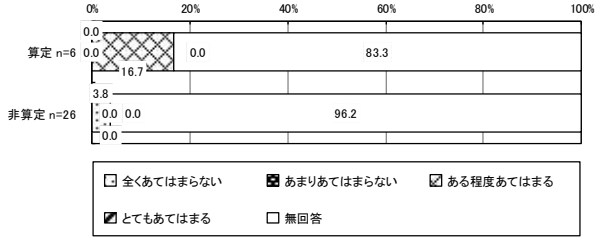



**②要介護 3～5 の利用者**

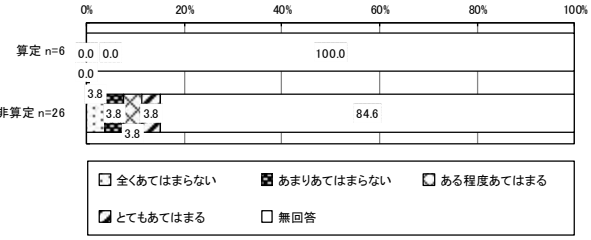



**5）その他**

**①要介護 1、2 の利用者**




**②要介護 3～5 の利用者**




①要介護 1、2 の利用者

※その他として挙げられた有効な回答は無し。

②要介護 3～5 の利用者

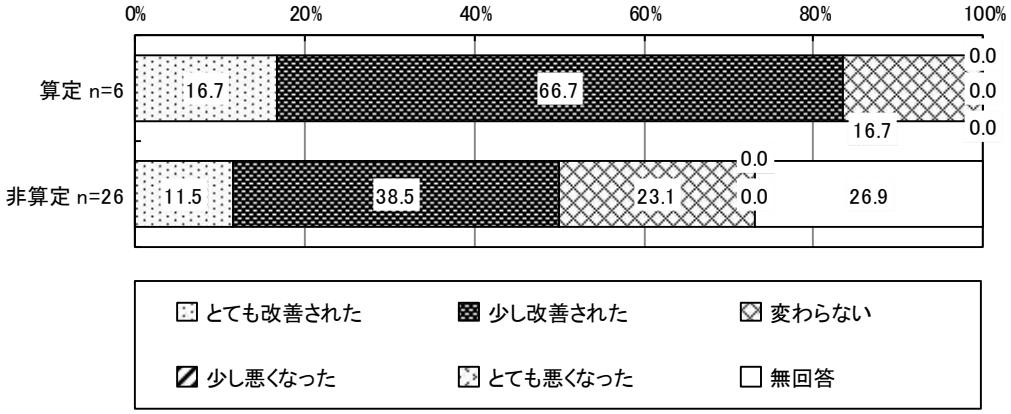
※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）排泄動作を円滑に行えるようになった。

・（非算定）車椅子による自走ができるようになった。

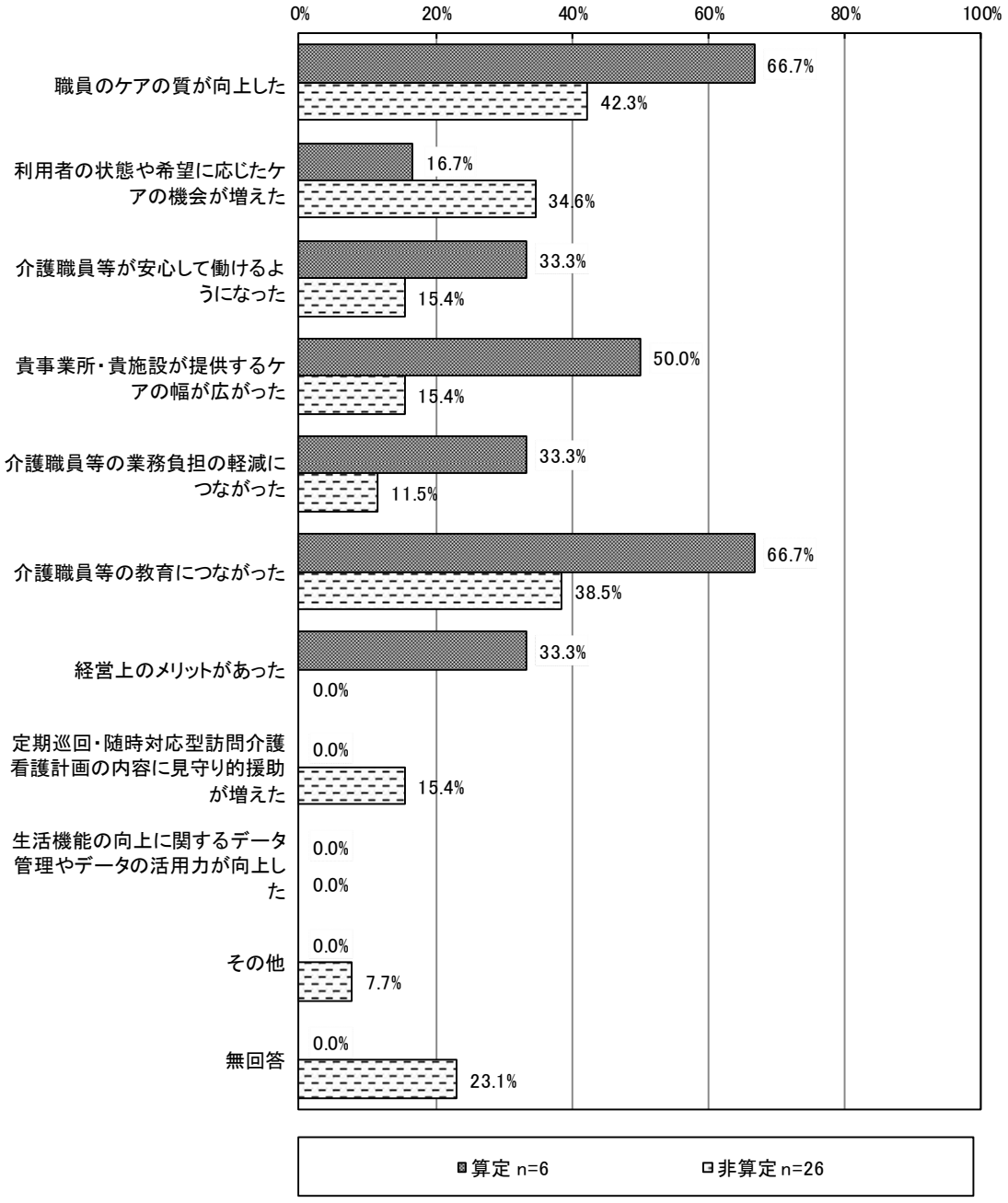
## ウ） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護計画の改善状況（問 2-3）

**図表 417　定期巡回・随時対応型訪問介護看護計画の改善状況**



## エ） 連携による施設側のメリット（問 2-4）

**図表 418　連携による施設側のメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） リハ事業所等に支払うべき報酬の総額（問 2-5）

### 図表 419　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額　生活機能向上連携加算（Ⅰ）

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=2 | 900.0 | 900.0 | 900 | 1800 | 0 |
| 非算定 n=3 | 666.7 | 942.8 | 0 | 2000 | 0 |

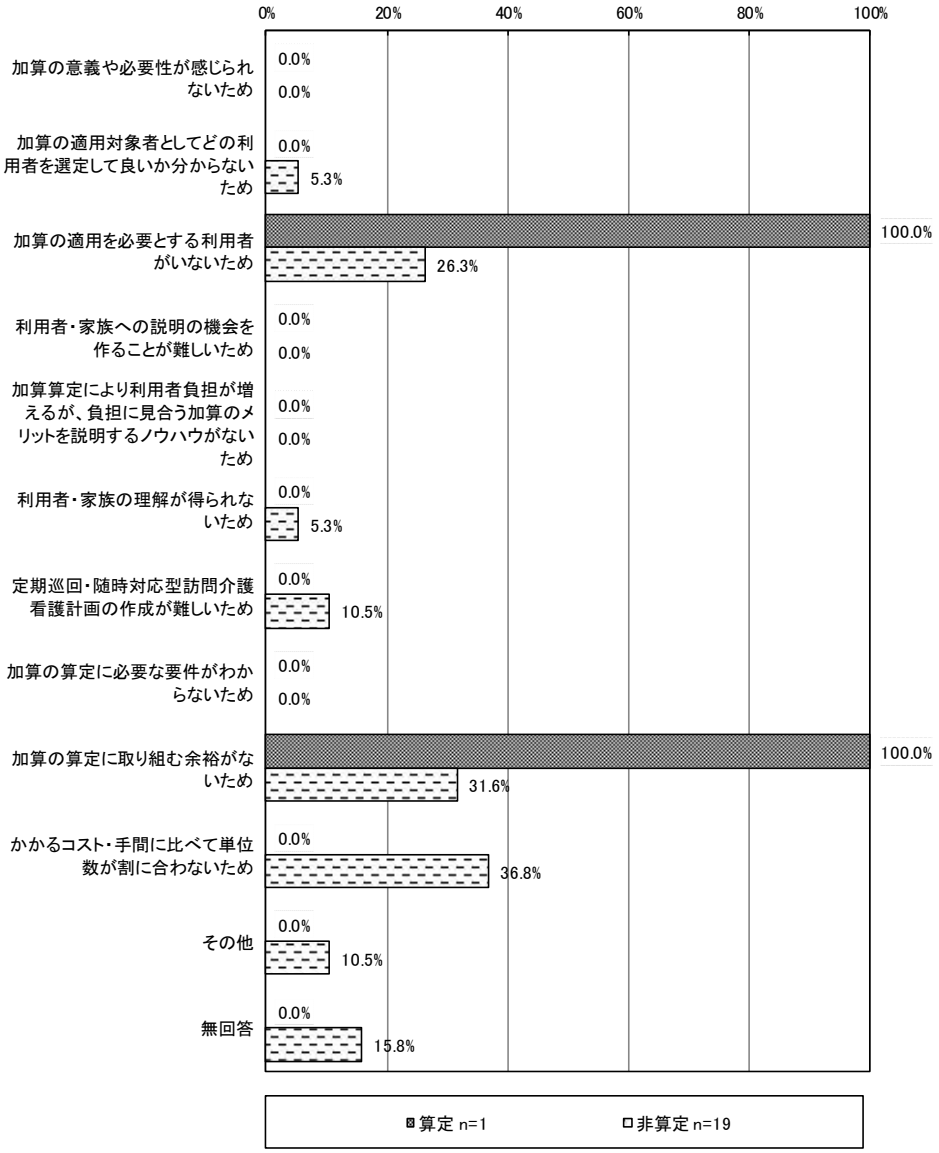
### 図表 420　リハ事業所等に支払うべき報酬の総額　生活機能向上連携加算（Ⅱ）

（単位:円）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=4 | 760.5 | 845.0 | 500 | 2042 | 0 |
| 非算定 n=5 | 40.0 | 80.0 | 0 | 200 | 0 |

## カ） 取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由（問 2-6）

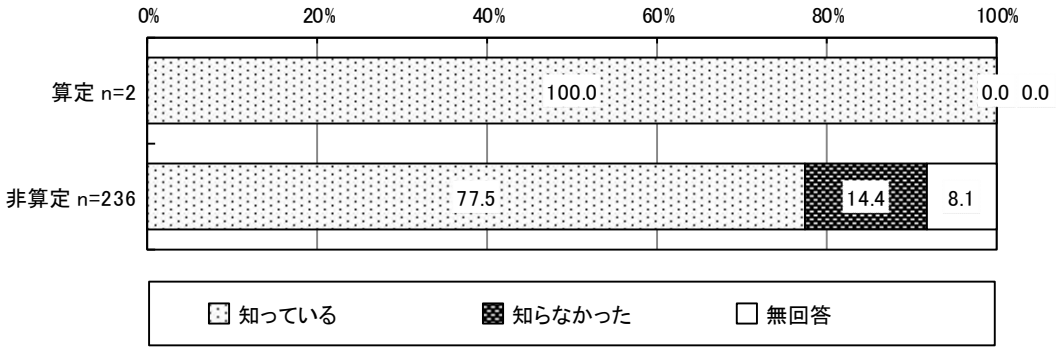
**図表 421　取組を行っているが、生活機能向上連携加算を算定しない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

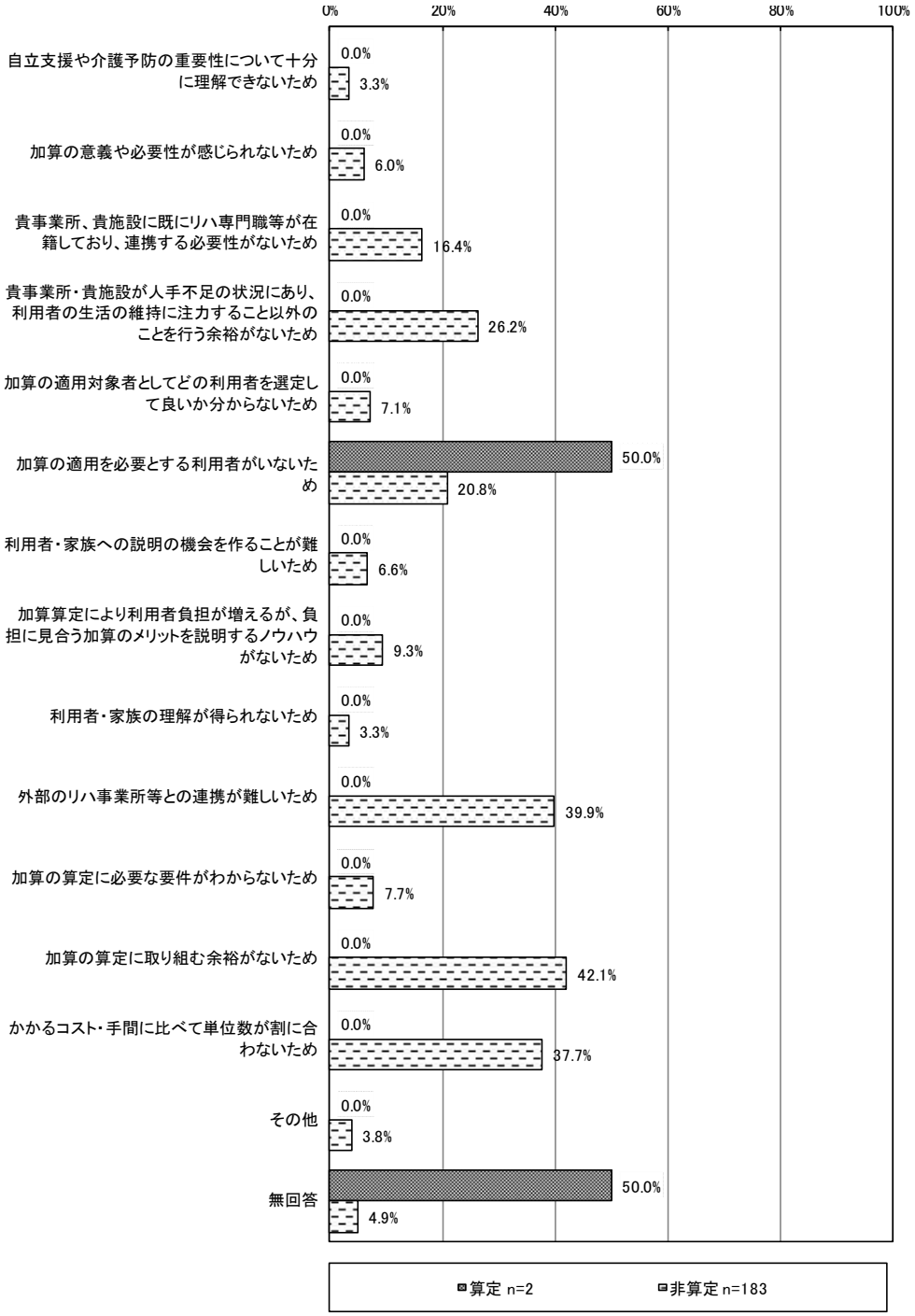
## キ） 生活機能向上連携加算を知っているか（問 2-7）

図表 422　生活機能向上連携加算を知っているか



## ク） 加算を算定していない理由（問 2-8）

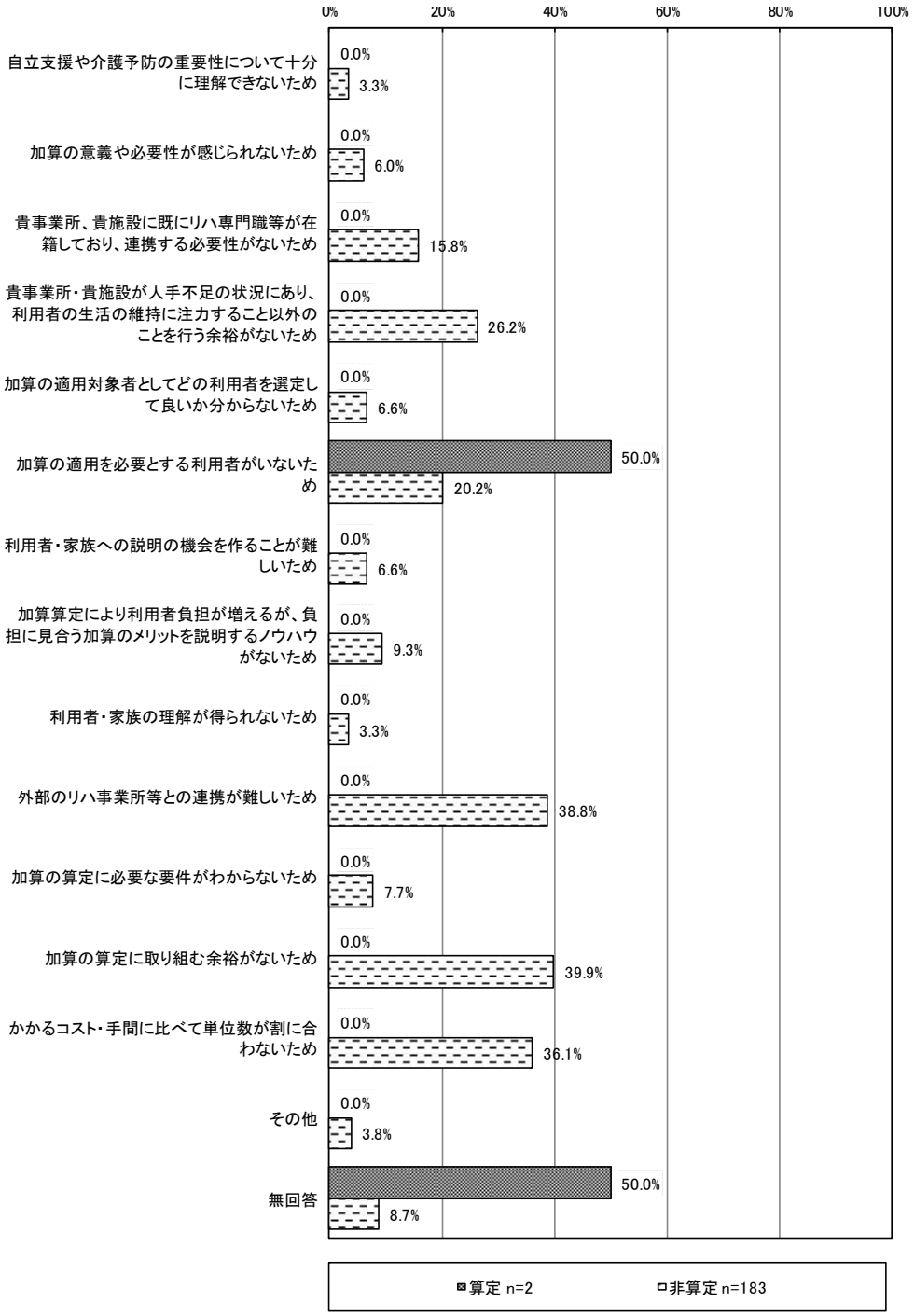
**図表 423　加算（Ⅰ）を算定していない理由**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（非算定）短時間の訪問で取り組むのは困難であるため。

**図表 424　加算（Ⅱ）を算定していない理由**

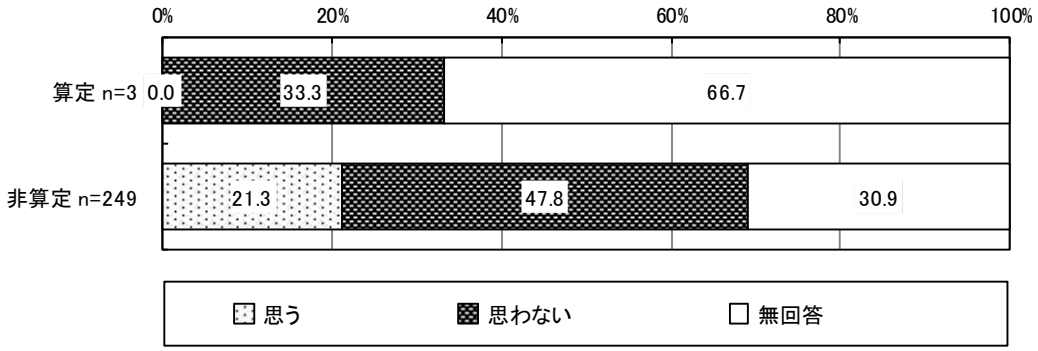



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（非算定）短時間の訪問で取り組むのは困難であるため。

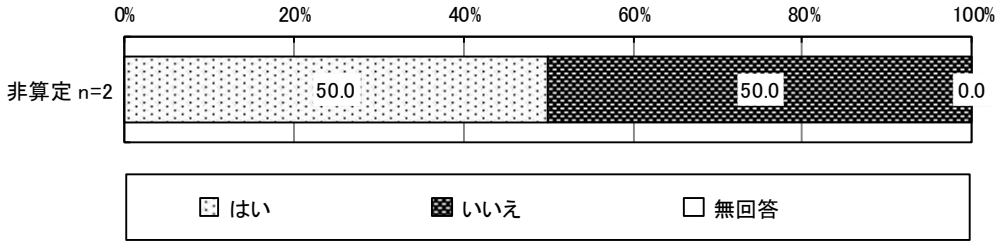
## ケ） ICT が活用できた場合、加算が算定できると思うか（問 2-9）

**図表 425　ICT が活用できた場合、加算が算定できると思うか**




## コ） ICT 活用の有無と人数（問 2-10）

**図表 426　ICT 活用の有無と人数**

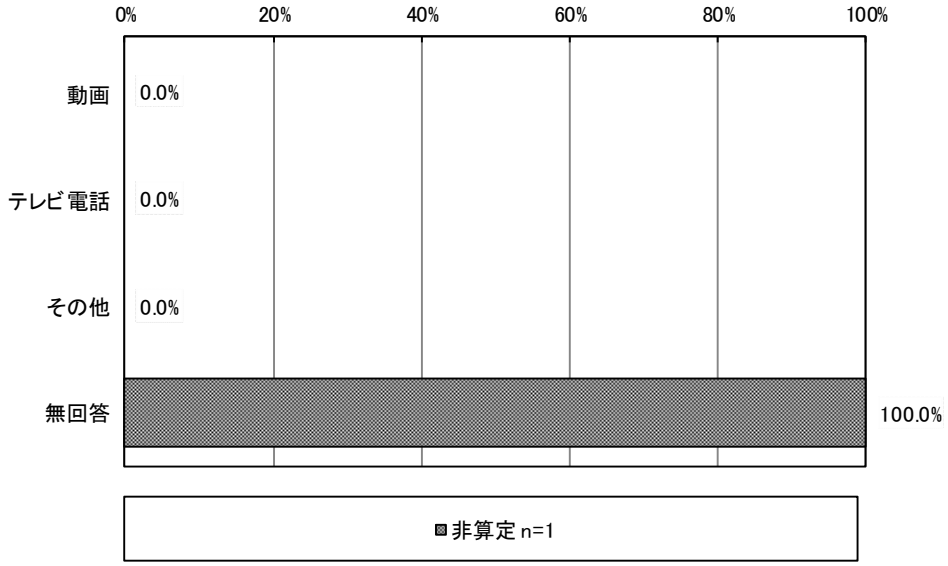



（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 非算定 n=1 | 1.0 | 0.0 | 1.0 | 1 | 1 |

## サ） ICT による利用者の状態把握方法（問 2-11）

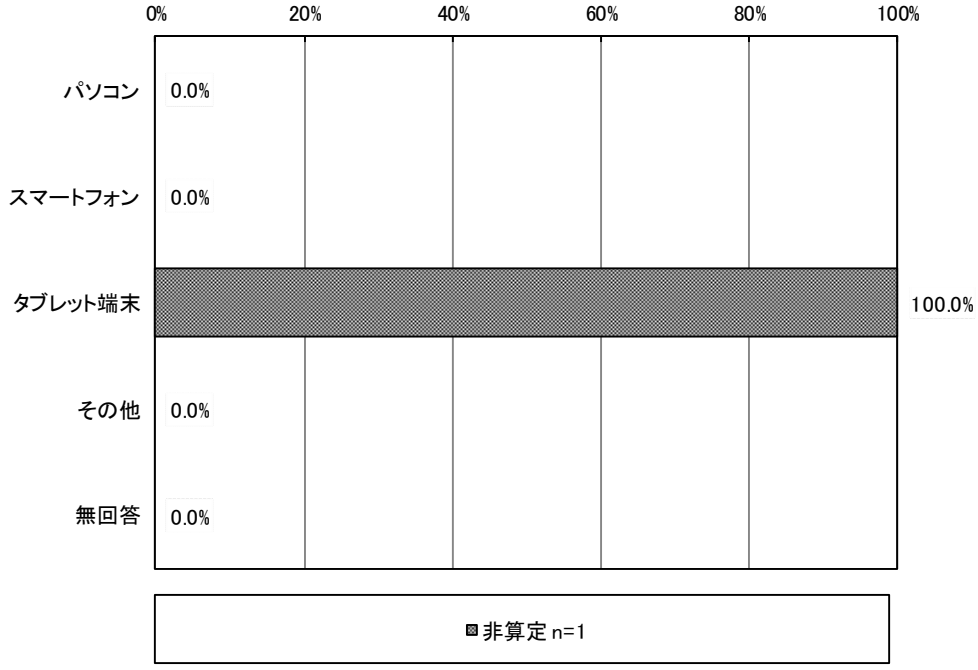
図表 427　ICT による利用者の状態把握方法




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## シ） 活用している ICT 機器（問 2-12）

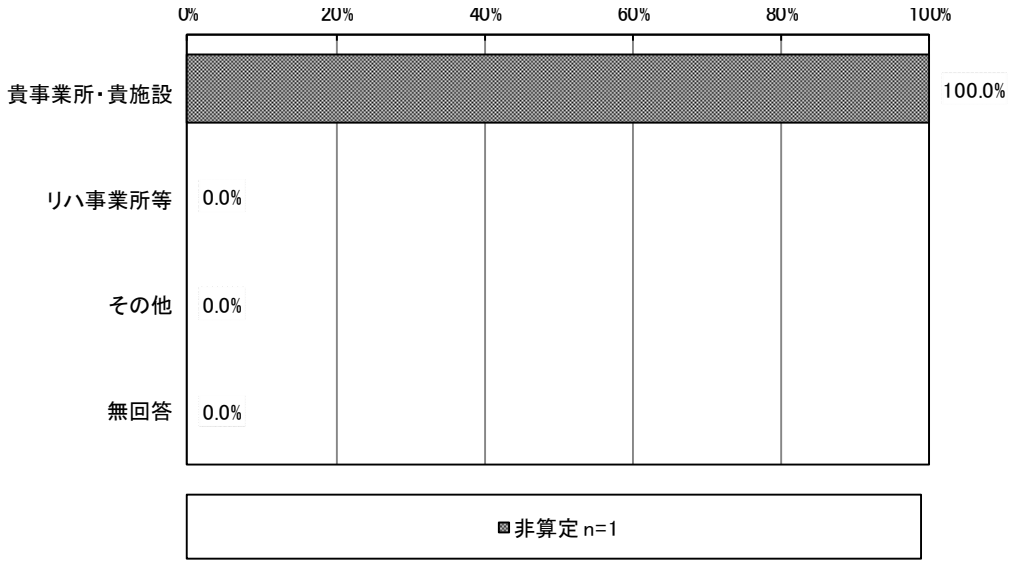
図表 428　活用している ICT 機器




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ス） ICT 機器購入者（問 2-13）

図表 429　ICT 機器購入者



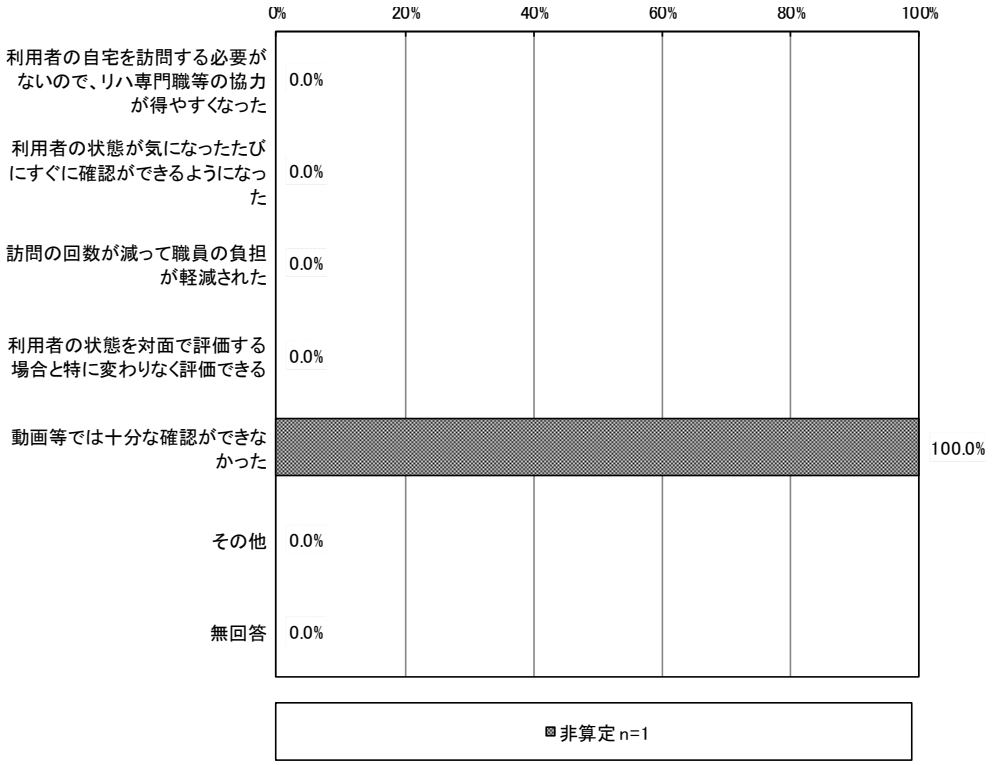

※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## セ） 利用者 1 人に対する ICT 利用回数（問 2-14）

回答は無し。

## ソ） ICT 活用の影響（問 2-15）

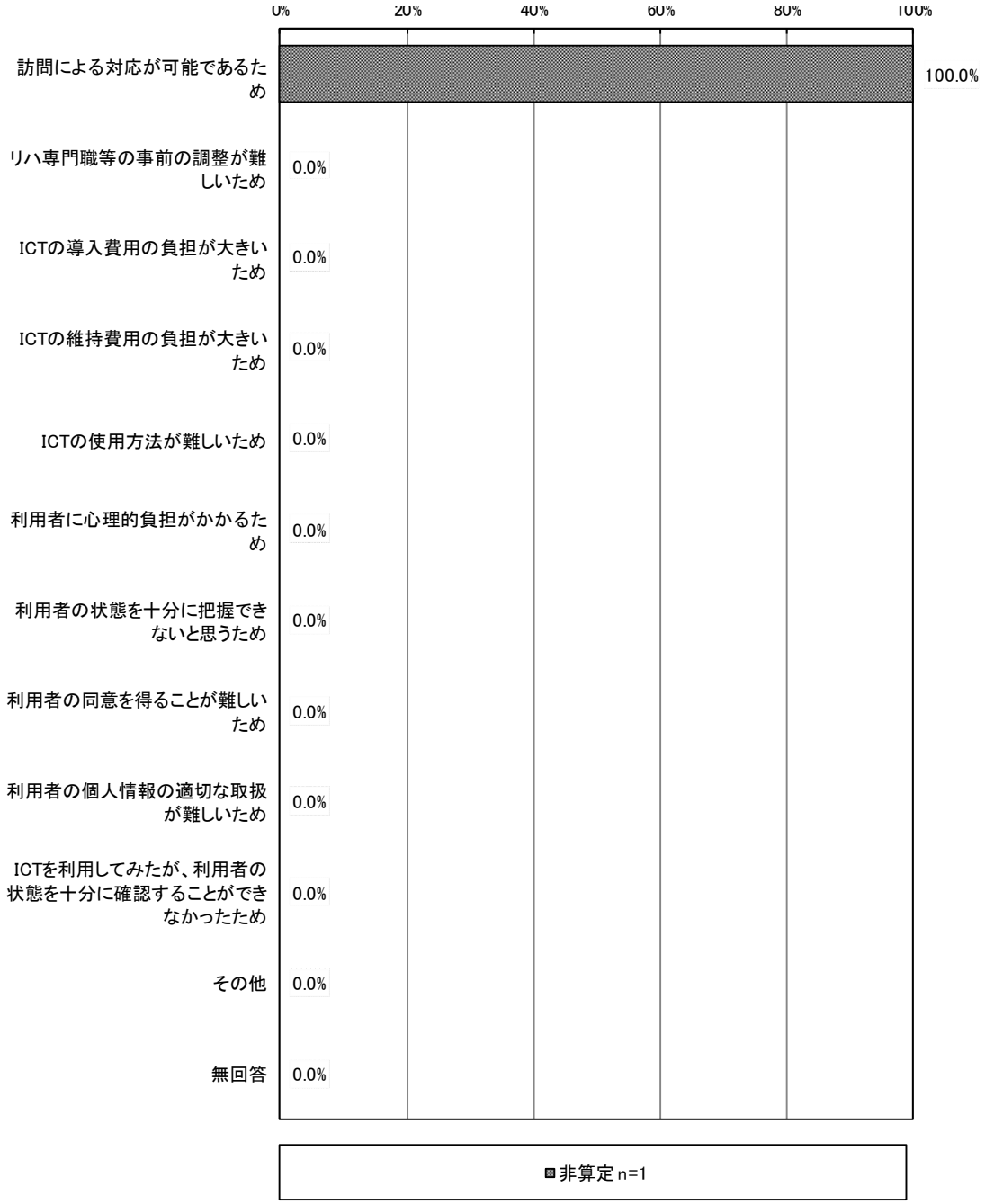
図表 430　ICT 活用の影響




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## タ） ICT を利用しない理由（問 2-16）

図表 431　ICT を利用しない理由

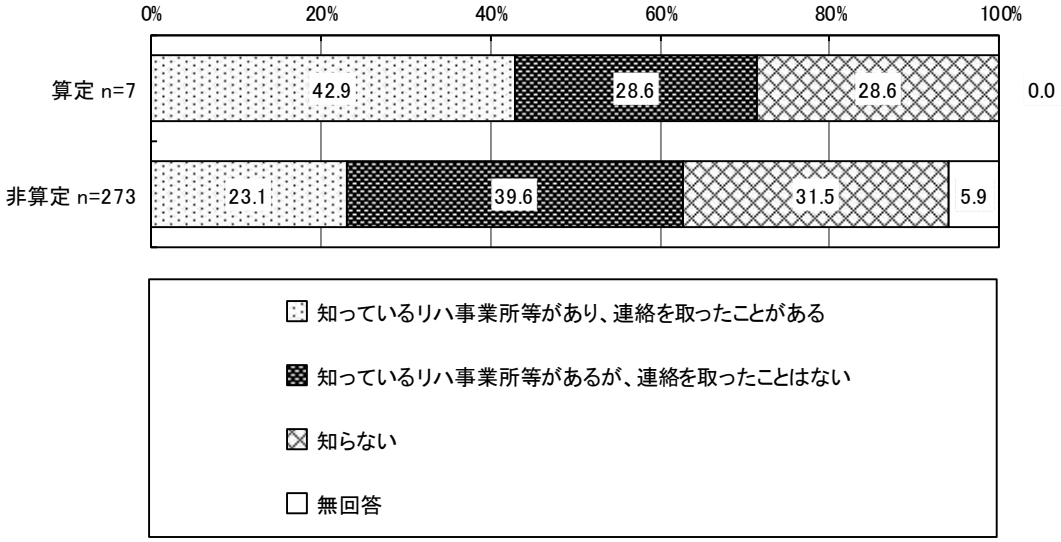



※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## Ⅲ．外部との連携状況

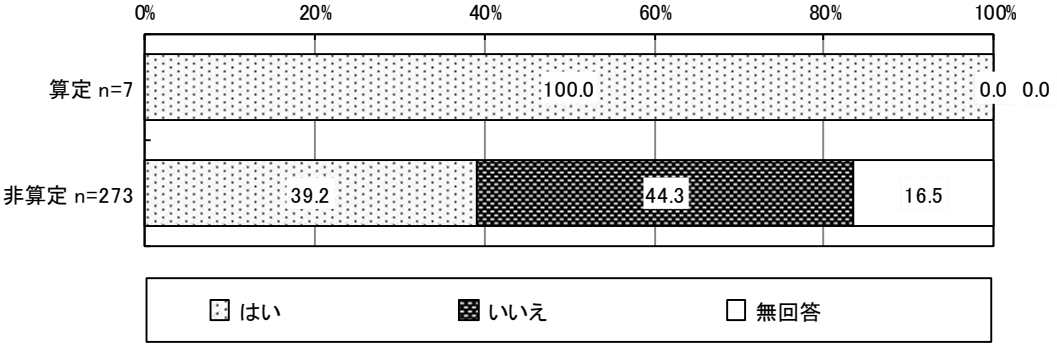
### ア） 近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか（問 3-1）

**図表 432　近隣地域において、リハ専門職等を派遣しているリハ事業所等を知っているか**



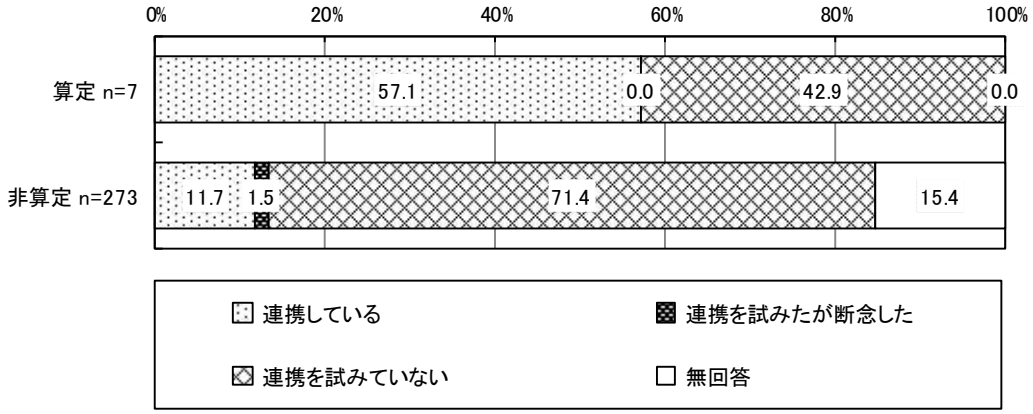

### イ） 生活機能の向上を目指した利用者の定期評価（問 3-2）

**図表 433　生活機能の向上を目指して利用者の定期評価を行っているか**



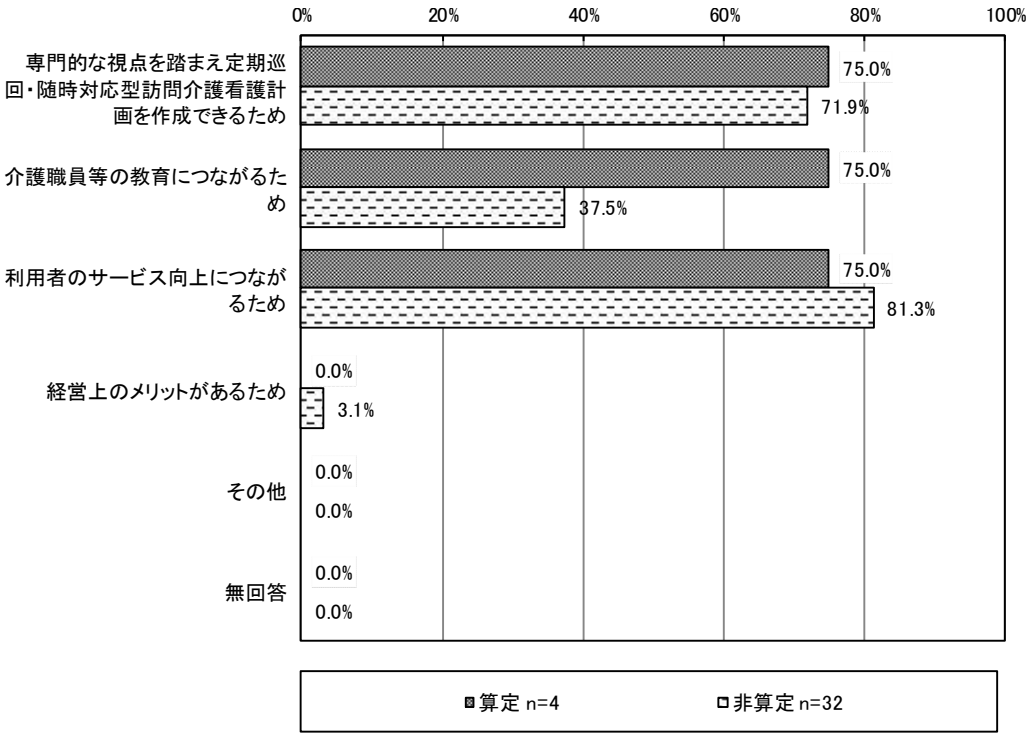
## ウ） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況（問 3-3）

**図表 434　定期巡回・随時対応型訪問介護看護計画の作成における外部のリハ事業所等との連携状況**




## エ） 連携している理由（問 3-4）

**図表 435　連携している理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 連携している外部のリハ事業所等の件数（問 3-5）

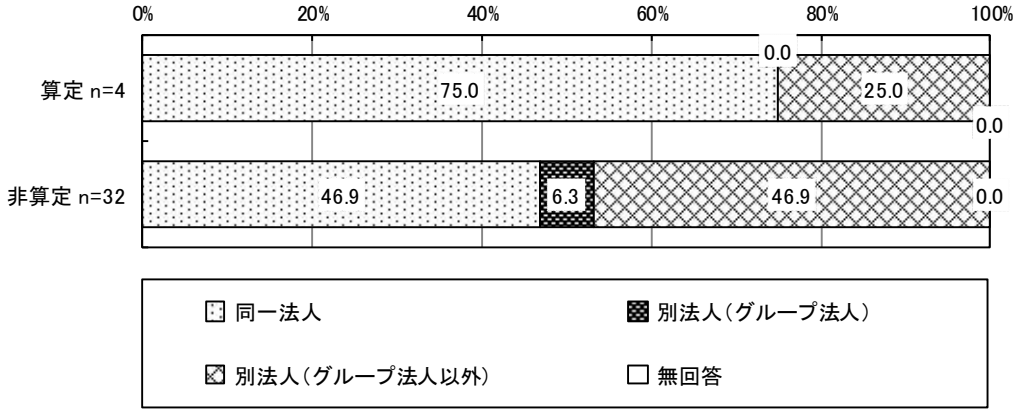
**図表 436　連携している外部のリハ事業所等の件数**

（単位:件）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 算定 n=4 | 2.3 | 1.6 | 1.5 | 5 | 1 |
| 非算定 n=27 | 1.8 | 1.1 | 1 | 4 | 0 |

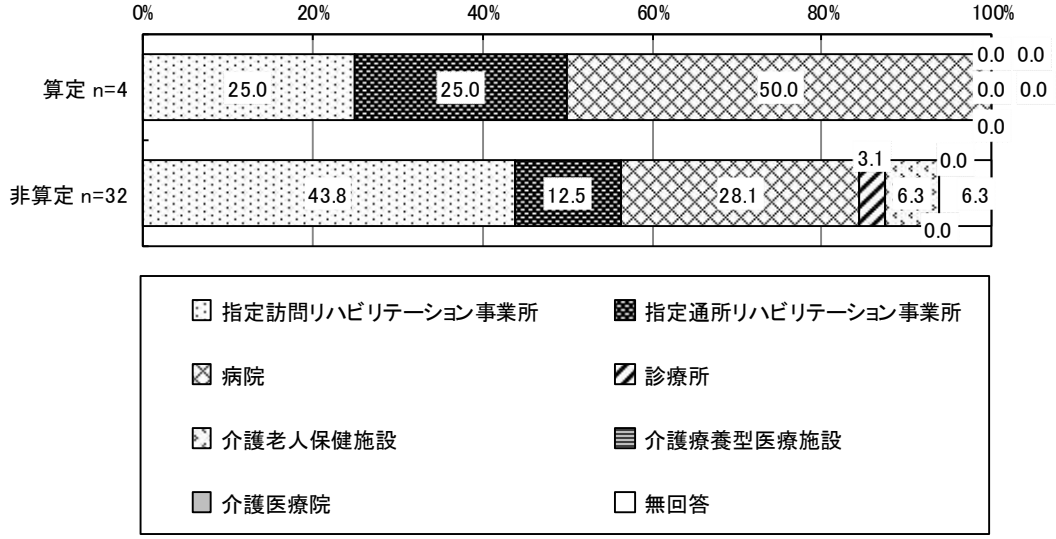
## カ） 連携先は同一法人内か否か（問 3-6）

**図表 437　連携先は同一法人内か否か**



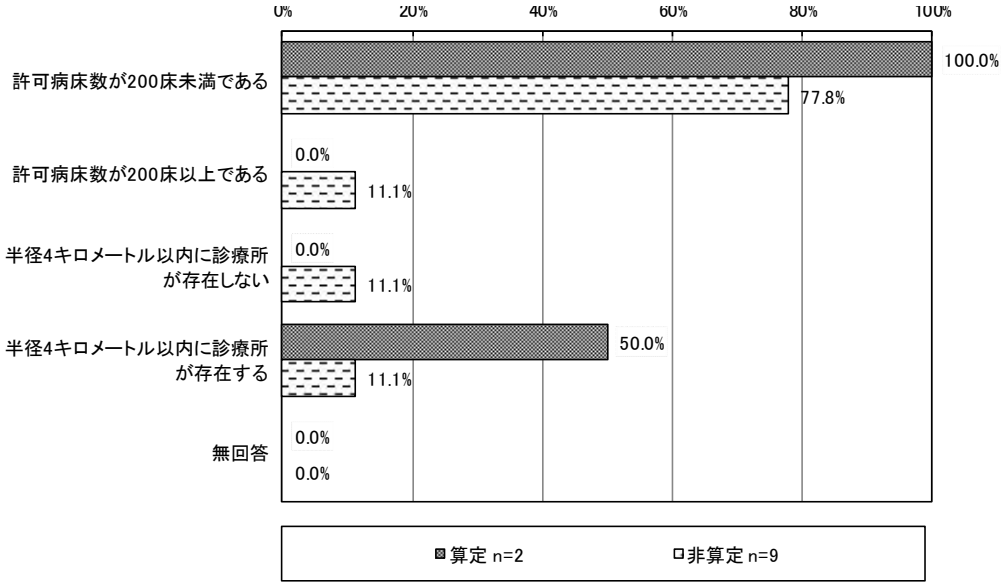

## キ） 連携先となる事業所・施設（問 3-7）

**図表 438　連携先となる事業所・施設**



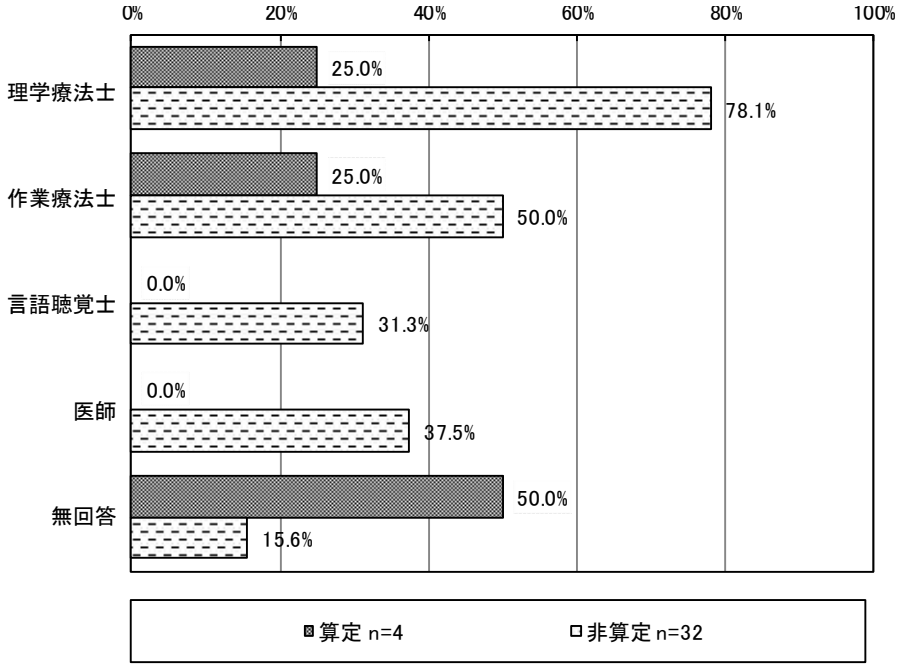
## ク） 連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況（問 3-8）

図表 439　連携先病院の許可病床数および周辺の診療所の状況



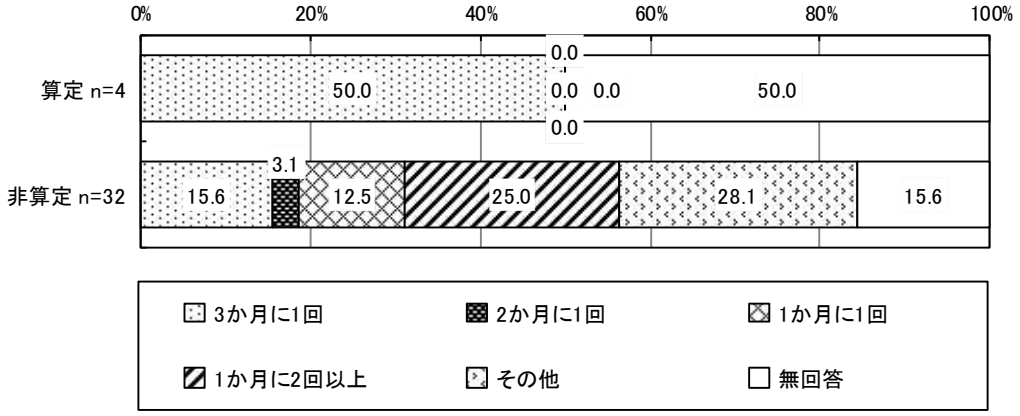

## ケ） 連携している職種（問 3-9）

図表 440　連携している職種



## コ） 連携先による訪問頻度（問 3-10）

**図表 441　連携先による訪問頻度**



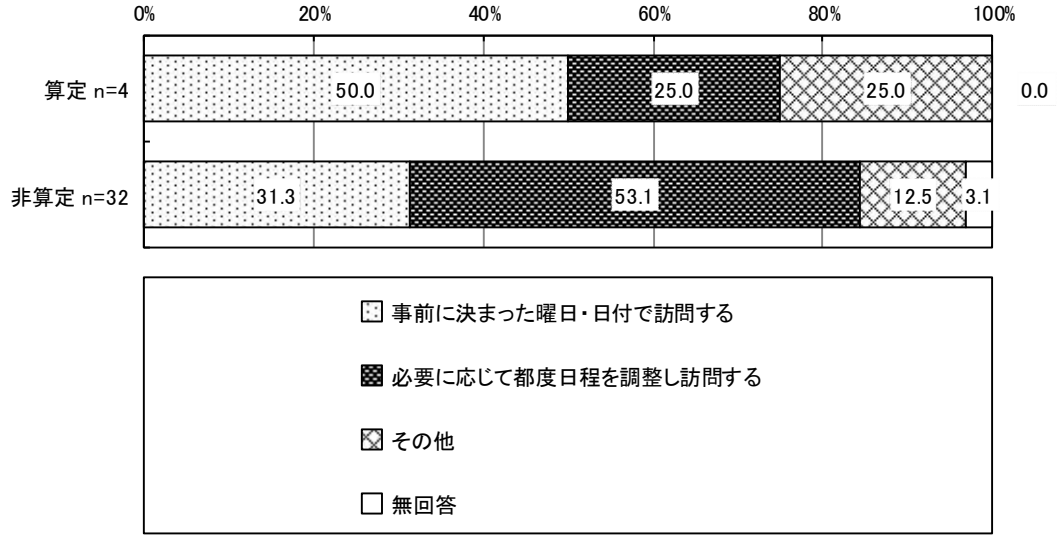

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）一週間に一回

・（非算定）退所前・入所前訪問時

## サ） 訪問日時は決められているか（問 3-11）

**図表 442　訪問日時は決められているか**

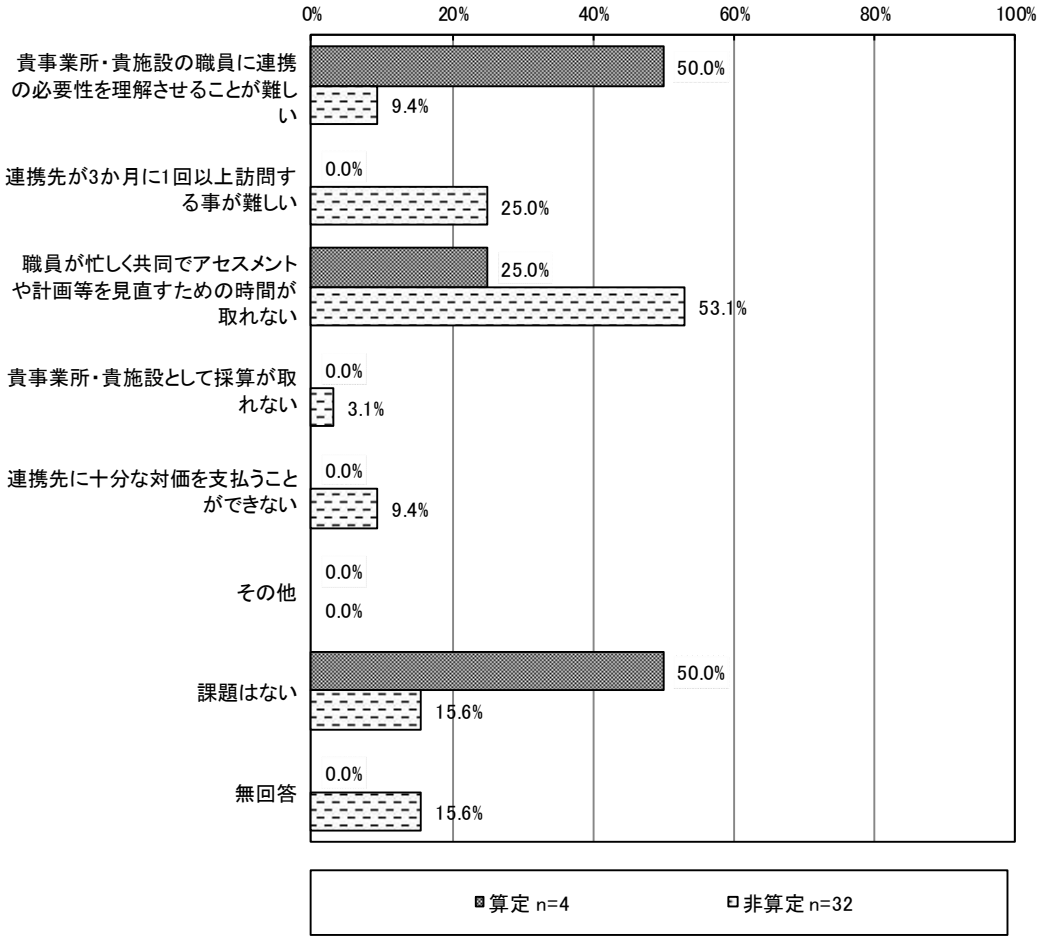



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）決まっていない。

## シ） 連携先と連携を継続する上での課題（問 3-12）

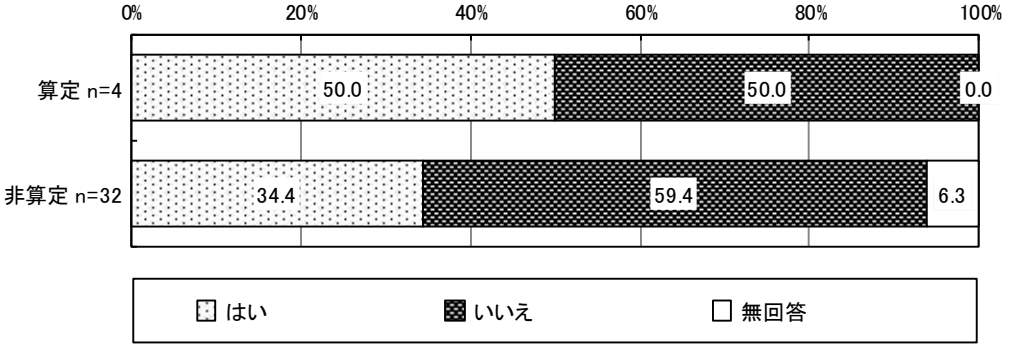
**図表 443　連携先と連携を継続する上での課題**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

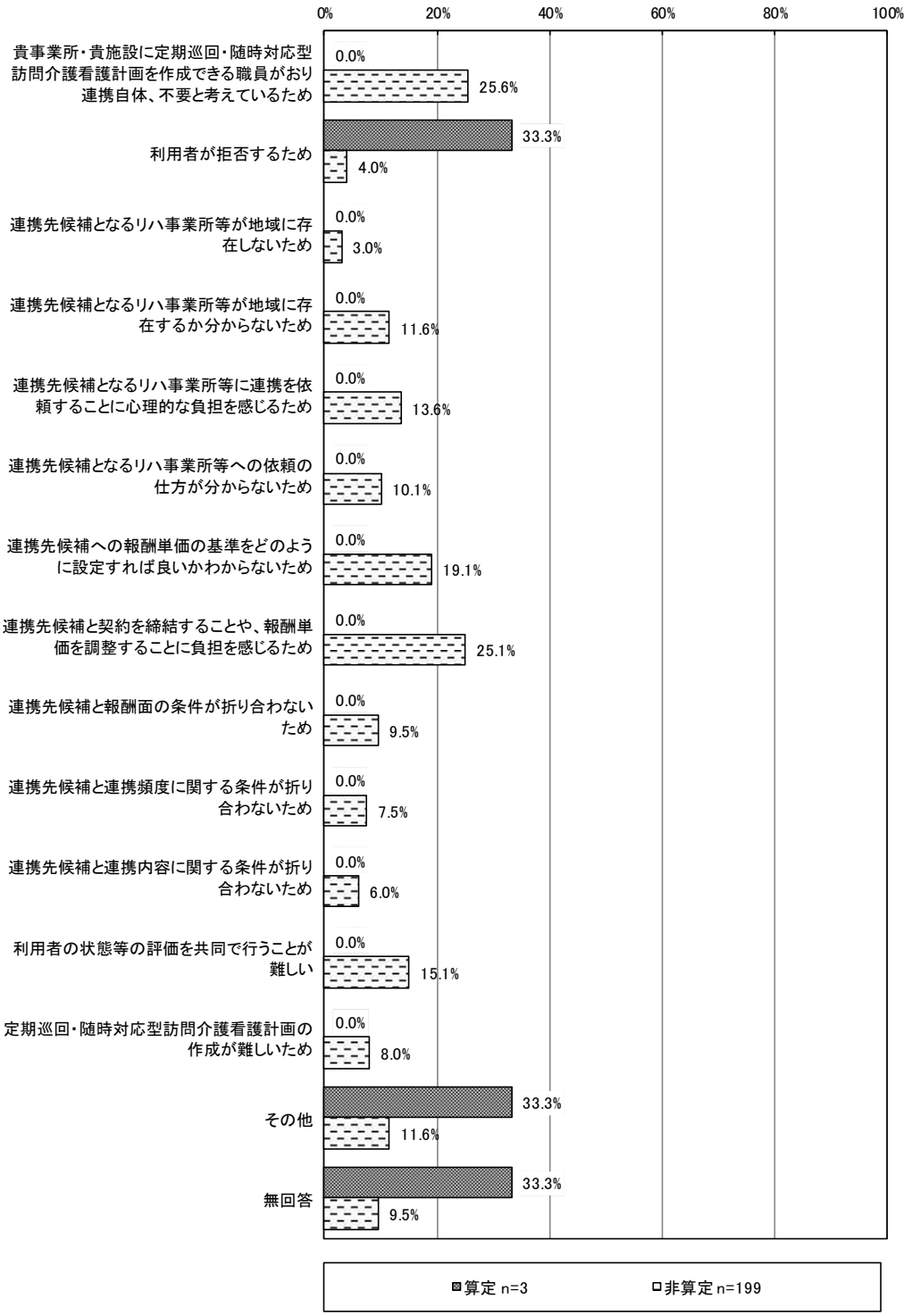
## ス） 連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか（問 3-13）

**図表 444　連携先リハ事業所等との連携開始時期は平成 30 年 4 月以降であるか**



## セ） 連携していない理由（問 3-14）

**図表 445　連携していない理由**



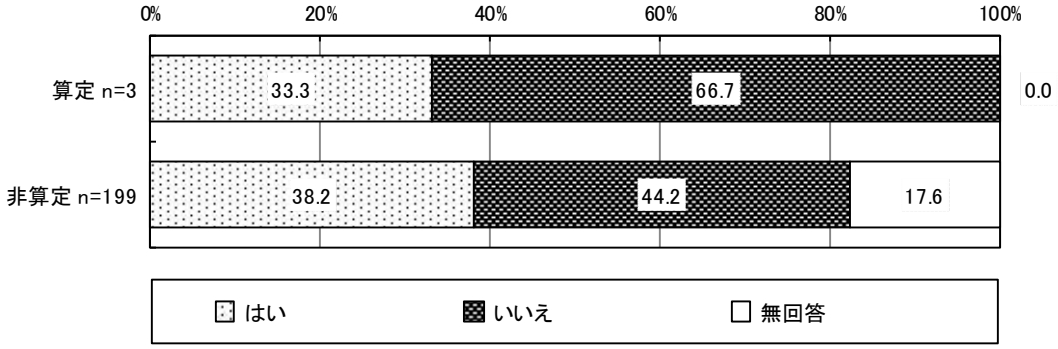

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。（算定は有効な回答無し）

・（非算定）癌終末期利用者が多く、あまり必要性を感じないため。

・（非算定）利用者のコスト負担を考慮したため

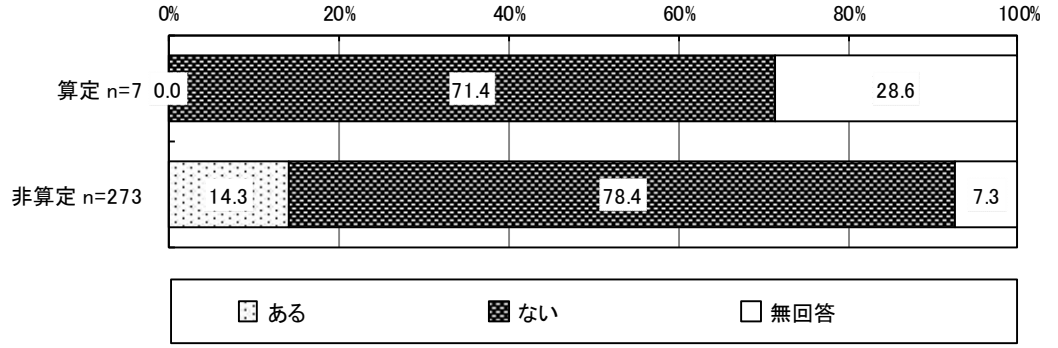
## ソ） 連携の必要性（問 3-15）

図表 446　連携の必要性を感じているか



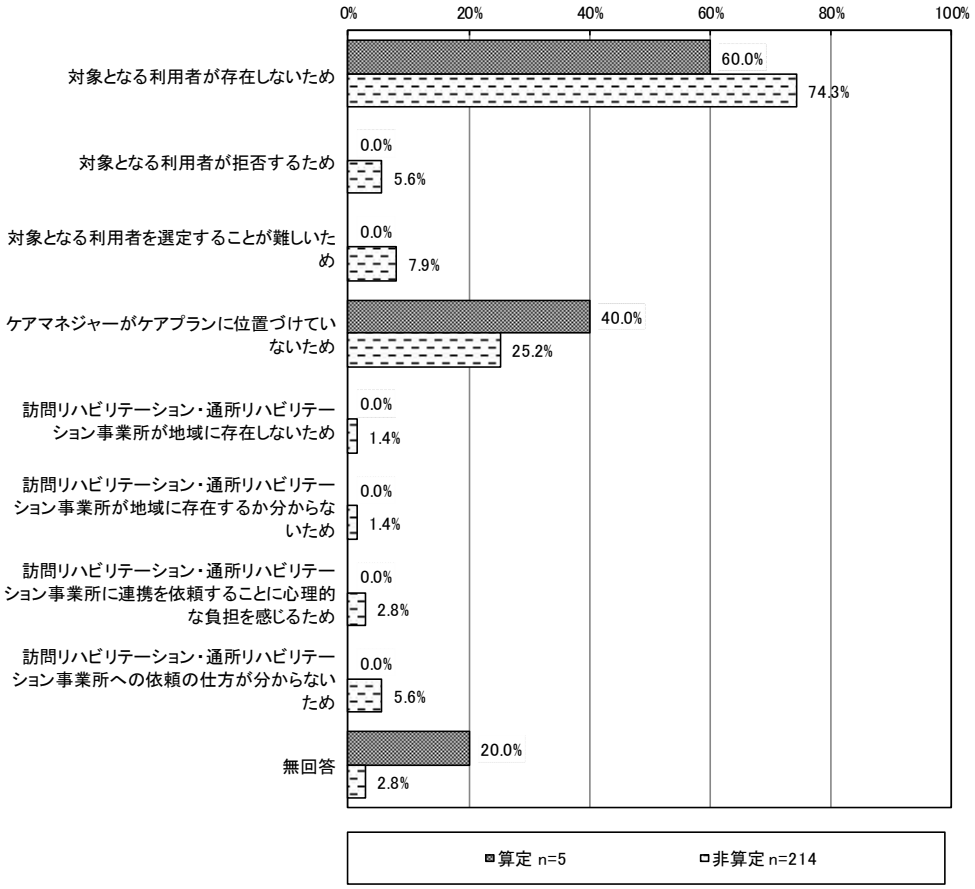

## タ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績の有無（問 3-16）

図表 447　直近 1 年間に利用終了者を訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績



## チ） 訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由（問 3-17）

### 図表 448　訪問・通所リハビリテーションへつないだ実績がない理由



## Ⅳ．生活機能の向上を目的とした取組の実施状況

### ア） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-1） ※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

**図表 449 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 1**

（%）

| | | 食事 | 排泄 | 入浴 | 更衣 | 整容 | 移乗 | 屋内移動 | 階段昇降 | 屋外移動 | 調理 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=5 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 20.0 | 60.0 | 60.0 | － | 20.0 | － |
| | 非算定 n=6 | 16.7 | 66.7 | 16.7 | 50.0 | 33.3 | 66.7 | 33.3 | － | － | － |
| 作業療法士 | 算定 n=5 | － | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | － | － | － |
| | 非算定 n=6 | 16.7 | 50.0 | 16.7 | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 33.3 | － | － | － |
| 言語聴覚士 | 算定 n=5 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| | 非算定 n=6 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | － | － | － |

| | | 洗濯 | 掃除 | 起き上がり | 座位 | 立ち上がり | 立位 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理学療法士 | 算定 n=5 | 20.0 | － | 60.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | 80.0 | － | 20.0 |
| | 非算定 n=6 | － | － | 66.7 | 50.0 | 83.3 | 66.7 | 16.7 | 33.3 | 16.7 |
| 作業療法士 | 算定 n=5 | － | － | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 20.0 | － | 60.0 |
| | 非算定 n=6 | － | － | 33.3 | 16.7 | 33.3 | 33.3 | － | － | 50.0 |
| 言語聴覚士 | 算定 n=5 | － | － | － | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 非算定 n=6 | － | － | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | － | 16.7 | 66.7 |

注：分母は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## イ） 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種※と利用者の課題の組み合わせ（問 4-2） ※病院・診療所のリハビリテーション専門医、リハビリテーション専門医以外の医師、訪問・通所リハビリテーションの医師

**図表 450 令和元年 9 月に連携したリハ専門職等の職種と利用者の課題の組み合わせ 2**

（%）

| | | 口腔機能向上 | 栄養改善 | 医療処置 | 福祉用具の利用等による生活環境の改善 | 家族への介護方法の指導 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院・診療所のリハビリテーション専門医 | 算定 n=1 | － | － | － | － | － | 100.0 |
| | 非算定 n=2 | 50.0 | － | － | 50.0 | 50.0 | 50.0 |
| 病院・診療所の医師（リハビリテーション専門医以外） | 算定 n=1 | － | － | － | 100.0 | － | － |
| | 非算定 n=2 | 50.0 | － | － | － | － | 50.0 |
| 訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションの医師 | 算定 n=1 | － | － | － | 100.0 | － | － |
| | 非算定 n=2 | － | － | － | － | － | 100.0 |

注：分母は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師について各課題の何れかに回答があった事業所数、分子は、病院・診療所のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医、病院・診療所の医師（ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ専門医以外)、訪問ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ又は通所ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの医師別の各課題について回答した事業所数とし、算出した。

## ウ） 連携先医師が対応した利用者のその他課題（問 4-3）

※その他の課題として挙げられた有効な回答はなし。

## エ） リハ専門職から得た効果的な助言について、助言者とその内容(問 4-4)

**図表 451 効果的な助言の助言者と内容**

**〇算定**

・(算定) 作業療法士 : 屋内移動時自走する際に、負担なく安全に行える方法を本人に助言、また、自走している際の観察視点・リスクについて職員に助言。

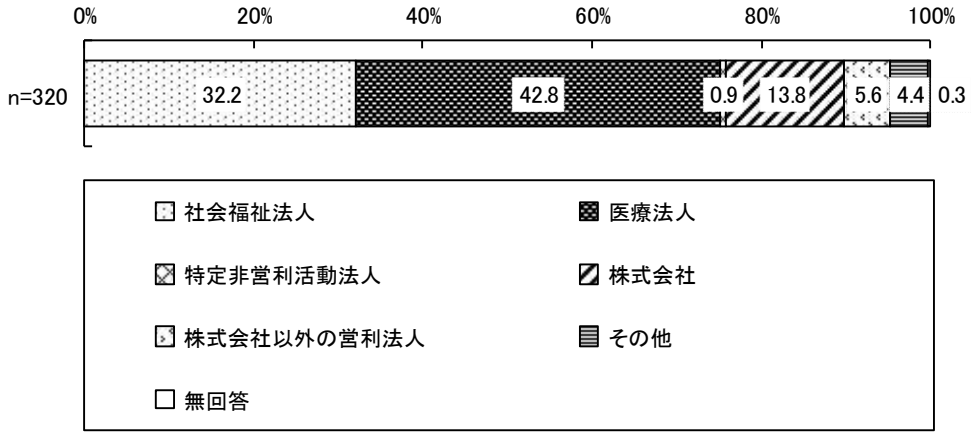
## ２．ケアマネジャーに対するアンケート調査結果

### （１） 通所介護

### Ⅰ．事業所・施設の基本属性

#### ア） 法人種別（問 1）

図表 452　法人種別

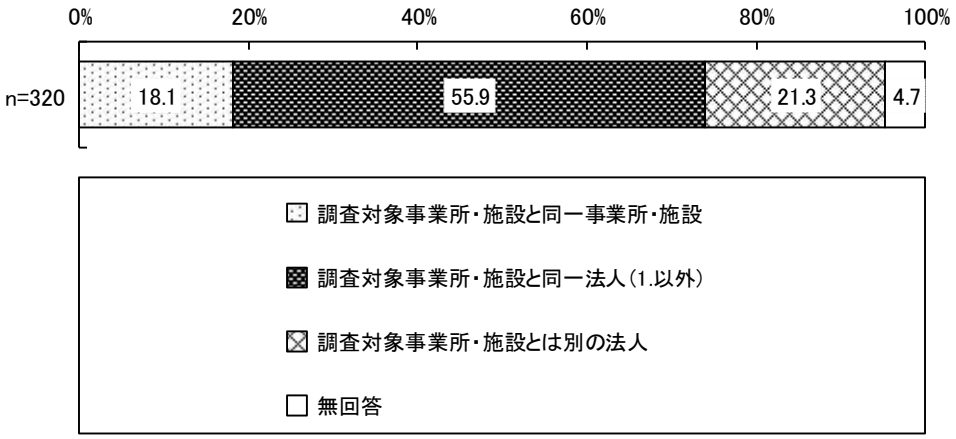



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・生活協同組合
・農業協同組合
・医療法人社団

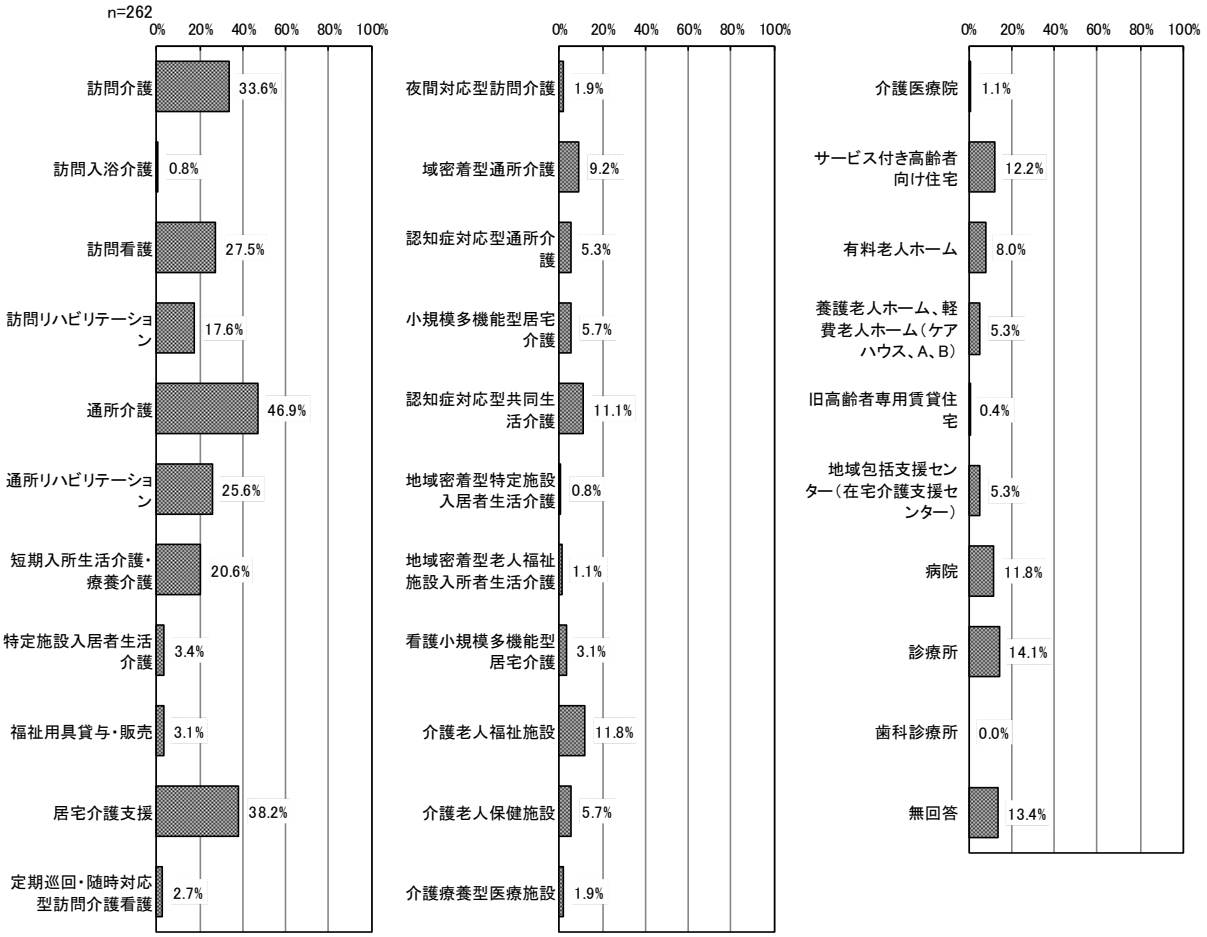
#### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 453　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 454　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 455　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 259 | 5.6 | 7.8 | 4.0 | 60.0 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 259 | 3.5 | 2.3 | 3.0 | 11.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 259 | 1.7 | 1.3 | 1.0 | 6.0 | 0.0 |

## 図表 456　非常勤職員

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 143 | 3.1 | 12.6 | 1.0 | 81.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 143 | 0.9 | 1.0 | 1.0 | 5.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 143 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |

## 図表 457　常勤換算人数

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 165 | 6.7 | 13.3 | 4.0 | 93.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 165 | 3.8 | 2.6 | 3.0 | 12.4 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 165 | 1.8 | 1.4 | 1.0 | 6.3 | 0.0 |

## Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

### ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

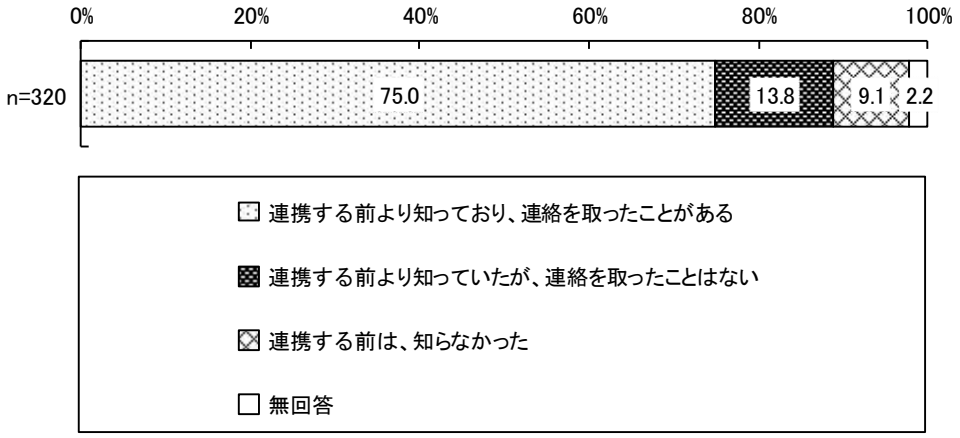
**図表 458　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位：年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 312 | 9.8 | 5.1 | 9.3 | 20.6 | 0.2 |

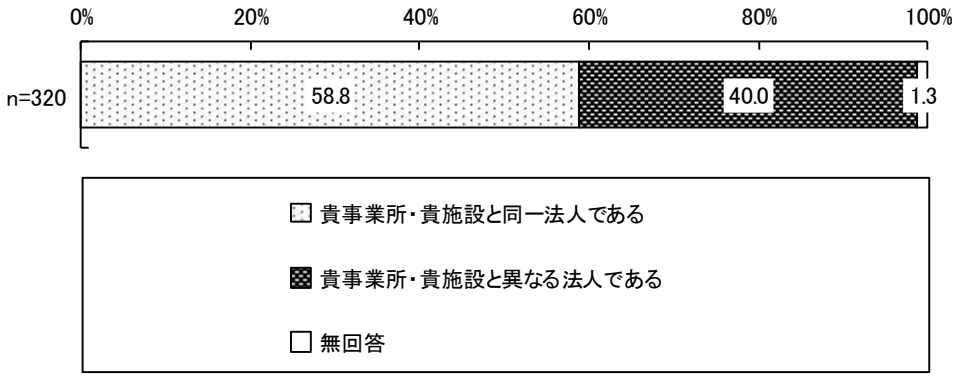
### イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6）

**図表 459　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



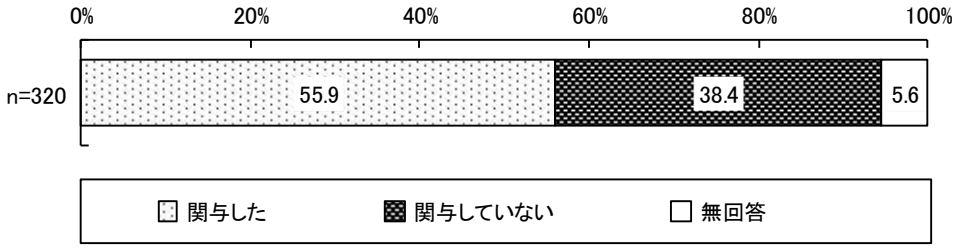

### ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 460　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



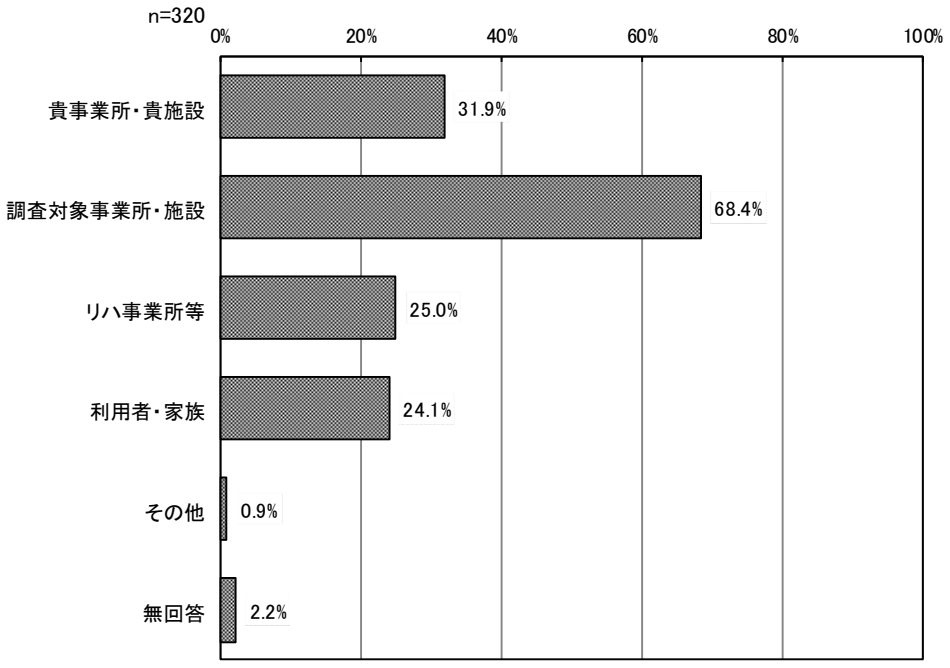
## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

**図表 461　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか**




## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

**図表 462　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**

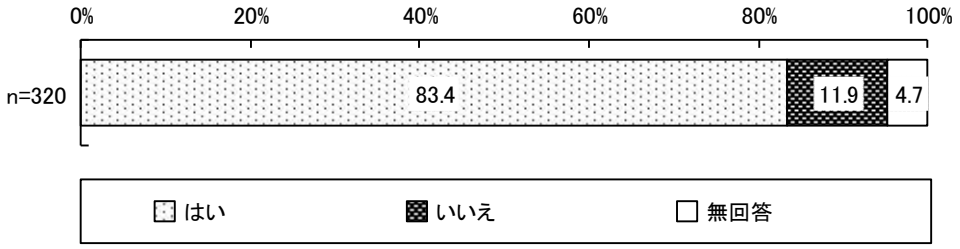



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・病院

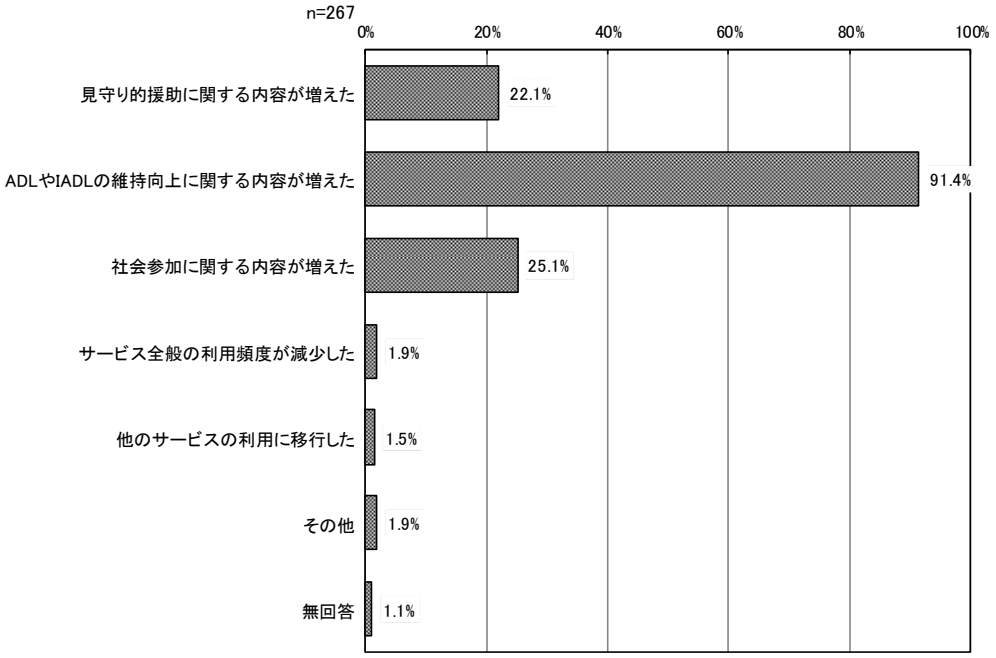
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

**図表 463　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか**




## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

**図表 464　専門的な知見による計画の改善内容**

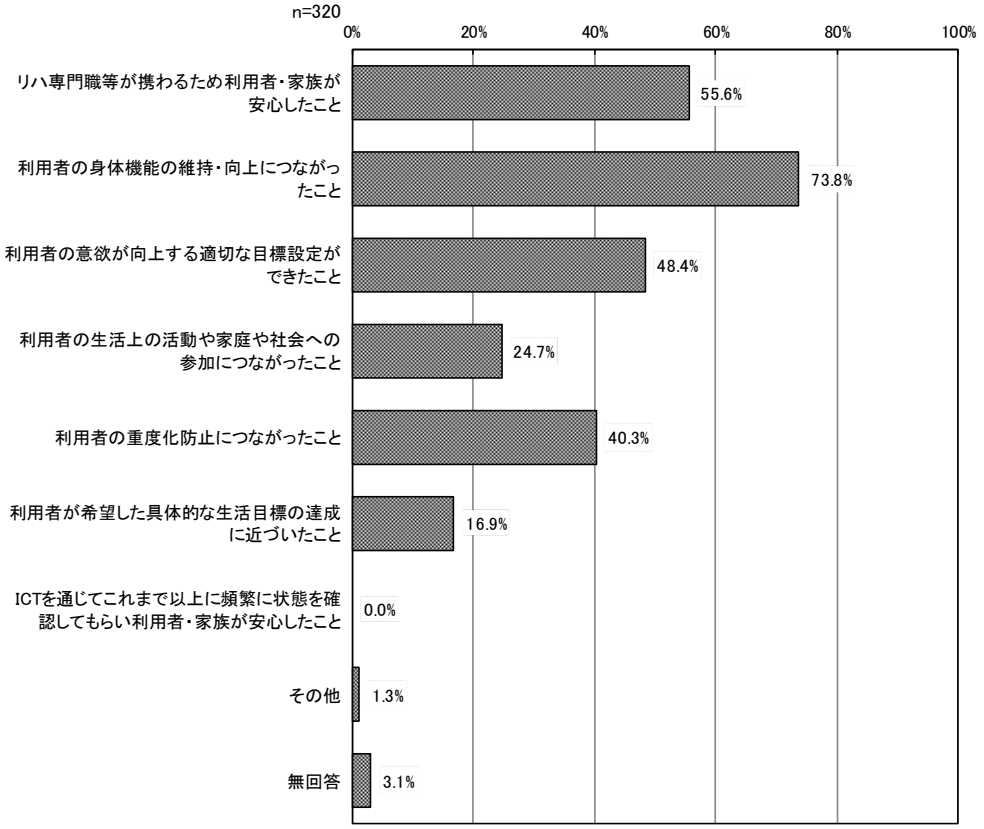



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・スタッフが積極的に取り組めるような内容となった

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

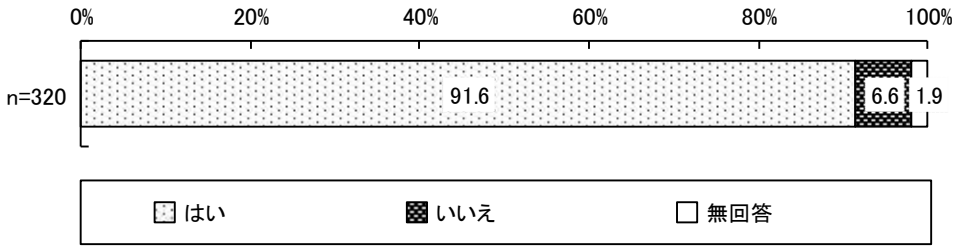
**図表 465　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 466　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

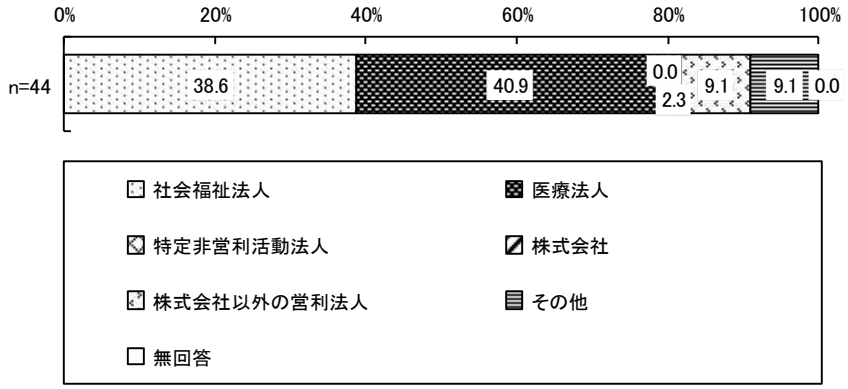


## （２） 認知症対応型通所介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 467　法人種別



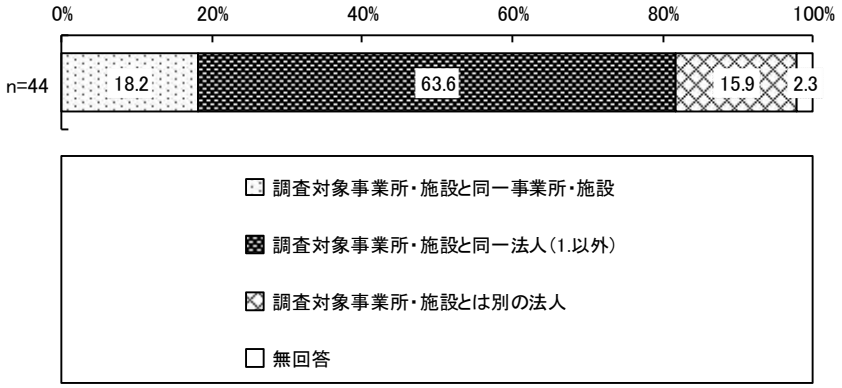

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・社会医療法人

・自治体

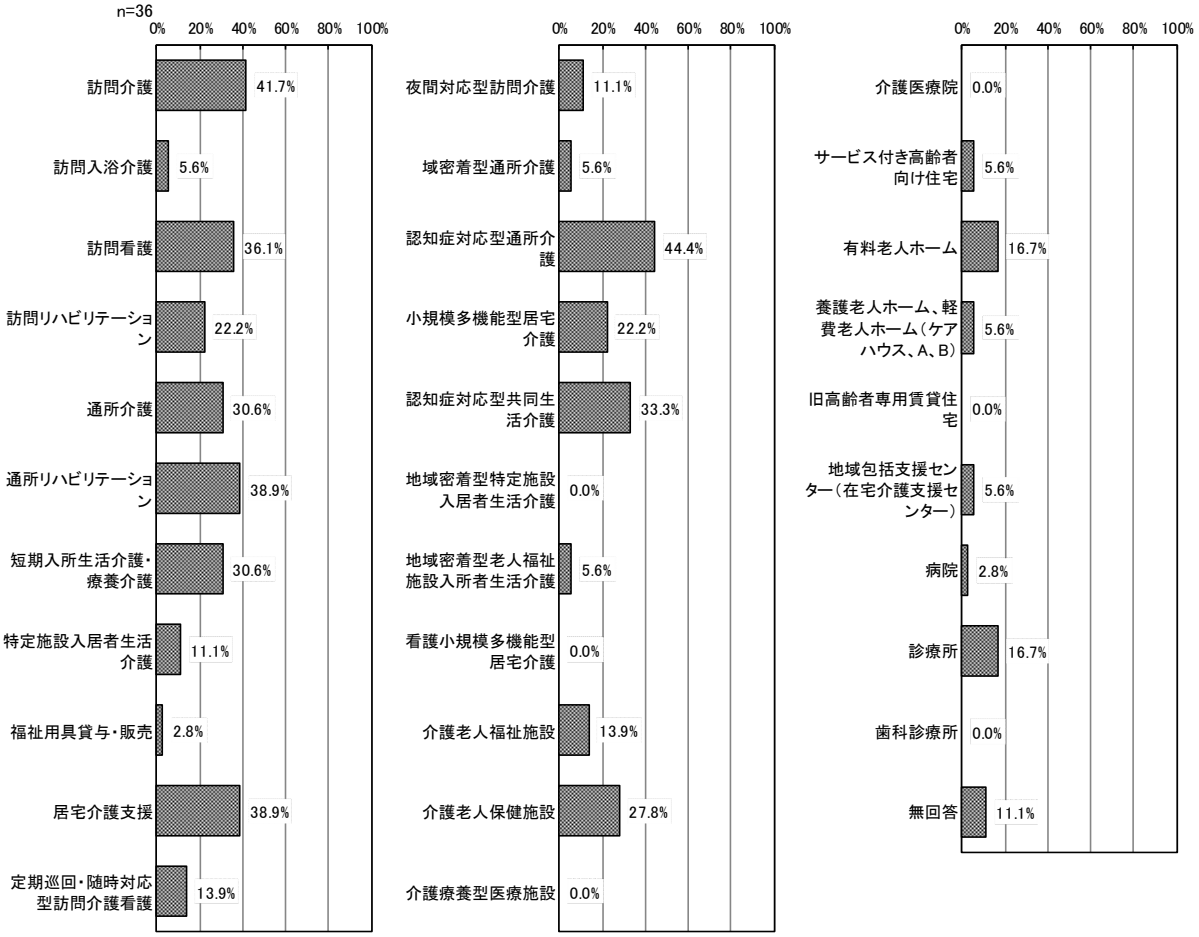
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 468　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 469　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 470　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 35 | 5.6 | 5.1 | 5.0 | 30.0 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 35 | 4.3 | 2.6 | 4.0 | 13.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 35 | 1.9 | 1.4 | 1.0 | 6.0 | 0.0 |

**図表 471　非常勤職員**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 28 | 1.5 | 1.5 | 1.0 | 5.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 28 | 1.0 | 1.3 | 0.5 | 4.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 28 | 0.3 | 0.7 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |

**図表 472　常勤換算人数**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 23 | 5.9 | 6.5 | 5.0 | 33.5 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 23 | 4.1 | 2.6 | 4.0 | 12.2 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 23 | 1.8 | 1.5 | 2.0 | 5.4 | 0.0 |

# Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

## ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

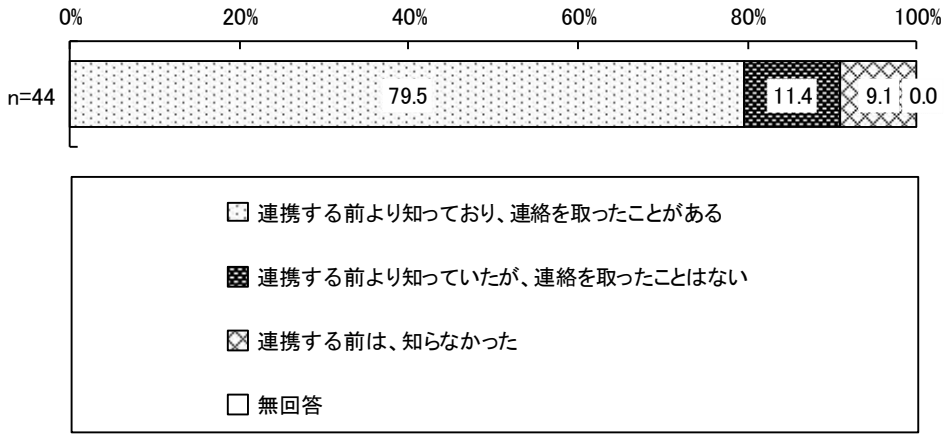
**図表 473　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位:年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 43 | 9.8 | 5.3 | 9.7 | 19.6 | 1.0 |

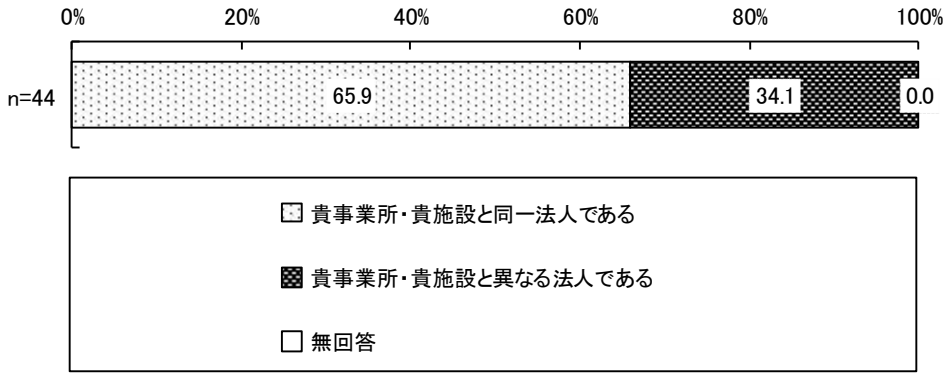
## イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6)

**図表 474　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



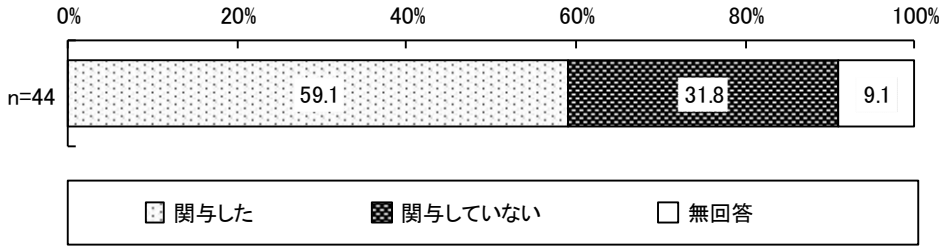
## ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 475　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



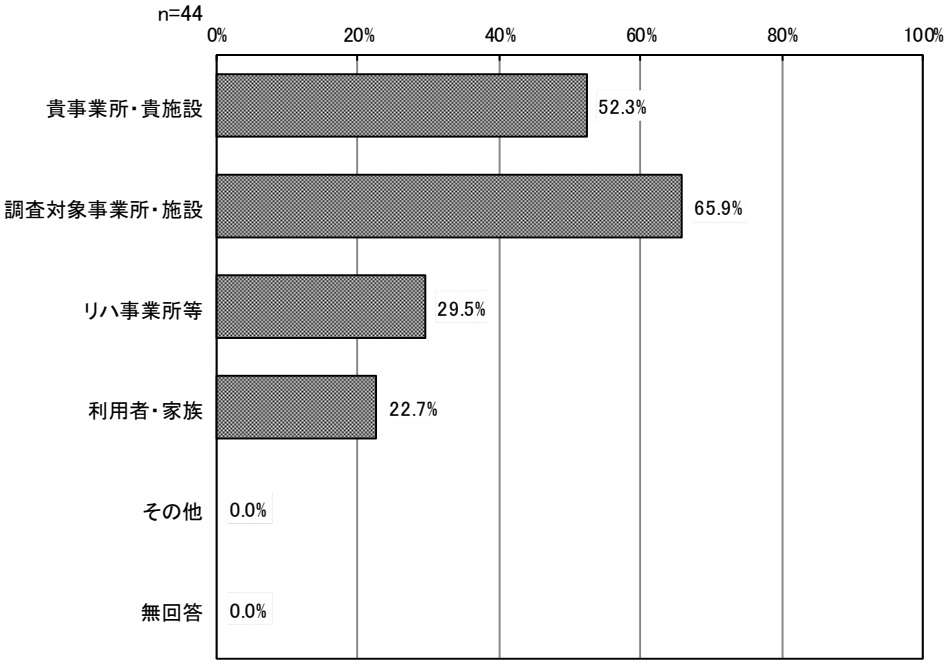

## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

**図表 476　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか**



## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

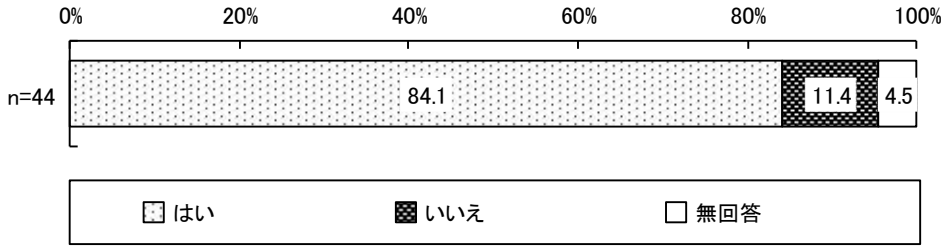
**図表 477　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

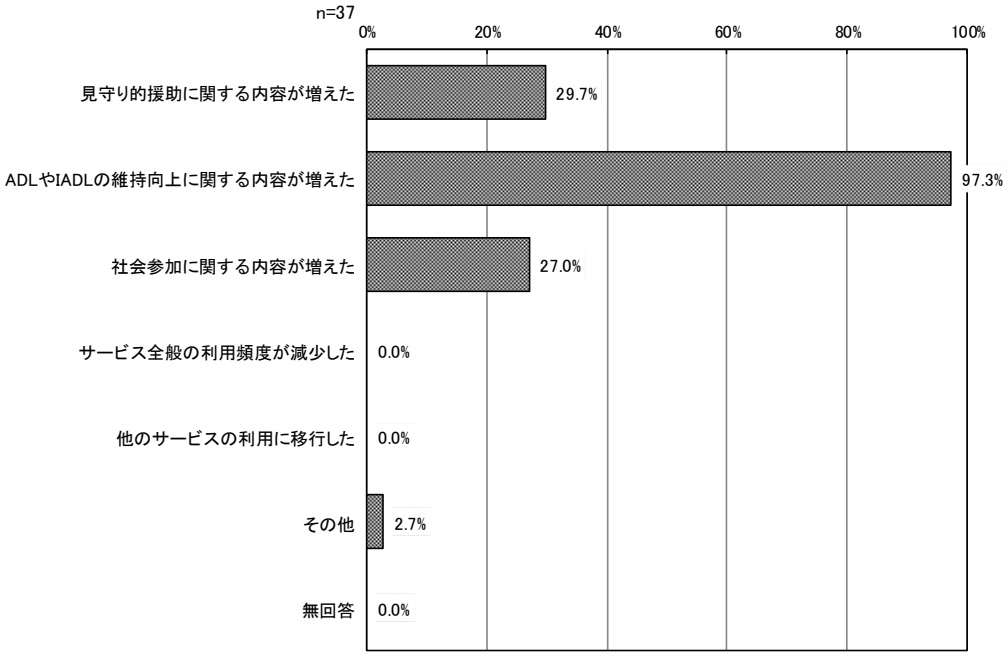
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

**図表 478　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか**



## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

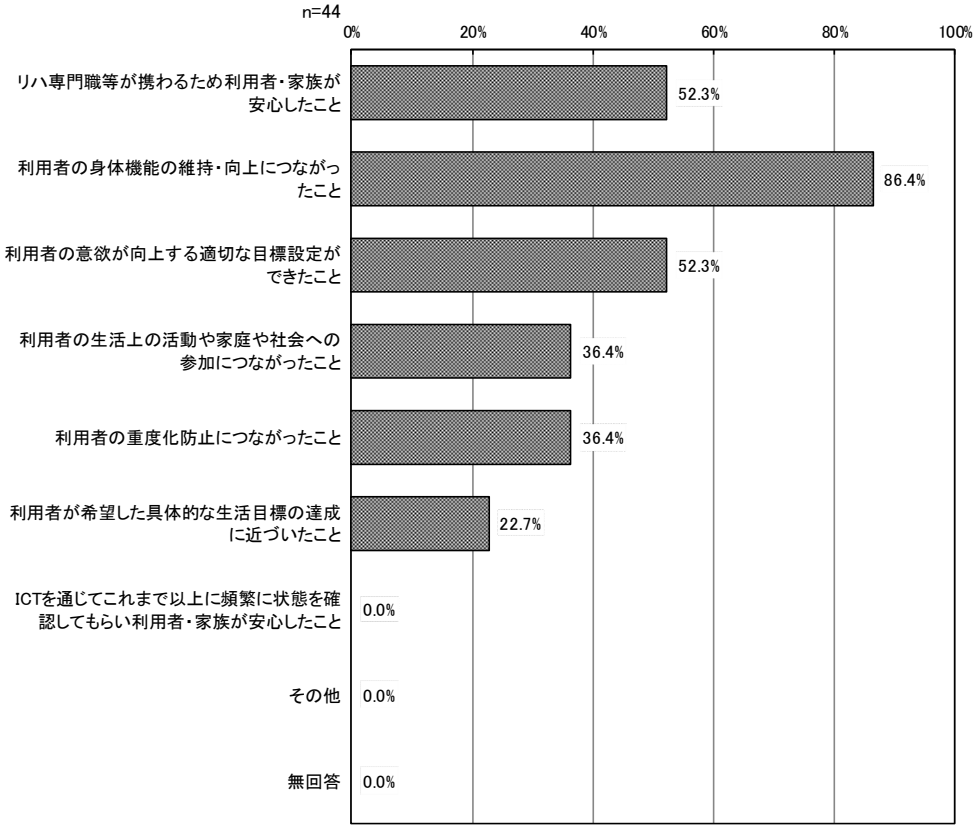
**図表 479　専門的な知見による計画の改善内容**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

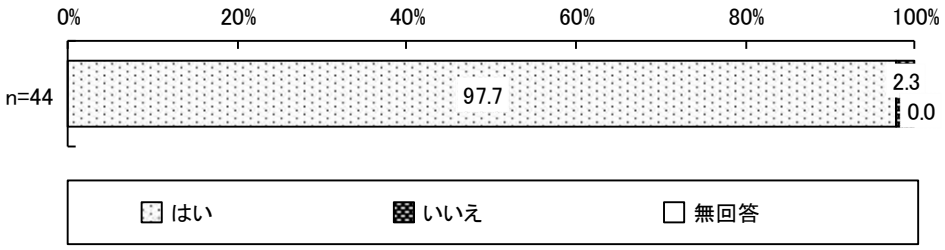
**図表 480　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 481　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

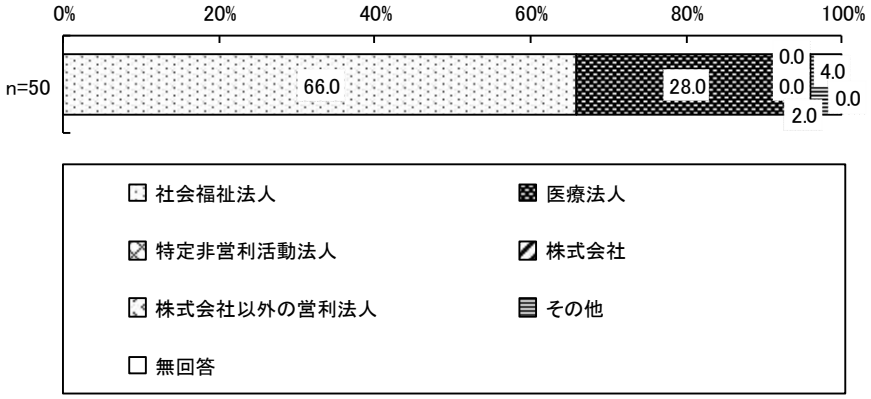


## （３） 短期入所生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

**図表 482　法人種別**

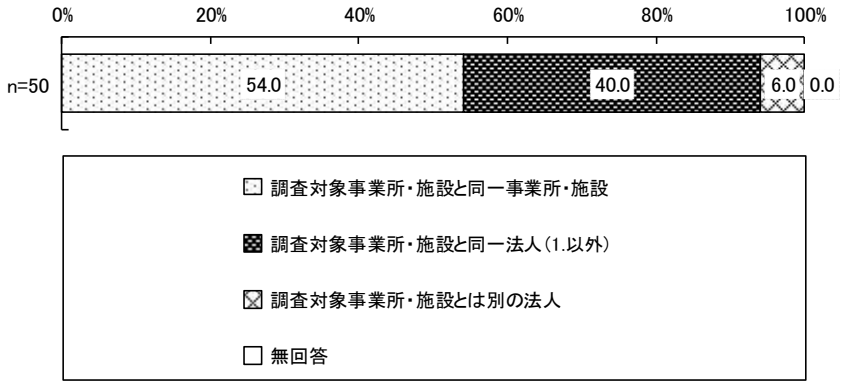



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・一部事務組合

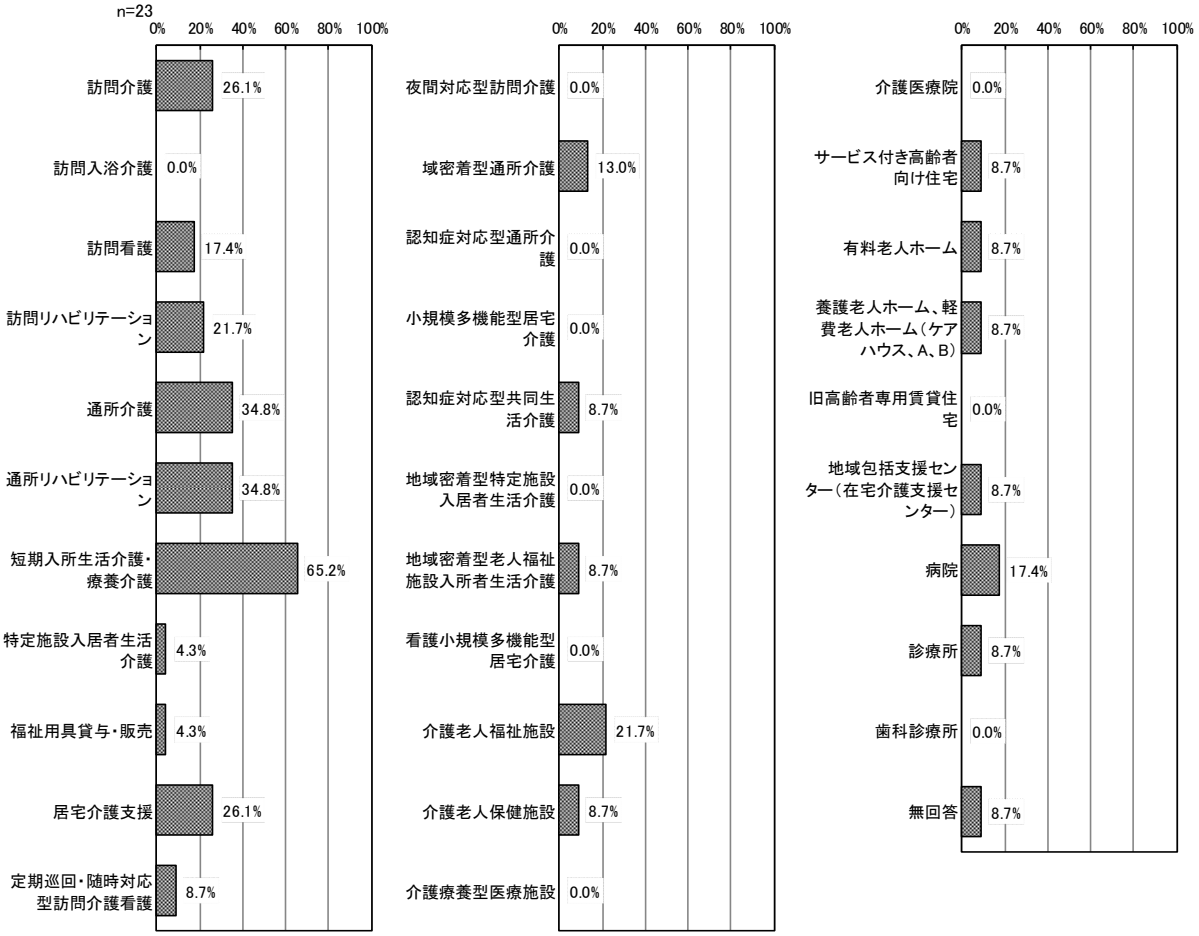
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

**図表 483　調査対象事業所・施設との関係**



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 484　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 485　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 23 | 5.8 | 6.4 | 4.0 | 34.0 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 23 | 3.3 | 2.3 | 2.0 | 9.0 | 1.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 23 | 1.6 | 1.1 | 2.0 | 4.0 | 0.0 |

## 図表 486　非常勤職員

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 15 | 2.3 | 2.1 | 2.0 | 6.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 15 | 1.8 | 1.8 | 1.0 | 5.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 15 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

## 図表 487　常勤換算人数

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 17 | 7.0 | 8.3 | 5.0 | 38.7 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 17 | 4.3 | 2.8 | 3.0 | 10.6 | 1.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 17 | 1.6 | 1.0 | 2.0 | 3.0 | 0.0 |

## Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

### ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

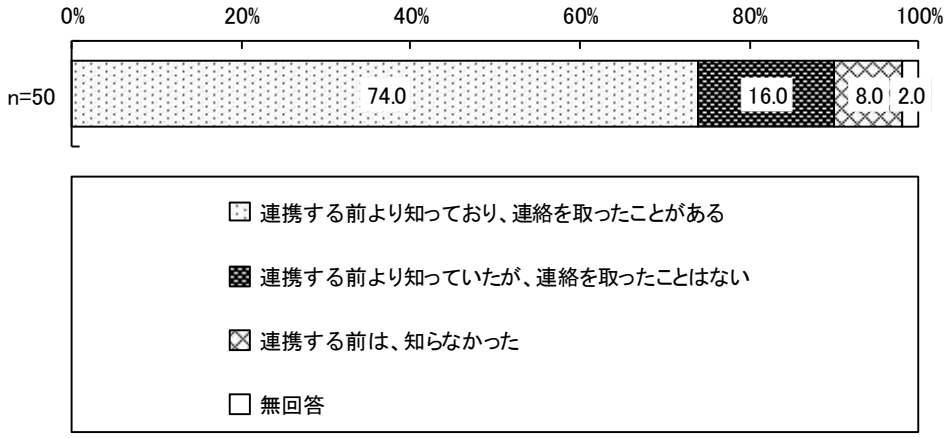
**図表 488　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位：年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 47 | 7.9 | 5.2 | 7.3 | 18.7 | 0.4 |

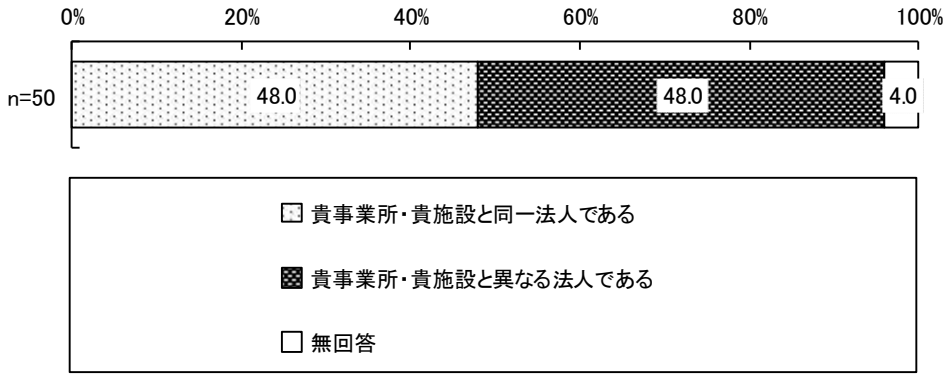
### イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6）

**図表 489　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



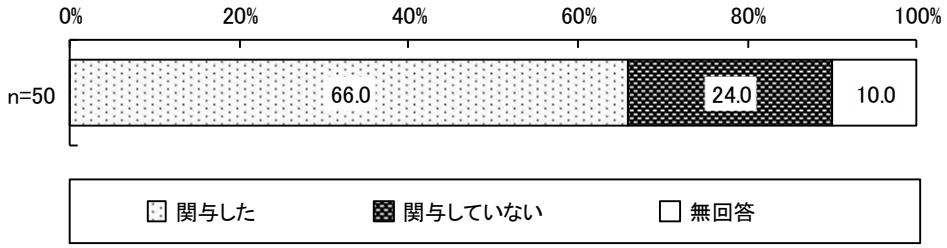

### ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 490　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



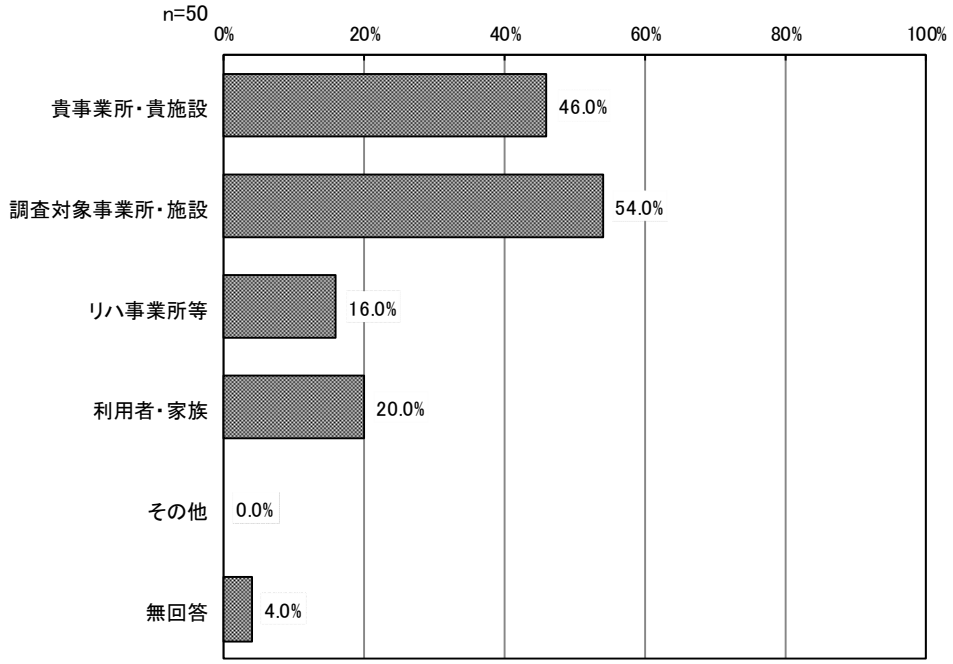
## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

**図表 491　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか**




## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

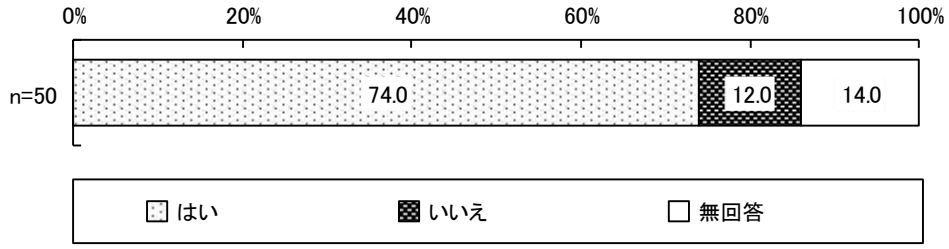
**図表 492　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

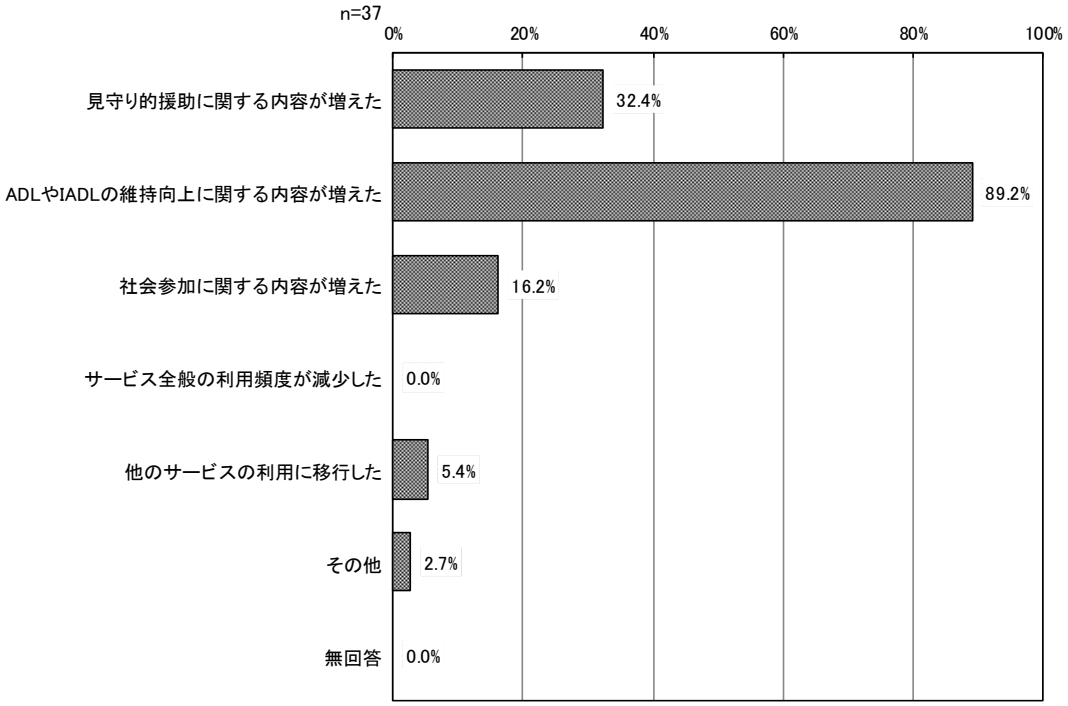
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

図表 493　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか




## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

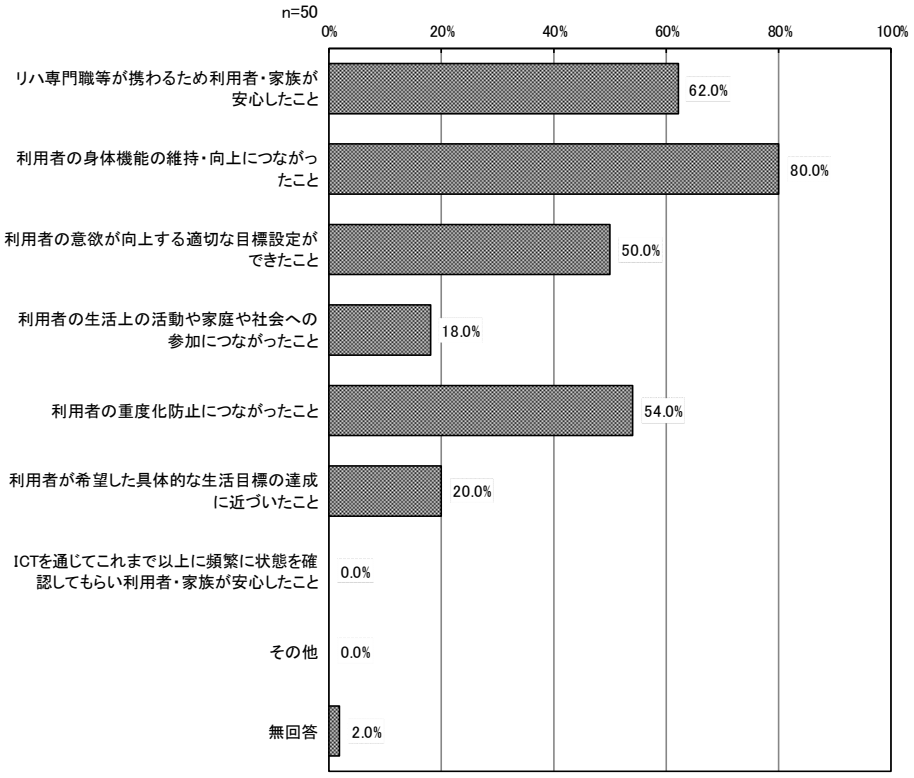
図表 494　専門的な知見による計画の改善内容




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

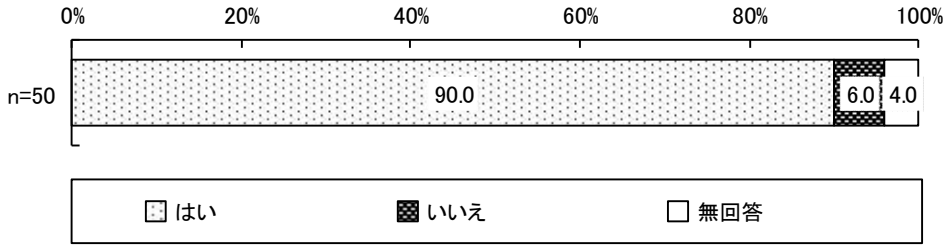
**図表 495　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 496　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

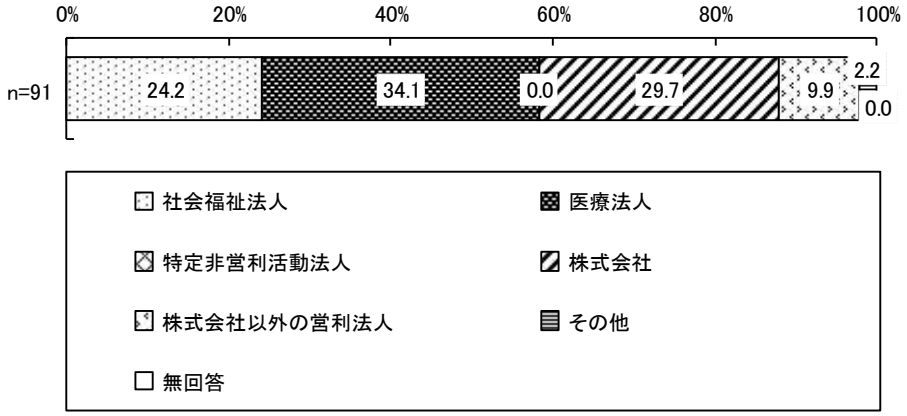


## （４） 特定施設入居者生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 497　法人種別



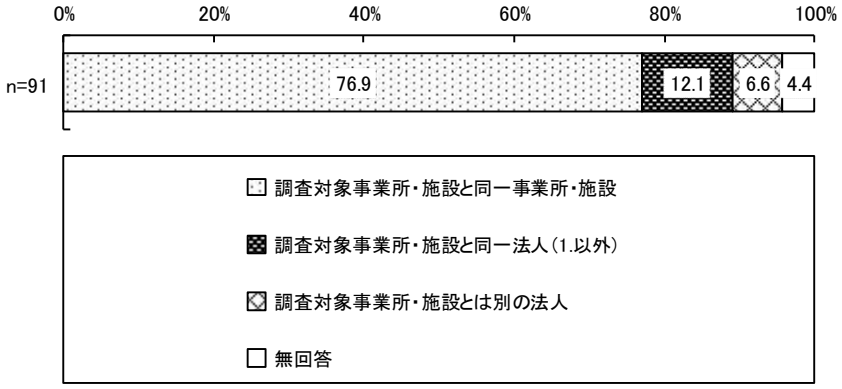

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・社会医療法人財団

・公益財団法人

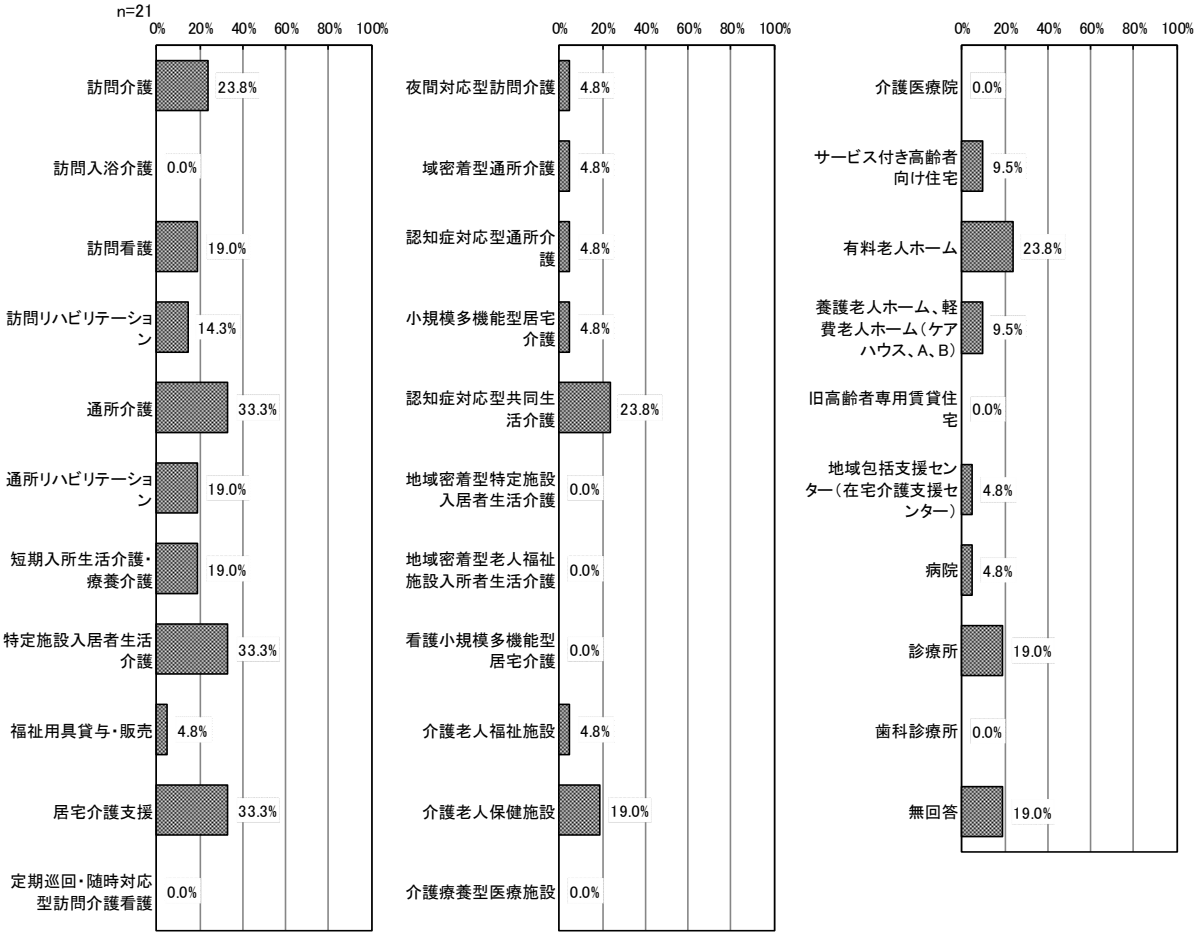
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 498　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 499　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 500　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 19 | 17.6 | 9.7 | 21.0 | 31.0 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 19 | 1.2 | 0.4 | 1.0 | 2.0 | 1.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 19 | 0.4 | 1.1 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |

**図表 501　非常勤職員**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 14 | 8.1 | 6.8 | 7.0 | 21.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 14 | 0.1 | 0.4 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 14 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

**図表 502　常勤換算人数**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 15 | 17.7 | 11.9 | 15.6 | 40.8 | 0.6 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 15 | 1.0 | 0.5 | 1.0 | 2.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 15 | 0.4 | 1.3 | 0.0 | 5.0 | 0.0 |

# Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

## ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

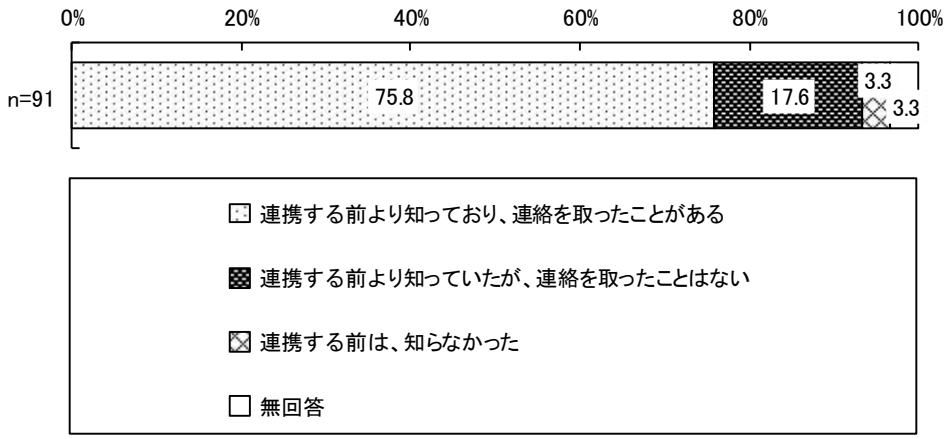
**図表 503　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位:年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 91 | 6.0 | 4.0 | 5.0 | 19.2 | 0.3 |

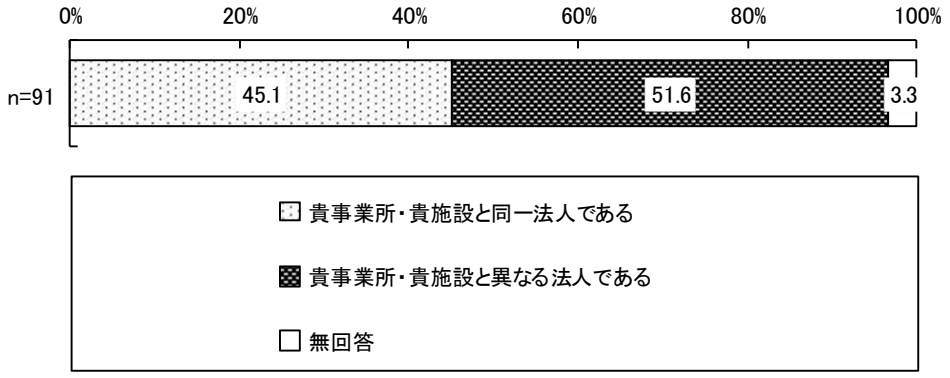
## イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6)

**図表 504　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



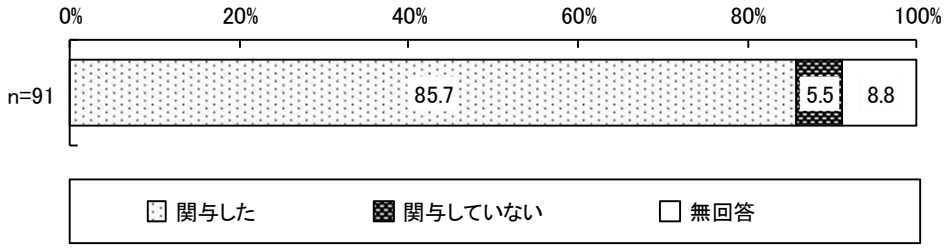

## ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 505　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



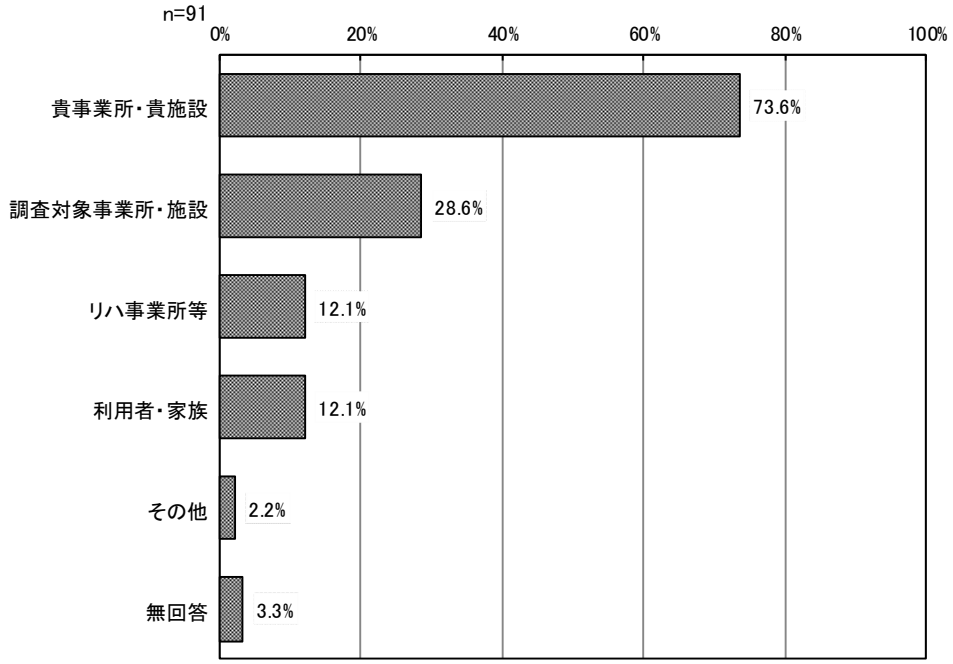
## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

**図表 506　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか**




## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

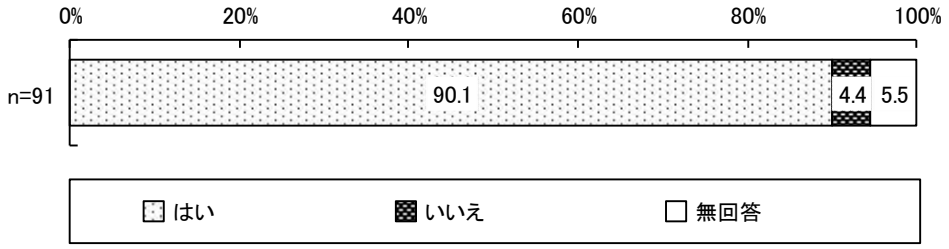
**図表 507　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

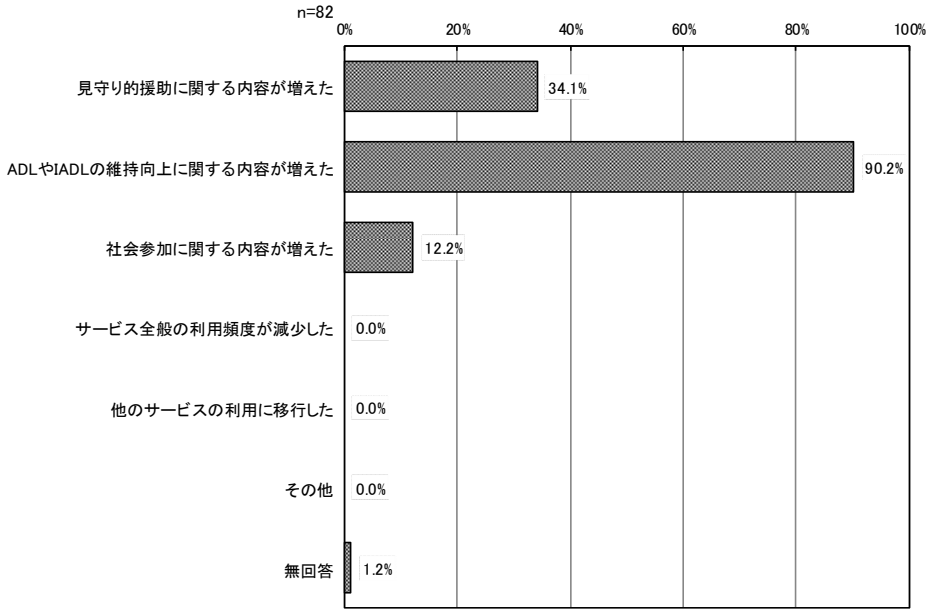
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

**図表 508　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか**




## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

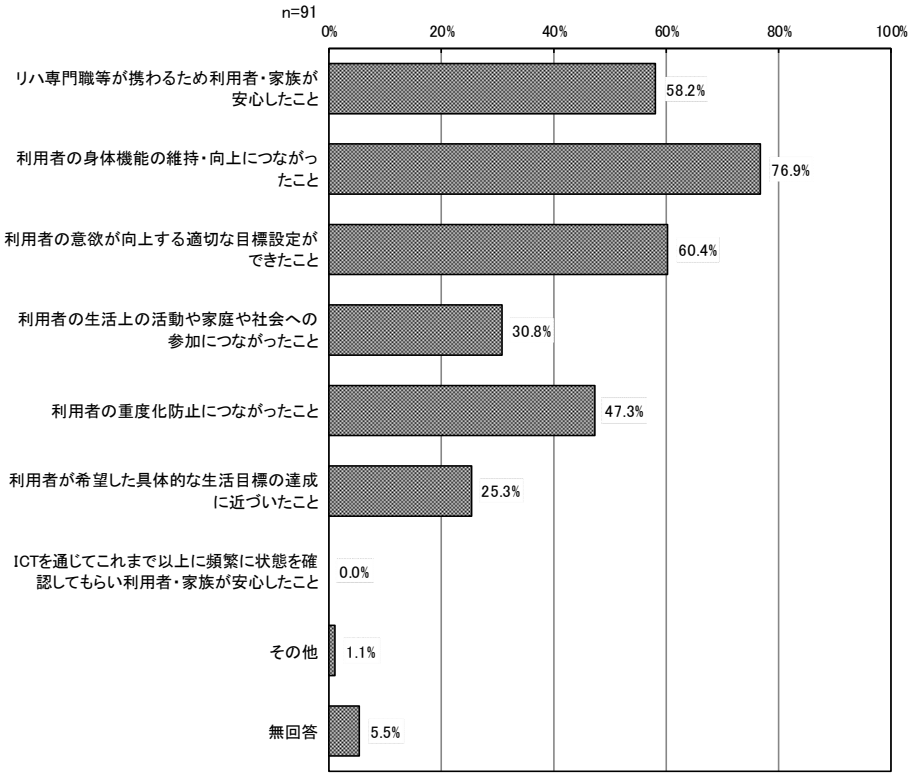
**図表 509　専門的な知見による計画の改善内容**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

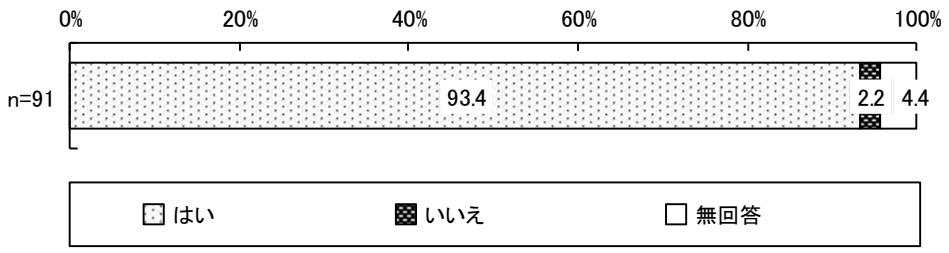
**図表 510　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 511　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

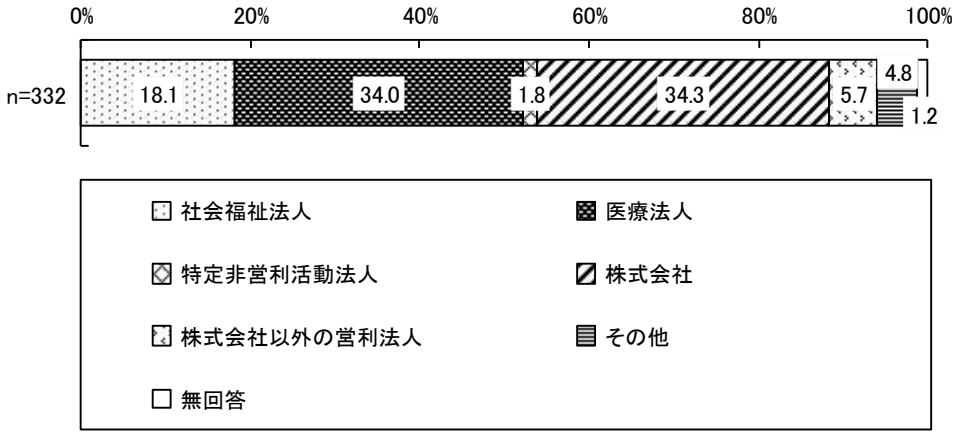


## （５） 認知症対応型共同生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 512　法人種別

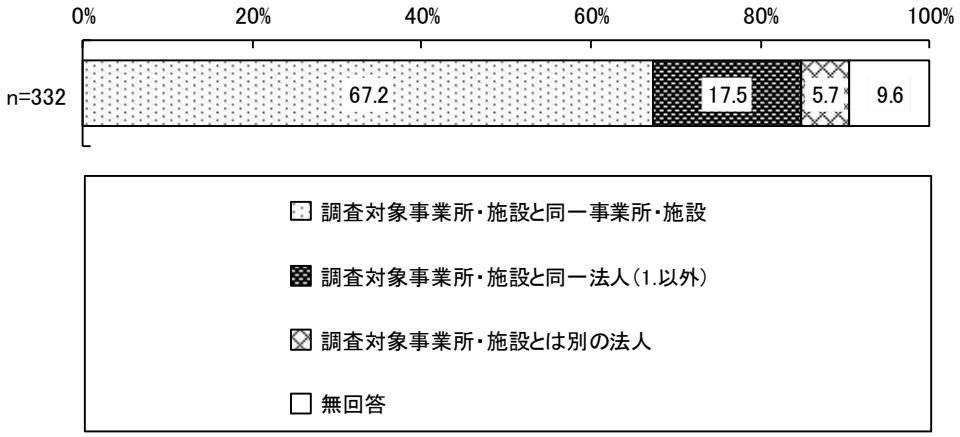



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・医療生協法人
・生協
・公益財団法人
・社会医療法人

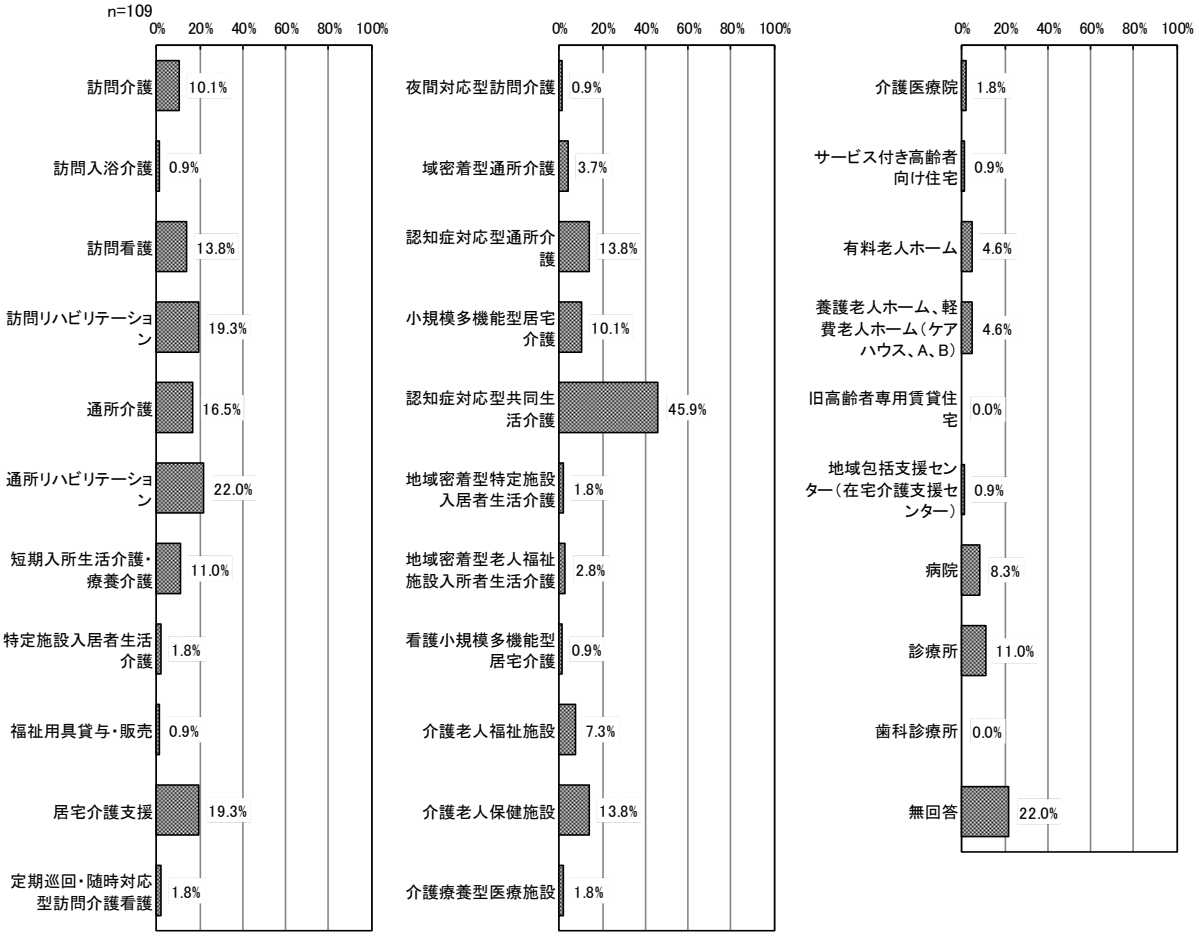
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 513　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 514　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 515　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 94 | 11.8 | 6.5 | 12.0 | 54.0 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 94 | 1.5 | 1.5 | 1.0 | 9.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 94 | 0.2 | 0.6 | 0.0 | 4.0 | 0.0 |

**図表 516　非常勤職員**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 61 | 7.4 | 12.5 | 4.0 | 81.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 61 | 0.5 | 0.6 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 61 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |

**図表 517　常勤換算人数**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 54 | 14.7 | 13.0 | 13.6 | 93.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 54 | 1.0 | 1.3 | 0.6 | 9.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 54 | 0.1 | 0.5 | 0.0 | 3.5 | 0.0 |

# Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

## ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

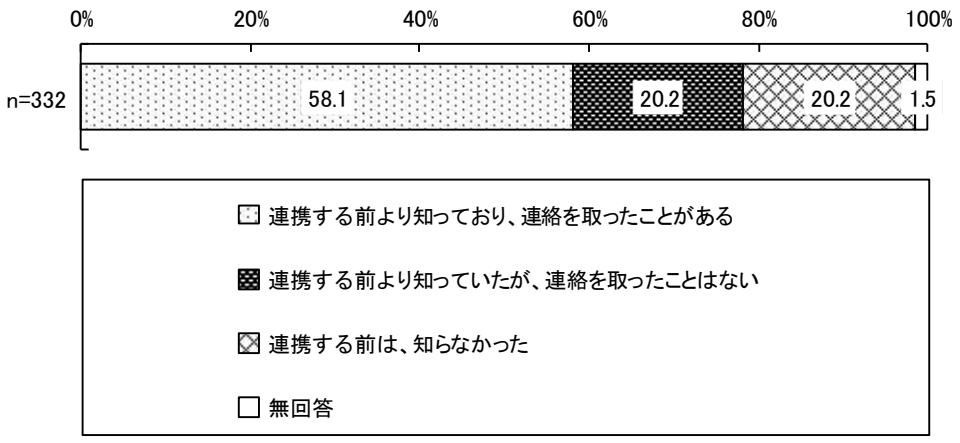
**図表 518　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位:年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 317 | 7.3 | 5.3 | 6.4 | 20.0 | 0.1 |

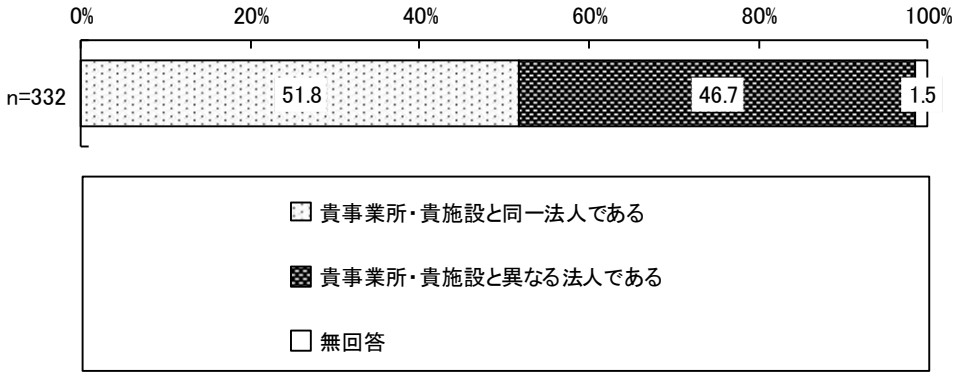
## イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6)

**図表 519　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



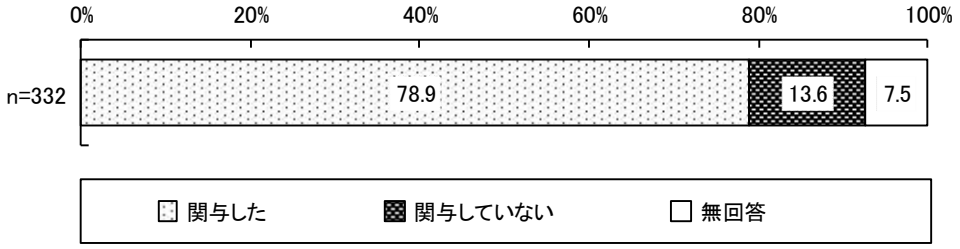
## ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

図表 520　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係



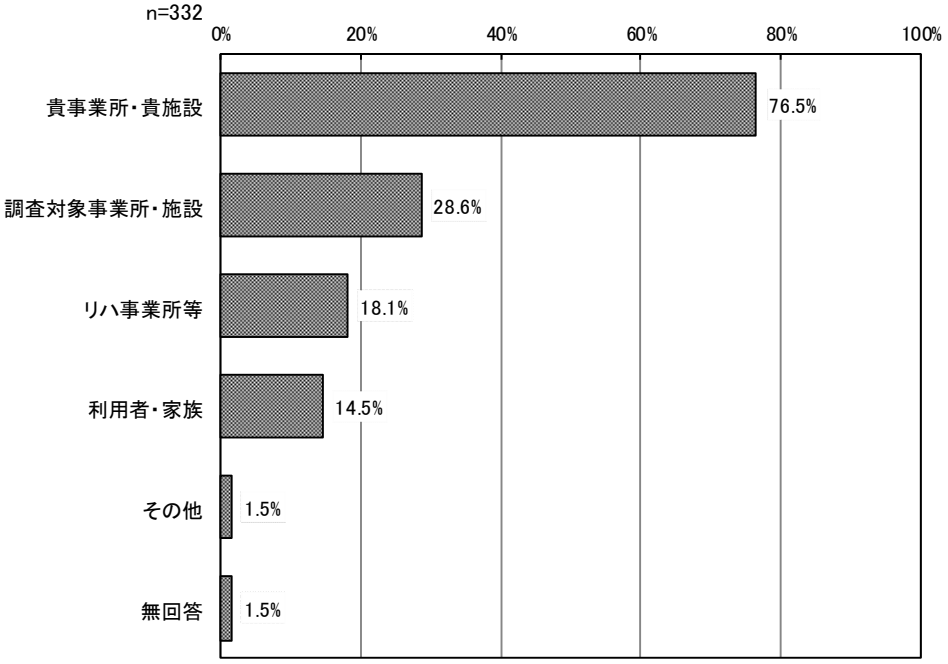

## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

図表 521　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか



## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

**図表 522　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**

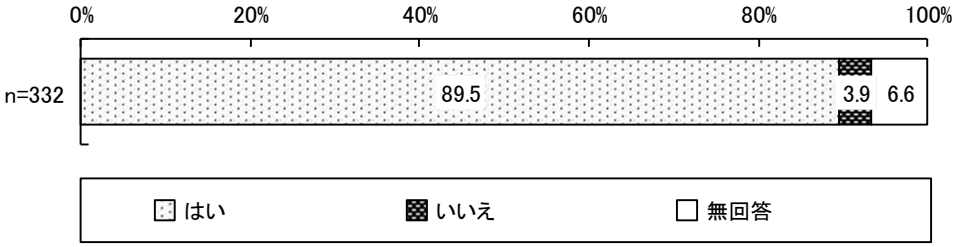



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・自治体

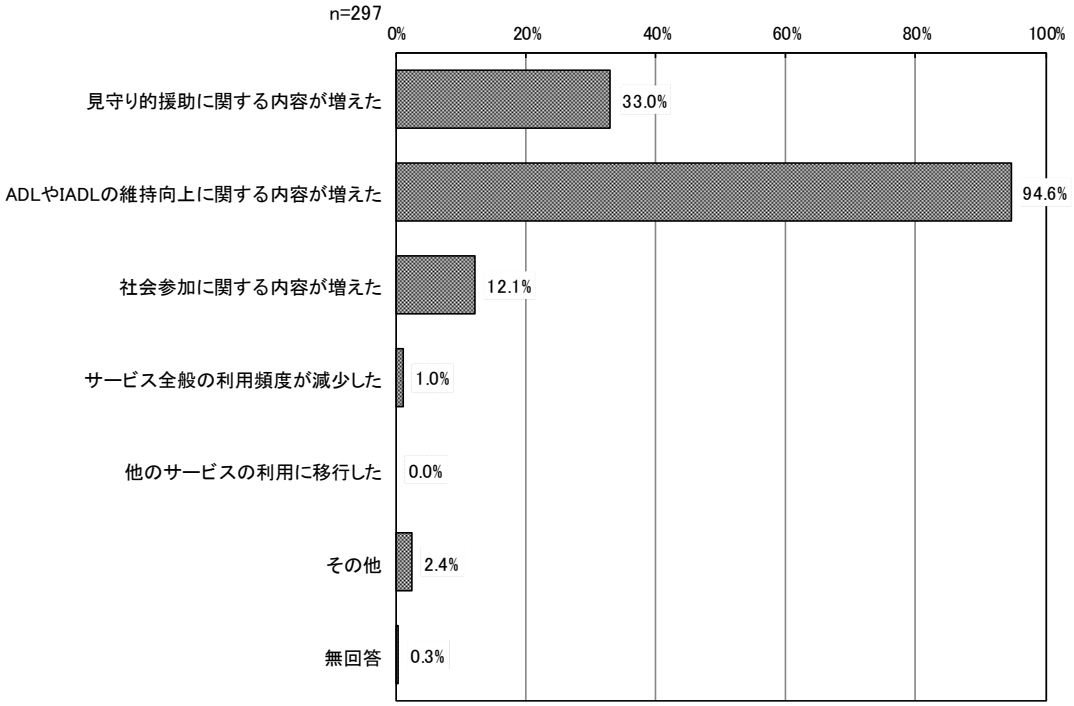
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

**図表 523　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか**



## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

**図表 524　専門的な知見による計画の改善内容**

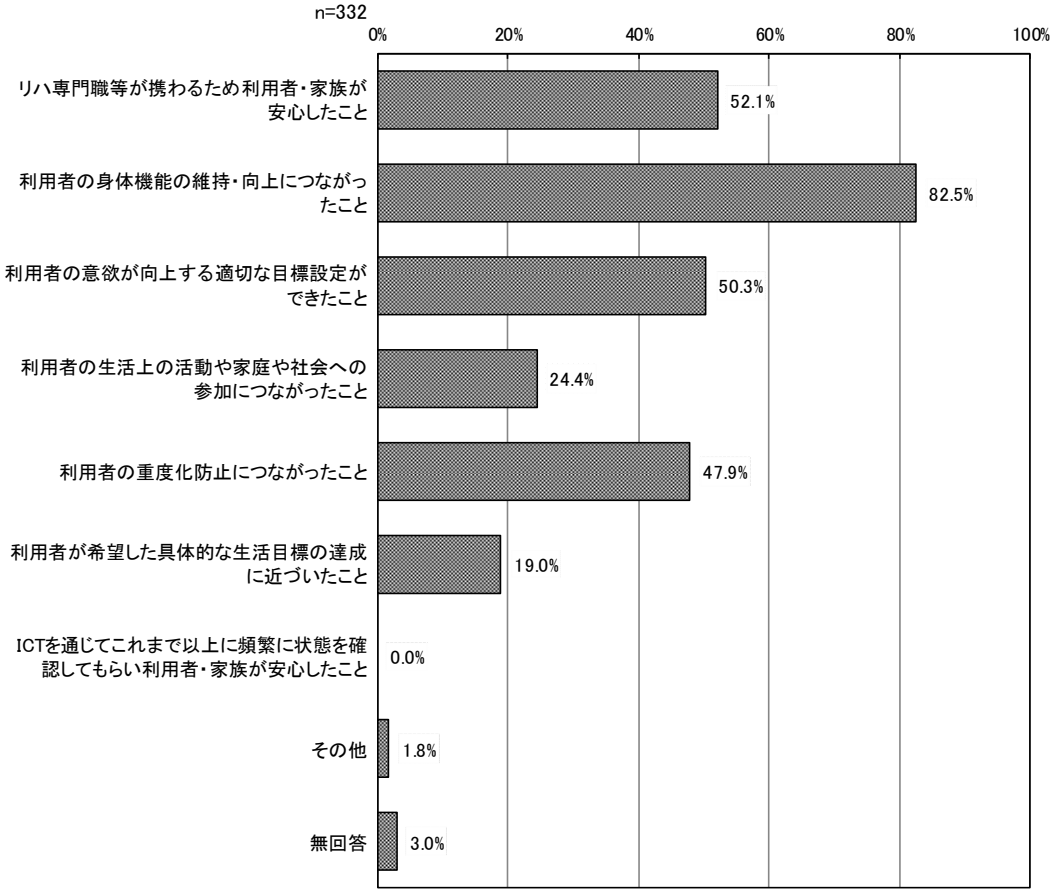



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・利用者・職員の意識が大きく変化する内容となった

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

**図表 525　利用者が享受したメリット**



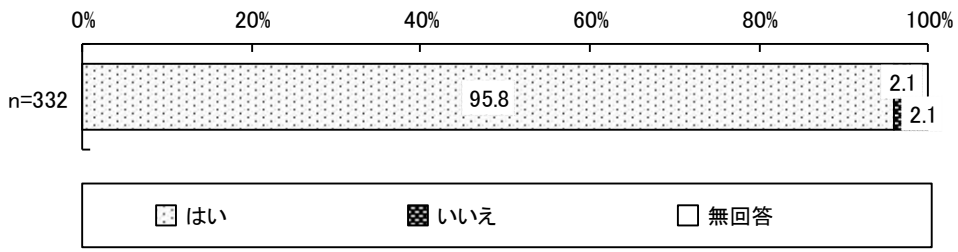

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・福祉用具を適切に選択・活用できた。

・運動効果の向上と頻度が増加した。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 526　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

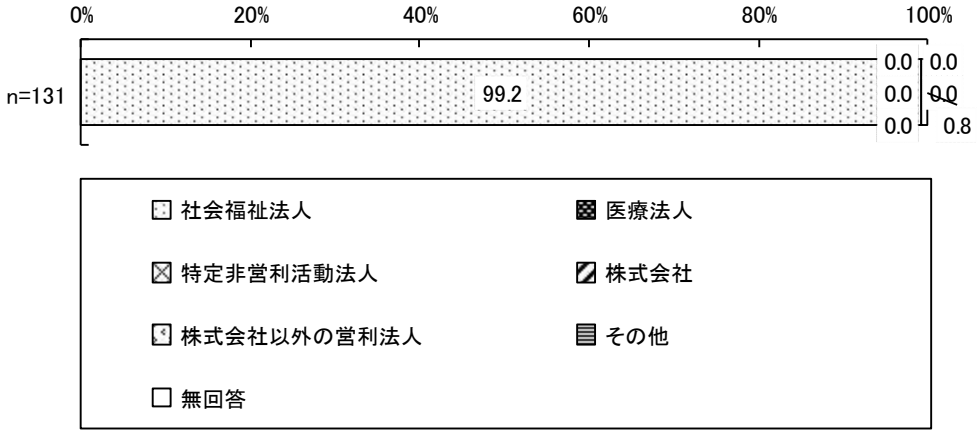


## （６） 介護老人福祉施設

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

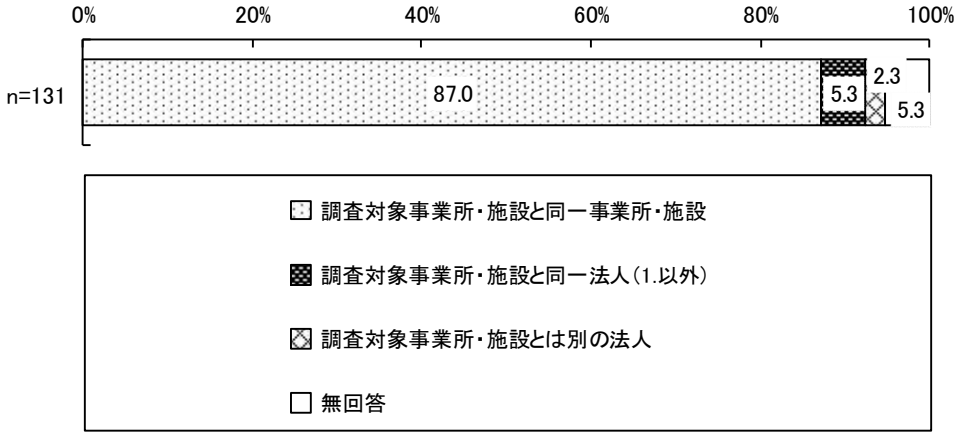
図表 527　法人種別




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

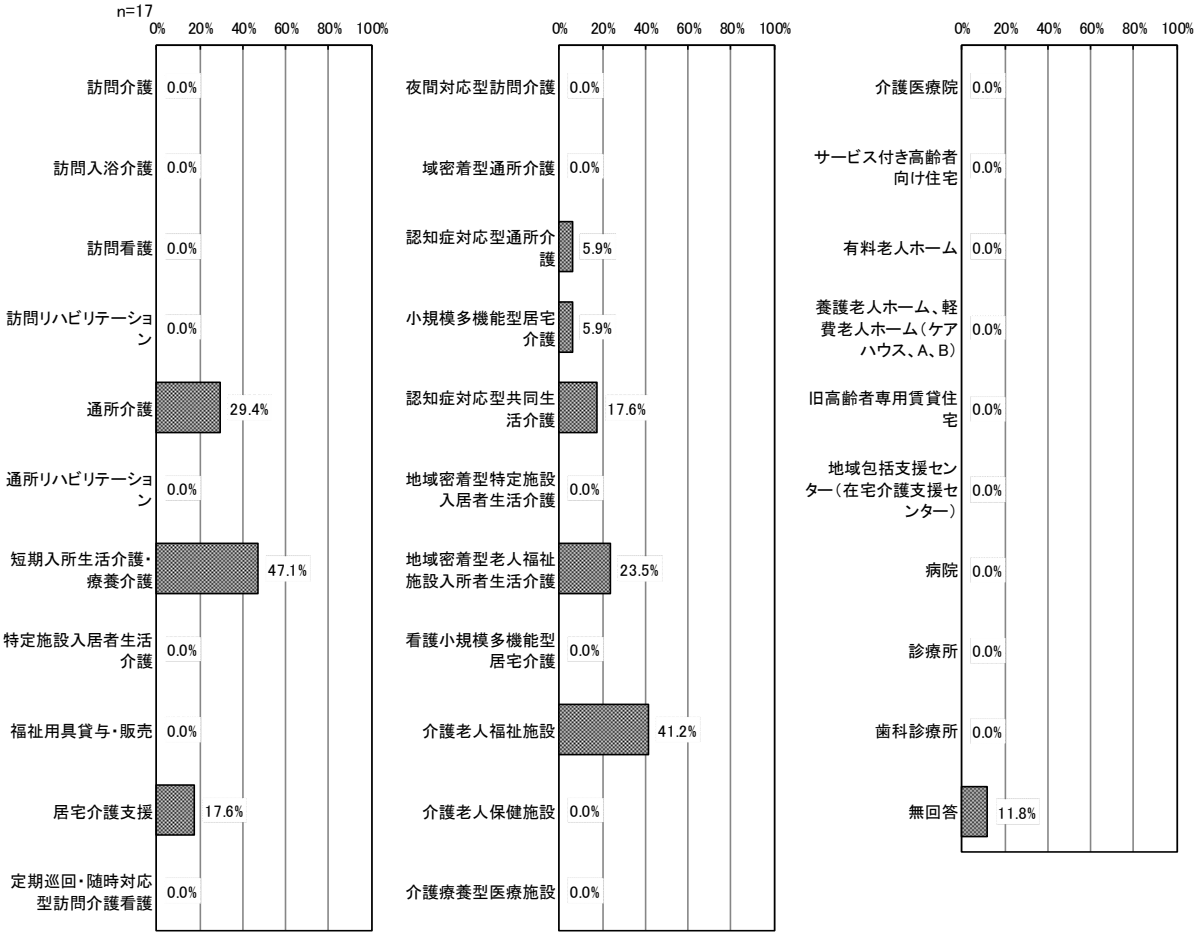
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 528　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 529　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 530　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 14 | 37.9 | 24.3 | 30.0 | 87.0 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 14 | 1.6 | 0.9 | 1.0 | 4.0 | 1.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 14 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |

**図表 531　非常勤職員**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 12 | 13.6 | 9.6 | 15.0 | 32.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 12 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 12 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

**図表 532　常勤換算人数**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 12 | 40.2 | 31.0 | 33.9 | 97.2 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 12 | 1.5 | 0.9 | 1.2 | 3.1 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 12 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |

# Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

## ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

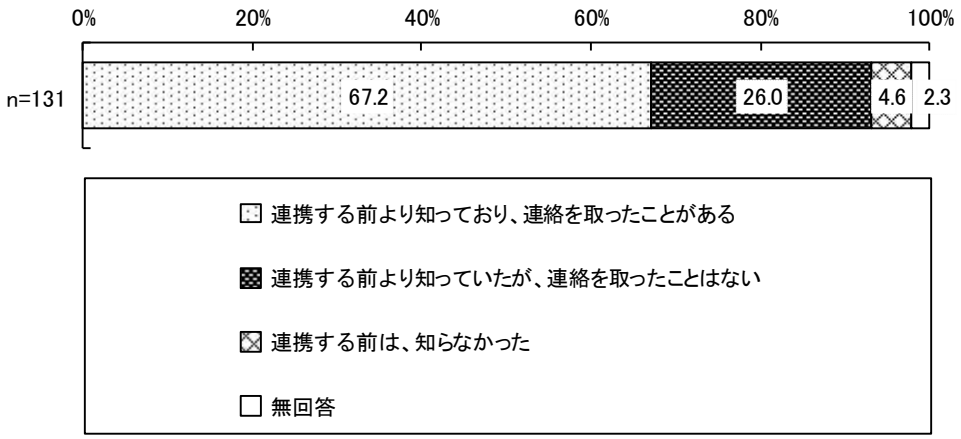
**図表 533　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位:年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 127 | 6.9 | 5.1 | 6.0 | 19.5 | 0.2 |

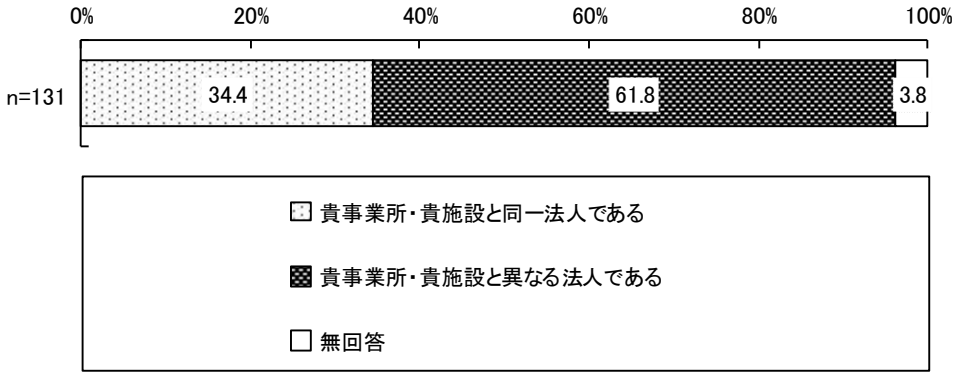
## イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6)

**図表 534　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



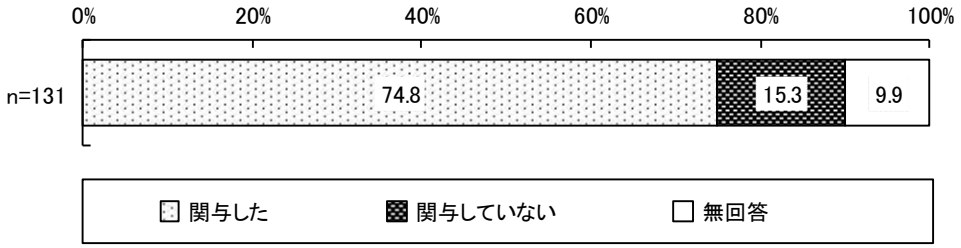

## ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 535　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



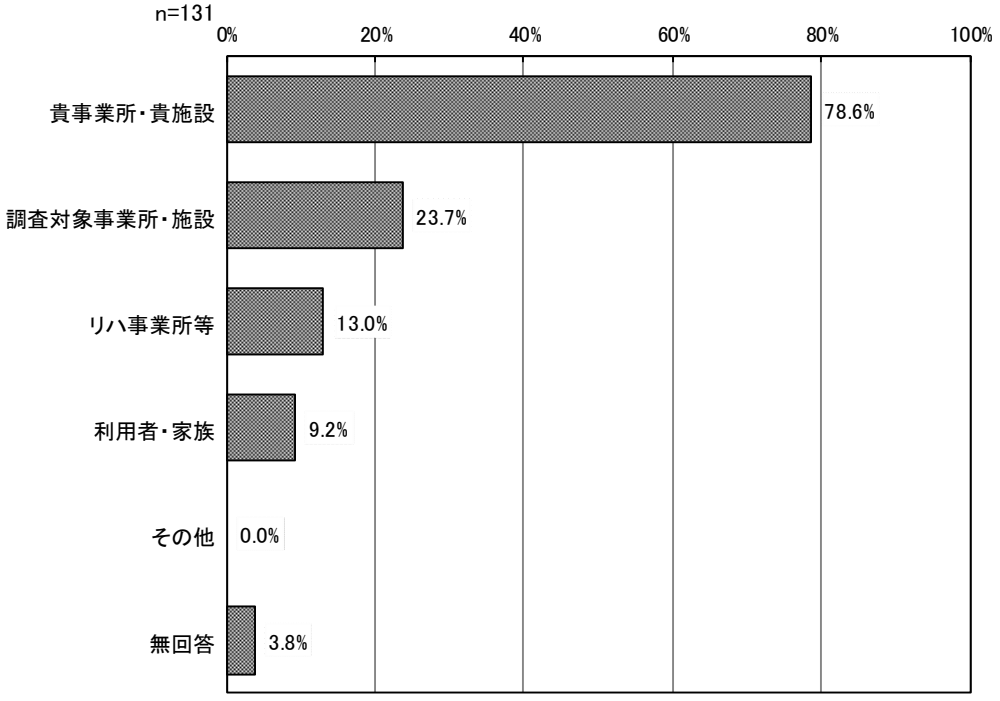
## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

図表 536　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか




## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

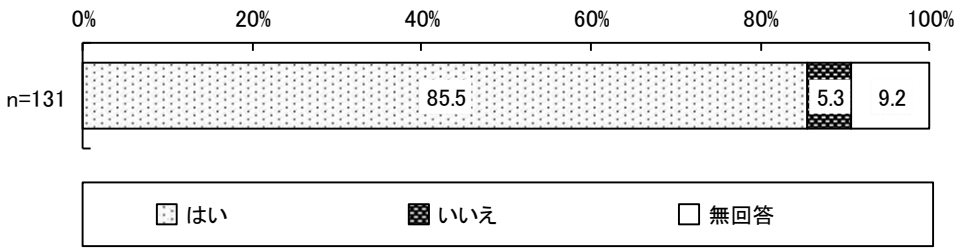
図表 537　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

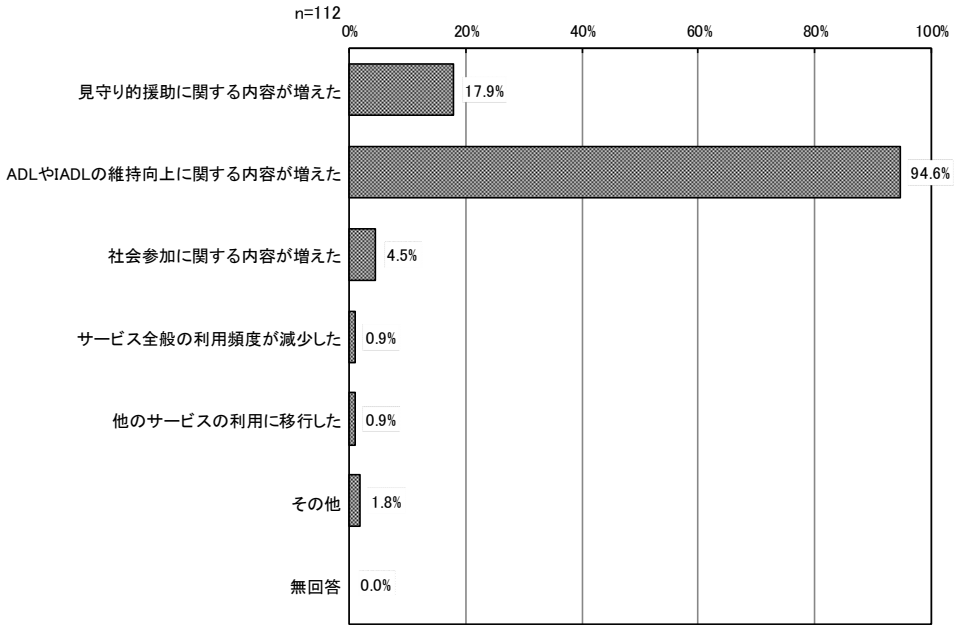
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

**図表 538　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか**




## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

**図表 539　専門的な知見による計画の改善内容**



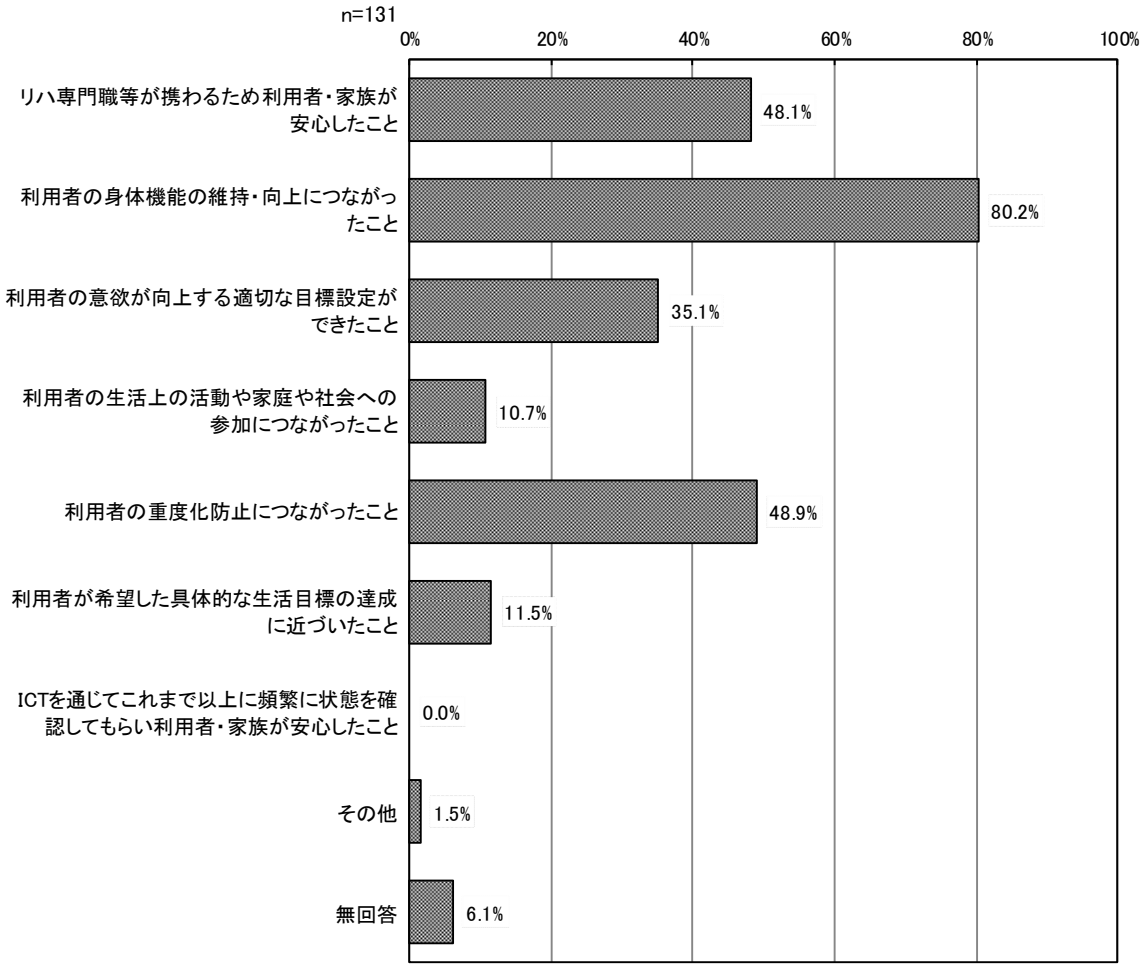

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・PT からの専門的な見地から対応・指導いただけている。

・医療的知見の内容（活動してよいか、安静がよいかなど）

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

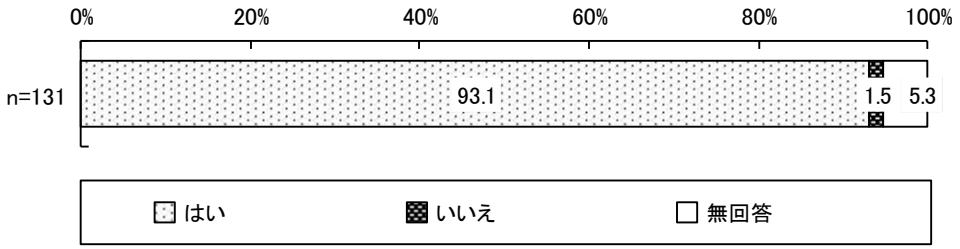
**図表 540　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 541　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

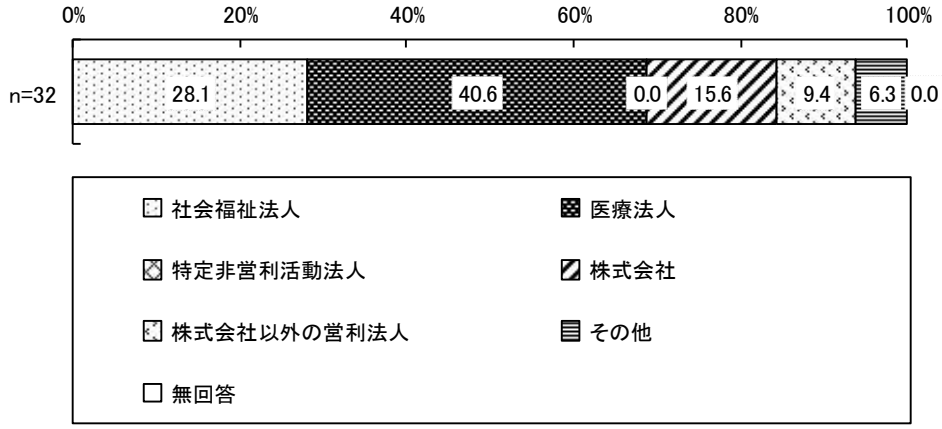


## （７） 訪問介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 542　法人種別

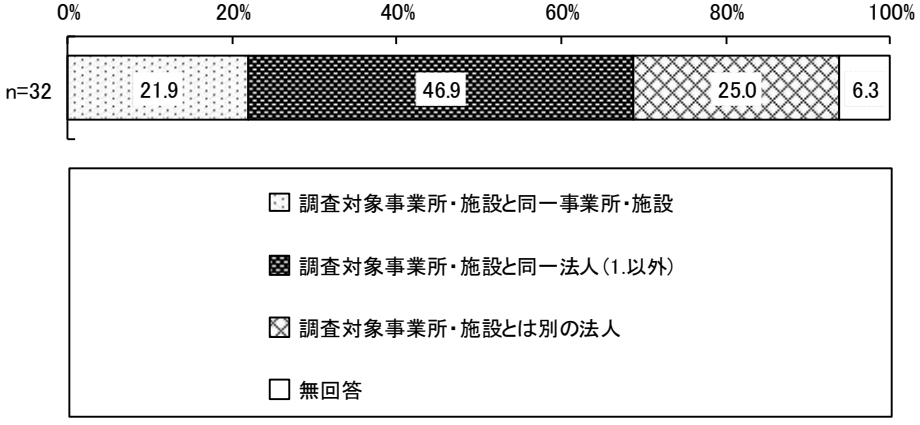



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・全国厚生農業協同組合連合会

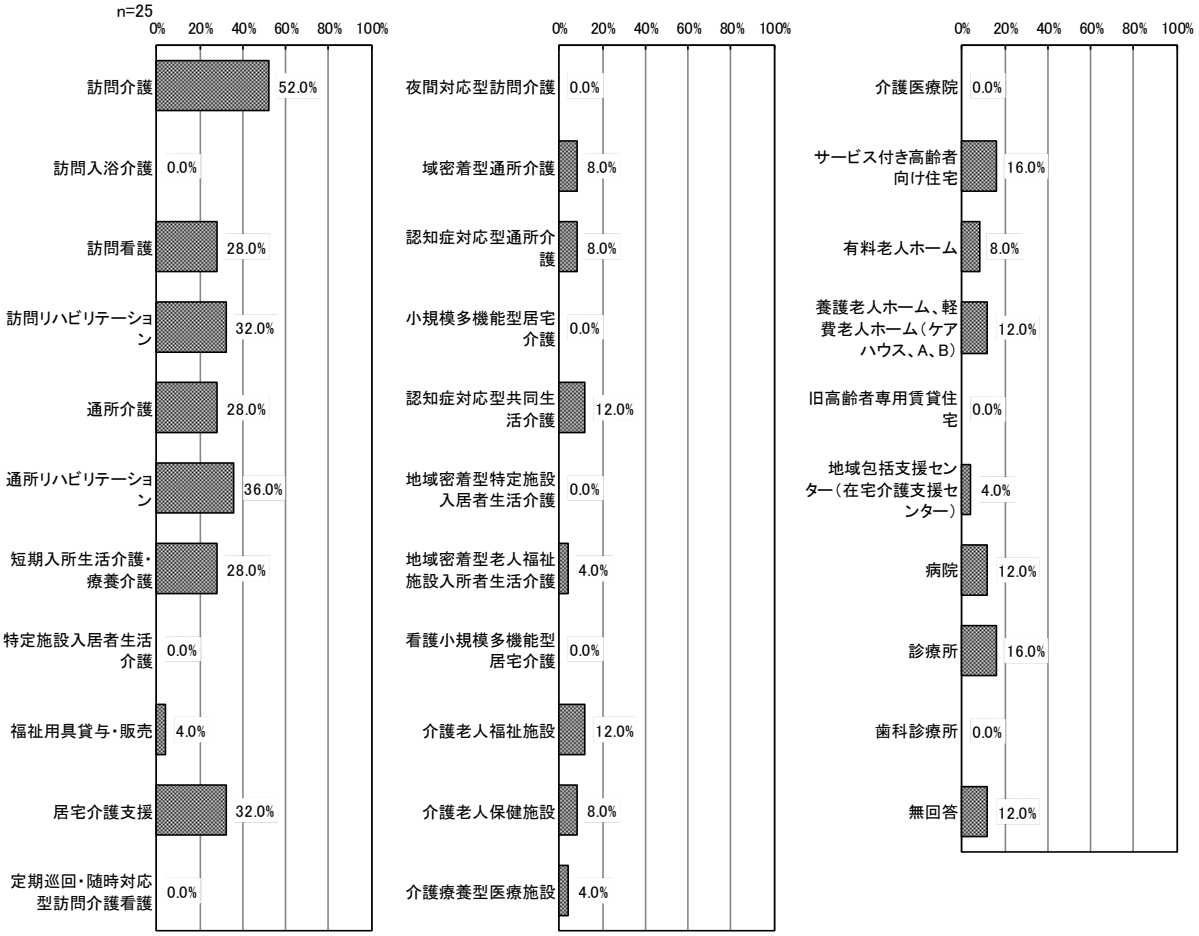
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 543　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 544　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 545　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 25 | 3.8 | 2.5 | 4.0 | 10.0 | 1.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 25 | 3.0 | 2.1 | 3.0 | 9.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 25 | 1.4 | 1.2 | 1.0 | 4.0 | 0.0 |

**図表 546　非常勤職員**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 16 | 1.6 | 2.4 | 1.0 | 10.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 16 | 0.9 | 0.9 | 1.0 | 3.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 16 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |

**図表 547　常勤換算人数**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 16 | 3.3 | 1.8 | 3.5 | 6.8 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 16 | 2.9 | 1.8 | 2.7 | 6.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 16 | 1.2 | 1.2 | 1.0 | 4.0 | 0.0 |

# Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

## ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

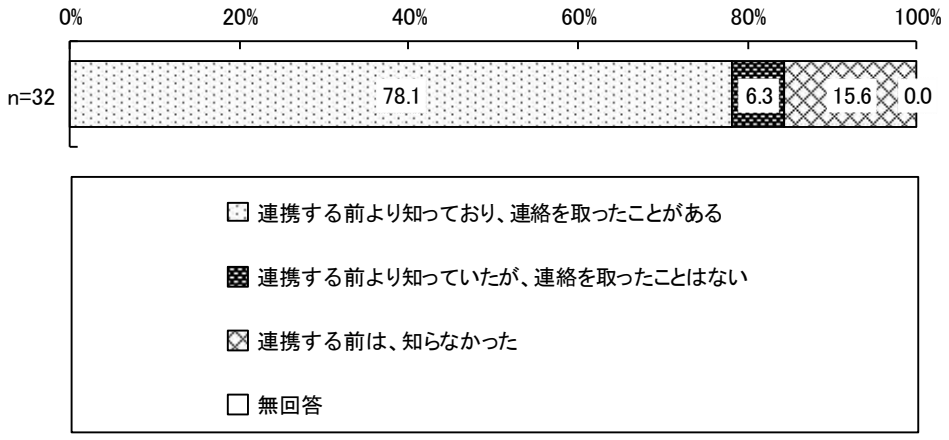
**図表 548　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位:年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 32 | 8.9 | 5.1 | 8.8 | 19.6 | 1.2 |

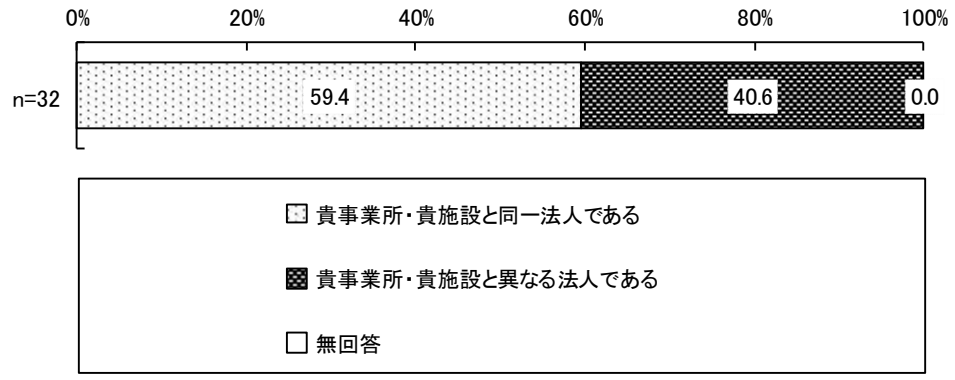
## イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6)

**図表 549　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



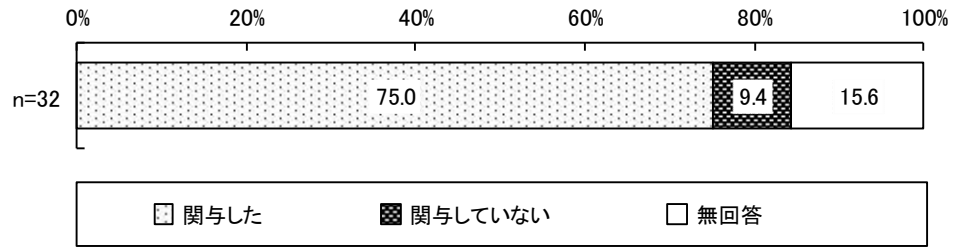
## ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 550　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



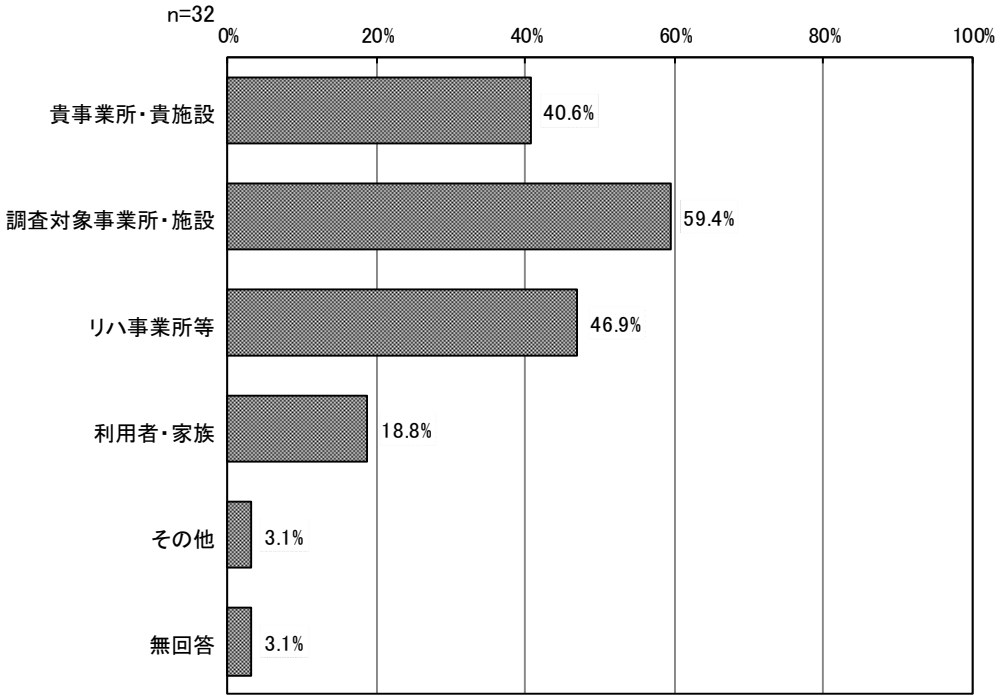

## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

**図表 551　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか**



## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

**図表 552　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**

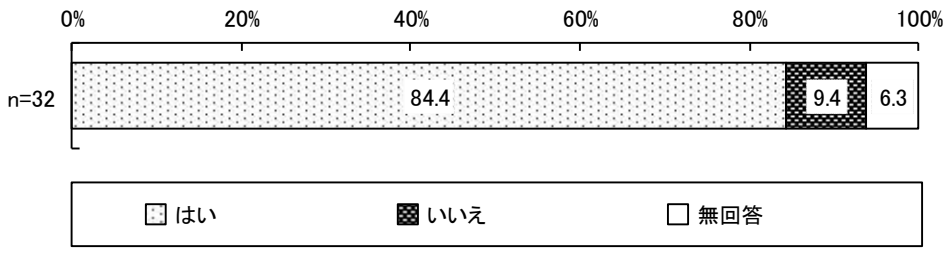



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・デイサービス

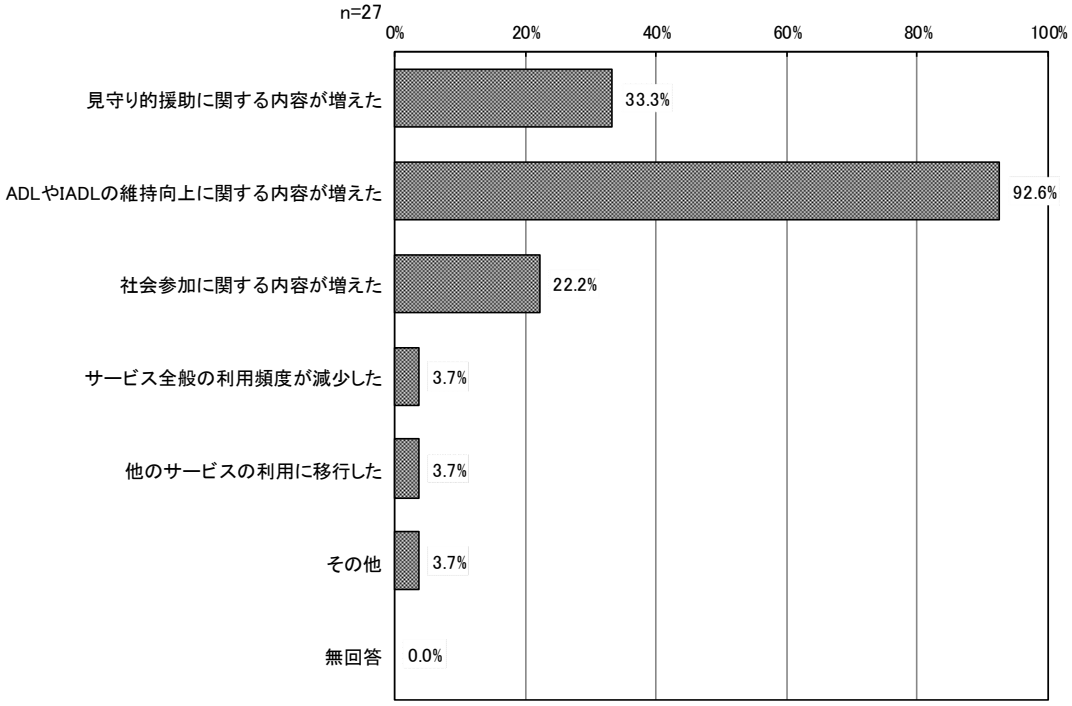
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

**図表 553　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか**



## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

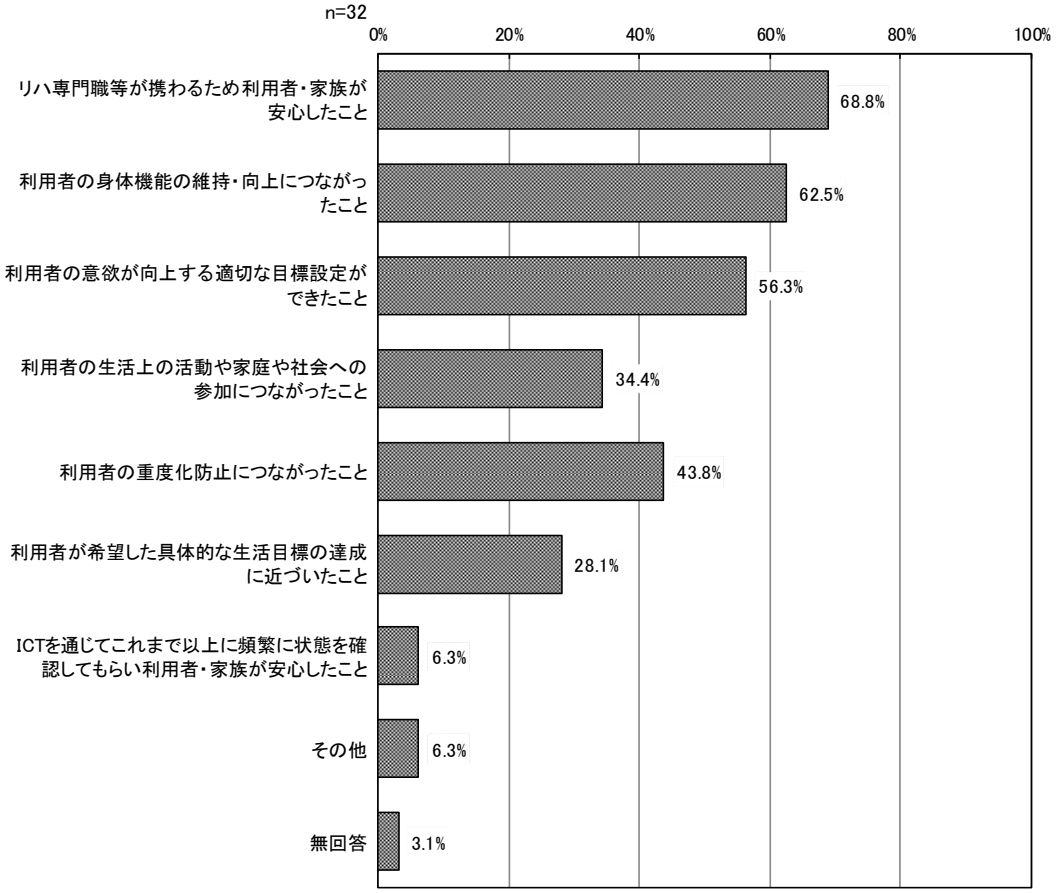
**図表 554　専門的な知見による計画の改善内容**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

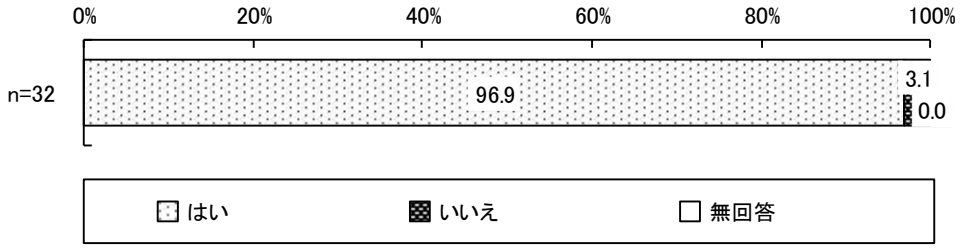
**図表 555　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 556　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

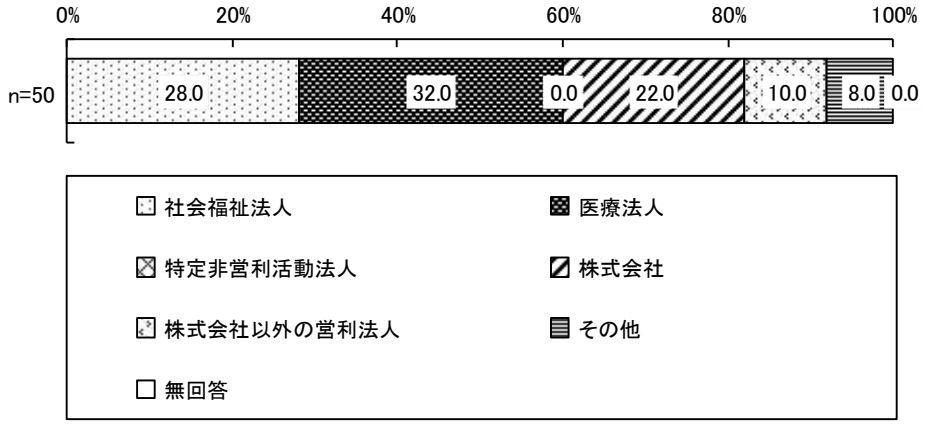


## （８） 小規模多機能型居宅介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 557　法人種別



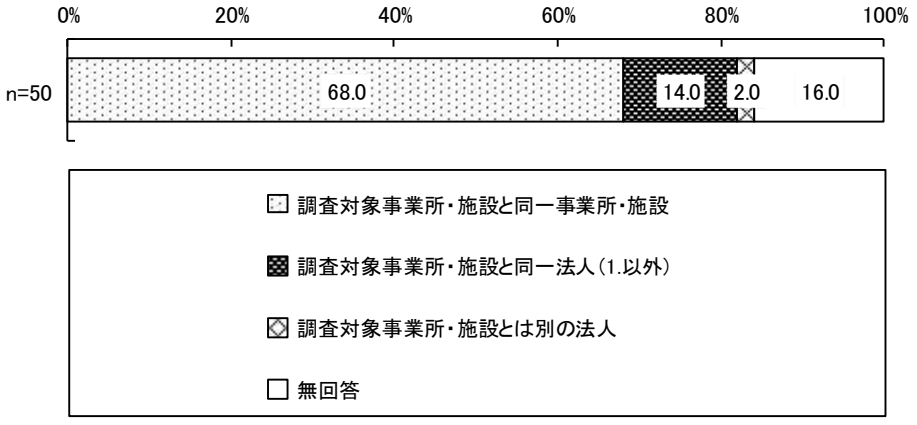

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・社団法人

・生協法人

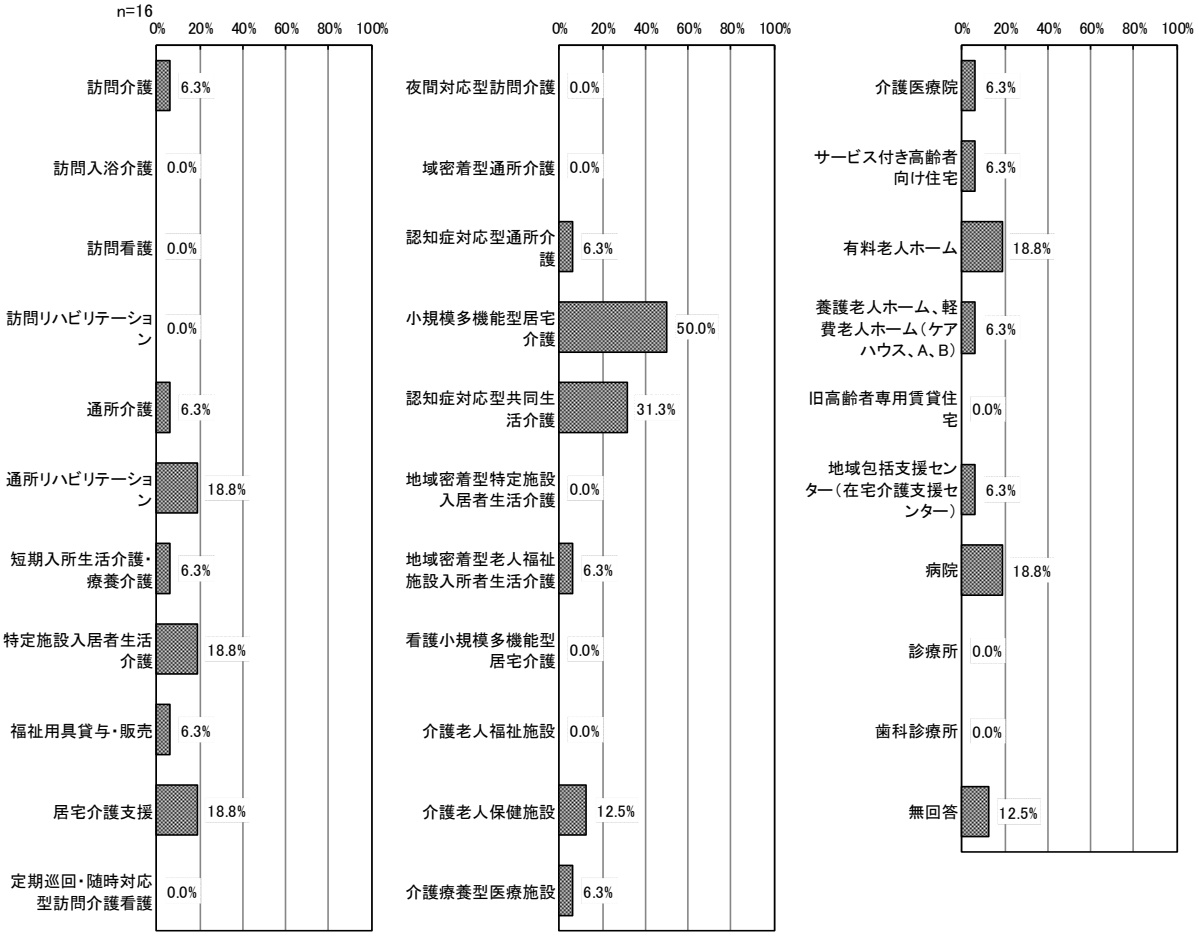
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 558　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 559　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 560　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 15 | 10.3 | 4.8 | 10.0 | 19.0 | 2.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 15 | 1.0 | 0.4 | 1.0 | 2.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 15 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |

**図表 561　非常勤職員**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 7 | 8.0 | 3.6 | 7.0 | 14.0 | 3.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 7 | 0.4 | 0.7 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

**図表 562　常勤換算人数**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 6 | 10.5 | 4.1 | 12.2 | 13.9 | 2.4 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 6 | 0.7 | 0.3 | 0.8 | 1.0 | 0.4 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 6 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 1.0 | 0.0 |

# Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

## ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

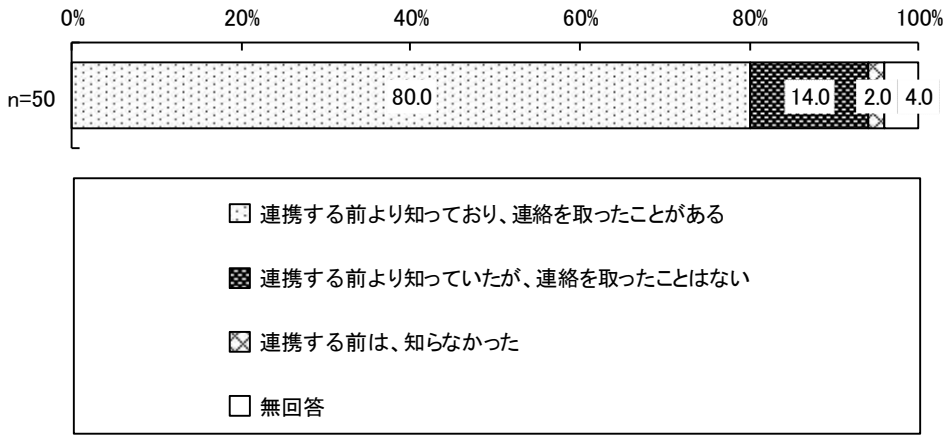
**図表 563　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位:年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 49 | 7.4 | 4.9 | 6.7 | 19.7 | 0.4 |

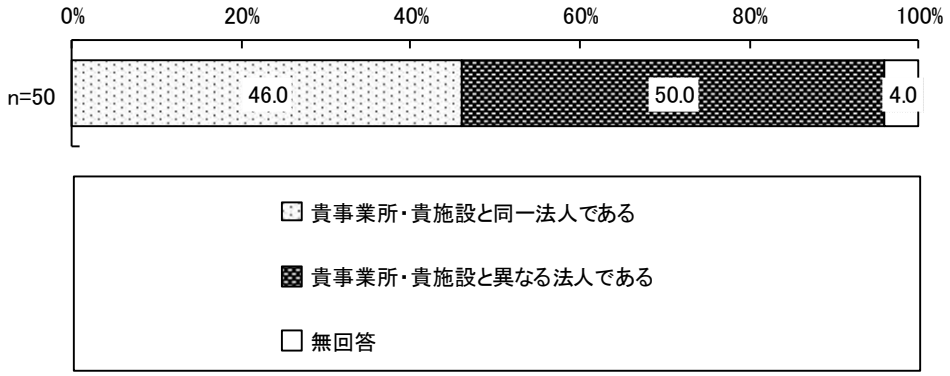
## イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6)

**図表 564　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



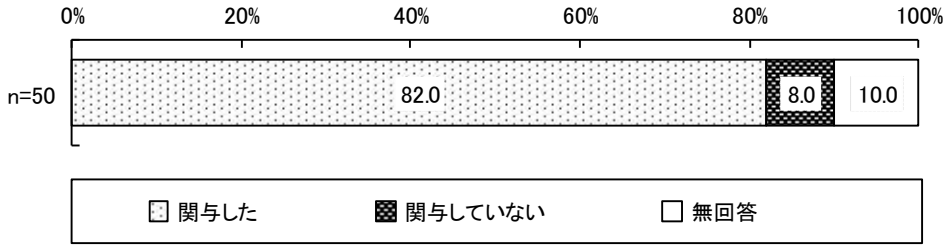

## ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 565　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



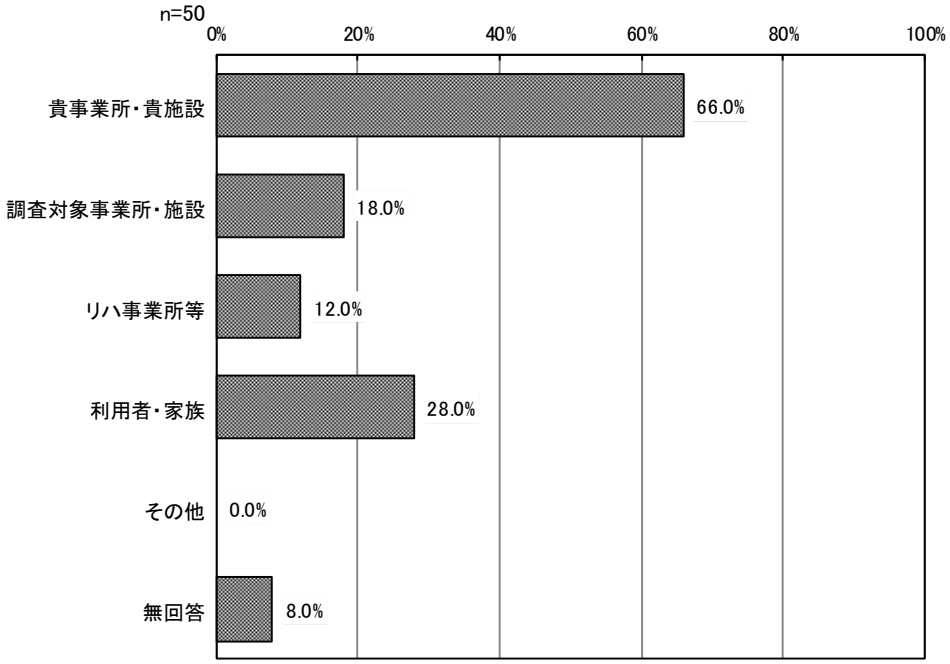
## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

**図表 566　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか**




## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

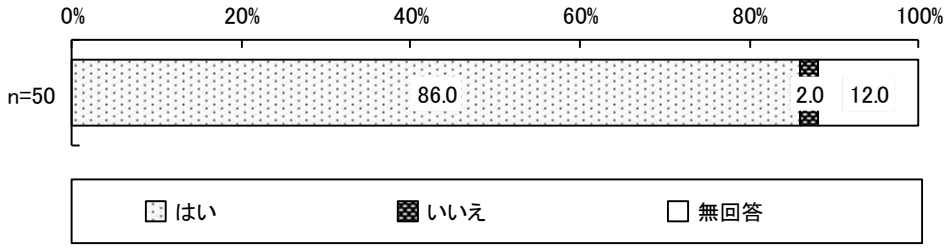
**図表 567　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

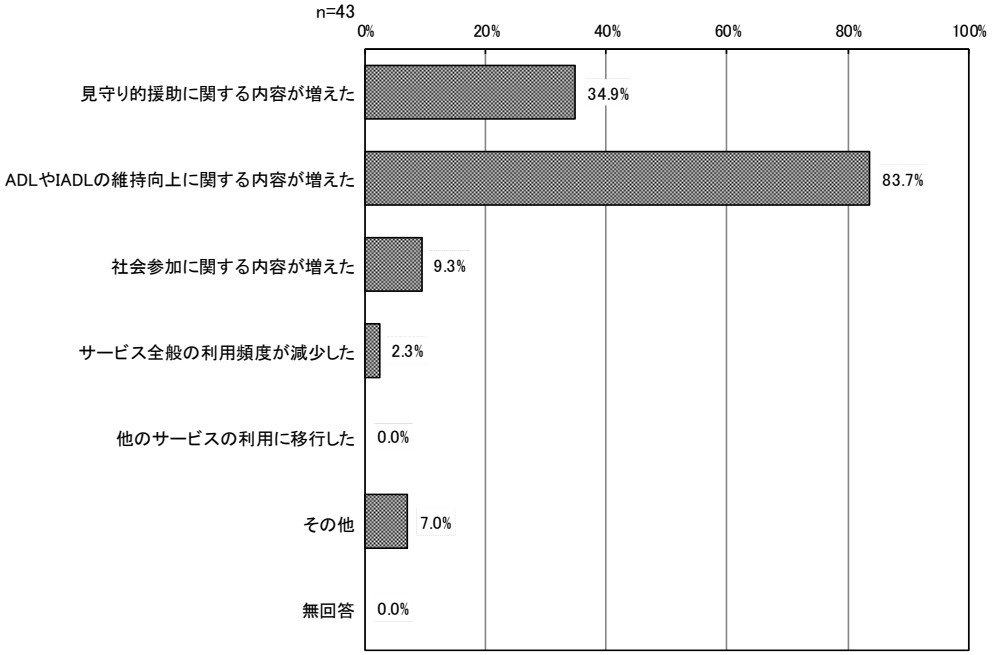
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

図表 568　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか




## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

図表 569　専門的な知見による計画の改善内容

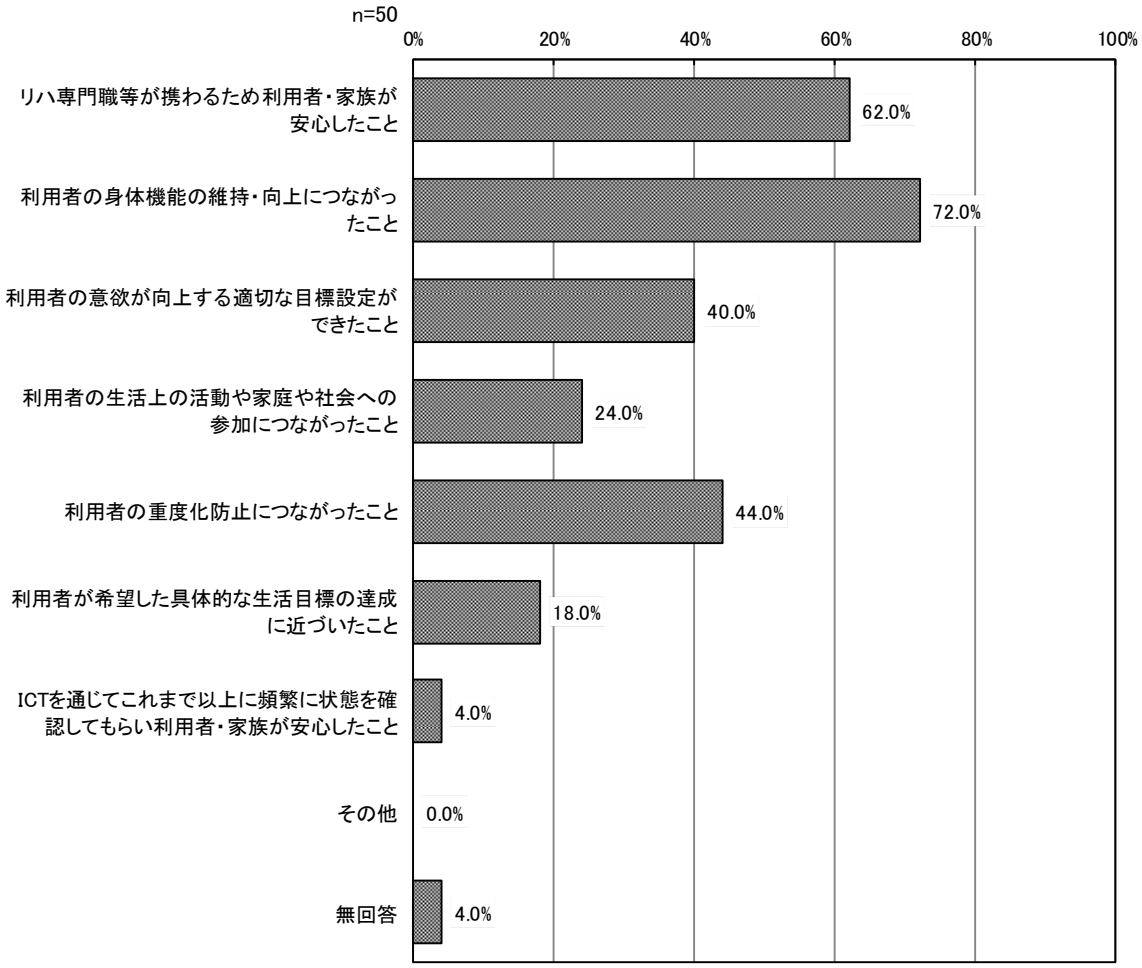



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・福祉用具のフィッティングや使い方

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

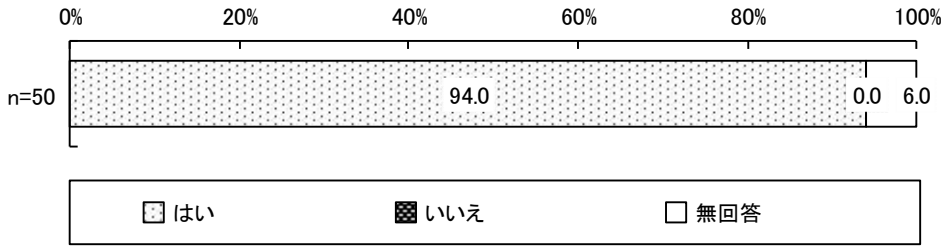
**図表 570　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 571　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**

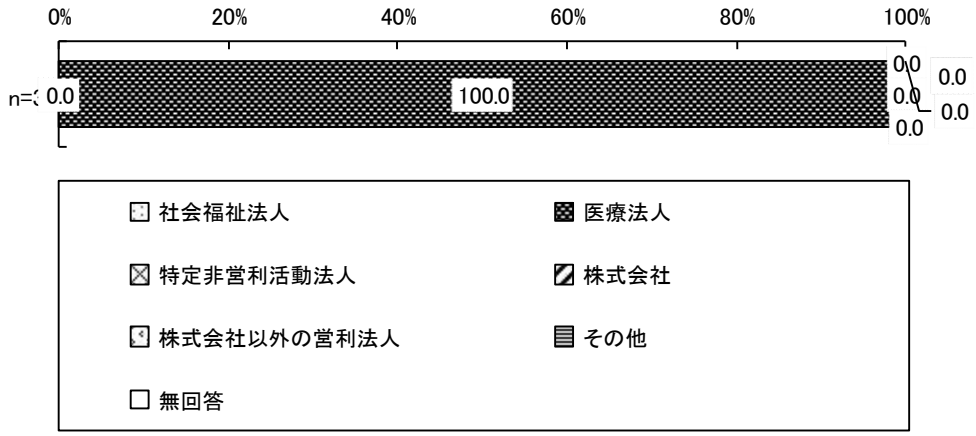


## （９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

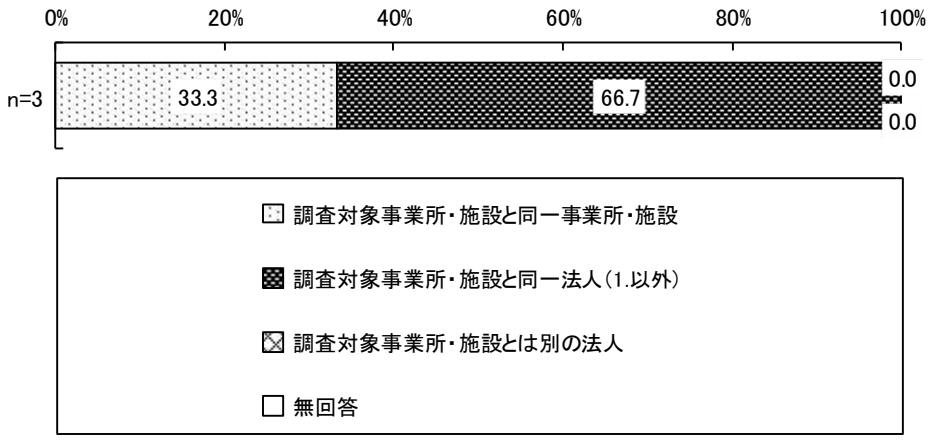
図表 572　法人種別




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

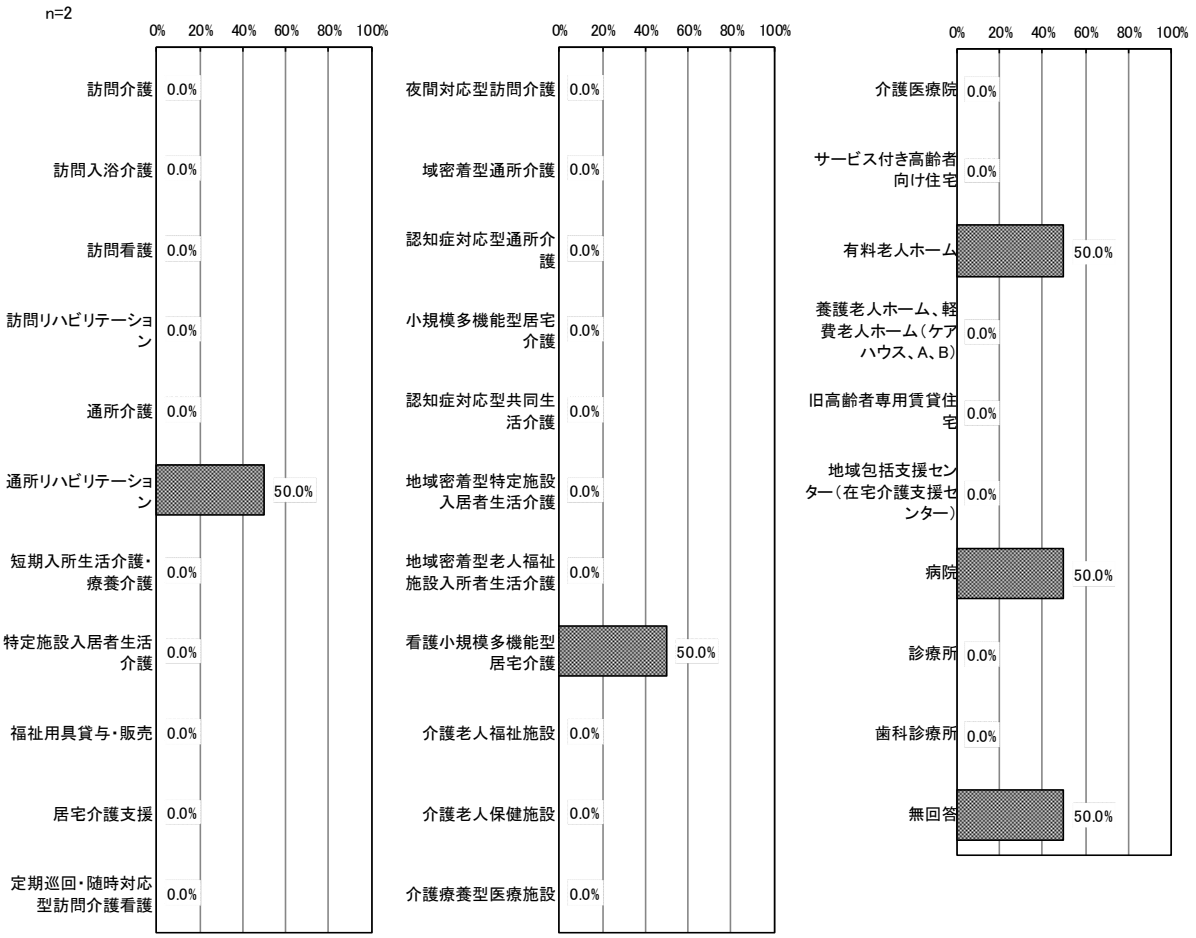
### イ） 調査対象事業所・施設との関係（問 2）

図表 573　調査対象事業所・施設との関係



## ウ） 併設施設サービス（問 3）

**図表 574　併設施設サービス**




## エ） 職員体制（問 4）

**図表 575　常勤職員**

（単位：人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 2 | 5.0 | 1.0 | 5.0 | 6.0 | 4.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 2 | 2.5 | 1.5 | 2.5 | 4.0 | 1.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 2 | 3.5 | 1.5 | 3.5 | 5.0 | 2.0 |

**図表 576　非常勤職員**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

**図表 577　常勤換算人数**

（単位:人）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 全職員 | 2 | 4.9 | 0.9 | 4.9 | 5.8 | 4.0 |
| 全職員のうち介護支援専門員 | 2 | 2.5 | 1.5 | 2.5 | 4.0 | 1.0 |
| 介護支援専門員のうち主任介護支援専門員 | 2 | 3.4 | 1.4 | 3.4 | 4.8 | 2.0 |

# Ⅱ．外部機関との連携・調整の状況

## ア） ケアマネジャーの業務経験年数（問 5）

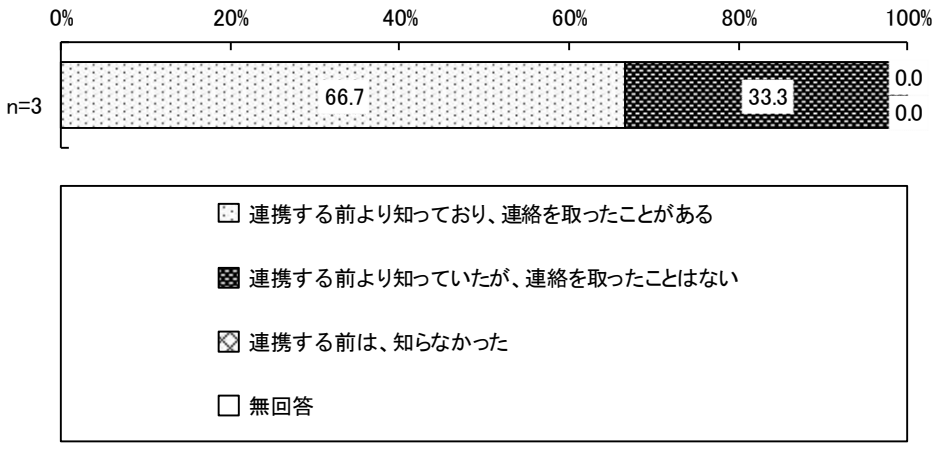
**図表 578　ケアマネジャーの業務経験年数**

（単位:年）

| | 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアマネジャーとしての業務経験年数 | 3 | 9.3 | 4.0 | 7.0 | 15.0 | 6.0 |

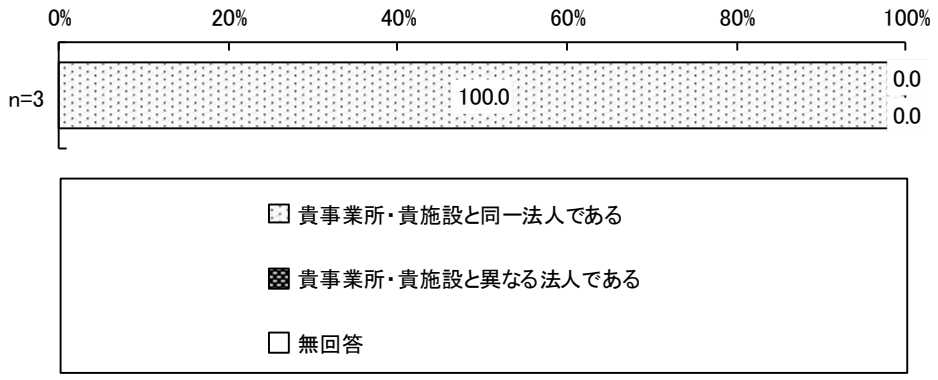
## イ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか(問 6)

**図表 579　調査対象施設の連携先リハ事業所等を連携以前から知っていたか**



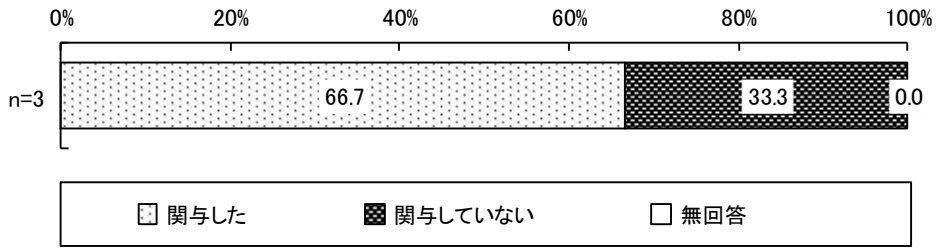
## ウ） 調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係（問 7）

**図表 580　調査対象施設の連携先リハ事業所等との関係**



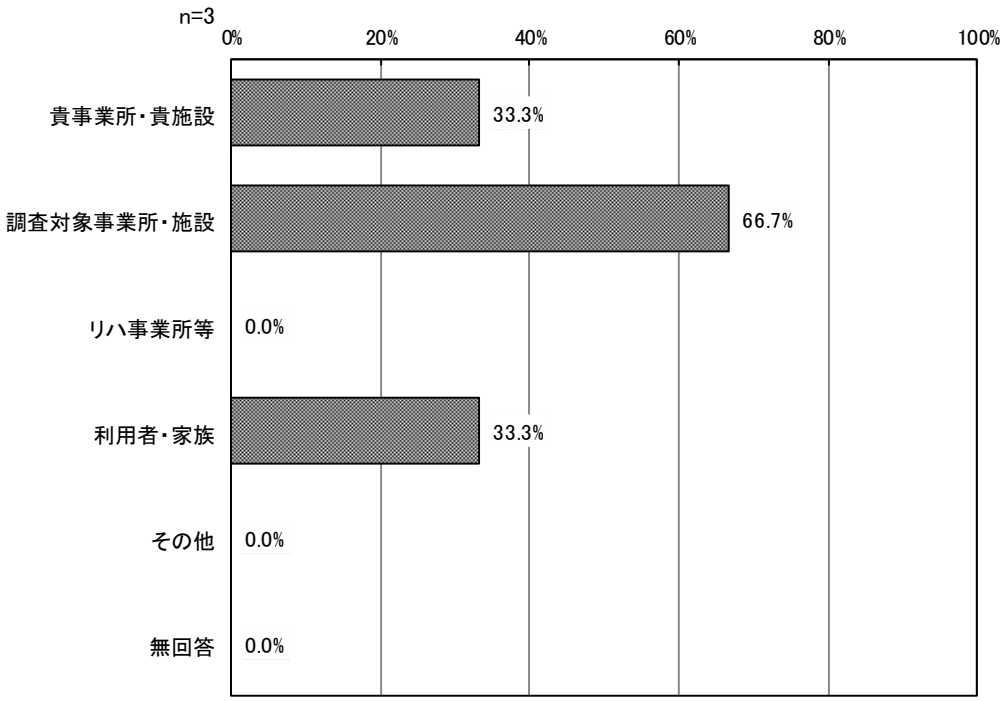

## エ） 調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか（問 8）

**図表 581　調査対象施設とリハ事業所等との連携に関与したか**



## オ） 利用者へ連携加算の適用を働きかける主体（問 9）

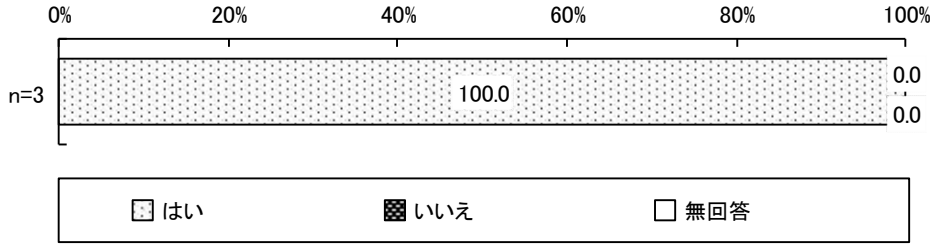
**図表 582　利用者へ連携加算の適用を働きかける主体**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

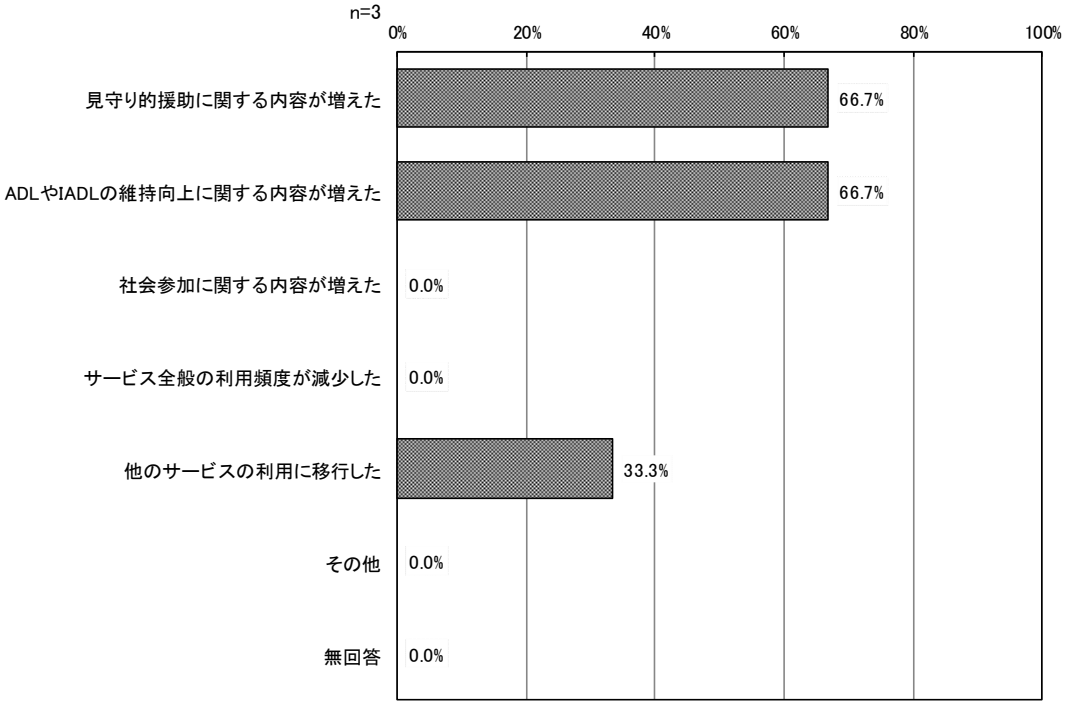
## カ） 連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか（問 10）

**図表 583　連携により専門的な知見が新たに計画に反映されたか**



## キ） 専門的な知見による計画の改善内容（問 11）

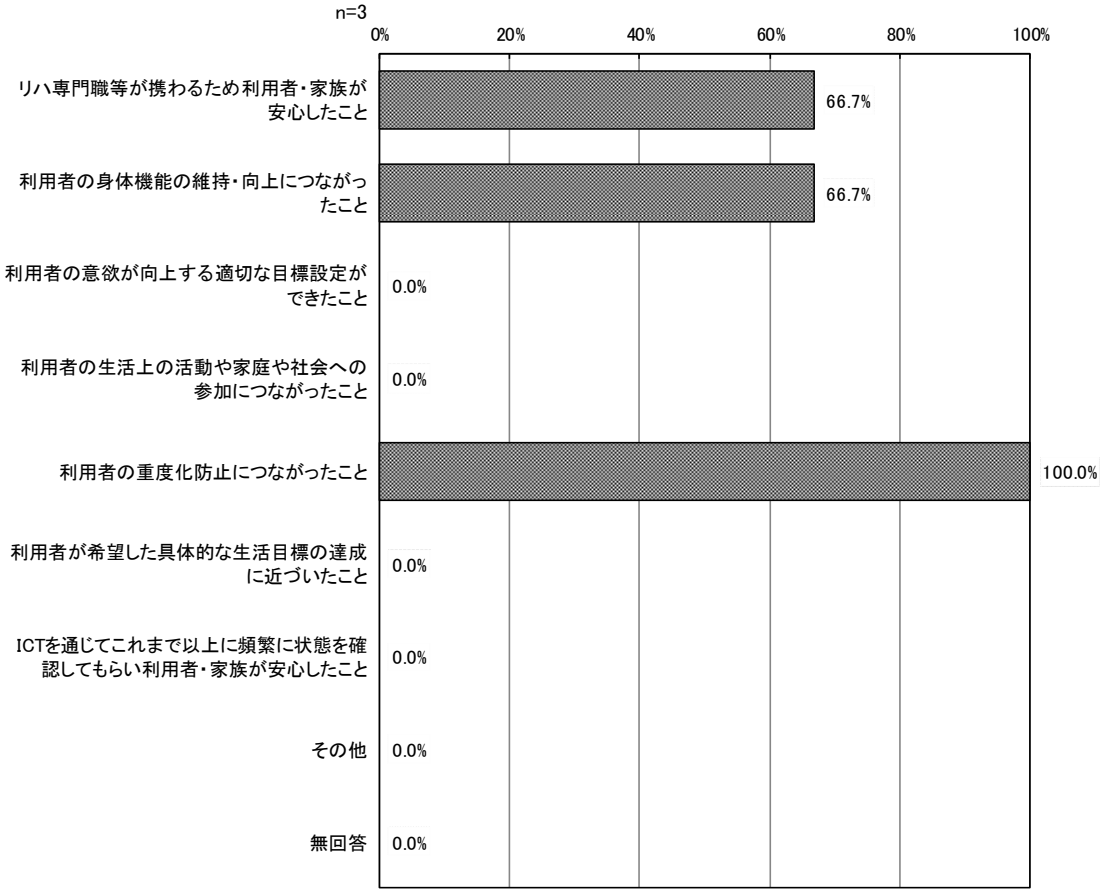
**図表 584　専門的な知見による計画の改善内容**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ク） 利用者が享受したメリット（問 12）

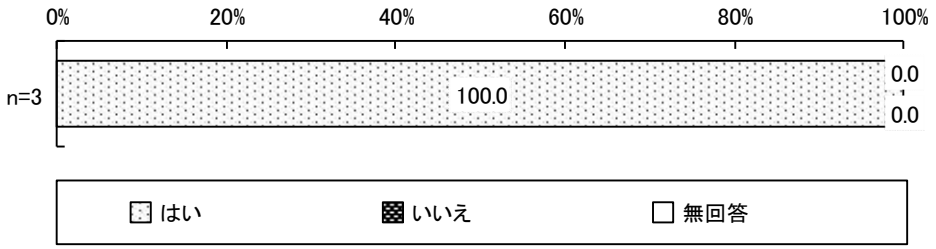
**図表 585　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無（問 13）

**図表 586　連携による、ケアプラン内容の見直しへの好影響の有無**



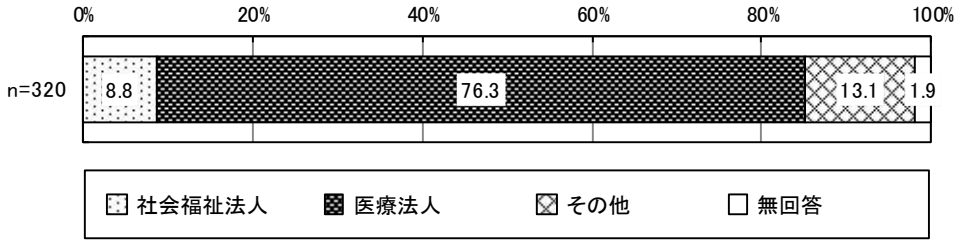
# ３．リハビリテーション事業所・医療提供施設に対するアンケート調査結果

## （１） 通所介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 587　法人種別



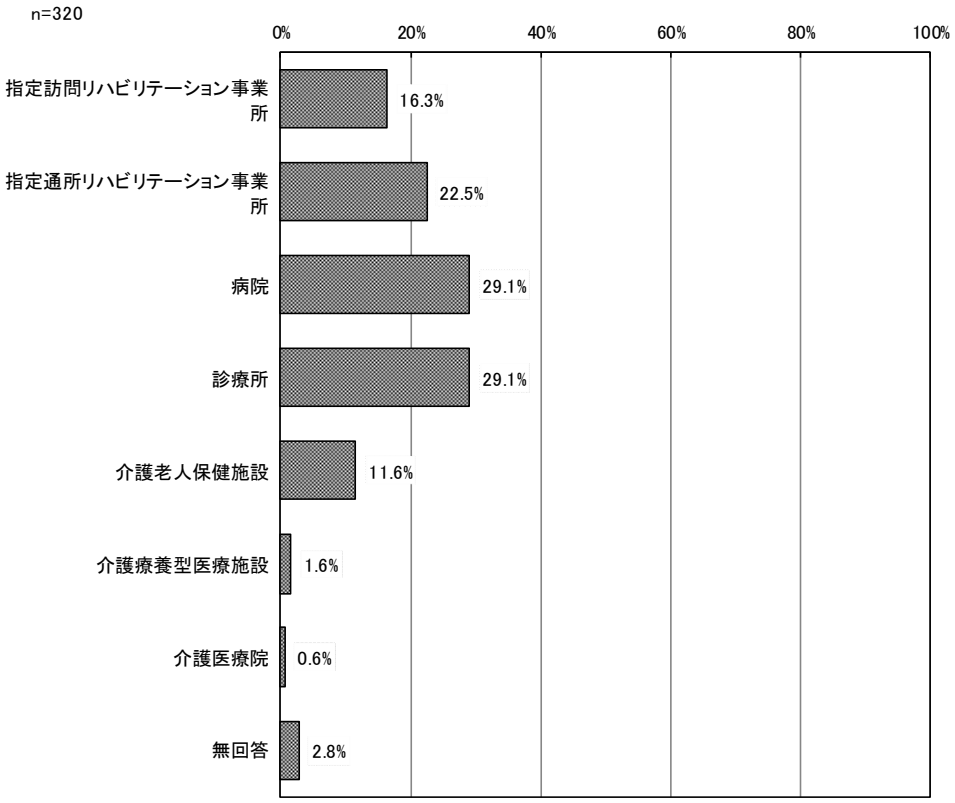

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・生協

・公益社団法人

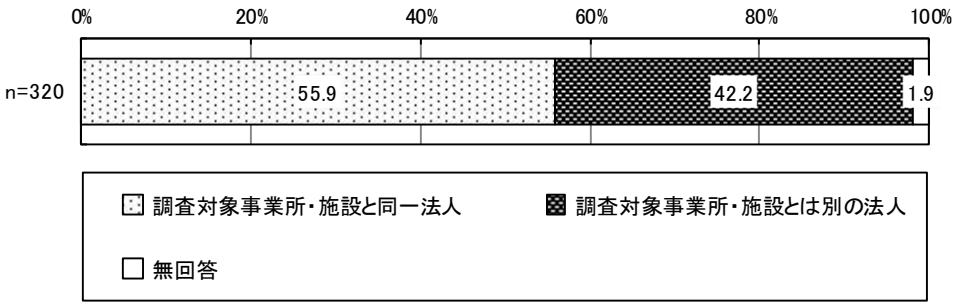
## イ） 種類（問 2）

図表 588　種類




## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

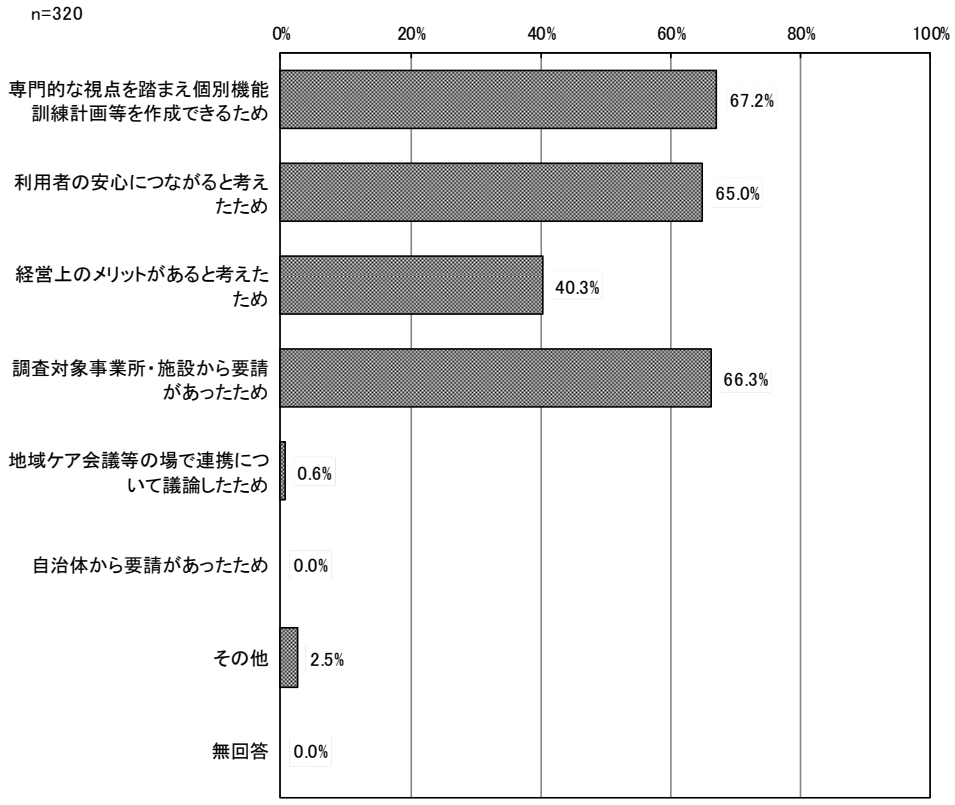
図表 589　調査対象事業所・施設との関係



## Ⅱ．連携の状況

### ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

**図表 590　調査対象事業所・施設との連携の動機**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・利用者の能力低下を防ぐため。

・地域との連携を強化したいため。

### イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 591　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・通所の機能訓練指導員(セラピスト)と共同して、目標に対するアプローチ方法の検討するようにしている。

・利用者の情報を共有できるように連絡を取れる体制にしている。

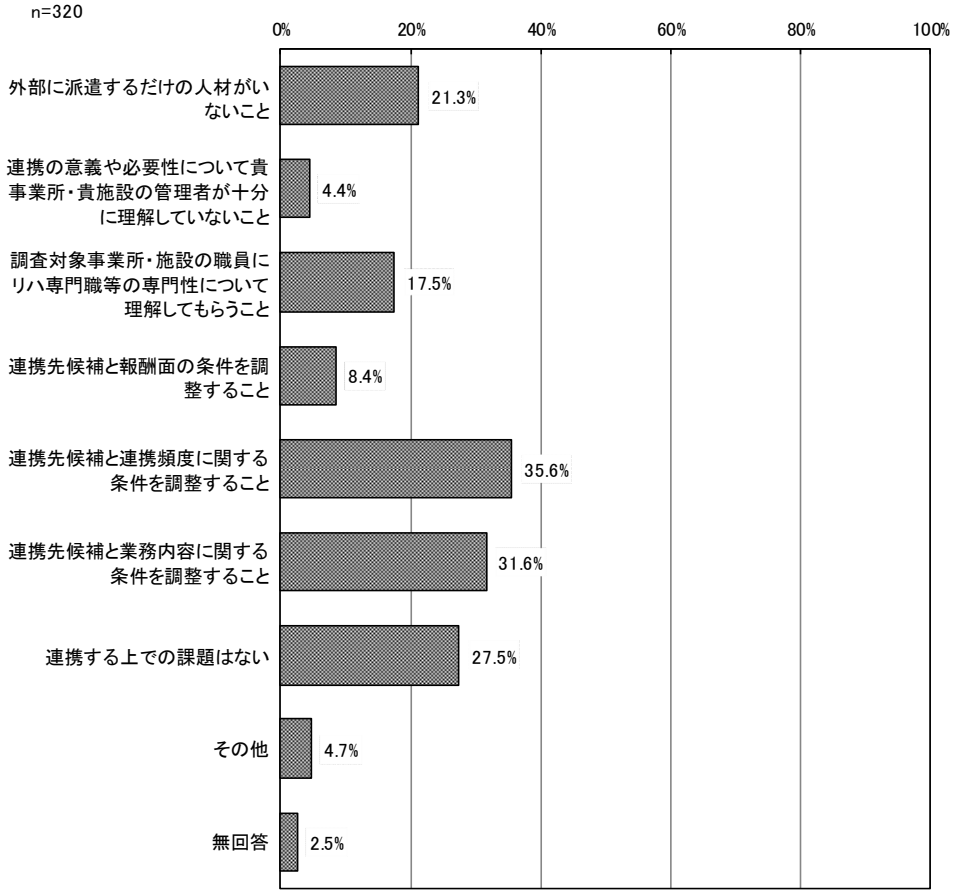
・利用者の利用時間と外部の理学療法士の外来リハの時間をさけて調整している。

・職員の役割を明確にした。

・連携する目的や利用者ごとの生活目標の共有している。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

**図表 592　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**

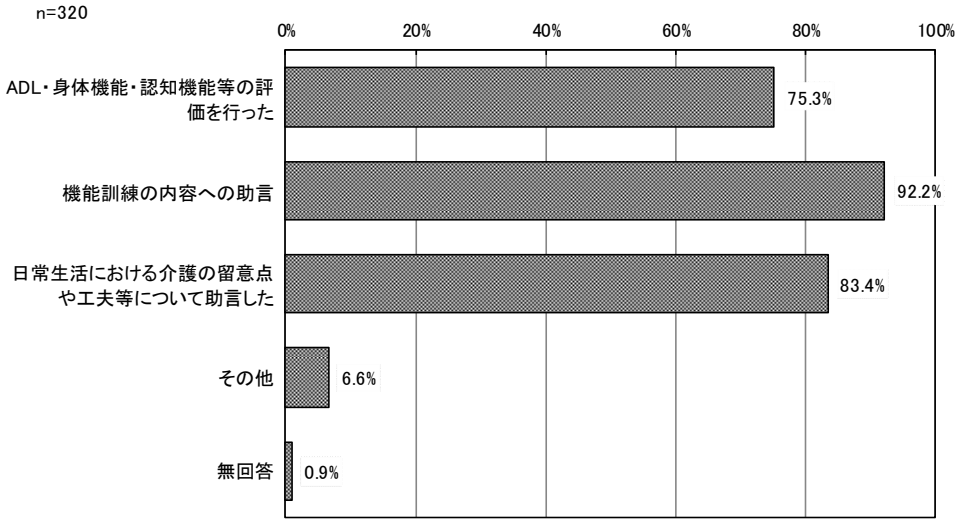



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・調査対象事業所の負担が増え過ぎないように工夫すること。

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 593　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・利用者の目標設定に対する提案

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

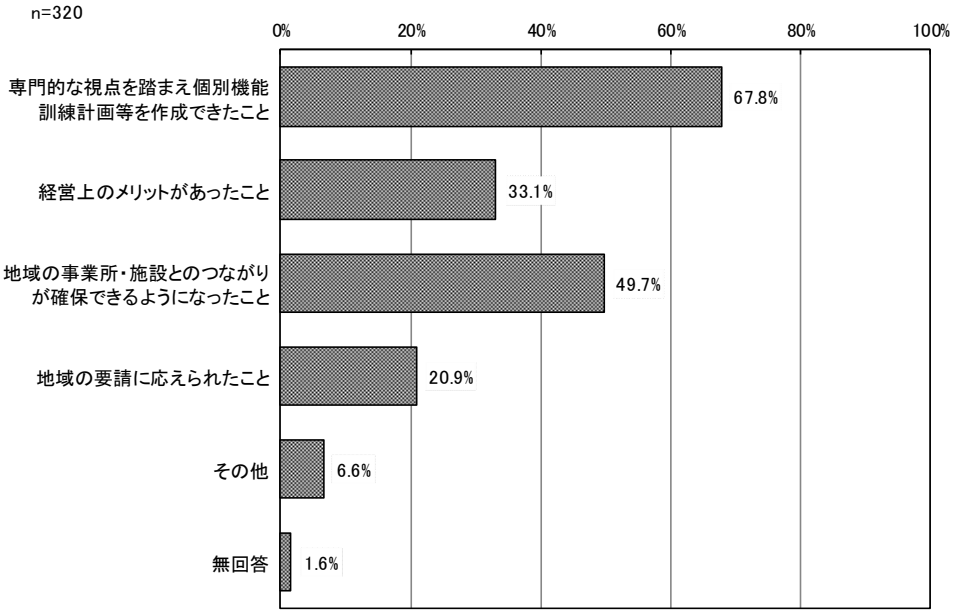
**図表 594　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=300 | 1.8 | 4.4 | 0.5 | 40.0 | 0.1 |
| その他事務職員 n=69 | 0.7 | 1.7 | 0.1 | 10.0 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

**図表 595　連携によるメリット**



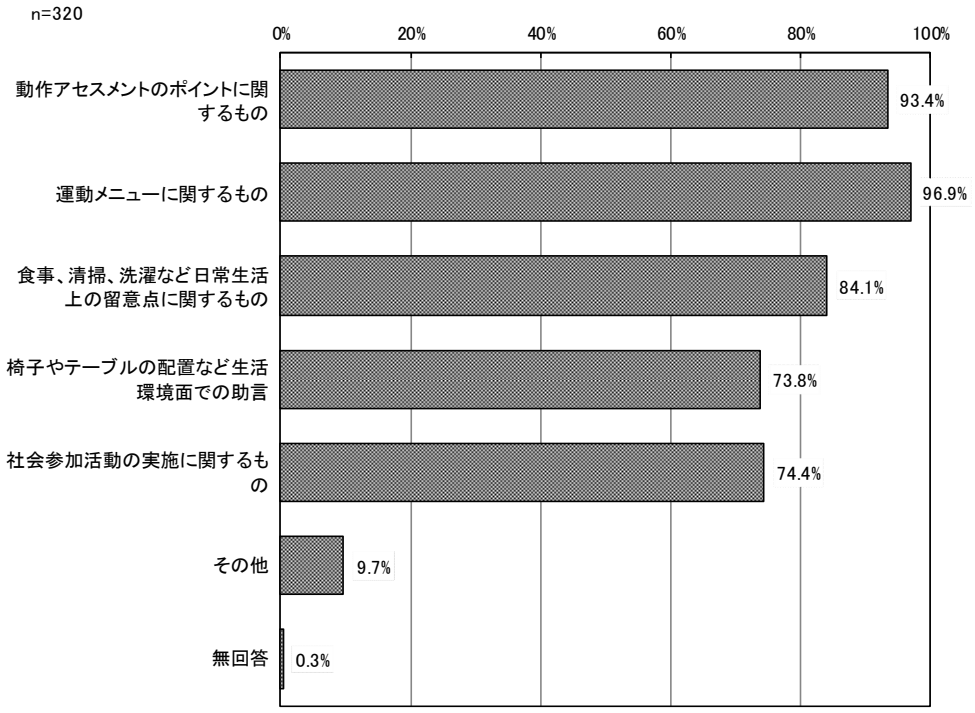

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・計画立案のみならず、訓練方法等も利用者と介護職員が共有できていること。

・生活レベルでの問題や、ケアに関する課題が明確になったこと。

## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

**図表 596　実際の助言内容**

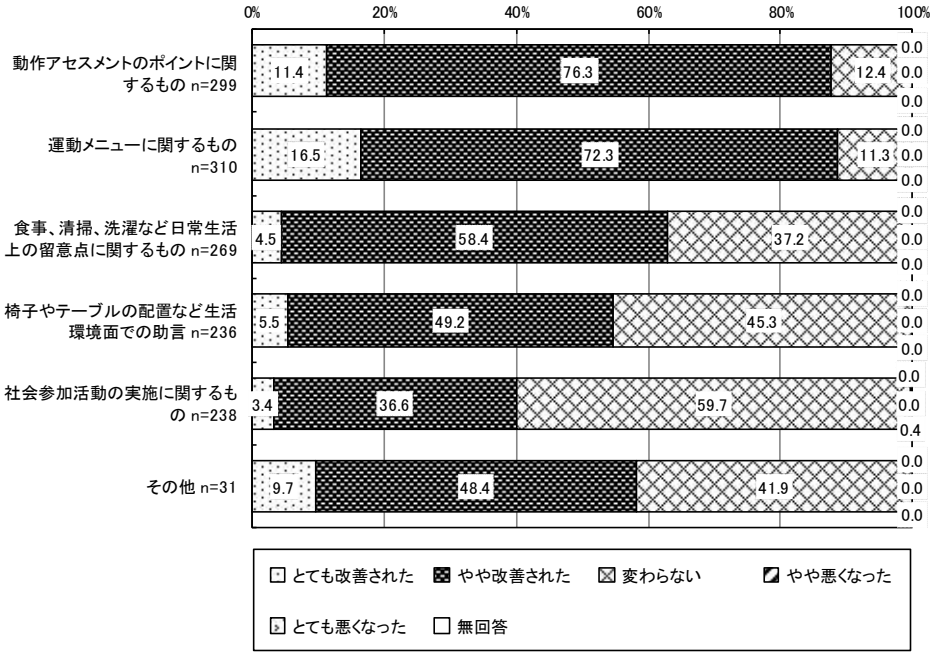



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・精神面、意欲の低下等に対するアプローチ

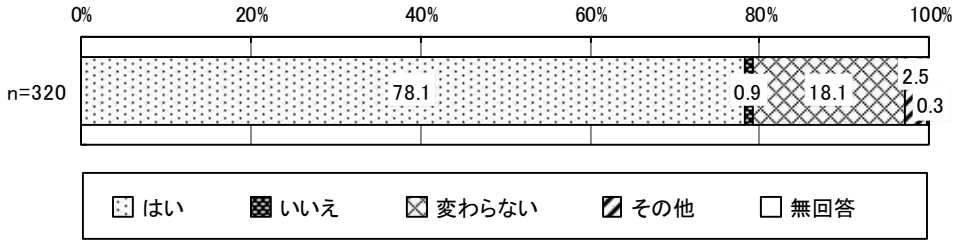
・目標設定、医学的管理に対する助言

**図表 597　改善状況**




## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

**図表 598　連携先職員の専門性の向上**

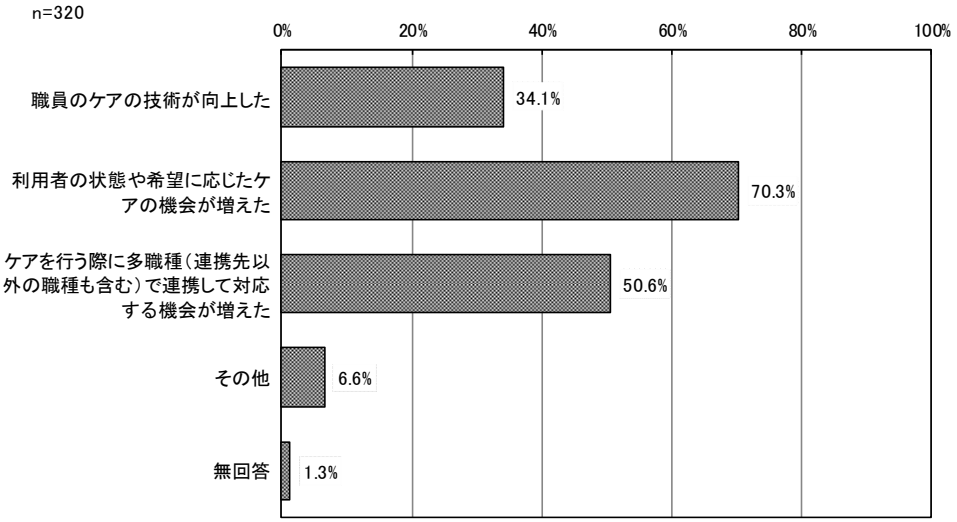



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・わからない

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

**図表 599　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化**

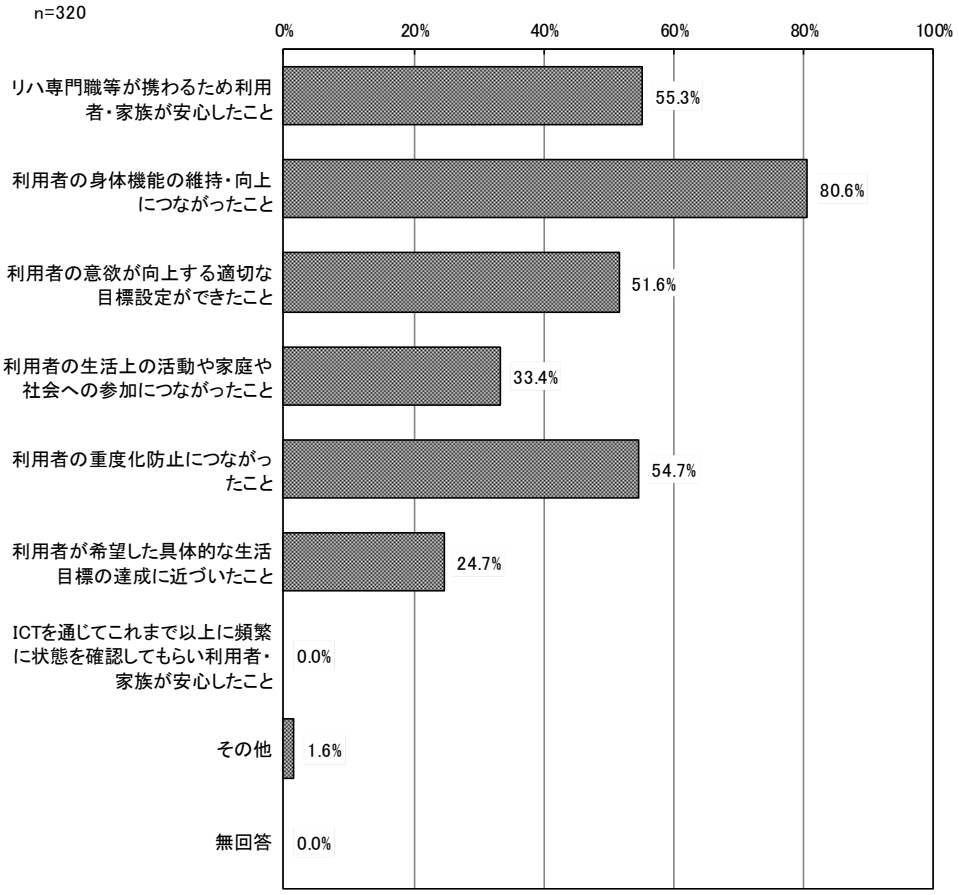



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）職員の評価の技術が向上した

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

**図表 600　利用者が享受したメリット**

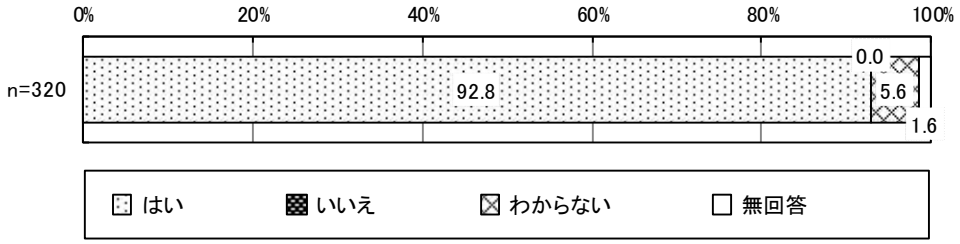



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・安全な機能訓練の遂行につながった

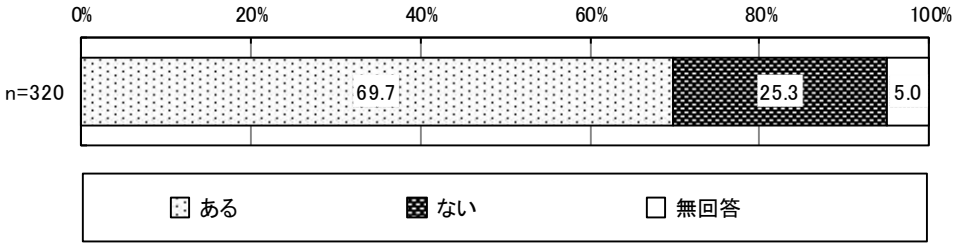
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 601　連携を継続したいか**

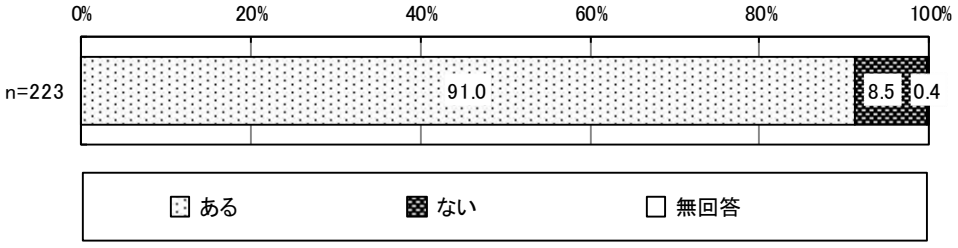


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

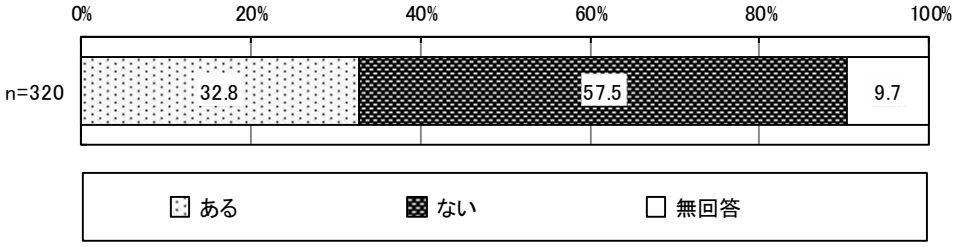
図表 602　加算に関する周知の経験　同一法人



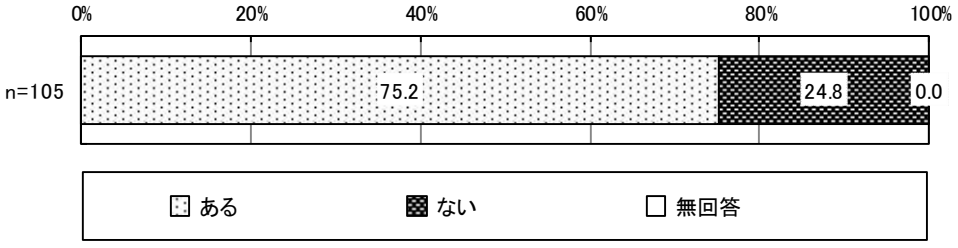

図表 603　反応の有無　同一法人




図表 604　加算に関する周知の経験　他法人




図表 605　反応の有無　他法人

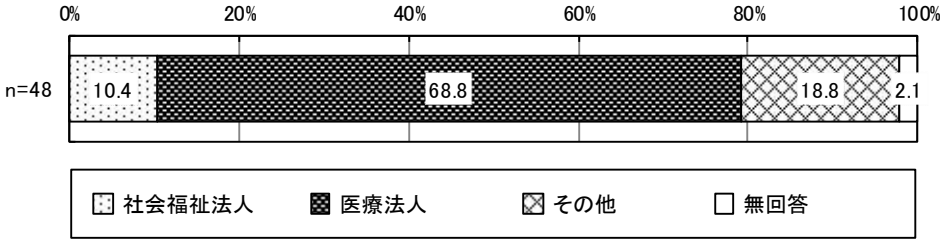


## （２） 認知症対応型通所介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 606　法人種別




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

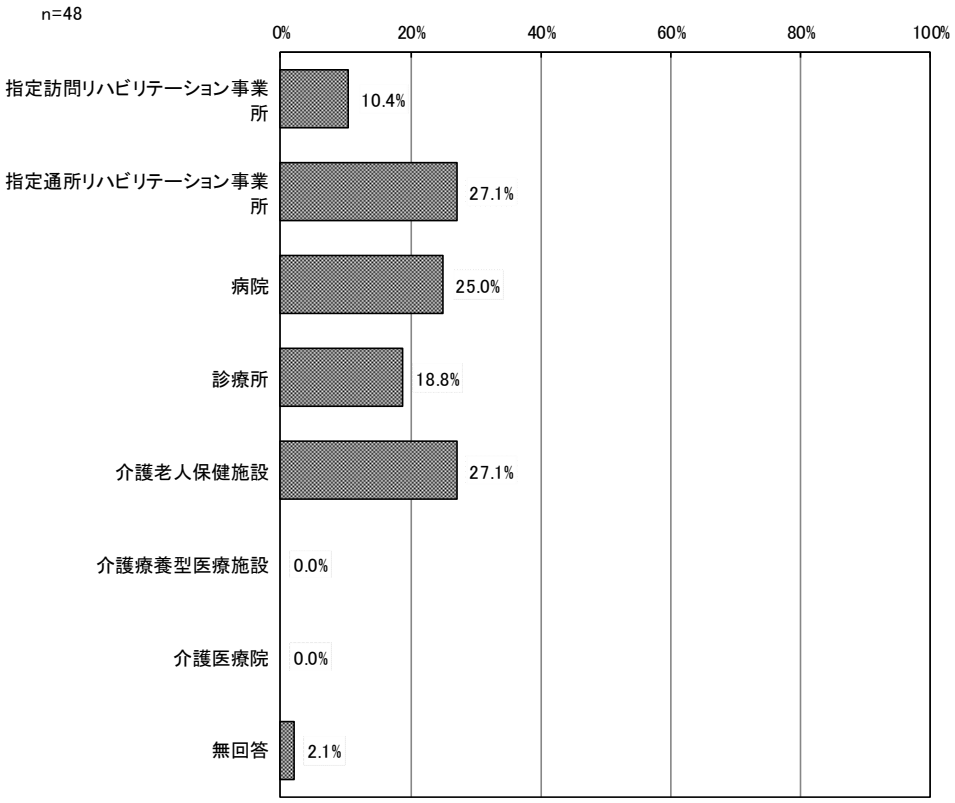
・社会医療法人財団

・生協

・公益財団法人

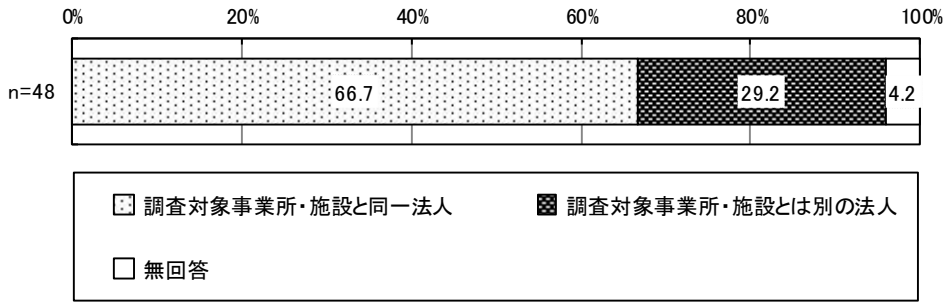
## イ） 種類（問 2）

**図表 607　種類**




## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

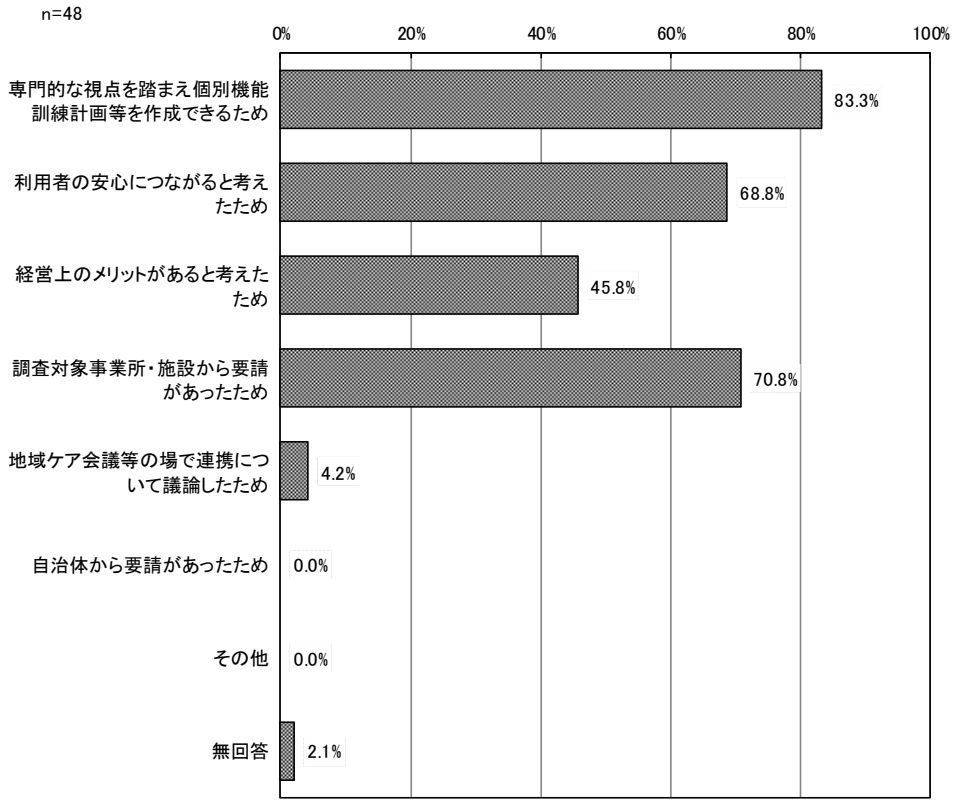
**図表 608　調査対象事業所・施設との関係**



## Ⅱ．連携の状況

### ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

**図表 609　調査対象事業所・施設との連携の動機**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

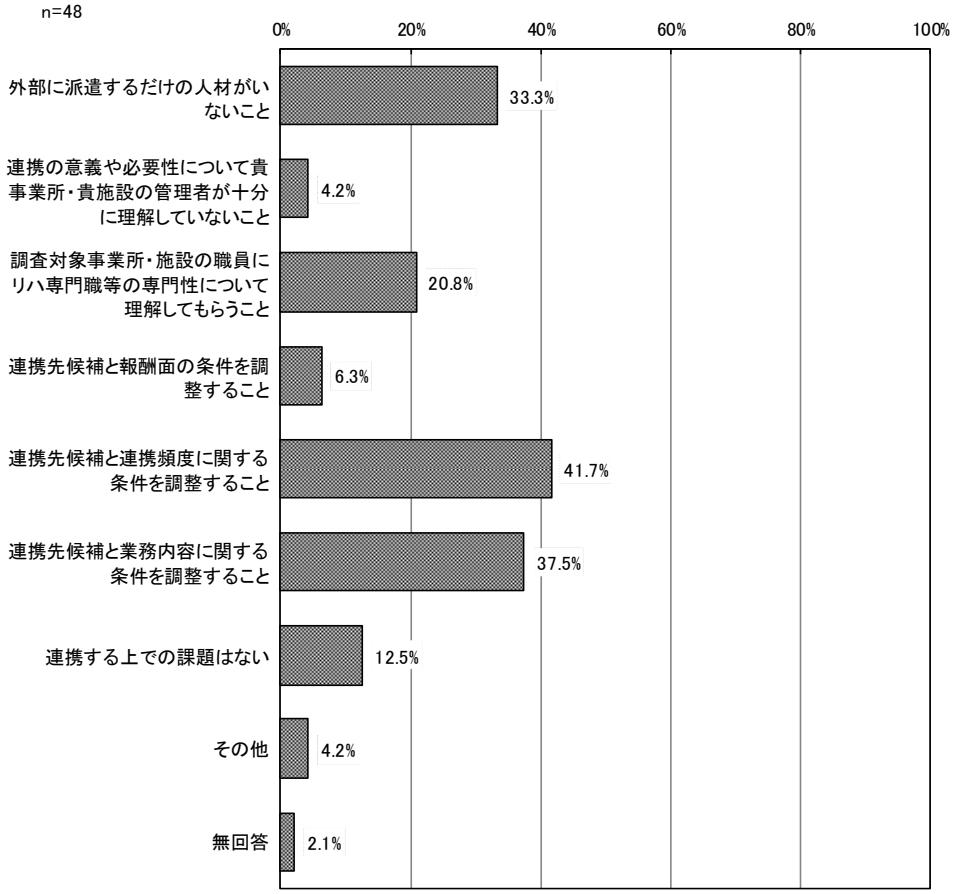
### イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 610　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・利用者の訪問曜日・施設滞在時間等を事前に連絡してもらうようにした。
・計画書の書式についてタイトルなどの共通化した。
・時間短縮を目的に事前に話し合う内容を共有した。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

**図表 611　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**

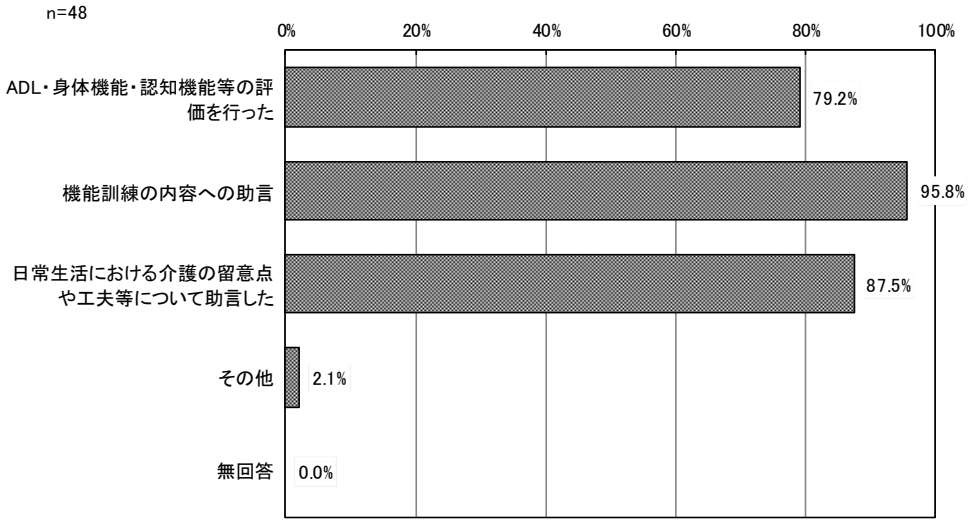



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・連携や介入の質

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 612　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

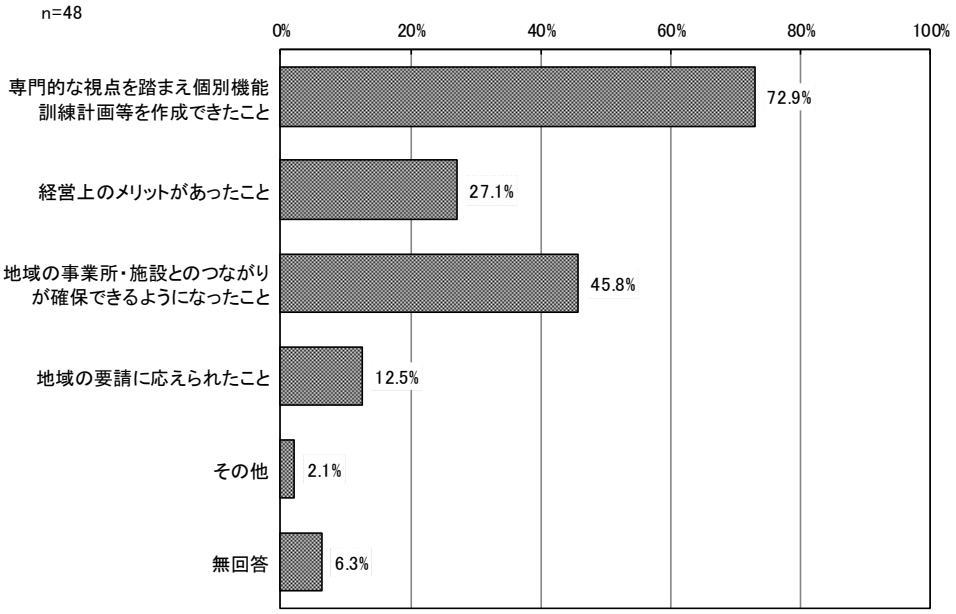
**図表 613　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=43 | 0.8 | 0.6 | 0.5 | 3.5 | 0.2 |
| その他事務職員 n=10 | 0.5 | 0.4 | 0.5 | 1.0 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

**図表 614　連携によるメリット**

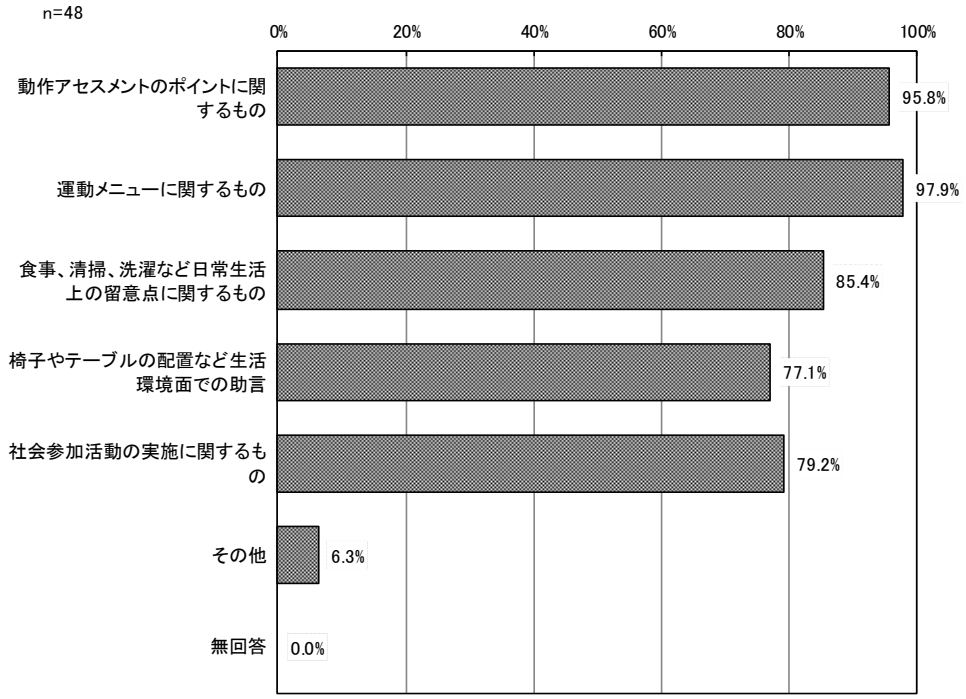



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・病院入院中の方への検討や、病院スタッフへの事業所の紹介ができたこと。

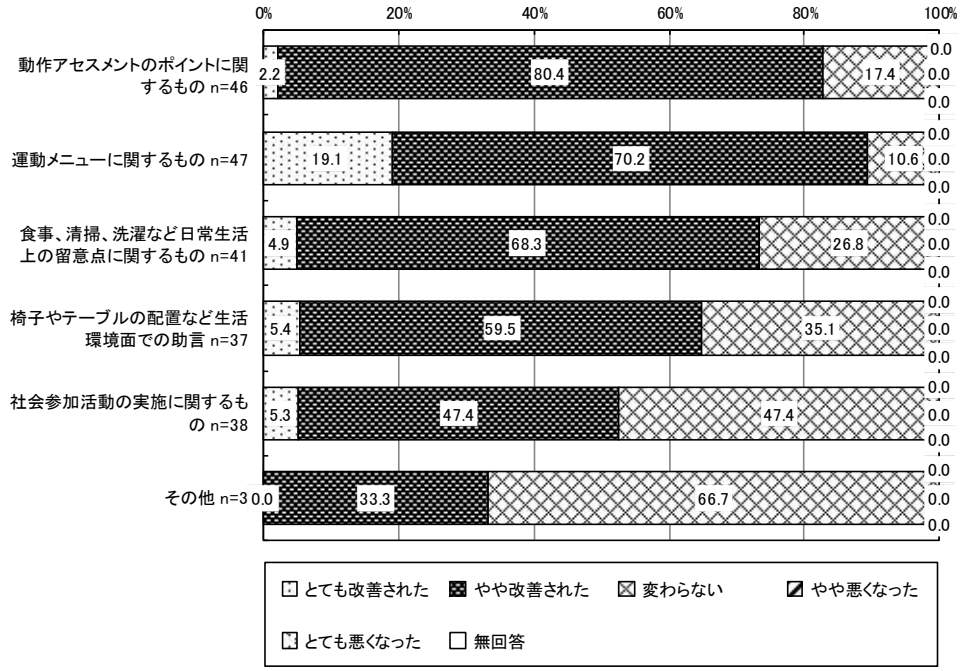
## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

**図表 615　実際の助言内容**



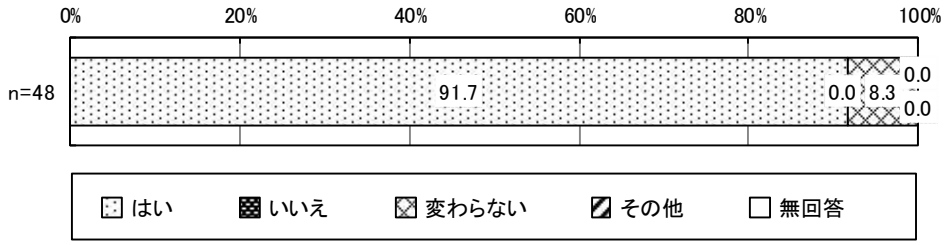

※その他として挙げられた有効な回答は無し。

**図表 616　改善状況**



## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

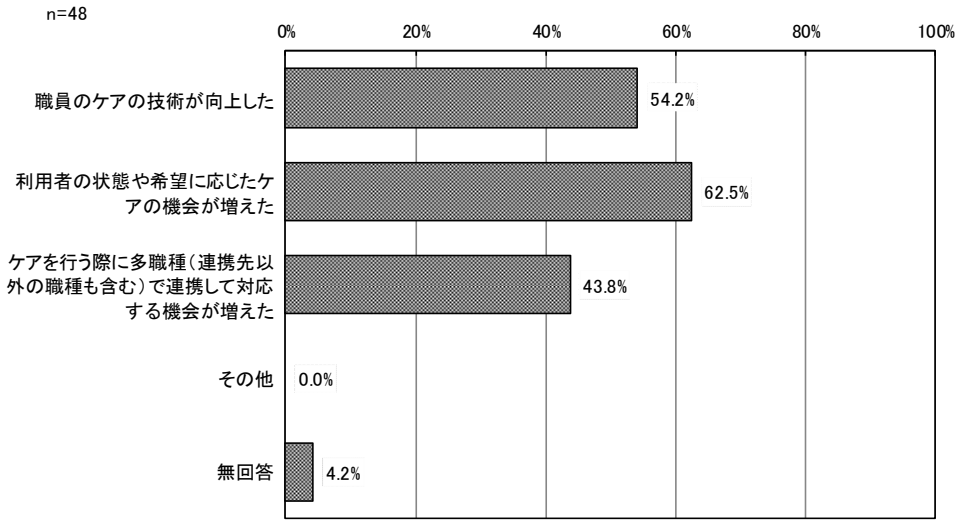
図表 617　連携先職員の専門性の向上




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

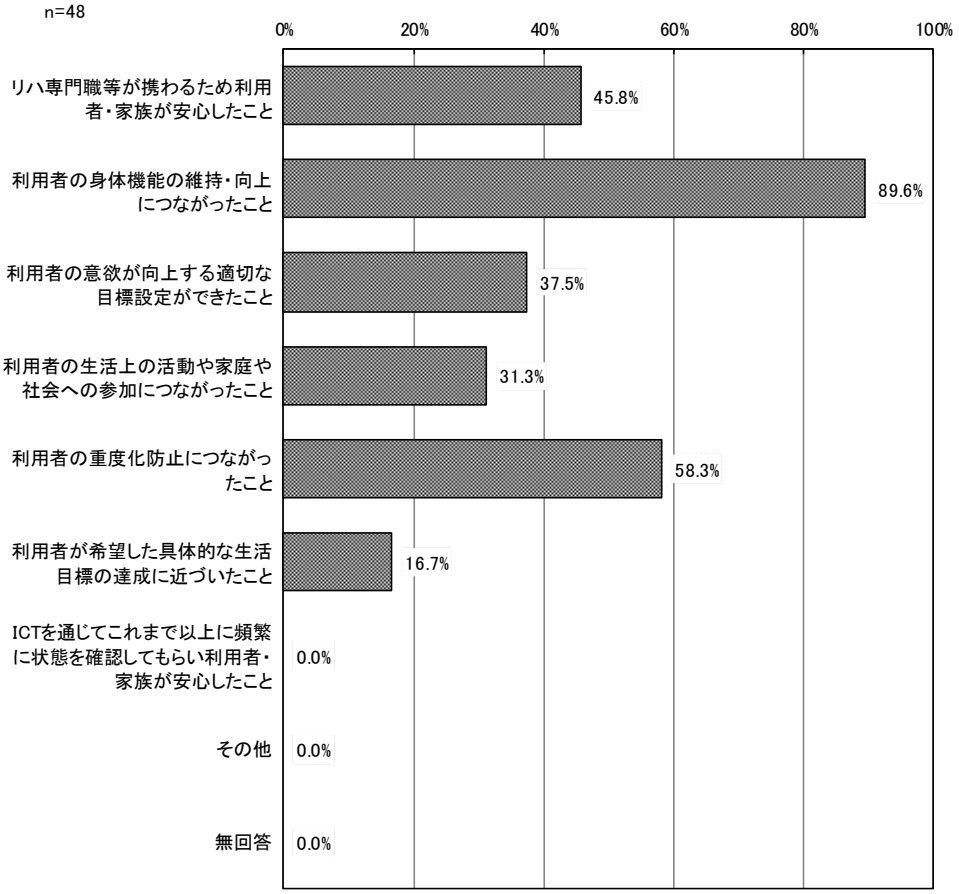
図表 618　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

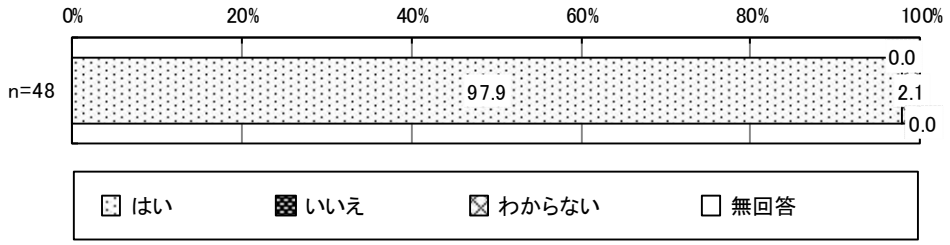
**図表 619　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

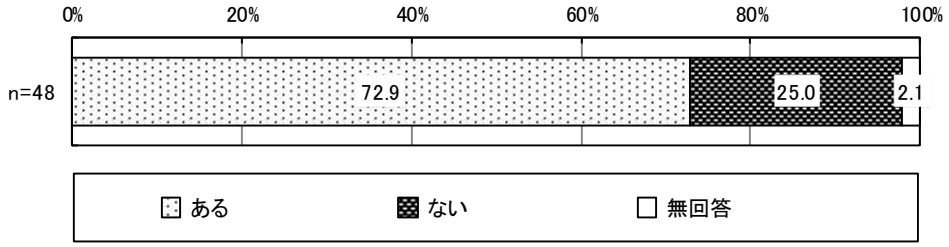
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 620　連携を継続したいか**

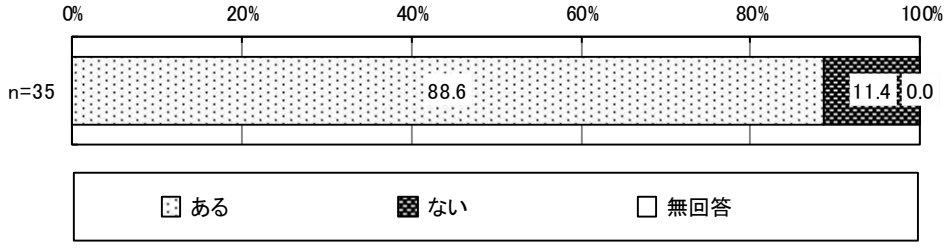


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

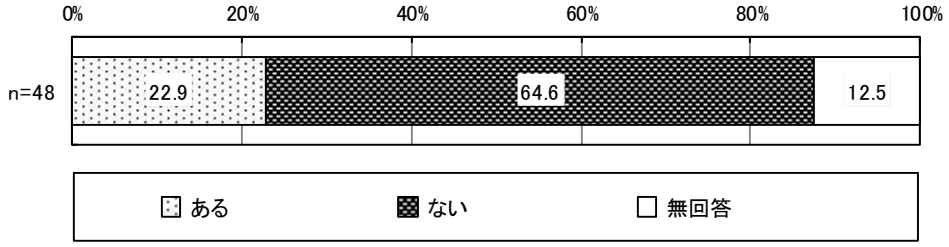
図表 621　加算に関する周知の経験　同一法人



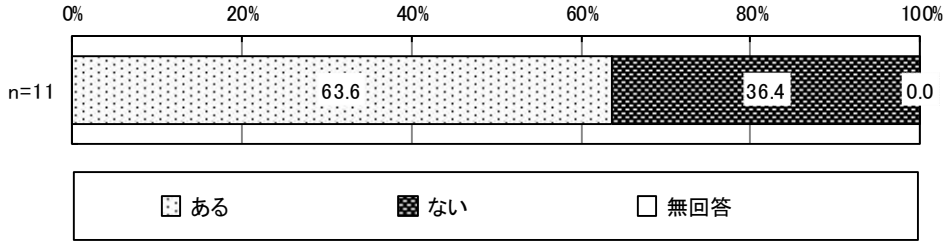

図表 622　反応の有無　同一法人




図表 623　加算に関する周知の経験　他法人




図表 624　反応の有無　他法人

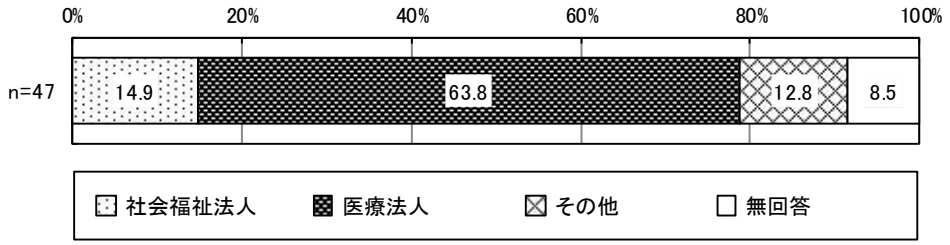


## （３） 短期入所生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 625　法人種別




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

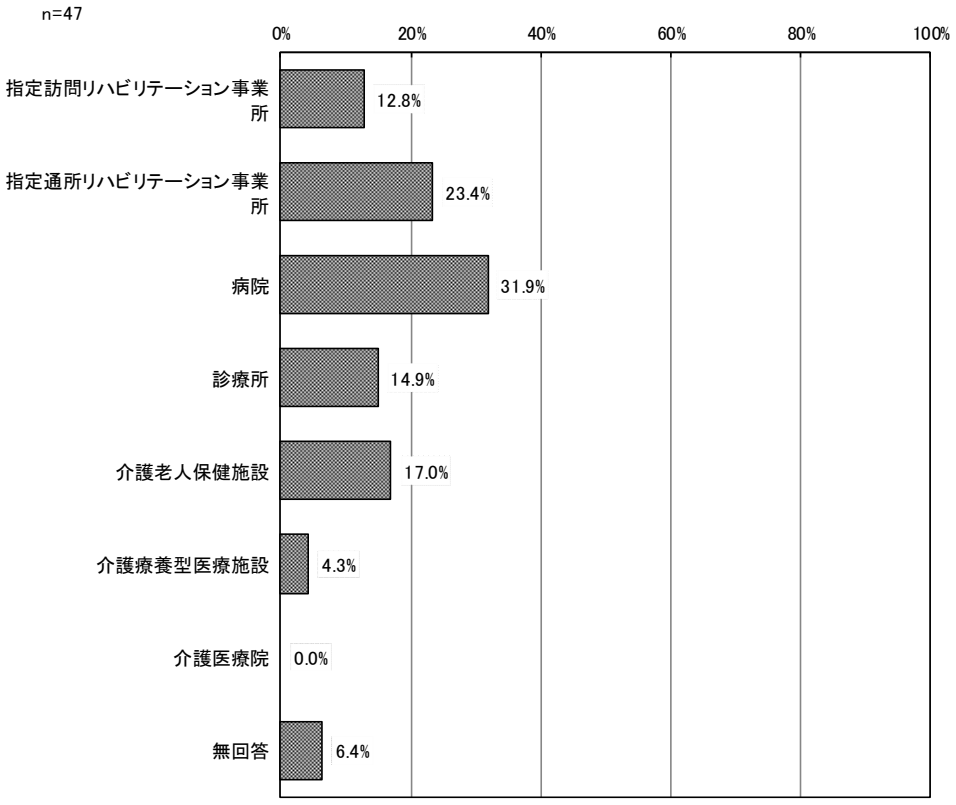
・公益財団法人

・株式会社

・社会医療法人

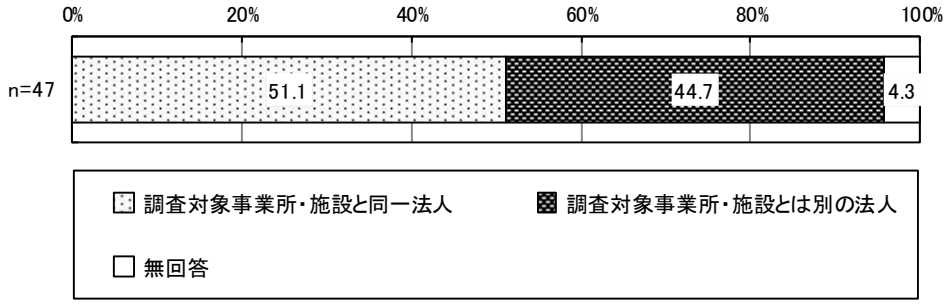
### イ） 種類（問 2）

図表 626　種類



## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

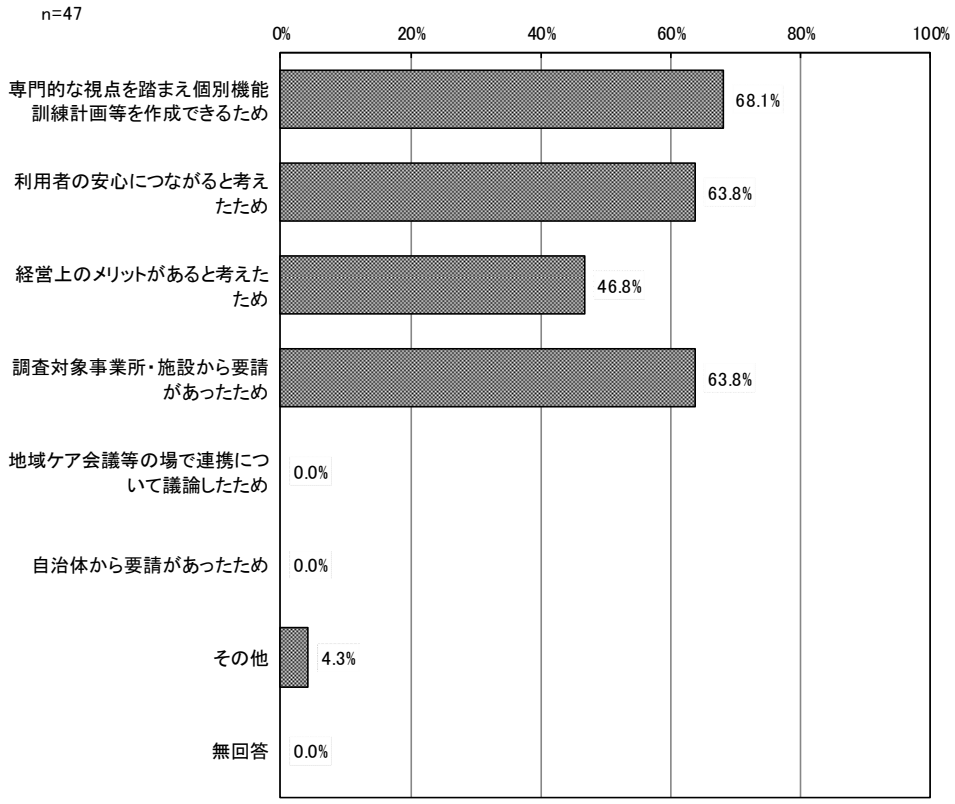
図表 627　調査対象事業所・施設との関係




# Ⅱ．連携の状況

## ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

図表 628　調査対象事業所・施設との連携の動機




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

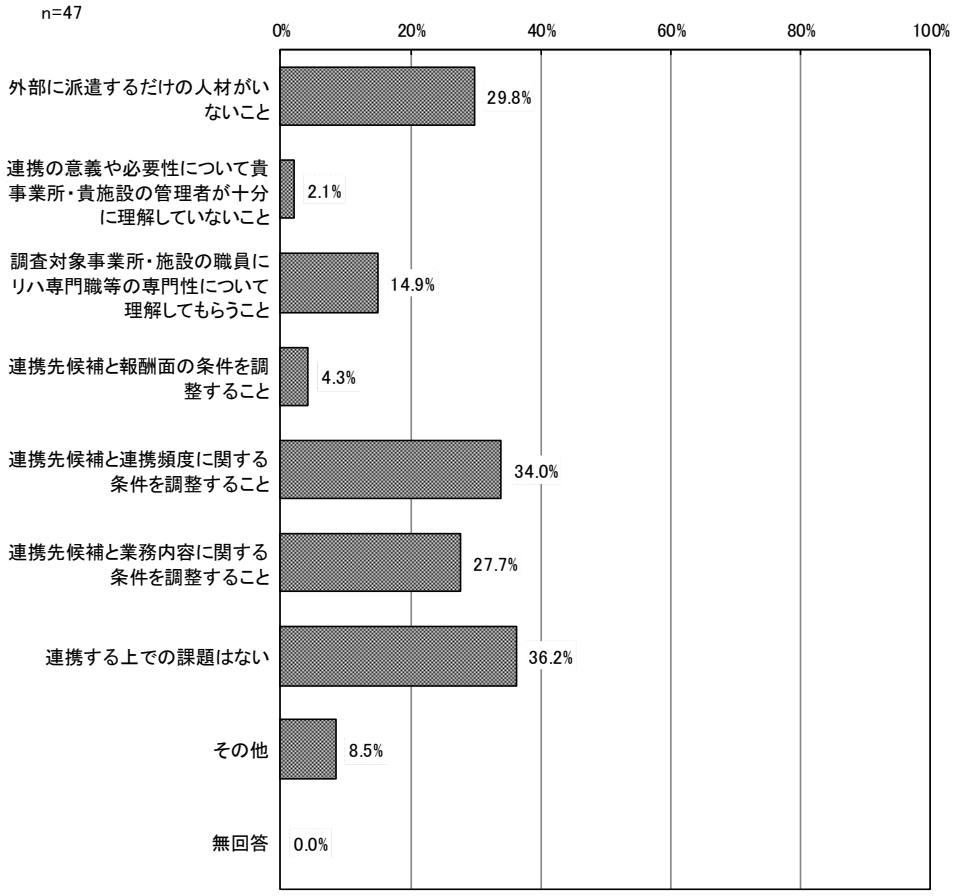
## イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 629　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・実際に現場で見ている事の多い、介護士の意見を多く反映させるようにした。
・機能訓練指導員との連携を取るため、話し合いの場（カンファレンスなど）を多く設けるようにした。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

**図表 630　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**

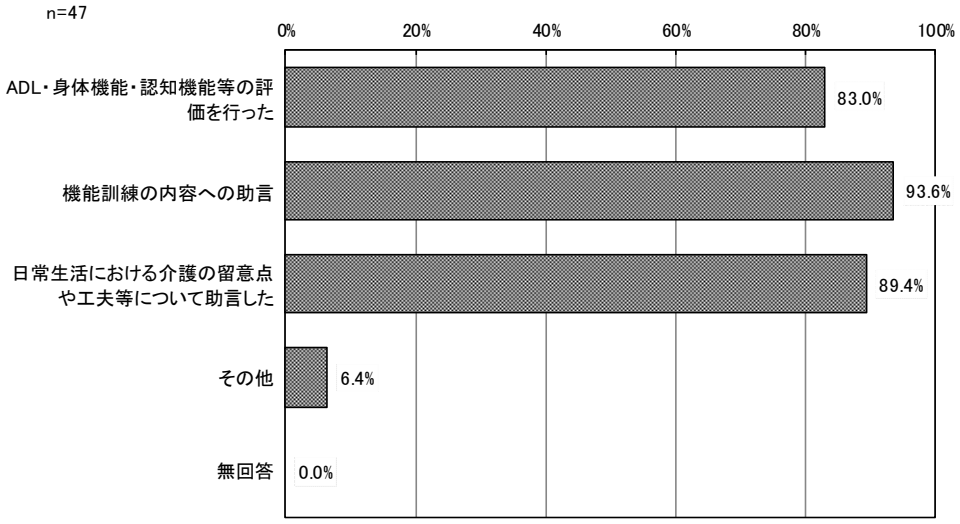



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・時間の調整や話し合いを行う時間を設ける調整。
・時間外で対応しなければならないときが多い。

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 631　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・ケアマネジャーや家族と相談してほしいことなどの指摘。

・車椅子等の調整

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

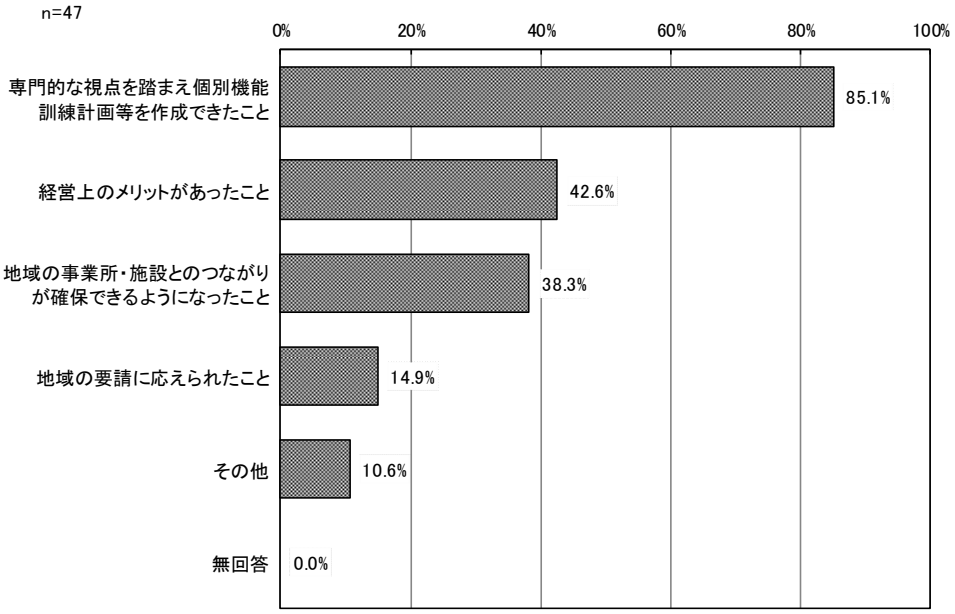
**図表 632　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=44 | 0.9 | 0.9 | 0.5 | 4.0 | 0.1 |
| その他事務職員 n=16 | 0.1 | 0.2 | 0.0 | 0.5 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

**図表 633　連携によるメリット**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

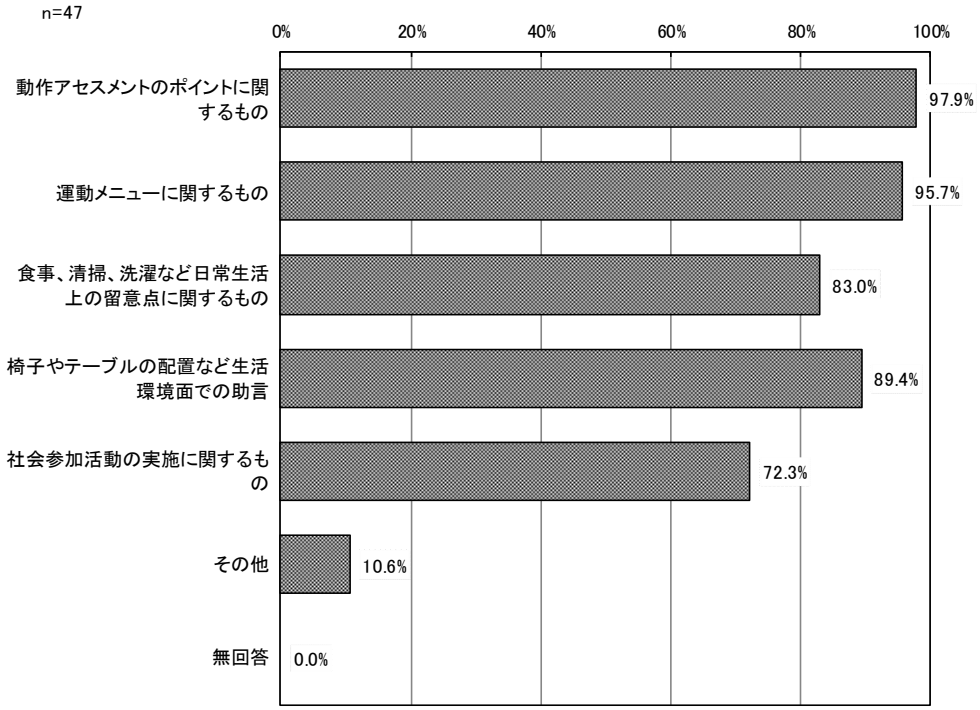
・退院後の生活状況や、デイでの過ごし方が確認できた。

・リハ専門職としてのスキルが向上したこと

・スタッフへの教育機会がつくれた。

## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

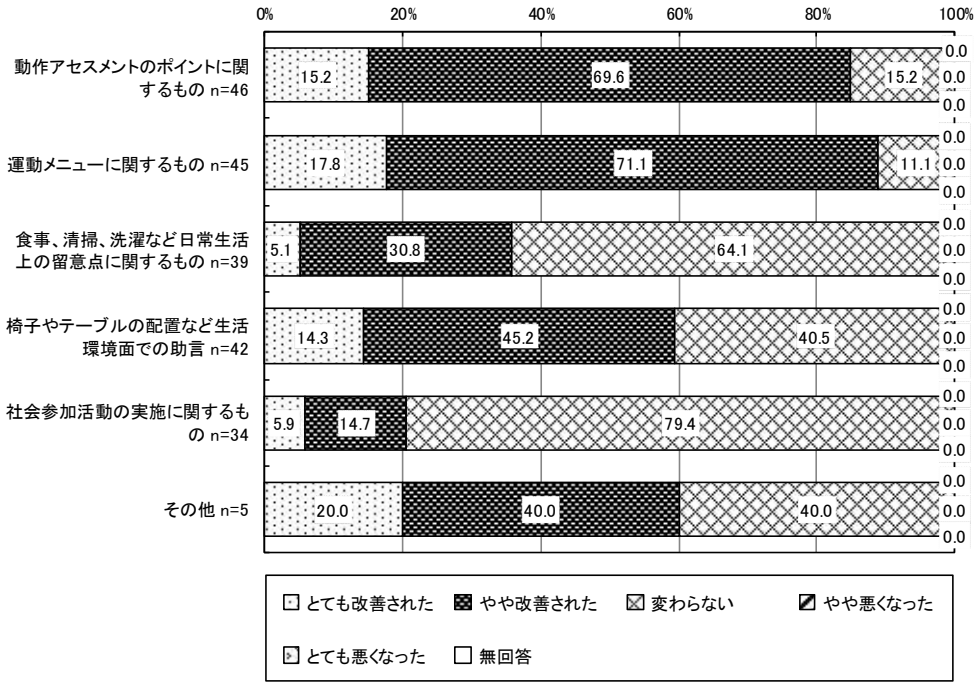
**図表 634　実際の助言内容**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

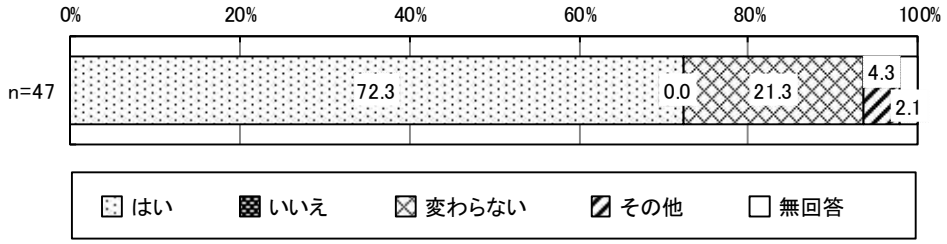
・嚥下・口腔機能に関するもの

**図表 635　改善状況**



## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

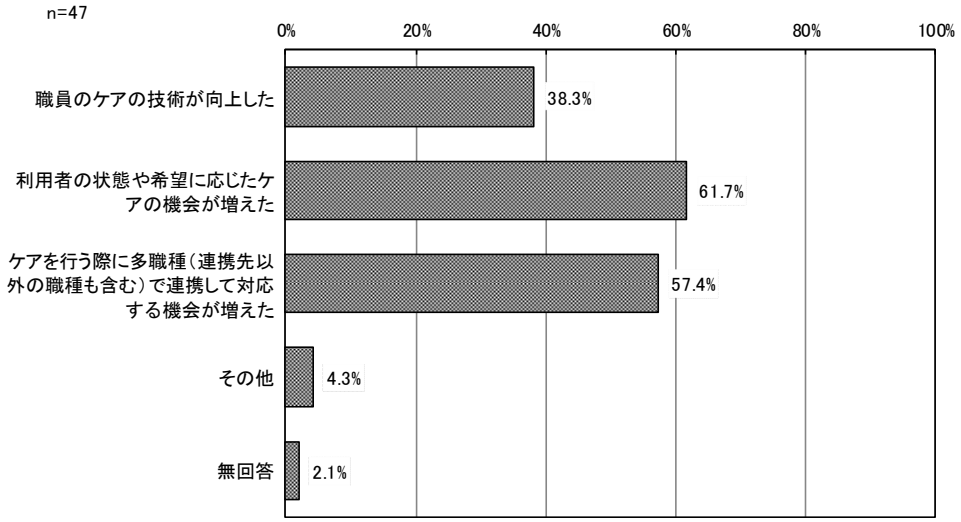
図表 636　連携先職員の専門性の向上




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

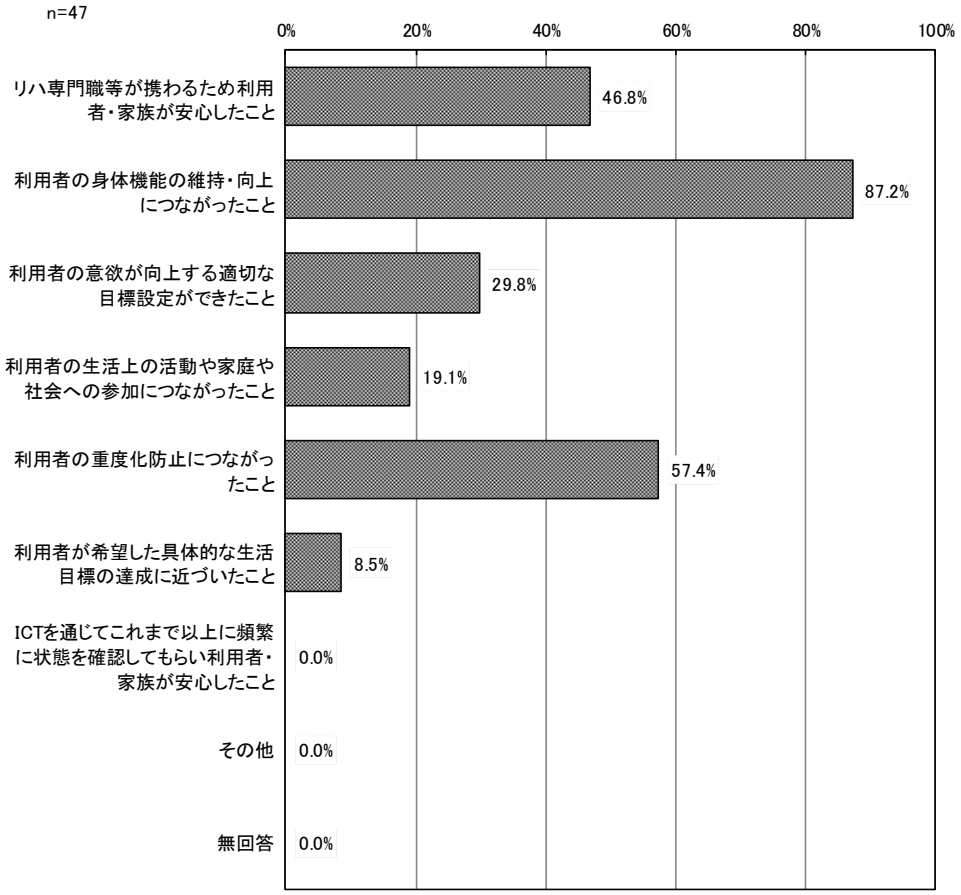
図表 637　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

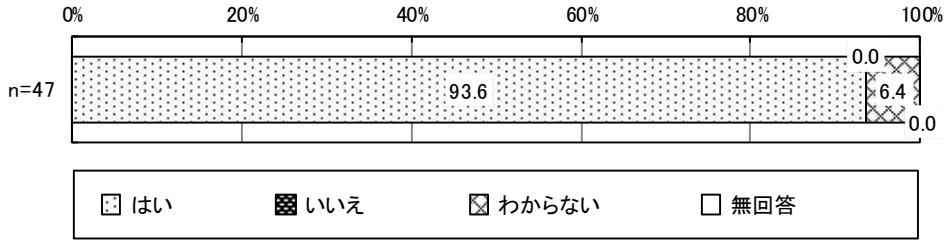
図表 638　利用者が享受したメリット




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

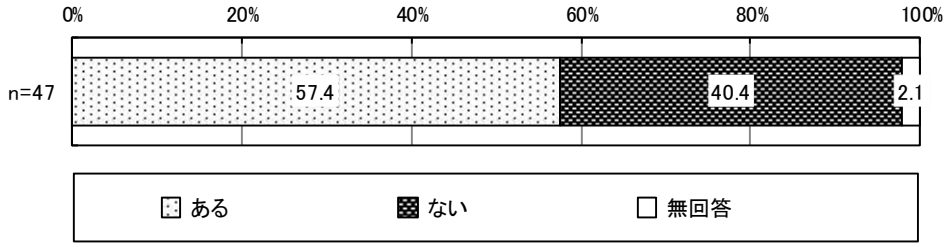
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

図表 639　連携を継続したいか

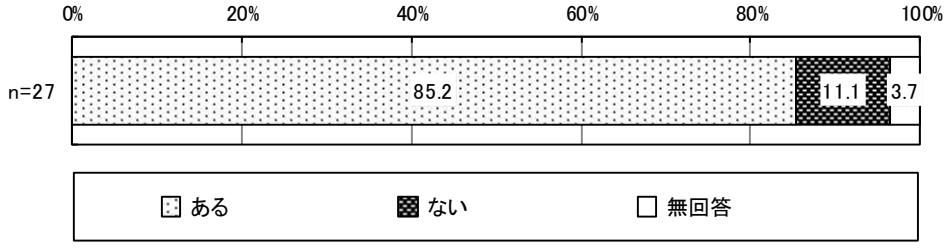


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

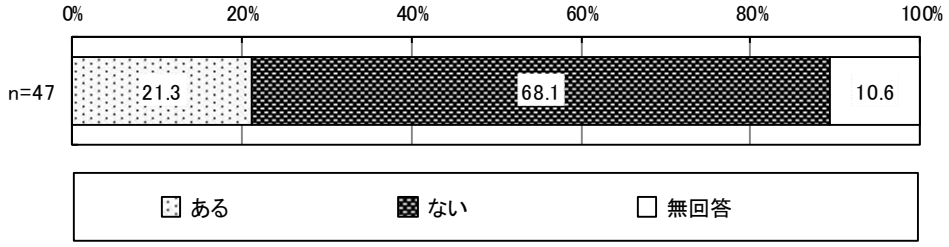
図表 640　加算に関する周知の経験　同一法人



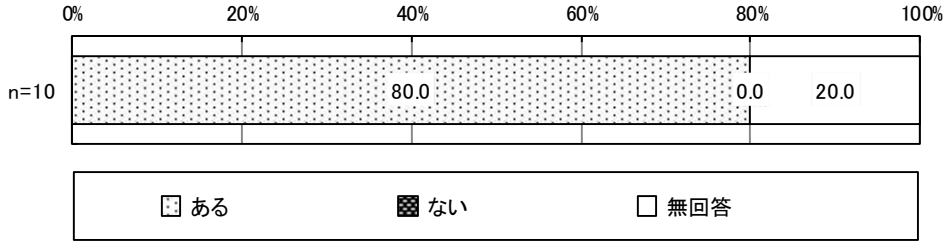

図表 641　反応の有無　同一法人




図表 642　加算に関する周知の経験　他法人




図表 643　反応の有無　他法人

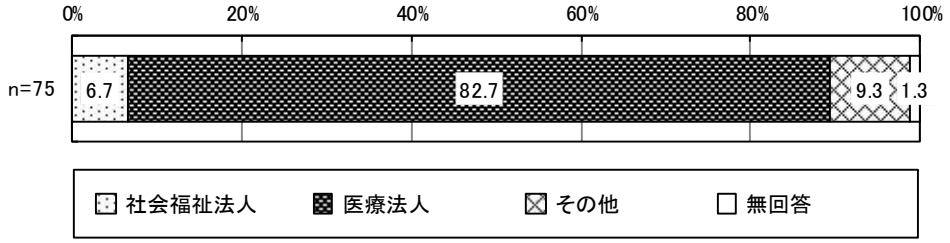


## （４） 特定施設入居者生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

**図表 644　法人種別**



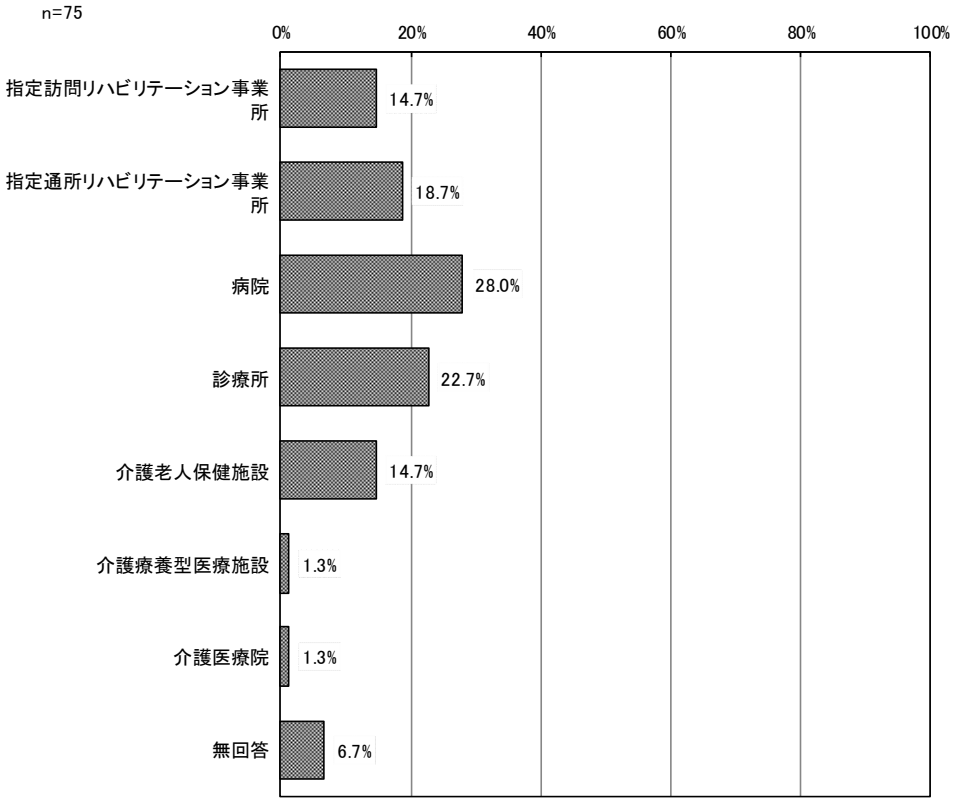

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・社会医療法人

・公益財団法人

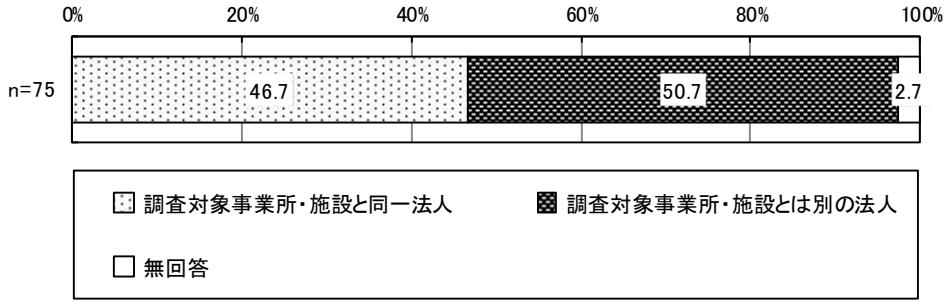
### イ） 種類（問 2）

**図表 645　種類**



## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

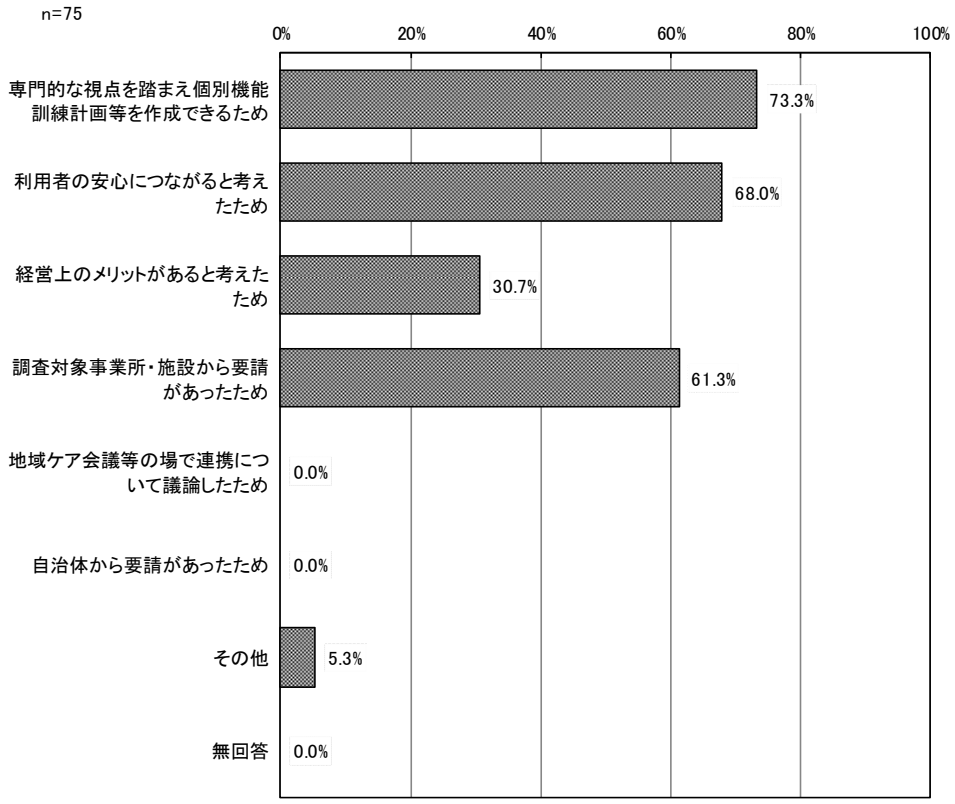
図表 646　調査対象事業所・施設との関係




# Ⅱ．連携の状況

## ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

図表 647　調査対象事業所・施設との連携の動機




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・利用者や双方の施設に対する理解が深まると考えたため。

・リハ専門職の学びの場が広がるため。

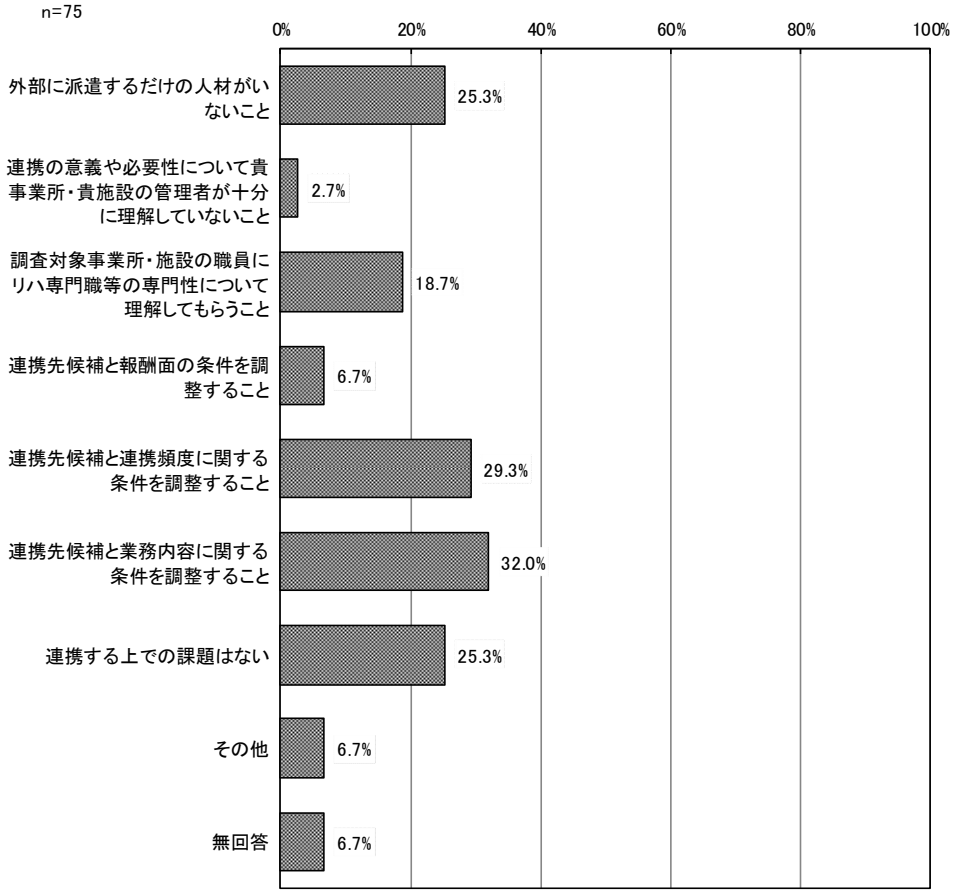
## イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 648　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・活動主体が施設スタッフであることを意識してもらうために、説明会を開催した。
・利用者の個別目標は個別性重視とわかりやすく具体的な目標となるようにした。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

**図表 649　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**

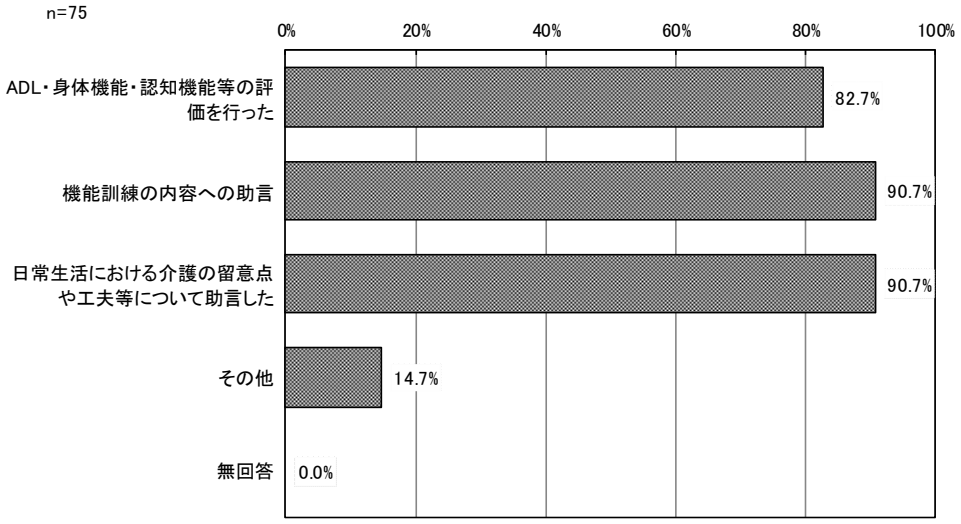



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・病院の情報が得られにくいこと。

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 650　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・福祉用具の選定

・車椅子の調整、ベッドの高さ調整

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

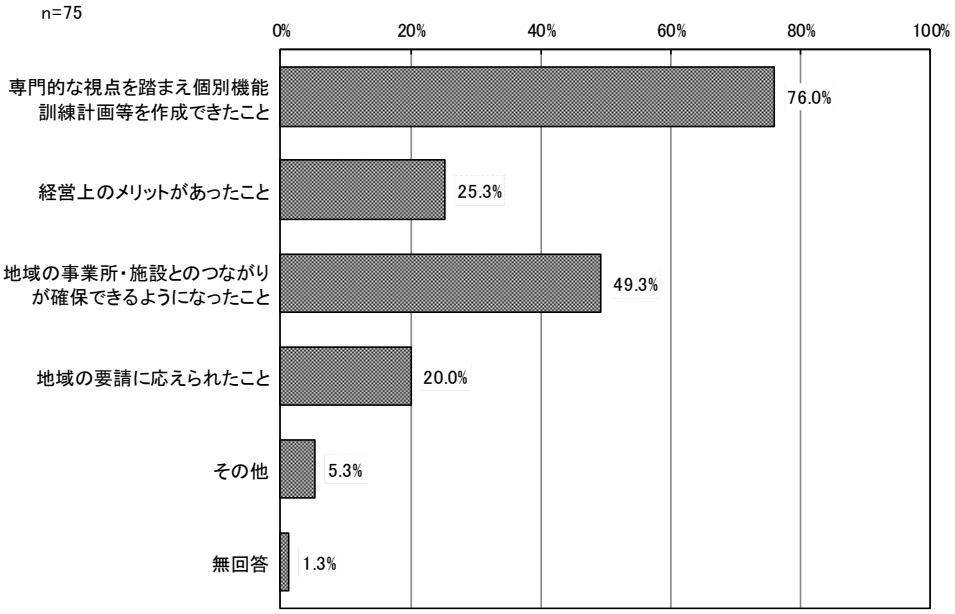
**図表 651　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=69 | 2.6 | 7.5 | 0.5 | 40.0 | 0.1 |
| その他事務職員 n=26 | 0.8 | 2.9 | 0.1 | 15.0 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

**図表 652　連携によるメリット**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

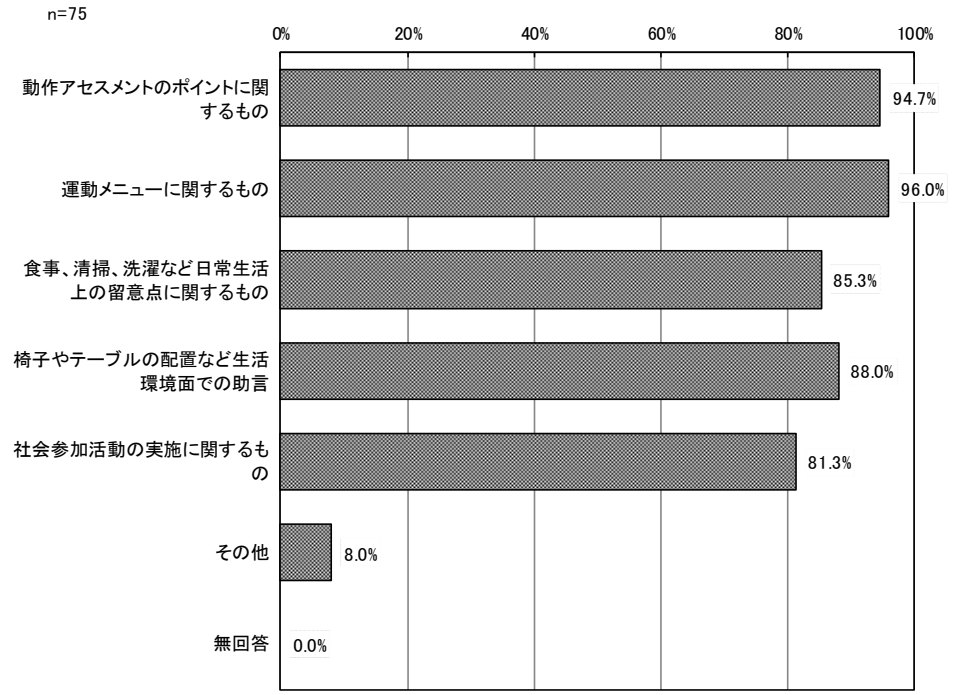
・地域の施設入居者と施設職員の現状を知ることができたため、リハビリ職に求められること（ニーズ）がつかめたこと。

・施設スタッフの知識の向上

・施設の環境や生活について理解が深まった。

## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

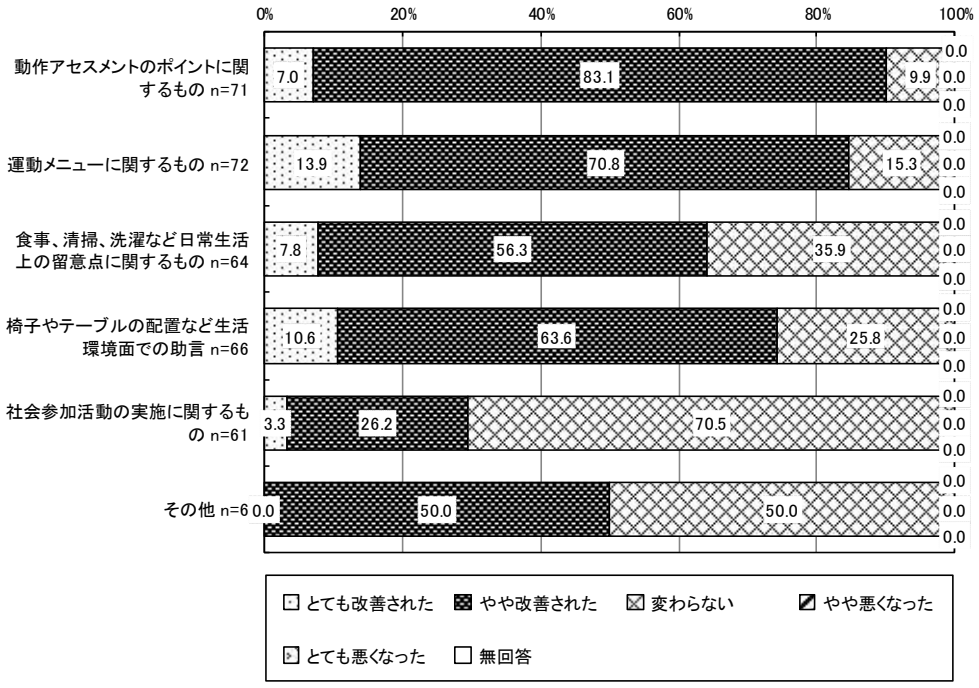
**図表 653　実際の助言内容**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

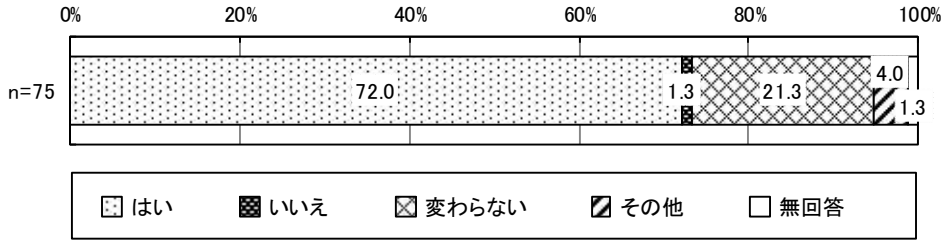
・福祉用具の選定

**図表 654　改善状況**



## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

**図表 655　連携先職員の専門性の向上**

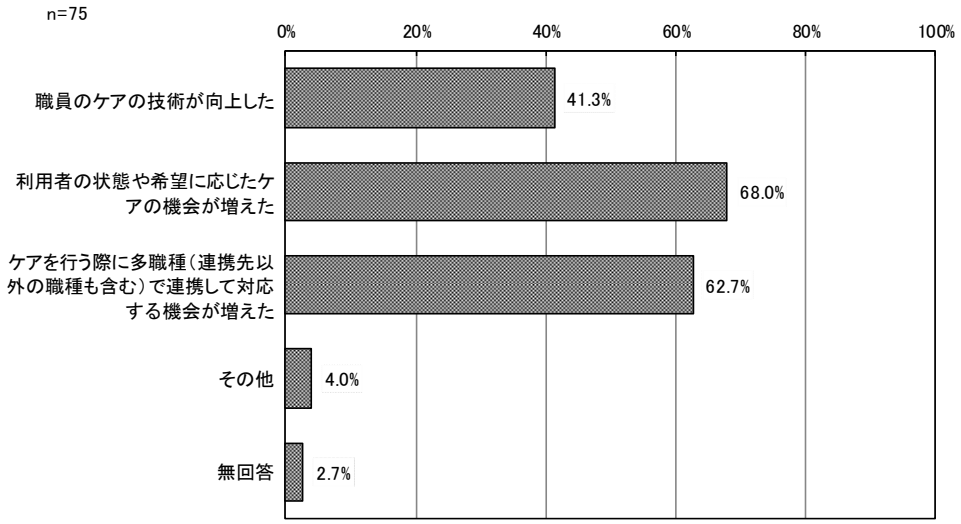



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・高まってはいるが、個人差がある。

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

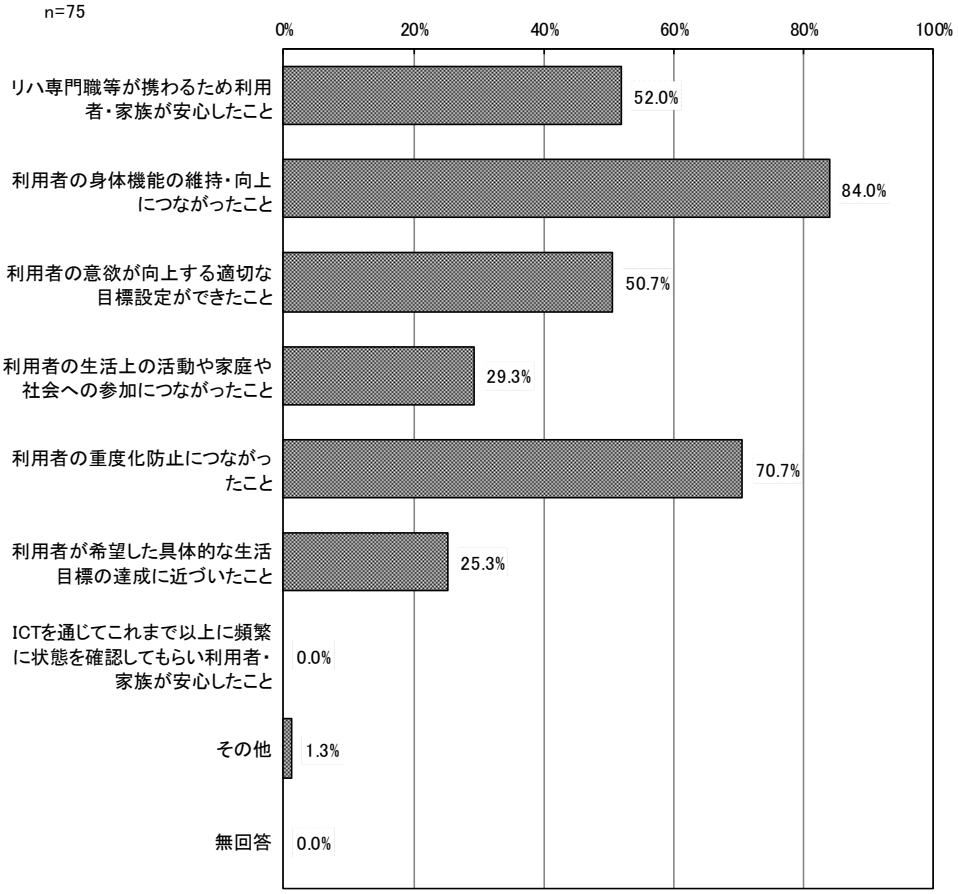
**図表 656　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

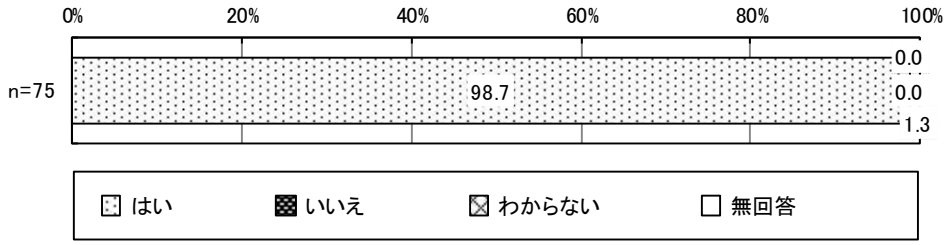
**図表 657　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

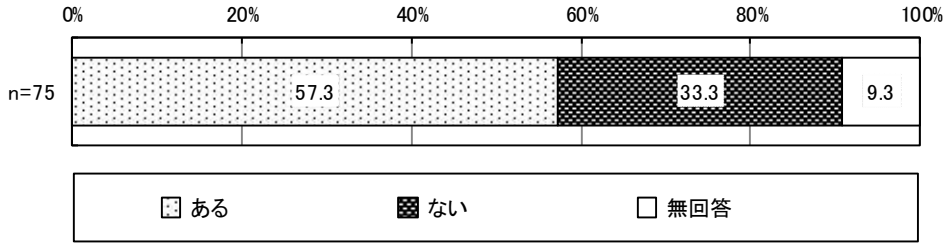
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 658　連携を継続したいか**

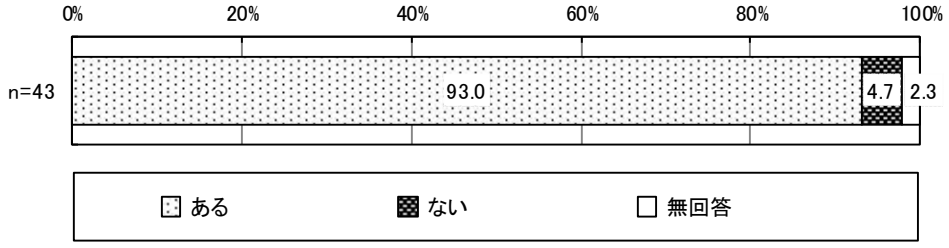


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

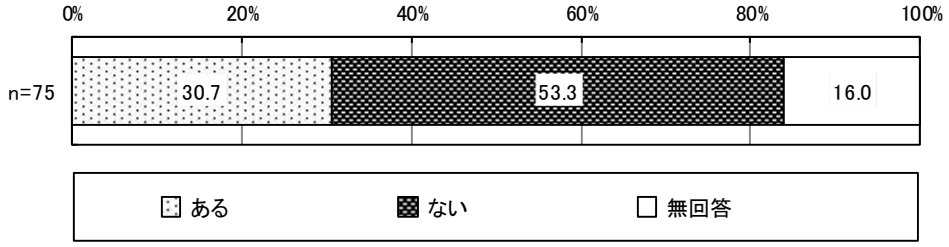
図表 659　加算に関する周知の経験　同一法人



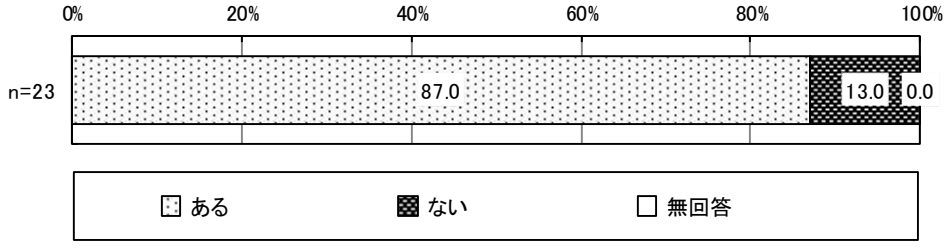

図表 660　反応の有無　同一法人




図表 661　加算に関する周知の経験　他法人




図表 662　反応の有無　他法人

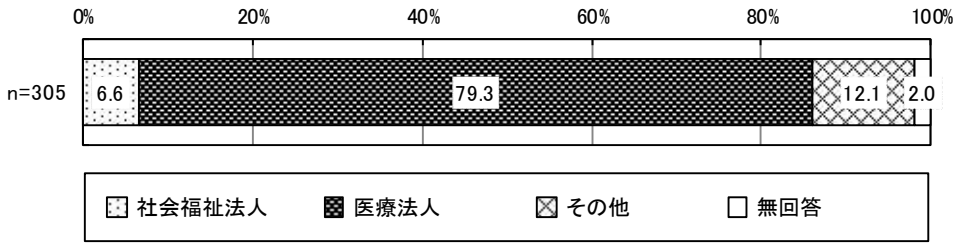


## （５） 認知症対応型共同生活介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア）法人種別（問 1）

図表 663　法人種別




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

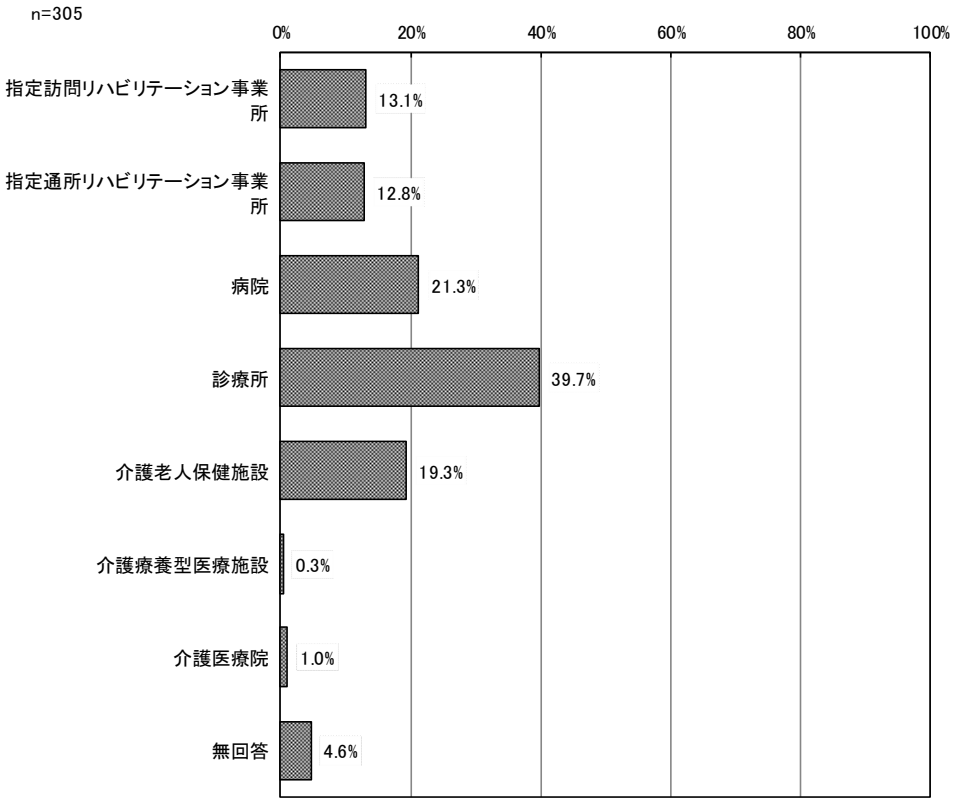
・医療生協

・公益財団法人

・公立

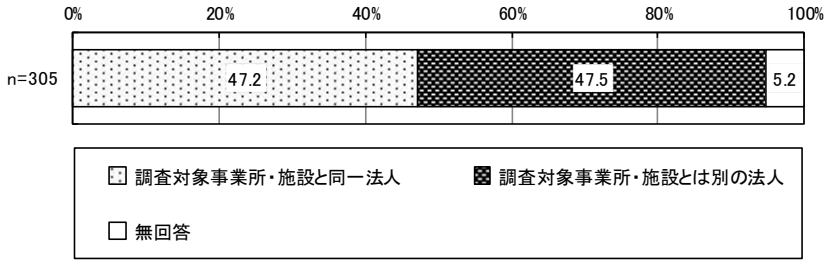
### イ） 種類（問 2）

図表 664　種類



## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

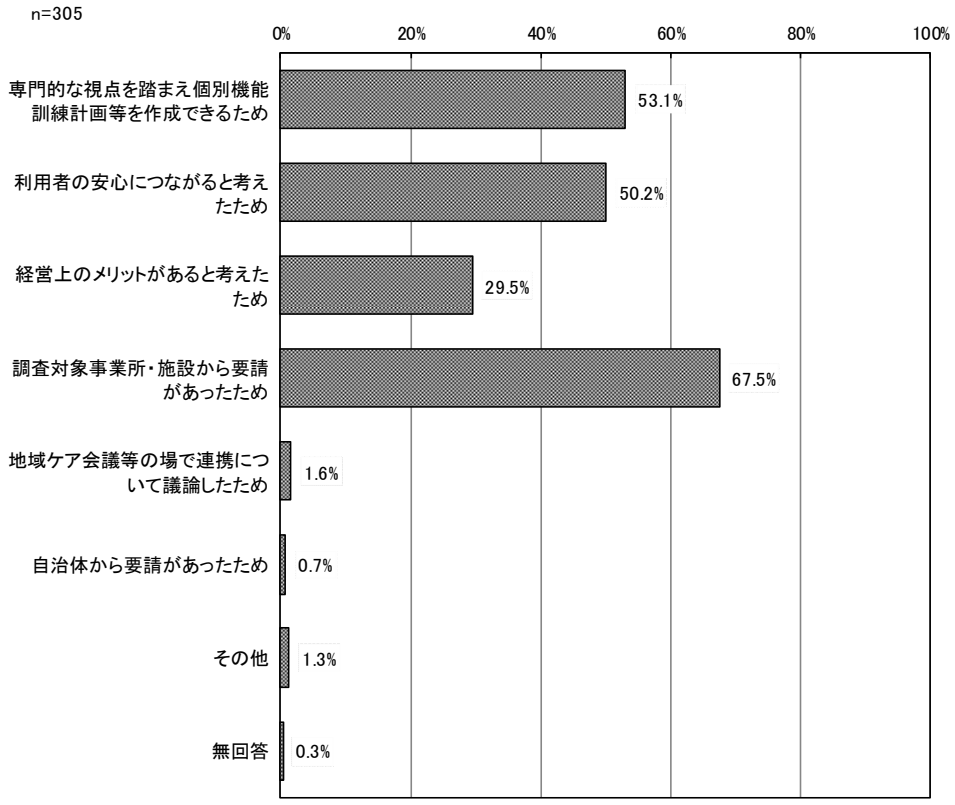
図表 665　調査対象事業所・施設との関係



# Ⅱ．連携の状況

## ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

**図表 666　調査対象事業所・施設との連携の動機**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・利用者や双方の施設に対する理解が深まると考えたため。

## イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

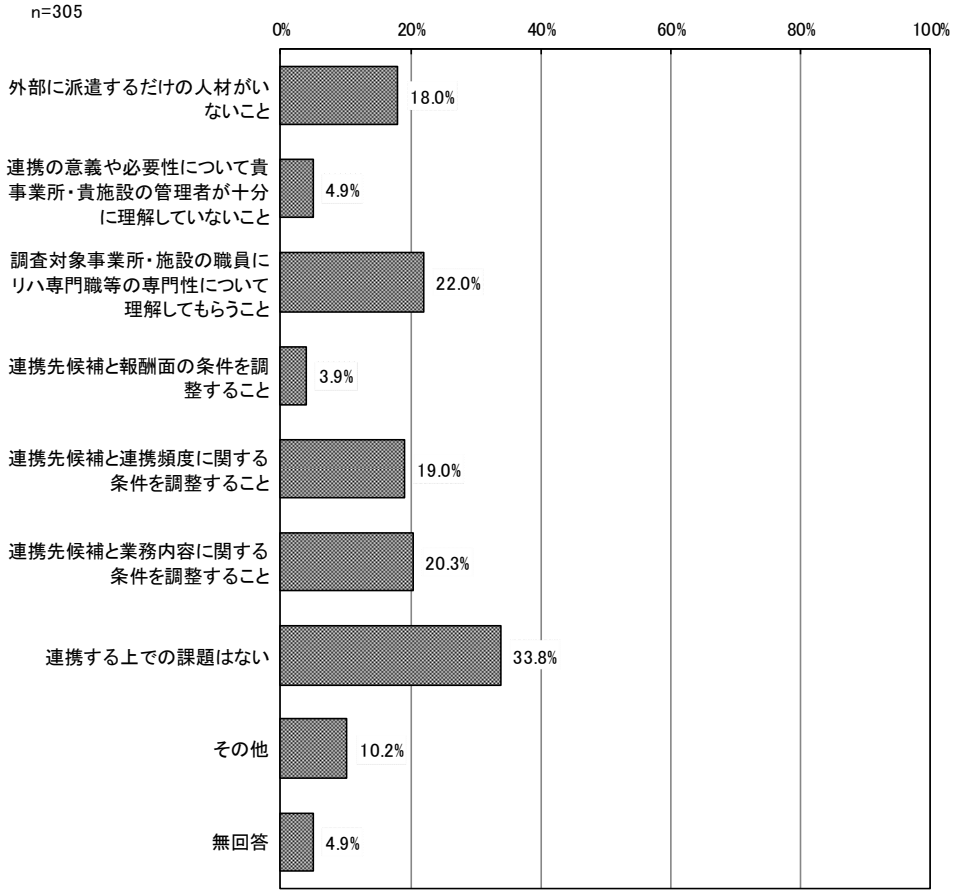
**図表 667　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・事前に評価する予定の方の状況などの評価表などをいただき、会議時間の効率化を図った。

・対象事業所の実情に合わせた専門職の派遣システムを構築した。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

**図表 668　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**

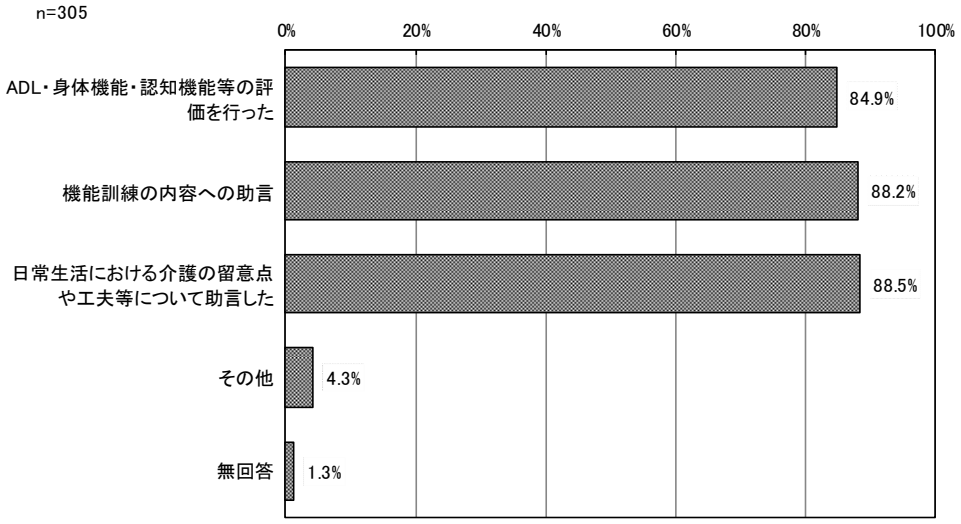



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・訪問日時の調整

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 669　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・ケアプラン全般の指導

・環境整備や福祉用具に対する助言。

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

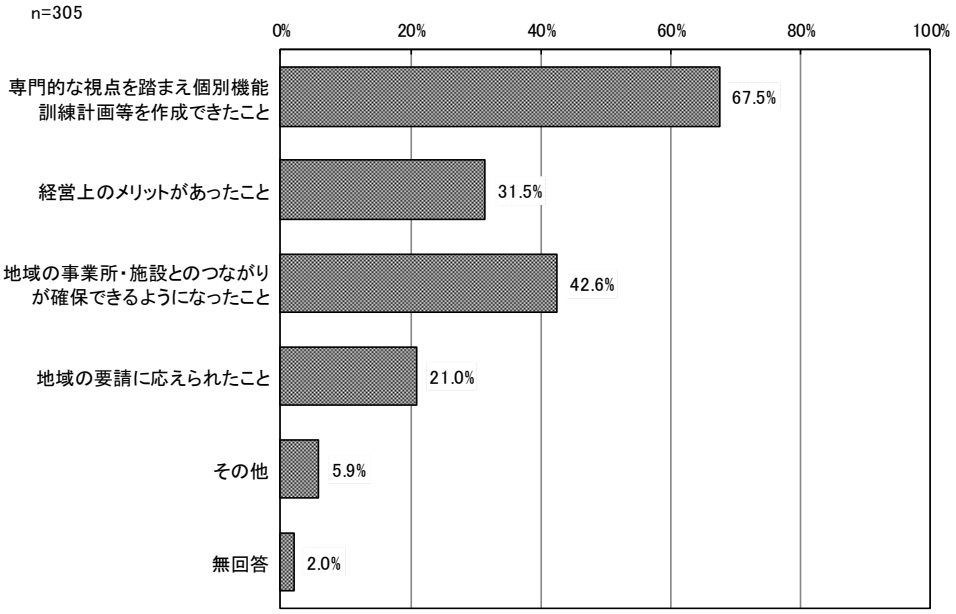
**図表 670　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=283 | 1.3 | 5.0 | 0.5 | 80.0 | 0.0 |
| その他事務職員 n=67 | 0.5 | 0.6 | 0.2 | 2.0 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

図表 671　連携によるメリット



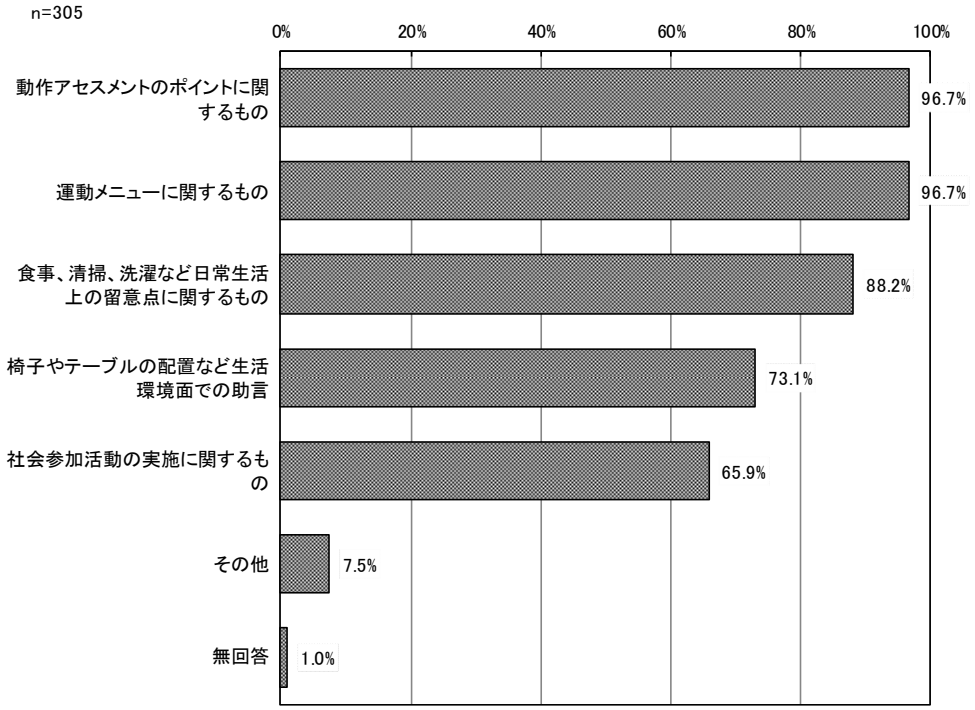

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・入所者の ADL が向上したこと。

・他施設の生活、活動の様子を知ることができたこと。

## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

図表 672　実際の助言内容



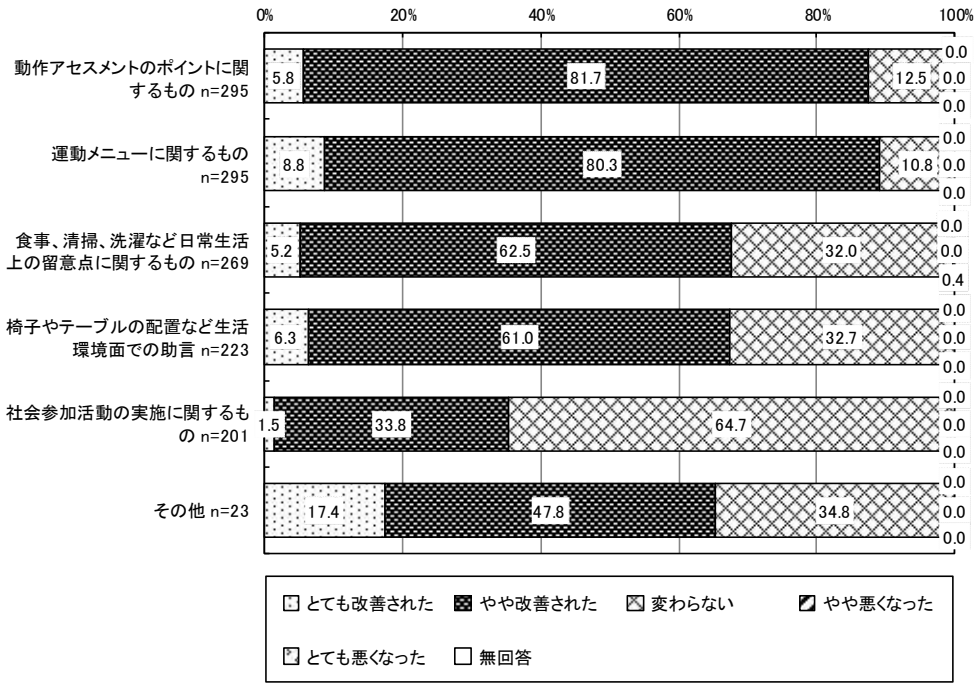

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・ニーズや目標に関するもの

・車椅子やベッドについての提案

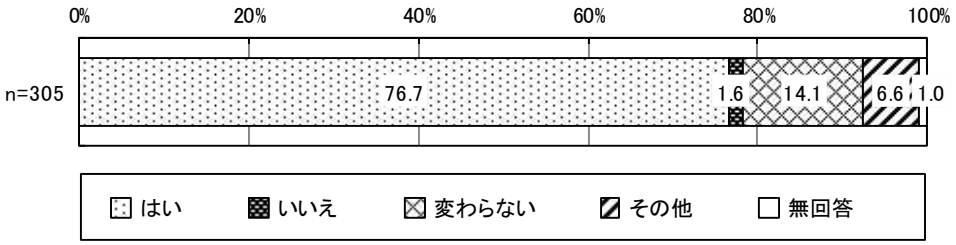
・対象者の運動への意識・意欲

図表 673　改善状況




## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

図表 674　連携先職員の専門性の向上

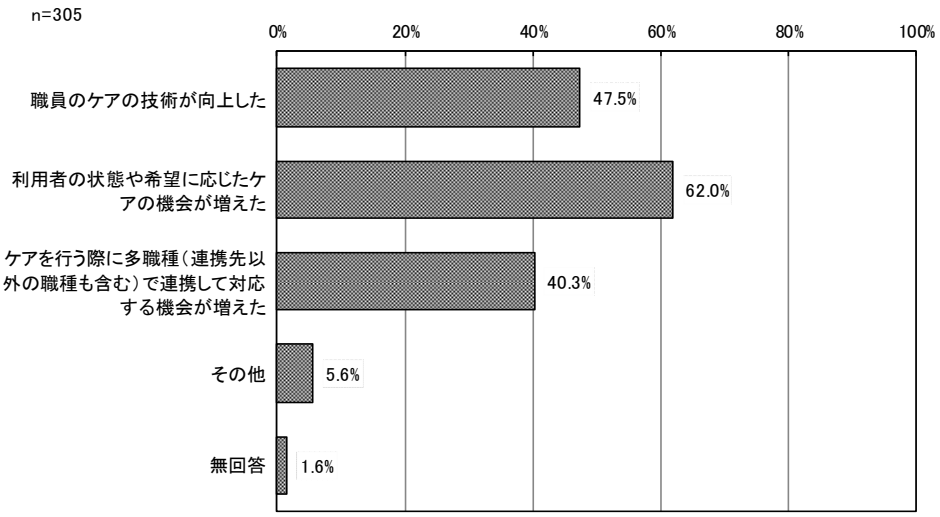



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・職員間で差がある。

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

**図表 675　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化**

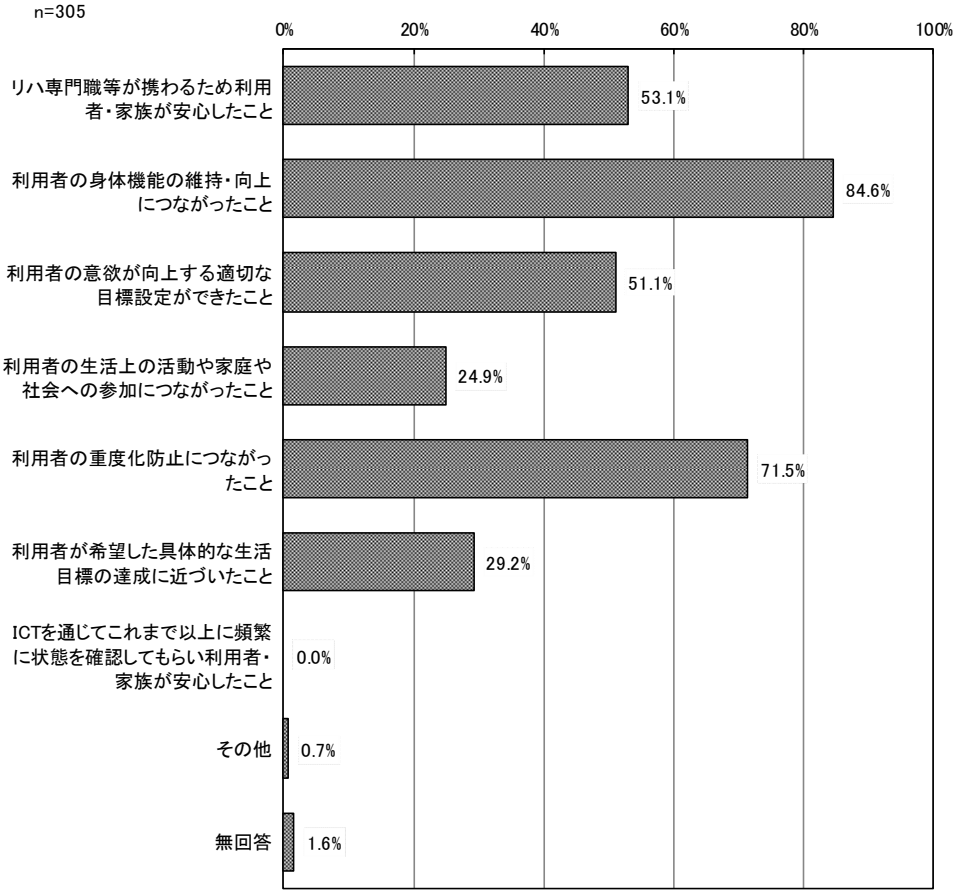



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・（算定）職員の意識が向上した

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

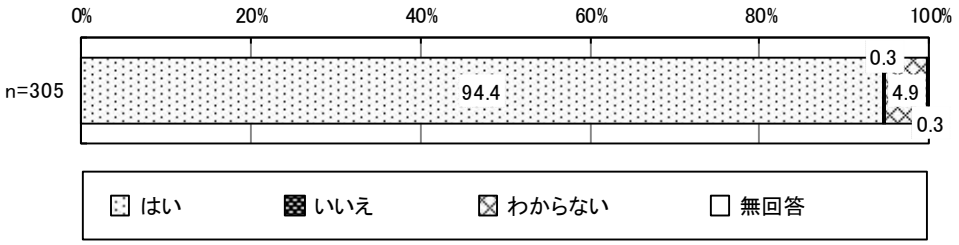
**図表 676　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

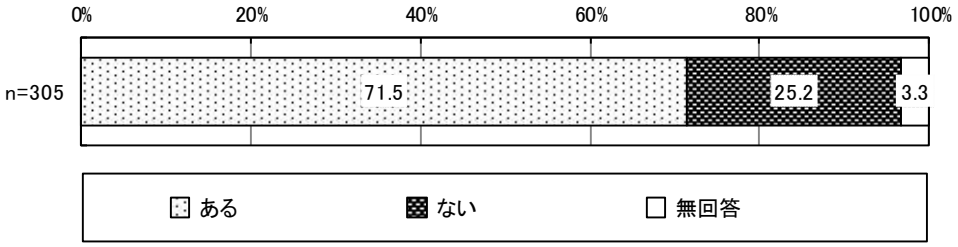
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 677　連携を継続したいか**

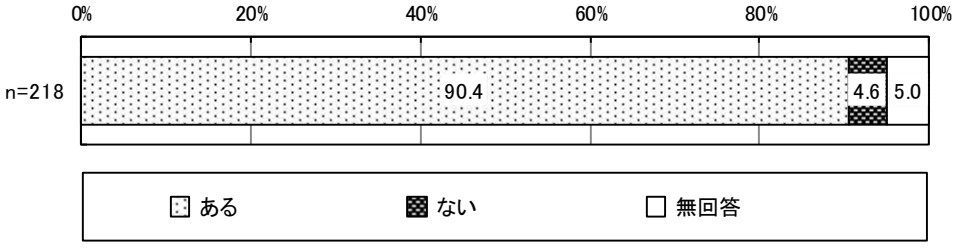


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

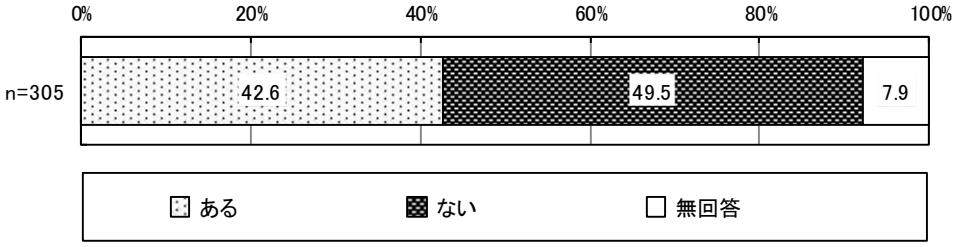
図表 678　加算に関する周知の経験　同一法人



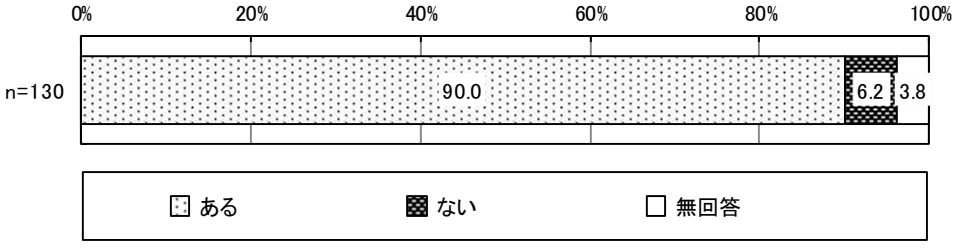

図表 679　反応の有無　同一法人




図表 680　加算に関する周知の経験　他法人




図表 681　反応の有無　他法人

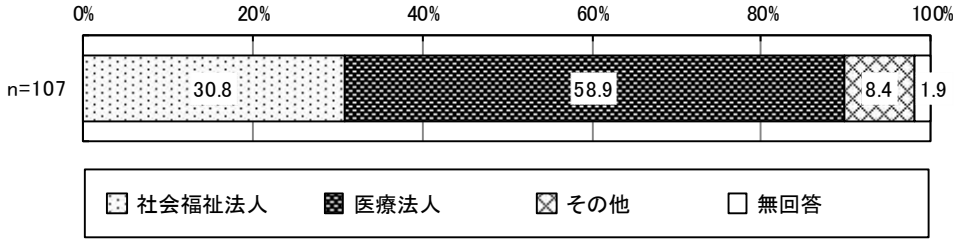


## （６） 介護老人福祉施設

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 682　法人種別



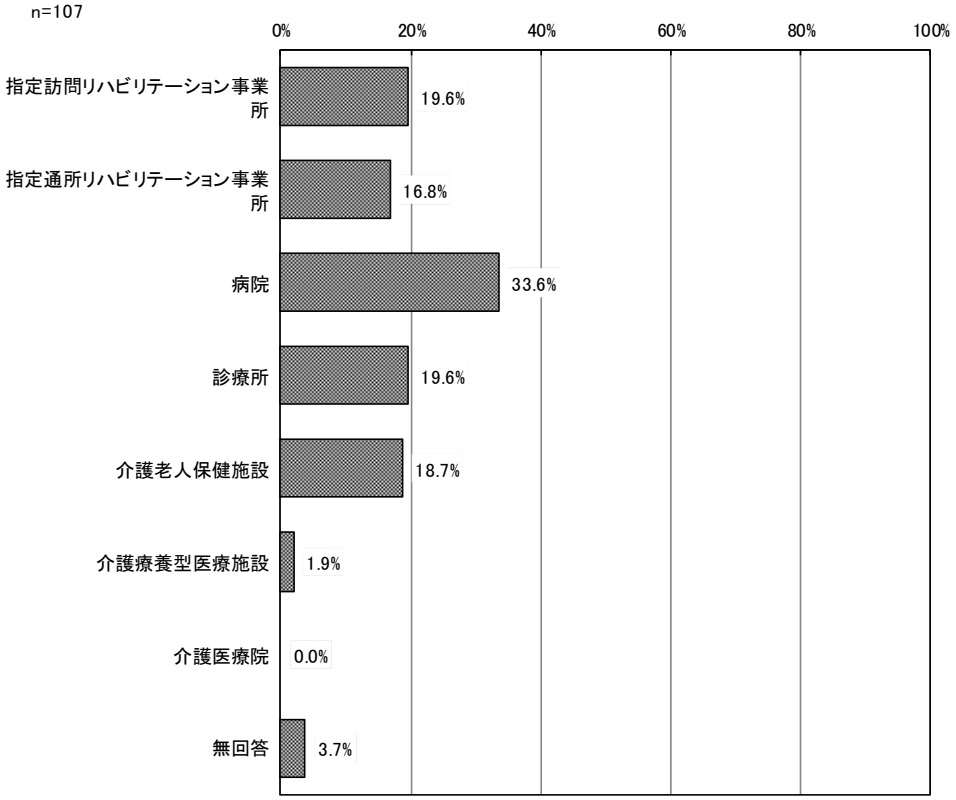

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・社会医療法人

・自治体

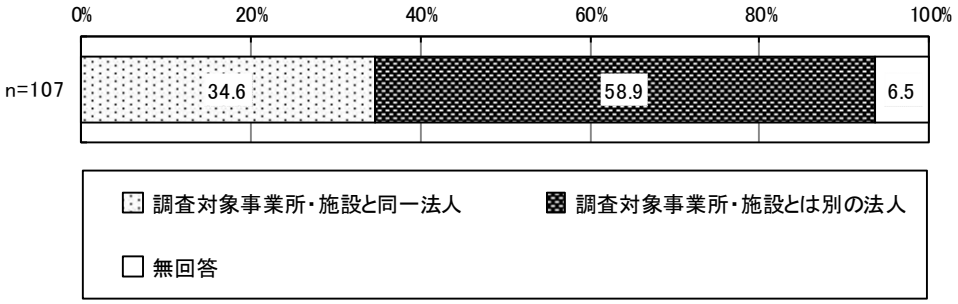
### イ） 種類（問 2）

図表 683　種類



## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

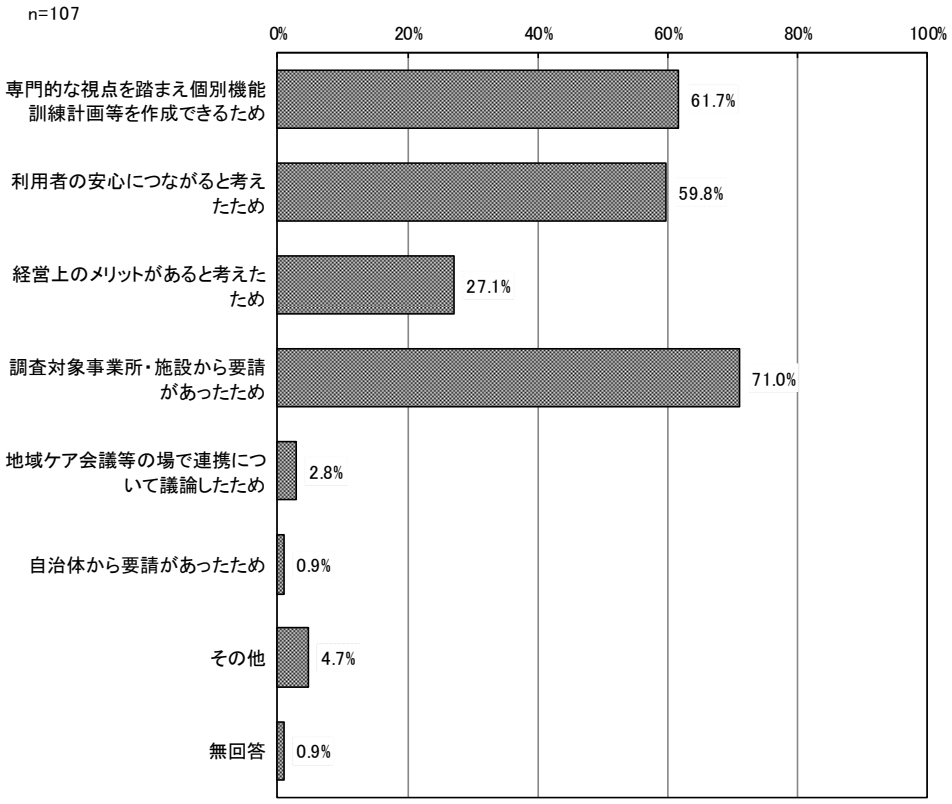
**図表 684　調査対象事業所・施設との関係**




# Ⅱ．連携の状況

## ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

**図表 685　調査対象事業所・施設との連携の動機**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・当院退院後の患者のフォローができるため。

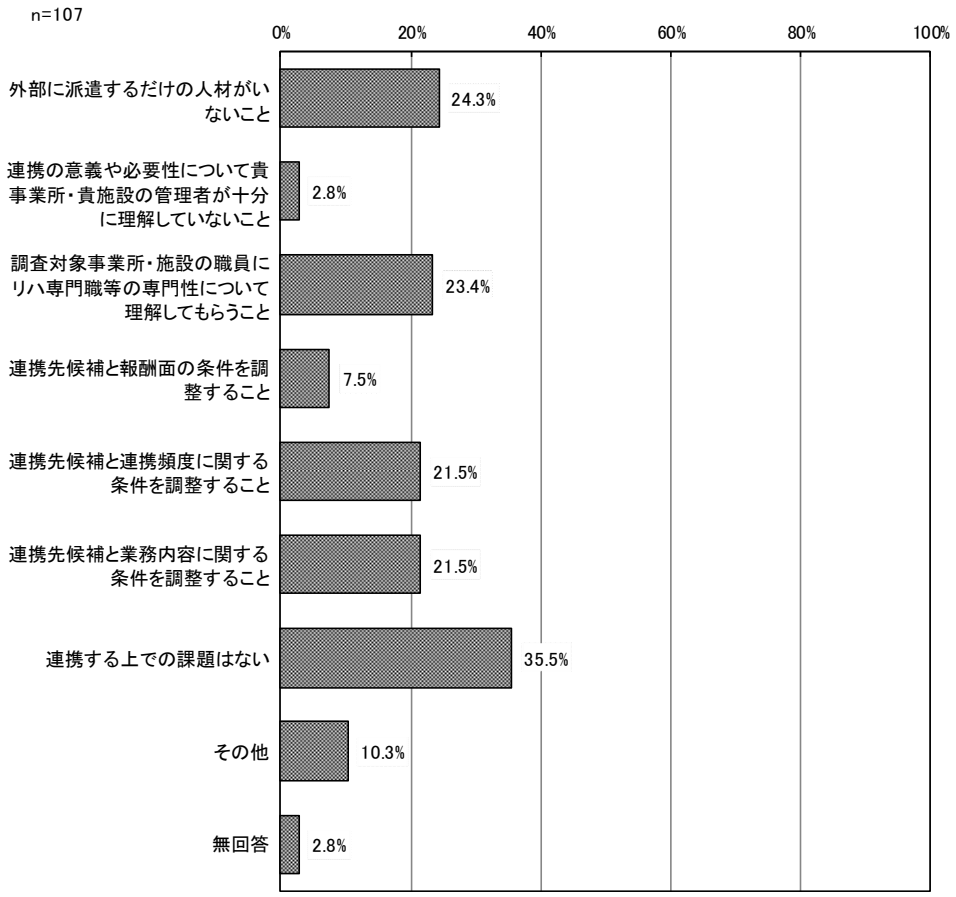
## イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 686　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・導入前に話し合いの場を何度か設けた。
・リハ専門職が入居者の評価をする時には、機能訓練指導員もしくは入居担当者が同行して、その場で評価とアドバイスを行うようにした。
・効率的かつ簡便な記録を採用した。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

**図表 687　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**

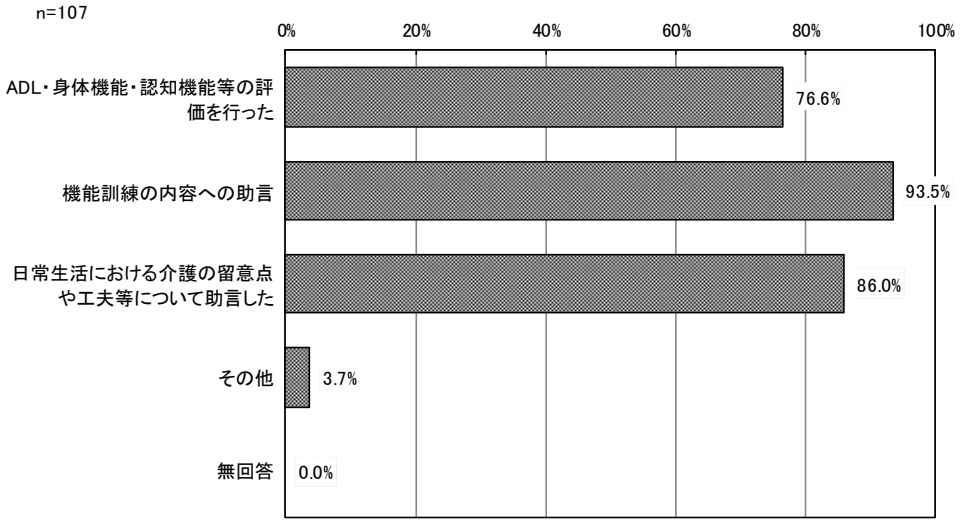



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・会議時間の確保
・連携先のケアプラン・個別機能訓練計画の作成

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 688　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・福祉用具の調整

・ポジショニング・シーティング指導

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

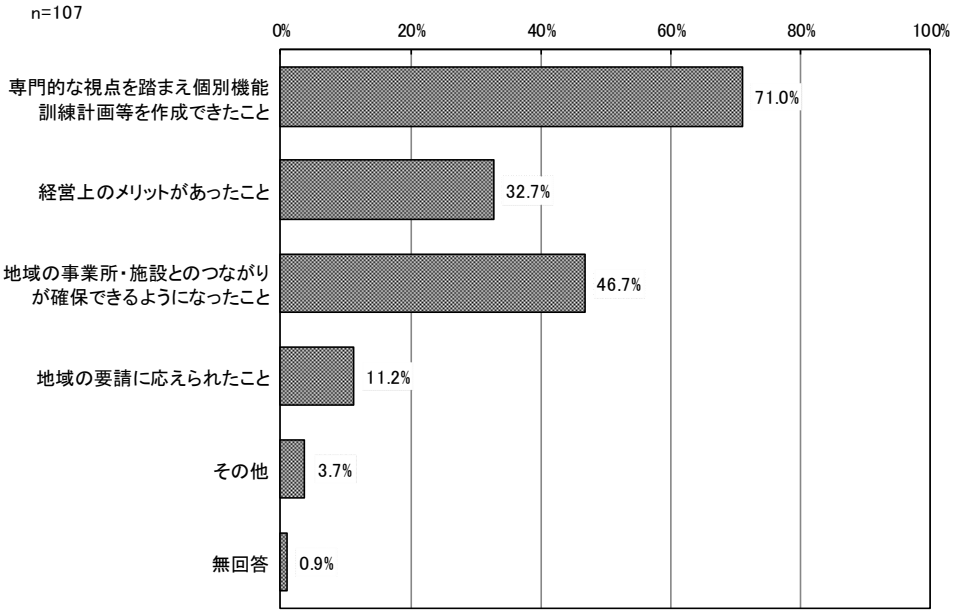
**図表 689　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=97 | 1.1 | 1.7 | 0.5 | 15.0 | 0.1 |
| その他事務職員 n=29 | 0.3 | 0.5 | 0.0 | 2.5 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

**図表 690　連携によるメリット**

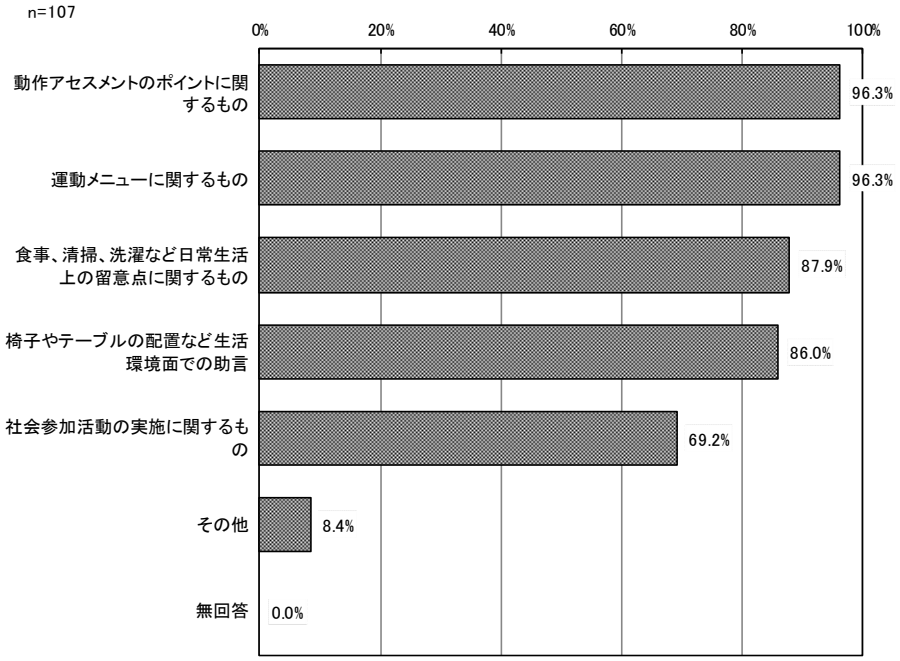



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・職員の知識の向上

## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

**図表 691　実際の助言内容**

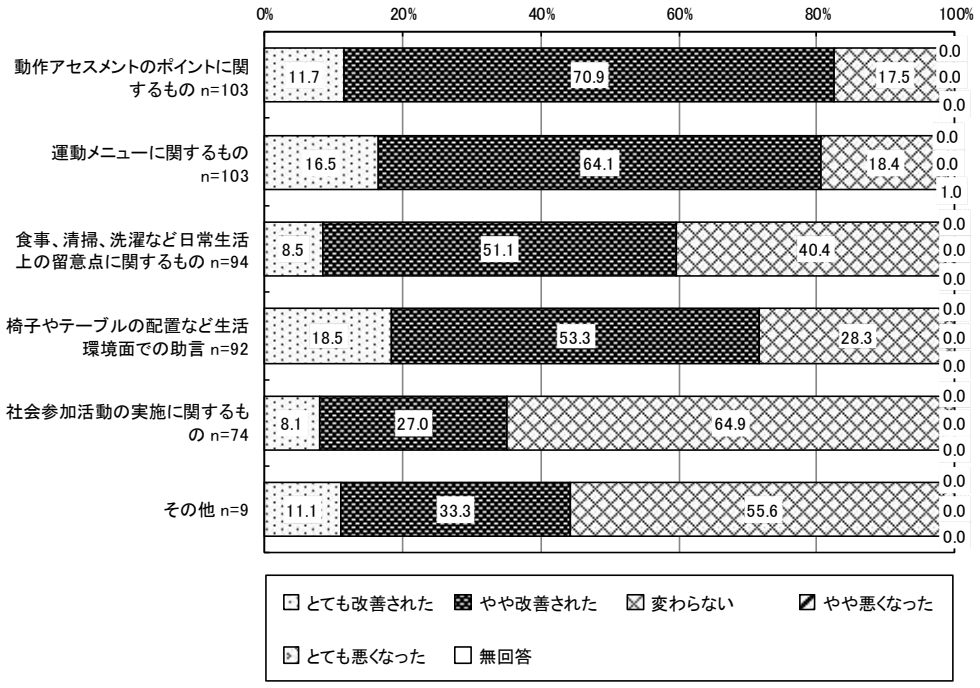



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・「リハビリ＝生活」という考え方を知ってもらう。

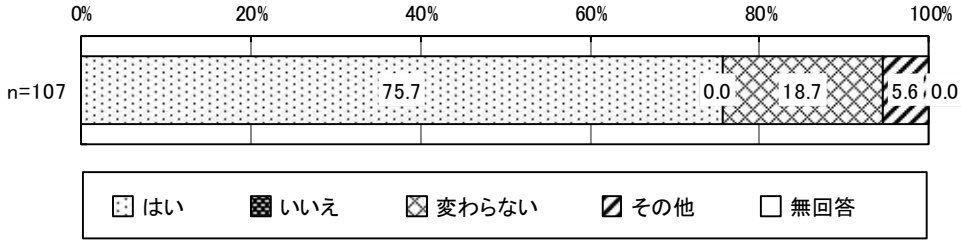
・福祉用具活用による自立支援

**図表 692　改善状況**



## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

図表 693　連携先職員の専門性の向上

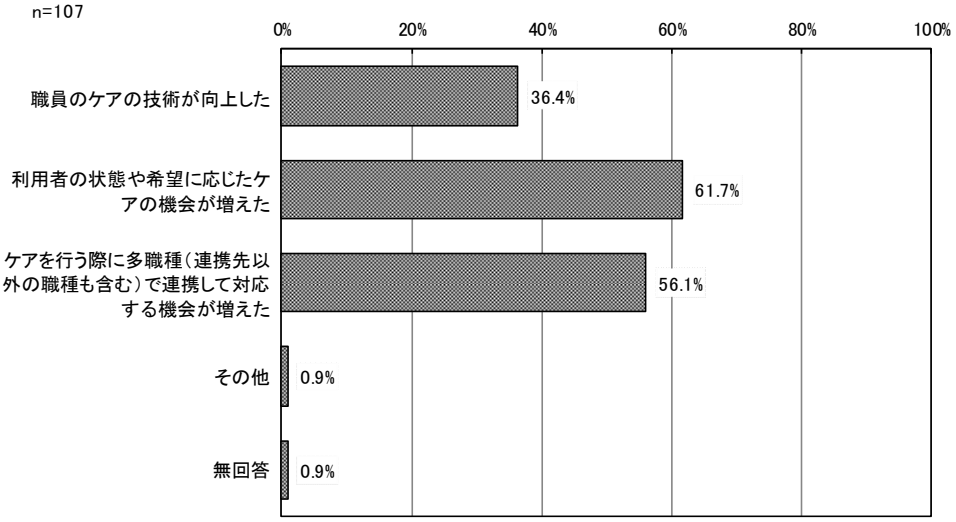



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・職員による

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

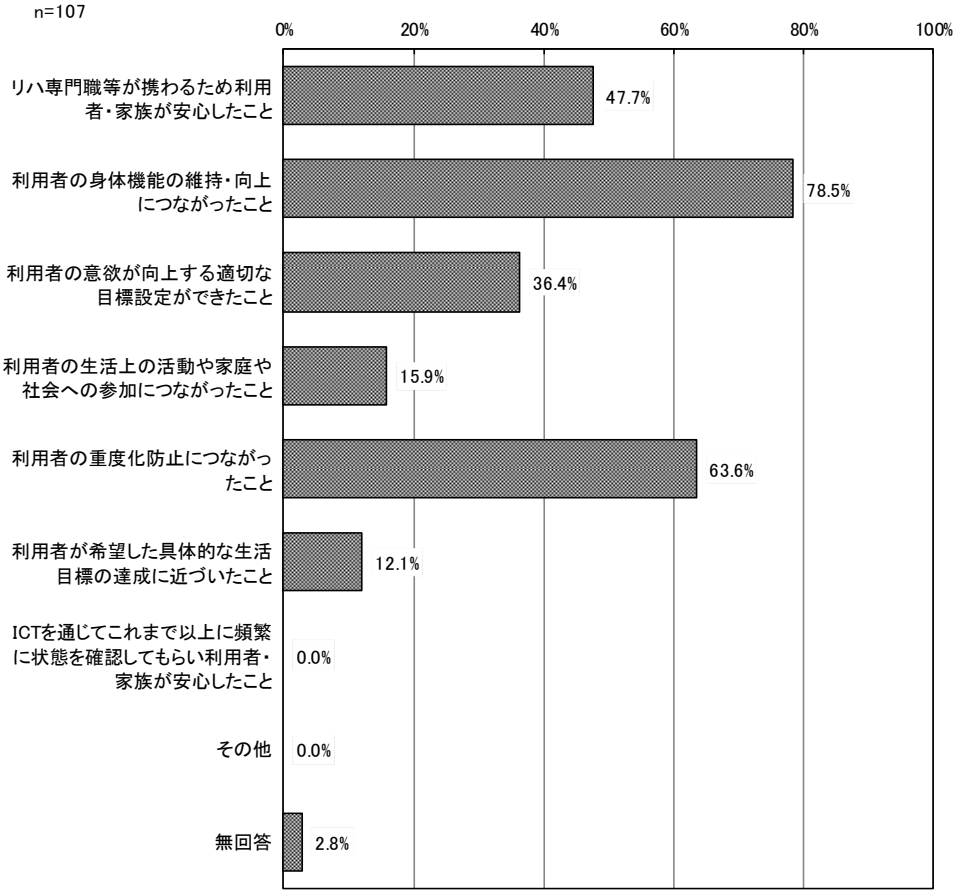
図表 694　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

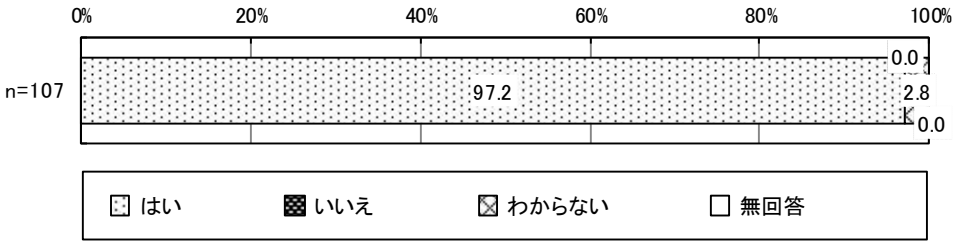
**図表 695　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

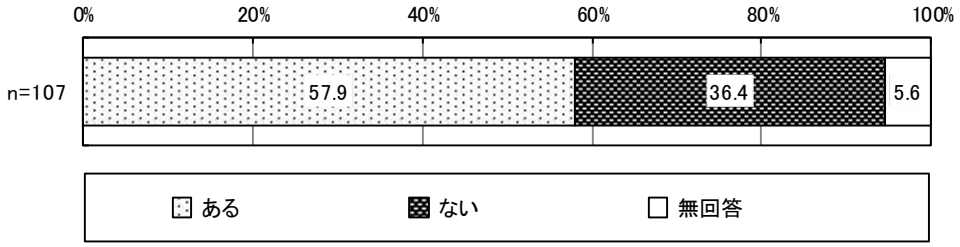
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 696　連携を継続したいか**

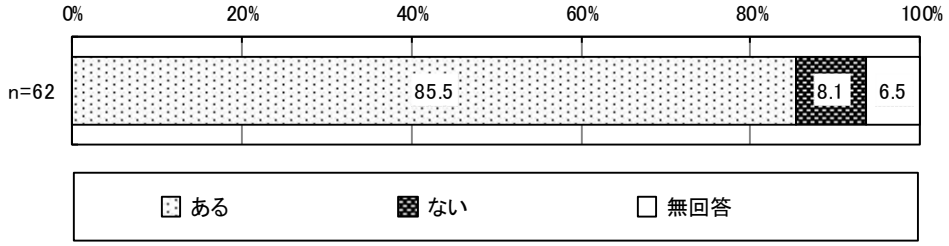


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

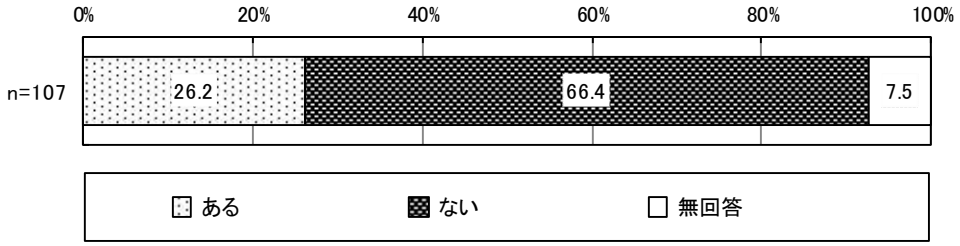
### 図表 697　加算に関する周知の経験　同一法人



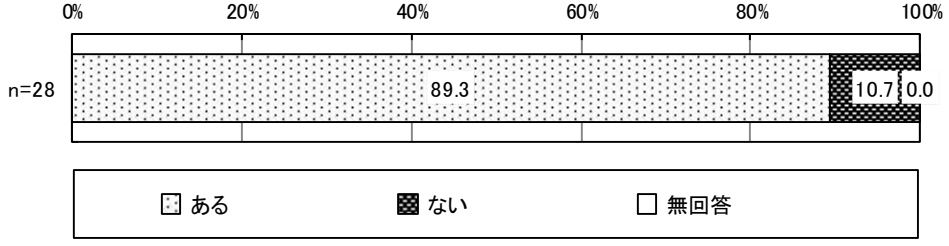

### 図表 698　反応の有無　同一法人




### 図表 699　加算に関する周知の経験　他法人




### 図表 700　反応の有無　他法人

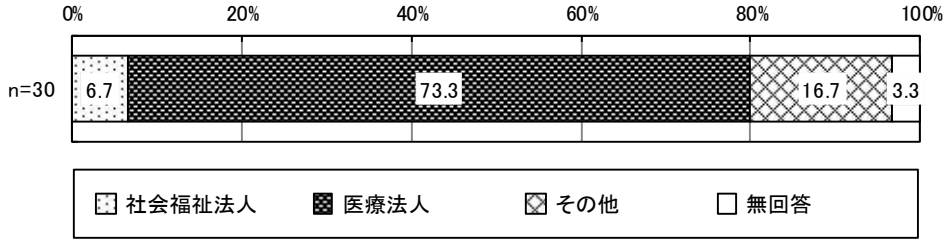


## （7） 訪問介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

図表 701　法人種別



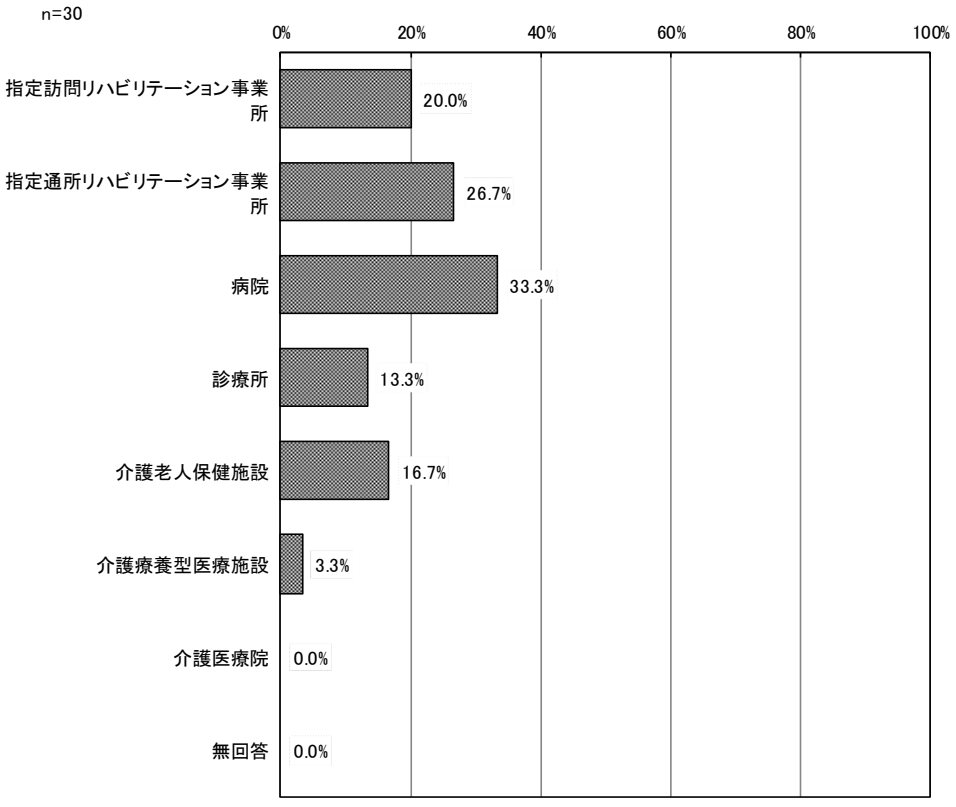

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・農協

・営利法人

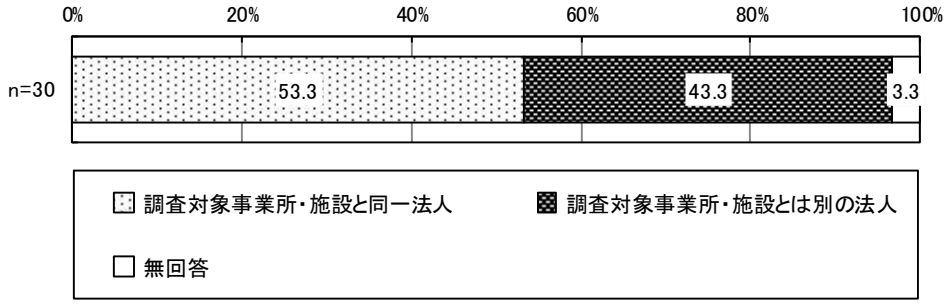
### イ） 種類（問 2）

図表 702　種類



## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

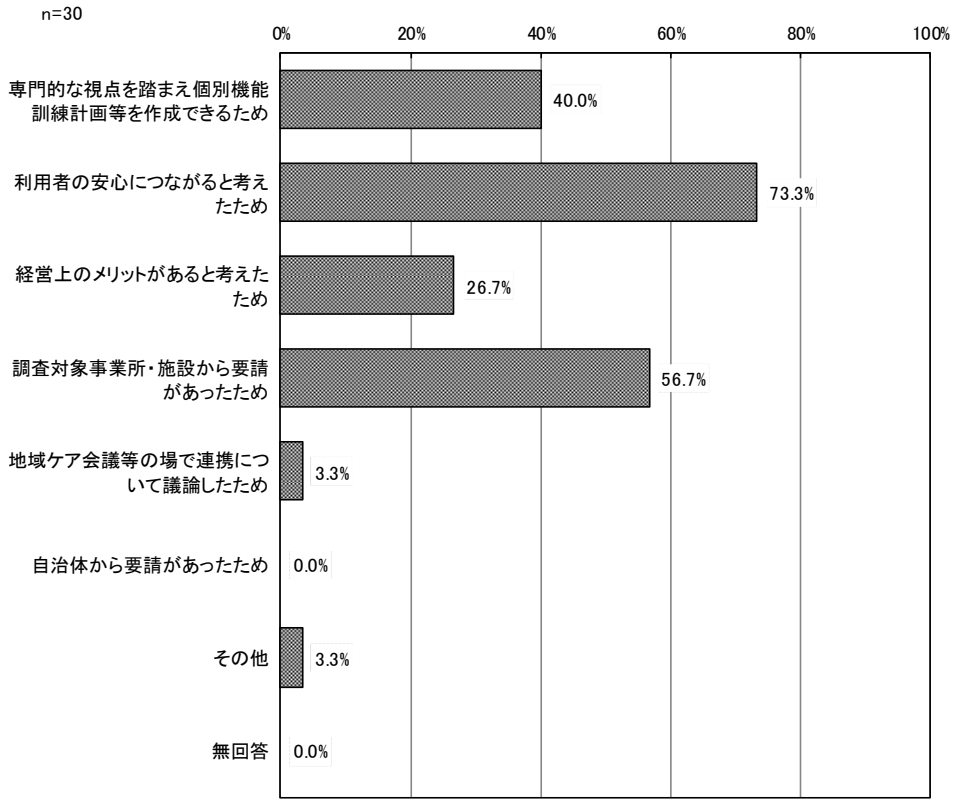
図表 703　調査対象事業所・施設との関係



## Ⅱ．連携の状況

### ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

**図表 704　調査対象事業所・施設との連携の動機**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

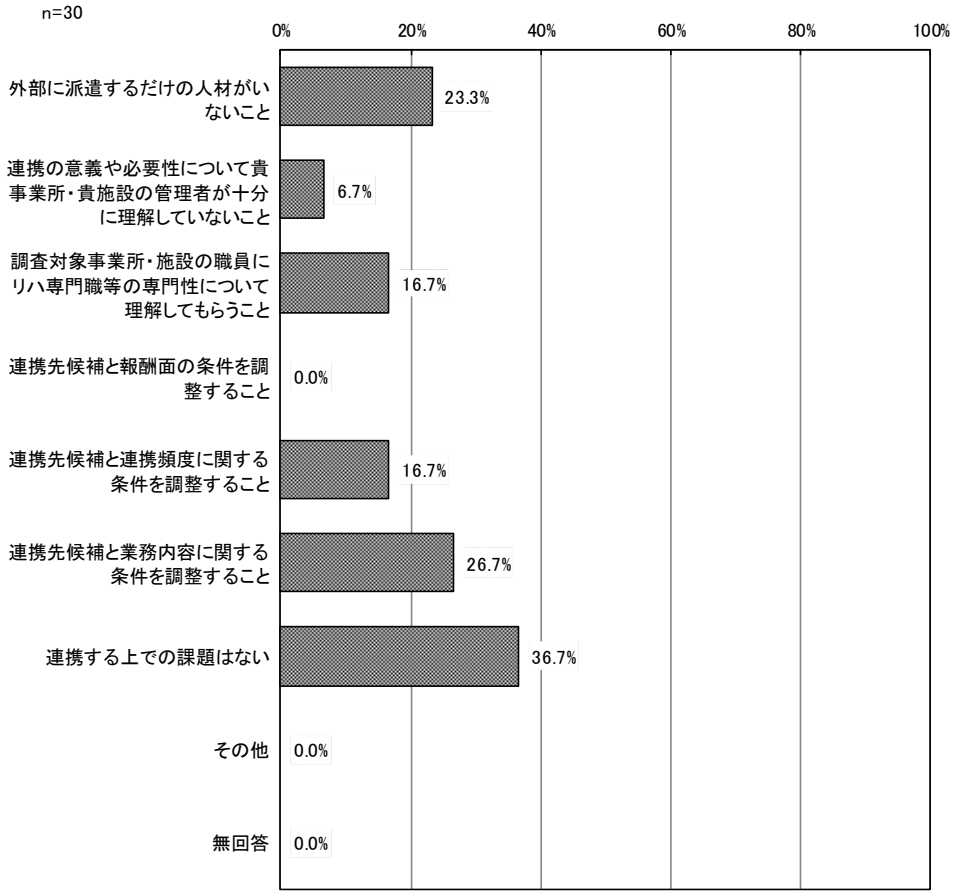
### イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 705　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・会議開始時間をお互い業務に支障の少ない時間に調整した。
・専門用語をあまり使用せず、他の職種でもわかりやすくした。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

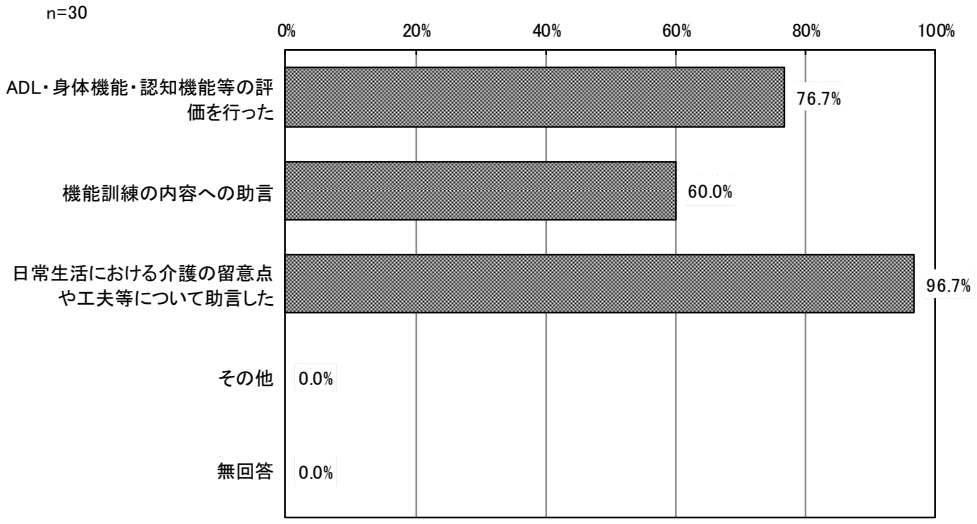
図表 706　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 707　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

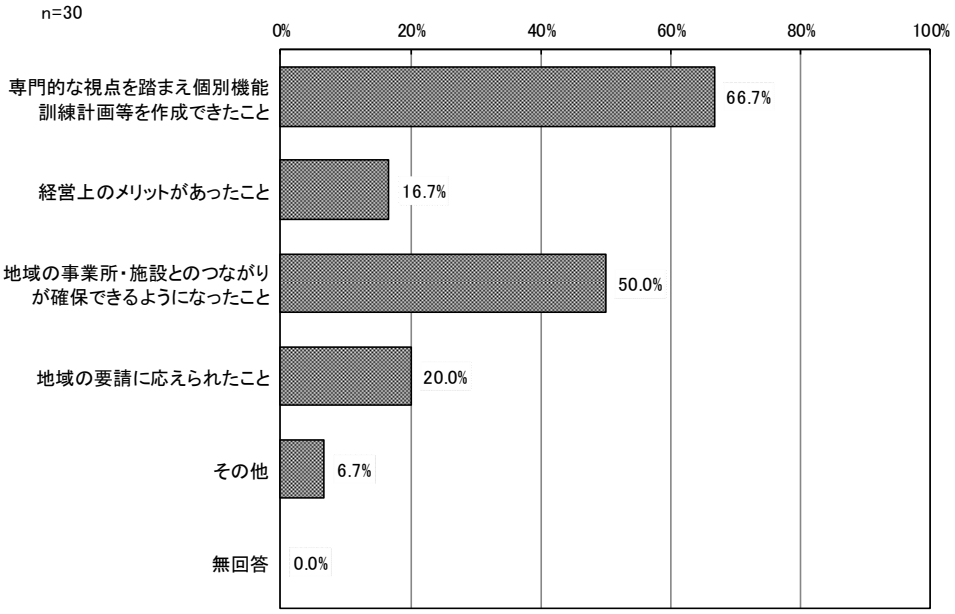
**図表 708　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=28 | 1.0 | 0.8 | 0.5 | 3.5 | 0.0 |
| その他事務職員 n=10 | 0.5 | 0.8 | 0.1 | 2.5 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

**図表 709　連携によるメリット**



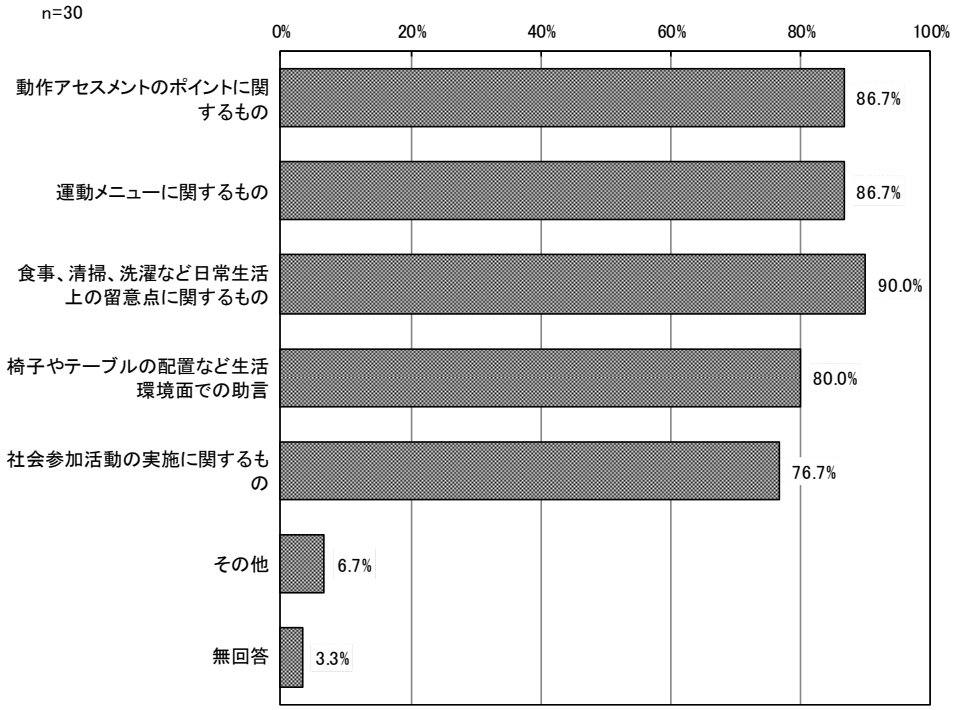

※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・利用者の機能回復や ADL 能力向上が、予定より早く達成できた。

・多職種同士で勉強になった。

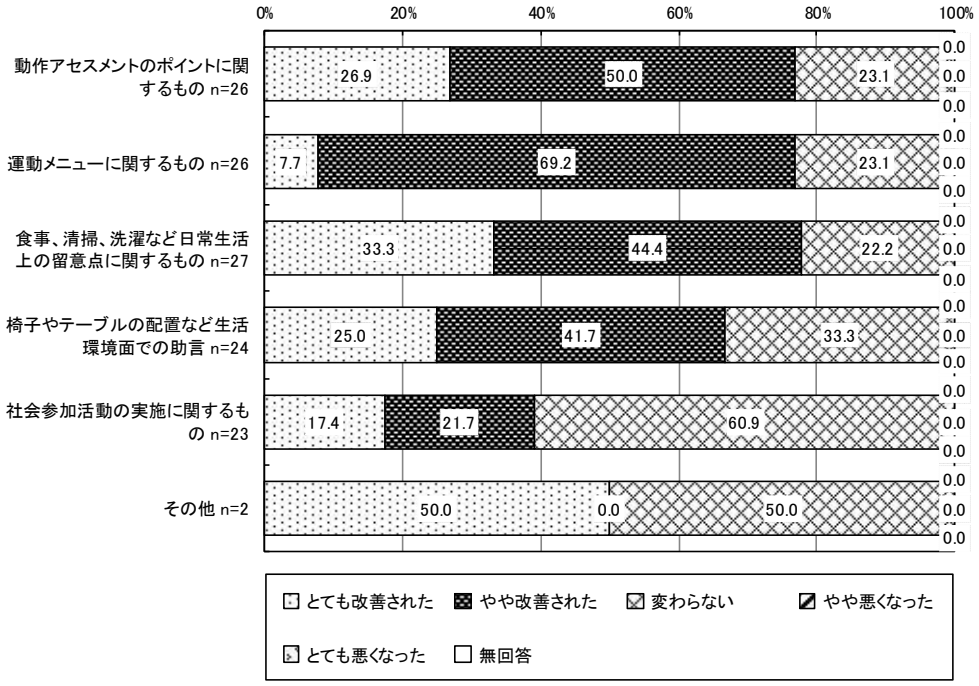
## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

**図表 710　実際の助言内容**



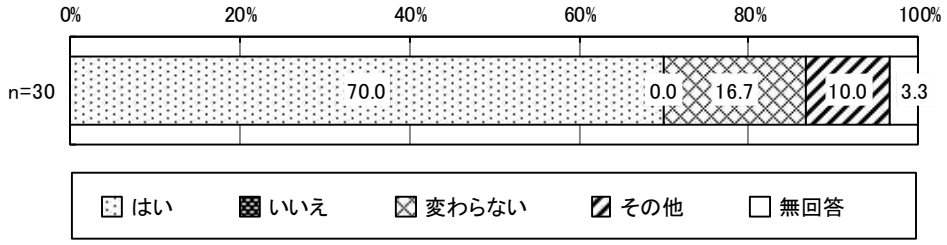

※その他として挙げられた有効な回答は無し。

**図表 711　改善状況**



## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

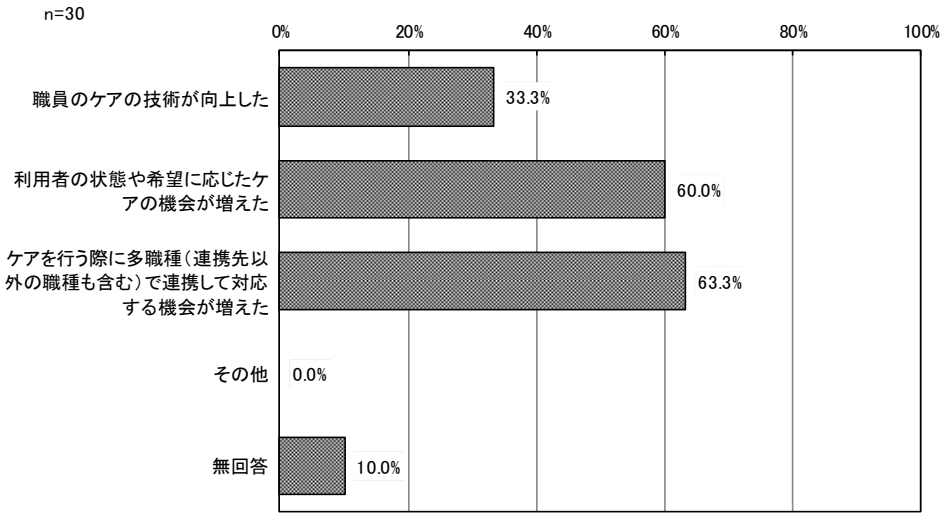
図表 712　連携先職員の専門性の向上




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

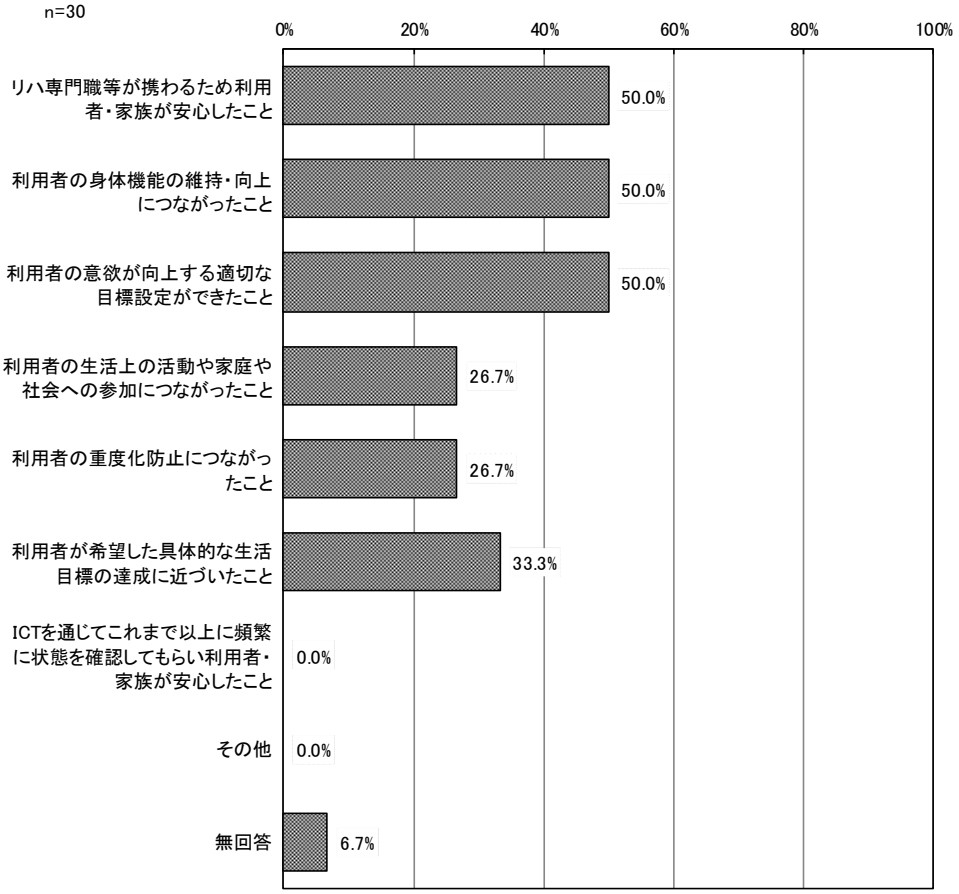
図表 713　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

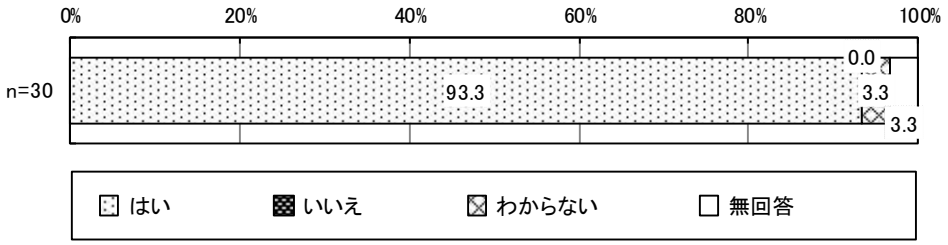
**図表 714　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

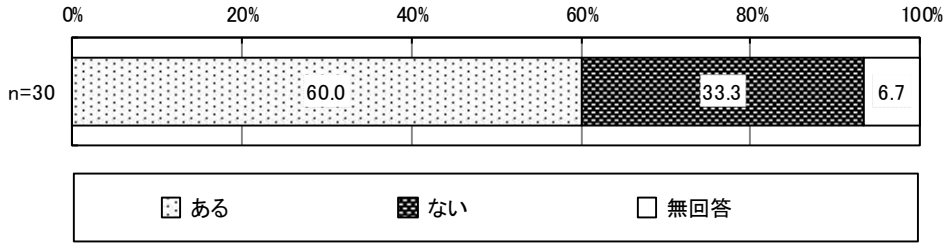
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 715　連携を継続したいか**

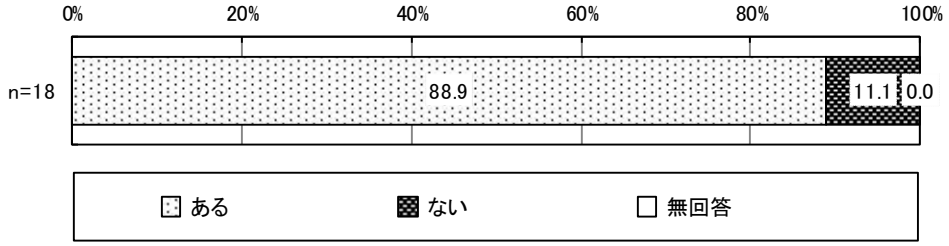


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

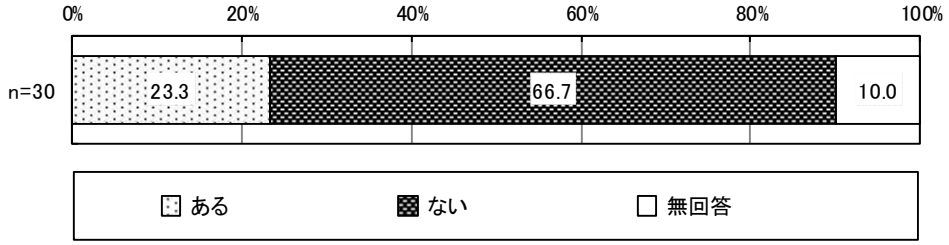
図表 716　加算に関する周知の経験　同一法人



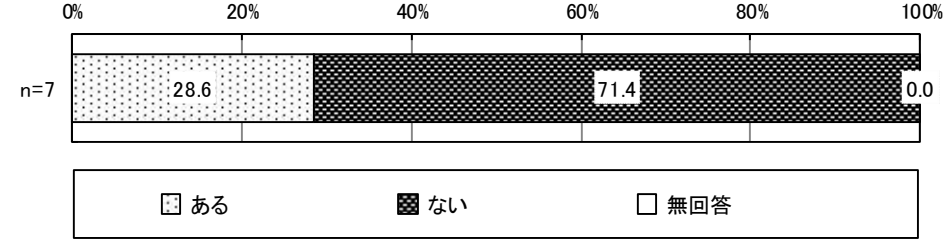

図表 717　反応の有無　同一法人




図表 718　加算に関する周知の経験　他法人



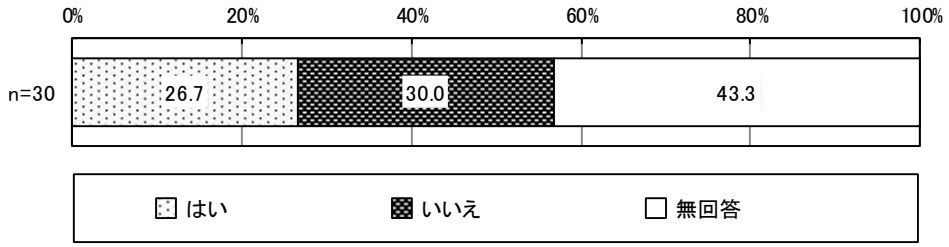

図表 719　反応の有無　他法人



## Ⅲ. ICT の活用

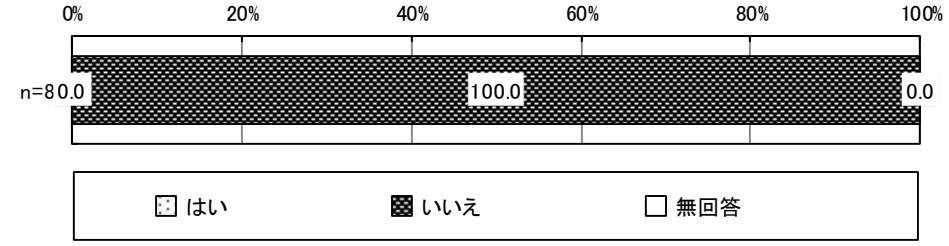
### ア） 生活機能向上連携加算（Ⅰ）を算定したか（問 16）

図表 720　加算（Ⅰ）を算定したか




### イ） 加算（Ⅰ）算定にあたっての ICT 活用の有無および対象人数（問 17）

図表 721　加算（Ⅰ）算定にあたっての ICT 活用の有無および対象人数




### ウ） ICT による利用者の状態把握方法（問 18）

回答は無し。

### エ） 活用している ICT 機器（問 19）

回答は無し。

### オ） ICT 機器購入者（問 20）

回答は無し。

### カ） 利用者 1 人に対する ICT 平均利用頻度（問 21）

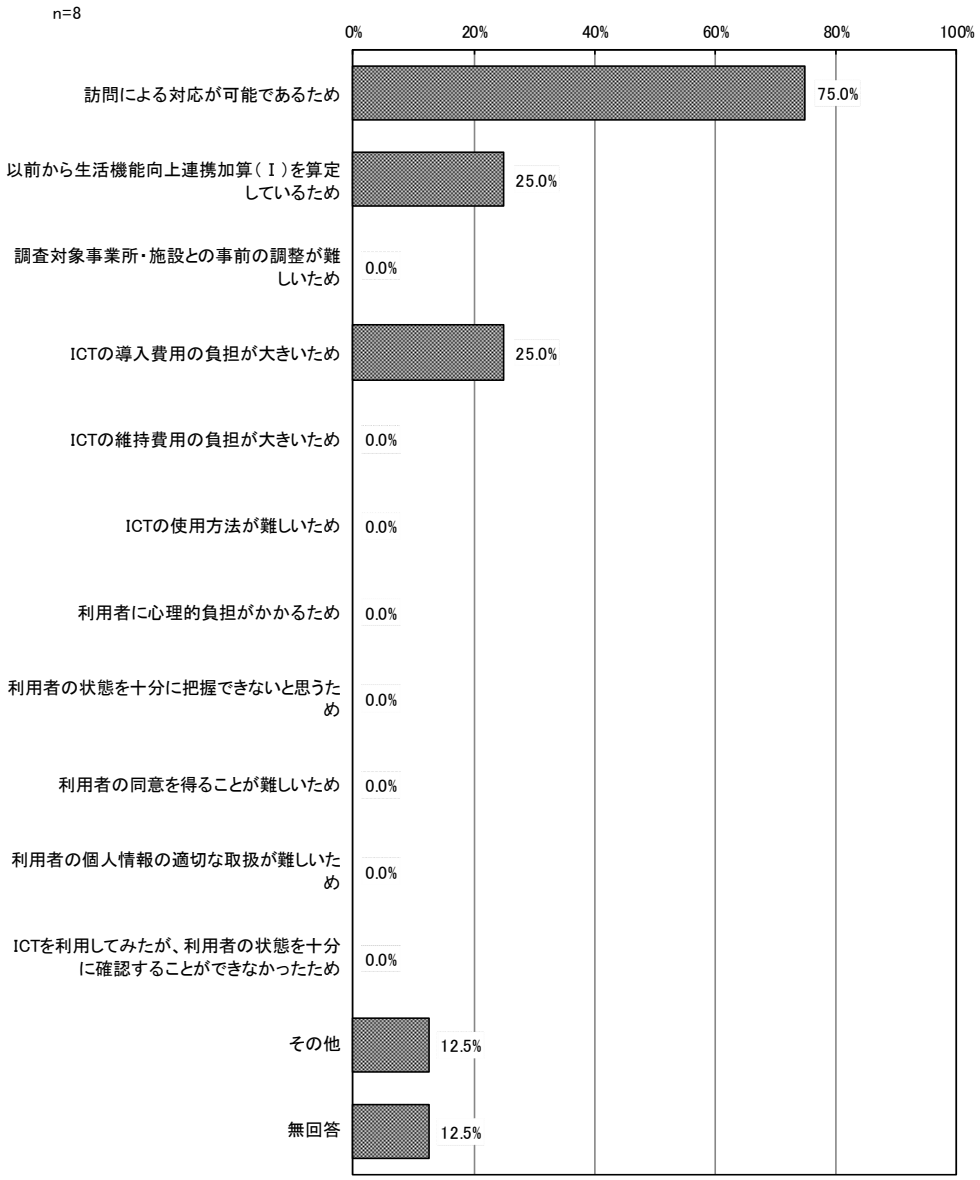
回答は無し。

## キ） ICT 活用の影響（問 22）

回答は無し。

## ク） ICT を活用しない理由（問 23）

**図表 722　ICT を活用しない理由**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

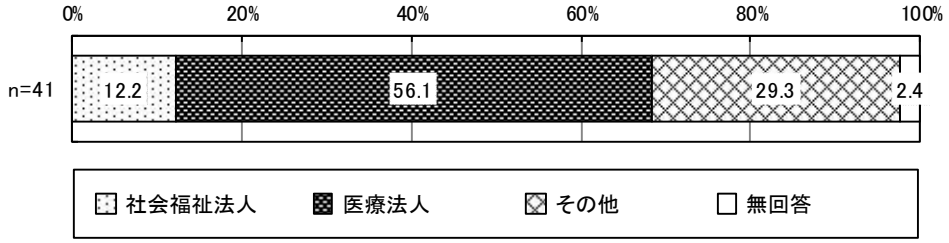
・（算定）法人の方針によるため

## （８） 小規模多機能型居宅介護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

**図表 723　法人種別**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

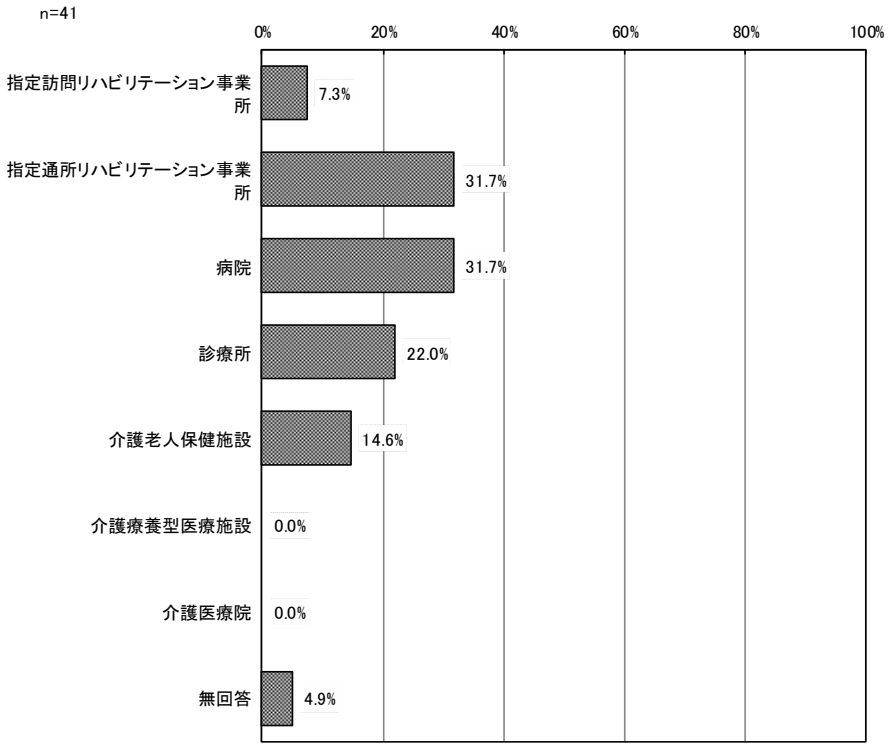
・勤労者医療協会

・協同組合

・社会医療法人財団

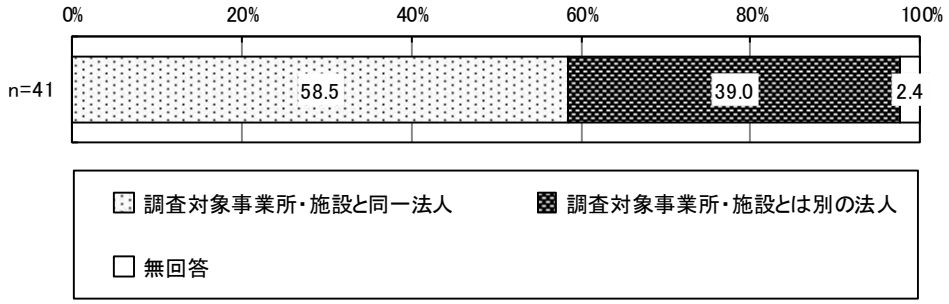
### イ） 種類（問 2）

**図表 724　種類**



## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

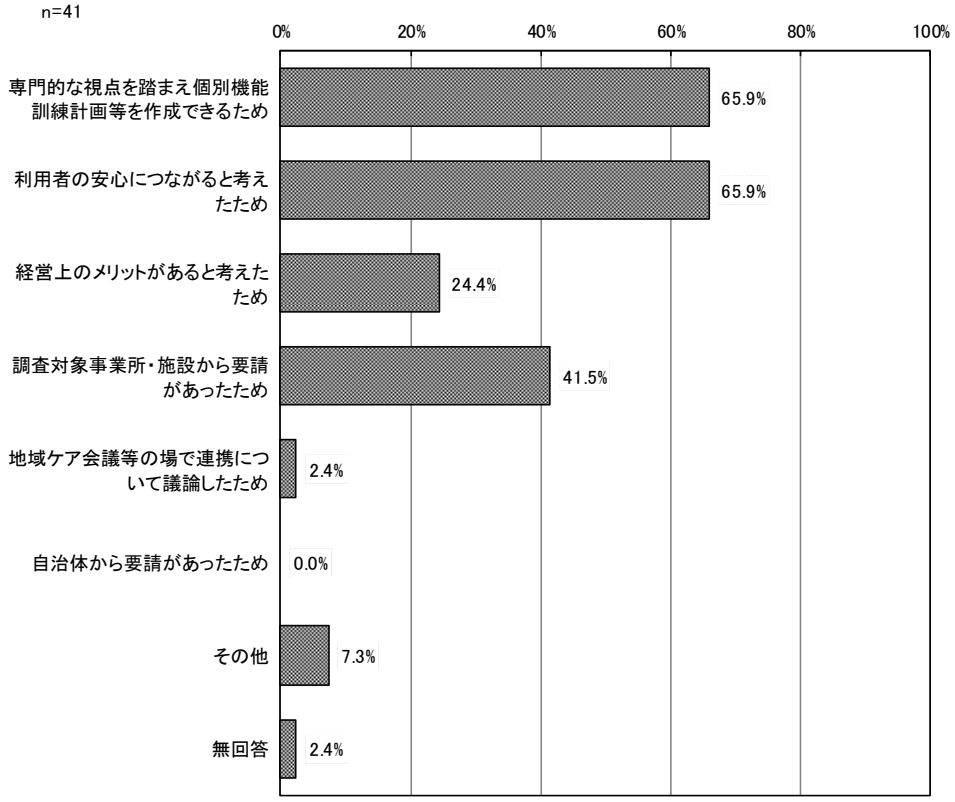
図表 725　調査対象事業所・施設との関係




# Ⅱ．連携の状況

## ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

図表 726　調査対象事業所・施設との連携の動機




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・地域事業所との連携強化のため。

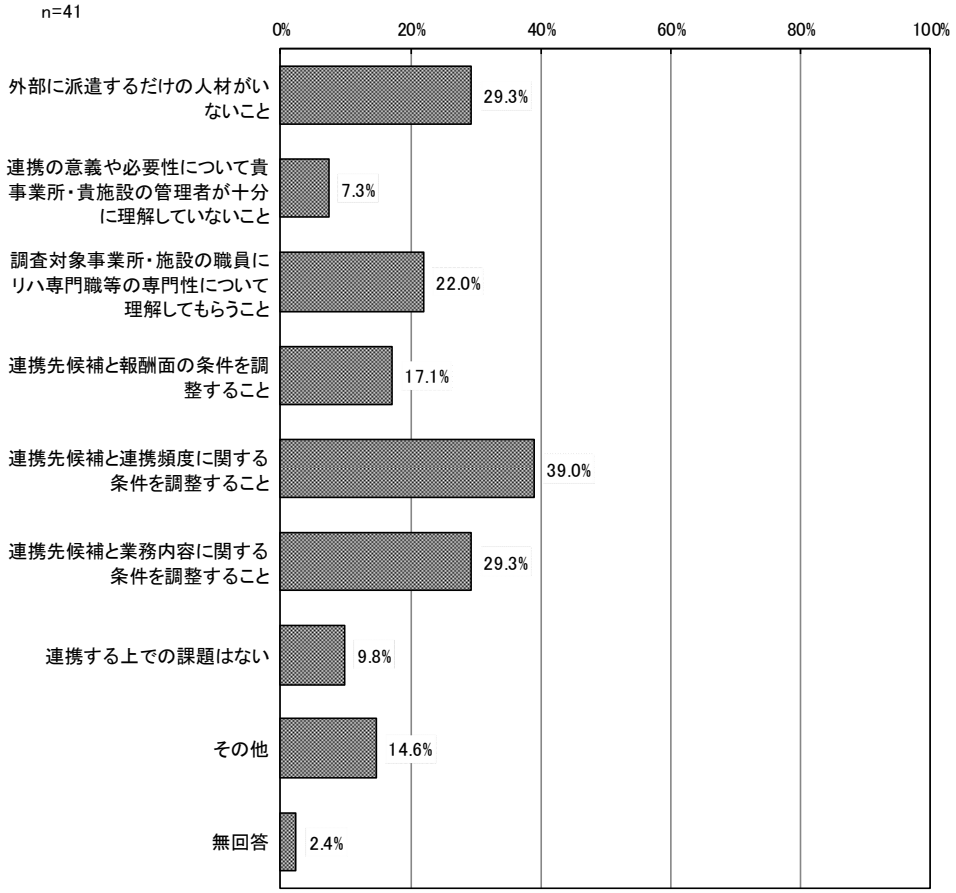
## イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 727　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・職員にとって時間的にも方法的にも負担とならないようにした。
・本人に負荷がかかり過ぎないように内容を検討した。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

**図表 728　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**

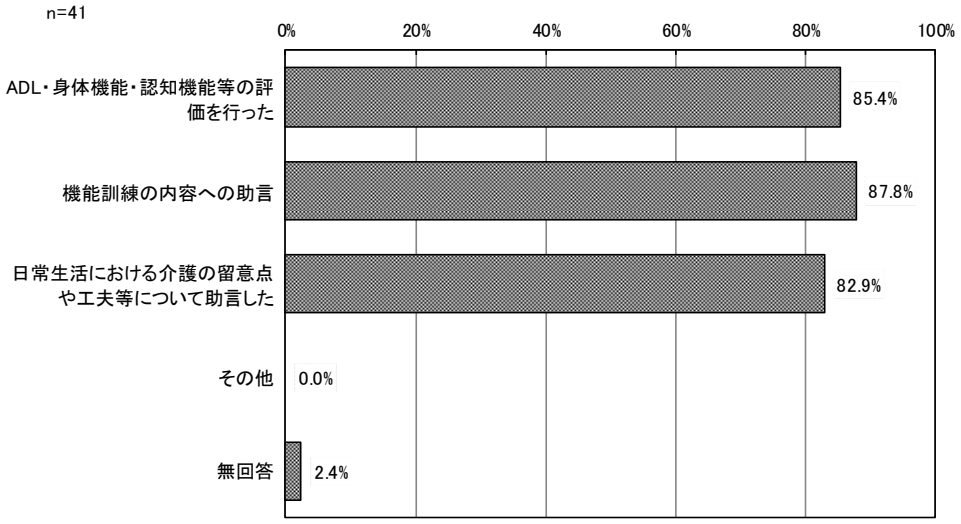



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・認知機能が低い利用者・コミュニケーション困難な利用者・意欲がない利用者への実施

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 729　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

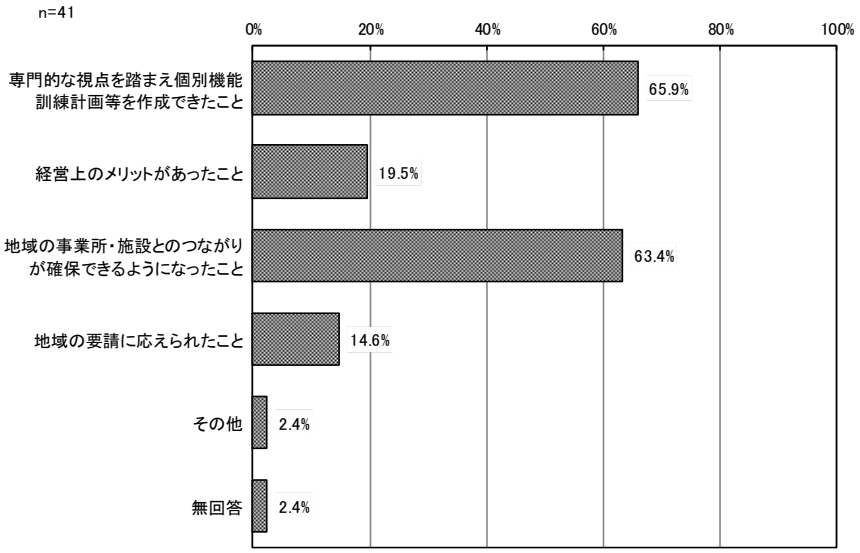
**図表 730　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=40 | 1.5 | 3.1 | 0.5 | 20.0 | 0.1 |
| その他事務職員 n=9 | 0.7 | 0.9 | 0.0 | 3.0 | 0.0 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

**図表 731　連携によるメリット**

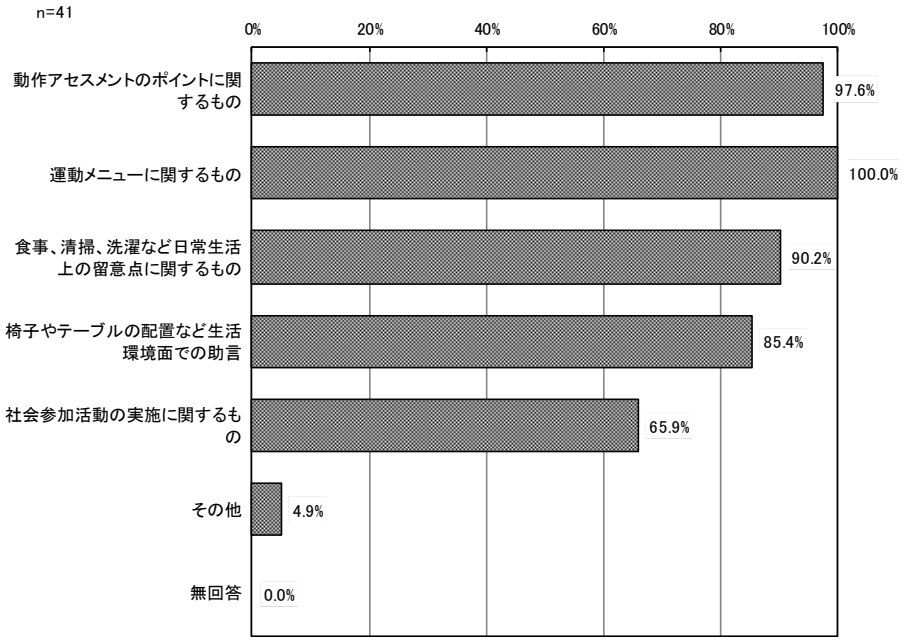



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・リハビリサービスの拡充

## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

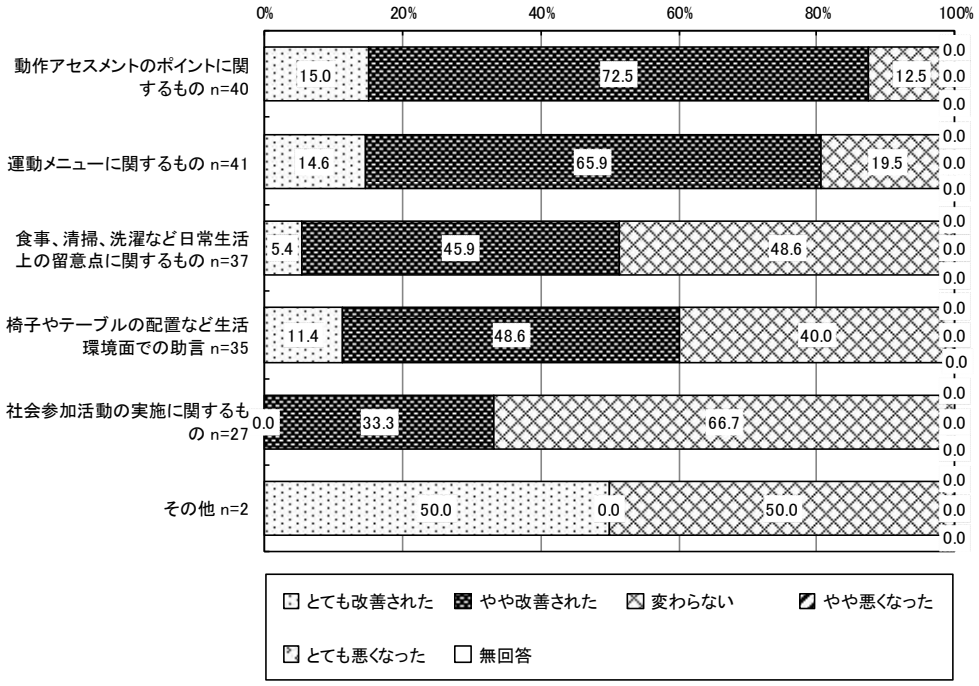
**図表 732　実際の助言内容**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

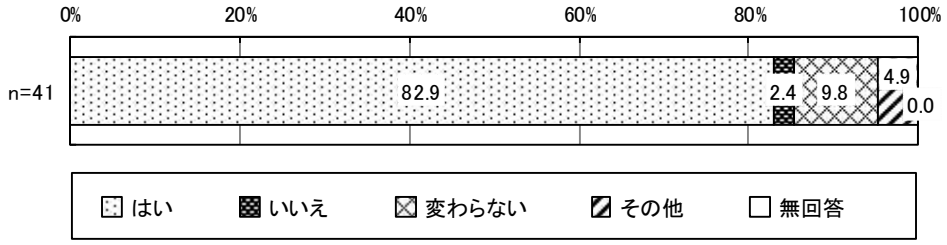
・生活リハビリに関すること

**図表 733　実際の助言内容と改善状況**




## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

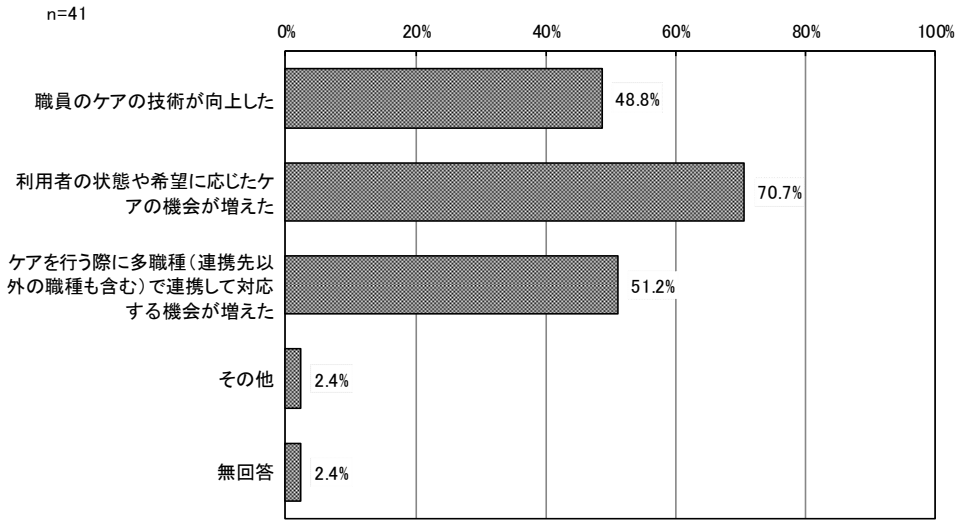
**図表 734　連携先職員の専門性の向上**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

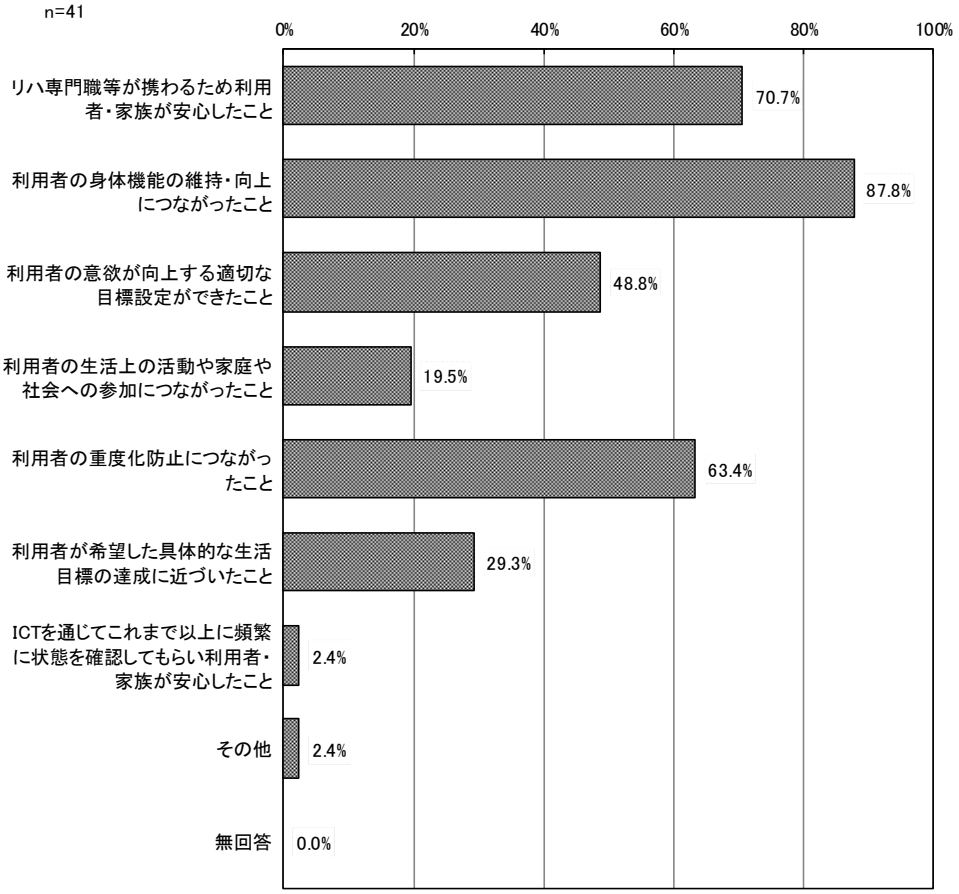
**図表 735　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

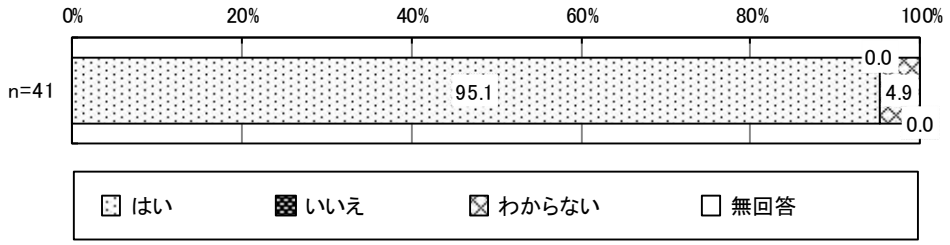
**図表 736　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

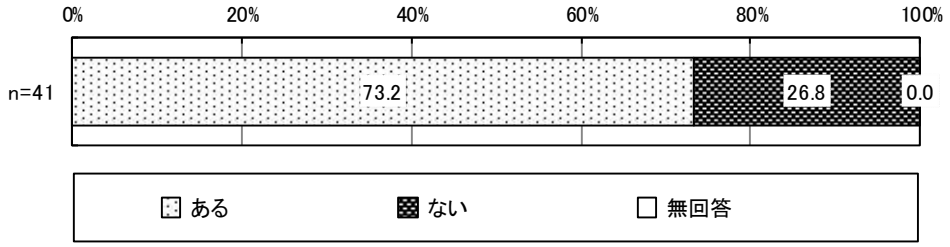
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 737　連携を継続したいか**

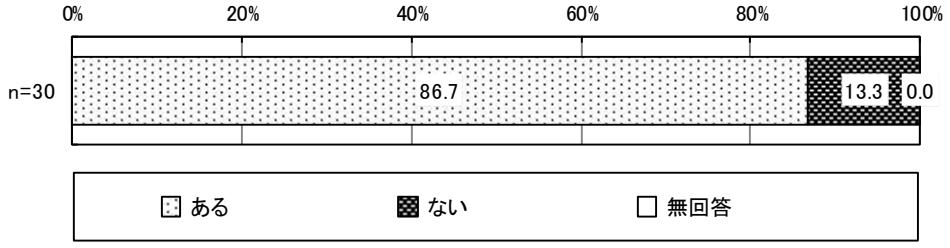


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

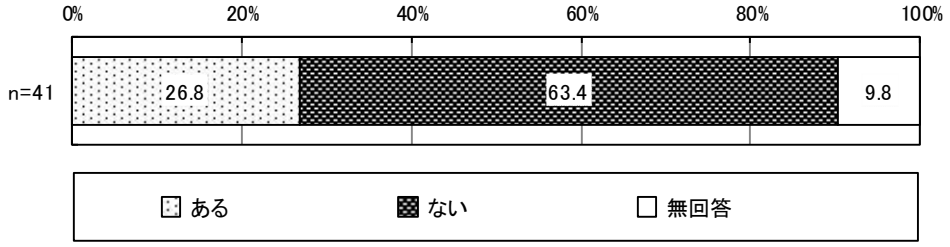
図表 738　加算に関する周知の経験　同一法人



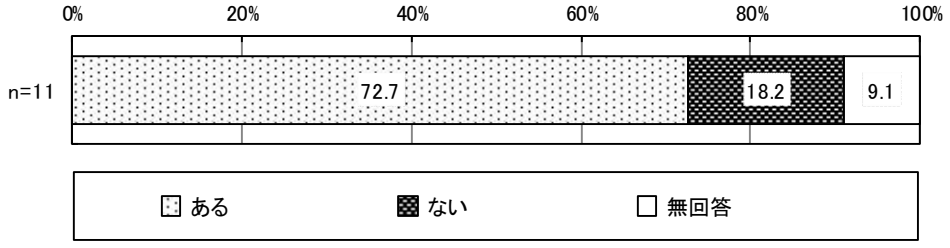

図表 739　反応の有無　同一法人




図表 740　加算に関する周知の経験　他法人



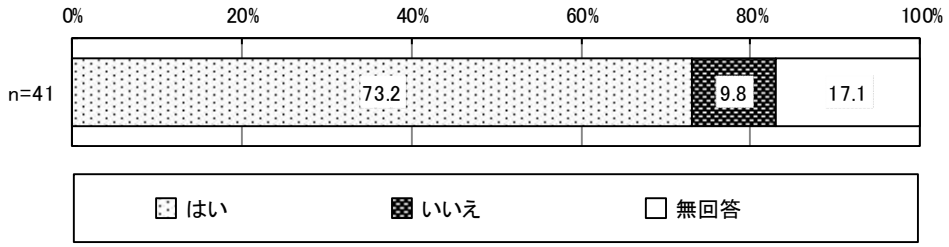

図表 741　反応の有無　他法人



## Ⅲ. ICT の活用

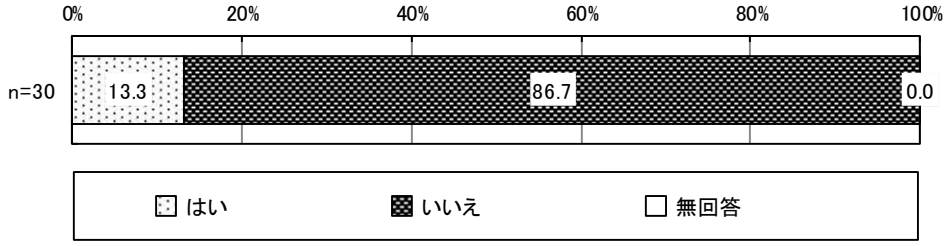
### ア） 生活機能向上連携加算（Ⅰ）を算定したか（問 16）

図表 742　加算（Ⅰ）を算定したか




### イ） 加算（Ⅰ）算定にあたっての ICT 活用の有無および対象人数（問 17）

図表 743　加算（Ⅰ）算定にあたっての ICT 活用の有無



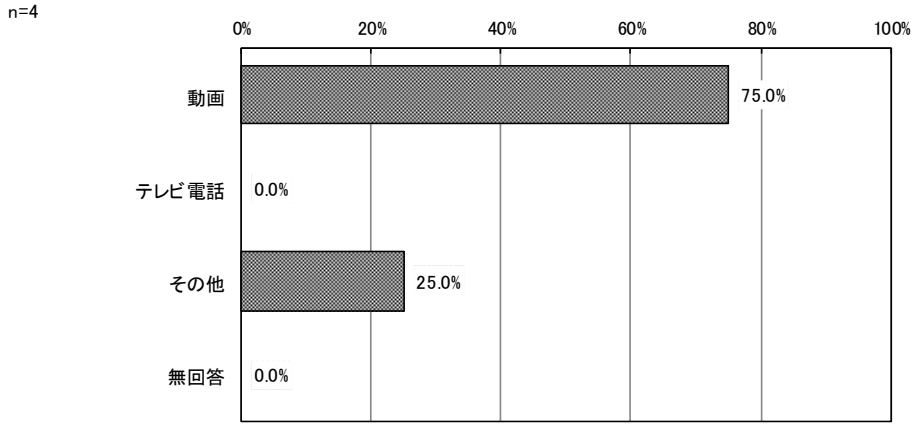

図表 744　対象人数

（単位：人）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| n=4 | 4.5 | 3.8 | 3.5 | 10.0 | 1.0 |

## ウ） ICT による利用者の状態把握方法（問 18）

図表 745　ICT による利用者の状態把握方法

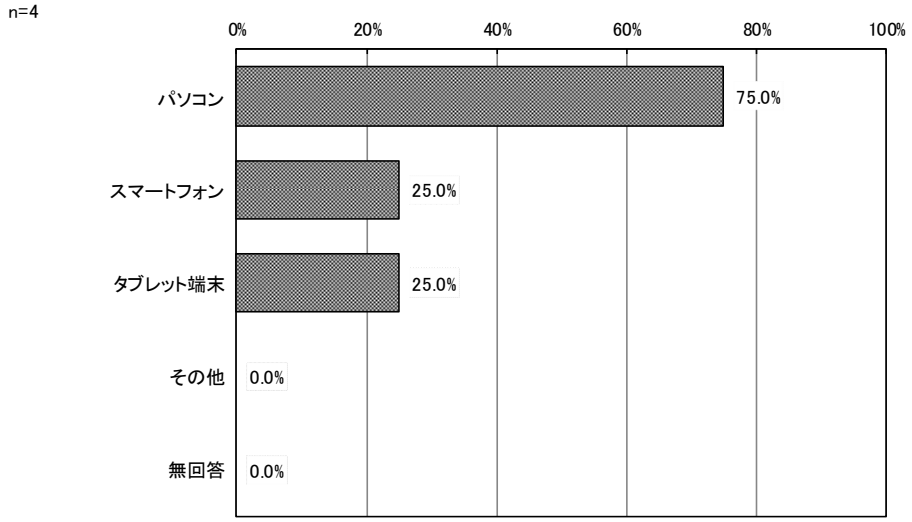



※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・電子カルテ

## エ） 活用している ICT 機器（問 19）

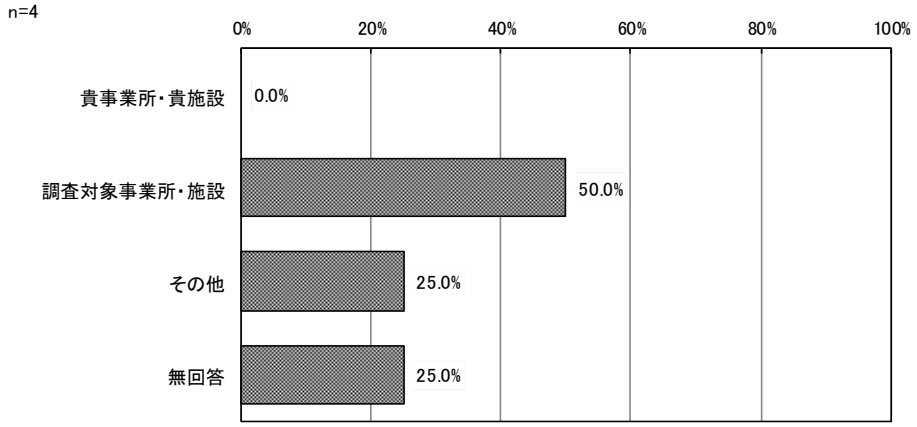
図表 746　活用している ICT 機器




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） ICT 機器購入者（問 20）

**図表 747　ICT 機器購入者**




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

・個人

## カ） 利用者 1 人に対する ICT 平均利用頻度（問 21）

**図表 748　利用者 1 人に対する ICT 平均利用頻度　計画作成時**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| n=4 | 1.5 | 0.9 | 1.0 | 3.0 | 1.0 |

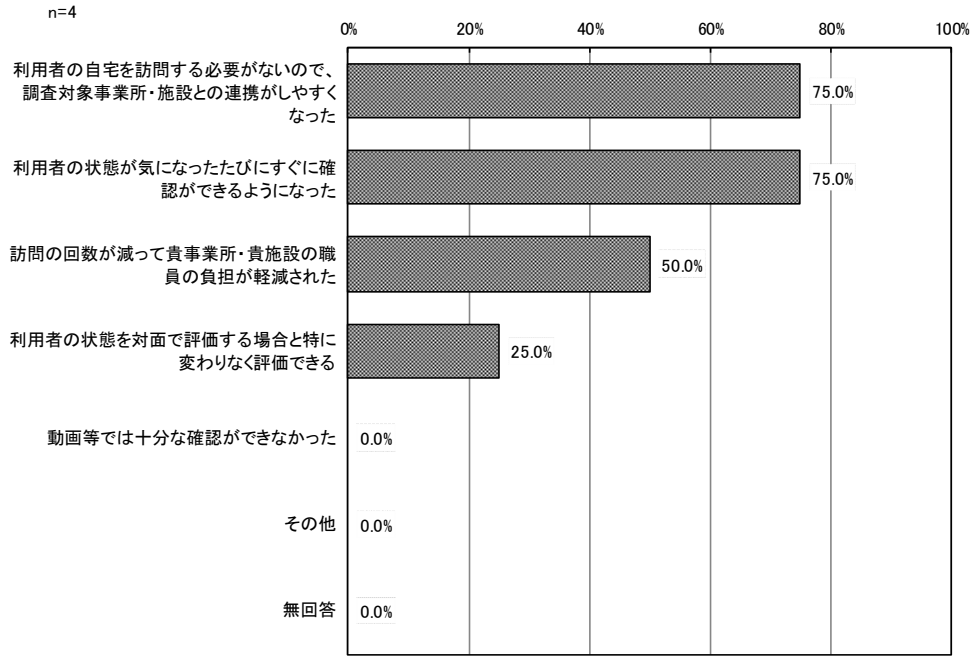
**図表 749　利用者 1 人に対する ICT 平均利用頻度　計画作成後から 3 ヶ月後まで**

（単位：回）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| n=3 | 1.7 | 0.9 | 1.0 | 3.0 | 1.0 |

## キ） ICT 活用の影響（問 22）

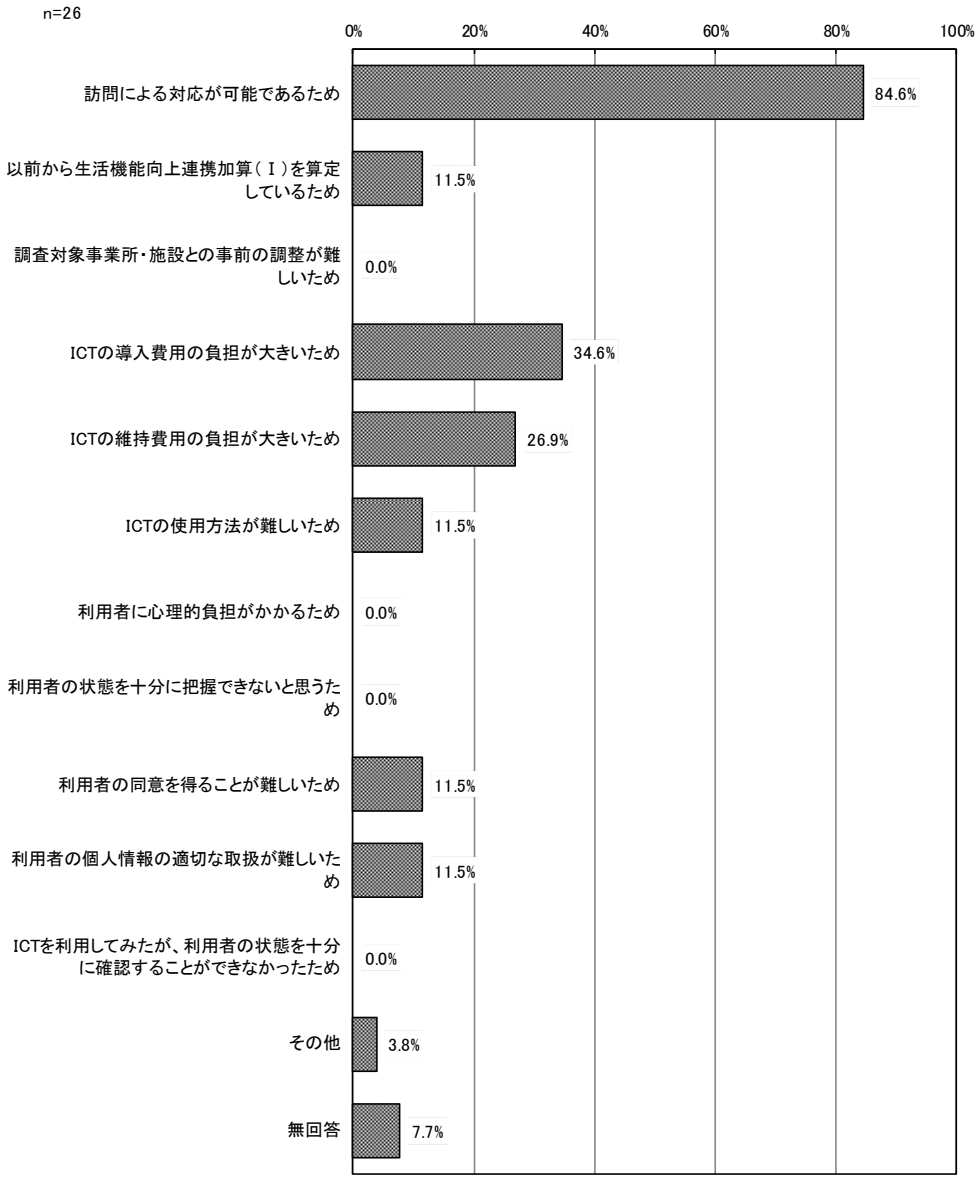
**図表 750　ICT 活用の影響**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ク） ICT を活用しない理由（問 23）

図表 751　ICT を活用しない理由




※その他として挙げられた主な回答は以下の通り。

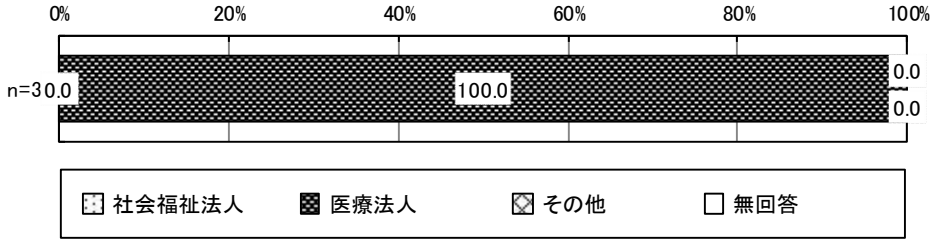
・（算定）法人全体で計画的に準備していくことのため。

## （９） 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

## Ⅰ．事業所・施設の基本属性

### ア） 法人種別（問 1）

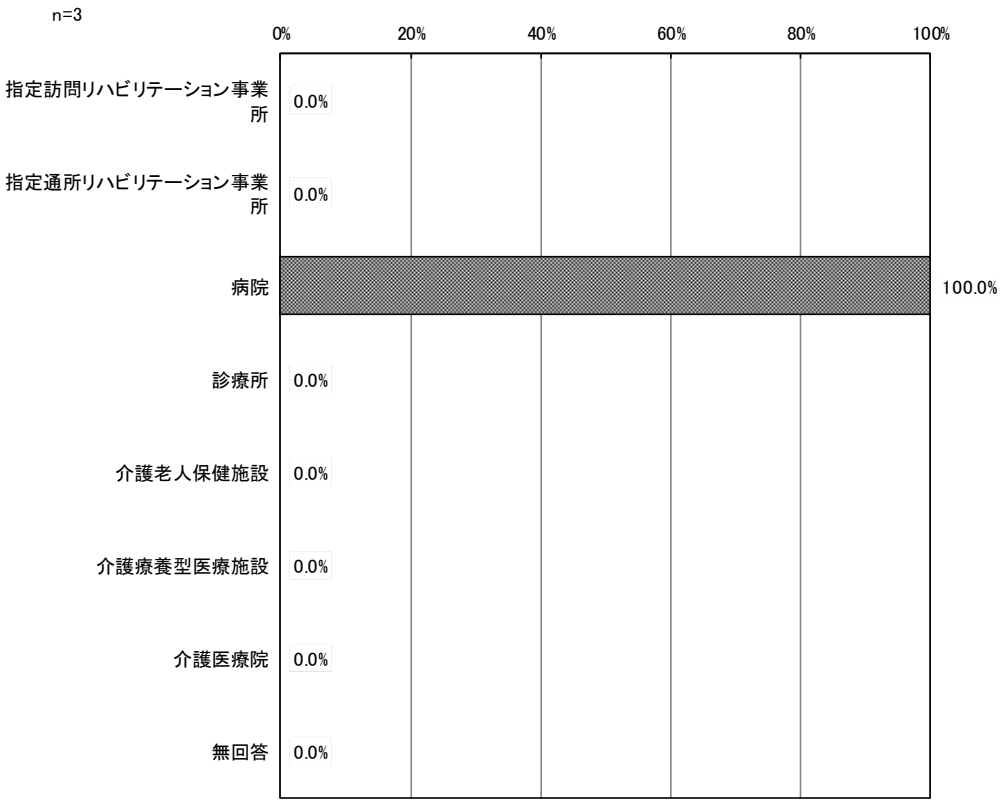
図表 752　法人種別




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

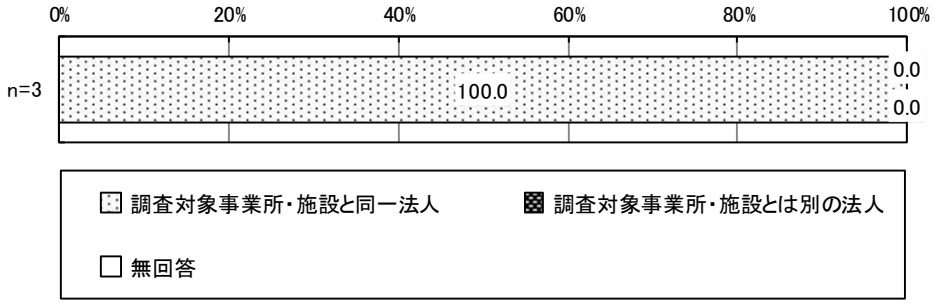
### イ） 種類（問 2）

図表 753　種類



## ウ） 調査対象事業所・施設との関係（問 3）

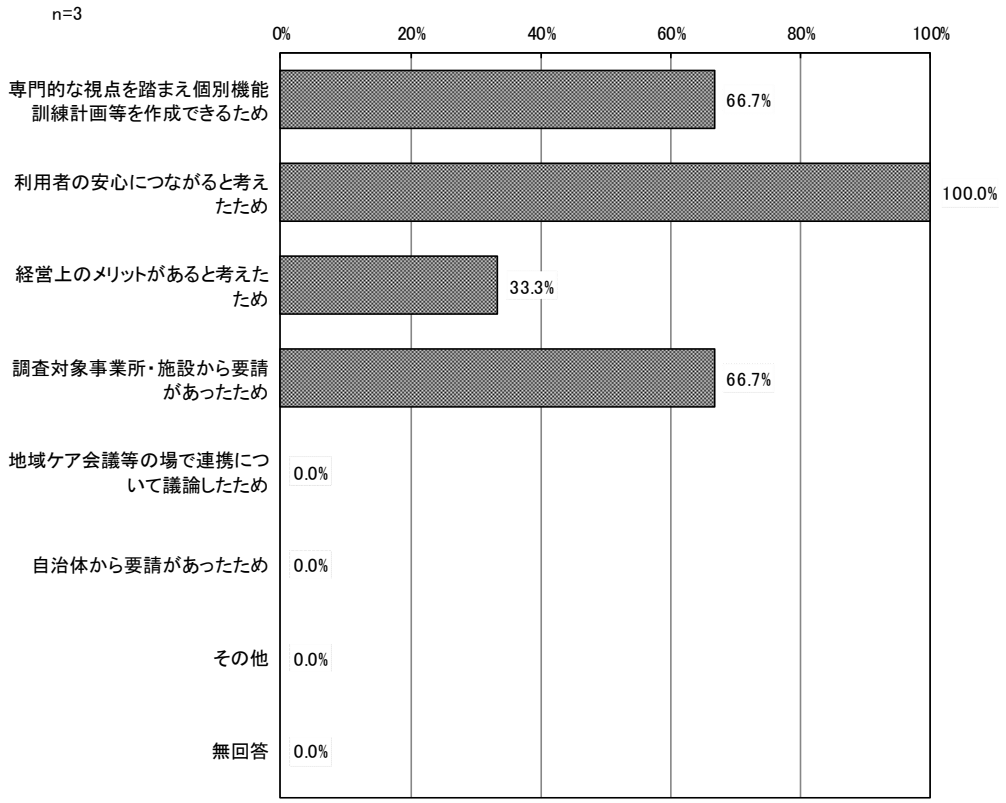
図表 754　調査対象事業所・施設との関係



## Ⅱ．連携の状況

### ア） 調査対象事業所・施設との連携の動機（問 4）

**図表 755　調査対象事業所・施設との連携の動機**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

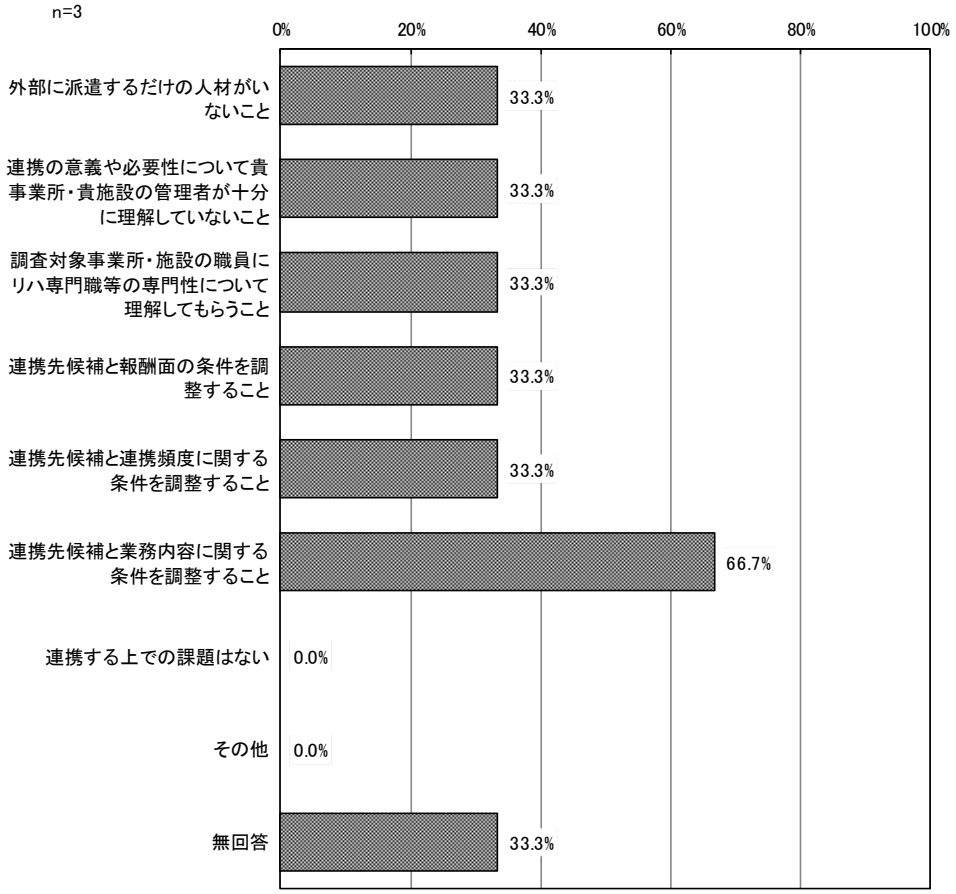
### イ） 調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点（問 5）

**図表 756　調査対象事業所・施設と連携する上で工夫した点**

・事前の打ち合わせや日程調整時に現状の課題を伝えるようにした。

## ウ） 調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点（問 6）

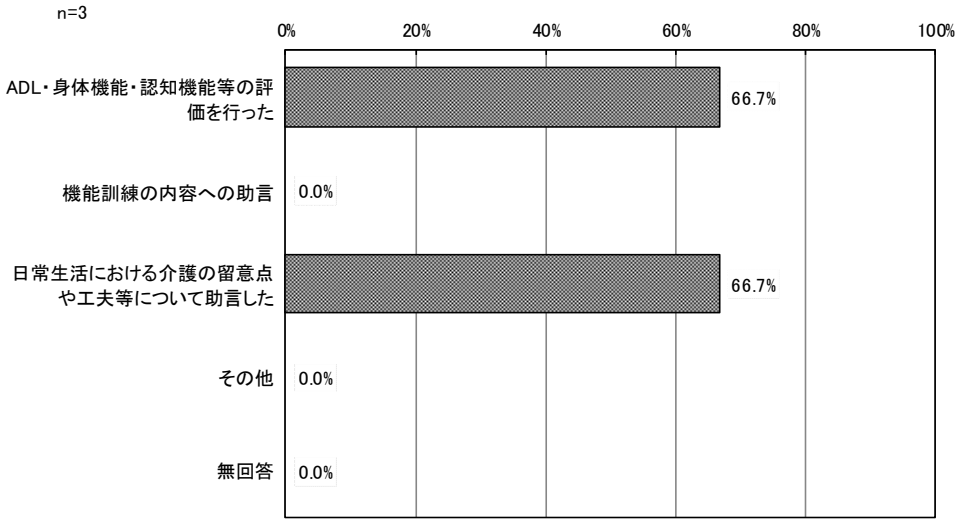
**図表 757　調査対象事業所・施設と連携する上で困難だった点**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## エ） 調査対象事業所・施設で実施した業務（問 7）

**図表 758　調査対象事業所・施設で実施した業務**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## オ） 1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間（問 8）

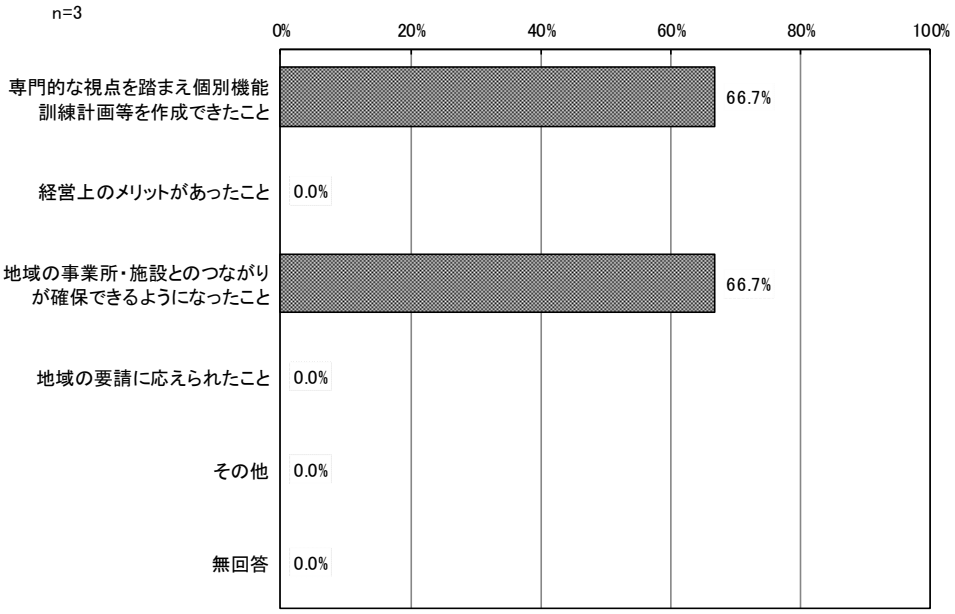
**図表 759　1 人の利用者の 1 回の連携加算算定に費やす平均時間**

（単位：時間）

| 件数 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 最大値 | 最小値 |
|---|---|---|---|---|---|
| リハ専門職等 n=2 | 0.6 | 0.3 | 0.5 | 0.8 | 0.3 |
| その他事務職員 n=1 | 0.3 | 0.0 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |

## カ） 連携によるメリット（問 9）

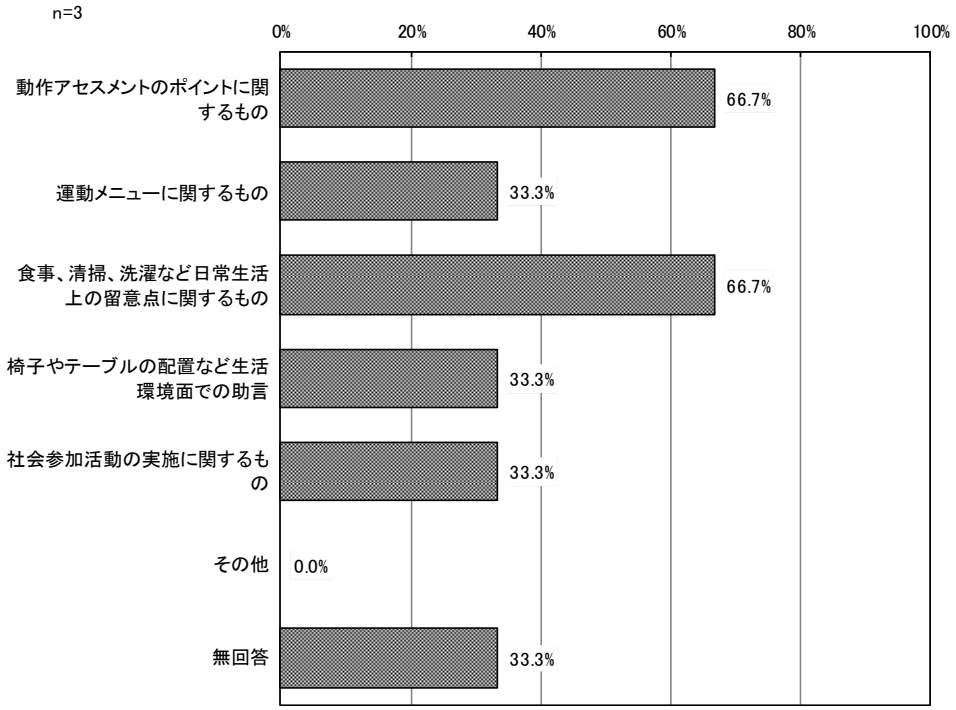
図表 760　連携によるメリット




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

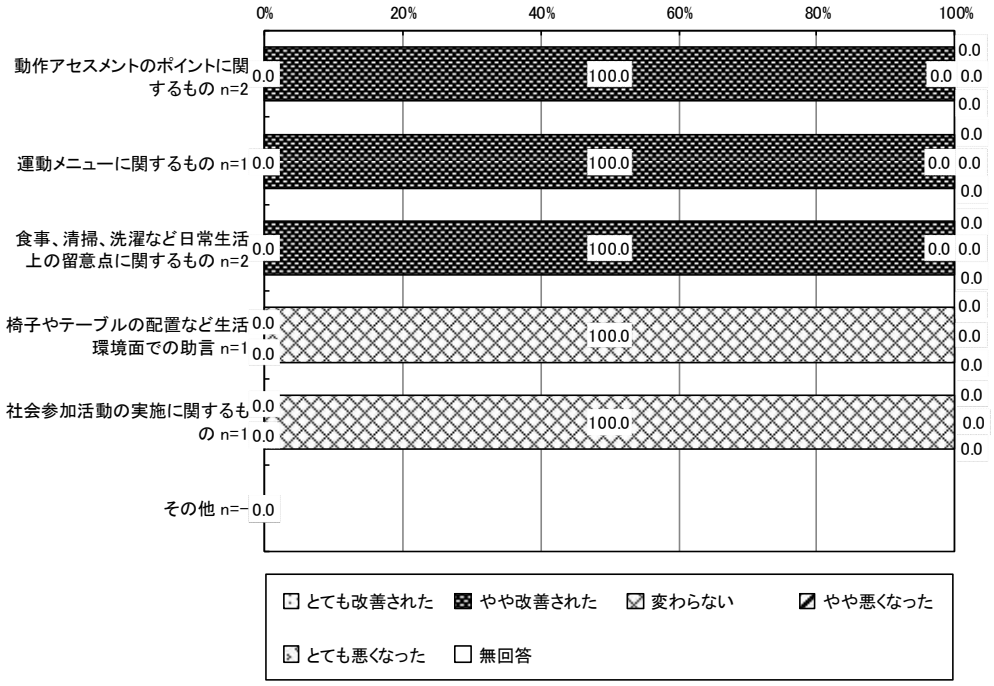
## キ） 実際の助言内容と改善状況（問 10）

**図表 761　実際の助言内容**



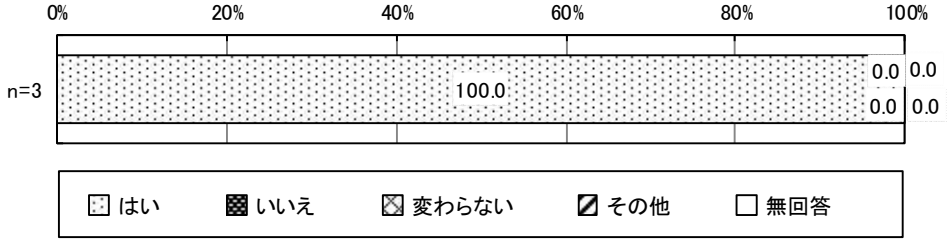

※その他として挙げられた有効な回答は無し。

**図表 762　改善状況**



## ク） 連携先職員の専門性の向上（問 11）

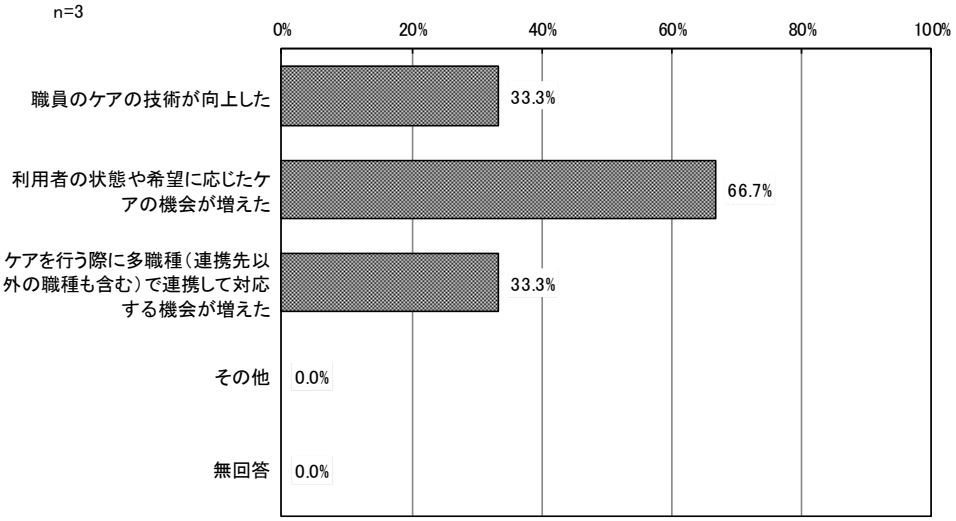
図表 763　連携先職員の専門性の向上




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## ケ） 調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化（問 12）

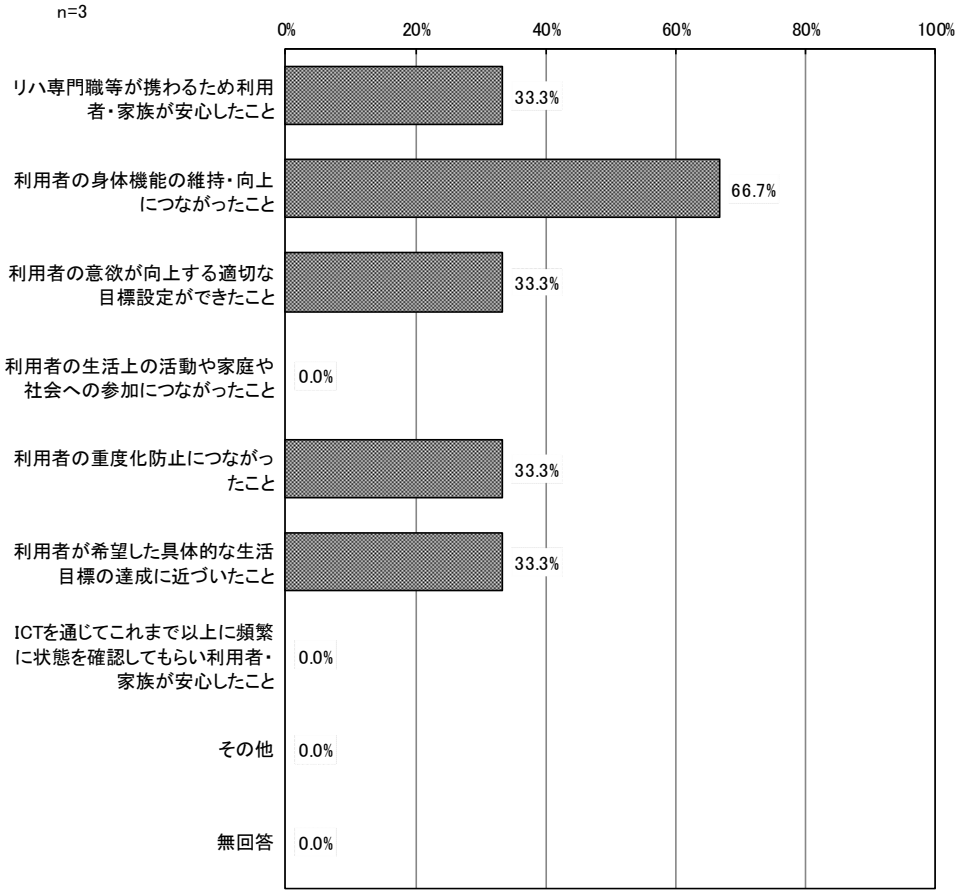
図表 764　調査対象施設の機能訓練やケア方法の変化




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

## コ） 利用者が享受したメリット（問 13）

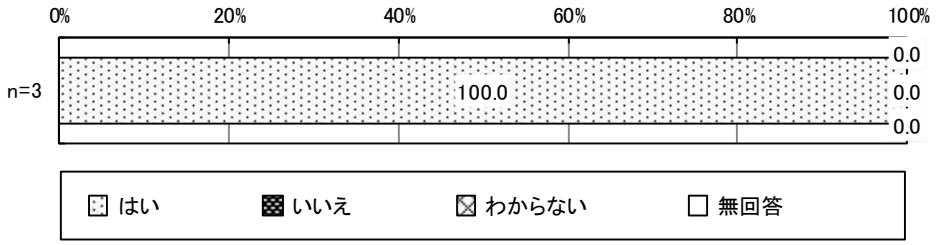
**図表 765　利用者が享受したメリット**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。

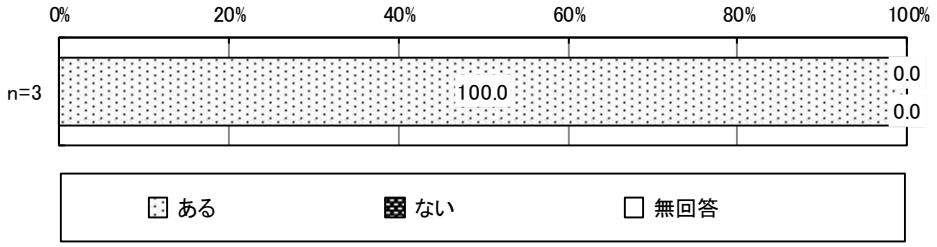
## サ） 連携を継続したいか（問 14）

**図表 766　連携を継続したいか**

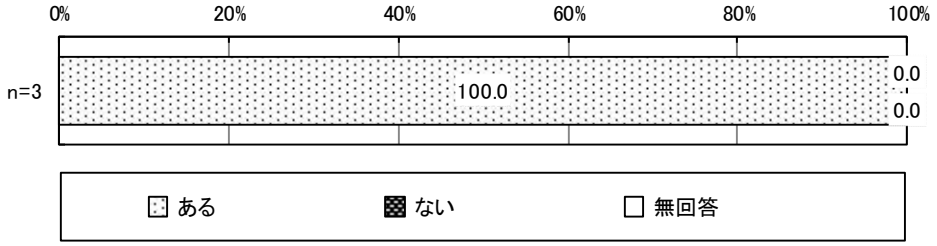


## シ） 加算に関する周知の経験と反応の有無（問 15）

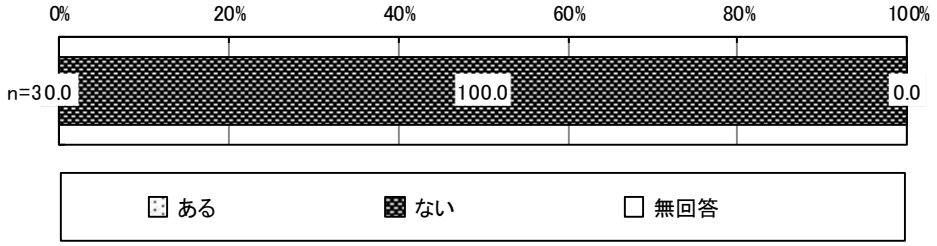
図表 767　加算に関する周知の経験　同一法人



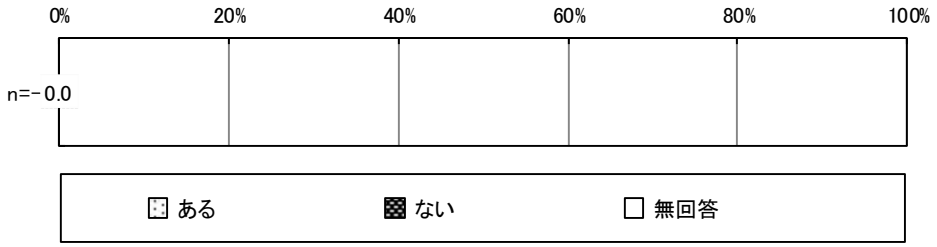

図表 768　反応の有無　同一法人




図表 769　加算に関する周知の経験　他法人



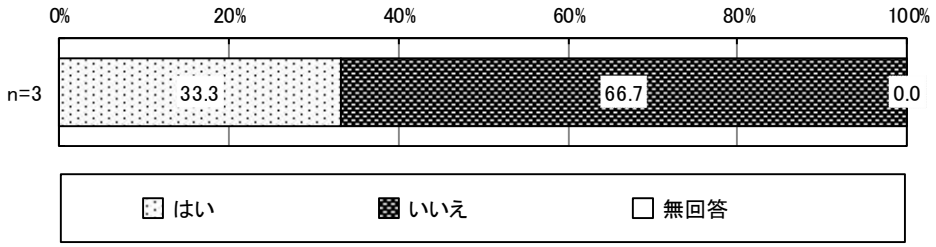

図表 770　反応の有無　他法人



## Ⅲ. ICT の活用

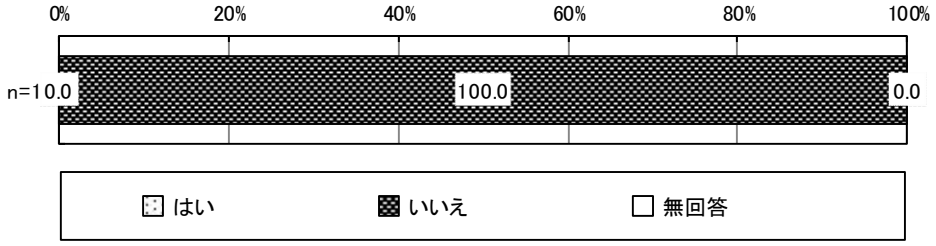
### ア） 生活機能向上連携加算（Ⅰ）を算定したか（問 16）

図表 771　加算（Ⅰ）を算定したか




### イ） 加算（Ⅰ）算定にあたっての ICT 活用の有無および対象人数（問 17）

図表 772　加算（Ⅰ）算定にあたっての ICT 活用の有無




対象人数については、回答は無し。

### ウ） ICT による利用者の状態把握方法（問 18）

回答は無し。

### エ） 活用している ICT 機器（問 19）

回答は無し。

### オ） ICT 機器購入者（問 20）

回答は無し。

### カ） 利用者 1 人に対する ICT 平均利用頻度（問 21）

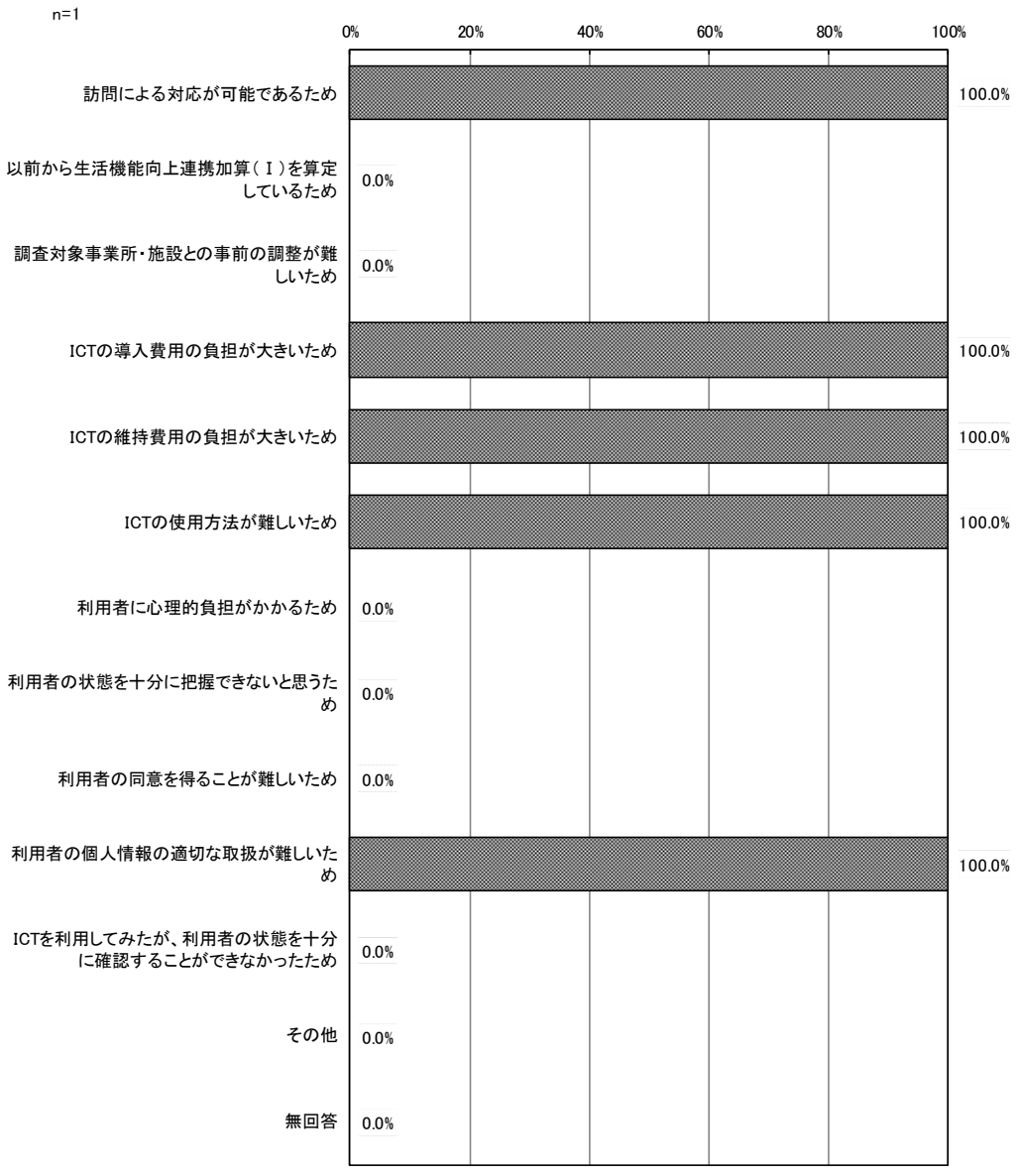
回答は無し。

## キ） ICT 活用の影響（問 22）

回答は無し。

## ク） ICT を活用しない理由（問 23）

**図表 773　ICT を活用しない理由**




※その他として挙げられた有効な回答は無し。